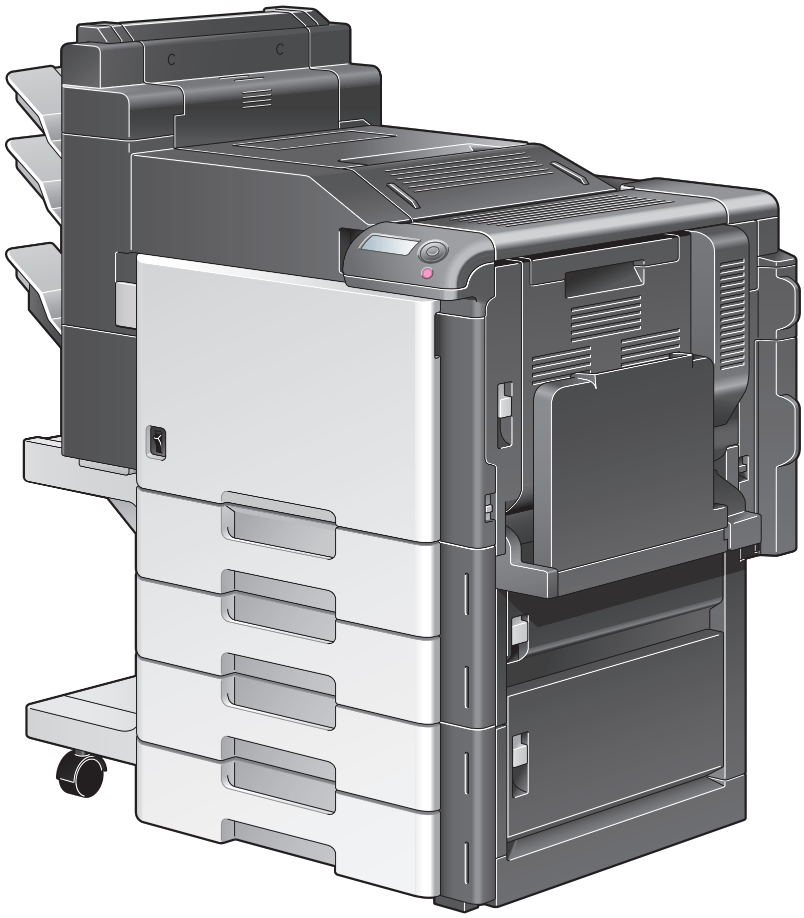
The essentials of imaging

magicolor 8650DN

ユーザーズガイド



はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、magicolor 8650DN の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処理方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「セーフティインフォメーションガイド」をお読みください。

ユーザーズガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

■ エコマークについて

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

エコマーク認定番号　第 07 122 019 号

magicolor 8650DN は、「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

■ 両面プリント機能について

両面プリント機能とは、1 枚の用紙を自動的に反転させ、用紙のオモテ面／ウラ面の両面にプリントする機能です。

本機は、両面プリント機能が設定可能です。

安全にお使いいただくために

製品を安全にお使いいただくために、必ず以下の「取扱上の注意」をよくお読みになってください。また、この説明書の内容を十分理解してから、プリンターの電源を入れるようにしてください。

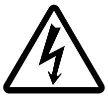
このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。

■ 絵記号の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品をただしくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例



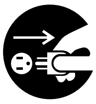
△ **記号は注意を促す内容があることを告げるものです。**

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。



⊘ **記号は禁止の行為であることを告げるものです。**

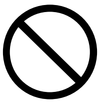
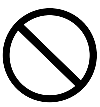
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

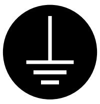
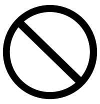
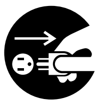
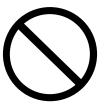


● **記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。**

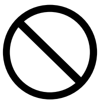
この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

⚠警告

	● 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。 ● 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。
	● 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。 ● この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。 ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。
	● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。 ● タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。 ● 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご相談ください。

	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。
	必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。 ● アースを接続する場合は必ず電源プラグを電源に取り付ける前に行ってください。 ● アース接続を取り外す場合は必ず電源プラグを電源から取り外してから行ってください。 アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。 ● コンセントのアース端子 ● 接地工事を施してある接地端子（第 D 種） 次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。 ● ガス管（ガス爆発の原因になります） ● 電話専用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります） ● 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）
	本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。
	● 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。 ● 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。
	トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

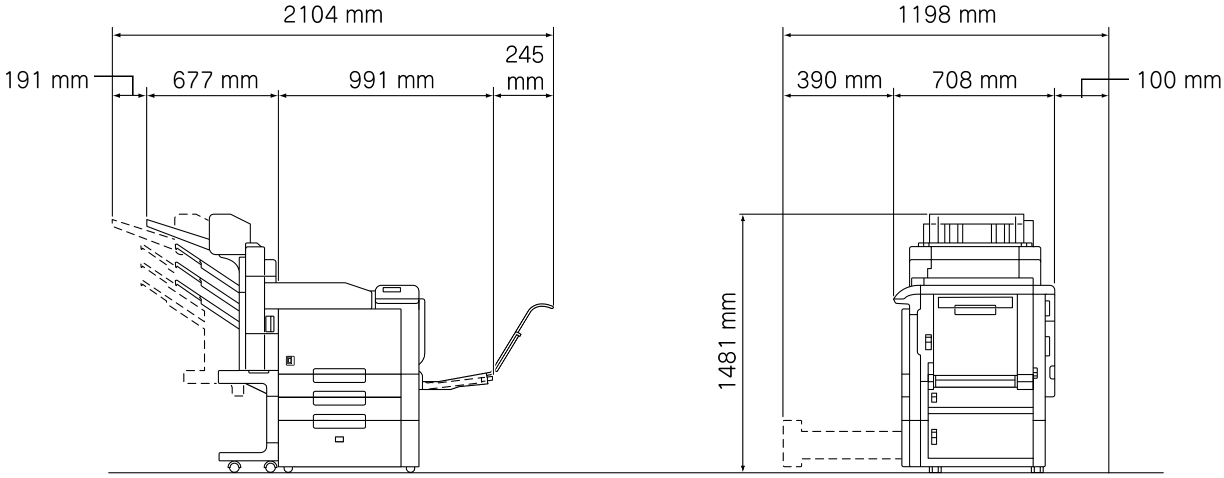
⚠注意

	● 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。 ● 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	● 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。インストレーションガイドで固定脚を使用するよう指示がある製品については、固定脚で本体を固定してください。動いたり、倒れたりして怪我の原因になることがあります。
	本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。

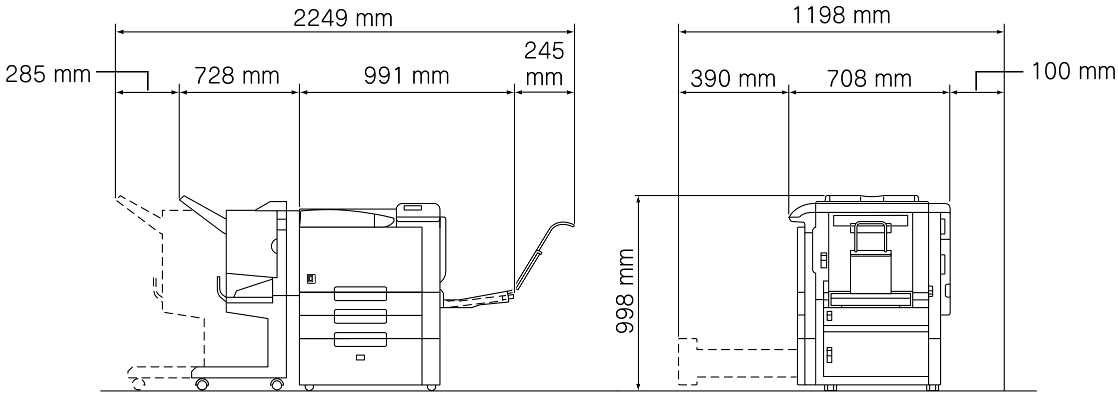
	● 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。 ● 本製品の周囲で引火性のスプレイや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。
	● トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。 ● トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
	● プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ● 電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。
	本製品を移動させせる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	● 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。 ● 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。 ● 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

設置スペース

プリント操作、消耗品の補給、交換、定期点検が容易に行えるように、十分な設置スペースを確保してください。



8650DN + FS-519 + SD-505 + PC-406 + MK-713



8650DN + FS-609 + PC-406 + MK-713

単位：mm

必ず守ってください

オプションを装着していない状態で使用する場合、本機の背面には排熱用の排気ダクトがあるため、背面は壁から必ず 100 mm 以上離してください。

使用上のご注意

本機を最良の状態でご使用いただくために、次の点にご注意ください。

■ 設置電源

設置電源には以下の条件の電源を使用してください。

- 使用する電源は、電圧および周波数の変動が少ないものを使用してください。
  電圧変動率：AC 100 V ± 10% 以内
  周波数変動：50 Hz/60 Hz ± 3 Hz 以内

■ 使用環境

いつも良い条件でご使用いただける環境の範囲は、以下の条件です。

- 気温 10℃～ 30℃温度変化率 10℃/h
- 湿度 15% ～ 85% 湿度変化率 10%/h

■ 印刷されたものの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- 印刷されたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 通常の白黒印刷に比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれることがあります。

■ トナーカートリッジの取り扱いについて

トナーカートリッジを取り扱う場合、以下の項目をよく読み、取り扱いには十分に注意してください。

- トナーカートリッジは、無理に開けたりしないでください。
  トナーが漏れ出した場合には、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。
- トナーが服や手に付いた場合
  石鹸を使って水で良く洗い流してください。
- トナーを吸入した場合
  新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。
  咳などの症状がでるようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーが目に入った場合
  直ちに流水で 15 分以上よく洗い流し、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合
  口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水をお飲みください。必要に応じて医師の診察を受けてください。
- トナーカートリッジは、幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

■ 換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス環境が保てない原因となります。また、複写動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

■ 複製禁止事項

法律で禁止されている紙幣などの複製を防止するため本機には、偽造防止機能を搭載しています。

本機は偽造防止機能を搭載しているため、画像に若干のノイズが入ったり、画像データの保存が禁止されたりすることがあります。ご了承ください。

もくじ

第 6 章　Macintosh 用プリンタードライバーの印刷機能

第 7 章　機能詳細説明

第 10 章 トラブルの処理

第 11 章 消耗品の交換

第 12 章 日頃の管理

第 13 章 仕様

第 14 章 認証装置
（指静脈 生体認証タイプ AU-101）

第 15 章 認証装置
（IC カード認証タイプ AU-201）

商標、著作権等について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、magicolor は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標または商標です。
- Netscape は、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。
- Mozilla および Firefox は Mozilla Foundation の商標です。
- Novell、および NetWare は、米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標［または］商標です。
- Microsoft、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PowerPC は、IBM Corporation の商標です。
- Citrix、MetaFrame、MetaFrameXP、XenApp™、Citrix XenServer™ および Citrix Presentation Server™ は、米 Citrix Systems, Inc. およびその他の国における登録商標または商標です。
  Citrix Technology Member について
  コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、Citrix Technology Member です。
  * Citrix Technology Member とは、Citrix 社のソリューションとの組み合わせにより、ソリューションの推進、開発を行い、お客様により優れたソリューションを提供するインダストリー・リーダーのためのプログラムです。
- Apple、Mac および Mac OS は、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。Safari は、米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat および PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Ethernet は、Xerox Corporation の登録商標です。
- PCL は、米国 Hewlett-Packard Company Limited の登録商標です。
- CUPS、CUPS ロゴは、Easy Software Products 社の登録商標です。
- This machine and PageScope Box Operator are based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- Compact-VJE
  Copyright 1986-2009 Yahoo Japan Corp.
- RC4® is a registered trademark or trademark of RSA Security Inc. in the United States and/or other countries.
- RSA® BSAFE™
  RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

  ライセンス情報
  本製品は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE™ ソフトウェアを搭載しています。
- その他の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

OpenSSL Statement

- OpenSSL License

  Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

- Original SSLeay License

  This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
  The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
  This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.
  The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
  Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

  Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
   The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related.
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

■ NetSNMP License

Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like)
Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University Derivative Work - 1996, 1998-2000
Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California All Rights Reserved
Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD)
Copyright © 2001-2003, Networks Associates Technology, Inc
All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR

OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD)

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;
OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD)

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;
OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Kerberos

Export of this software from the United States of America may require a specific license from the United States Government. It is the responsibility of any person or organization contemplating export to obtain such a license before exporting.

WITHIN THAT CONSTRAINT, permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Furthermore if you modify this software you must label your software as modified software and not distribute it in such a fashion that it might be confused with the original MIT software. M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Individual source code files are copyright MIT, Cygnus Support, Novell, OpenVision Technologies, Oracle, Red Hat, Sun Microsystems, FundsXpress, and others.

Project Athena, Athena, Athena MUSE, Discuss, Hesiod, Kerberos, Moira, and Zephyr are trademarks of the Massachusetts Institute of Technology (MIT). No commercial use of these trademarks may be made without prior written permission of MIT.

"Commercial use" means use of a name in a product or other for-profit manner. It does NOT prevent a commercial firm from referring to the MIT trademarks in order to convey information (although in doing so, recognition of their trademark status should be given).

Portions of src/lib/crypto have the following copyright:

Export of this software from the United States of America may require a specific license from the United States Government. It is the responsibility of any person or organization contemplating export to obtain such a license before exporting.

WITHIN THAT CONSTRAINT, permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of FundsXpress. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. FundsXpress makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

The implementation of the Yarrow pseudo-random number generator in src/lib/crypto/yarrow has the following copyright:

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Zero-Knowledge Systems, Inc. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Zero-Knowledge Systems, Inc. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

ZERO-KNOWLEDGE SYSTEMS, INC. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL ZERO-KNOWLEDGE SYSTEMS, INC. BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTUOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

The implementation of the AES encryption algorithm in src/lib/crypto/aes has the following copyright:

LICENSE TERMS

The free distribution and use of this software in both source and binary form is allowed (with or without changes) provided that:

1. distributions of this source code include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer;
2. istributions in binary form include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other associated materials;
3. the copyright holder's name is not used to endorse products built using this software without specific written permission.

DISCLAIMER

This software is provided 'as is' with no explcit or implied warranties in respect of any properties, including, but not limited to, correctness and fitness for purpose.

Portions contributed by Red Hat, including the pre-authentication plug-ins framework, contain the following copyright:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of Red Hat, Inc., nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions funded by Sandia National Laboratory and developed by the University of Michigan's Center for Information Technology Integration, including the PKINIT implementation, are subject to the following license:

■ Copyright

■ 免責

- ユーザーズガイドの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本プリンティングシステムおよびユーザーズガイドを運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ユーザーズガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。
- プリンタードライバーの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社にあります。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンターシステムの一部を構成するソフトウエア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピューターシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピューターにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピューターにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピューターにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべて KMBT およびそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行にしたがって使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、すべてのソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT およびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT およびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a“commercial item,”as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of“commercial computer software”and“commercial computer software documentation,”as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

Adobe 社カラープロファイルについて

Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）
カラープロファイル使用許諾契約書

ユーザー様への注意：本契約書をよくお読みください。本ソフトウェアの全部または一部を使用した場合、本ソフトウェアのすべての諸条件ならびに本契約書のすべての諸条件を受諾したものと見なされます。本契約書の条件に同意できない場合は本ソフトウェアの使用をおやめください。

第 1 条定義

本契約書において「Adobe 社」とは、合衆国デラウェア州法人 Adobe Systems Incorporated（345 Park Avenue, San Jose, California 95110）を意味します。「本ソフトウェア」とは、本契約書が添付されたソフトウェアならびにその関連品目を意味します。

第 2 条ライセンス

ユーザーが本契約書の諸条件に従うことを条件として、Adobe 社は本ソフトウェアの使用、複製、公での展示を行うライセンスを全世界的、非排他的、譲渡不能、ロイヤルティ不要のものとしてユーザーに許諾します。さらに Adobe 社は、（a）本ソフトウェアがデジタル画像ファイルに埋め込まれた状態であり、しかも（b）スタンドアローン・ベースである場合に限り、本ソフトウェアを配布する権利をユーザーに許諾します。それ以外の場合には本ソフトウェアを配布することはできません。たとえば、何らかのアプリケーションソフトウェアに組み込まれている状態やそうしたソフトウェアにバンドルされている状態では、本ソフトウェアを配布することはできません。個々のプロファイルは、いずれも ICC プロファイル記述文字列によって参照されている必要があります。ユーザーは本ソフトウェアを改変してはいけません。Adobe 社は本ソフトウェアまたはその他品目のアップグレードや将来のバージョンなど、本契約に基づいて何らかの支援を提供する義務を一切負いません。本ソフトウェアの知的所有権に関するいかなる権原も、本契約の条項に基づいてユーザーに移転することは一切ないものとします。ユーザーは本契約に明示的に定められている権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も取得しないものとします。

第 3 条配布

ユーザーが本ソフトウェアを配布する場合、以下を了解した上で配布を行ったものと見なされます。すなわち、その配布（ユーザーによる本第 3 条の不履行を含み、かつそれに限定されない）に起因して何らかの賠償請求、訴訟、その他の法的措置が行われ損失、損害、費用が発生した場合、それに対してはユーザーが抗弁を行い、損失を補填し、Adobe 社を完全に保護することにユーザーが同意したと見なされることになります。またユーザーが本ソフトウェアをスタンドアローン・ベースで配布する場合、ユーザーは本契約またはユーザー自身の使用許諾契約の諸条件に基づいて配布を行うものとし、この場合におけるユーザー自身の使用許諾契約は、（a）本契約の諸条件を遵守している、（b）明示的にせよ黙示的にせよ、すべての保証および条件付与を有効に排除している、（c）損害に対するすべての責任を Adobe 社に代わって有効に排除している、（d）本契約と異なるすべての規定は、Adobe 社ではなくユーザーが単独で提供するものであることを明記している、（e）本ソフトウェアがユーザーまたは Adobe 社から入手可能であることと、ソフトウェアの交換に一般に用いられている媒体で本ソフトウェアを入手する妥当な方法とを記述している、ものでなければなりません。配布する本ソフトウェアには、Adobe 社の著作権表示を、Adobe 社がユーザーに提供した本ソフトウェアにおけるのと同様に行う必要があります。

第 4 条保証の排除

Adobe 社は本ソフトウェアを「現状のまま」ユーザーに使用許諾しています。したがって本ソフトウェアが特定目的に適合しているかどうか、あるいは特定の結果を生み出すことができるかどうかについて、Adobe 社は一切の表明を行いません。また Adobe 社は、本契約に起因する損失または損害、あるいは本ソフトウェアまたはその他資料の配布または使用に起因する損失または損害について、一切の責任を負わないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、ユーザーが本ソフトウェアを使用した場合のパフォーマンスまたは結果について一切保証しません。ただしその居住地域においてユーザーに適用される法律が排除または制限を禁じている保証、条件付与、表明、約定については、その限りではないものとします。
Adobe 社およびそのサプライヤは、制定法、普通法、慣習法、慣行その他いかなる法的根拠に基づくかを問わず、また明示的であるか黙示的であるかを問わず、第三者の権利の不侵害、完全性、品質に対する満足、特定目的への適合性などを含みかつそれに限定されず、一切の保証、条件付与、表明、約定を行いません。ただしユーザーは、法域によって異なるその他の権利を保有する場合もあります。第 4 条、第 5 条、第 6 条の規定は、いかなる原因で本契約が終了したにせよ、その終了後も効力が継続するものとします。

ただしこの規定は、本契約の終了後も本ソフトウェアを継続使用する権利を黙示するものではなく、またそうした権利を設定するものでもありません。

第 5 条責任の制限

Adobe 社またはそのサプライヤは、ユーザーがこうむった損害、請求、費用、派生的損害、間接的損害、付随的損害、利益の喪失、貯蓄の喪失に対して、いかなる場合もその責任を負わないものとし、たとえ Adobe 社の代表者がそうした損失、損害、請求が発生する可能性や第三者による請求の事実を助言されていた場合であっても、責任を負わないものとします。以上の制限および排除の規定は、ユーザー居住地の法律上許容される限度で適用されるものとします。本契約に起因または関連して Adobe 社またはそのサプライヤが負う賠償責任の総額は、本ソフトウェアに対し支払いが行われた金額を上限とします。ただし Adobe 社の過失または不法行為（詐欺）によって生じた死亡または傷害については、本契約のいかなる規定によっても、Adobe 社がユーザーに対して負う責任は制限されません。Adobe 社がサプライヤに代わって行為するのは、本契約の規定のとおりに義務、保証、責任を排除、除外、制限することが目的である場合に限られており、それ以外の場合または目的でサプライヤのために行為することはありません。

第 6 条商標

Adobe および Adobe のロゴは、合衆国およびその他の国における Adobe 社の商標または登録商標です。参照のために使用する場合を除き、Adobe 社による別個の書面による許可を事前に得ていない場合には、ユーザーは上記の商標あるいは Adobe 社のその他の商標またはロゴを使用することはできません。

第 7 条期間

本契約はその終了まで効力が存続するものとします。ユーザーが本契約の規定遵守を怠った場合、Adobe 社はただちに本契約を終了させる権利を有します。そうした契約終了時には、ユーザーはその占有下または管理下にある本ソフトウェアの全体コピーおよび部分的コピーのすべてを、Adobe 社に返却しなければなりません。

第 8 条政府規制

本ソフトウェアの一部が合衆国輸出管理規則その他の輸出に関する法律、制限、規制（以下「輸出法」という）において輸出規制品目と認められた場合、ユーザーは自身が輸出規制対象国（イラン、イラク、シリア、スーダン、リビア、キューバ、北朝鮮、セルビアなど）の国民ではなく、しかもそれらの国に居住していないこと、さらに、ユーザーが本ソフトウェアを受領することが輸出法に基づく何らかの理由で禁止されているのではないことを、表明および保証する必要があります。本ソフトウェアを使用する一切の権利は、本契約の諸条件の遵守を怠るとただちに失われるという条件に基づき提供されています。

第 9 条準拠法

本契約は、カリフォルニア州内でその住民同士が締結、履行する契約に適用される法律など、カリフォルニア州で施行されている実体法に準拠し、それに基づいて解釈されるものとします。本契約には、いかなる法域の抵触法の原則も、あるいは「国際物品売買契約に関する国連条約」も適用されないものとし、それらの適用を明示的に排除します。本契約に由来、起因、関連して発生したすべての紛争は、合衆国カリフォルニア州サンタクララ郡において解決を図るものとします。

第 10 条一般条項

Adobe 社による事前の書面による同意がある場合を除き、ユーザーは本契約に基づいて得た権利または義務を譲渡することはできません。本契約のいかなる規定も、Adobe 社、その代理人、その被用者の側のいかなる行為または黙認によっても放棄されたと見なされることはないものとしますが、正当な権限を有する Adobe 社社員が署名を行った法律的文書による場合にはその限りではないものとします。本ソフトウェアに含まれるその他の合意と本契約とで異なる言語が用いられている場合、その他の合意における条項を適用します。ユーザーまたは Adobe 社が弁護士を雇用し、本契約に依拠または関連する権利の実現を図った場合、勝訴当事者は妥当な弁護士費用を回収する権利を有するものとします。ユーザーは、本契約を読み了解したこと、さらに本契約がユーザーと Adobe 社との完全で排他的な合意であり、ユーザーに対する本ソフトウェアの使用許諾に関し、口頭または書面によって以前に両者間で成立したあらゆる合意に優先するものであることを認めるものとします。正当な権限を有する Adobe 社社員が書面に署名を行い、Adobe 社が明示的な同意を示している場合を除き、本契約における条項のいかなる改変も Adobe 社に対して効力を持たないものとします。

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 3.0）

「東洋インキ標準色コート紙プロファイル Ver.3.0」とは

東洋インキ製造株式会社の Japan Color 対応枚葉インキを用い、東洋インキ製造株式会社が標準と考えるオフセット枚葉印刷の再現色を、コート紙への実機印刷により定めたものです。「東洋インキ標準色コート紙」は日本国内におけるプロセスカラー印刷の色標準である「Japan Color 2007」に準拠しています。

必要システム構成

ICC プロファイルを使用するカラーマネージメントシステムを持つシステムまたはアプリケーションが必要です。

東洋インキ標準色コート紙プロファイル Ver.3.0 の使用条件および注意事項

1. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用して再現されたコンピュータビデオシミュレーションの色やカラープリンター等により出力された色は、「東洋インキ標準色コート紙」と必ずしも一致するものではありません。
2. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用し、または使用できなかったことにより生じた一切の損害に関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる責任も負いかねます。
3. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルの一切の著作権は東洋インキ製造株式会社が所有しており、東洋インキ製造株式会社の事前の書面による許可無く、本データを譲渡、提供、転貸、頒布、公開せず、第三者に使用させることもできません。
4. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルに関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる問い合わせも受けかねます。
5. ドキュメント中に記載されている会社名、製品名は、関係各社の商標または登録商標です。

本プロファイルは、東洋インキ製造株式会社がエックスライト社製ソフトウエア ProfileMaker を使用して作成し、頒布に関してエックスライト社の許諾を得ています。

DIC 標準色プロファイル使用許諾契約

本使用許諾契約（以下本契約といいます）をよくお読み下さい。本契約は、お客様（個人、法人の別を問いません）と日本国法人 大日本インキ化学工業株式会社（以下 DIC といいます）との間に締結される法的な契約です。お客様が本契約の条項に同意されない場合には、DIC 標準色プロファイル（DIC Standard Color SFC1.0.3、DIC Standard Color SFM1.0.3、DIC Standard Color SFU1.0.3、DIC Standard Color WebC1.0.1、DIC Standard Color SFCFM1.0.2；以下総称してプロファイルといいます）を一切使用することはできません。

1. 使用許諾
DIC は、お客様に対して、本契約の各条項に定める条件に従ったプロファイルの使用のみを無償にて許諾します。プロファイルに関する商標権、著作権等その他の知的財産権を含む権利は DIC に留保され、その利用を許諾するものではありません。

2. 使用方法およびその制限
本契約により、お客様は、プリンタにインストール済みのプロファイルを使用することができます。また、お客様は、プリンタまたはプリンタ用オプションであるハードディスクドライブのいずれか一台にプロファイルをインストールし、かつ使用することができます。
お客様は、プロファイルの全部またはその一部を、複製、解析、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、変換、翻訳、再使用許諾、譲渡、貸与、リース、頒布等をすることはできません。また、お客様は、プロファイルの類似品を製作し、または何らかのソフトウェアを改良するために、プロファイルを利用することはできません。
プロファイルは、人身損害、重大な物理的損害または環境上の損害をもたらす可能性のある用途に使用されることを意図するものではないことをお客様は承認するとともに、このような用途にプロファイルを使用しません。
DIC は、お客様が本契約の各条項のいずれか 1 つにでも違反した場合、本契約を通知なく、お客様が違反した時点に遡って解除することができるものとします。この場合には、お客様は、速やかにプロファイルを全て破棄しなければなりません。

3. 不保証
DIC は、お客様がプロファイルを無償で使用されることに鑑み、明示または黙示を問わず、プロファイルの商品価値および使用可能性、特定目的に対する適合性、ならびに第三者の権利侵害を侵害しないこと等その他一切の保証を行うことなく、プロファイルをお客様に提供します。これらについての一切のリスクはお客様のご負担とさせていただきます。DIC は、プロファイルに欠陥または瑕疵が発見された場合であっても、有償または無償を問わず、これらの欠陥または瑕疵の修正、修復を保証するものではありません。

4. 免責
過失を含むいかなる場合であっても、DIC は、プロファイルに起因する、または関連する付随的、特別もしくは間接損害、または逸失利益の賠償責任等その他一切の責任を負いません。たとえ、DIC が、これらの損害の可能性について事前に知らされていた場合も同様です。

5. 残存条項
第 3 条（不保証）および第 4 条（免責）の規定は、第 2 条（使用方法およびその制限）に基づき本契約が解除され、お客様がプロファイルを全て破棄された後もなお有効に存続するものとします。

6. 準拠法、契約の分離性および管轄裁判所
本契約は、日本の法律に準拠し、同法律に従って解釈されます。何らかの理由により、管轄権を有する裁判所が本契約のいずれかの条項またはその一部について効力を失わせた場合であっても、本契約の他の条項は依然として完全な効力を有するものとします。また、本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属合意管轄裁判所とします。

7. 完全な合意
本契約は、プロファイルの使用について、お客様と DIC の取り決めのすべてを記載するものです。

ページの見かた

■ 原則

機能を使用するときに必要な
オプションを説明しています。

項目タイトルの概要を
説明しています。

ひとこと

作業手順や内容に関して、
参考となることや補足事項
などが書かれています。
お読みになることを
おすすめします。

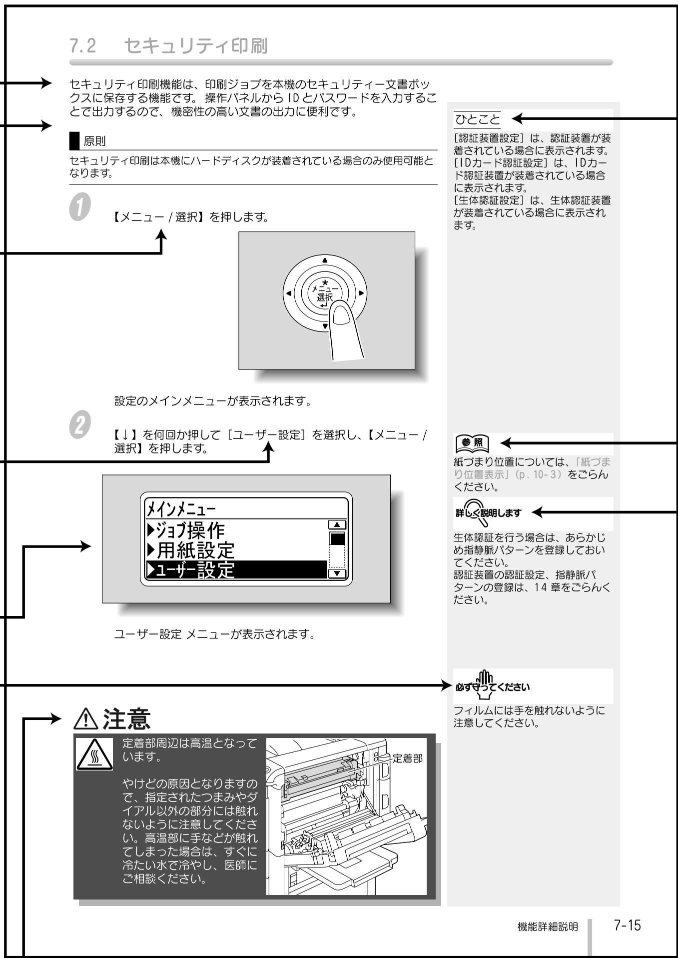
【　】
操作パネル（表示
パネルを除く）のキー
名称、電源スイッチ
などを示します。

［　］
表示パネル上の
キー名称を示します。

操作の結果を表示
パネルで確認します。

必ず守ってください

操作上の注意事項です。
指示内容をよく読んで、
必ず指示に従ってください。



（このページは実際には存在しません。）

⚠ 警告、注意

機械を安全に使用していただくための注意事項
です。警告は、表示を無視して誤った取扱いを
すると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定
される内容を示しています。注意は、表示を無視
して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性
または物的損害を負う可能性が想定される内容を
示しています。

詳しく説明します

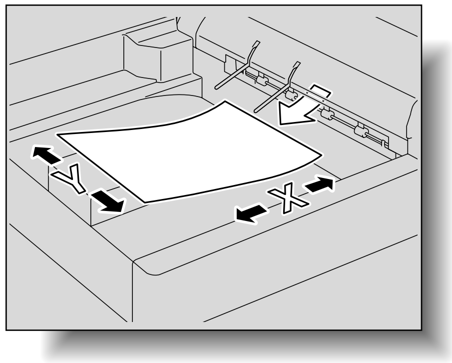
操作手順や内容に関して、
さらに詳しく説明しています。

参照

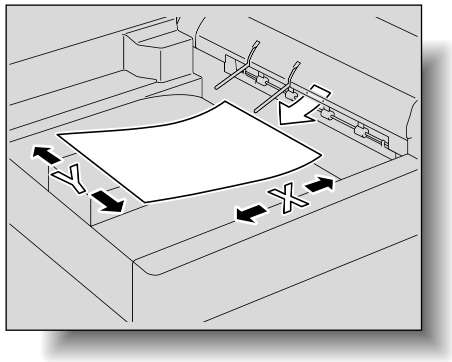
参照先を指示します。
必要に応じてごらんください。

用紙の表示について

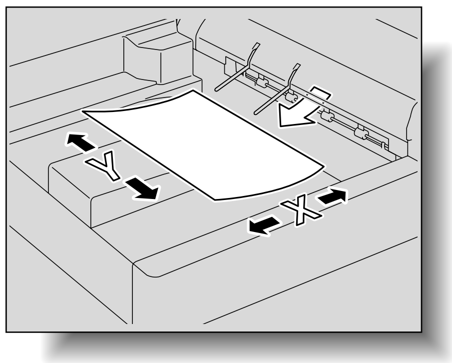
本文中に出てくる用紙の表示について説明します。
用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。



幅（Y）よりも長さ（X）のほうが大きいものを と表示します。



幅（Y）よりも長さ（X）のほうが小さいものを と表示します。



マニュアル体系について

本製品のユーザーズガイドには、印刷物の冊子でご提供するユーザーズガイドと、Documentation CD に収められた PDF のユーザーズガイドがあります。

印刷物のユーザーズガイド

●すぐに使える操作ガイド

すぐに本製品をご利用いただけるよう使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。

本製品をはじめてお使いになる場合や機能の概要を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●セーフティインフォメーションガイド

本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

Documentation CD 収録のユーザーズガイド

●ユーザーズガイド＜本書＞

本製品の機能およびメンテナンス方法について記載しています。

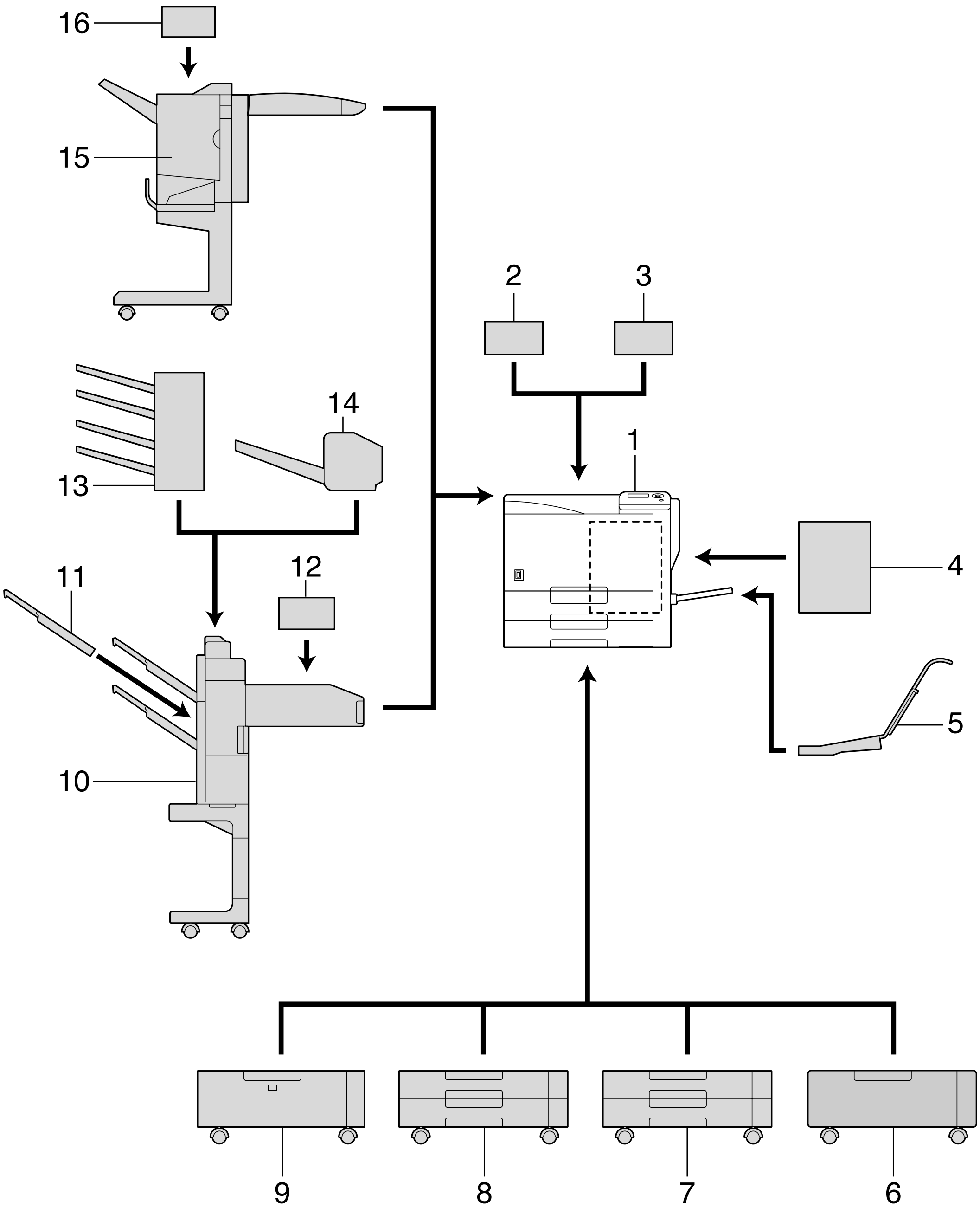
操作方法、用紙につて、消耗品の交換方法、紙づまりなどのトラブル対処方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

第 1 章
ご使用いただく前に

ご使用いただく前に知っておきたいことや準備しておくことについて説明します。

1.1 各部の名称とはたらき

1.1.1 オプション構成



No	名称	説明
1	本体部	コンピューターから送られてきたデータを印刷します。 以降本文中では本機、本体、8650DN と呼びます。
2	認証装置（指静脈 生体認証タイプ） AU-101	身体内部の指静脈パターンを読取ってユーザー認証を行うことができます。 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）を使用する場合は、オプションのハードディスク HD-508、ローカル接続キット EK-603 の装着が必要になります。
3	認証装置（IC カード認証タイプ） AU-201	IC カードに記録された情報を読取ってユーザー認証を行うことができます。 認証装置（IC カード認証タイプ）を使用する場合は、オプションのハードディスク HD-508、ローカル接続キット EK-603 の装着が必要になります。
4	取り付けキット MK-711	ローカル接続キット EK-603 を装着するときに使用します。

No	名称	説明
5	取り付けキット MK-713	長尺紙印刷する場合に使用します。
6	専用デスク DK-505	専用デスクを使用することにより、本機をフロアに設置できます。 以降本文中では専用デスクと呼びます。
7	給紙キャビネット PC-106	上段には 500 枚までの用紙をセットでき、下段は収納ボックスとして使用できます。 以降本文中では 1 段給紙キャビネットと呼びます。
8	給紙キャビネット PC-205	上段・下段に各 500 枚までの用紙をセットできます。 以降本文中では 2 段給紙キャビネットと呼びます。
9	給紙キャビネット PC-406	2,500 枚までの用紙をセットできます。 以降本文中ではトレイ 4（大容量）と呼びます。
10	フィニッシャー FS-519	印刷された用紙が仕上がって排紙されます。仕上り機能には、部数単位（ソート）、ページ順単位（仕分け）、ステープルとじ（コーナーステープル、2 点ステープル）があります。
11	排紙トレイ OT-602	フィニッシャー FS-519 に装着する排紙トレイです。印刷された用紙を仕分けることができます。 以降本文中では増設排紙トレイと呼びます。
12	パンチキット PK-515	フィニッシャー FS-519 に装着することにより、パンチ穴をあけることができます。
13	メールビンキット MT-502	フィニッシャー FS-519 に装着すると、個人やグループごとに排紙トレイを割当てて印刷された用紙を仕分けることができます。 以降本文中ではメールビンキットと呼びます。
14	中綴じ機 SD-505	フィニッシャー FS-519 に装着することにより、中とじ / 折りができます。 以降本文中では中綴じ機と呼びます。
15	フィニッシャー FS-609	プリントされた用紙が排紙されます。仕上り機能には、部数単位（ソート）、ページ順単位（仕分け）、ステープルとじ（ステープル）、中とじがあります。 ※フィニッシャーを装着するためには、専用デスクかトレイ 4（大容量）、1 段給紙キャビネット、2 段給紙キャビネットのいずれかを本機に装着する必要があります。
16	パンチキット PK-501	フィニッシャー FS-609 に装着することにより、パンチ穴をあけることができます。
17	ローカル接続キット EK-603[*1]	認証装置（指静脈 生体認証タイプ）、認証装置（IC カード認証タイプ）を接続する場合に使用します。
18	セキュリティキット SC-503[*2]	ハードディスクに保存されるデータを暗号化し、より安全にハードディスクを使用できます。
19	ハードディスク HD-508[*2]	セキュリティ印刷、ボックス保存、フォントダウンロード、カラープロファイル、ダイレクトプリント（暗号化 PDF ボックスを含む）、PageScope Direct Print（ユーティリティ）を使用する際に装着が必要です。 ユーザー使用可能エリアは以下です。 ・セキュリティ印刷 / ボックス保存：31GB ・フォントダウンロード / カラープロファイル / ダイレクトプリント（暗号化 PDF ボックスを含む）/PageScope Direct Print（ユーティリティ）：3GB 部数単位（ソート）印刷、長尺紙印刷を行なっているときに「メモリオーバーフロー」が頻繁に表示される場合は、ハードディスクの装着が必要になります。 以降本文中では HDD と呼びます。

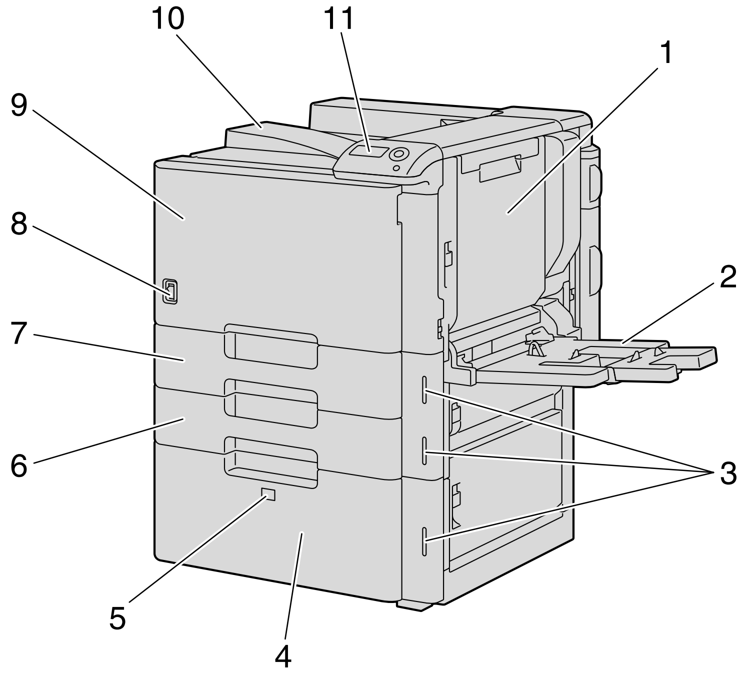
*1　印は取り付けキットに取付けるため図解してありません。

*2　印は本体内蔵のため図解してありません。

詳しく説明します

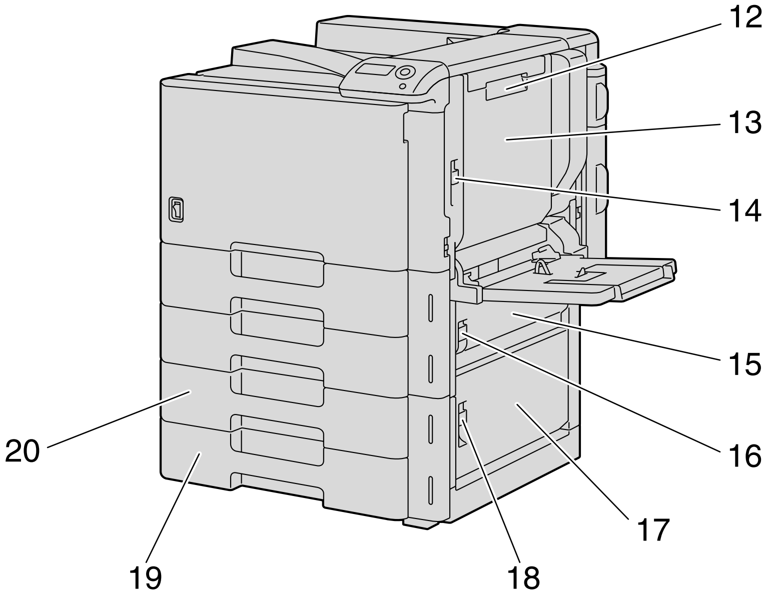
製品の機能、品質を保持するため、床置きする場合には、専用デスクまたはキャビネットを使用してください。

1.1.2　本体外部



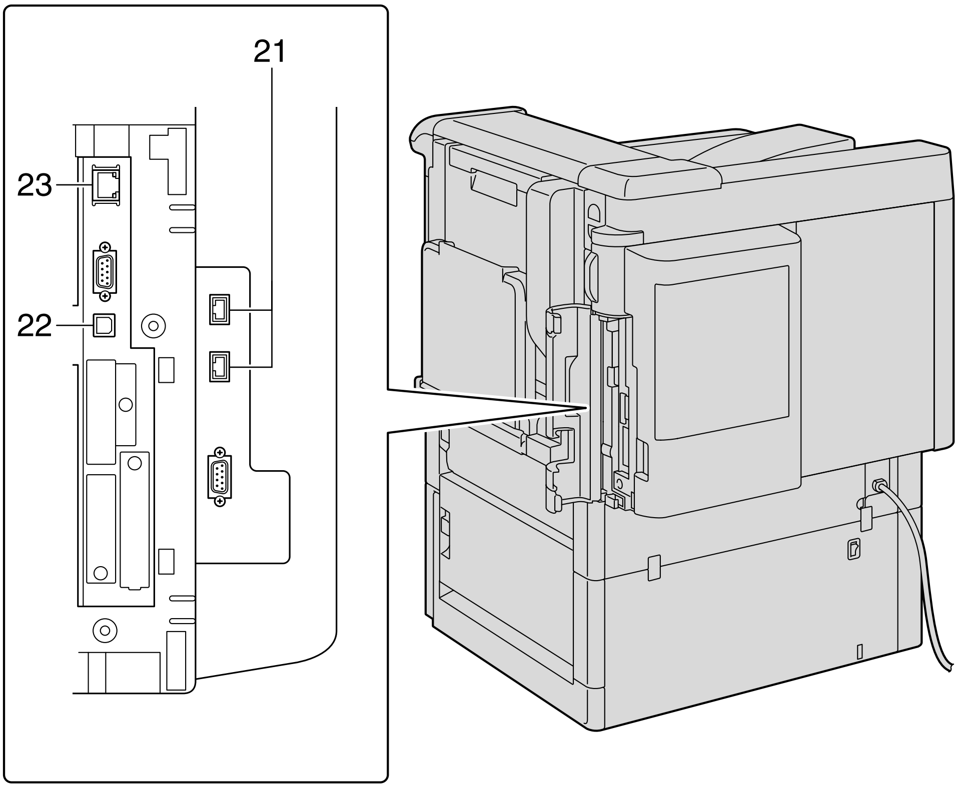
※本図は本体にオプションのトレイ 4（大容量）を装着しています。

No	名称	説明
1	自動両面ユニット	両面印刷を行うときに、用紙を反転します。
2	トレイ 1（手差し）	給紙トレイにセットされていないサイズの用紙や厚紙、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙、長尺紙に印刷するときに使います。普通紙は 150 枚、厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3、厚紙 4、OHP フィルム、はがき、ラベル用紙は 20 枚、封筒は 10 枚、長尺紙は 10 枚までセットできます。
3	用紙エンプティーランプ	トレイの用紙残量が少なくなるとオレンジ色に点滅し、用紙がなくなると点灯します。
4	トレイ 4（大容量）	2,500 枚までの普通紙をセットできます。 厚紙1、厚紙2、厚紙3 は 1,000 枚までセットできます。
5	トレイ解除ボタン	トレイ 4（大容量）を引出すときに押します。
6	トレイ 3	500 枚までの普通紙をセットできます。 厚紙1、厚紙2、厚紙3 は 150 枚までセットできます。
7	トレイ 2	500 枚までの普通紙をセットできます。 厚紙1、厚紙2、厚紙3 は 150 枚までセットできます。
8	電源スイッチ	本体の電源の ON または OFF を行います。
9	前ドア	トナーカートリッジの交換、廃棄トナーボックスの交換、イメージングユニットの交換、プリントヘッド清掃時に開きます。
10	排紙トレイ	印刷された用紙が排紙されます。
11	操作パネル	本機での各種設定を行います。

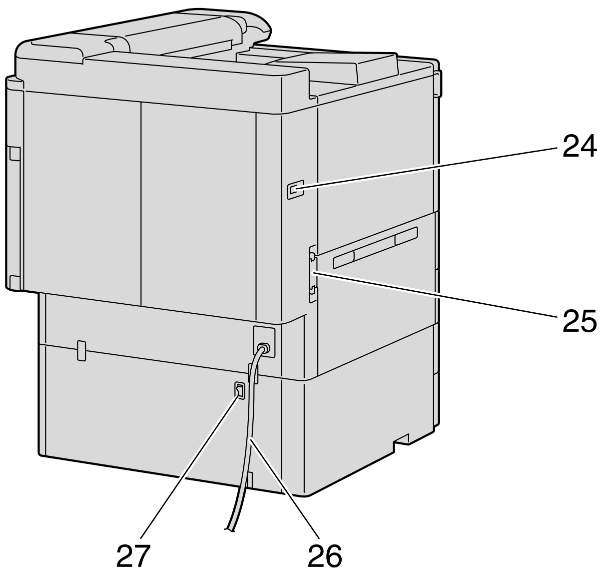


※本図は本体にオプションの 2 段給紙キャビネットを装着しています。

No	名称	説明
12	自動両面ユニットロック解除レバー	自動両面ユニットドアを開いて紙づまりを処理するときに使用します。
13	自動両面ユニットドア	自動両面ユニット内で紙づまりを処理するときに開きます。
14	右上ドア解除レバー	右上ドアを開くときに使用します。
15	右中ドア	トレイ 3 給紙部で紙づまりを処理するときに開きます。
16	右中ドア解除レバー	右中ドアを開くときに使用します。
17	右下ドア	トレイ 4/5 で紙づまりを処理するときに使用します。
18	右下ドア解除レバー	右下ドアを開くときに使用します。
19	トレイ 5/ 収納ボックス	1 段給紙キャビネット装着時、収納ボックスとして使用します。 2 段給紙キャビネット装着時、500 枚までの普通紙をセットできます。 厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3 は 150 枚までセットできます。
20	トレイ 4	500 枚までの普通紙をセットできます。厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3 は 150 枚までセットできます。



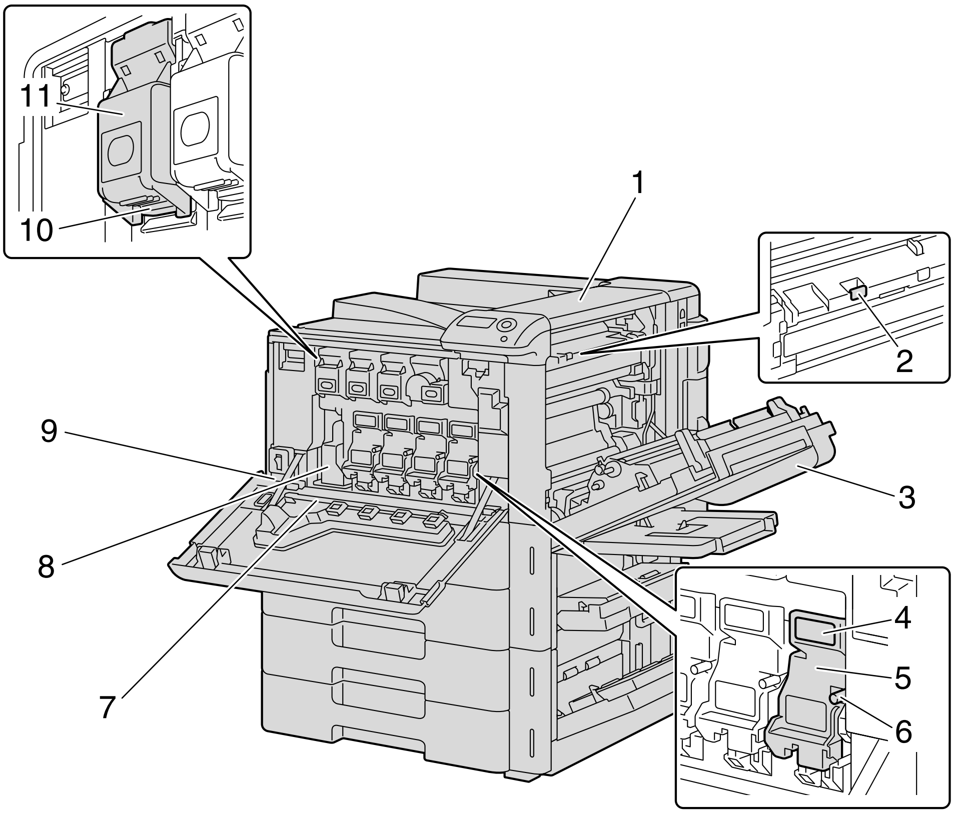
※本図は本体にオプションのトレイ 4（大容量）、取り付けキット（ローカル接続キット）を装着しています。



※本図は本体にオプションの 2 段給紙キャビネットを装着しています。

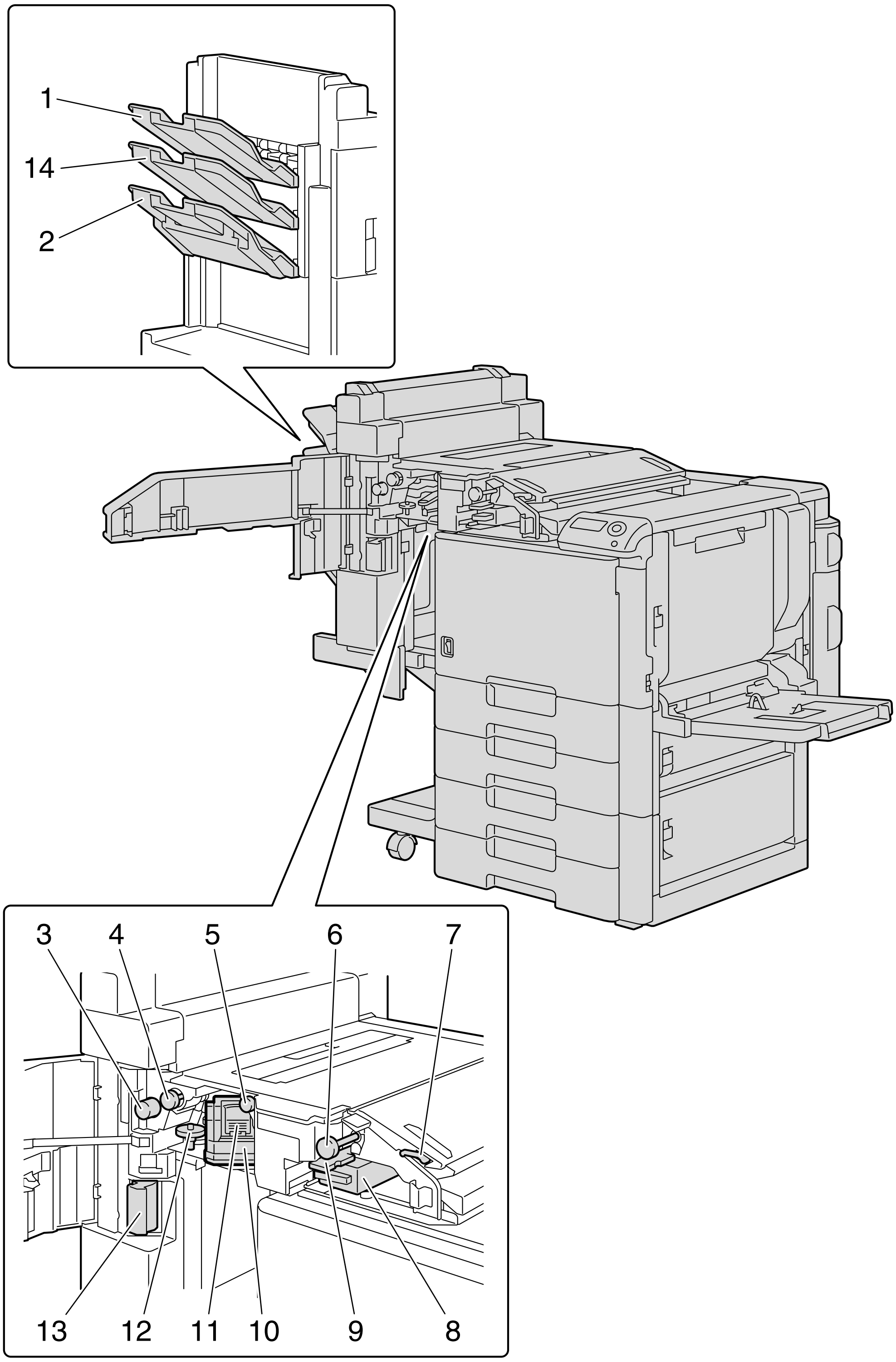
No	名称	説明
21	USB ポート（タイプ A） USB2.0/1.1	USB ケーブルで認証装置（指静脈 生体認証タイプ）、認証装置（IC カード認証タイプ）を接続するときに使用します。
22	USB ポート（タイプ B） USB2.0/1.1	USB 接続のプリンターとして使用するときに接続します。
23	ネットワーク用ポート （10Base-T/100Base-TX/ 1000Base-T）	本機をネットワークプリンターとして使用するときにネットワークケーブルを接続します。
24	フィニッシャー用コネクター	フィニッシャーのコードを接続します。
25	オゾンフィルター	本体内部で発生したオゾンを回収します。
26	電源コード	本機に電源を供給します。
27	防湿ヒーター電源スイッチ	防湿ヒーターの動作を ON/OFF します。ON のとき用紙の湿気を防止します。 防湿ヒーターはオプションの 1 段 /2 段給紙キャビネット、トレイ 4（大容量）、専用デスクを購入した場合にご利用になれます。

1.1.3　本体内部



No	名称	説明
1	定着ユニット上カバー	定着部での紙づまり処理をするときに開きます。
2	定着カバーレバー【M2】	定着部での紙づまり処理をするときに開きます。
3	右上ドア	本体内部での紙づまりの処理をするときに開きます。
4	ロック解除つまみ	イメージングユニットを取外すときに使用します。
5	イメージングユニット	印刷イメージを生成します。
6	チャージャー清掃具	画像異常が発生したときなどに、帯電チャージャーワイヤーを清掃します。
7	プリントヘッド窓清掃具	イメージングユニットの交換時などに、プリントヘッド窓の表面を清掃します。
8	廃棄トナーボックス	使用済みの廃棄トナーをボックス内に回収します。
9	トータルカウンター	現在までの総印刷枚数を表示します。
10	ロックヅメ	トナーカートリッジを取外すときに使用します。
11	トナーカートリッジ	シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）、ブラック（K）の 4 色のトナーカートリッジがあります。4 色のトナーを組合わせてフルカラー画像を生成します。

1.1.4　フィニッシャー FS-519 ／排紙トレイ OT-602 ／パンチキット PK-515



フィニッシャー FS-519

No	名称	説明
1	第 1 排紙トレイ	印刷された用紙が排紙されます。
2	第 2 排紙トレイ	印刷された用紙が排紙されます。
3	紙づまり処理ダイアル【FN6】	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
4	紙づまり処理ダイアル【FN5】	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
5	紙づまり処理ダイアル【FN4】	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
6	紙づまり処理ダイアル【FN2】	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
7	ガイドレバー【FN1】	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに押上げます。
8	パンチ廃棄ボックス【FN3.1】	パンチ機能によりたまったパンチくずを処理するときに取出します。
9	ガイドレバー【FN3】	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに押上げます。
10	ステープラ	針づまりの処理をするときに手前に移動させます。
11	ステープルホルダー	ステープルカートリッジ交換や針づまりの処理をするときにステープラから取外します。
12	ダイアル	針づまりの処理をするときに回し、ステープラを手前に移動させます。
13	フィニッシャー解除レバー【1】	紙づまり処理をするときに、フィニッシャーと本体を解除して移動させます。

排紙トレイ OT-602

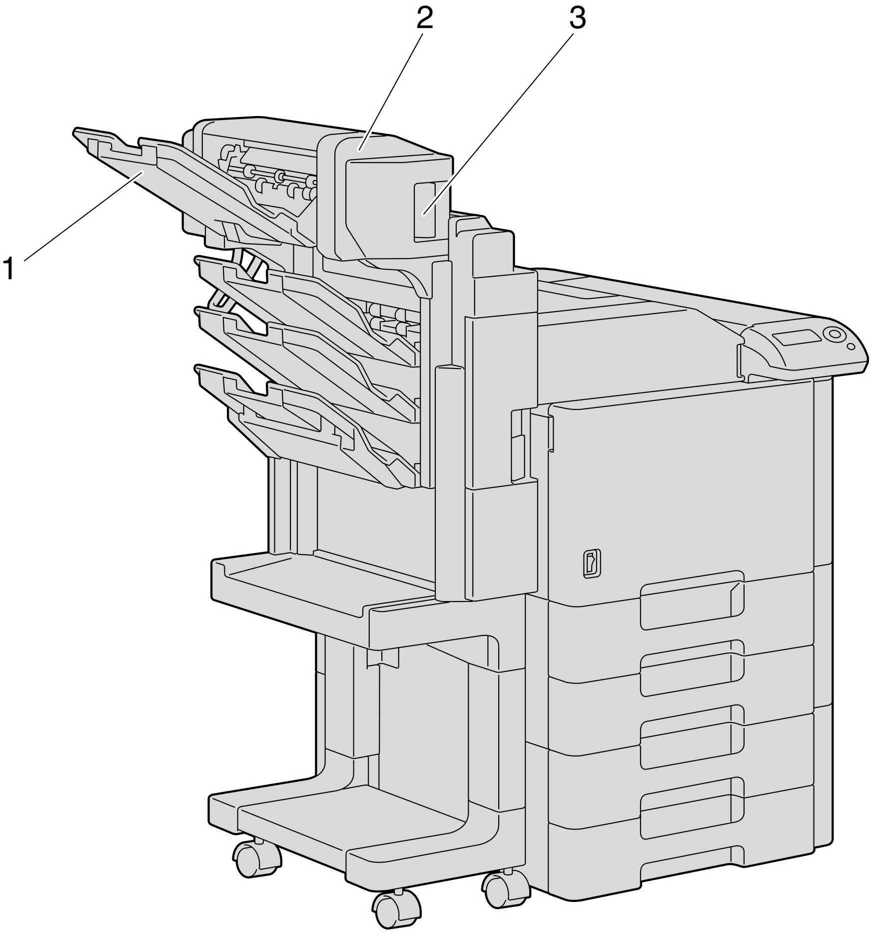
No	名称	説明
14	増設排紙トレイ	印刷された用紙が排紙されます。

パンチキット PK-515

No	名称	説明
15	パンチキット *	フィニッシャー FS-519 にパンチキットを装着することで、印刷された用紙にファイリング用の穴（パンチ穴）をあけます。

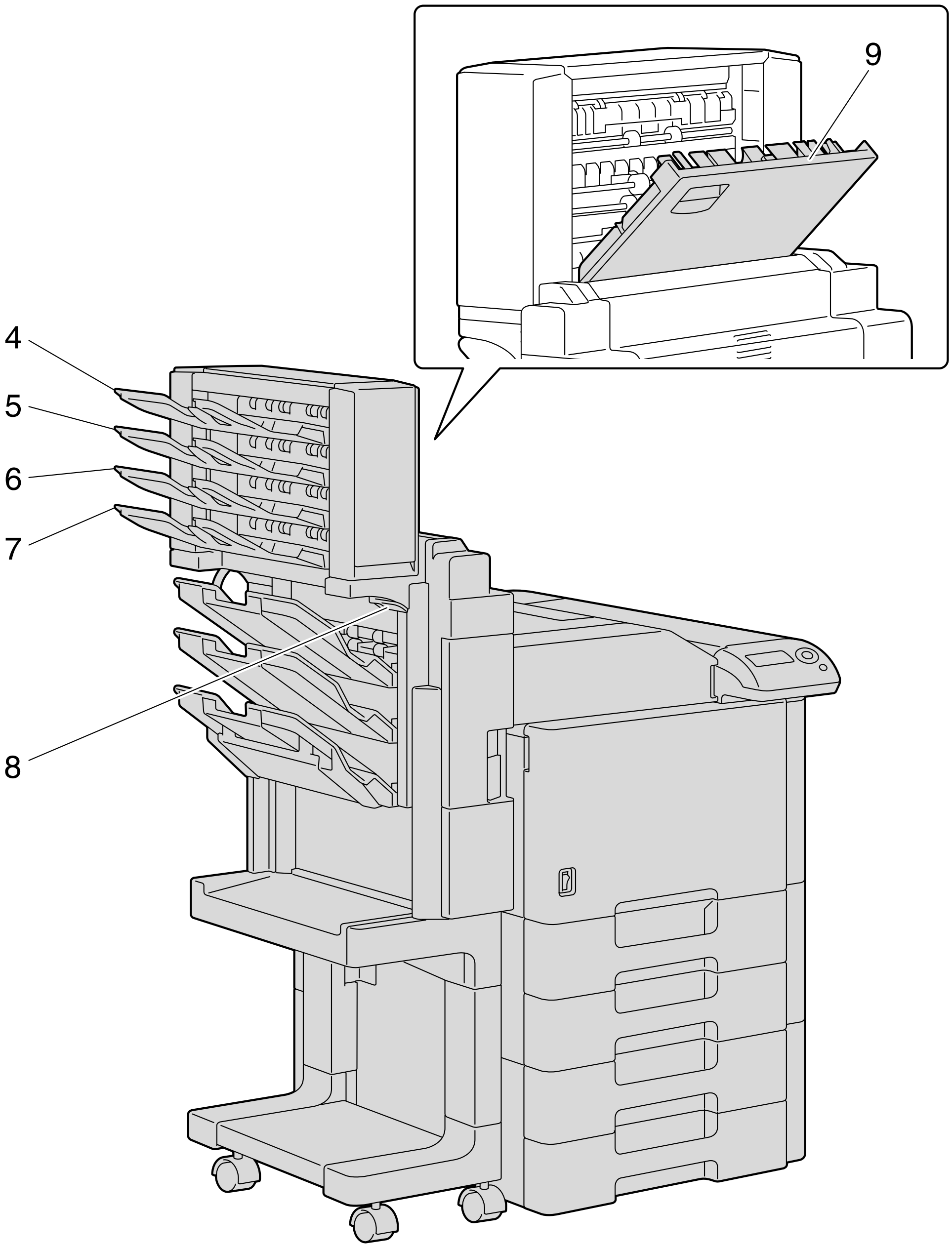
* 印は本体内蔵のため図解してありません。

1.1.5　中綴じ機 SD-505 ／メールビンキット MT-502



中綴じ機 SD-505

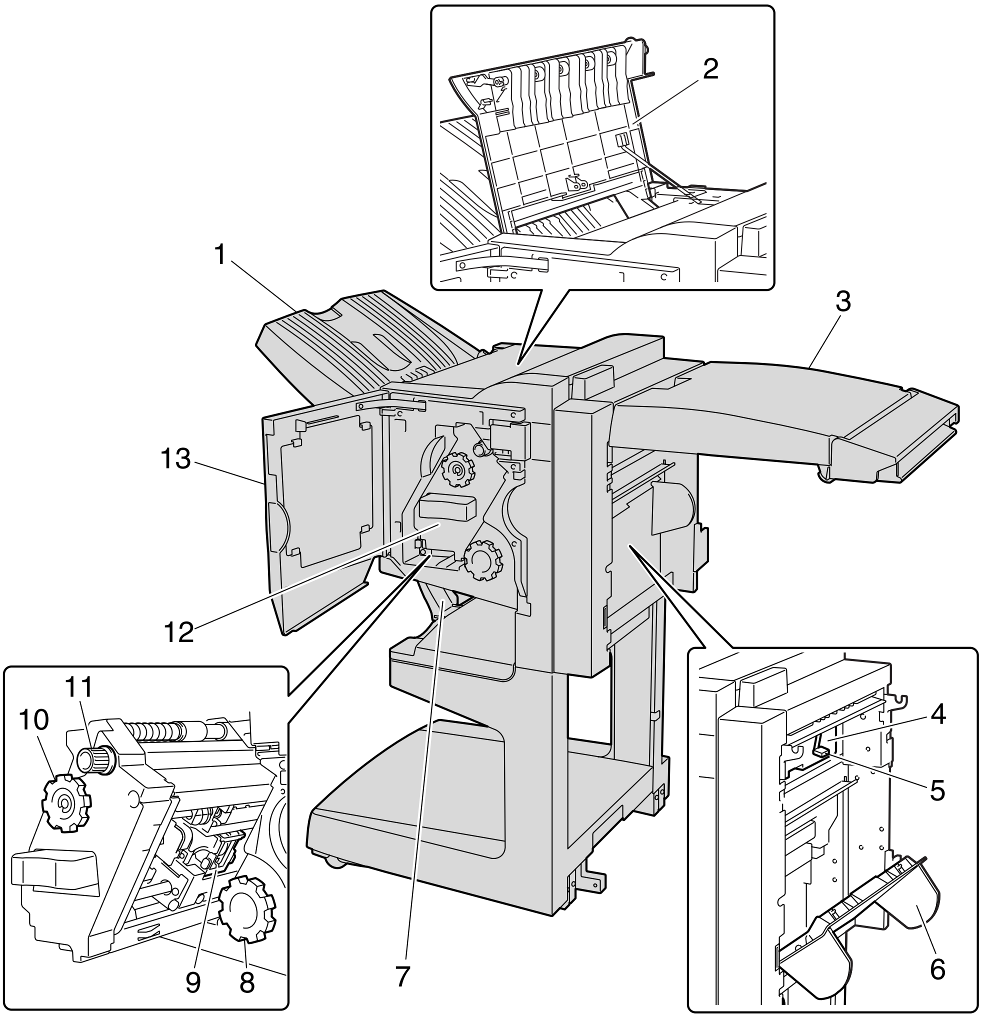
No	名称	説明
1	排紙トレイ	印刷された用紙が排紙されます。
2	ジャム処理ドア	中綴じ機内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに開きます。
3	ジャム処理ドア解除レバー	ジャム処理ドアを開くときに使用します。



メールビンキット MT-502

No	名称	説明
4	ビン 4	印刷された用紙が排紙されます。
5	ビン 3	印刷された用紙が排紙されます。
6	ビン 2	印刷された用紙が排紙されます。
7	ビン 1	印刷された用紙が排紙されます。
8	ガイドレバー【FN7】	メールビンキット内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに開きます。
9	ジャム処理ドア	メールビンキット内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに開きます。

1.1.6　フィニッシャー FS-609 ／パンチキット PK-501



フィニッシャー FS-609

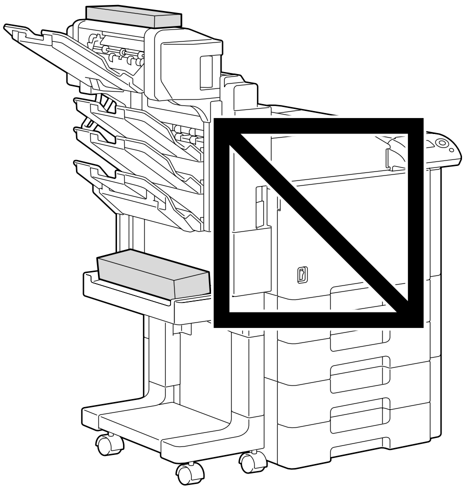
No	名称	説明
1	第 1 排紙トレイ	印刷された用紙が排紙されます。
2	上カバー	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取り出すときに開きます。
3	水平搬送ユニットカバー	水平搬送部で紙づまりをおこした用紙を取り出すときに開きます。
4	パンチ廃棄ボックス	パンチ機能によりたまったパンチくずを処理するときに取り出します。
5	紙づまり処理ガイド	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取り出すときに開きます。
6	右ドア	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取り出すときに開きます。
7	第 2 排紙トレイ	中とじ機能で印刷された用紙が排紙されます。
8	折り部紙づまり処理ダイアル	折り部で紙づまりをおこした用紙を取り出すときに回します。
9	ステープルホルダ	針づまりやステープルカートリッジ交換時にステープルユニットから取り出します。
10	紙づまり処理ダイアル 1	フィニッシャー内で紙づまりをおこした用紙を取り出すときに回します。
11	紙づまり処理ダイアル 2	針づまりやステープルカートリッジ交換時に回し、ステープルホルダを手前に移動させます。
12	ステープルユニット	針づまりやステープルカートリッジ交換時に引き出します。
13	前ドア	紙づまり、針づまり、ステープルカートリッジ交換時に開きます。

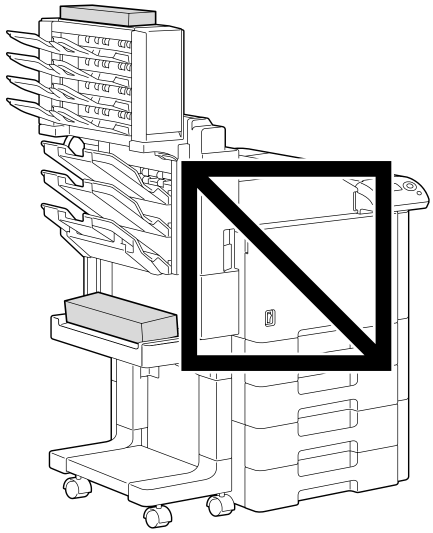
パンチキット PK-501

No	名称	説明
14	パンチキット*	フィニッシャー FS-609 にパンチキットを装着することで、印刷された用紙にファイリング用の穴（パンチ穴）をあけます。

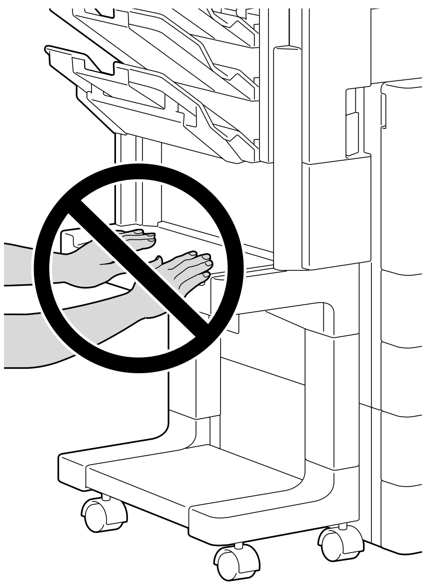
* 印は本体内蔵のため図解してありません。

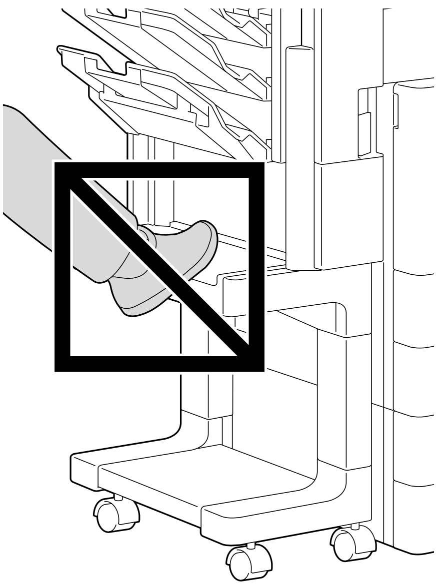
<フィニッシャー使用時のご注意>
フィニッシャーの上や排紙トレイの下に物を置かないでください。
故障の原因となるおそれがあります。



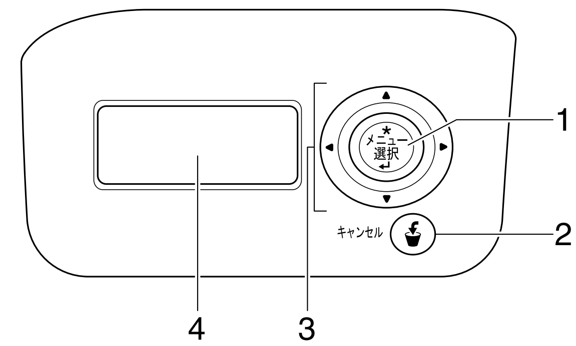


フィニッシャーの排紙トレイの下に手を置いたり、足を掛けたりしないでください。



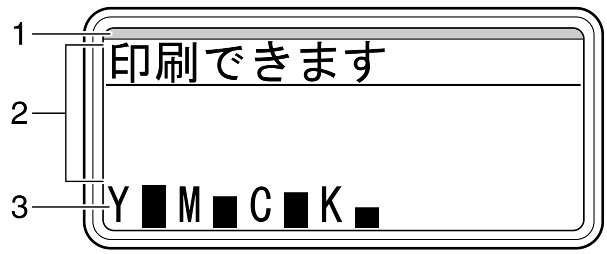


1.1.7　操作パネル



No	名称	説明
1	【メニュー / 選択】キー	データ待機中に押すと設定メニューを表示します。 設定メニューの設定項目を表示しているときに押すと、その項目を選択します。
2	【キャンセル】キー	設定メニューで変更中の操作をキャンセルします。
3	カーソルキー (【▲】【▼】【◀】【▶】)	【▲】【▼】キーで、設定メニューの項目を切換えます。 【◀】【▶】キーで、各メニュー画面を移動します。 数値入力中は変更できる桁の位置を移動します。
4	表示パネル	各設定画面やメッセージが表示されます。

1.1.8　表示パネル

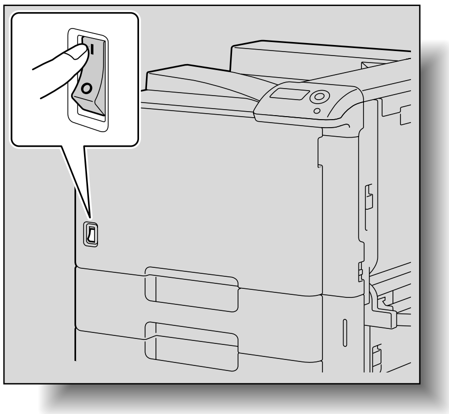


No	名称	説明
1	LED ライン	本機の状態をランプの色と点滅、点灯で表示します。 青色に点灯：正常起動中 青色に点滅：正常印刷中、低電力モード中、スリープモード中 オレンジ色に点滅：警告中 オレンジ色に点灯：機械停止中
2	メッセージエリア	本機の状態、設定項目、警告などを表示します。
3	トナー残量表示	トナーの残量を表示します。

1.2 電源について

1.2.1 電源の入れかた

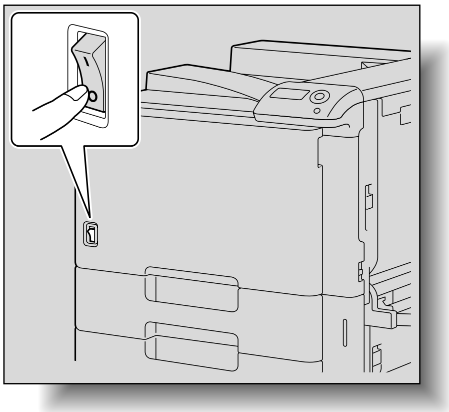
1 【電源スイッチ】の【 | 】を押します。



2 表示パネルの表示を確認します。

1.2.2 電源の切りかた

1 【電源スイッチ】の【○】を押します。



2 表示パネルの表示を確認します。

詳しく説明します

電源を ON にすると、本機が起動します。その後「印刷できます」と表示され、印刷ジョブを受け付けることができます。

ひとこと

ウォームアップ時間は、室温 23°C で 75 秒以内です。

詳しく説明します

電源を ON にした直後の本機の設定状態を初期設定と呼びます。初期設定は変更できます。詳しくは、「操作パネルについて」(p. 8-2)をごらんください。
工場出荷時に設定されている本機の状態を出荷時設定といいます。

必ず守ってください

- 【電源スイッチ】を OFF/ON する場合は、電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
- 印刷中に電源を OFF にしないでください。紙づまりをおこします。
- 登録されたジョブや、蓄積されたジョブの印刷待機中に電源を OFF にしないでください。印刷されていないジョブは削除されてしまいます。

詳しく説明します

電源を OFF にすると、以下の項目が取消されます。
- 登録されていない設定
- 印刷待機中のジョブ

1.2.3　自動的に設定を取消す（システムオートリセット）

設定変更中に本機を操作しなくなってから一定時間経過したとき登録されていない設定が取消され、初期設定にもどります。

これをシステムオートリセットといいます。

出荷時設定では 1 分を経過するとシステムオートリセット機能がはたらきます。

参照

システムオートリセット機能がはたらくまでの時間や、システムオートリセットをするかしないかの設定は、システム設定メニューで変更できます。詳しくは、「環境設定」（p. 8-22）をごらんください。

1.2.4　自動的に節電状態にする（低電力）

本機は節電のため、本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、自動的に節電状態になります。

これを低電力モードといいます。

低電力モードのときでも、本機はジョブを受け付けることができます。

出荷時設定では 15 分を経過すると低電力モードになります。

印刷ジョブを受信すると低電力から復帰し、ウォームアップ完了後に印刷を開始します。

設定時間を経過すると、再び低電力モードに移行します。

参照

低電力モードに切換わる時間を変更できます。
詳しくは、「環境設定」（p. 8-17）をごらんください。

ひとこと

- 操作パネル上のキーを押しても低電力モードから復帰します。
- 操作パネルの「パワーセーブ移行」で「即時」に設定した場合、設定時間を待たずに低電力モードに移行します。

1.2.5　自動的に節電状態にする（スリープ）

本機は節電のため、本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、自動的に節電状態になります。

これをスリープモードといいます。

低電力モードよりも節電効果が得られますが、再度印刷を行うためのウォームアップにかかる時間は低電力モードよりもかかります。

出荷時設定では 20 分を経過するとスリープモードになります。

印刷ジョブを受信するとスリープモードから復帰し、ウォームアップ完了後に印刷を開始します。

設定時間を経過すると、再びスリープモードに移行します。

参照

スリープモードが動作するまでの時間を変更できます。詳しくは、「環境設定」（p. 8-17）をごらんください。

ひとこと

- 操作パネル上のキーを押してもスリープモードから復帰します。
- 操作パネルの「パワーセーブ移行」で「即時」に設定した場合、設定時間を待たずにスリープモードに移行します。

1.2.6　通電について

夜間など長時間機械を使用しないときは、必ず電源スイッチを OFF にしてください。

エネルギー消費を完全に抑えるためには、電源プラグを抜いてください。

1.3 用紙について

以下の条件を満たす用紙をご使用ください。

1.3.1 使用できる用紙サイズ

不定形紙：

給紙口・その他	用紙幅	用紙長
トレイ 1（手差し）*1	90.0 mm ～ 311.1 mm	139.7 mm ～ 1200 mm
トレイ 2	—	—
トレイ 3		
1 段 /2 段給紙キャビネット		
トレイ 4（大容量）		
両面印刷	139.7 mm ～ 311.1 mm	148 mm ～ 457.2 mm

*1 長尺紙
用紙幅：210 mm ～ 297 mm
用紙長：457.3 mm ～ 1200 mm

定形紙：

給紙口・その他	用紙サイズ
トレイ 1（手差し）*1	A3 ▭ ～ B6 ▭、A6 ▭、はがき ▭、12 × 18 ▭*2 ～ Statement ▭/▯、 8 × 13 ▭*3、16K ▭/▯、8K ▭
トレイ 2	A3 ▭ ～ A5 ▭、11 × 17 ▭ ～ Letter ▭/▯、8 × 13 ▭*3、16K ▯、8K ▭
トレイ 3	A3 ▭ ～ A5 ▭、12 × 18 ▭*2 ～ Letter ▭/▯、8 × 13 ▭*3、16K ▯、8K ▭
1 段 /2 段給紙キャビネット	A3 ▭ ～ A5 ▭、11 × 17 ▭ ～ Letter ▭/▯、8 × 13 ▭*3、16K ▯、8K ▭
トレイ 4（大容量）	A4 ▯、Letter ▯
両面印刷	A3 ▭ ～ A5 ▭/▯、12-1/4 × 18 ▭*2、12 × 18 ▭*2 ～ Statement ▭、 8 × 13 ▭*3、8K ▭、16K ▭/▯

*1 厚紙 4 は A3 ▭、A4 ▯、11 × 17 ▭、Letter ▯ のみ印刷することができます。
*2 A3 よりひと回り大きい用紙サイズです。12-1/4 × 18 は 311.1 × 457.2 mm、12 × 18 は 304.8 × 457.2 mm です。
*3 Foolscap には、220 × 330 mm ▭、8-1/2 × 13 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8 × 13 ▭ の 5 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。本メニューの変更はサービスエンジニアによる作業が必要です。

積載する装置	積載可能サイズ
フィニッシャー FS-519	<第 1 排紙トレイ、第 2 排紙トレイ、増設排紙トレイ> A3 ▭ ～ B6 ▭、A6 ▭、12-1/4 ×18 ▭*2、はがき（100 mm × 148 mm） グループ／ソート：A3 ▭ ～ A5 ▯ ステープル：A3 ▭ ～ A5 ▯ パンチ機能 *1：A3 ▭ ～ B5 ▭/▯
増設排紙トレイ OT-602	
中綴じ機 SD-505	中とじ / 中折り：A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭、B5 ▭
メールビンキット MT-502	A4 ▯、B5 ▯、A5 ▭
フィニッシャー FS-609	<第 1 排紙トレイ> グループ：A3 ▭ ～ A5 ▭/▯、A6 ▭、12-1/4 ×18 ▭*2 ソート：A3 ▭ ～ A5 ▯ ステープル：A3 ▭ ～ B5 ▭/▯ パンチ機能 *1：A3 ▭ ～ B5 ▭/▯ <第 2 排紙トレイ> A3 ▭ ～ A4 ▭

*1　フィニッシャーにオプションのパンチキットを装着した場合に使用できます。
*2　12-1/4 × 18 は A3 よりひと回り大きい 311.1 × 457.2 mm です。

1.3.2　用紙種類および用紙容量

用紙種類 坪量（g/m²） 給紙口・その他	普通紙 60 g/m² ～ 90 g/m²	厚紙 1 91 g/m² ～ 150 g/m²	厚紙 2 151 g/m² ～ 209 g/m²	厚紙 3 210 g/m² ～ 256 g/m²	厚紙 4 257 g/m² ～ 271 g/m²
トレイ 1（手差し）	150 枚	20 枚	20 枚	20 枚	20 枚
トレイ 2/3	500 枚	150 枚	150 枚	150 枚	-
1 段 /2 段給紙キャビネット	500 枚	150 枚	150 枚	150 枚	-
トレイ 4（大容量）	2,500 枚	1,000 枚	1,000 枚	1,000 枚	-

厚紙 3（210 ～ 256 g/m²）、厚紙 4（257 ～ 271 g/m²）での印刷は、厚紙 1、厚紙 2 と同等の印刷結果を保証するものではありません。十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

用紙種類 給紙口・その他	OHP フィルム	はがき	封筒	ラベル用紙	長尺紙 127 g/m² ～ 210 g/m²
トレイ 1（手差し）	20 枚	20 枚	10 枚	20 枚	10 枚
トレイ 2/3	-	-	-	-	-
1 段 /2 段給紙キャビネット	-	-	-	-	-
トレイ 4（大容量）	-	-	-	-	-

1.3.3　専用紙について

OHP フィルムや色紙など、普通紙以外の用紙を専用紙と呼びます。給紙トレイに OHP フィルムや色紙などをセットした場合、必ず正しい種類の専用紙に設定してください。用紙種類が正しくない場合、紙づまりなどの原因となります。

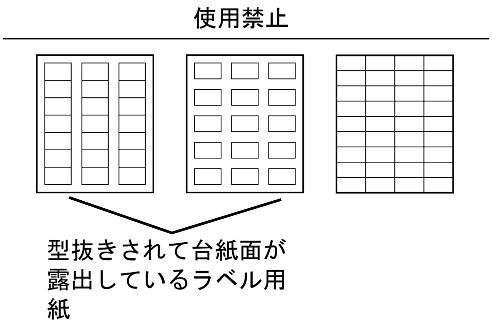
用紙種類	説明
片面専用用紙	坪量 60 g/m² ～ 90 g/m² の普通紙で、両面に印刷したくない用紙（すでに 1 面目に印刷がされている用紙など）をセットする場合に選択します。 片面印刷時には、自動用紙設定で優先して選択されます。 両面印刷時、用紙を自動選択しません。
特殊紙	坪量 60 g/m² ～ 90 g/m² の普通紙で、上質紙などの特別な用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。
レターヘッド紙	坪量 60 g/m² ～ 90 g/m² の普通紙で、あらかじめ社名や定型文などが印刷された用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。
色紙	坪量 60 g/m² ～ 90 g/m² の普通紙で、カラーペーパーをセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。
OHP フィルム	OHP フィルムをセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。OHP フィルムを選択するときは、カラー設定で［グレースケール］を指定してから用紙種類を選択してください。

用紙種類	説明
厚紙 1	坪量 91 g/m^2 ～ 150 g/m^2 の厚手の用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。
厚紙 2	坪量 151 g/m^2 ～ 209 g/m^2 の厚手の用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。
厚紙 3	坪量 210 g/m^2 ～ 256 g/m^2 の厚手の用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。
厚紙 4	坪量 257 g/m^2 ～ 271 g/m^2 の厚手の用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。
封筒	封筒をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。
普通紙両面 2 面目	片面に印刷された用紙をセットする場合に選択します。 両面 2 面目は、トレイ 1（手差し）で普通紙、厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3、厚紙 4 の時にのみ設定できます。
厚紙 1 両面 2 面目	
厚紙 2 両面 2 面目	
厚紙 3 両面 2 面目	
厚紙 4 両面 2 面目	

1.3.4　　用紙使用上の注意

以下の用紙は使用しないでください。
印刷品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 1 度通紙した OHP フィルム（白紙状態で排紙された OHP フィルムでも再使用できません。）
- 熱転写プリンターやインクジェットプリンターで印刷された用紙
- 厚すぎる用紙や薄すぎる用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後長期間経過した用紙
- 吸湿した用紙、バインダー用の穴が開いている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙、アイロンプリント紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボスなどの加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステープル、クリップなどでとじられている用紙
- ラベルが貼られている用紙
- リボンやフック、ボタンなどの付いている用紙
- はがれやすいラベル用紙
- 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル用紙
- 最初から断裁されているラベル用紙



封筒では、封の部分は印刷保証外です。

1.3.5　用紙の保管

- 用紙は、湿気の少ない冷暗所に保存してください。
- 用紙が湿気をおびると、紙づまりの原因になります。
  トレイにセットしきれなかった用紙は、包装紙に包み、または包装紙から取出した用紙はポリ袋に入れ、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 用紙は、立てて置かずに水平に保管してください。用紙にカールがついて、紙づまりの原因になります。
- 幼児や子供の手の届くところには置かないようにしてください。

1.3.6　ATS 機能（自動トレイ切換え機能）

連続印刷中、選択した給紙トレイの用紙が無くなった場合、以下の動作条件を満たした他の給紙トレイがあれば、自動的に給紙トレイを切換えて印刷を続けます。オプションのトレイ 4（大容量）を装着した場合、最大 3,650 枚（A4 の場合）の連続印刷が可能となります。（ユーザー設定機能の ATS 許可で「許可する」が設定されている場合のみ可能となります。）

＜動作条件＞

- 同じサイズの用紙
- 同じ向きの用紙
- 同じ種類の用紙
- 給紙トレイ自動選択で選択されている給紙トレイ

参照

給紙トレイ自動選択で選択される給紙トレイの設定については、「環境設定」（p. 8-17）をごらんください。

1.3.7　給紙トレイ切換え順位

出荷時設定では ATS 機能（自動トレイ切換え機能）がはたらいた場合、以下の優先順位で給紙トレイが選択されます。

標準トレイ時

T2（トレイ 2）→ T3（トレイ 3）→ T1（トレイ 1（手差し））

1 段給紙キャビネット装着時

T2（トレイ 2）→ T3（トレイ 3）→ T4（トレイ 4）→ T1（トレイ 1（手差し））

2 段給紙キャビネット装着時

T2（トレイ 2）→ T3（トレイ 3）→ T4（トレイ 4）→ T5（トレイ 5）→ T1（トレイ 1（手差し））

トレイ 4（大容量）装着時

T2（トレイ 2）→ T3（トレイ 3）→ T4（トレイ 4）→ T1（トレイ 1（手差し））

参照

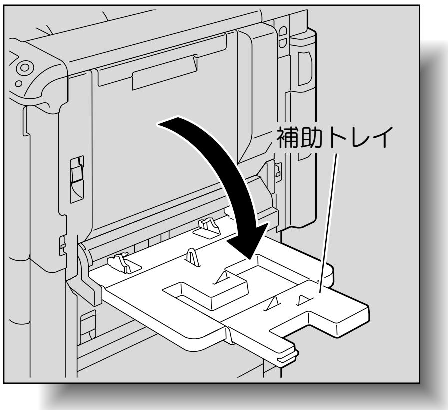
給紙トレイの優先順位を変更したい場合は、「環境設定」（p. 8-17）をごらんください。

1.4.1　トレイ 1（手差し）へ用紙をセットする

給紙トレイにセットされていないサイズの用紙や、厚紙 4、はがき、封筒、OHP フィルム、ラベル用紙に印刷したい場合にトレイ 1 を使用します。

1 トレイ 1 を開きます。

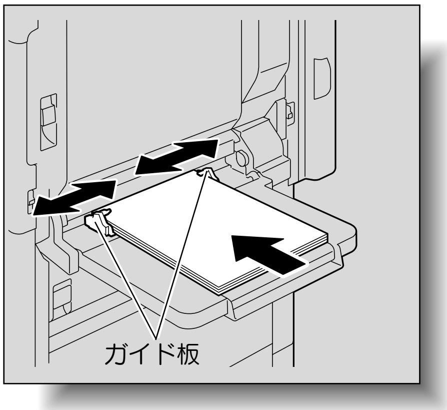
❍ 大きなサイズの用紙をセットする場合は、補助トレイを開きます。



2 印刷面を下向きにし、用紙の先端を奥まで差込んでセットします。

3 ガイド板をスライドさせ、用紙のサイズに合わせます。

❍ 必要に応じてペーパーサイズ、ペーパータイプを設定してください。
詳しくは、「用紙設定メニュー」（p. 8-17）をごらんください。



必ず守ってください

不定形サイズをセットした場合は、用紙サイズを設定してください。

詳しく説明します

厚紙 4 は A3 、A4 、11 × 17 、Letter のみ印刷することができます。

参照

トレイ 1 の用紙サイズの設定については、「用紙設定メニュー」（p. 8-17）をごらんください。

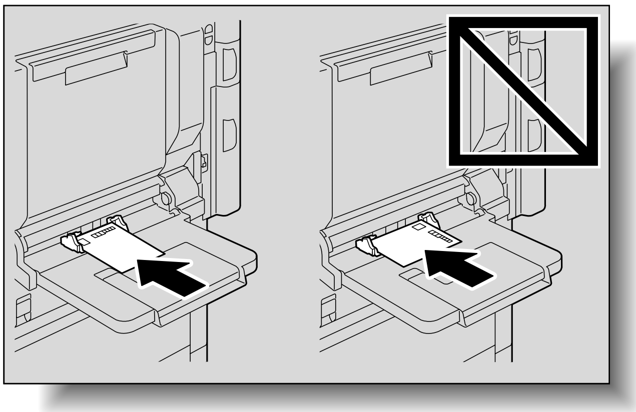
必ず守ってください

- 用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。
- ガイド板を確実に用紙の端面に合わせてください。
- 用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。

詳しく説明します

セットする用紙の下面に画像が印刷されます。

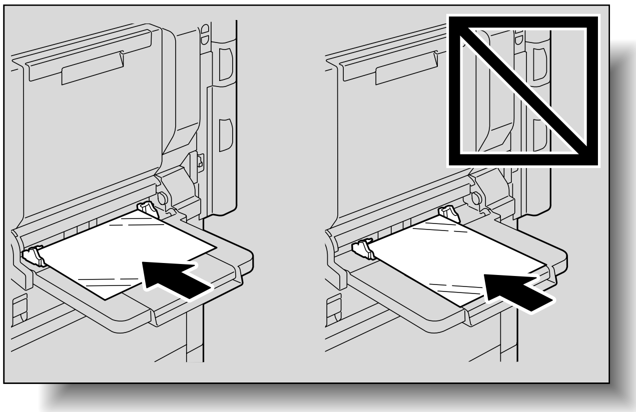
＜はがきの場合＞



必ず守ってください

- はがきをセットする場合は、図のように 方向にセットしてください。 方向にはセットしないでください。
- トレイ 1 には最大 20 枚のはがきをセットできます。

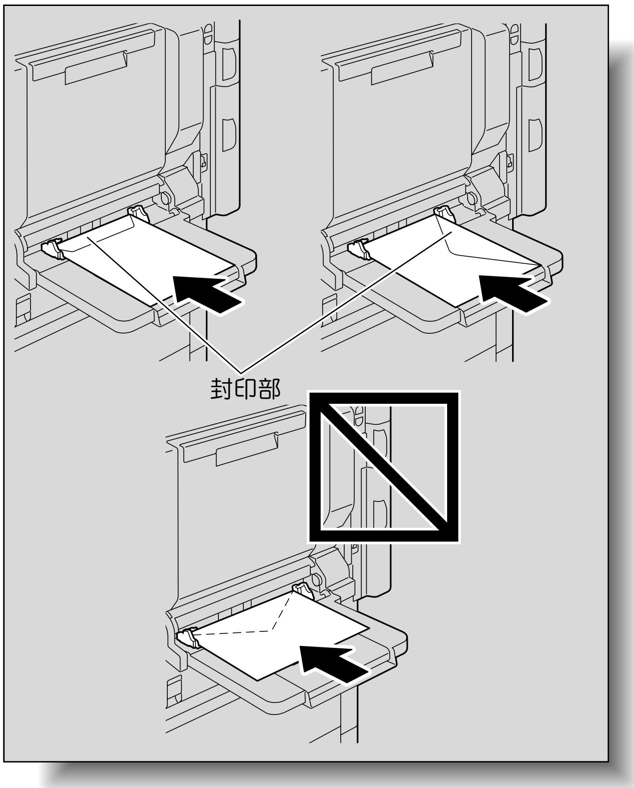
＜ OHP フィルムの場合＞



必ず守ってください

- OHP フィルムをセットする場合は、図のように 方向にセットしてください。 方向にはセットしないでください。
- トレイ 1 には最大 20 枚の OHP フィルムをセットできます。

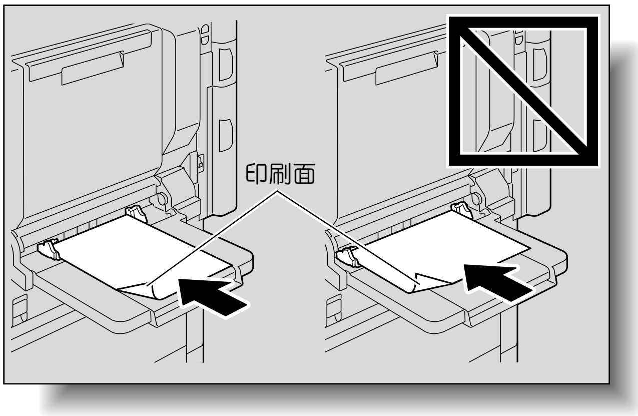
＜封筒の場合＞



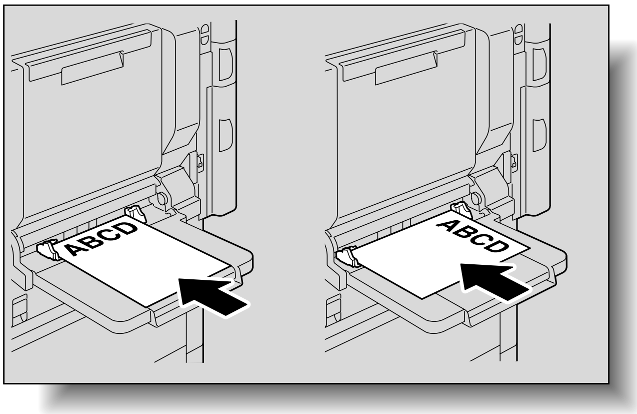
必ず守ってください

- 封筒をセットする場合は、封筒内部の空気を押出し、封筒の折り目をしっかり押さえてください。空気が残っていたり、折り目がしっかり押さえられていないと、紙にしわができたり、紙づまりの原因になります。
- 封筒をセットする場合は、図のように封印部を上側にしてセットしてください。封印部を下側にしてセットすると紙づまりの原因になります。封印部側に印刷はできません。
- トレイ 1 には最大 10 枚の封筒をセットできます。

＜ラベル用紙の場合＞



＜レターヘッド紙の場合＞



必ず守ってください

- ラベル用紙をセットする場合は、図のように方向にセットしてください。方向にはセットしないでください。
- トレイ 1 には最大 20 枚のラベル用紙をセットできます。

必ず守ってください

レターヘッド紙をセットする場合は、印刷面を上側に向けてセットしてください。

必ず守ってください

- はがき以外をセットした場合は、適した用紙種類に変更してください。
- ラベル用紙を使用する場合は、[厚紙 1] に設定してください。
- OHP フィルムはブラック印刷のみに対応しています。OHP フィルムを選択したときは、画像品質タブのカラー選択で [グレースケール] を指定します。

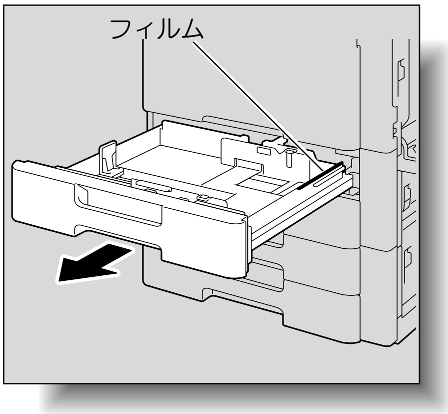
ひとこと

- [はがき] を選択すると、用紙の種類は [厚紙 3] に自動設定されます。プリンタードライバーでは、用紙の種類を [厚紙 3] に設定してください。
- 厚紙 3（210 ～ 256 g/m^2）、厚紙 4（257 ～ 271 g/m^2）での印刷は、厚紙 1、厚紙 2 と同等の印刷結果を保証するものではありません。十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

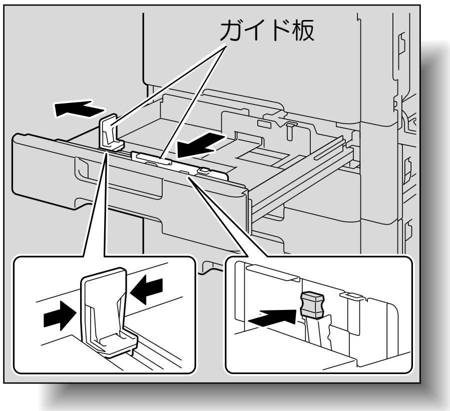
1.4.2　トレイ 2/3/4/5 へ用紙をセットする

用紙のセット方法は、トレイ 2/3/4/5 で同じ手順です。
ここではトレイ 2 へ用紙をセットする場合の手順を説明します。

1 トレイ 2 を引出します。



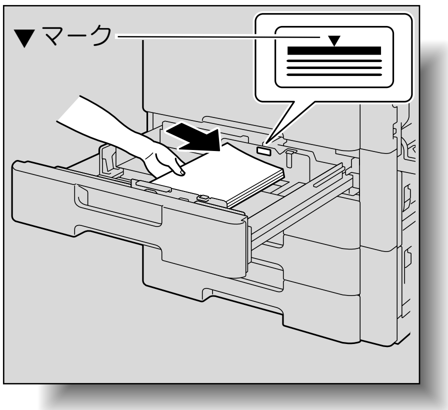
2 ガイド板をスライドさせ、用紙のサイズに合わせます。



3 印刷面（用紙の開封した面）を上向きにして用紙をセットします。

❍ レターヘッド紙は、印刷面を下向きにしてセットします。

<普通紙の場合>



ひとこと

トレイ 4/5 はオプションです。

参照

トレイ 2/3/4/5 へセットできる用紙サイズ、用紙種類については、「用紙について」（p. 1-19）をごらんください。

必ず守ってください

フィルムには手を触れないように注意してください。

必ず守ってください

セットした用紙に対して、ガイド板の位置が合っていない場合、用紙サイズを正しく検出できません。必ずガイド板は、セットした用紙サイズの位置に合わせてください。

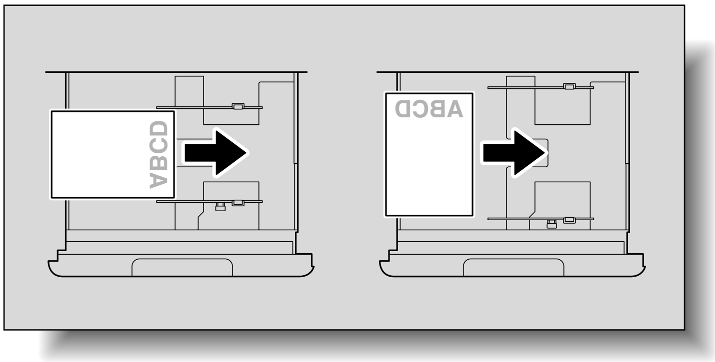
必ず守ってください

- 用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。
- 用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。

ひとこと

- OHP フィルム、厚紙 4、封筒、はがきに印刷したい場合は、トレイ 1 を使用してください。
- レターヘッド紙とは、あらかじめ社名や定型文などが印刷された用紙を呼びます。

<レターヘッド紙の場合>



4 トレイ 2 を閉じます。

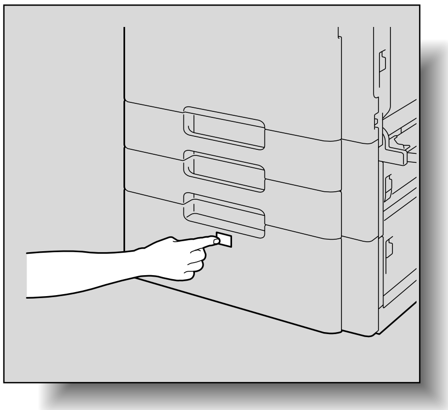
1.4.3　トレイ 4（大容量）へ用紙をセットする

1 トレイ解除ボタンを押します。

トレイ 4（大容量）のロックが解除されて、トレイ 4（大容量）のトレイが少し前にでてきます。

原則

【電源スイッチ】が OFF になっている場合は、トレイ解除ボタンを押してもトレイ 4（大容量）を引出すことができません。【電源スイッチ】を ON にしてください。



必ず守ってください

レターヘッド紙をセットする場合は、印刷面を下向きにしてセットしてください。

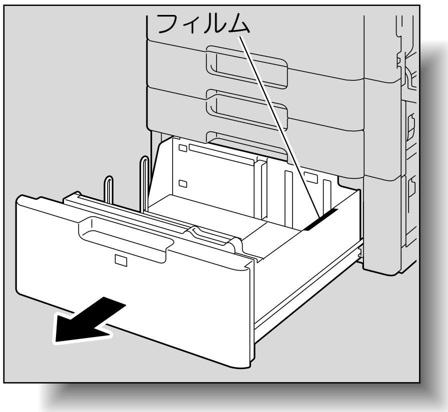
参照

専用紙をセットした場合は、用紙種類の設定が必要です。詳しくは「用紙設定メニュー」（p. 8-17）をごらんください。

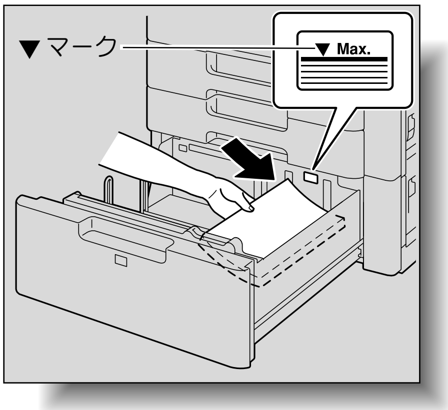
ひとこと

- トレイ 4（大容量）はオプションです。
- 低電力モード時やスリープモード時にトレイ解除ボタンを押してもトレイ 4（大容量）は引出すことができません。
  低電力モード、スリープモードから復帰してください。

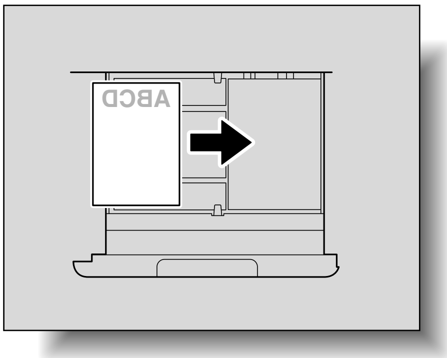
2 トレイ 4（大容量）を引出します。



3 トレイ 4（大容量）の右段に、印刷面（用紙の開封した面）を上向きにして、用紙をセットします。



❍ レターヘッド紙は、印刷面を下向きにしてセットします。



必ず守ってください

フィルムには手を触れないように注意してください。

ひとこと

トレイ 4（大容量）へセットできる用紙サイズ、用紙種類については、「用紙について」（p. 1-19）をごらんください。

必ず守ってください

- 用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。
- 用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。

ひとこと

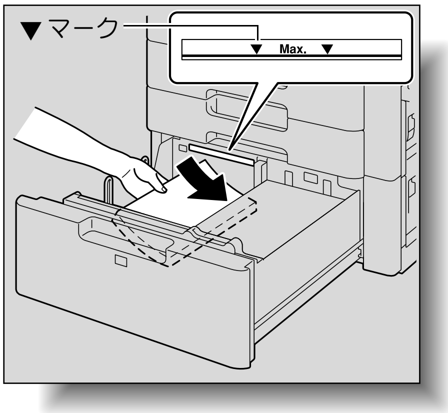
- OHP フィルム、厚紙 4、封筒、はがきに印刷したい場合は、トレイ 1 を使用してください。
- レターヘッド紙とは、あらかじめ社名や定型文などが印刷された用紙を呼びます。

必ず守ってください

レターヘッド紙をセットする場合は、印刷面を下向きにセットしてください。

4

トレイ 4（大容量）の左段に、印刷面（用紙の開封した面）を上向きにして、用紙をセットします。



必ず守ってください

用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。

5

トレイ 4（大容量）を閉じます。

参照

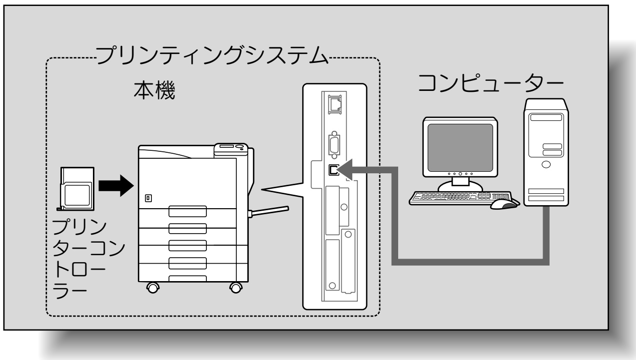
専用紙をセットした場合は、用紙種類の設定が必要です。詳しくは「用紙設定メニュー」（p. 8-17）をごらんください。

1.5 プリンターコントローラーとは

プリンターコントローラーは、本機で印刷機能、ネットワーク印刷機能を実現するための装置です。

1.5.1 プリンターコントローラーの役割

プリンターコントローラーは、本機内で印刷データを処理する部分で、プリンティングシステムの中心の役割を果たします。コンピューターとは、プリンターコントローラーを通して接続することで、アプリケーションから印刷ができます。本機をネットワークプリンターとして使用するときも、プリンターコントローラーを通して接続してコンピューター上のアプリケーションから印刷ができます。



プリンターコントローラーは、以下の機能を持っています。

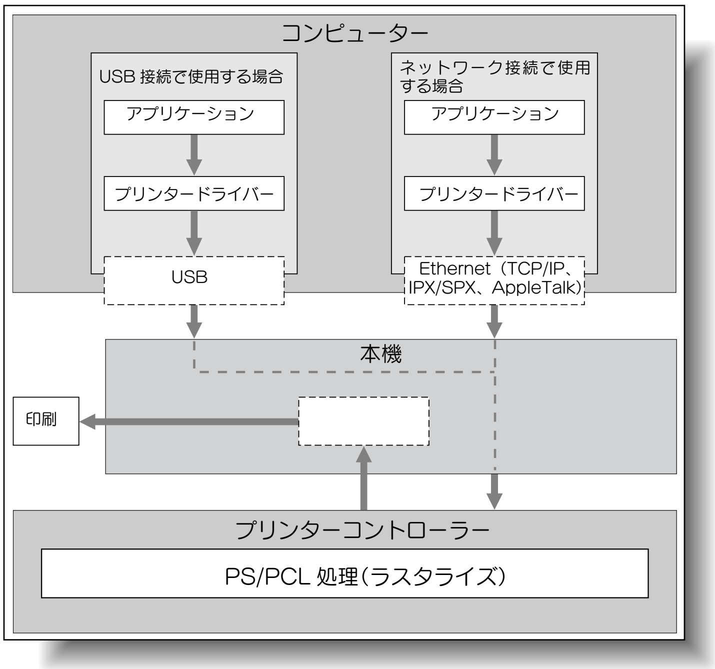
- コンピューター上のプリンタードライバーから送られたデータを印刷する機能
- TCP/IP（IPv4/IPv6)、IPX/SPX、AppleTalk（ Mac OS X 10.2/10.3/10.4/10.5）などのネットワークプロトコルをサポート
- Web サービス印刷（Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2)、SMB 印刷（Windows 印刷)、LPR 印刷、IPP 印刷などを利用した、ネットワーク経由による印刷機能
- ネットワーク経由での、クライアント PC からの本機／プリンターコントローラーの設定（Web ブラウザー使用）
- 印刷枚数の管理（ユーザー認証・部門管理機能）

1.5.2　印刷の流れ

本プリンティングシステムを使用するときの大まかな処理の流れは以下のとおりです。

アプリケーションから送られた印刷コマンドは、プリンタードライバーが受け取ります。

USB 接続で使用する場合は USB インターフェース、ネットワーク接続で使用する場合は Ethernet（TCP/IP、IPX/SPX、AppleTalk）を通じてデータが本機に送られ、プリンターコントローラーに渡されます。プリンターコントローラーでは画像のラスタライズ（出力する文字や画像をビットマップデータに展開する）処理が行われ、本機の印刷機構により印刷が実行されます。



1.6　動作環境

本プリンティングシステムを使うために必要なシステムと、接続に使用するインターフェースについて説明します。

1.6.1　　接続できるコンピューターと OS

接続するコンピューターが、以下の条件を満たしていることを確認してください。

■ Windows

オペレーティングシステム	Windows NT Workstation/Server Version4.0（Service Pack 6 以降）、Windows 2000 Professional/Server（Service Pack 3 以降）、Windows XP Home Edition/Windows XP Professional、Windows XP Professional x64 Edition、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition、Windows 7 Home Basic/Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate、Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate x64 Edition、Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition、Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64 Edition、Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨するメモリ容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリリソースが十分であること。
ドライブ	CD-ROM ドライブ
Web ブラウザー（PageScope Web Connection 使用時）	Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Netscape Navigator Ver.7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Mozilla Firefox Ver.1.0 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Adobe® Flash®（表示形式で Flash を選択する場合は、Ver.7.0 以降のプラグイン必須）

■ Macintosh

オペレーティングシステム	Mac OS 9.2/Mac OS X（10.2.8 、10.3、10.4、10.5、10.6）
CPU	PowerPC、Intel プロセッサー （Intel プロセッサーは、Mac OS X 10.4/10.5/10.6 のみ）
メモリ	OS が推奨するメモリ容量
ドライブ	CD-ROM ドライブ
Web ブラウザー（PageScope Web Connection 使用時）	Netscape Navigator Ver.7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Mozilla Firefox Ver.1.0 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Adobe® Flash®（表示形式で Flash を選択する場合は、Ver.7.0 以降のプラグイン必須）

1.6.2　接続に使用するインターフェース

本プリンティングシステムとコンピューターを接続するには、以下の種類のインターフェースが使用できます。

■ Ethernet

本プリンティングシステムをネットワーク接続で使用するときに利用します。

1000Base-T、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP（LPD/LPR、IPP、SMB）、Web サービス、IPX/SPX（NetWare）、AppleTalk（EtherTalk）などに対応しています。

■ USB インターフェース

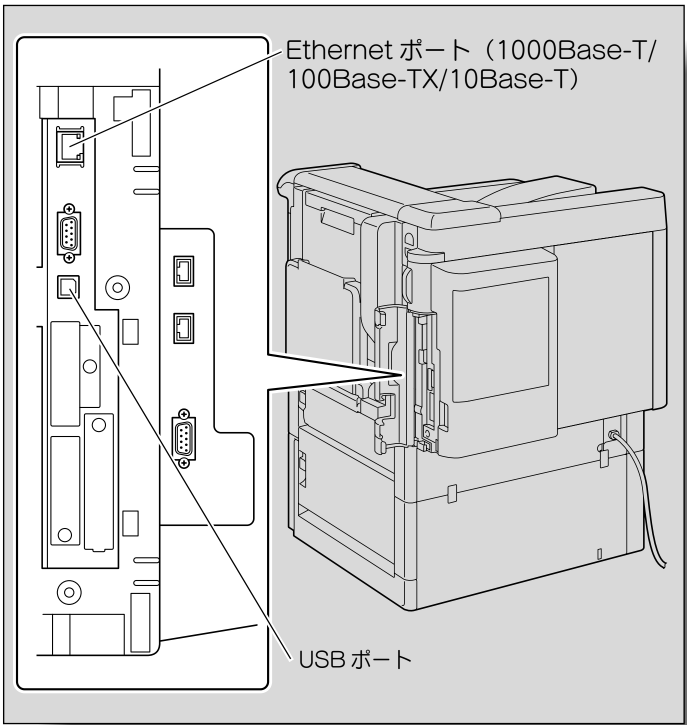
本プリンティングシステムを USB 接続で使用するときに利用します。

Windows コンピューターで接続できます。接続には USB ケーブルが必要です。USB ケーブルは A タイプ（4 ピンオス）- B タイプ（4 ピンオス）のものを使用してください。USB ケーブルは 3 m 以下をおすすめいたします。

■ 接続図

プリンターケーブルは、本機の各ポートに接続します。

本機背面



1.6.3　各 OS にインストールできるプリンタードライバー

本プリンティングシステムを使用するためには、プリンタードライバーのインストールが必要です。

付属の CD に含まれるプリンタードライバーと、対応しているコンピューターの OS は以下のとおりです。必要なプリンタードライバーを選択してください。

プリンタードライバー	ページ記述言語	対応 OS
PCL コニカミノルタ製ドライバー（PCL ドライバー）	PCL6	Windows NT Workstation/Server Version4.0（Service Pack 6 以降） Windows 2000 Professional/Server（Service Pack 3 以降） Windows XP Home Edition/Windows XP Professional、Windows XP Professional x64 Edition Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition Windows 7 Home Basic/Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate、Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate x64 Edition、Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition、Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64 Edition、Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise
PostScript コニカミノルタ製ドライバー（PS ドライバー）	PostScript 3 Emulation	Windows 2000 Professional/Server（Service Pack 3 以降） Windows XP Home Edition/Windows XP Professional、Windows XP Professional x64 Edition Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition Windows 7 Home Basic/Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate、Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate x64 Edition、Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition、Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64 Edition、Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise
PostScript PPD ドライバー（PS-PPD）		Mac OS 9.2 以降 Mac OS X 10.2.8/10.3/10.4/10.5/10.6

ひとこと

ページ記述言語は、印刷に使用するアプリケーションに応じて選択してください。

1.7 セットアップの流れ

本プリンティングシステムをご使用いただくためには、セットアップを行う必要があります。

セットアップとは、本機とコンピューターを接続し、プリンタードライバーをコンピューターへインストールする一連の準備をいいます。

セットアップする場合は、以下の流れとなります。

1.7.1 ネットワーク接続の場合

1. 本機とコンピューターを接続します。
2. 使用するコンピューターがネットワークに接続されていることを確認します。
3. 本機の IP アドレスを設定し、ネットワークに接続します。
4. 接続方法やプロトコルに応じて、本機のネットワーク設定を変更します。
   - LPR :「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。
   - Port9100 :「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を使用可能にしておきます。
   - SMB :「SMB 設定」の「プリント設定」を設定しておきます。
   - IPP/IPPS :「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。IPPS 印刷の場合は、本機に証明書をインストールしておきます。
   - Web Service :「Web サービス設定」でプリント機能を使用可能にしておきます。
   - Boujour :「Bonjour 設定」で Bonjour を使用可能に設定しておきます。
   - AppleTalk :「AppleTalk 設定」で AppleTalk を使用可能に設定しておきます。
5. プリンタードライバーをインストールします。
   - 接続方法やプロトコルに応じてプリンタードライバーのネットワークポートを設定します。
6. スクリーンフォントをインストールします。
   - プリンタードライバーの CD-ROM には、欧文の TrueType フォントが「スクリーンフォント」として添付されています。スクリーンフォントは CD-ROM の ScreenFont または、Screen Fonts フォルダーにあります。
   - インストールについては、OS 標準のフォントの追加から行います。詳細は、OS のヘルプをごらんください。
   - Mac のフォントの場合は、フォントが圧縮されていますので、解凍後、インストールをしてください。

ひとこと

プリンタードライバーのインストール後は、印刷テストを行い、接続に問題がないことを確認してください。

参照

- 接続できるインターフェースについては、「接続に使用するインターフェース」（p. 1-34）をごらんください。
- ネットワークの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。
- プリンタードライバーのインストールは、本機との接続方法やご使用になるコンピューターの OS、プリンタードライバーの種類によって、手順が異なります。詳しくは、「Windows プリンタードライバーのインストール」（p. 3-1）、「Macintosh プリンタードライバーのインストール」（p. 4-1）をごらんください。
- 既存のプリンタードライバーをアップデートする場合は、先に既存のプリンタードライバーを削除してください。詳しくは、「アンインストール」（p. 3-45）、「アンインストール」（p. 4-21）をごらんください。
- 必要に応じて、操作パネルの設定メニューでインターフェースのタイムアウト設定を行います。詳しくは、「プリンター設定」（p. 8-25）をごらんください。

ひとこと

スクリーンフォントのインストールはオプションの HDD が装着されている場合のみ可能です。

1.7.2　ローカル接続の場合

1. 本機とコンピューターを接続します。
2. プリンタードライバーをインストールします。
3. スクリーンフォントをインストールします。
   - プリンタードライバーの CD-ROM には、欧文の TrueType フォントが「スクリーンフォント」として添付されています。スクリーンフォントは CD-ROM の ScreenFont または、Screen Fonts フォルダーにあります。
   - インストールについては、OS 標準のフォントの追加から行います。詳細は、OS のヘルプをごらんください。

ひとこと

スクリーンフォントのインストールはオプションの HDD が装着されている場合のみ可能です。

1.8　CD-ROM の構成

プリンターコントローラー用の CD には、以下のものがあります。

- magicolor 8650 Driver CD
- アプリケーション CD（PageScope Utilities）
- Documentation CD

各 CD には、プリンタードライバー（Windows 用、Macintosh 用）やユーティリティのほかに、ユーザーズガイド、リリースノートなどのドキュメントデータやスクリーンフォントが収録されています。

ひとこと

・ユーザーズガイドでは、フォルダー名やファイル名をルートから記述していない場合があります。
・ファイルは全て JA（Japanese）フォルダー内のものをご使用ください。

1.9　認証方式

本機の使用を制限するユーザー認証や部門管理の設定ができます。

ユーザー認証は個人を管理するとき、部門管理はグループや複数のユーザーを管理するときに設定するのが適しています。

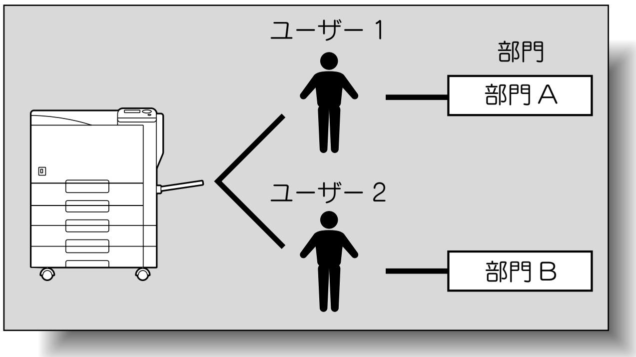
ユーザー認証と部門管理を組合わせて使用すると、ユーザー別に各部門のカウント管理ができます。

1.9.1　ユーザー認証と部門管理について

ユーザー認証と部門管理は、それぞれ以下の機能があります。

- ユーザー認証
  - 操作可能な機能を制限する
  - ユーザーごとに出力のカウントを行う
  - カラー／ブラックの使用制限と枚数制限をする
  - 各ユーザー所有の個人ボックス、グループボックスの操作をする
  - 他のユーザーのジョブを削除禁止する
- 部門管理
  - 部門ごとに出力のカウントを行う
  - カラー／ブラックの使用制限と枚数制限をする
  - グループボックスの操作をする

1.9.2　ユーザー認証と部門管理を連動する場合



本機を複数の部署で使用する場合に、各社員を部署ごとに管理して利用するときに適しています。この設定をすると、社員別（ユーザー別）に集計をとったり、部署ごと（部門ごと）に集計をとることができます。

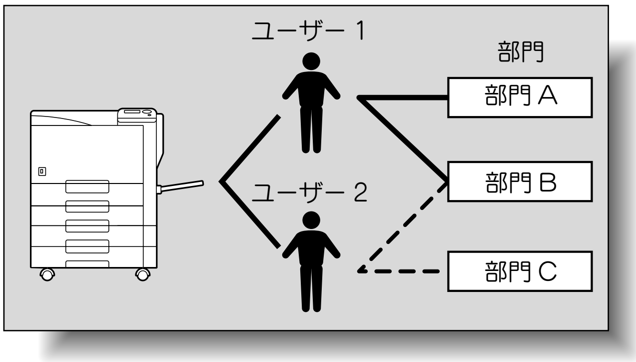
このように管理する場合、認証方式は以下のように設定します。

認証方式の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証	［外部サーバー認証］、［本体装置認証］のどちらかを選択します。
部門管理	［管理する］を選択し、部門名とパスワードを設定します。
ユーザー認証 / 部門認証の連動	［連動する］を選択します。
ユーザー登録 / 所属部門	本体装置認証選択時は、所属部門を設定します。

ひとこと

- 本機では、ユーザー認証と部門管理は HDD 装着時に合計 1,000 件、HDD を装着していない場合は 30 件まで登録できます。
- 認証方式が設定されていると、印刷時に認証情報が必要です。ユーザー認証 / 部門認証して印刷するには、ユーザー名、パスワードなどを入力する必要があります。詳しくは、「ユーザー認証を設定している本機で印刷する」（p. 7-20）、「部門管理機能を使用している本機で印刷する」（p. 7-23）をごらんください。
- 認証方式が設定されていると、本機の「ジョブ操作」機能を利用するときに認証画面が表示されます。ユーザー認証 / 部門認証して本機を使用するには、ユーザー名、パスワードなどを入力ログインする必要があります。詳しくは、「ジョブ操作メニュー」（p. 8-16）をごらんください。
- オプションの認証装置が装着されている場合は、認証装置でログインできます。
- ユーザー認証と部門管理は連動しないで設定することができます。

1.9.3　ユーザー認証と部門管理でそれぞれ認証する場合



本機を複数の社員で使用する場合に、それぞれの社員が複数の業務を行い、業務単位の集計をとるときに適しています。この設定をすると、社員別（ユーザー別）に統計をとったり、業務別（部門別）に集計をとることができます。また社員 1、社員 2 で同じ業務をする場合も、社員別（ユーザー別）、業務別（部門別）に集計がとれます。

このように管理する場合、認証方式は以下のように設定します。

認証方式の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証	［外部サーバー認証］、［本体装置認証］のどちらかを選択します。
部門管理	［管理する］を選択し、部門名とパスワードを設定します。
ユーザー認証 / 部門認証の連動	［連動しない］を選択します。

1.10　ボックス機能とは

ボックス機能は、本機に内蔵されたハードディスクに印刷データを保存、出力できる機能です。目的に応じたボックスを作成し、指定したボックスにデータを保存しておくことができます。

原則

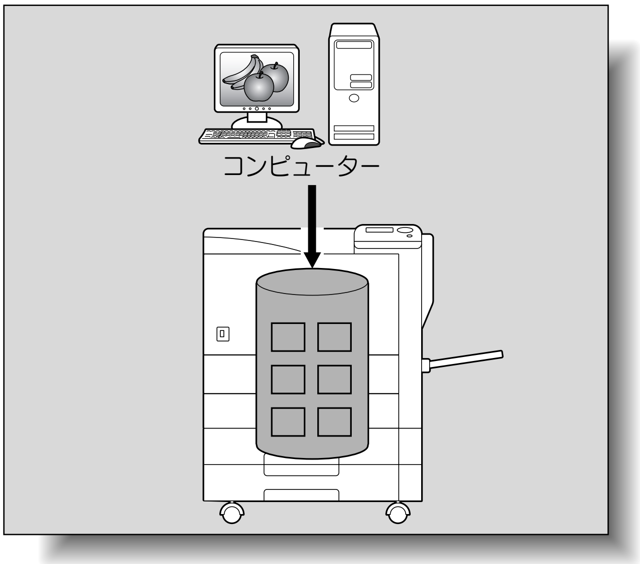
ボックス機能は本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用可能となります。

1.10.1　ボックス機能でできること

■ 保存

ボックス別に以下のような保存ができます。

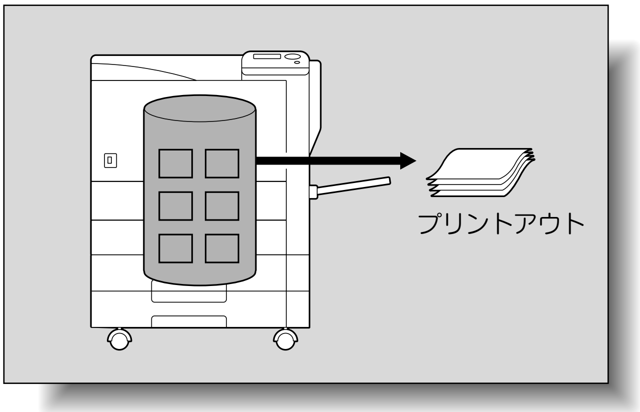
保存先ボックス	説明	参照先
共有ボックス / 個人ボックス / グループボックス	ネットワーク上のコンピューターからプリンタードライバーのボックス保存印刷でボックスを指定して印刷すると、文書を保存できます。 ユーザー認証や部門管理の状態により、個人ボックスやグループボックスなど、利用できる人を制限するボックスが存在します。	p. 7-10
ファイリングナンバーボックス	ネットワーク上のコンピューターからプリンタードライバーのボックス保存印刷でボックスを指定して印刷すると保存できます。 保存した文書データに日付 / 時刻やファイリング番号の画像を付加して印刷する文書を保存できます。	p. 7-14
セキュリティー文章ボックス	ネットワーク上のコンピューターからプリンタードライバーでセキュリティー印刷を選択して印刷すると保存できます。	p. 7-5
暗号化 PDF ボックス	PageScope Web Connection のダイレクトプリント機能でパスワード付の PDF をダウンロードすると保存できます。	p. 7-18
タッチアンドプリントボックス	オプションの認証装置 AU-101/201 が装着され、タッチ＆プリント設定が有効になっている状態でプリンタードライバーからユーザー認証設定を正しくおこなって印刷すると保存されます。	p. 7-26



■ 利用

ボックスに保存した文書は、本機の「ジョブ操作」機能で取り出します。
ボックス別に以下のような利用ができます。

保存先ボックス	説明	参照先
共有ボックス / 個人ボックス / グループボックス	保存した文書を印刷できます。複数の文書をまとめて選択し、印刷することもできます。 ユーザー認証や部門管理の状態により、個人ボックスやグループボックスなど、利用できる人を制限するボックスが存在します。	p. 7-13
セキュリティー文書ボックス	保存された文書の印刷ができます。印刷には ID とパスワードを入力します。	p. 7-8
ファイリングナンバーボックス	保存した文書データに日付 / 時刻やファイリング番号の画像を付加して印刷ができます。	p. 7-17
暗号化 PDF ボックス	保存された文書の印刷ができます。印刷にはあらかじめ設定されたパスワードが必要です。	p. 7-19
タッチ＆プリントボックス	オプションの認証装置 AU-101/201 が装着され、タッチ＆プリント設定が有効になっているときに表示されます。 認証装置にタッチしてログインすると、プリンタードライバーからプリント指示した文書が印刷されます。	－



1.10.2　ボックス機能を使うための設定

ボックス機能を使用する前に、あらかじめ以下の設定をすませておくことをおすすめします。

■ ボックスの登録

文書を保存するボックスを登録します。登録はネットワーク上のコンピューターから PageScope Web Connection を使って設定します。設定できるボックスは以下のとおりです。

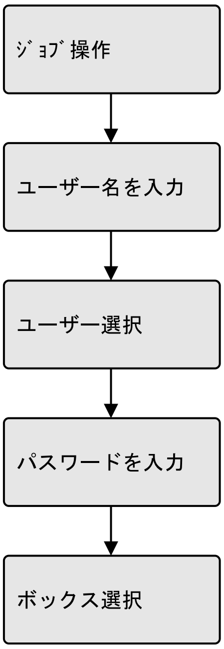
- 共有ボックス / 個人ボックス / グループボックス（p. 9-21）
- ファイリングナンバーボックス（p. 9-23）

1.10.3　　ユーザーの認証

本機の「ジョブ操作」機能を利用するとき、部門名やユーザー名、パスワードを入力するよう設定されている機器があります。使用できる部門名やユーザー名は管理者に確認してください。

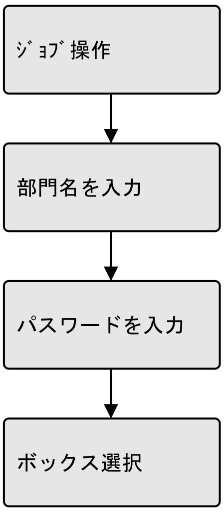
■ 本体装置認証

ユーザー名とパスワードを入力してログインします。



■ 部門認証

部門名とパスワードを入力してログインします。



ひとこと

- ユーザー認証の場合、ログインしたユーザーが参照できるボックスのみが表示されます。詳しくは、「認証と参照できるボックス」(p. 1-45) をごらんください。
- 管理者設定の「認証操作禁止機能」でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、そのユーザーがロックされて使用できなくなります。操作禁止状態の解除については管理者にお問い合わせください。

1.10.4　ボックス登録の制限

■ 共有ボックス / 個人ボックス / グループボックス

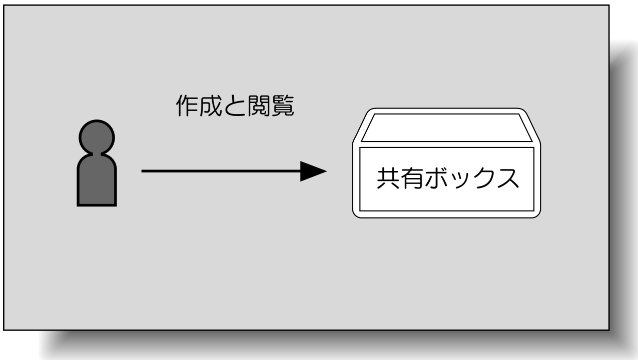
ボックスには複数の人数で使用できる「共有タイプ」のボックスと個人で使用できる「個人タイプ」のボックス、部門管理時にログインした部門のユーザーが使用できるグループボックスがあります。これらのボックスの制限は以下のとおりです。

- 文書データを保存する前に、保存先となるボックスを作成しておきます。
- 作成できるボックスの数は最大 1000 個です。
- 1 つのボックスに保存できる文書は最大 200 文書です。
- 全てのボックスで保存できるのは最大 10000 ページです。
- 全てのボックスで保存できるのは最大 3000 文書です。

1.10.5　　認証と参照できるボックス

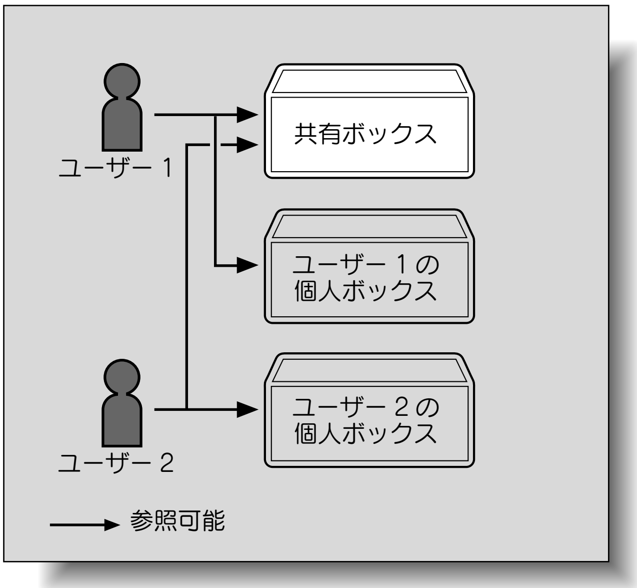
ユーザー認証や部門管理を行っている場合、参照できるボックスの種類や権限は以下のように変わります。ユーザー認証や部門管理を行う場合は、それぞれの特徴を理解して設定してください。

■ ユーザー認証、部門管理を行っていない場合



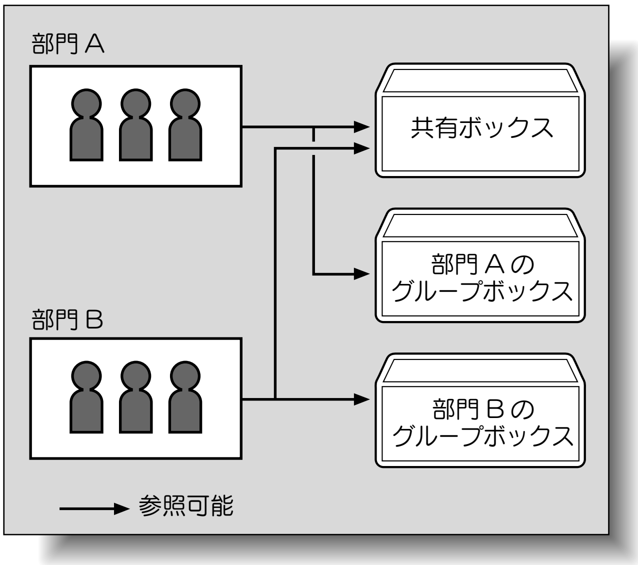
- ユーザーは共有ボックスを参照できます。
- ユーザー、管理者が作成するボックスは「共有ボックス」となります。

■ ユーザー認証だけを行っている場合



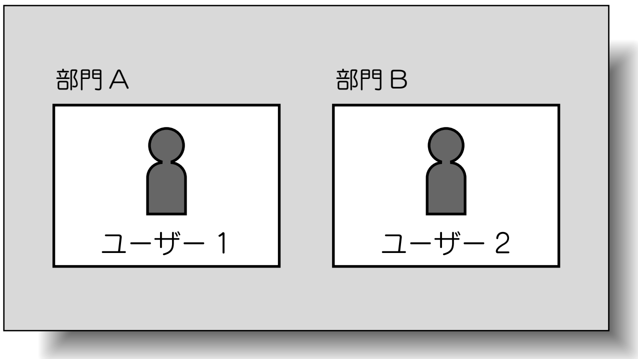
- ユーザーは共有ボックスと、ユーザーが作成した個人ボックスを参照できます。
- 個人ボックスは他のユーザーからは参照できません。
- ユーザー認証を解除したり認証方式を変更することで認証データが削除されると、個人ボックスはすべて共有ボックスに変わります。

■ 部門管理だけを行っている場合

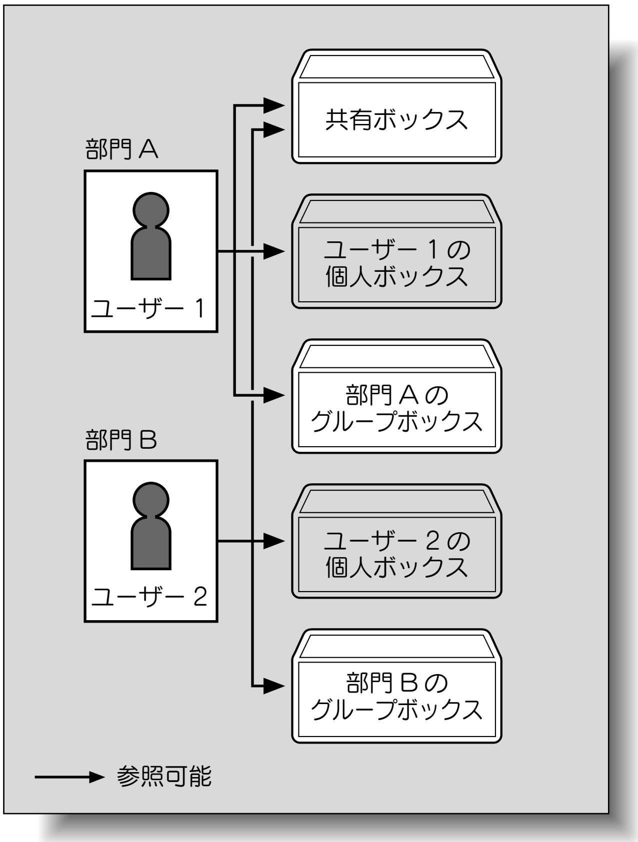


- ユーザーは共有ボックスと、所属する部門のグループボックスを参照できます。
- 部門管理を解除したり認証方式を変更することで認証データが削除されると、グループボックスはすべて共有ボックスに変わります。

■ ユーザー認証、部門管理を行い、連動している場合

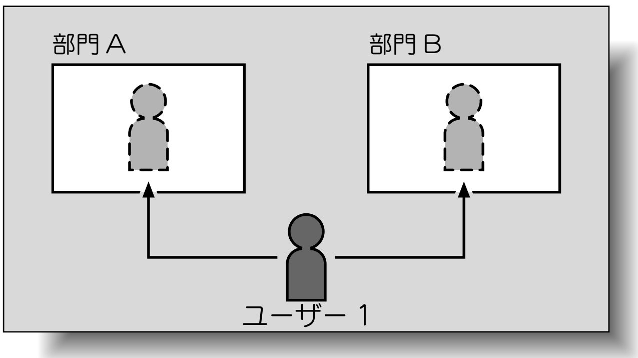


所属する部門があらかじめ登録されているため、ユーザーは所属していない部門のグループボックスは参照できません。

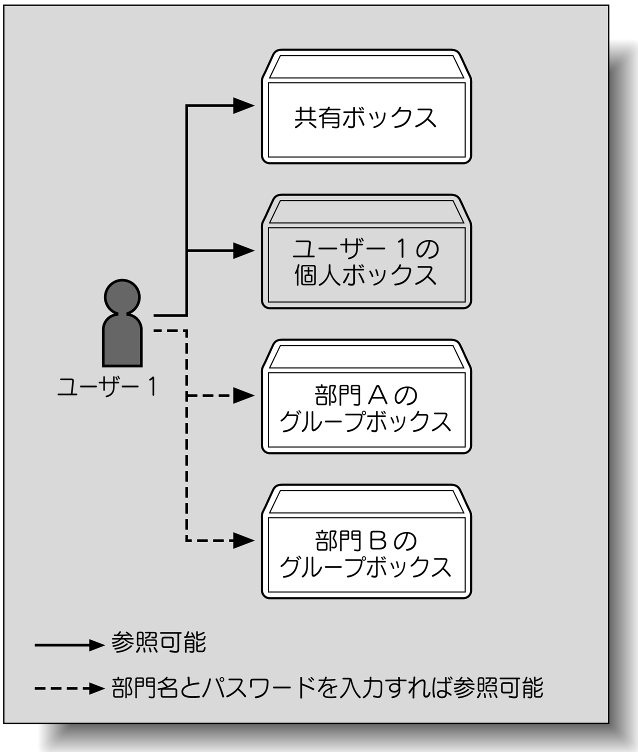


- ユーザーは共有ボックス、所属する部門のグループボックス、ユーザーが作成した個人ボックスを参照できます。
- 個人ボックスは他のユーザーからは参照できません。
- ユーザー認証を解除したり認証方式を変更することで認証データが削除されると、個人ボックス、グループボックスはすべて共有ボックスに変わります。

■ ユーザー認証、部門管理を行い、連動していない場合



所属する部門があらかじめ登録されていないため、ユーザーはログイン時に部門名とパスワードを入力します。ログインするたびに違う部門のメンバーとして部門のグループボックスを参照することができます。



- ユーザーは共有ボックスとユーザーが作成した個人ボックスを参照できます。
- 個人ボックスは他のユーザーからは参照できません。
- ユーザーはログイン時に部門名とパスワードを入力すれば、その部門のグループボックスを参照できます。
- ユーザー認証を解除したり認証方式を変更することで認証データが削除されると、個人ボックス、グループボックスはすべて共有ボックスに変わります。

第 2 章
ネットワーク設定

本機をネットワークに接続して印刷するための設定方法を、PageScope Web Connection を使用して説明します。

2.1 TCP/IP で通信するための基本設定を行う

TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。本機をネットワークに接続して使用するためには、あらかじめこの設定を行ってください。

必ず守ってください

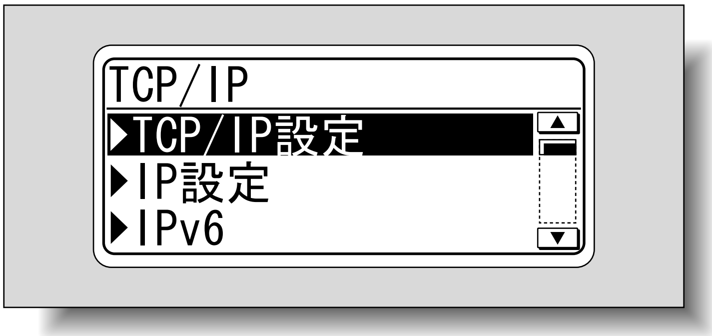
全てのネットワーク設定の変更を有効にするには、本機の主電源を入れなおしてください。
主電源スイッチをオフ / オンする場合は、主電源をオフにして、10 秒以上経過してからオンにしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

■ TCP/IP 設定

操作パネルの［システム設定］－［ネットワーク設定］－［TCP/IP］を選択します。
以下の設定を行います。

参照

操作パネルの設定画面操作について詳しくは、「操作パネルについて」（p. 8-2）をごらんください。



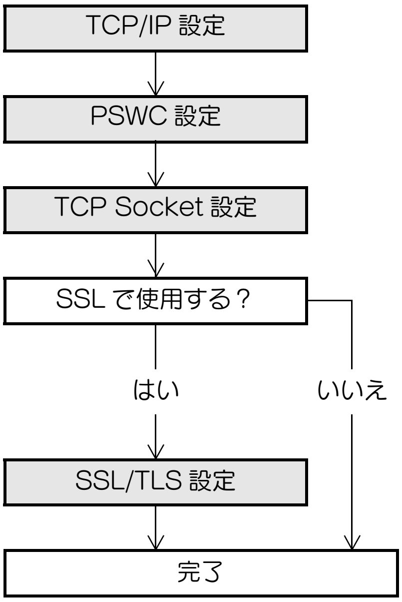
項目	説明	事前確認
TCP/IP 設定	［使用する］を選択します。	
IP 設定 /IP 確定方法	IP アドレスを自動取得するか、直接設定するかを選択します。	IP 確定方法
IP アドレス	IP アドレスを直接設定する場合は、本機の IP アドレスを設定します。	本機の IP アドレス
サブネットマスク	IP アドレスを直接設定する場合は、接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。	本機のサブネットマスク
デフォルトゲートウェイ	IP アドレスを直接設定する場合は、接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。	本機のデフォルトゲートウェイ
Dynamic DNS 設定	Dynamic DNS 機能をサポートしている DNS サーバーに、［ホスト名］で設定したホスト名を自動で登録する場合は、［有効］を選択します。	Dynamic DNS か
ホスト名	本機のホスト名を設定します（半角 63 文字以内）。	
DNS ドメイン名自動取得	DNS ドメイン名の自動取得を行うかどうかを選択します。DHCP が有効の場合に設定できます。	DHCP で自動取得可能か
DNS デフォルトドメイン名	DNS ドメイン名を自動取得しない場合は、本機が所属するドメイン名を設定します（ホスト名と合わせて半角 255 文字以内）。	デフォルトドメイン名
DNS 検索ドメイン名 1 ～ 3	DNS 検索ドメイン名を設定します（半角 253 文字以内）。	
DNS サーバー自動取得	DNS サーバーアドレスの自動取得を行うかどうかを設定します。 DHCP が有効の場合に設定できます。	DHCP で自動取得可能か
優先 DNS サーバー	DNS サーバーアドレスを自動取得しない場合は、優先 DNS サーバーのアドレスを設定します。	サーバーのアドレス
代替 DNS サーバー 1 ～ 2	代替 DNS サーバーのアドレスを設定します。	サーバーのアドレス

2.2 PageScope Web Connection を使用する

PageScope Web Connection を使用するための設定を行います。本書では PageScope Web Connection を使用して、各目的に必要な設定を行います。

PageScope Web Connection は、プリンターコントローラーに内蔵されている HTTP サーバーが提供する、デバイス管理用ユーティリティです。ネットワーク上のコンピューターで Web ブラウザーを起動し、本機の設定変更や状態確認ができます。本機の操作パネルで行う設定の一部を、手元のコンピューターから操作できます。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



2.2.1 TCP/IP 設定

TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。
詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

2.2.2 PSWC 設定

操作パネルの［システム設定］－［ネットワーク設定］－［HTTP サーバー］を選択します。
以下の設定を行います。

参照

操作パネルの設定画面操作について詳しくは、「操作パネルについて」（p. 8-2）をごらんください。



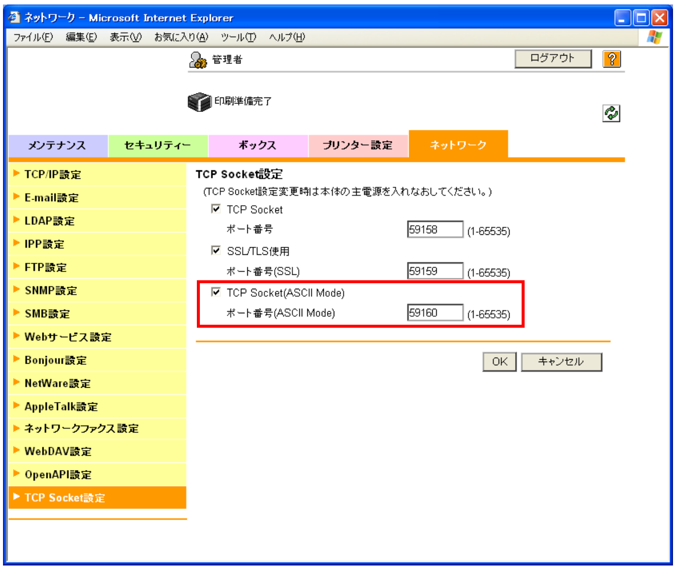
項目	説明	事前確認
PSWC 設定	［使用する］を選択します。	

2.2.3 TCP Socket 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「TCP Socket 設定」を選択します。
以下の設定を行います。

参照

PageScope Web Connection の管理者モードへのログイン方法について詳しくは、「PageScope Web Connection の管理者モードにログインする」（p. 2-5）をごらんください。



項目	説明	事前確認
TCP Socket（ASCII Mode）	Flash 形式で使用する場合は、「TCP Socket（ASCII Mode）」にチェックを付けます。	
ポート番号（ASCII Mode）	ポート番号を設定します。	

2.2.4 SSL/TLS 設定

SSL で通信するための設定を行います。
詳しくは、「本機の証明書を作成して SSL で通信する」（p. 9-45）をごらんください。

2.3 PageScope Web Connection の管理者モードにログインする

PageScope Web Connection で本機の設定を行うためには、管理者モードにログインする必要があります。管理者モードへのログイン方法は、以下のとおりです。

ひとこと

管理者モードにログインしているときは、本機の操作パネルがロックされ、操作できなくなります。
本機の状態によっては、管理者モードにログインできない場合があります。

1 ログイン画面で「管理者」を選択し、［ログイン］をクリックします。

❍ 必要に応じて言語や表示形式を選択します。「警告時、ダイアログ表示する」にチェックを付けると、ログイン後の操作中、警告時にダイアログが表示されます。



2 本機の管理者パスワードを入力します。



3 ［OK］をクリックします。

管理者モードの画面に切替わります。

詳しく説明します

管理者設定の「セキュリティー詳細」－「認証操作禁止機能」でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、管理者モードにログインできなくなります。認証操作禁止機能について詳しくは、「管理者設定メニュー」（p. 8-25）をごらんください。

2.4 ネットワーク印刷の設定

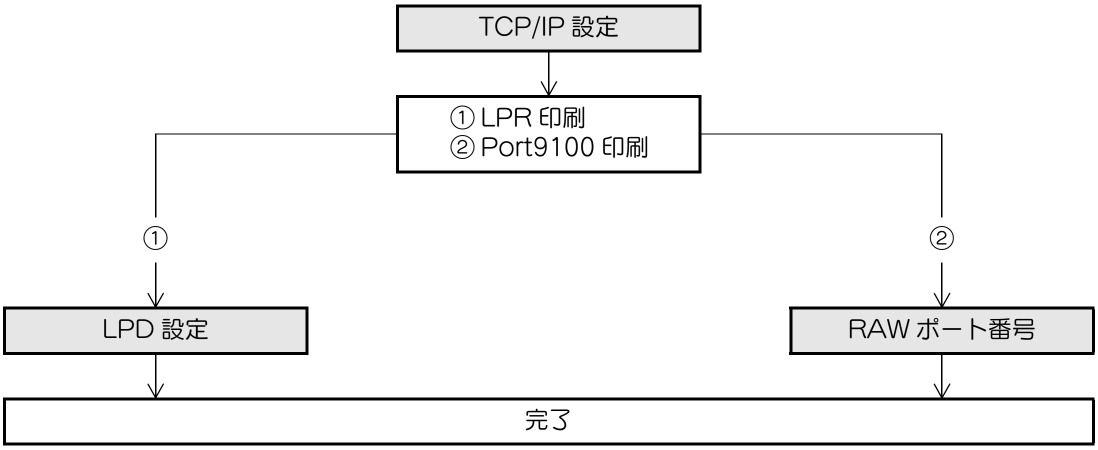
2.4.1 LPR/Port9100 印刷の設定

LPR、Port9100 で印刷するための設定を行います。

LPR 印刷は、LPR プロトコルを使用してネットワーク経由で印刷します。主に UNIX 系の OS で利用されています。

Port9100 印刷は、印刷先のプリンターとして TCP/IP ネットワークに接続された本機の RAW ポート（Port9100）を直接指定することで、ネットワーク経由で印刷します。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



参照

LPR、Port9100 で印刷するには、この設定を行った後にプリンタードライバーの設定が必要です。詳しくは、「Windows プリンタードライバーのインストール」（p. 3-1）をごらんください。

■ TCP/IP 設定

TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。

詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

■ LPD 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「TCP/IP 設定」－「TCP/IP 設定」を選択します。

以下の設定を行います。

項目	説明	事前確認
LPD	「有効」を選択します。	

■ RAW ポート番号

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「TCP/IP 設定」－「TCP/IP 設定」を選択します。

以下の設定を行います。

項目	説明	事前確認
RAW ポート番号	使用するポートにチェックを付け、RAW ポート番号を設定します。	

2.4.2 SMB 印刷の設定

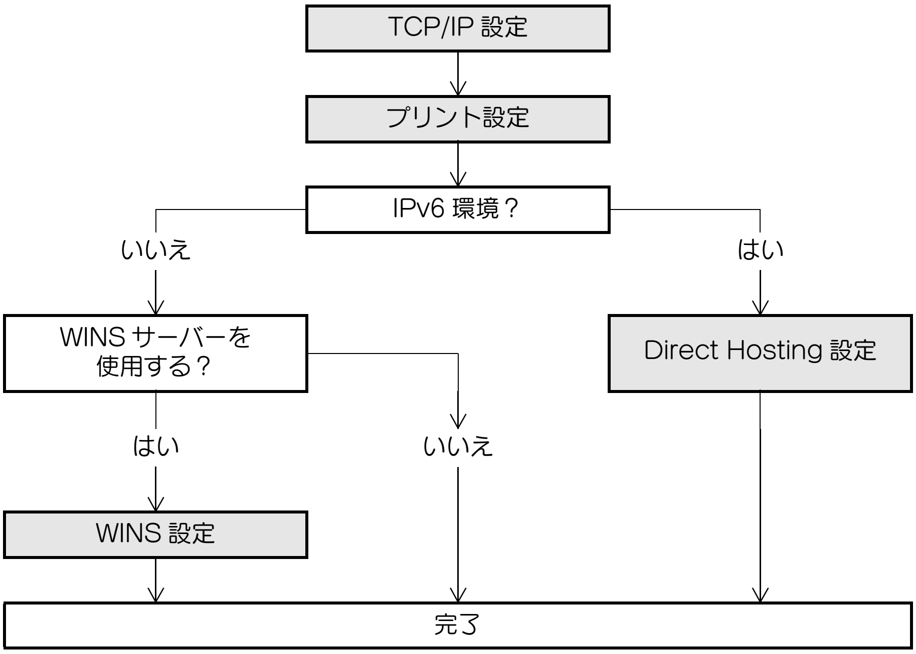
SMB で印刷するための設定を行います。

SMB プロトコルを使用して、Windows ネットワーク上でプリンターを共有できます。SMB 印刷は、コンピューターから Windows ネットワーク上の本機を直接指定することで印刷します。

異なるネットワークにあるコンピューターを Windows 名（NetBIOS 名）で指定する場合は、WINS サーバーを使用する必要があります。

本機はダイレクトホスティングサービスに対応しています。IPv6 環境で SMB 印刷を利用するには、Direct Hosting 設定を有効にする必要があります。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



参照

プリンタードライバーのインストールについて詳しくは、「Windows プリンタードライバーのインストール」（p. 3-1）をごらんください。

■ TCP/IP 設定

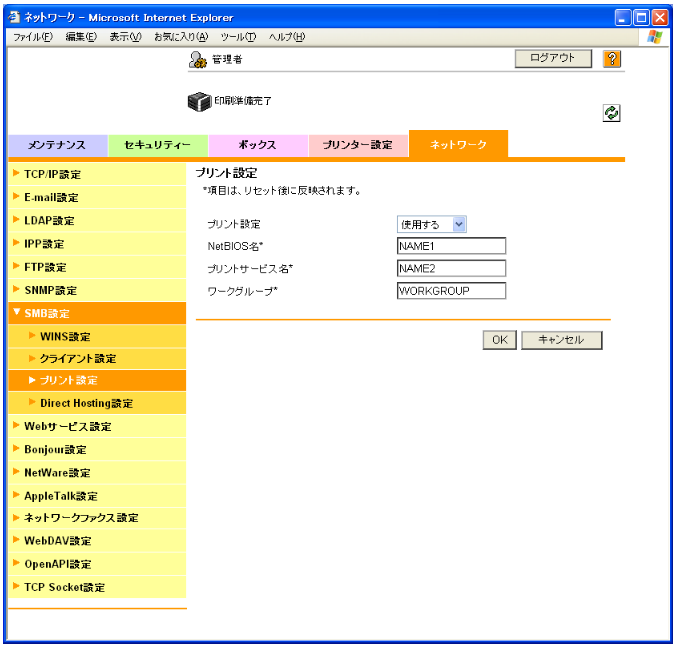
TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。

詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

■ プリント設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「SMB 設定」－「プリント設定」を選択します。

以下の設定を行います。

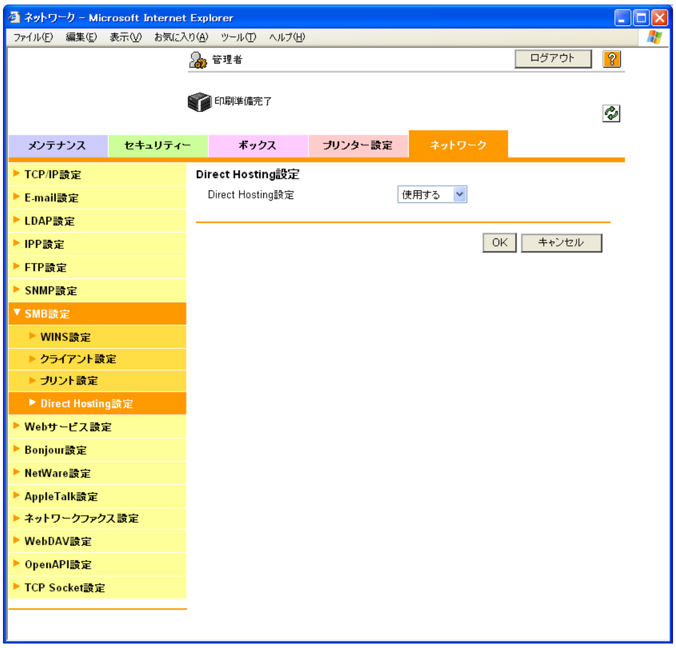


項目	説明	事前確認
プリント設定	「使用する」を選択します。	
NetBIOS 名	NetBIOS 名を大文字で設定します（半角 15 文字以内）。	
プリントサービス名	プリントサービス名を大文字で設定します（半角 12 文字以内）。	
ワークグループ	ワークグループ名を大文字で設定します（半角 15 文字以内）。	所属するワークグループ

■ Direct Hosting 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「SMB 設定」－「Direct Hosting 設定」を選択します。

以下の設定を行います。

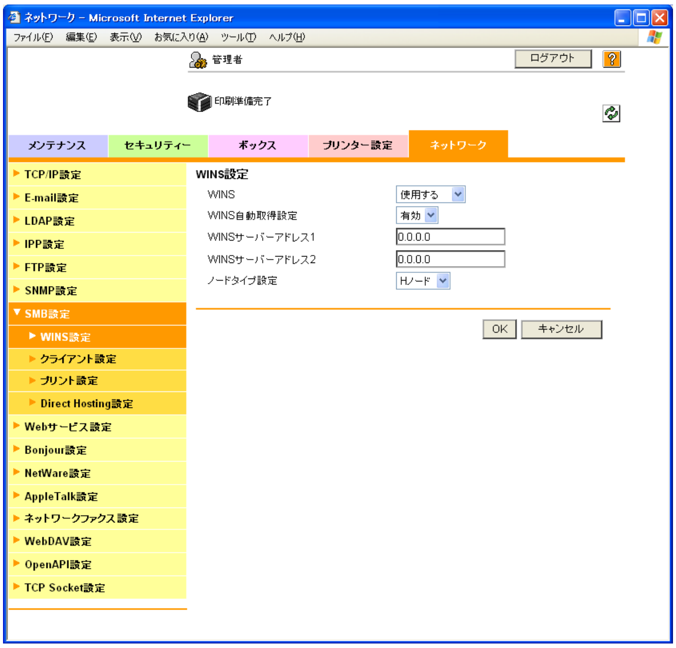


項目	説明	事前確認
Direct Hosting 設定	ダイレクトホスティングサービスを使用する場合は、「使用する」を選択します。 送信先と IPv6 アドレスで通信する場合は、「使用する」に設定してください。	IPv6 環境かどうか

■ WINS 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「SMB 設定」－「WINS 設定」を選択します。

以下の設定を行います。



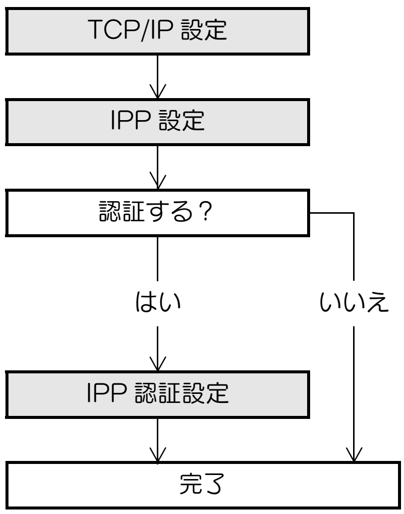
項目	説明	事前確認
WINS	WINS サーバーを使用する場合は、「使用する」を選択します。	
WINS 自動取得設定	WINS サーバーアドレスを自動取得する場合は、「有効」を選択します。 DHCP が有効の場合に設定できます。	DHCP で自動取得可能か
WINS サーバーアドレス 1 ～ 2	WINS サーバーアドレスを設定します（書式：「***.***.***.***」、***：0 ～ 255）。	サーバーのアドレス
ノードタイプ設定	名前解決の方法を設定します。 ・B ノード：ブロードキャストで問い合わせ ・P ノード：WINS サーバーに問い合わせ ・M ノード：ブロードキャスト、WINS サーバーの順に問い合わせ ・H ノード：WINS サーバー、ブロードキャストの順に問い合わせ	

2.4.3　　IPP 印刷の設定

IPP で印刷するための設定を行います。

IPP 印刷は、IPP プロトコルを使用してネットワーク経由で印刷します。HTTP プロトコルを用いてネットワーク上のプリンターに印刷データを転送できるため、インターネットを経由して遠隔地のプリンターに出力することもできます。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



参照

プリンタードライバーのインストールについて詳しくは、「Windows プリンタードライバーのインストール」（p. 3-1）をごらんください。

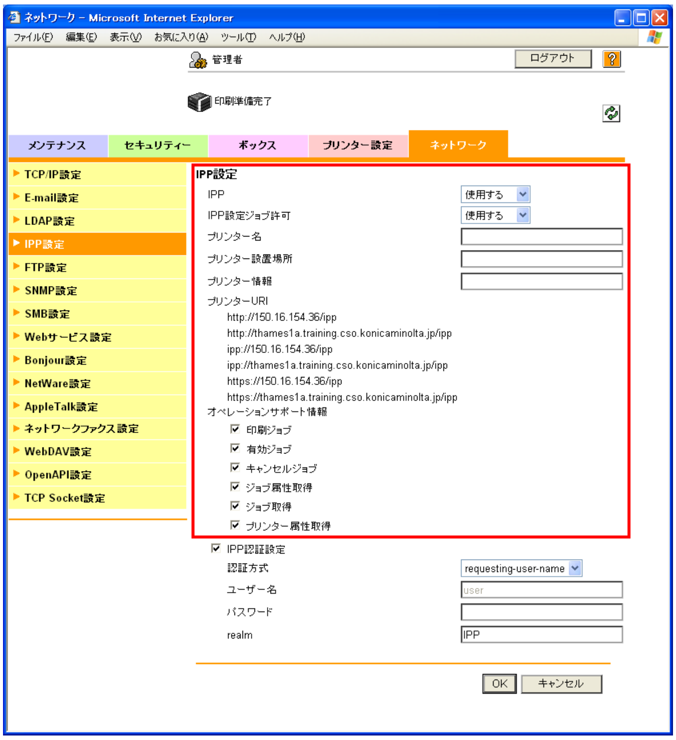
■ TCP/IP 設定

TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。

詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

■ IPP 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「IPP 設定」を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
IPP	「使用する」を選択します。	
IPP 設定ジョブ許可	「使用する」を選択します。	
プリンター名	プリンター名を設定します（半角 127 文字以内）。	
プリンター設置場所	プリンター設置場所を設定します（半角 127 文字以内）。	
プリンター情報	プリンター情報を設定します（半角 127 文字以内）。	
プリンター URI	IPP でプリントできるプリンターの URI が表示されます。	
オペレーションサポート情報	IPP でサポートするプリント操作を項目から設定します。	

■ IPP 認証設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「IPP 設定」を選択します。
以下の設定を行います。

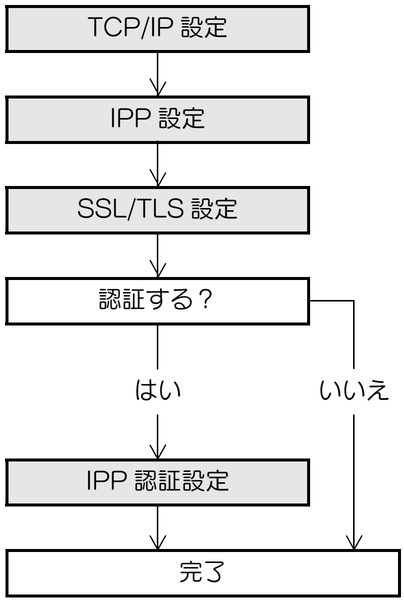
項目	説明	事前確認
IPP 認証設定	IPP 印刷時に認証を行う場合は、「IPP 認証設定」にチェックを付けます。	
認証方式	認証方式を設定します。	
ユーザー名	ユーザー名を設定します（半角 20 文字以内）。	
パスワード	パスワードを設定します（半角 20 文字以内）。	
realm	realm を設定します（半角 127 文字以内）。 認証方式が digest の場合に設定が必要になります。	認証方式

2.4.4　　IPPS 印刷の設定

IPPS で印刷するための設定を行います。

本機で IPP 印刷を行うときに、コンピューターと本機の通信を SSL で暗号化します。SSL で暗号化することで、IPP 印刷時のセキュリティーを向上させることができます。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



参照

プリンタードライバーのインストールについて詳しくは、「Windows プリンタードライバーのインストール」（p. 3-1）をごらんください。

詳しく説明します

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 で IPPS 印刷に設定するときは、「https://［ホスト名］.［ドメイン名］/ipp」を入力します。［ホスト名］と［ドメイン名］は、TCP/IP 設定のホスト名とデフォルトドメイン名で設定した名称を指定してください。手順については、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。また、コンピューター側から本機を DNS により名前解決できる必要があります。あらかじめ DNS サーバーに本機を登録して、コンピューター側で DNS の設定を行ってください。本機の証明書が証明機関により発行されたものでない場合は、Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 でコンピュータアカウント用の信頼された発行元の証明書として本機の証明書を登録しておく必要があります。
証明書を作成する前に、本機で DNS サーバーに登録されている DNS ホスト名、デフォルト DNS ドメイン名を正しく設定してください。この設定が正しく行われていないと、IPPS 接続をすることができません。

■ TCP/IP 設定

TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。

詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

■ IPP 設定

IPP 印刷の設定を行います。

詳しくは、「IPP 設定」（p. 2-11）をごらんください。

■ SSL/TLS 設定

本機との通信を SSL で暗号化します。

詳しくは、「本機の証明書を作成して SSL で通信する」（p. 9-45）をごらんください。

■ IPP 認証設定

IPP 印刷時に認証を行う場合に設定します。

詳しくは、「IPP 認証設定」（p. 2-11）をごらんください。

2.4.5 Bonjour 印刷の設定

本機を Macintosh と Bonjour 接続して印刷するための設定を行います。本機を Macintosh と Bonjour 接続するときは、Bonjour の設定が必要です。

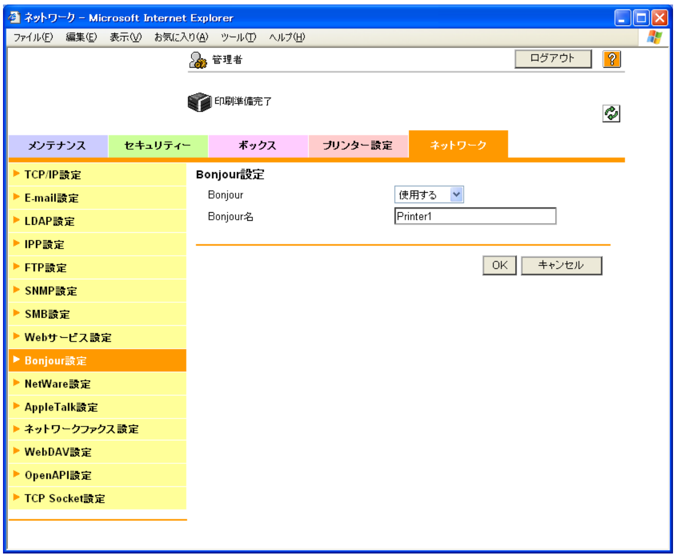
参照

プリンタードライバーのインストールについて詳しくは、「Macintosh プリンタードライバーのインストール」（p. 4-1）をごらんください。

■ Bonjour 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「Bonjour 設定」を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
Bonjour	「使用する」を選択します。	
Bonjour 名	接続機器名として表示させる Bonjour 名を設定します（半角 63 文字以内）。	

2.4.6 AppleTalk 印刷の設定

本機を Macintosh と AppleTalk 接続して印刷するための設定を行います。本機を Macintosh と AppleTalk 接続するときは、AppleTalk の設定が必要です。

参照

プリンタードライバーのインストールについて詳しくは、「Macintosh プリンタードライバーのインストール」（p. 4-1）をごらんください。

■ AppleTalk 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「AppleTalk 設定」を選択します。

以下の設定を行います。



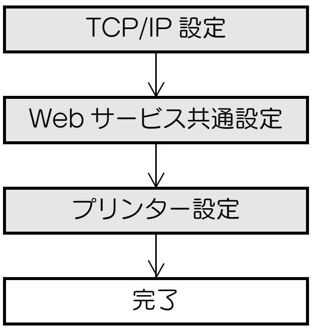
項目	説明	事前確認
AppleTalk 設定	「使用する」を選択します。	
プリンター名	セレクタに表示されるプリンター名を設定します（半角 31 文字以内）。	
ゾーン名	本機が属するゾーン名を設定します（半角 31 文字以内）。	
現在のゾーン	現在のゾーン名が表示されます。	

2.4.7　Web サービス機能の設定

Web サービス機能で印刷するための設定を行います。

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 に搭載されている Web サービス機能を使用して印刷できます。Web サービス機能により、ネットワーク接続された本機を検出して WS プリンターとしてインストールします。Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 からの印刷時に WS プリンターとしてインストールされた本機を指定することで、通信に HTTP を使用して印刷できます。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



ひとこと

プリンタードライバーのインストールについて詳しくは、「Windows プリンタードライバーのインストール」(p. 3-1) をごらんください。

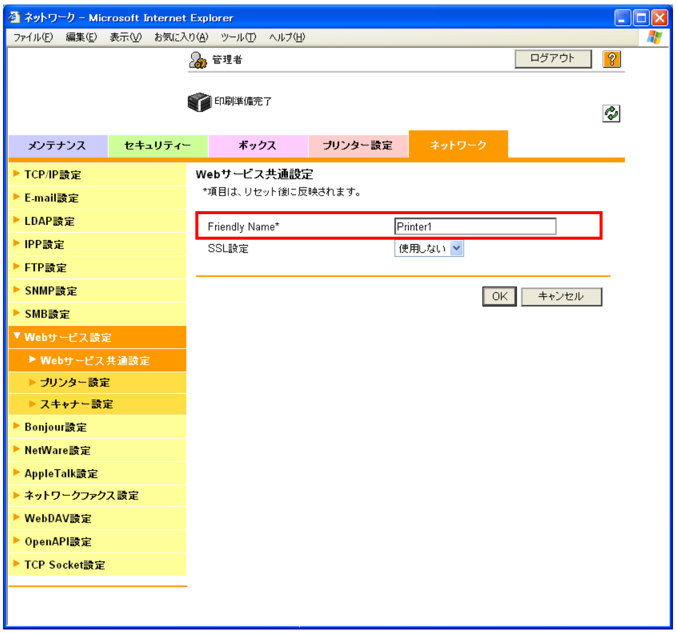
■ TCP/IP 設定

TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。
詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」(p. 2-2) をごらんください。

■ Web サービス共通設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「Web サービス設定」－「Web サービス共通設定」を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
Friendly Name	Friendly Name を設定します（半角 62 文字以内）。	

■ プリンター設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「Web サービス設定」－「プリンター設定」を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
プリント機能	「使用する」を選択します。	
プリンター名	プリンター名を設定します（半角 63 文字以内）。	
プリンター設置場所	プリンター設置場所を設定します（半角 63 文字以内）。	
プリンター情報	プリンター情報を設定します（半角 63 文字以内）。	

第 3 章
Windows プリンタードライバーのインストール

Windows プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

3.1　各 OS で選択可能な接続方法

本機の接続方法はコンピューターの OS によって異なります。また、接続方法によってプリンタードライバーのインストール方法も異なります。

接続方法には、ネットワーク接続と USB インターフェースでの接続があります。ネットワーク接続は、さらに使用するプロトコルによりプリンタードライバーのインストール方法が異なります。

ネットワーク接続（Ethernet）：

ネットワークプリンターとして使用する接続方法です。

本プリンティングシステムは、1000Base-T、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP（LPD/LPR、IPP、SMB）、IPX/SPX（NetWare）、AppleTalk（EtherTalk）などに対応しています。

利用できるプロトコルはコンピューターの OS によって異なります。

USB インターフェース：

ローカルプリンターとして使用する接続方法です。Windows コンピューターで接続できます。

3.1.1　Windows 2000/XP/Server 2003

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	Port9100	PORT9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	「インストーラーによる自動インストール」（p. 3-6） * 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100、USB の場合は 「標準印刷」、IPP の場合は「インターネット印刷」、IPPS の場合は「セキュリティ印刷」を選択してください。
	IPP/IPPS	IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP（HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	
	USB	USB ポートによる接続です。	

ひとこと

- ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。
- Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
プリンタの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	LPR	LPR （ラインプリンターリモート）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに LPR を使用します。	「ウィザードでのインストール（Windows XP/ Server 2003）」（p. 3-11）
	Port9100	PORT9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	
	SMB	Windows でファイル共有やプリンター共有を実現する SMB（Server Message Block）を利用したネットワーク接続です。TCP/IP のプロトコルに対応しています。	
	IPP/IPPS	IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP（HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	
	USB	USB ポートによる接続です。	
プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法	USB	USB ポートによる接続です。	Windows XP/ Server 2003：「ローカル接続の場合」（p. 3-19） Windows 2000：「ローカル接続の場合」（p. 3-42）

ひとこと

本書では、USB 接続のセットアップ方法として、プラグアンドプレイの方法のみ説明しています。

3.1.2　Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	Port9100	PORT9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	「インストーラーによる自動インストール」（p. 3-6） * 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100、USB の場合は 「標準印刷」、IPP の場合は「インターネット印刷」を選択してください。
	IPP	IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP（HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。	
	USB	USB ポートによる接続です。	
プリンタの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	LPR	LPR （ラインプリンターリモート）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに LPR を使用します。	「ウィザードでのインストール（Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2）」（p. 3-20）
	Port9100	PORT9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	
	SMB	Windows でファイル共有やプリンター共有を実現する SMB（Server Message Block）を利用したネットワーク接続です。TCP/IP のプロトコルに対応しています。	
	IPP/IPPS	IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP（HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	
	Web サービスプリント	Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の Web サービス機能に対応した接続で、ネットワーク上のプリンターを自動的に検出して接続します。	
	USB	USB ポートによる接続です。	

ひとこと

- ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。
- Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。
- PCL ドライバー、PS ドライバーはインストーラーでもプリンタの追加ウィザードでもインストールできます。
- Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、インストーラを使って IPPS 接続（セキュリティ印刷）のセットアップを行うことはできません。IPPS 接続にする場合は、プリンタの追加ウィザードでセットアップしてください。詳しくは、「ネットワーク接続（IPP/IPPS）の場合」（p. 3-26）をごらんください。

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法	USB	USB ポートによる接続です。	「ローカル接続の場合」（p. 3-32）

3.1.3　Windows NT4.0

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
プリンタの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	LPR	LPR プリントサービスによるネットワーク接続です。	「ウィザードでのインストール（Windows NT 4.0）」（p. 3-43）

ひとこと

- ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。
- Windows NT4.0 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。

3.2　インストーラーによる自動インストール

本インストーラーを利用すると、コンピューターと同じ TCP/IP ネットワーク上の本機や、USB で接続されている本機が自動的に検出され、必要なプリンタードライバーがインストールされます。また、接続先を手動で指定してインストールすることもできます。

ひとこと

· Windows NT4.0/2000/XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
· USB で接続していて、新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。

3.2.1　　インストーラーの動作環境

OS	Windows NT Workstation/Server Version4.0（Service Pack 6 以降）、Windows 2000 Professional/Server（Service Pack 3 以降）、Windows XP Home Edition/Windows XP Professional、Windows XP Professional x64 Edition、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition、Windows 7 Home Basic/Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate、Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate x64 Edition、Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition、Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64 Edition、Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨するメモリ容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリリソースが十分であること。

* Windows NT4.0 で、ネットワークに TCP/IP プロトコルで直接接続されている本機をインストールするには、お使いのコンピューターにあらかじめ Microsoft TCP/IP 印刷サービスがインストールされている必要があります。

3.2.2　　本機の設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

ひとこと

ネットワーク接続の場合は、本機を自動的に検出するため、あらかじめ本機に IP アドレスを設定しておく必要があります。詳しくは、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

接続方法やプロトコルに応じて、本機のネットワーク設定を変更します。

- Port9100：「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を使用可能にしておきます。
- IPP/IPPS：「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

ひとこと

· 本機の TCP/IP 設定、IPP 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。
· IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。詳しくは、「本機の証明書を作成して SSL で通信する」（p. 9-45）をごらんください。

3.2.3　プリンタードライバーをインストール

1

プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

- インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
- インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて「Setup.exe」をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。

2

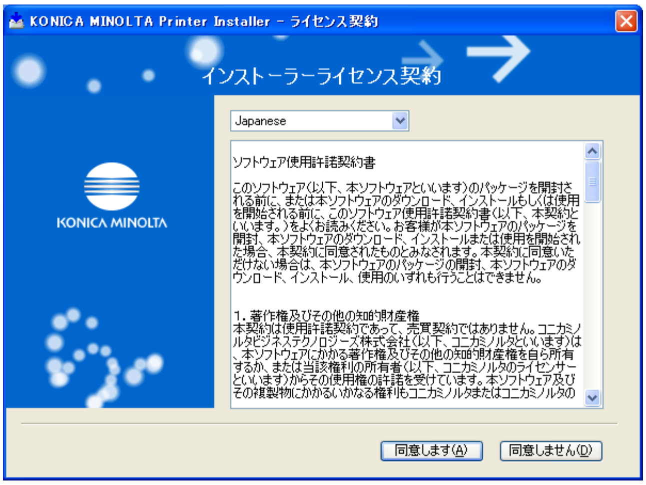
「プリンタのインストール」をクリックします。

プリンタードライバーのインストーラーが起動します。

3

使用許諾契約書の全ての条項に同意する場合は、[同意します] をクリックします。

- 同意していただけない場合は、インストールできません。
- 左下のボックスでインストーラーの表示言語を変更できます。
- 右下のボックスで使用許諾契約書の表示言語を変更できます。



ひとこと

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 にインストールする場合、「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、[許可] または [続行] をクリックします。

4

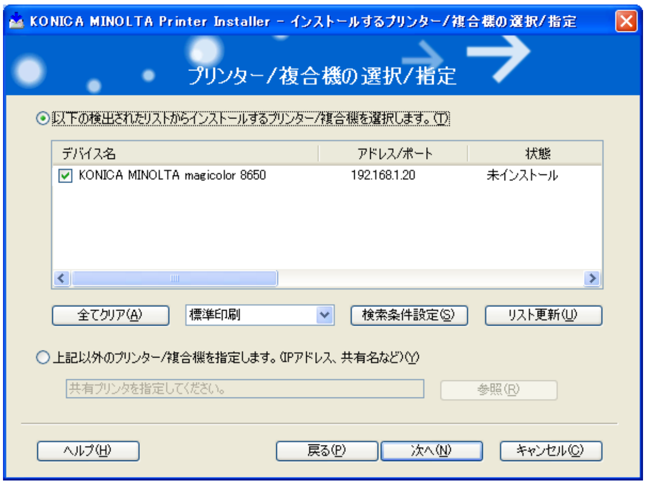
セットアップの内容を選択する画面が表示された場合は、「プリンタのインストール」を選択して［次へ］をクリックします。

接続されているプリンター・複合機が検出されます。

5

本機を選択して［次へ］をクリックします。

- ❍ 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、画面下部の「上記以外のプリンタ／複合機を指定します。（IP アドレス、共有名など）」を選択し、手動で指定してください。
- ❍ 印刷の方法として、標準印刷（Port 9100、USB）のほか、インターネット印刷（IPP）やセキュリティ印刷（IPPS）を選択できます。ただし、セキュリティ印刷（IPPS）は、PageScope Web Connection で SSL が ON になっており、かつ IPP が有効な場合に利用できます。



ひとこと

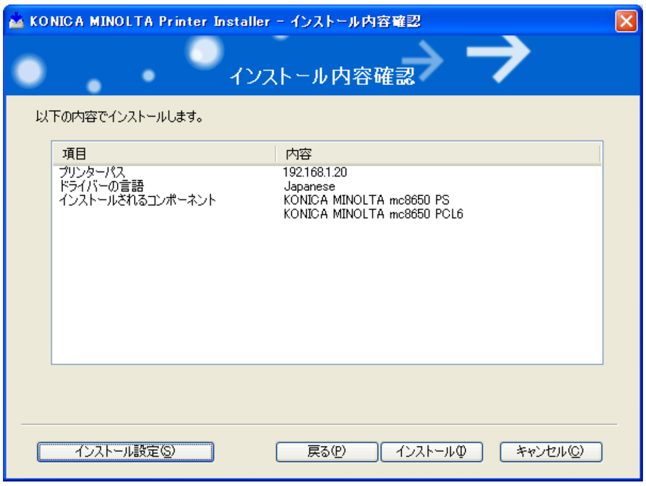
- ・プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
  電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。
- ・Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、インストーラを使って IPPS 接続（セキュリティ印刷）のセットアップを行うことはできません。IPPS 接続にする場合は、プリンタの追加ウィザードでセットアップしてください。
  詳しくは、「ネットワーク接続（IPP/IPPS）の場合」（p. 3-26）をごらんください。
- ・Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、「IPv4 優先」/「IPv6 優先」を選択できます。
  検出するプリンター・複合機が IPv4 と IPv6 の両方で検出したとき、優先するアドレスになります。

ひとこと

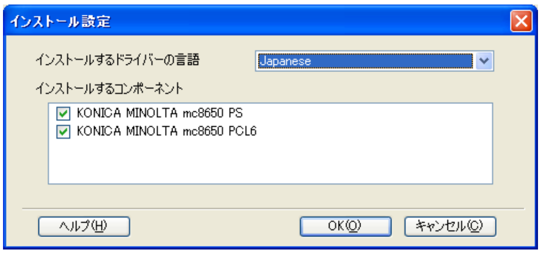
Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、IPv4/IPv6 環境の両方に対応していますが、IPv6 環境での［インターネット印刷］（IPP）には対応していません。

6 インストール内容を確認します。

- 変更する場合は［インストール設定］をクリックし、手順 7 に進みます。
- 変更しない場合は手順 8 に進みます。



7 インストールするコンポーネントを選択し、［OK］をクリックします。

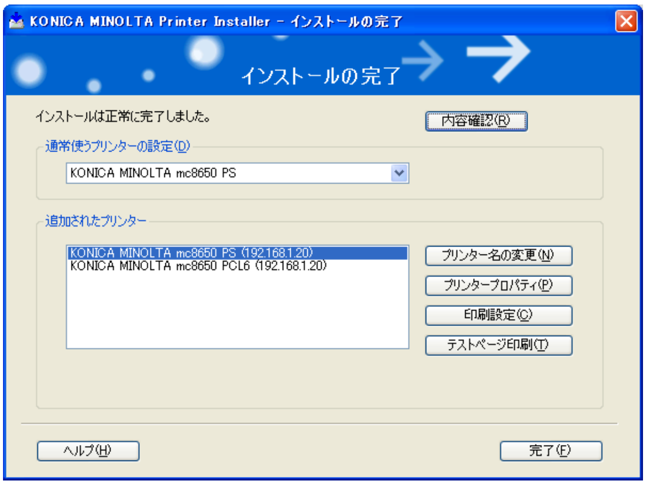


8 「インストール内容確認」画面で［インストール］をクリックします。

- Windows 2000/XP/Server 2003 で「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。
- Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 で「Windows セキュリティ」の発行元検証に関する画面が表示されるときは、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

9 「インストールの完了」画面で［完了］をクリックします。

インストールが完了します。



「インストールの完了」画面では、インストール項目の確認や設定変更を行えます。

［内容確認］：インストール内容を確認します。

［プリンタ名の変更］：プリンター名を変更します。

［プリンタプロパティ］：プリンターのプロパティ設定を行います。詳しくは、「PCL/PS プリンタードライバーの初期設定」（p. 5-3）をごらんください。

［印刷設定］：プリンタードライバーの各種機能を設定します。詳しくは、「PCL/PS ドライバーの設定項目詳細」（p. 5-8）をごらんください。

［テストページ印刷］：テスト印刷を行います。

3.3 ウィザードでのインストール（Windows XP/ Server 2003）

3.3.1 ネットワーク接続（LPR/Port9100）の場合

LPR/Port9100 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。

■ 本機の RAW ポート番号設定

Port9100 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を使用可能にしておきます。

■ 本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

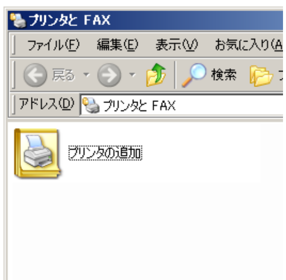
■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

1. プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2. [スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。

3. Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。





「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

4. [次へ] をクリックします。

参照
本機の IP アドレスの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

参照
本機の RAW ポート番号の設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

参照
本機の LPD 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

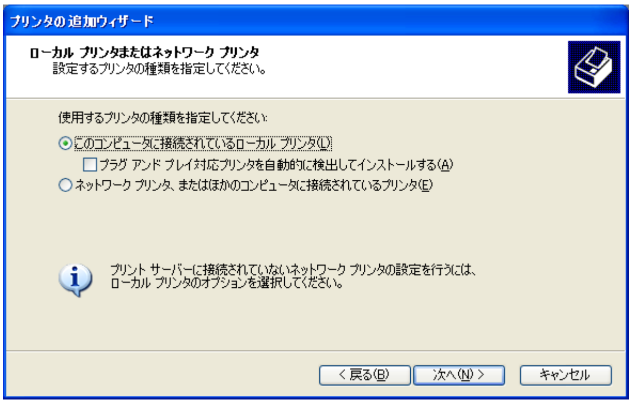
ひとこと
Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

ひとこと
[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

5

「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、［次へ］をクリックします。

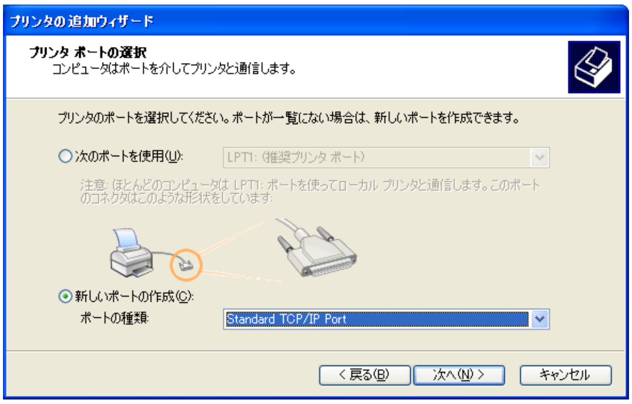
❍「プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。



「プリンタポートの選択」ダイアログボックスが表示されます。

6

「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Standard TCP/IP Port」を選択します。



7

［次へ］をクリックします。

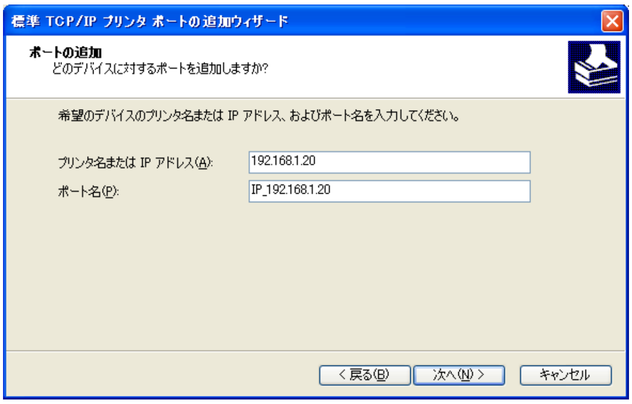
「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が起動します。

8

［次へ］をクリックします。

9 「プリンタ名または IP アドレス」ボックスに本機の IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

- 「ポート情報がさらに必要です」画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
- 「完了」画面が表示される場合は、手順 13 へ進みます。



10 「カスタム」をチェックし、［設定］をクリックします。

11 ポートに合わせて設定を変更し、［OK］をクリックします。

- LPR 接続の場合は、「LPR」をチェックし、「キュー名」ボックスに「Print」と入力します。
- Port9100 の場合は、「RAW」をチェックし、「ポート番号」ボックスに RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を入力します。

ひとこと

大文字、小文字も正確に入力する必要があります。

12 ［次へ］をクリックします。

13 ［完了］をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

14 ［ディスク使用］をクリックします。

15 ［参照］をクリックします。

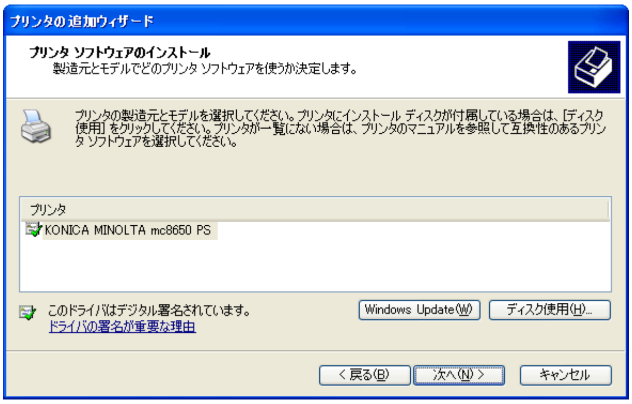
16 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
  選択できるプリンタードライバー：
  Windows XP/Server 2003：PCL ドライバー、PS ドライバー

17 ［OK］をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

18 ［次へ］をクリックします。



19 画面の指示にしたがって操作します。

20 ［完了］をクリックします。

21 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

22 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

・「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。
・ネットワーク接続の場合は、ネットワーク設定完了後にテスト印刷を行ってください。

3.3.2　　ネットワーク接続（SMB）の場合

SMB 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でプリンターを指定してポートを設定します。プリンターはネットワークを検索して選択することも、直接プリンター名を入力することもできます。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

ひとこと

IPv6 環境で SMB 印刷を利用するには、本機の「DirectHosting 設定」を有効にしておく必要があります。詳しくは、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

■ 本機の SMB 設定

本機の「SMB 設定」の「プリント設定」で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。

参照

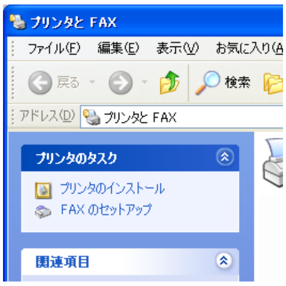
本機の SMB 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

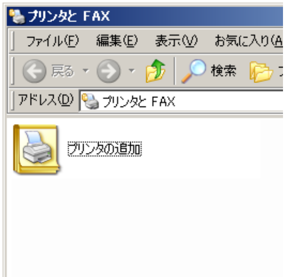
■ プリンタの追加ウィザードでプリンターを指定してプリンタードライバーをインストール

1. プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2. ［スタート］をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。

3. Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

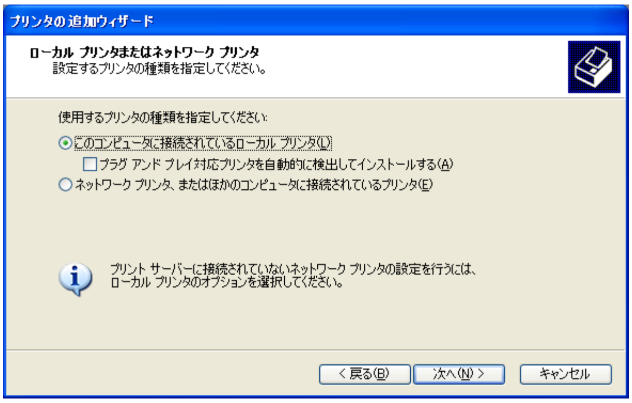




「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

4. ［次へ］をクリックします。

5. 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、［次へ］をクリックします。
   - ❍「プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。



「プリンタポートの選択」ダイアログボックスが表示されます。

ひとこと

Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

ひとこと

［スタート］メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、［スタート］メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

6 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Local Port」を選択します。



7 「ポート名」ボックスに「¥¥NetBIOS 名 ¥ プリントサービス名」を入力します。

8 ［OK］をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

9 ［ディスク使用］をクリックします。

10 ［参照］をクリックします。

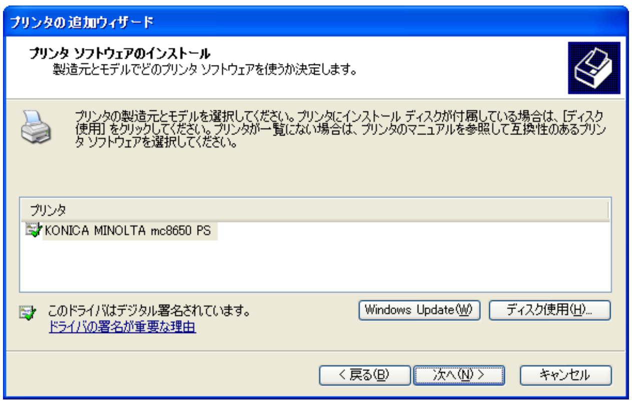
11 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

❍ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
Windows XP/Server 2003：PCL ドライバー、PS ドライバー

12 ［OK］をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

13 ［次へ］をクリックします。



ひとこと

NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の「SMB 設定」の「プリント設定」と同じ名前を入力してください。

14 画面の指示にしたがって操作します。

15 ［完了］をクリックします。

16 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

17 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

・「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。
・ネットワーク接続の場合は、ネットワーク設定完了後にテスト印刷を行ってください。

3.3.3　　ネットワーク接続（IPP/IPPS）の場合

IPP 印刷の場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

■ 本機の IPP 設定

本機の「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

・本機の IPP 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。
・IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。詳しくは、「本機の証明書を作成して SSL で通信する」（p. 9-45）をごらんください。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

ひとこと

Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

必ず守ってください

［スタート］メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、［スタート］メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

2 ［スタート］をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。

3 Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

4 ［次へ］をクリックします。

5 「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面で、「ネットワークプリンタまたはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」を選択し、［次へ］をクリックします。

6 「プリンタの指定」画面で、「インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する」を選択します。

7 「URL」フィールドに、以下の形式で、本機の URL を入力し、［次へ］をクリックします。

- http:// <本機の IP アドレス> /ipp
  例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
  http://192.168.1.20/ipp

ひとこと

- IPPS 印刷に設定するときは「https:// <本機の IP アドレス> /ipp」を入力してください。
- 確認のダイアログが表示された場合は、［OK］をクリックします。

8 ［ディスク使用］をクリックします。

9 ［参照］をクリックします。

10 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
  選択できるプリンタードライバー：
  Windows XP/Server 2003：PCL ドライバー、PS ドライバー

11 ［OK］をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

12 ［OK］をクリックします。

13 画面の指示にしたがって操作します。

ひとこと

「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

14 ［完了］をクリックします。

15 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

16 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。

3.3.4　ローカル接続の場合

USB ポートで接続する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールできます。

> ひとこと
>
> USB 接続の場合、プラグアンドプレイが簡単ですが、プリンタの追加ウィザードでもプリンタードライバーをインストールできます。プリンタの追加ウィザードを利用する場合は、「プリンタポートの選択」で接続する USB ポートを選択してください。

> 必ず守ってください
>
> コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

2 プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

3 本機の主電源を入れます。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されます。

> ひとこと
>
> 「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
> 電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

4 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、［次へ］をクリックします。

- 「Windows アップデートに接続する」画面が表示された場合は、「いいえ」を選択します。

5 「次の場所で最適のドライバーを検索する」から「次の場所を含める」を選択し、［参照］をクリックします。

6 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
  選択できるプリンタードライバー：
  Windows XP/Server 2003：PCL ドライバー、PS ドライバー

7 ［次へ］をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。

> ひとこと
>
> 「Windows ロゴテスト」、「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

8 ［完了］をクリックします。

9 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

10 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

3.4 ウィザードでのインストール（Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2）

3.4.1 ネットワーク接続（LPR/Port9100/SMB）の場合

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 では、ネットワーク上のプリンターを検索してインストールすることも、プリンターポートを作成してインストールすることもできます。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

■ 本機の RAW ポート番号設定

Port9100 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を使用可能に設定しておきます。

参照

本機の RAW ポート番号の設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

■ 本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機の LPD 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

■ 本機の SMB 設定

本機の「SMB 設定」の「プリント設定」で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。

参照

本機の SMB 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

ひとこと

IPv6 環境で SMB 印刷を利用するには、本機の「DirectHosting 設定」を有効にしておく必要があります。詳しくは、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

■ プリンタの追加でプリンターを検索してプリンタードライバーをインストール

ひとこと

- Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
- インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

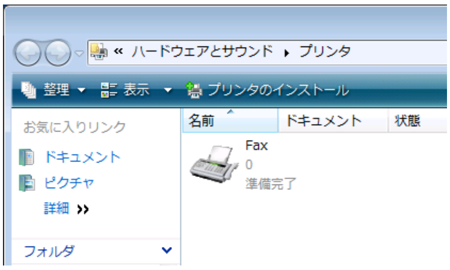
1. プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
2. ［スタート］をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。

3

「ハードウェアとサウンド」のプリンター機能を選択します。
「プリンタ」ウィンドウが開きます。

4

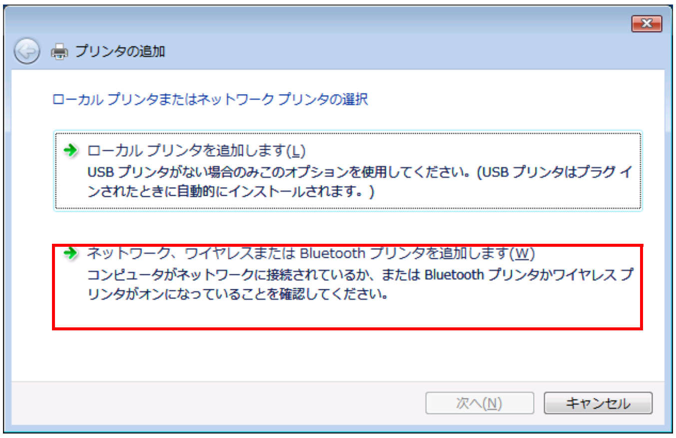
ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、ツールバーの「プリンターの追加」をクリックします。



「プリンタの追加」が表示されます。

5

「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。



接続されているプリンターが検出されます。

ひとこと

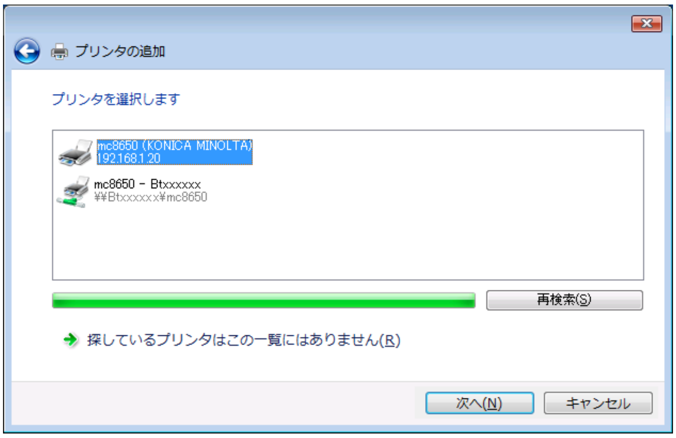
・Windows Vista/Server 2008 の場合は、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。
・Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。「コントロールパネル」がアイコン表示になっている場合は、「デバイスとプリンター」をダブルクリックします。

ひとこと

プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

6 一覧から本機を選択して、［次へ］をクリックします。

- LPR/Port9100 接続の場合は、IP アドレスのプリンターを選択します。
- SMB 接続の場合は、「¥¥NetBIOS 名 ¥ プリントサービス名」のプリンターを選択します。



ひとこと

すべてのプリンターを検索するまでに時間がかかる場合があります。

7 ［ディスク使用］をクリックします。

8 ［参照］をクリックします。

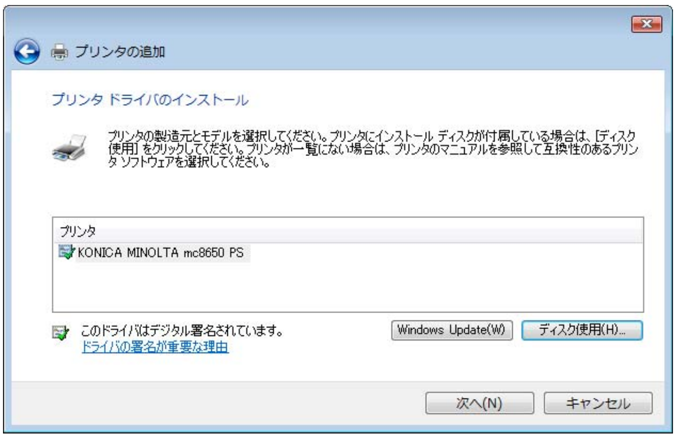
9 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
  選択できるプリンタードライバー：
  PCL ドライバー、PS ドライバー

10 ［OK］をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

11 ［次へ］をクリックします。



12 画面の指示にしたがって操作します。

13 ［完了］をクリックします。

14 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

15 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと
- 「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、［続行］または「はい」をクリックします。
- 「Windows セキュリティ」の「発行元検証」に関する画面が表示されるときは、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

■ プリンタの追加でポートを作成してプリンタードライバーをインストール

1 プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

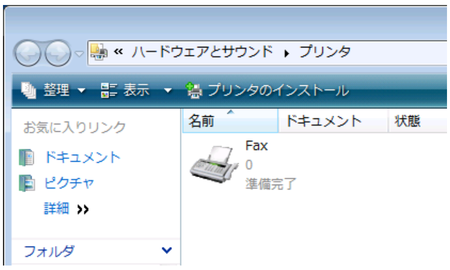
2 ［スタート］をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。

3 「ハードウェアとサウンド」のプリンター機能を選択します。

「プリンタ」ウィンドウが開きます。

4 ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。

- Windows Vista/Server 2008 の場合は、ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、ツールバーの「プリンタの追加」をクリックします。

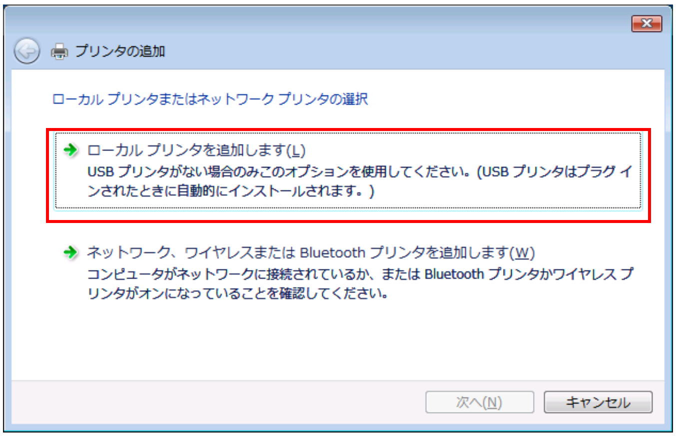


「プリンタの追加」が表示されます。

ひとこと
- Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
- インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

ひとこと
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。「コントロールパネル」がアイコン表示になっている場合は、「デバイスとプリンター」をダブルクリックします。

5 「ローカル プリンタを追加します」をクリックします。



プリンタポートの選択ダイアログボックスが表示されます。

6 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類を選択します。

- LPR/Port9100 接続の場合は、「Standard TCP/IP Port」を選択します。
- SMB 接続の場合は、「Local Port」を選択します。

7 ［次へ］をクリックします。

8 IP アドレスやポートを設定します。

- LPR/Port9100 接続の場合は、「TCP/IP デバイス」を選択し、IP アドレスを入力します。
- SMB 接続の場合は、「ポート名」ボックスに「¥¥NetBIOS 名 ¥ プリントサービス名」を入力します。

ひとこと

・本機で LPR と Port9100 の両方が有効に設定されている場合、プリンタードライバーと本機は LPR で接続されます。
・NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の「SMB 設定」の「プリント設定」と同じ名前を入力してください。

9 ［次へ］をクリックします。

- 「ポート情報がさらに必要です」画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
- プリンタドライバのインストールダイアログボックスが表示される場合は、手順 13 へ進みます。

10 「カスタム」をチェックし、［設定］をクリックします。

11 ポートに合わせて設定を変更し、［OK］をクリックします。

- LPR 接続の場合は、「LPR」をチェックし、「キュー名」ボックスに「Print」と入力します。
- Port9100 の場合は、「RAW」をチェックし、「ポート番号」ボックスに RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を入力します。

ひとこと

大文字、小文字も正確に入力する必要があります。

12 ［次へ］をクリックします。

プリンタドライバのインストールダイアログボックスが表示されます。

13 ［ディスク使用］をクリックします。

14 ［参照］をクリックします。

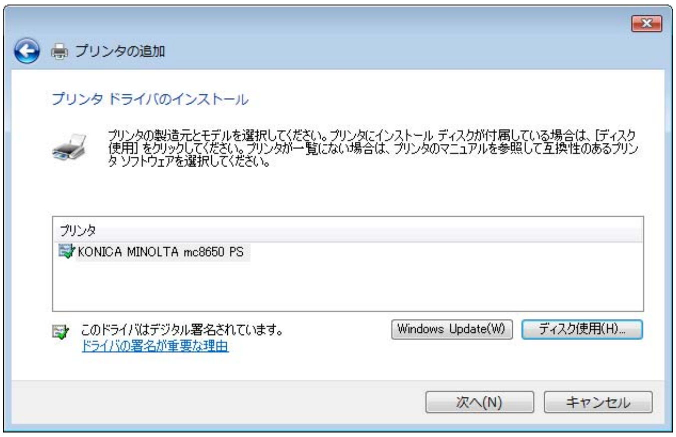
15 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

❍ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー

16 ［OK］をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

17 ［次へ］をクリックします。



18 画面の指示にしたがって操作します。

19 ［完了］をクリックします。

20 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

21 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

・「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、［続行］または「はい」をクリックします。
・「Windows セキュリティ」の「発行元検証」に関する画面が表示されるときは、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

3.4.2　　ネットワーク接続（IPP/IPPS）の場合

IPP 印刷の場合は、ネットワーク設定を行ってからプリンタードライバーをインストールします。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

> **参照**
> 本機の IP アドレスの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

■ 本機の IPP 設定

本機の「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

> **参照**
> - 本機の IPP 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。
> - IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。詳しくは、「本機の証明書を作成して SSL で通信する」（p. 9-45）をごらんください。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

> **ひとこと**
> Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。

3 「ハードウェアとサウンド」のプリンター機能を選択します。「プリンタ」ウィンドウが開きます。

> **ひとこと**
> - Windows Vista/Server 2008 の場合は、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。
> - Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。「コントロールパネル」がアイコン表示になっている場合は、「デバイスとプリンター」をダブルクリックします。

4 ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。
- ❍ Windows Vista/Server 2008 の場合は、ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。
- ❍ Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、ツールバーの「プリンタの追加」をクリックします。

「プリンタの追加」が表示されます。

5 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。

接続されているプリンターが検索されます。

6 検索された画面で、「探しているプリンタはこの一覧にはありません」をクリックします。

7

「共有プリンタを名前で選択する」ボックスに、以下の形式で、本機の URL を入力し、［次へ］をクリックします。

- http:// <本機の IP アドレス> /ipp
  例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
  http://192.168.1.20/ipp

8

［ディスク使用］をクリックします。

9

［参照］をクリックします。

10

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
  選択できるプリンタードライバー：
  PCL ドライバー、PS ドライバー

11

［OK］をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

12

［次へ］をクリックします。

13

画面の指示にしたがって操作します。

14

［完了］をクリックします。

15

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

16

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。

ひとこと

- IPPS 印刷に設定するときは「https:// <ホスト名> . <ドメイン名> /ipp」を入力してください。<ホスト名>. <ドメイン名>は、お使いの DNS サーバーに登録されているものを指定してください。
- 本機の証明書が証明機関により発行されたものでない場合は、Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 でコンピュータアカウント用の信頼されたルート証明機関の証明書として本機の証明書を登録しておく必要があります。
- 本機に証明書を登録する際、<ホスト名> . <ドメイン名>が証明書のコモンネームに表示されていることを確認してください。

ひとこと

- 「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、［続行］または「はい」をクリックします。
- 「Windows セキュリティ」の「発行元検証」に関する画面が表示されるときは、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

3.4.3　ネットワーク接続（Web サービスプリント）の場合

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 では、ネットワーク上にある Web サービスプリント対応のプリンターを検索してインストールできます。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。

■ 本機の Web サービス設定

Web サービスプリントを利用する場合は、本機の「Web サービス設定」でプリント機能を使用可能にしておきます。

■ ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる

1 本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にします。
インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態にしてください。

2 Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの「ネットワークと共有センター」で「ネットワーク探索」が有効になっていることを確認します。

ひとこと

- プリンタードライバーをインストールした後に、異なる種類のプリンタードライバーをインストールする場合は、先に既存のプリンタードライバーをパッケージごと削除してください。
詳しくは、「手動アンインストール」（p. 3-46）をごらんください。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続した後にインストールディスクを指定することができません。
あらかじめプリンタードライバーをインストールし、ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる方法でインストールしてください。
詳しくは、「ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる」（p. 3-28）をごらんください。
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、先にプリンタードライバーをインストールしていない状態でも、引き続きプリンタードライバーのインストールディスクを指定してインストールできます。詳しくは、「プリンタの追加で IP アドレスを指定してプリンタードライバーをインストール」（p. 3-30）をごらんください。

参照

本機の IP アドレスの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

参照

本機の Web サービス設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

ひとこと

- Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
- インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

3 プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

4 ［ネットワーク］ウィンドウを開きます。

- Windows Vista/Server 2008 の場合は、［スタート］をクリックして、「ネットワーク」をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、「コンピューター」を開いて、「ネットワーク」をクリックします。
  「コンピューター」に「ネットワーク」が表示されないときは、「コントロールパネル」の［ネットワークとインターネット］カテゴリをクリックし、［ネットワークのコンピューターとデバイスの表示］をクリックします。

接続されているコンピューターとデバイスが検索されます。

5 本機のデバイス名を選択し、ツールバーの「インストール」をクリックします。

本機のプリンタードライバーが検索され、印刷の準備が完了します。

6 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウまたは「デバイスとプリンター」ウィンドウに表示されていることを確認します。

ひとこと

「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、［続行］または「はい」をクリックします。

参照

- プリンタードライバーが正しくインストールされていない場合は、「ドライバーの更新」が必要です。詳しくは「接続後にドライバーを更新する」（p. 3-34）をごらんください。
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、先にプリンタードライバーをインストールしていない状態でも、引き続きプリンタードライバーのインストールディスクを指定してインストールできます。「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示されたら、画面の指示にしたがって操作します。詳しくは「プリンタの追加で IP アドレスを指定してプリンタードライバーをインストール」（p. 3-30）手順 11 ～ 20 をごらんください。
- Windows Vista/7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定することができません。あらかじめプリンタードライバーをインストールしてください。

ひとこと

- 「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、［続行］または「はい」をクリックします。
- 「Windows セキュリティ」の「発行元検証」に関する画面が表示されるときは、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

■ プリンタの追加で IP アドレスを指定してプリンタードライバーをインストール

Windows Vista /Server 2008 の場合は、本機を接続してからプリンターの追加機能で Web サービスデバイスを追加できます。

1. 本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にします。
インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態にしてください。

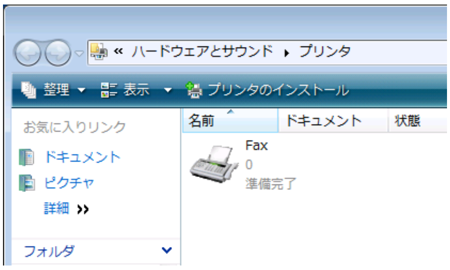
2. Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの「ネットワークと共有センター」で「ネットワーク探索」が有効になっていることを確認します。

3. プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

4. ［スタート］をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。

5. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
「プリンタ」ウィンドウが開きます。

6. ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。



「プリンタの追加」が表示されます。

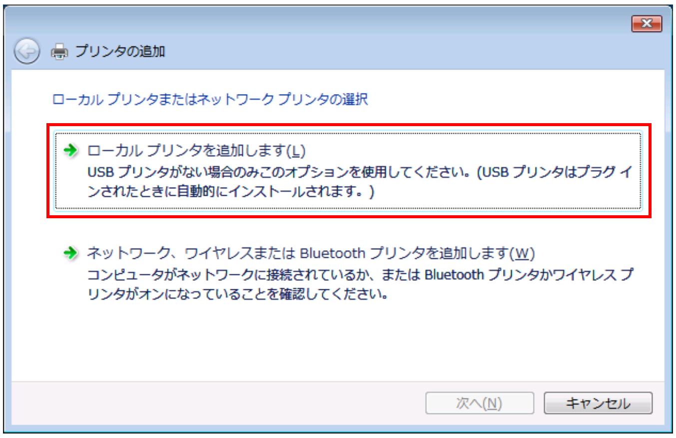
ひとこと

- Windows Vista/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
- インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定する画面が表示されません。あらかじめプリンタードライバーをインストールし、「ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる」方法で接続してください。

ひとこと

「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

7 「ローカル プリンタを追加します」をクリックします。



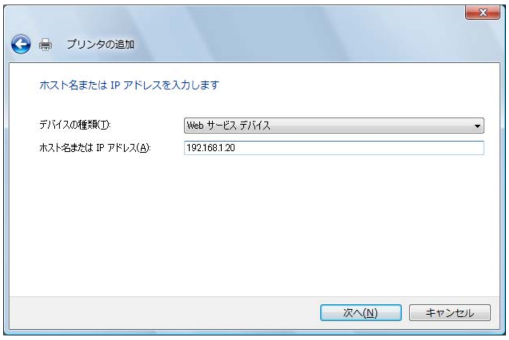
プリンタポートの選択ダイアログボックスが表示されます。

8 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類を選択します。

❍「Standard TCP/IP Port」を選択します。

9 ［次へ］をクリックします。

10 「Web サービスデバイス」を選択し、IP アドレスを入力します。



入力した IP アドレスの Web サービスプリント対応プリンターが検索され、「新しいハードウェアが見つかりました」ダイアログボックスが表示されます。

11 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」をクリックします。

12 オンラインで検索するかどうかを確認する画面が表示されるときは、「オンラインで検索しません」をクリックします。

13 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」をクリックします。

14 ［参照］をクリックします。

15 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
  選択できるプリンタードライバー：
  PCL ドライバー、PS ドライバー

16 ［次へ］をクリックします。

17 画面の指示にしたがって操作します。

ひとこと

・「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。
・「Windows セキュリティ」の「発行元検証」に関する画面が表示されるときは、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

18 ［閉じる］をクリックします。

19 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

20 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

3.4.4　ローカル接続の場合

■ インストール済みのプリンタードライバーを認識させる

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 で USB ポートに接続する場合は、プリンタードライバーを先にインストールしてからプラグアンドプレイでプリンタードライバーを認識させます。

ひとこと

・Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定することができません。あらかじめプリンタードライバーをインストールし、インストール済みのプリンタードライバーを認識させる方法でインストールしてください。詳しくは、「インストール済みのプリンタードライバーを認識させる」（p. 3-32）をごらんください。
・Windows Vista/Server 2008 の場合は、先にプリンタードライバーをインストールしていない状態でも、引き続きプリンタードライバーのインストールディスクを指定してインストールできます。詳しくは、「接続時にプリンタードライバーをインストールする」（p. 3-33）をごらんください。

1 本機のプリンタードライバーをインストールします。

- インストーラーまたはプリンターの追加ウィザードでプリンタードライバーをインストールします。

参照

プリンターの追加ウィザードを利用する場合は、「プリンタ ポートの選択」で接続する USB ポートを選択してください。
詳しくは、「プリンタードライバーをインストール」（p. 3-7）または、「プリンタの追加でポートを作成してプリンタードライバーをインストール」（p. 3-23）をごらんください。

2 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

3 本機の主電源を入れます。

本機のプリンタードライバーが検索され、印刷の準備が完了します。

> ひとこと
>
> プリンタードライバーが検索されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

4 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウまたは「デバイスとプリンター」ウィンドウに表示されていることを確認します。

> 参照
>
> プリンタードライバーが正しくインストールされない場合は、［ドライバーの更新 ...］が必要です。詳しくは、「接続後にドライバーを更新する」（p. 3-34）をごらんください。

■ 接続時にプリンタードライバーをインストールする

Windows Vista/Server 2008 の場合は、本機を接続してからプリンタードライバーをインストールできます。

> ひとこと
>
> Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定する画面が表示されません。あらかじめプリンタードライバーをインストールし、「インストール済みのプリンタードライバーを認識させる」方法で接続してください。

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

> 必ず守ってください
>
> コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

2 本機の主電源を入れます。

「新しいハードウェアが見つかりました」ダイアログが表示されます。

> ひとこと
>
> 「新しいハードウェアが見つかりました」ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

3 「ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」をクリックします。

ディスク（CD-ROM）を要求するダイアログが表示されます。

> ひとこと
>
> ・ディスク（CD-ROM）がない場合は、「ディスクはありません。他の方法を試します」をクリックします。次の画面で「コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します（上級）」を選択して目的のプリンタードライバーフォルダーを指定してください。
> ・指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

4 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

ディスク内の情報が検索され、本機に対応するソフトウェアの一覧が表示されます。

5 目的のプリンタードライバー名を指定し、［次へ］をクリックします。

❍ 選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS ドライバー

6 画面の指示にしたがって操作します。

7 インストールが終了したら［閉じる］をクリックします。

8 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

9 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

「ユーザー アカウント制御」に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。

ひとこと

「Windows セキュリティ」の発行元検証に関する画面が表示されるときは、「このドライバ ソフトウェアをインストールします」をクリックします。

■ 接続後にドライバーを更新する

Windows 7/Server 2008 R2 でプリンタードライバーを先にインストールせずに本機を接続した場合、プリンタードライバーが正しく認識されません。この場合は、［ドライバーの更新 ...］が必要です。

1 「デバイスとプリンター」ウィンドウを開きます。

ひとこと

「コントロール パネル」で「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。「コントロール パネル」がアイコン表示になっている場合は、「デバイスとプリンター」をダブルクリックします。

2 「未指定」カテゴリに表示されている本機のデバイス名を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

ひとこと

本機のデバイス名でなく「不明なデバイス（Unknown Device)」と表示されているときは、右クリックでデバイスを削除してから、プリンタードライバーをインストールしてください。本機との接続は、「プリンタードライバーを認識させる」方法で接続してください。

3 「ハードウェア」タブの［プロパティ］をクリックします。

4 「全般」タブの［設定の変更］をクリックします。

5 「ドライバー」タブの［ドライバーの更新 ...］をクリックします。

6 ドライバーソフトウェアの検索方法を選択する画面で「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリックします。

7 ［参照 ...］をクリックします。

8 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［OK］をクリックします。

- 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
  選択できるプリンタードライバー：
  PCL ドライバー、PS ドライバー

9 ［次へ］をクリックします。

10 画面の指示にしたがって操作します。

11 ［閉じる］をクリックします。

12 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「デバイスとプリンター」ウィンドウに表示されていることを確認します。

13 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーの更新が完了しました。

ひとこと

「Windows セキュリティ」の発行元検証に関する画面が表示されるときは、「このドライバー ソフトウェアをインストールします」をクリックします。

ひとこと

Windows Vista/Server 2008 でも、［ドライバの更新 ...］を利用できます。Windows Vista/Server 2008 の場合は、「デバイスマネージャ」で「ほかのデバイス」に表示されている本機の「プロパティ」を開くと、［ドライバの更新 ...］が指定できます。
「デバイスマネージャ」は、「コンピュータ」を右クリックして「プロパティ」をクリックし、表示される「タスク」で選択できます。

3.5.1　ネットワーク接続（LPR/Port9100）の場合

LPR/Port9100 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

■ 本機の RAW ポート番号設定

Port9100 印刷を利用する場合は、本機の「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を使用可能にしておきます。

参照

本機の RAW ポート番号の設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

■ 本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機の LPD 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

ひとこと

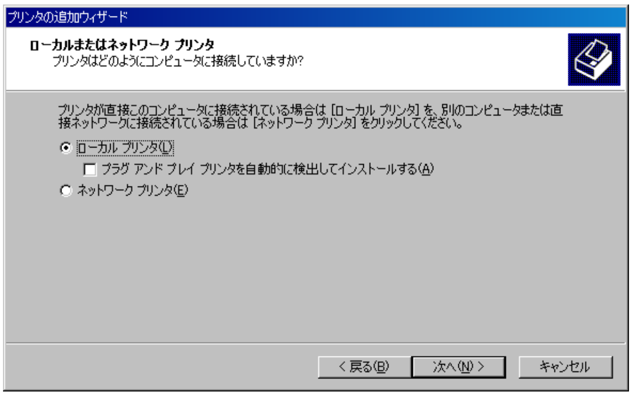
Windows 2000 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1. プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
2. ［スタート］をクリックして、「設定」－「プリンタ」をクリックします。
3. 「プリンタの追加」をダブルクリックします。

   「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
4. 画面の指示にしたがって操作します。

5 接続方法を指定する画面で、「ローカルプリンタ」を選択し、［次へ］をクリックします。

❍「プラグ アンド プレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。



「プリンタポートの選択」ダイアログボックスが表示されます。

6 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Standard TCP/IP Port」を選択します。

7 ［次へ］をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が起動します。

8 ［次へ］をクリックします。

9 「プリンタ名または IP アドレス」ボックスに本機の IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

❍「ポート情報がさらに必要です」画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。

❍「完了」画面が表示される場合は、手順 13 へ進みます。

10 「カスタム」をチェックし、［設定］をクリックします。

11 ポートに合わせて設定を変更し、［OK］をクリックします。

❍ LPR 接続の場合は、「LPR」をチェックし、「キュー名」ボックスに「Print」と入力します。

❍ Port9100 の場合は、「RAW」をチェックし、「ポート番号」ボックスに RAW ポート番号（初期設定では「9100」）を入力します。

> ひとこと
> 大文字、小文字も正確に入力する必要があります。

12 ［次へ］をクリックします。

13 ［完了］をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

14 ［ディスク使用］をクリックします。

15 ［参照］をクリックします。

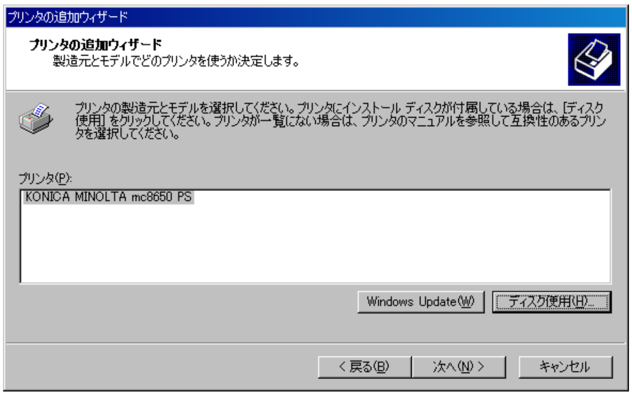
16 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

❍ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
Windows 2000：PCL ドライバー、PS ドライバー

17 ［OK］をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

18 ［次へ］をクリックします。



19 画面の指示にしたがって操作します。

20 ［完了］をクリックします。

21 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

22 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

ひとこと

「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、［はい］をクリックします。

3.5.2　ネットワーク接続（SMB）の場合

SMB 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でプリンターを指定してポートを設定します。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

■ 本機の SMB 設定

本機の「SMB 設定」の「プリント設定」で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。

参照

本機の SMB 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

ひとこと

Windows 2000 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1. プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
2. ［スタート］をクリックして、「設定」－「プリンタ」をクリックします。
3. 「プリンタの追加」をダブルクリックします。

   「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
4. 画面の指示にしたがって操作します。
5. 接続方法を指定する画面で、「ローカルプリンタ」を選択し、［次へ］をクリックします。
   - 「プラグ アンド プレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。

   「プリンタポートの選択」ダイアログボックスが表示されます。
6. 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Local Port」を選択します。
7. ［次へ］をクリックします。
8. 「ポート名」ボックスに「¥¥NetBIOS 名 ¥ プリントサービス名」を入力します。

   ひとこと

   NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の「SMB 設定」の「プリント設定」と同じ名前を入力してください。
9. ［開く］をクリックします。

   「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。
10. ［ディスク使用］をクリックします。
11. ［参照］をクリックします。

12 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

❍ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
Windows 2000：PCL ドライバー、PS ドライバー

13 ［OK］をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

14 ［次へ］をクリックします。

15 画面の指示にしたがって操作します。

ひとこと

「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、［はい］をクリックします。

16 ［完了］をクリックします。

17 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

18 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

3.5.3　ネットワーク接続（IPP/IPPS）の場合

IPP 印刷の場合は、ネットワーク設定を行ってからプリンタードライバーをインストールします。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

■ 本機の IPP 設定

本機の「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

・本機の IPP 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。
・IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。詳しくは、「本機の証明書を作成して SSL で通信する」（p. 9-45）をごらんください。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

ひとこと

Windows 2000 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、「設定」－「プリンタ」をクリックします。

3 「プリンタの追加」をダブルクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

4 ［次へ］をクリックします。

5 「ローカルまたはネットワークプリンタ」画面で、「ネットワークプリンタ」を選択し、［次へ］をクリックします。

6 「プリンタの検索」画面で、「インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します」を選択します。

7 「URL」フィールドに、以下の形式で、本機の URL を入力し、［次へ］をクリックします。

❍ http:// <本機の IP アドレス> /ipp
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
http://192.168.1.20/ipp

ひとこと

IPPS 印刷に設定するときは「https:// <本機の IP アドレス> /ipp」を入力してください。

8 確認のダイアログが表示されたら、［OK］をクリックします。

9 ［ディスク使用］をクリックします。

10 ［参照］をクリックします。

11 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

❍ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
Windows 2000：PCL ドライバー、PS ドライバー

12 ［OK］をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

13 ［OK］をクリックします。

ひとこと

「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、［はい］をクリックします。

14 画面の指示にしたがって操作します。

15 ［完了］をクリックします。

16 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

17 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。

3.5.4　ローカル接続の場合

USB ポートで接続する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールできます。

> ひとこと
>
> USB 接続の場合、プラグアンドプレイが簡単ですが、プリンタの追加ウィザードでもプリンタードライバーをインストールできます。プリンタの追加ウィザードを利用する場合は、「プリンタポートの選択」で接続する USB ポートを選択してください。

1. 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

> 必ず守ってください
>
> コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

2. プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

3. 本機の主電源を入れます。

   「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されます。

> ひとこと
>
> 「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
> 電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

4. 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、［次へ］をクリックします。

5. 「場所の指定」を選択し、［次へ］をクリックします。

6. CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。
   - 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
     Windows 2000：PCL ドライバー、PS ドライバー

7. ［OK］をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。

> ひとこと
>
> 「デジタル署名」に関する画面が表示されるときは、［はい］をクリックします。

8. ［完了］をクリックします。

9. インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

10. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

    これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

3.6 ウィザードでのインストール（Windows NT 4.0）

3.6.1 ネットワーク接続（LPR）の場合

LPR 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ 本機の TCP/IP 設定

本機の「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。

参照
本機の IP アドレスの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

■ 本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照
本機の LPD 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

■ プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

ひとこと
- Windows NT 4.0 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
- Windows NT4.0 で、LPR ポートを利用するには、お使いのコンピューターにあらかじめ Microsoft TCP/IP 印刷サービスがインストールされている必要があります。

1. プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
2. ［スタート］をクリックして、「設定」－「プリンタ」をクリックします。
3. 「プリンタの追加」をダブルクリックします。

   「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
4. 画面の指示にしたがって操作します。
5. 接続方法を指定する画面で、「このコンピュータ」を選択し、［次へ］をクリックします。
6. ［次へ］をクリックします。

   ポートを指定する画面が表示されます。
7. ［ポートの追加］をクリックします。
8. 「利用可能なプリンタポート」リスト内で「LPR Port」を選択し、［新しいポート］をクリックします。
9. 「アドレス」ボックスに本機の IP アドレスを、「キュー名」ボックスに「Print」入力し、［OK］をクリックします。

   ひとこと
   大文字、小文字も正確に入力する必要があります。
10. 作成したポートを選択し、［次へ］をクリックします。
11. ［ディスク使用］をクリックします。
12. ［参照］をクリックします。

13

CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

❍ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
択できるプリンタードライバー：
Windows NT 4.0：PCL ドライバー

14

［OK］をクリックします。

「プリンタ」リストが表示されます。

15

［次へ］をクリックします。

16

画面の指示にしたがって操作します。

17

［完了］をクリックします。

18

インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

19

CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

3.7 アンインストール

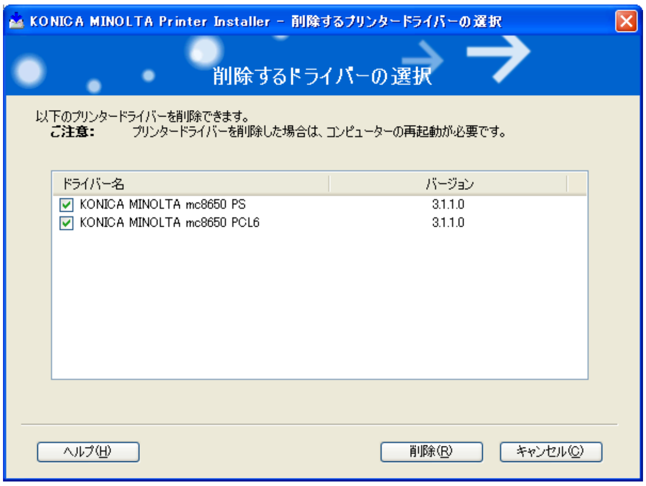
プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

3.7.1 アンインストールプログラムによるアンインストール

プリンタードライバーをインストーラーでインストールした場合は、プリンタードライバーの削除機能が組み込まれています。

1. ［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」（または「プログラム」）－「KONICA MINOLTA」－「mc8650」－「プリンタドライバの削除」をクリックします。

2. 削除するコンポーネントを選択し、［削除］をクリックします。
   - 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。



3. 再起動する画面が表示されたら［OK］をクリックし、再起動します。

3.7.2 インストーラーによるアンインストール

プリンタードライバーをインストーラーでインストールした場合は、インストーラーでも削除できます。

1. プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
   - インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
   - インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて「Setup.exe」をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。

2. 「プリンタのインストール」をクリックします。

   プリンタードライバーのインストーラーが起動します。

3. 使用許諾契約書の画面で［同意します］をクリックします。

4 セットアップの内容を選択する画面で「プリンタドライバの削除」を選択して［次へ］をクリックします。

5 削除するコンポーネントを選択し、［削除］をクリックします。

- 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。

6 再起動する画面が表示されたら［OK］をクリックし、再起動します。

3.7.3　手動アンインストール

インストーラーを使わずにプリンタードライバーをインストールした場合は、手動でプリンタードライバーを削除します。

1 「プリンタ」ウィンドウまたは「デバイスとプリンター」ウィンドウ、「プリンタと FAX」ウィンドウを開きます。

2 削除したいプリンターのアイコンを選択します。

3 プリンタードライバーを削除します。

- Windows NT4.0/2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008 の場合は、キーボードの［Delete］を押します。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、ツールバーの［デバイスの削除］をクリックします。

4 以降は、画面の指示にしたがって操作します。

削除が終了すると「プリンタ」ウィンドウまたは「デバイスとプリンター」ウィンドウ、「プリンタと FAX」ウィンドウからアイコンが消えます。

Windows NT 4.0 の場合は、これでアンインストール完了です。

Windows 2000/XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、引き続きサーバーのプロパティでプリンタードライバーを削除します。

5 「サーバーのプロパティ」を開きます。

- Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、「ファイル」メニューをクリックし、「サーバーのプロパティ」をクリックします。
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、「プリンタ」ウィンドウの何もない部分を右クリックし、「管理者として実行」－「サーバーのプロパティ」をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、他のプリンターを選択し、ツールバーの「プリント サーバー プロパティ」をクリックします。

6 「ドライバ」タブをクリックします。

ひとこと

「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、［続行］または「はい」をクリックします。

7

「インストールされたプリンタドライバ」一覧から、削除したいプリンタードライバーを選択し、［削除］をクリックします。

- Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、手順 9 に進みます。
- Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、手順 8 に進みます。

8

削除の対象を確認する画面で「ドライバとドライバパッケージを削除する」または「ドライバーとパッケージを削除する」を選択して、［OK］をクリックします。

9

削除を確認する画面で［はい］をクリックします。

- Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、さらに削除を確認する画面が表示されますので［削除］をクリックします。

10

開いている画面を閉じ、コンピューターを再起動します。

- 必ず再起動してください。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

詳しく説明します

先の手順でプリンタードライバーを削除しても、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、機種情報ファイルがコンピューターに残ります。このため同一バージョンのプリンタードライバーを再インストールする場合、ドライバーが書き替えできない場合があります。この場合以下のファイルも削除してください。
「C:¥WINDOWS¥system32¥spool¥drivers¥w32x86」フォルダーを確認し、該当機種のフォルダーがあれば削除します。ただし、PCL コニカミノルタ製ドライバーと PostScript コニカミノルタ製ドライバーなど複数のドライバーがインストールされている場合は、全てのドライバーの機種情報が削除されます。ほかのドライバーを残す場合は削除しないでください。
「C: ¥WINDOWS¥inf」フォルダーにある「oem*.inf」と「oem*.PNF」を削除します（ファイル名の「*」は番号を示し、番号はコンピューターの環境により異なります）。
削除する前に inf ファイルを開いて、最後の数行に記述してある機種名を確認し、該当機種のファイルであることを確認してください。PNF ファイルは inf ファイルと同じ番号となります。
Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 で「ドライバとドライバパッケージを削除する」または「ドライバとパッケージを削除する」で操作した場合は、この作業は不要です。

第 4 章
Macintosh プリンタードライバーのインストール

Macintosh を使用する場合に必要な設定と Macintosh 用プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

4.1　選択可能な接続方法

Mac OS は、ネットワーク接続で利用できます。利用できるプロトコルは次のとおりです。

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	Bonjour	Bonjour、Rendezvous によるネットワーク接続です。	「Mac OS X 10.2/10.3/10.4/10.5/10.6 でのインストール」（p. 4-3） 「Mac OS 9.2」（p. 4-17） * 接続方法はプリンターの選択で指定します。
	AppleTalk	AppleTalk によるネットワーク接続です。	
	LPR	LPR プリントサービスによるネットワーク接続です。	
	IPP	IPP プリントサービスによるネットワーク接続です。	

参照

ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

ひとこと

AppleTalk による接続は、Mac OS X10.2/10.3/10.4/10.5 までの対応になります。

4.2 Mac OS X 10.2/10.3/10.4/10.5/10.6 でのインストール

4.2.1 プリンタードライバーのインストール

1 Macintosh を起動します。

> ひとこと
> アプリケーションソフトが起動しているときは、全て終了しておきます。

2 プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

3 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを開きます。

❍ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

4 Mac OS のバージョンに合わせて、ドライバー用のファイルをデスクトップ上にコピーします。

❍ OS X 10.2：KONICAMINOLTAmc8650_102.pkg

❍ OS X 10.3：KONICAMINOLTAmc8650_103.pkg

❍ OS X 10.4：KONICAMINOLTAmc8650_103.pkg

❍ OS X 10.5：KONICAMINOLTAmc8650_105.pkg

❍ OS X 10.6：KONICAMINOLTAmc8650_106.pkg

> ひとこと
> OS X 10.5/10.6 では使用する用紙サイズによってドライバー用フォルダが異なります。使用環境に合わせて選択してください。
> おもにメトリックサイズ（A4 など）で印刷する場合：「WW_A4」フォルダー
> おもにインチサイズ（Letter）で印刷する場合：「WW_Letter」フォルダー

5 デスクトップ上にコピーしたファイルをダブルクリックします。

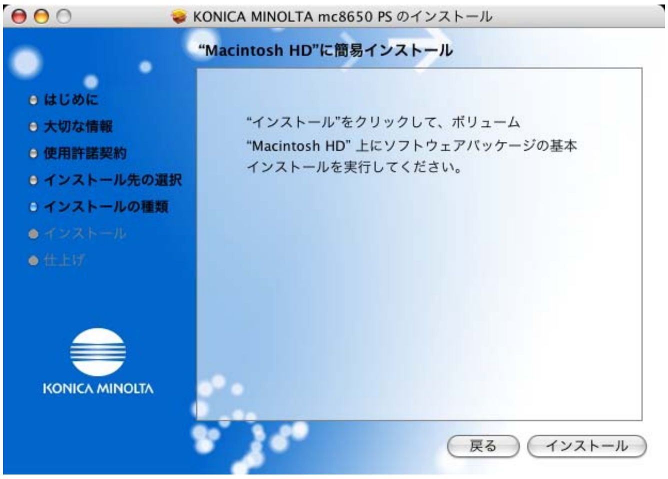
6 「インストール」画面が表示されるまで、画面の指示にしたがって［続ける］をクリックします。

> ひとこと
> 途中で、管理者の名前とパスワードを要求されますので入力してください。
> 管理者の名前とパスワードは、ネットワーク管理者にお問合わせください。
> ［キャンセル］を押すと、インストーラーは終了します。

7 「簡易インストール」画面で、「インストール］をクリックします。

プリンタードライバーがコンピューターにインストールされます。インストールが終了すると、メッセージが表示されます。

> ひとこと
> OS X 10.2/10.3/10.4 の場合、2 回目以降のインストールでは、［インストール］ボタンが［アップグレード］に変わることがあります。



8 ［閉じる］をクリックします。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

続いて、プリンターの選択をしてください。

4.2.2　プリンターの選択と接続（OS X 10.4/10.5/10.6）

OS X 10.4/10.5/10.6 は、Bonjour、LPR（LPD）、IPP で接続できます。

OS X 10.4/10.5 は、Apple Talk でも接続できます。

本機のネットワーク設定を行ったあと、「プリンタ設定ユーティリティ」または「プリントセンター」で使用するプリンターとして選択すると、印刷できるようになります。

■ Bonjour を設定する

本機の Bonjour 設定

本機の「Bonjour 設定」で Bonjour を使用可能に設定し、Bonjour 名を入力しておきます。

参照

本機の Bonjour 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

プリンターの追加

1 「アップル」メニューの「システム環境設定 ...」を選択します。

2 「プリントとファクス」アイコンをクリックします。

3 「プリントとファクス」画面で［＋］をクリックします。

4 ［デフォルト］をクリックします。

接続されているプリンターが検出されます。

ひとこと

プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。

電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

5 「プリンタ名」一覧から Bonjour 接続された目的の機種名を選択します。

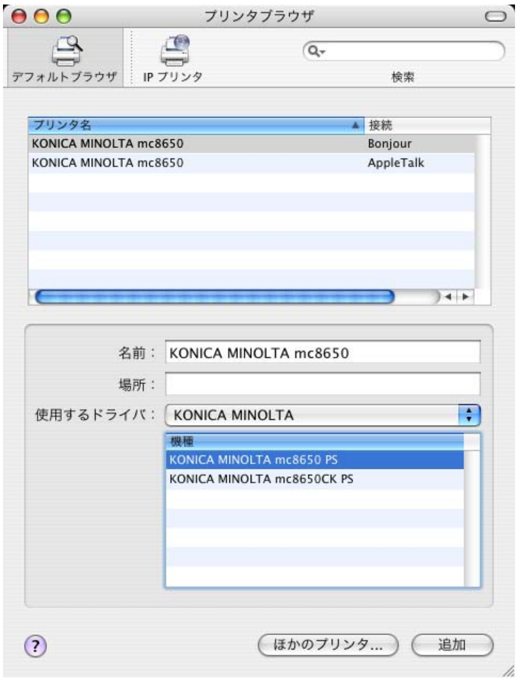
選択したプリンター名に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。

- プリンタードライバーが選択された場合は、手順 7 へ進みます。
- プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 6 へ進みます。

6 プリンタードライバーを手動で選択します。

- OS X 10.6 の場合は、「ドライバ :」で「プリンタソフトウェアを選択 ...」を選択し、別ウィンドウで表示される一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。
- OS X 10.5 の場合は、「ドライバ :」で「使用するドライバを選択 ...」を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

❍ OS X 10.4 の場合は、「使用するドライバ :」で「KONICA MINOLTA」を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。



7 ［追加］をクリックします。

選択したプリンターが「プリントとファクス」に登録されると、設定は終了です。

ひとこと

・「インストール可能なオプション」画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、「OS X プリンタードライバーの初期設定」(p. 6-3) をごらんください。
・OS X 10.4 の場合は、「プリンタ設定ユーティリティ」画面から［追加］をクリックしてもプリンターを追加できます。

■ AppleTalk を設定する

本機の AppleTalk 設定

本機の「AppleTalk 設定」で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンター名を入力しておきます。

参照

本機の AppleTalk 設定については、「ネットワーク設定」(p. 2-1) をごらんください。

コンピューターの AppleTalk 設定

接続している Macintosh で AppleTalk を設定します。

ひとこと

AppleTalk による接続は、Mac OS X10.2/10.3/10.4/10.5 までの対応になります。

1 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2 「ネットワーク」アイコンをクリックします。

3 Ethernet の設定画面を表示します。

❍ OS X 10.5 の場合は、「Ethernet」を選択し、［詳細 ...］をクリックします。

❍ OS X 10.4 の場合は、「内蔵 Ethernet」を選択し、［設定 ...］をクリックします。

4 「AppleTalk」タブをクリックし、「AppleTalk 使用」チェックボックスを ON にします。

5 画面左上のクローズボタンをクリックします。
- 「設定の変更を適用しますか？」というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 「アップル」メニューの「システム環境設定 ...」を選択します。

2 「プリントとファクス」アイコンをクリックします。

3 「プリントとファクス」画面で［+］をクリックします。

4 ［デフォルト］をクリックします。

接続されているプリンターが検出されます。

5 「プリンタ名」一覧から AppleTalk 接続された目的の機種名を選択します。

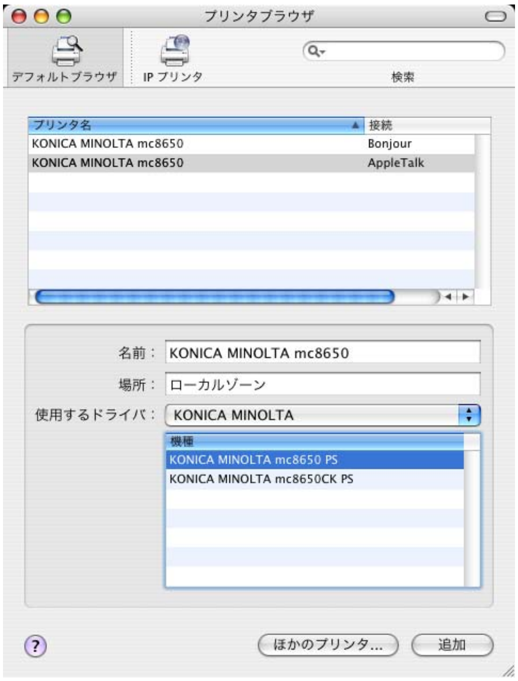
選択したプリンター名に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。
- プリンタードライバーが選択された場合は、手順 7 へ進みます。
- プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 6 へ進みます。

ひとこと

プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

6 プリンタードライバーを手動で選択します。

- OS X 10.5 の場合は、「ドライバ :」で「使用するドライバを選択 ...」を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。
- OS X 10.4 の場合は、「使用するドライバ :」で「KONICA MINOLTA」を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。



7 ［追加］をクリックします。

選択したプリンターが「プリントとファクス」に登録されると、設定は終了です。

ひとこと

- 「インストール可能なオプション」画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、「OS X プリンタードライバーの初期設定」（p. 6-3）をごらんください。
- OS X 10.4 の場合は、「プリンタ設定ユーティリティ」画面から［追加］をクリックしてもプリンターを追加できます。

■ LPR を設定する

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2 「ネットワーク」アイコンをクリックします。

参照

- 本機の IP アドレスの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。
- 本機の LPD 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

3 Ethernet の設定画面を表示します。

- OS X 10.5 の場合は、「Ethernet」を選択し、［詳細 ...］をクリックします。
- OS X 10.4 の場合は、「内蔵 Ethernet」を選択し、［設定 ...］をクリックします。

4 「TCP/IP」タブをクリックします。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定」項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。

- 「設定の変更を適用しますか？」というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 「アップル」メニューの「システム環境設定 ...」を選択します。

2 「プリントとファクス」アイコンをクリックします。

3 「プリントとファクス」画面で［＋］をクリックします。

4 ［IP］または［IP プリンタ］をクリックします。

5 「プロトコル :」で「LPD（Line Printer Daemon）」を選択します。

6

「アドレス :」に本機の IP アドレスを入力します。

IP アドレスで検出された本機に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。

- プリンタードライバーが選択された場合は、手順 8 へ進みます。
- プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 7 へ進みます。

7

プリンタードライバーを手動で選択します。

- OS X 10.6 の場合は、「ドライバ :」で「プリンタソフトウェアを選択 ...」を選択し、別ウィンドウで表示される一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。
- OS X 10.5 の場合は、「ドライバ :」で「使用するドライバを選択 ...」を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。
- OS X 10.4 の場合は、「使用するドライバ :」で「KONICA MINOLTA」を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。



8

［追加］をクリックします。

選択したプリンターが「プリントとファクス」に登録されると、設定は終了です。

ひとこと

・「インストール可能なオプション」画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、「OS X プリンタードライバーの初期設定」(p. 6-3) をごらんください。
・OS X 10.4 の場合は、「プリンタ設定ユーティリティ」画面から［追加］をクリックしてもプリンターを追加できます。

■ IPP を設定する

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の IPP 設定

本機の「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1. 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。
2. 「ネットワーク」アイコンをクリックします。
3. Ethernet の設定画面を表示します。
   - OS X 10.5 の場合は、「Ethernet」を選択し、［詳細 ...］をクリックします。
   - OS X 10.4 の場合は、「内蔵 Ethernet」を選択し、［設定 ...］をクリックします。
4. 「TCP/IP」タブをクリックします。
5. Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定」項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。
6. 画面左上のクローズボタンをクリックします。
   - 「設定の変更を適用しますか？」というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1. 「アップル」メニューの「システム環境設定 ...」を選択します。
2. 「プリントとファクス」アイコンをクリックします。
3. 「プリントとファクス」画面で［+］をクリックします。

   「プリンタブラウザ」が表示されます。
4. ［IP］または［IP プリンタ］をクリックします。
5. 「プロトコル :」で「IPP（Internet Printing Protocol）」を選択します。

参照

- 本機の IP アドレスの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。
- 本機の IPP 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

6

「アドレス :」に本機の IP アドレスを入力し、「キュー :」に「ipp」を入力します。

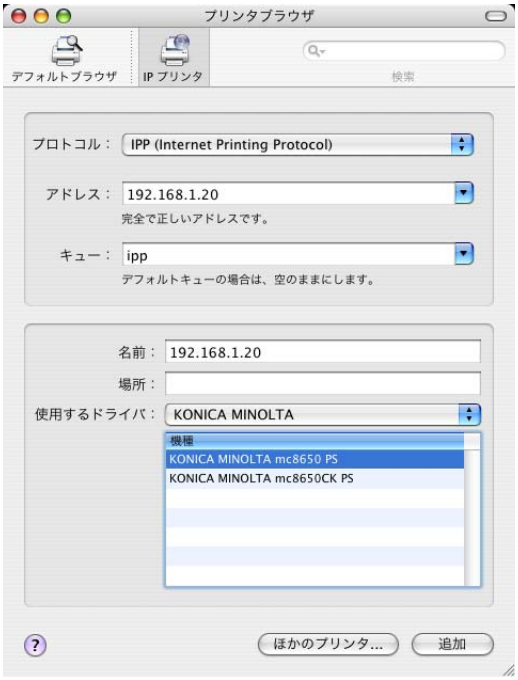
IP アドレスで検出された本機に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。

- プリンタードライバーが選択された場合は、手順 8 へ進みます。
- プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 7 へ進みます。

7

プリンタードライバーを手動で選択します。

- OS X 10.6 の場合は、「ドライバ :」で「プリンタソフトウェアを選択 ...」を選択し、別ウィンドウで表示される一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。
- OS X 10.5 の場合は、「ドライバ :」で「使用するドライバを選択 ...」を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。
- OS X 10.4 の場合は、「使用するドライバ :」で「KONICA MINOLTA」を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。



8

［追加］をクリックします。

選択したプリンターが「プリントとファクス」に登録されると、設定は終了です。

ひとこと

- 「インストール可能なオプション」画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。詳しくは、「OS X プリンタードライバーの初期設定」（p. 6-3）をごらんください。
- OS X 10.4 の場合は、「プリンタ設定ユーティリティ」画面から［追加］をクリックしてもプリンターを追加できます。

4.2.3　プリンターの選択と接続（OS X 10.2/10.3）

OS X 10.2/10.3 は、Rendezvous、AppleTalk、LPR（LPD）、IPP で接続できます。

本機のネットワーク設定を行ったあと、「プリンタ設定ユーティリティ」または「プリントセンター」で使用するプリンターとして選択すると、印刷できるようになります。

■ Rendezvous を設定する

本機の Bonjour 設定

本機の「Bonjour 設定」で Bonjour を使用可能に設定し、Bonjour 名を入力しておきます。

プリンタの追加

1. インストールされた「HDD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」内にある［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］をダブルクリックして開きます。
2. 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、［追加］をクリックします。
3. 接続方法に「Rendezvous」を選択します。

   接続されているプリンターが検出されます。
4. 「名前」一覧から目的の機種名を選択します。
5. 「プリンタの機種」で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択して［追加］をクリックします。



選択したプリンターが「プリンタリスト」に登録されると、設定は終了です。

参照

本機の Bonjour 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

ひとこと

すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、「プリンタの追加」画面は表示されません。

ひとこと

プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。

電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

■ AppleTalk を設定する

本機の AppleTalk 設定

本機の「AppleTalk 設定」で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンター名を入力しておきます。

コンピューターの AppleTalk 設定

接続している Macintosh で AppleTalk を設定します。

1. 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。
2. 「ネットワーク」アイコンをクリックします。
3. 「表示」で「内蔵 Ethernet」を選択します。
4. 「AppleTalk」タブをクリックし、「AppleTalk 使用」チェックボックスを ON にします。
5. 画面左上のクローズボタンをクリックします。
   - 「設定の変更を適用しますか？」というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンタの追加

1. インストールされた「HDD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」内にある［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］をダブルクリックして開きます。
2. 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、［追加］をクリックします。
3. 接続方法に「AppleTalk」を選択し、本機が接続されているゾーンを選択します。

   接続されているプリンターが検出されます。
4. 「名前」一覧から目的の機種名を選択します。

参照

本機の AppleTalk 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

ひとこと

すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、「プリンタの追加」画面は表示されません。

ひとこと

プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

5 「プリンタの機種」で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択して［追加］をクリックします。



選択したプリンターが「プリンタリスト」に登録されると、設定は終了です。

■ LPR を設定する

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2 「ネットワーク」アイコンをクリックします。

3 「表示」で「内蔵 Ethernet」を選択します。

4 「TCP/IP」タブをクリックします。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定」項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。

❍「設定の変更を適用しますか？」というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

参照

· 本機の IP アドレスの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。
· 本機の LPD 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

プリンターの追加

1. インストールされた「HDD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」内にある［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］をダブルクリックして開きます。

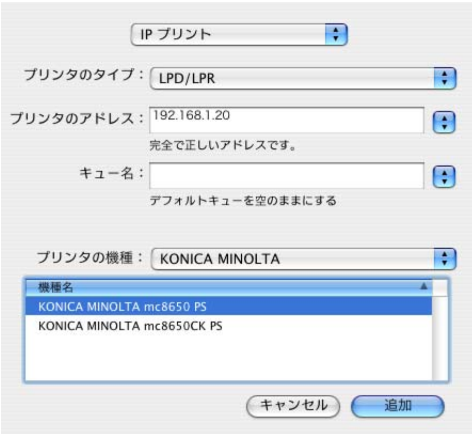
2. 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、［追加］をクリックします。

3. 接続方法に「IP プリント」を選択します。

4. OS X 10.3 の場合は、「プリンタのタイプ」で「LPD/LPR」を選択します。

5. 「プリンタのアドレス」に本機の IP アドレスを入力します。

6. 「プリンタの機種」で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択して［追加］をクリックします。



選択したプリンターが「プリンタリスト」に登録されると、設定は終了です。

ひとこと

すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、「プリンタの追加」画面は表示されません。

■ IPP を設定する

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の IPP 設定

本機の「IPP 設定」で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1. 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2. 「ネットワーク」アイコンをクリックします。

参照

・本機の IP アドレスの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。
・本機の IPP 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

3 「表示」で「内蔵 Ethernet」を選択します。

4 「TCP/IP」タブをクリックします。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定」項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。

❍「設定の変更を適用しますか？」というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 インストールされた「HDD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」内にある［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］をダブルクリックして開きます。

2 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、［追加］をクリックします。

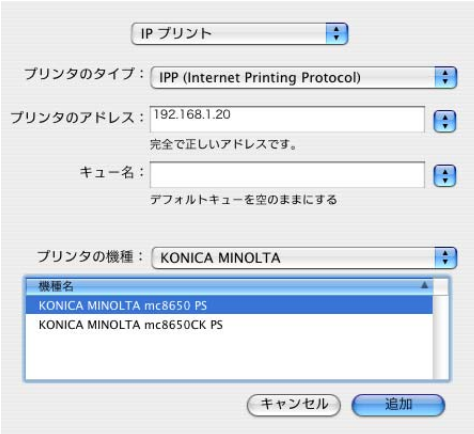
3 接続方法に「IP プリント」を選択します。

4 OS 10.3 の場合は、「プリンタのタイプ」で「IPP」を選択します。

5 「プリンタのアドレス」に本機の IP アドレスを入力します。

❍「キュー名」は空欄にします。

6 「プリンタの機種」で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名一覧から目的の機種名を選択して［追加］をクリックします。



選択したプリンターが「プリンタリスト」に登録されると、設定は終了です。

ひとこと

すでに使用可能なプリンターを設定している場合は、「プリンタの追加」画面は表示されません。

4.3 Mac OS 9.2

4.3.1 プリンタードライバーのインストール

本機に接続後、PostScript プリンターを選択し、「プリンター記述ファイル（PPD ファイル）」を指定すると、プリンターとして使用できるようになります。

まず、「プリンター記述ファイル（PPD ファイル）」をコンピューターにコピーします。

1. プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
2. CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを開きます。
   - 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
3. 「KONICAMINOLTAM8650JVxxx.ppd」の PPD ファイルを選択し、コンピューターの「HDD」－「システムフォルダー」－「機能拡張」－「プリンタ記述ファイル」内にコピーします。

   これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.3.2 プリンターの選択と接続

OS9 は、AppleTalk、LPR（LPD）で接続できます。

本機のネットワーク設定を行ったあと、プリンターを選択します。

■ AppleTalk を設定する

本機の AppleTalk 設定

本機の「AppleTalk 設定」で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンター名を入力しておきます。

参照

本機の AppleTalk 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

コンピューターの AppleTalk 設定

接続している Macintosh で AppleTalk を設定します。

1. 「アップル」メニューの「コントロールパネル」－「AppleTalk」を選択します。
2. 「経由先」で「Ethernet」を選択します。
3. 画面左上のクローズボタンをクリックします。
   - 「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というメッセージが表示されたら［保存］をクリックします。

プリンタの選択

1. 「アップルメニュー」の「セレクタ」を選択します。
2. 「AppleTalk」が「使用」になっていることを確認して、［LaserWriter］アイコンをクリックします。

3 「PostScript プリンタの選択」一覧から、目的の機種名をクリックし、［作成］をクリックします。

PostScript プリンター記述（PPD）ファイルを選択する画面が表示されます。

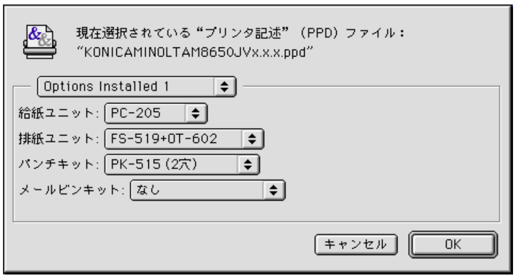
4 該当する PPD ファイルをクリックし、［選択］（または［開く］）をクリックします。



選択したプリンターが「セレクタ」に登録されると、設定は終了です。

- ❍ オプションを設定する画面が表示される場合は、続けてオプションの設定を変更できます。手順 5 へ進みます。
- ❍「セレクタ」画面が表示される場合は、手順 7 へ進みます。

5 「Options Installed 1」と「Options Installed 2」の各画面で本機に装着しているオプションを設定します。



6 ［OK］をクリックします。

「セレクタ」画面に戻ります。

7 「セレクタ」画面を閉じます。

■ LPR を設定する

本機の TCP/IP 設定
本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の LPD 設定
LPR 印刷を利用する場合は、本機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

コンピューターの TCP/IP 設定
接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

ひとこと

すでに別の PPD ファイルが選択されている場合は、手順 3 で［再設定］をクリックし、さらに表示される画面で［PPD の選択］をクリックします。

参照

・本機の IP アドレスの設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。
・本機の LPD 設定については、「ネットワーク設定」（p. 2-1）をごらんください。

1. 「アップル」メニューの「コントロールパネル」－「TCP/IP」を選択します。

2. 「経由先」で「Ethernet」を選択します。

3. Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定方法」の項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

4. 画面左上のクローズボタンをクリックします。
   - ❍「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というメッセージが表示されたら［保存］をクリックします。

プリンターの追加

1. 「HDD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」内にある「デスクトッププリンタ Utility」をダブルクリックして開きます。

   「新規」画面が表示されます。

2. 「プリンタ」で「LaserWriter」を選択します。

3. 「デスクトップに作成」で「プリンタ（LPR)」を選択します。



   「名称未設定」画面が表示されます。

4. 「PostScriptTM 記述（PPD）ファイル」の［変更］をクリックします。

   PostScript プリンター記述（PPD）ファイルを選択する画面が表示されます。



5 該当する PPD ファイルをクリックし、［選択］をクリックします。

「名称未設定」画面に戻ります。

6 「LPR プリンタの選択」の［変更］をクリックします。

IP アドレスを入力する画面が表示されます。

7 「プリンタアドレス」に本機の IP アドレスを入力して、［OK］をクリックします。

「名称未設定」画面に戻ります。

8 ［作成］をクリックします。

保存の画面が表示されます。

9 「デスクトップ・プリンタの保存名」を入力して、［保存］をクリックします。

デスクトップに LPR プリンターのアイコンが作成されます。

4.4 アンインストール

プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

4.4.1 Mac OS X の場合

1. 「プリントとファクス」画面（または「プリンタ設定ユーティリティ」/「プリントセンター」画面）を開きます。
   - 「プリントとファクス」画面は、「アップル」メニューの「システム環境設定 ...」から開きます（OS X 10.3/10.4/10.5/10.6)。
   - 「プリンタ設定ユーティリティ」/「プリントセンター」画面は、「Macintosh HD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」から開きます（OS X 10.2/10.3/10.4)。

2. 削除するプリンター名を選択し、［－］（または［削除］）をクリックします。

   選択したプリンターが削除されます。

3. 「プリントとファクス」画面（または「プリンタ設定ユーティリティ」/「プリントセンター」画面）を閉じます。

4. インストールした「Macintosh HD」の「ライブラリ」－「Printers」－「PPDs」－「Contents」－「Resources」内の以下のファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。
   OS X 10.2/10.3/10.4 の場合は、「ライブラリ」－「Printers」－「PPDs」－「Contents」－「Resources」－［ja.lproj］および［de.lproj］/［en.lproj］/［es.lproj］/［fr.lproj］/［it.lproj］/［ko.lproj］/［zh_CN.lproj］/［zh_TW.lproj］内の以下のファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。
   - 「KONICAMINOLTAmc8650.gz」
   - 「KONICAMINOLTAmc8650CK.gz」

5. 「ライブラリ」－「Printers」内の不要なファイルを削除します。
   - 「ライブラリ」－「Printers」－「KONICAMINOLTA」内の「mc8650」フォルダーを［ゴミ箱］へドラッグします。
   - OS X 10.2 の場合は続いて、「ライブラリ」－「Printers」－「PPDPlugins」内にある「KONICA MINOLTA mc8650」のついたフォルダーを全て［ゴミ箱］へドラッグします。

6. OS X 10.2/10.3/10.4/10.5 の場合は、「ライブラリ」－「Receipts」内の「KONICAMINOLTAmc8650_xxx.pkg」を［ゴミ箱］へドラッグします。

7. コンピューターを再起動します。

   これでプリンタードライバーの削除は完了です。

4.4.2　Mac OS 9.2 の場合

1. デスクトップ上のプリンターアイコンを「ゴミ箱」へドラッグします。

2. 「HDD」－「システムフォルダー」－「機能拡張」－「プリンタ記述ファイル」内の「KONICAMINOLTAM8650JVxxx.ppd」の PPD ファイルを選択し、「ゴミ箱」へドラッグします。

   プリンタードライバー関連ファイルが削除されます。

3. コンピューターを再起動します。

   これでプリンタードライバーの削除は完了です。

第 5 章
Windows 用ドライバーの印刷機能

Windows 用のプリンタードライバーの機能について説明します。

5.1 印刷操作

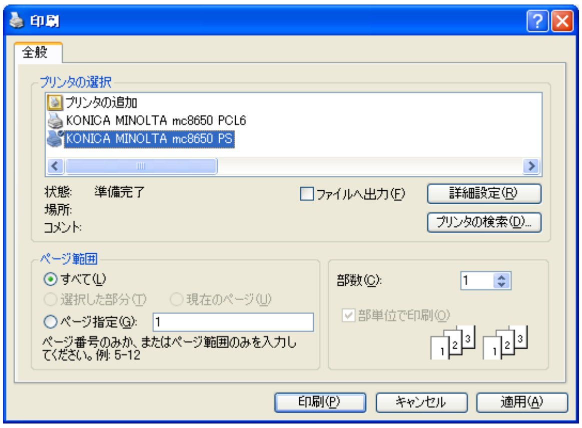
通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル]をクリックしてメニューから「印刷」(または「プリント」)をクリックします。

❍ メニューがない場合は、[印刷]ボタンをクリックします。

2 「プリンタ名」(または「プリンタの選択」)で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

❍ 目的のプリンターが選択されていないときは、クリックして選択します。



3 印刷するページ範囲や部数を設定します。

4 必要に応じて[プロパティ](または[詳細設定])をクリックし、プリンタードライバーの設定を変更します。

5 [印刷]をクリックします。

本機のデータランプが点滅します。

ひとこと

「印刷」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

詳しく説明します

「印刷」画面で[プロパティ]や[詳細設定]をクリックすると、プリンタードライバーの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、「PCL/PS ドライバーの設定項目詳細」(p. 5-8)をごらんください。

ひとこと

「印刷」画面から変更したプリンタードライバーの設定は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

5.2 PCL/PS プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションやユーザー認証、部門管理機能などの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にする必要があります。

ひとこと

本機の機種名や装着されているオプション、ユーザー認証、部門管理機能が「装置情報」タブで設定されていないと、プリンタードライバーでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

5.2.1 プロパティ画面の表示方法

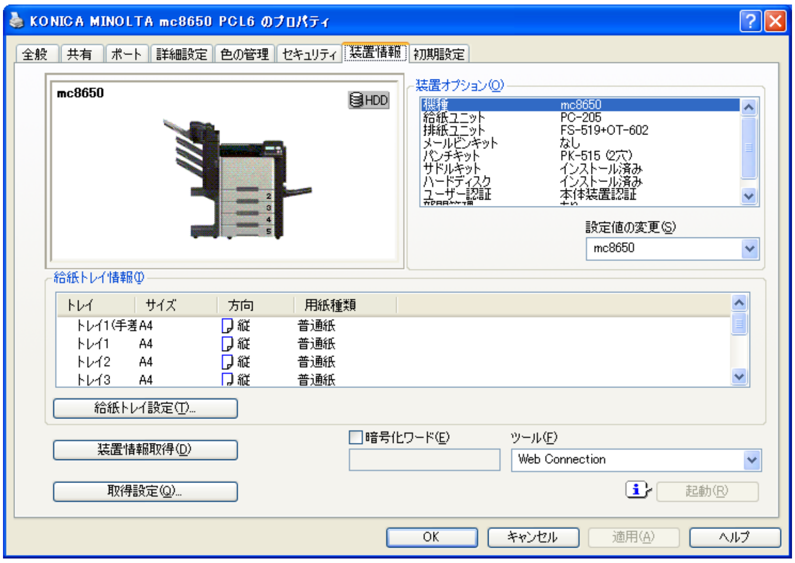
1 「プリンタ」ウィンドウまたは「デバイスとプリンター」ウィンドウ、「プリンタと FAX」ウィンドウを開きます。

- Windows Vista/Server 2008 の場合は、［スタート］をクリックして「コントロール パネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。「コントロール パネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、［スタート］をクリックし、「デバイスとプリンター」をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 で、［スタート］メニューに「デバイスとプリンター」が表示されていない場合は、［スタート」メニューから「コントロール パネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
- Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］をクリックし、「プリンタと FAX」をクリックします。
- Windows XP/Server 2003 で、［スタート］メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、［スタート］メニューから「コントロール パネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。「コントロール パネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。
- Windows 2000/NT 4.0 の場合は、［スタート］をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。

2 「プリンターのプロパティ」を開きます。

- Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして「プリンターのプロパティ」をクリックします。

5.2.2 装置情報タブ



使用する機種名とオプションやユーザー認証、部門管理機能の有無を設定し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にします。

項目名	機能
装置オプション	本機の機種名と装着されているオプションやユーザー認証 / 部門管理の状態を設定します。各項目の状態は「設定値の変更」で設定します。
給紙トレイ情報	給紙トレイに対する用紙種類の割り当て状態を表示します。［給紙トレイ設定］で割り当てを設定できます。
装置情報取得	本機と通信し、オプション装着の状態を読み取ります。
取得設定	装置情報取得を実行する接続先などの条件を設定します。
暗号化ワード	本機との通信で暗号化ワードがユーザー定義されている場合に入力します。
ツール	PageScope Web Connection などの設定ツールを起動します。

必ず守ってください

- 「装置オプション」の機種とオプションの選択は必ず行ってください。
- 「暗号化ワード」は本機の「ドライバーパスワード暗号化設定」で設定した暗号化ワードと一致させてください。

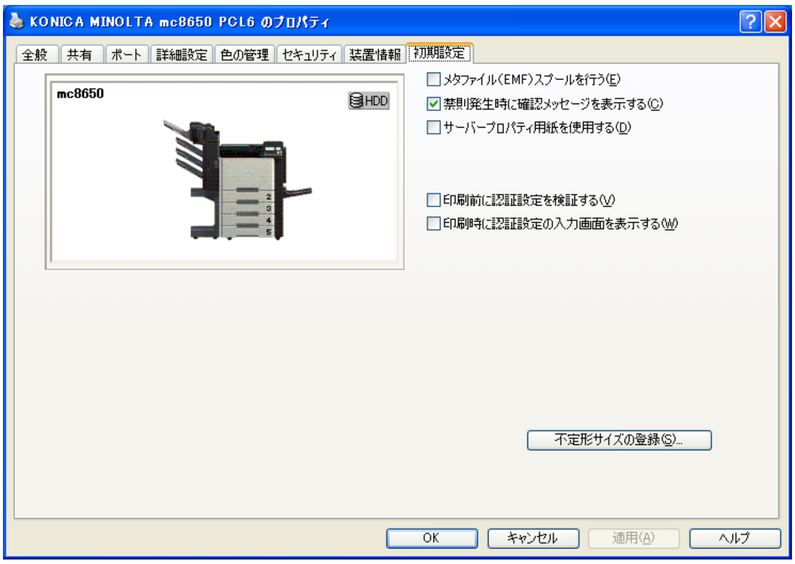
ひとこと

［装置情報取得］の機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

参照

「暗号化ワード」をユーザー定義にする方法については、「暗号化ワードをユーザー設定する」(p. 7-28) をごらんください。

5.2.3 初期設定タブ



確認メッセージや認証設定入力画面の表示に関する初期設定を変更できます。

項目名	機能
メタファイル（EMF）スプールを行う	独自のシステム環境で使用する場合で、メタファイル（EMF）スプールが必要な場合にチェックします。
禁則発生時に確認メッセージを表示する	プリンタードライバーで、同時に設定できない機能を有効にした場合にメッセージを表示します。
サーバープロパティ用紙を使用する	プリンターフォルダーの［サーバーのプロパティ］で追加登録した用紙を使用します。
印刷前に認証設定を検証する	印刷前に本機に対し認証設定を検証し、適合しない場合はメッセージを表示します。
印刷時に認証設定の入力画面を表示する	印刷を指定するときにユーザー認証 / 部門管理設定ダイアログボックスを表示し、ユーザー名や部門名の入力を促します。
不定形サイズの登録	不定形サイズの用紙を登録します。

ひとこと

- 「メタファイル（EMF）スプールを行う」、「不定形サイズの登録」は PCL ドライバーのみの機能です。
- 「サーバーのプロパティ」は、Windows Vista/Server 2008 の場合、「プリンタ」ウィンドウの何もない部分を右クリックし、「管理者として実行」－「サーバーのプロパティ」をクリックして開きます。Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、プリンターを選択し、ツールバーの「プリント サーバー プロパティ」をクリックします。Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 の場合は、「ファイル」メニューをクリックし、「サーバーのプロパティ」をクリックします。
- プリンタードライバーで使用できるサーバープロパティ用紙は、以下の範囲です。
  プリンタードライバーで設定できる不定形サイズの範囲：
  幅：9.00 ～ 31.11 cm、長さ：13.97 ～ 120.0 cm
  上記の不定形サイズや長尺紙サイズの範囲で登録した用紙は、プリンタードライバーの「原稿サイズ」、「用紙サイズ」の両方で選択できます。

5.2.4　デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの基準設定（初期設定）を変更します。

1 「プリンタ」ウィンドウまたは「デバイスとプリンター」ウィンドウ、「プリンタと FAX」ウィンドウを開きます。

- Windows Vista/Server 2008 の場合は、［スタート］をクリックして「コントロール パネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。「コントロール パネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、［スタート］をクリックし、「デバイスとプリンター」をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 で、［スタート］メニューに「デバイスとプリンター」が表示されていない場合は、［スタート］メニューから「コントロール パネル」を開き、「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
- Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］をクリックし、「プリンタと FAX」をクリックします。

❍ Windows XP/Server 2003 で、［スタート］メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、［スタート］メニューから「コントロール パネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。「コントロール パネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

❍ Windows NT 4.0/2000 の場合は、［スタート］をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。

2 インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして「印刷設定」をクリックします。

❍ Windows NT 4.0 の場合は、プリンターのアイコンを右クリックして「ドキュメントの既定値」をクリックします。

プリンタードライバーの設定ダイアログが表示されます。

3 機能の設定を変更し、［OK］をクリックして終了します。

変更した設定が、全てのアプリケーションソフトウェアでプリンターを使用するときに適用されます。

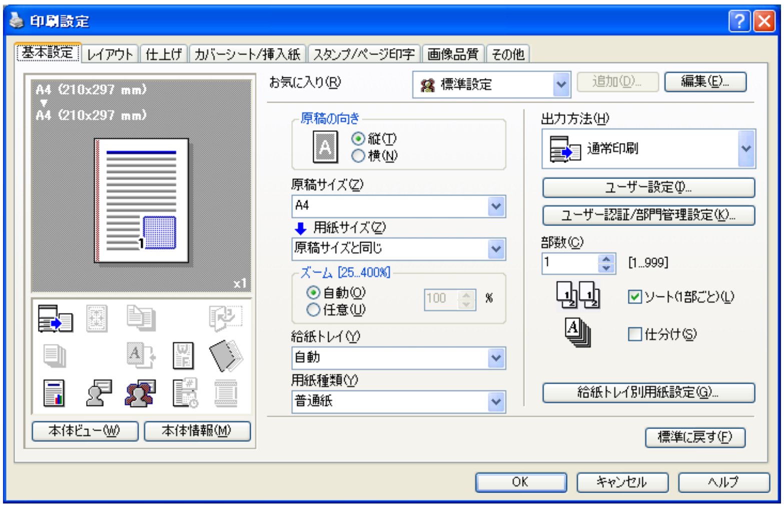
参照

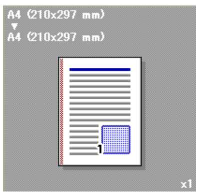
・プリンタードライバーの機能や設定項目については、「PCL/PS ドライバーの設定項目詳細」(p. 5-8) をごらんください。

・プリンタードライバーには、設定した内容を「お気に入り」として保存する機能もあります。詳しくは、「PCL/PS ドライバーの共通項目」(p. 5-7) をごらんください。

5.3 PCL/PS ドライバーの共通項目

各タブの画面で共通の設定やボタンについて説明します。

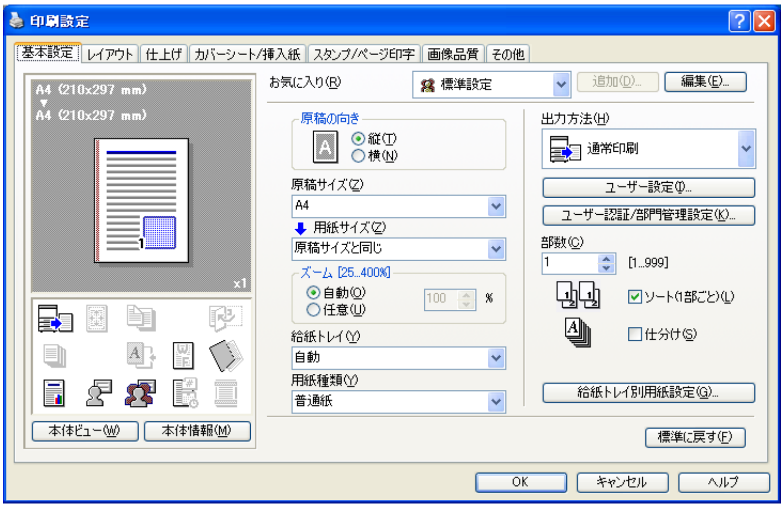


項目名	機能
OK	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、表示されている画面の各項目についてのヘルプが表示されます。
追加（お気に入り）	現在の設定を登録し、あとでその設定を呼出すことができます。
編集（お気に入り）	保存してある設定を変更します。
標準に戻す	このボタンをクリックすると、初期設定の内容に戻します。
ビュー	「用紙ビュー」を選択すると、現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、印刷結果のイメージを確認できます。 「本体ビュー」を選択すると、現在本機に装着されている給紙トレイなどのオプションを含むプリンター構成の図が表示されます。  用紙  本体
本体情報	PageScope Web Connection を起動し、本体情報を確認できます。本機と通信可能な状態で有効です。

5.4 PCL/PS ドライバーの設定項目詳細

印刷設定画面は、プリンタードライバーの機能を設定する画面です。
印刷ダイアログボックスで［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックするか、「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタと FAX」ウィンドウのプリンターアイコンを右クリックし、「印刷設定」（Windows NT 4.0 の場合は、「ドキュメントの既定値」）を指定して開きます。

5.4.1 基本設定タブ



機能名称	選択肢	説明
原稿の向き	縦、横	原稿の用紙方向を設定します。
原稿サイズ	定型用紙サイズと不定形サイズに登録してある用紙サイズ	原稿の用紙サイズを設定します。
	不定形サイズ	サイズを登録します。
用紙サイズ	本機で利用できる定型用紙サイズと不定形サイズに登録してある用紙サイズ	印刷する用紙サイズを設定します。原稿サイズと異なる場合で、ズームが「自動」のときは、サイズに合わせて拡大、縮小されます。
	不定形サイズ	サイズを登録します。
ズーム	25 ～ 400%	拡大・縮小率を設定します。
給紙トレイ	自動、トレイ 2 ～ 5 トレイ 1（手差し）、トレイ 4（大容量）	使用する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
用紙種類	本機で利用できる用紙種類	印刷に使用する用紙種類を選択します。給紙トレイが「自動」のときのみ変更できます。給紙トレイが「自動」以外の設定の場合は、「給紙トレイ別用紙設定」で登録されている用紙種類になります。

ひとこと

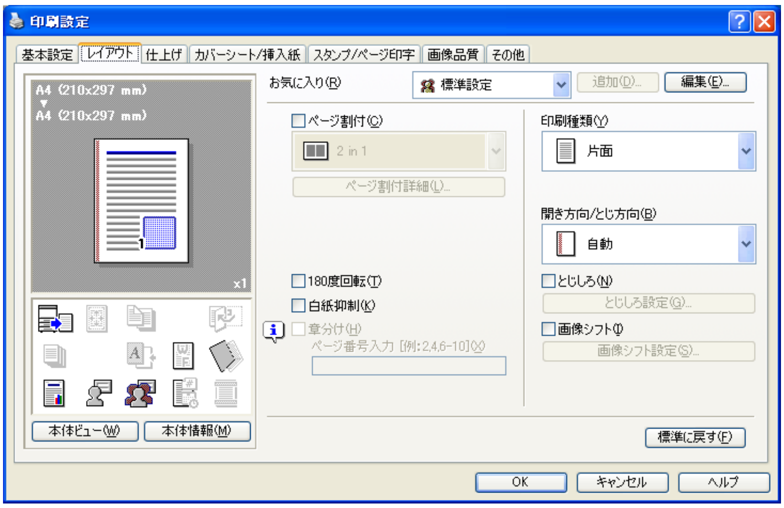
- 用紙サイズ「12 × 18」は A3 よりひと回り大きい 304.8 × 457.2 mm です。
- 用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、不定形サイズを設定してください。不定形サイズは、用紙サイズまたは原稿サイズの選択肢から「不定形サイズ」を選択するとサイズを指定して登録できます。
- 用紙サイズで各定形用紙の「W」を選択すると、データをセンタリングして印刷できます。
- たとえば、A4 サイズのデータを、A3 サイズの用紙にセンタリングして印刷したい場合は、プリンタードライバーで用紙サイズを「A4W」、給紙トレイを「トレイ 1（手差し）」に指定します。印刷するときは、指定した本体のトレイ（「トレイ 1（手差し）」）に A3 サイズの用紙をセットし、操作パネルの［用紙設定］－［トレイ 1］で［用紙サイズ］に「A4W」を選択し、［X サイズ］と［Y サイズ］に A3 サイズ（297.0 × 420.0）を入力します。
- 用紙種類の「両面 2 面目」は、用紙の裏面に印刷するときに指定します。「両面 2 面目」選択時は本機以外で印刷した用紙の裏面は使用しないでください。なお、本設定での印刷結果は保証対象外となります。
- 用紙種類にて、レターヘッド紙を選択して印刷する場合、用紙の面合せ動作を行うため、片面印刷であっても印刷速度が遅くなります。

機能名称	選択肢	説明
出力方法	通常印刷	すぐに印刷されます。
	セキュリティ印刷	印刷文書を本機の「セキュリティー文書ボックス」に保存します。印刷するときに本機の操作パネルで ID とパスワード入力が必要になります。機密性の高い文書を印刷する場合に選択します。
	ボックス保存	印刷文書を本機のボックスに保存します。
	ボックス保存 & 印刷	ボックスに保存すると同時に印刷もします。
	確認印刷	文書が 1 部出力されたあと、本機が一時停止します。大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に選択します。
[ユーザー設定]	−	「セキュリティ印刷」や「ボックス保存」をする場合の ID ／パスワードやファイル名／ボックスナンバを設定します。
[ユーザー認証 / 部門管理設定]	−	本機で「ユーザー認証」している場合のユーザー名／パスワード、本機で「部門管理認証」している場合の部門名／パスワードを設定します。
部数	1 ～ 999	印刷する部数を設定します。
ソート（1 部ごと）	ON/OFF	複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。
仕分け	ON/OFF	複数部数を印刷するときに、1 部ずつ位置をずらして排出します。 PCL ドライバーでは機能しません。
[給紙トレイ別用紙設定]	用紙種類設定	設定する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
	用紙種類	給紙トレイにセットする用紙種類を選択します。

参照

出力方法について詳しくは、「機能詳細説明」（p. 7-1）をごらんください。

5.4.2 レイアウトタブ



機能名称	選択肢	説明
ページ割付	2 in 1、4 in 1、6 in 1、9 in 1、16 in 1、2 × 2、3 × 3、4 × 4	複数ページの文書を 1 枚の用紙に割付ける、または 1 枚の原稿を複数の用紙に分割して印刷します。［ページ割付詳細］でページ順序や境界枠の有無が設定できます。
［ページ割付詳細］	ページ割付	ページ割付の条件を選択します。
	順序	割付順序を設定します。ページ割付で N in 1 が設定されているときに設定できます。
	境界	境界線の有無と線の種類を設定します。ページ割付で N in 1 が設定されているときに設定できます。
	のりしろ	のりしろの有無を設定します。ページ割付で N × N が設定されているときに設定できます。
180 ﾟ回転	ON/OFF	180 ﾟ回転して印刷します。
白紙抑制	ON/OFF	データに白ページがある場合、印刷しません。
章分け	ON/OFF	オモテ面に印刷するページを指定します。印刷種類が「両面」、「小冊子」のときに設定できます。
ページ番号入力	ー	「章分け」を ON にしたとき、オモテ面に印刷するページを入力します。
印刷種類	片面、両面、小冊子	両面印刷や小冊子印刷を設定します。
開き方向 / とじ方向	自動、左とじ、右とじ、上とじ	とじ位置を設定します。
とじしろ	ON/OFF	とじしろ（余白）を設定します。［とじしろ設定］で余白量を設定でます。
［とじしろ設定］	シフトモード	とじしろの余白を空けるために、画像をどのように処理するかを選択します。
	表面 / 裏面	とじしろの値を設定します。両面印刷の場合、「表面と裏面を同じ値にする」のチェックボックスを OFF にすると、表／裏それぞれの値が設定できます。
	単位	サイズを設定する単位を選択します。
画像シフト	ON/OFF	印刷イメージを全体にずらして印刷します。［画像シフト設定］でずれ量の詳細が設定できます。
［画像シフト設定］	単位	サイズを設定する単位を選択します。
	表面 / 裏面	ずらす方向と値を設定します。両面印刷の場合、「表面と裏面を同じ値にする」のチェックボックスを OFF にすると、表／裏それぞれの値が設定できます。

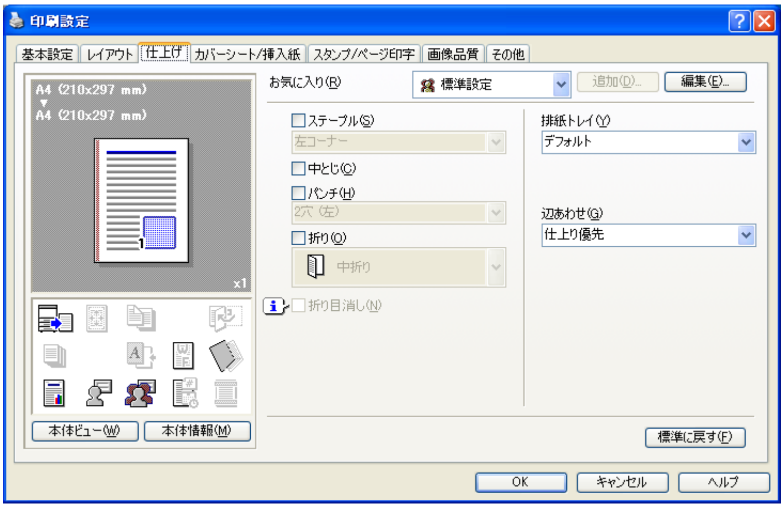
ひとこと

- ・「ページ割付」で 1 枚の原稿を複数の用紙に分割して印刷する「2 × 2、3 × 3、4 × 4」の選択肢は PCL ドライバーのみの機能です。
- ・「白紙抑制」の機能は PCL ドライバーのみの機能です。

ひとこと

とじしろの位置は、「開き方向 / とじ方向」の設定に連動します。

5.4.3　　仕上げタブ

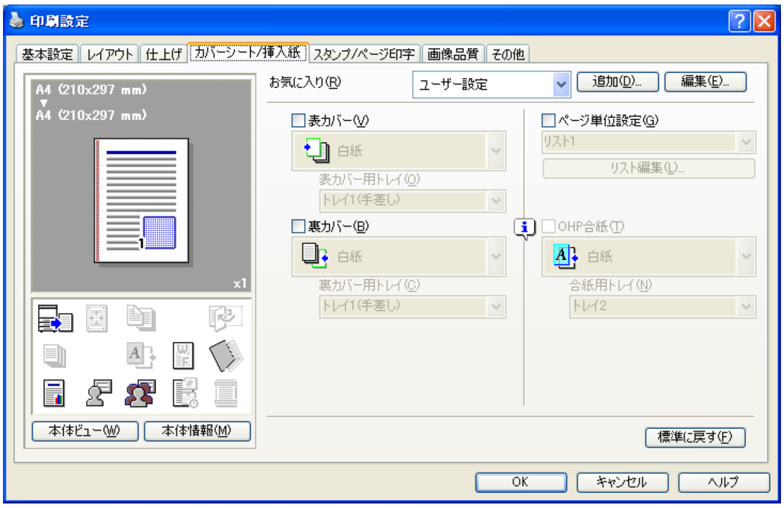


機能名称	選択肢	説明
ステープル	ON/OFF	ステープルを設定します。 ドロップダウンリストでステープルの数と位置を指定できます。
中とじ	ON/OFF	中とじを設定します。
パンチ	ON/OFF	パンチを設定します。 ドロップダウンリストでパンチの数と位置を指定できます。
折り	ON/OFF	折りを設定します。
折り目消し	ON/OFF	中とじ設定時、折り目部分に印刷をしません。
排紙トレイ	デフォルト、トレイ 1 ～ 3、ビン 1 ～ 6	用紙を排出するトレイを設定します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
辺あわせ	仕上り優先、生産性優先	両面印刷する場合、辺あわせ（とじ位置補正）の方法を設定します。仕上り優先にすると、全データ受信後に辺あわせ処理を行います。生産性優先にすると、データを受信／印刷しながら処理します。

原則

- 「ステープル」機能は、オプションのフィニッシャーが装着されている場合のみ使用可能となります。
- 「パンチ」機能は、オプションのフィニッシャーにパンチキットが装着されている場合のみ使用可能となります。
- 「中とじ」機能は、オプションのフィニッシャー FS-609 または、フィニッシャー FS-519 とサドルキットが装着されている場合のみ使用可能となります。
- 「折り」機能は、オプションのフィニッシャー FS-519 とサドルキットが装着されている場合のみ使用可能となります。
- 「折り目消し」機能は、オプションのフィニッシャー FS-609 が装着され、「中とじ」機能が設定されている場合のみ使用可能となります。

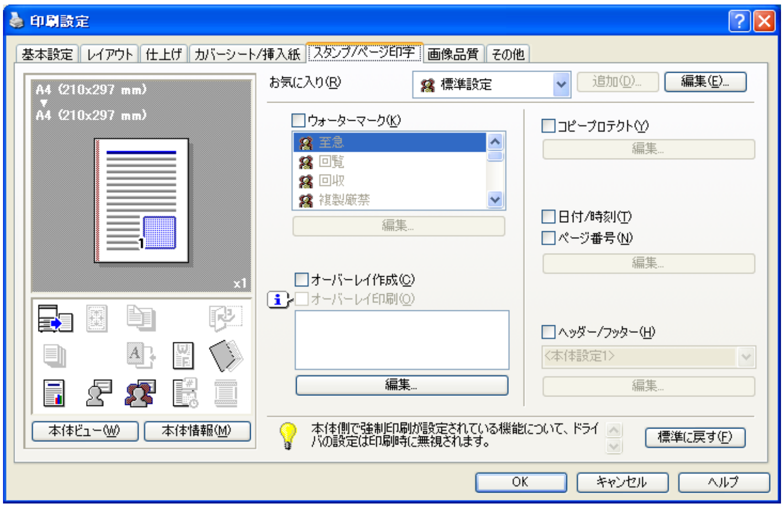
5.4.4 カバーシート / 挿入紙タブ



機能名称	選択肢	説明
表カバー	ON/OFF、白紙 / 印刷	表紙を付けて印刷します。 給紙トレイで「自動」以外の設定が選択されているときに指定できます。
表カバー用トレイ	トレイ 2 ～ 5、トレイ 1（手差し）、トレイ 4（大容量）	表紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
裏カバー	ON/OFF、白紙 / 印刷	裏表紙を付けて印刷します。 給紙トレイで「自動」以外の設定が選択されているときに指定できます。
裏カバー用トレイ	トレイ 2 ～ 5、トレイ 1（手差し）、トレイ 4（大容量）	裏表紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
ページ単位設定	ON/OFF	ページ間に用紙を挿入したり、ページごとに用紙やトレイを切換えます。[リスト編集] でページごとに条件を設定したリストを作成できます。
[リスト編集]	リスト名	編集するリスト名を選択します。設定内容が一覧されます。
	[リスト名編集]	リスト名を変更します。
	[上へ] / [下へ]	選択している条件行の位置を入替えます。ページ番号が小さい順に並ぶように順番を変更してください。
	[追加]	条件を追加します。条件は、「追加 / 削除」の項目で設定します。
	[削除]	選択している条件行を削除します。
	ページ番号	ページ番号を半角数字で入力します。複数のページ番号を入力するときは、カンマで区切るか、ハイフンで範囲を指定します。
	印刷種類	「設定変更」のドロップダウンリストで印刷種類を設定します。
	給紙トレイ	「設定変更」のドロップダウンリストで使用する給紙トレイを設定します。
	ステープル	「設定変更」のドロップダウンリストでステープルの数と位置を設定します。

機能名称	選択肢	説明
OHP 合紙	ON/OFF、白紙	OHP フィルムを印刷するときに合紙をはさんで排出します。 用紙種類で「OHP フィルム」が選択されているときに指定できます。
合紙用トレイ	トレイ 2 ～ 5、トレイ 4（大容量）	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。

5.4.5 スタンプ / ページ印字タブ



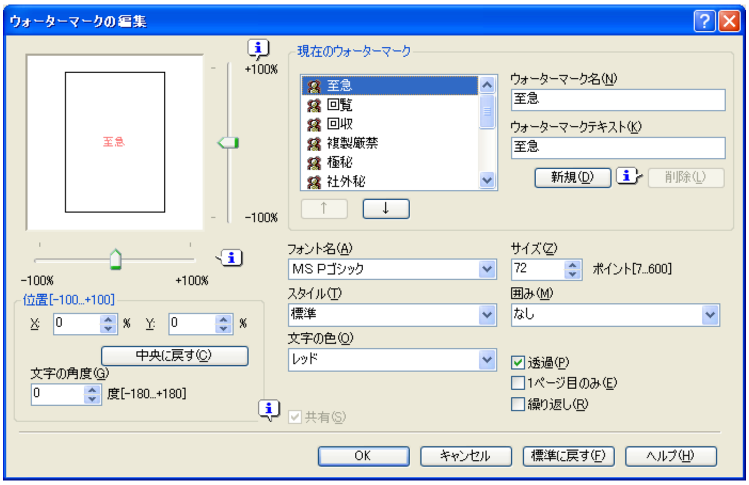
機能名称	選択肢	説明
ウォーターマーク	ON/OFF	文書にウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせて印刷します。［編集］でウォーターマークの作成、変更、削除ができます。
［編集］	－	詳しくは、「ウォーターマークの編集」（p. 5-14）をごらんください。
オーバーレイ作成	ON/OFF	このチェックを付けて原稿を印刷することでオーバーレイ用のデータを作成します。
オーバーレイ印刷	ON/OFF	別途作成したオーバーレイ用のデータと原稿を重ねて印刷します。［編集］でオーバーレイの印刷方法を変更できます。
［編集］	［ファイル参照］	オーバーレイファイルを読込みます。
	［削除］	選択しているオーバーレイを削除します。
	印字ページ	印刷するページを設定します。
	重ね合わせ	印刷するときの原稿との重ね合わせ順を設定します。
コピープロテクト	ON/OFF	特殊なパターンを印刷し、コピーを防止します。［編集］で印刷する項目や位置、合成方法を指定できます。
［編集］	－	詳しくは、「コピープロテクトの編集」（p. 5-15）をごらんください。
日付 / 時刻	ON/OFF	日付や時刻を付けて印刷します。［編集］で印刷する項目や印刷するページ、位置を指定できます。

ひとこと

Windows Vista x64 の場合、「ウォーターマーク」と次の機能は同時に設定できません。
- ［ユーザー認証］
- ［部門管理］
- ［ページ単位設定］
- ［印刷前に認証設定を検証する］
- ［印刷時に認証設定の入力画面を表示する］

機能名称	選択肢	説明
ページ番号	ON/OFF	ページ番号を付けて印刷します。［編集］で印刷する項目や印刷するページ、位置を指定できます。
［編集］	－	詳しくは、「日付 / 時刻、ページ番号の編集」（p. 5-16）をごらんください。
ヘッダー / フッター	本体設定 1 ～ 20	ヘッダー / フッターを付けて印刷します。ヘッダー / フッターの内容は本体で設定されている一覧から選択します。［編集］で印刷する項目や印刷するページを指定できます。
［編集］	部数管理番号	複数部数を印刷する場合、部数番号をヘッダー／フッターに印刷します。
	［編集］	部数管理番号の条件を設定します。
	印字ページ	印刷するページを設定します。
	文字の色	印刷する文字の色を設定します。

■ ウォーターマークの編集



ウォーターマーク名：名称を入力します。

ウォーターマークテキスト：ウォーターマークのテキストを入力します。

［新規］：新規ウォーターマークを作成します。

［削除］：選択しているウォーターマークを削除します。

位置：上下左右の位置を設定します。右側と下側のスクロールバーでも設定できます。

文字の角度：印刷角度を設定します。

フォント名：フォントを設定します。

サイズ：サイズを設定します。

スタイル：フォントのスタイルを設定します。

囲み：囲みスタイルを設定します。

文字の色：文字色を設定します。

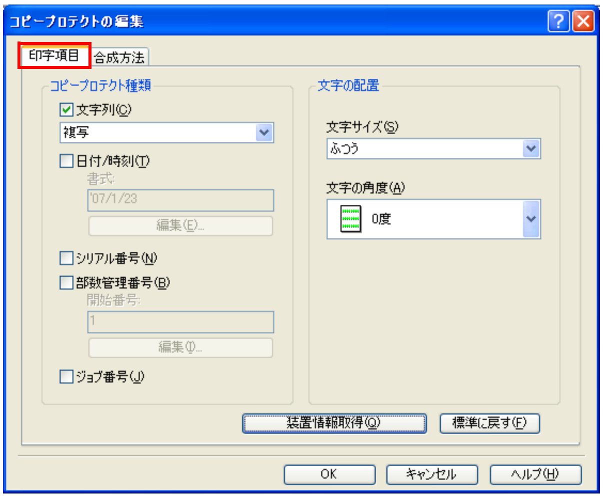
透過：ウォーターマークを透過イメージで印刷します。

1 ページ目のみ：ウォーターマークを 1 ページ目のみ印刷します。

繰り返し：ウォーターマークを 1 ページの中で繰り返し印刷します。

共有：ウォーターマークを公開で登録するか、プライベートにするかを設定します。

■ コピープロテクトの編集



文字列：選択した文字列をパターンに埋め込みます。あらかじめ用意されている文字列（定型スタンプ）か、本機に登録されている文字列（登録スタンプ）を指定できます。

日付 / 時刻：日時と時刻をパターンに埋め込みます。「書式」の［編集］で表示種類や時刻表示の有無を設定できます。

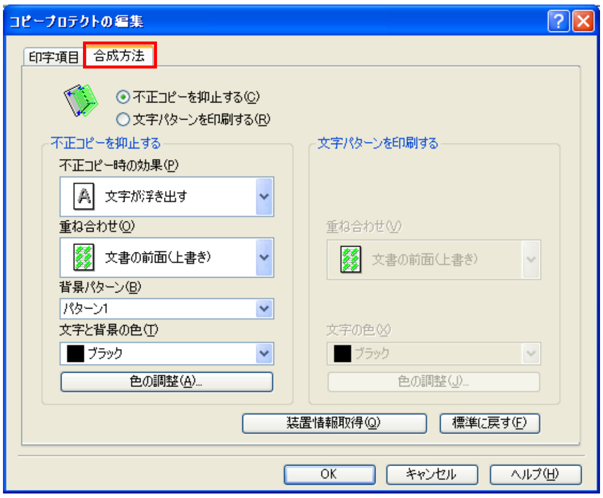
シリアル番号：本機のシリアル番号をパターンに埋め込みます。

部数管理番号：複数部数を印刷する場合、部数番号をパターンに埋め込みます。「開始番号」の［編集］で開始番号や表示種類を設定できます。

ジョブ番号：自動的に割り付けられる文書の印刷ジョブ番号をパターンに埋め込みます。

文字サイズ：パターンの文字サイズを指定します。

文字の角度：パターンの角度を指定します。



不正コピーを抑止する：コピー時に浮き上がるパターンを埋め込みます。

文字パターンを印刷する：文字パターンを印刷します。

「不正コピーを抑止する」を選択するときに設定できる項目です。

不正コピー時の効果：パターンがどのように埋め込まれるかを設定します。

重ね合わせ：パターンと原稿との重ね合わせ順を設定します。

背景パターン：背景のパターンを設定します。

文字と背景の色：パターンの色を設定します。［色の調整］で濃度やコントラストを設定できます。

ひとこと

- 「不正コピーを抑止する」と「文字パターンを印刷する」は同時に選択できません。
- 「不正コピーを抑止する」と「文字パターンを印刷する」では、設定できる項目が異なります。

「文字パターンを印刷する」を選択するときに設定できる項目です。

重ね合わせ：パターンと原稿との重ね合わせ順を設定します。

文字の色：パターンの色を設定します。［色の調整］で濃度やコントラストを設定できます。

■ 日付 / 時刻、ページ番号の編集



書式：印刷する日時と時刻の書式を表示します。［編集］で表示種類や時刻表示の有無を設定できます。

印字ページ：日時と時刻を印刷するページを設定します。

文字の色：印刷する文字の色を設定します。

印字位置：印刷する位置を設定します。

印刷開始ページ：ページ番号印刷の開始ページを設定します。

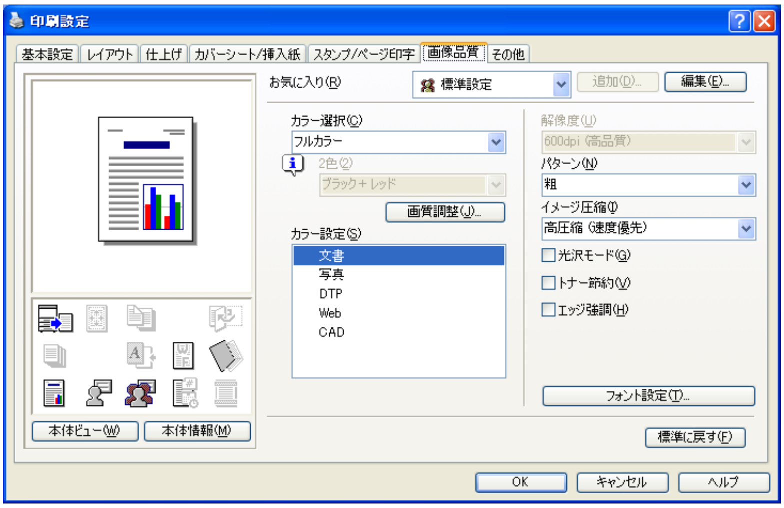
印刷開始番号：ページ番号印刷の開始番号を設定します。

カバーシートへの印字：カバーシートを付けている場合、表カバーや裏カバーにページ番号を印刷するかどうかを設定します。

文字の色：印刷する文字の色を設定します。

印字位置：印刷する位置を設定します。

5.4.6　　画像品質タブ

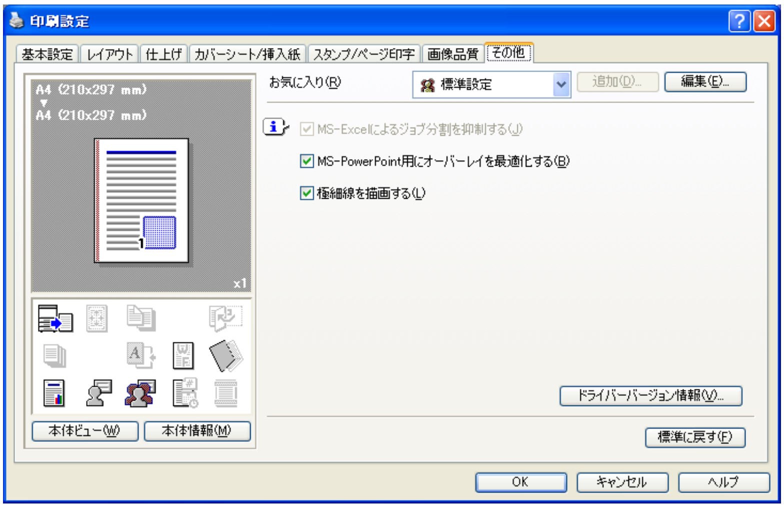


機能名称	選択肢	説明
カラー選択	フルカラー、グレースケール、2色カラー	印刷する色を設定します。
画質調整	－	画質を調整します。文書全体を調整する「簡易調整」と文字や写真、図表など、原稿内容ごとに調整する「詳細調整」を選べます。
カラー設定	文書、写真、DTP、Web、CAD	選択した原稿に適した画質で印刷します。 文書：文字の多い文書に適した処理です。 写真：写真に適した処理です。 DTP：DTP で作成した文書に適した処理です。 WEB：WEB ページの印刷に適した処理です。 CAD：CAD データの印刷に適した処理です。
解像度	－	解像度を表示します。この項目は変更できません。
パターン	密、粗	グラフィックパターンの細かさを設定します。
イメージ圧縮	標準（品質優先）、高圧縮（速度優先）	グラフィックイメージの圧縮率を設定します。
光沢モード	ON/OFF	光沢効果を加えて印刷します。
トナー節約	ON/OFF	印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。
エッジ強調	ON/OFF	文字、グラフィック、イメージのエッジを強調して小さい文字を見えやすくします。 カラー選択が「グレースケール」のときに指定できます。
フォント設定	－	印刷時に、TrueType フォントを使うか、プリンターフォントを使うかを設定します。さらにダウンロードするフォントをビットマップかアウトラインかで選択します。

ひとこと

- 「カラー選択」の「2 色カラー」の選択肢は PCL ドライバーのみの機能です。「2 色カラー」を選択すると、2 色の組み合わせを設定できます。
- 「パターン」、「イメージ圧縮」の機能は PCL ドライバーのみの機能です。
- PS ドライバは、「画質調整」でプロファイルの管理も行えます。詳しくは、「ICC プロファイルの設定」（p. 7-31）、「プリンタードライバーに ICC プロファイルを登録する」（p. 7-33）をごらんください。

5.4.7　その他タブ



機能名称	選択肢	説明
MS-Excel によるジョブ分割を抑制する	ON/OFF	Microsoft Excel でページ設定の異なる複数のシートを同時に印刷する場合に、データによっては、シートごとのジョブに分割される場合があります。この機能にチェックすると、ジョブの分割をできるだけ抑制します。
MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する	ON/OFF	Microsoft PowerPoint のデータにオーバーレイファイルを重ねて印刷する場合に、PowerPoint データの白背景がオーバーレイファイルを隠さないように、白色部分を除去します。チェックをはずすと、背景を除去せず、原稿データどおりに印刷します。
極細線を描画する	ON/OFF	縮小印刷する場合に、細い線がかすれることがあります。この機能にチェックすると、細い線が消えてしまうことを防ぎます。
ドライバーバージョン情報	−	プリンタードライバーのバージョン情報を表示します。

ひとこと

- 「MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する」、「極細線を描画する」の機能は PCL ドライバーのみの機能です。
- 「MS-Excel によるジョブ分割を抑制する」、「MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する」の設定は、Windows XP Professional x64、Windows Vista x64、Windows 7 x64、Windows Server 2003 x64、Windows Server 2008 x64、Windows Server 2008 R2 では使用できません。
- 「MS-Excel によるジョブ分割を抑制する」は、「プリンタ」（Windows 7/Server 2008 R2 の場合は「デバイスとプリンター」、Windows XP/Server 2003 の場合は「プリンタと FAX」）ウィンドウで、プリンタードライバーの設定ダイアログを表示した場合のみ変更できます。

第 6 章
Macintosh 用プリンタードライバーの印刷機能

OS X 用の PS プリンタードライバーの機能について説明します。

6.1 OS X の印刷操作

通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

1

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、［ファイル］をクリックしてメニューから「印刷」（または「プリント」）をクリックします。

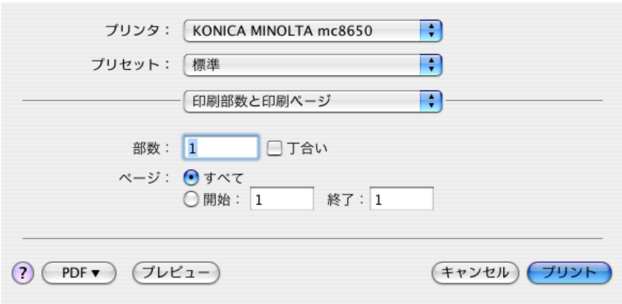
❍ メニューがない場合は、［印刷］ボタンをクリックします。

「プリント」画面が表示されます。

2

「プリンタ」で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

❍ 目的のプリンターが選択されていないときは、選択します。



3

印刷するページ範囲や部数を設定します。

❍ OS X 10.5/10.6 で設定項目が表示されていない場合は、［プリンタ：］右側の［▼］をクリックします。

4

必要に応じて設定画面を切換えて、プリンタードライバーの設定を変更します。

5

［プリント］をクリックします。

本機のデータランプが点滅します。

ひとこと

・プリンターが表示されないときは、［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］でプリンターを選択します。詳しくは、「プリンターの選択と接続（OS X 10.4/10.5/10.6）」（p. 4-4）、「プリンターの選択と接続（OS X 10.2/10.3）」（p. 4-12）をごらんください。

・「プリント」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

詳しく説明します

プリントオプションのメニューを変更すると、プリンタードライバーのほかの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、「OS X ドライバーの設定項目詳細」（p. 6-7）をごらんください。

ひとこと

「プリント」画面で変更したプリンタードライバーの設定は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

6.2　OS X プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションなどの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にする必要があります。

6.2.1　　オプション設定

1

［プリントとファクス］画面（または［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］画面）を開きます。

- 「プリントとファクス」画面は、「アップル」メニューの「システム環境設定 ...」から開きます（OS X 10.4/10.5/10.6）。
- 「プリンタ設定ユーティリティ」/「プリントセンター」画面は、「Macintosh HD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」から開きます。

2

「プリンタ情報」画面を表示します。

- 「プリントとファクス」画面の場合は、「オプションとサプライ ...」（OS X 10.5/10.6）、「プリンタ設定 ...」（OS X 10.4）をクリックします。
- 「プリンタ設定ユーティリティ」/「プリントセンター」画面の場合は、「プリンタ」メニューの「情報を見る」を選択します。

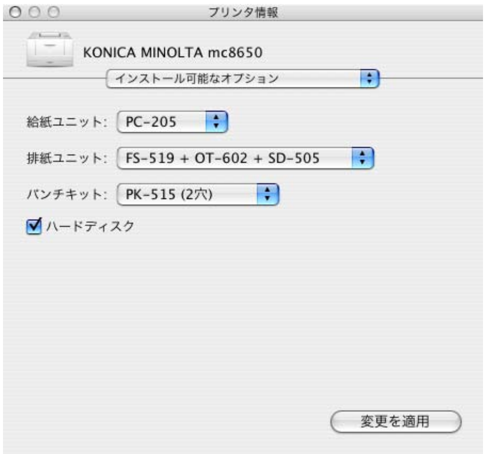
3

「インストール可能なオプション」画面を表示します。

- OS X 10.5/10.6 の場合は、「ドライバ」をクリックします。
- OS X 10.2/10.3/10.4 の場合は、「インストール可能なオプション」を選択します。

4

装着しているオプションを設定します。



5

［OK］または［変更を適用］をクリックしてから「プリンタ情報」画面を閉じます。

ひとこと

本機の機種名や装着されているオプションが「プリンタ情報」で設定されていないと、プリンタードライバーでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

6.2.2　デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの設定を保存します。

OS X の場合は、用紙の設定はデフォルト設定として登録できますが、そのほかの印刷機能の設定は「プリセット」機能で設定を保存し、必要に応じて呼出して利用します。

「ページ設定」画面の設定は、「設定」から「デフォルトとして保存」を選択することで保存します。



「プリント」画面から設定するプリンタードライバーの機能は、「プリセット」から「別名で保存」を選択することで保存します。

この設定は、使用するときに「プリセット」から選択します。

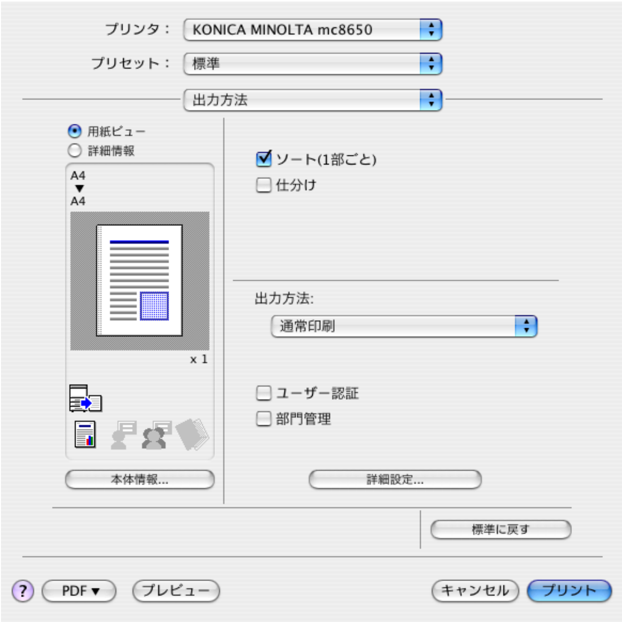


参照

プリンタードライバーの機能や設定項目については、「OS X ドライバーの設定項目詳細」（p. 6-7）をごらんください。

6.3 OS X ドライバーの共通項目

「プリント」画面から設定する本機の固有機能（出力方法、レイアウト / 仕上げ、給紙トレイ / 排紙トレイ、カバーシート /OHP 合紙、ページ単位設定、スタンプ / ページ印字、画像品質）で表示される共通項目について説明します。



項目名	機能
用紙ビュー	現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、印刷結果のイメージを確認できます。
詳細情報	現在の設定内容が文字で表示されます。
本体情報	オプション装着の状態を表示します。
標準に戻す	このボタンをクリックすると、初期設定の内容に戻します。
?（ヘルプ）	このボタンをクリックすると、表示されている画面の各項目についてのヘルプが表示されます。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
プリント	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして印刷します。

ひとこと

本体情報ダイアログの［装置情報取得］は本機と通信し、本機での設定の状態を読み取ります。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

6.4 OS X ドライバーでのカスタムサイズの追加方法

用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、カスタム用紙サイズを登録します。

1 ［ファイル］メニューの「ページ設定」（または「用紙設定」）を選択します。

2 OS X 10.4/10.5/10.6 の場合は、用紙サイズの一覧から「カスタムサイズを管理」を選択します。

❍ OS X 10.2/10.3 の場合は、「設定」から「カスタム用紙サイズ」を選択します。

3 ［+］（OS X 10.4/10.5/10.6 ）または［新規］（OS X 10.2/10.3）をクリックします。

4 用紙サイズの名称を入力します。

5 各項目を設定します。

❍ ページサイズ（用紙サイズ）：任意の用紙サイズを設定します。

❍ 余白：用紙の余白を設定します。



6 OS X 10.4/10.5/10.6 の場合は、手順 7 に進みます。

❍ OS X 10.2/10.3 の場合は、［保存］をクリックします。

7 ［OK］をクリックします。

カスタム用紙サイズが登録され、「ページ属性」の用紙サイズで選択できるようになります。

ひとこと

・本機で設定できるカスタムサイズは以下のとおりです。
幅：90.0 ～ 311.1mm
高さ：139.7 ～ 457.2mm

・OS X ドライバーは、長尺紙印刷には対応しておりません。

6.5　OS X ドライバーの設定項目詳細

プリンタードライバーの機能は「ページ設定」画面から指定する「ページ属性」と「プリント」画面から設定する「出力方法」、「レイアウト / 仕上げ」、「給紙トレイ / 排紙トレイ」、「カバーシート /OHP 合紙」、「ページ単位設定」、「スタンプ / ページ印字」、「画像品質」の各画面で設定します。

6.5.1　　ページ属性

［ファイル］メニューの「ページ設定」（または「用紙設定」）で選択します。



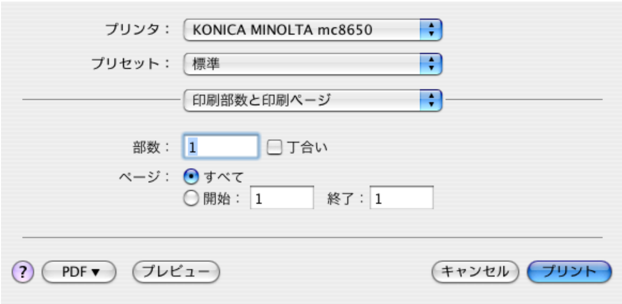
機能名称	選択肢	説明
用紙サイズ	本機で利用できる定型用紙サイズとカスタムサイズに登録してある用紙サイズ	印刷する用紙サイズを設定します。
方向	縦、横	原稿の用紙方向を設定します。
拡大縮小	1 ～ 400%	拡大・縮小率を設定します。

ひとこと

- 用紙サイズ「12 × 18」は A3 よりひと回り大きい 304.8 × 457.2 mm です。
- 用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、不定形サイズを設定してください。不定形サイズの登録については、「OS X ドライバーでのカスタムサイズの追加方法」（p. 6-6）をごらんください。
- 用紙サイズで各定形用紙の「W」を選択すると、データをセンタリングして印刷できます。
  たとえば、A4 サイズのデータを、A3 サイズの用紙にセンタリングして印刷したい場合は、プリンタードライバーで用紙サイズを「A4W」、給紙トレイを「トレイ 1（手差し）」に指定します。印刷するときは、指定した本体のトレイ（「トレイ 1（手差し）」）に A3 サイズの用紙をセットし、操作パネルの［用紙設定］－［トレイ 1］で［用紙サイズ］に「A4W」を選択し、［X サイズ］と［Y サイズ］に A3 サイズ（297.0 × 420.0）を入力します。

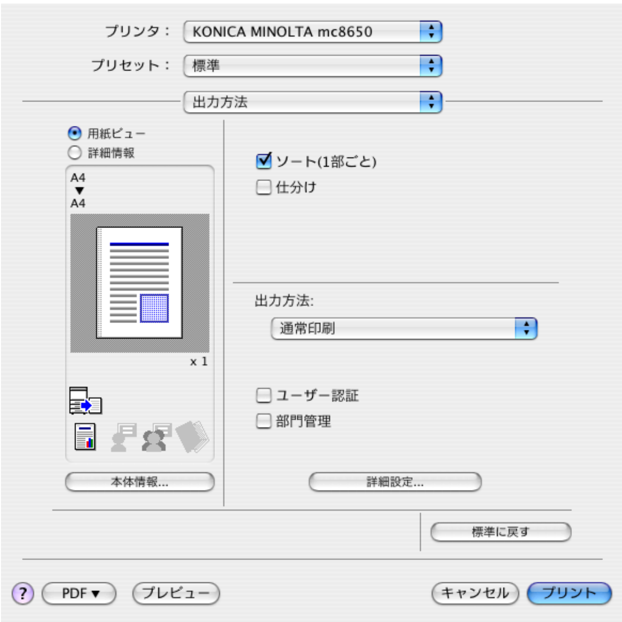
6.5.2　　印刷部数と印刷ページ

［ファイル］メニューの「印刷」（または「プリント」）で選択します。



機能名称	選択肢	説明
部数	1 ～ 999	印刷する部数を設定します。
丁合い	ON/OFF	この機能は設定しないでください。 「出力方法」の「ソート（1 部ごと）」で設定してください。
ページ	―	印刷するページ範囲を設定します。

6.5.3　　出力方法



機能名称	選択肢	説明
ソート（1 部ごと）	ON/OFF	複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。
仕分け	ON/OFF	複数部数を印刷するときに、1 部ずつ位置をずらして排出します。

機能名称	選択肢	説明
出力方法	通常印刷	すぐに印刷されます。
	セキュリティ印刷	印刷文書を本機の「セキュリティー文書ボックス」に保存します。印刷するときに本機の操作パネルで ID とパスワード入力が必要になります。機密性の高い文書を印刷する場合に選択します。
	ボックス保存	印刷文書を本機のボックスに保存します。
	ボックス保存 & 印刷	ボックスに保存すると同時に印刷もします。
	確認印刷	文書が 1 部出力されたあと、本機が一時停止します。大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に選択します。
［ユーザー認証］	－	本機で「ユーザー認証」している場合のユーザー名／パスワードを設定します。
［部門管理］	－	本機で「部門管理認証」している場合の部門名／パスワードを設定します。
［詳細設定］	－	詳細設定項目のある機能を表示します。

参照

出力方法について詳しくは、「機能詳細説明」（p. 7-1）をごらんください。

■ 出力方法の詳細設定を確認する

［詳細設定］をクリックすると、「出力方法」機能のうち、詳細設定項目のある機能が表示されます。

［すべて開く］をクリックすると、設定内容が表示されます。

各機能を選択して［設定］をクリックすると、各機能の詳細設定ダイアログが表示されます。



- セキュリティ印刷：「出力方式」で「セキュリティ印刷」を指定したときに表示される画面と同じです。
- ボックス保存：「出力方式」で「ボックス保存」または「ボックス保存＆印刷」を指定したときに表示される画面と同じです。
- ユーザー認証：「出力方式」で「ユーザー認証」のチェックボックスを ON にしたときに表示される画面と同じです。
- 部門管理：「出力方式」で「部門管理」のチェックボックスを ON にしたときに表示される画面と同じです。

- 管理者設定：認証設定の入力ダイアログの表示設定や暗号鍵を変更するダイアログを表示します。



- 印刷時に認証設定の入力ダイアログを表示する：印刷を指定するときにユーザー認証や部門管理設定ダイアログを表示し、毎回ユーザー名や部門名の入力を確認させます。
- 暗号化ワード：本機との通信で暗号化ワードをユーザー定義する場合に設定します。入力した文字に対する暗号鍵が自動的に生成され、本機との通信に利用されます。

必ず守ってください

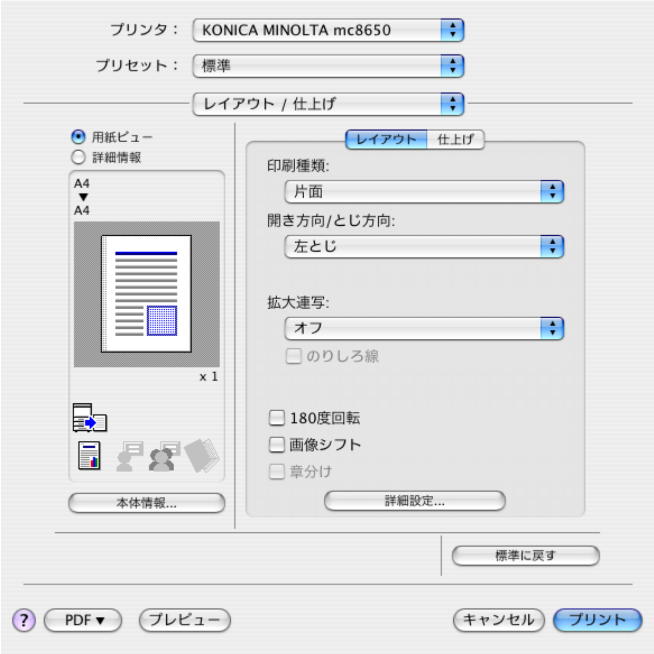
「暗号化ワード」は本機の「ドライバーパスワード暗号化設定」で設定した暗号化ワードと一致させてください。

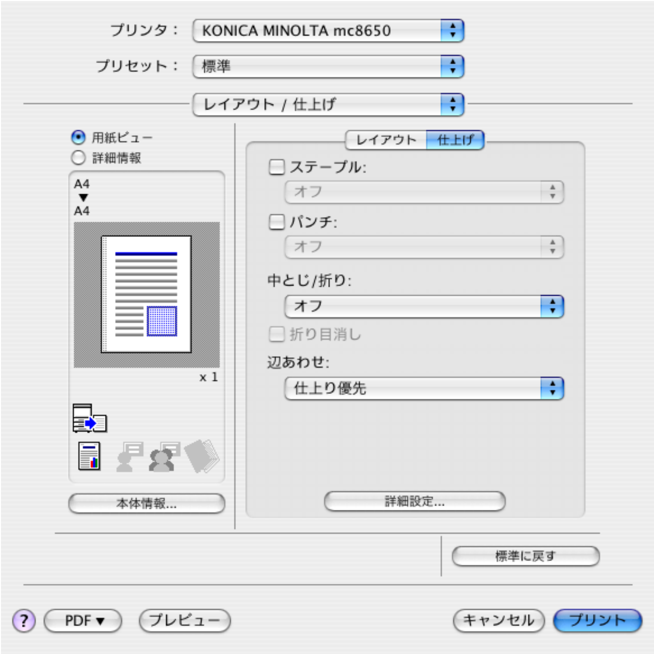
参照

「暗号化ワード」をユーザー定義にする方法については、「暗号化ワードをユーザー設定する」（p. 7-28）をごらんください。

6.5.4　　レイアウト / 仕上げ

レイアウト設定画面と仕上げ設定画面とを切換えて表示します。





機能名称	選択肢	説明
印刷種類	片面、両面、小冊子	両面印刷や小冊子印刷を設定します。
開き方向 / とじ方向	左とじ、右とじ、上とじ	とじ位置を設定します。
拡大連写	2 × 2、3 × 3、4 × 4	1 枚の原稿を複数の用紙に分割して印刷します。「のりしろ線」で境界枠の有無が設定できます。
のりしろ線	ON/OFF	のりしろの有無を設定します。拡大連写が「オフ」以外のときに設定できます。
180 ゜回転	ON/OFF	180 ゜回転して印刷します。

ひとこと

「拡大連写」の設定で、1 つの印刷ジョブ内にサイズや方向が異なるページが含まれる文書を印刷すると、画像が欠損したり、画像が重なったりする場合があります。

機能名称	選択肢	説明
画像シフト	ON/OFF	印刷イメージを全体にずらして印刷します。設定を有効にしたときに表示される画面でずれ量の詳細が設定できます。
	表面 / 裏面	ずらす方向と値を設定します。両面印刷の場合、「表面と裏面を同じ値にする」のチェックボックスを OFF にすると、表／裏それぞれの値が設定できます。
章分け	ON/OFF	オモテ面に印刷するページを指定します。設定を有効にしたときに表示される画面でページが設定できます。 印刷種類が「両面」、「小冊子」のときに設定できます。
	ページ番号	「章分け」を ON にしたとき、オモテ面に印刷するページを入力します。
ステープル	ON/OFF	ステープルを設定します。 ドロップダウンリストでステープルの数と位置を指定できます。
パンチ	ON/OFF	パンチを設定します。 ドロップダウンリストでパンチの数と位置を指定できます。
中とじ / 折り	オフ、中とじ、中折り	中とじ / 折りを設定します。
折り目消し	ON/OFF	中とじ設定時、折り目部分に印刷をしません。
辺あわせ	仕上り優先、生産性優先	両面印刷する場合、辺あわせ（とじ位置補正）の方法を設定します。仕上り優先にすると、全データ受信後に辺あわせ処理を行います。生産性優先にすると、データを受信／印刷しながら処理します。

原則

- 「ステープル」、「中とじ / 折り」機能は、オプションのフィニッシャーが装着されている場合のみ使用可能となります。
- 「パンチ」機能は、オプションのフィニッシャーにパンチキットが装着されている場合のみ使用可能となります。
- 「折り目消し」機能は、オプションのフィニッシャー FS-609 が装着され、「中とじ」機能が設定されている場合のみ使用可能となります。

6.5.5 給紙トレイ / 排紙トレイ



機能名称	選択肢	説明
給紙トレイ	自動、トレイ 2 ～ 5、トレイ 1（手差し）、トレイ 4（大容量）	使用する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
用紙種類	本機で利用できる用紙種類	印刷に使用する用紙種類を選択します。 給紙トレイが「自動」のときのみ変更できます。給紙トレイが「自動」以外の設定の場合は、「給紙トレイ別用紙設定」で登録されている用紙種類になります。
[給紙トレイ別用紙設定]	給紙トレイ	設定する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
	用紙種類	給紙トレイにセットする用紙種類を選択します。
排紙トレイ	デフォルト、トレイ 1 ～ 3、ビン 1 ～ 6	用紙を排出するトレイを設定します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。

ひとこと

- 用紙種類の「両面 2 面目」は、用紙の裏面に印刷するときに指定します。「両面 2 面目」選択時は本機以外で印刷した用紙の裏面は使用しないでください。なお、本設定での印刷結果は保証対象外となります。
- 用紙種類にて、レターヘッド紙を選択して印刷する場合、用紙の面合せ動作を行うため、片面印刷であっても印刷速度が遅くなります。

6.5.6　　カバーシート / OHP 合紙

カバーシート設定画面と OHP 合紙設定画面とを切換えて表示します。





機能名称	選択肢	説明
表カバー	オフ、印刷、白紙	表紙を付けて印刷します。 給紙トレイで「自動」以外の設定が選択されているときに指定できます。
	トレイ 2 ～ 5、トレイ 1（手差し）、トレイ 4（大容量）	表紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。

機能名称	選択肢	説明
裏カバー	オフ、印刷、白紙	裏表紙を付けて印刷します。 給紙トレイで「自動」以外の設定が選択されているときに指定できます。
	トレイ 2 ～ 5、トレイ 1（手差し）、トレイ 4（大容量）	裏表紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
OHP 合紙	ON/OFF	OHP フィルムを印刷するときに合紙をはさんで排出します。 用紙種類で「OHP フィルム」が選択されているときに指定できます。
	トレイ 2 ～ 5、トレイ 4（大容量）	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。

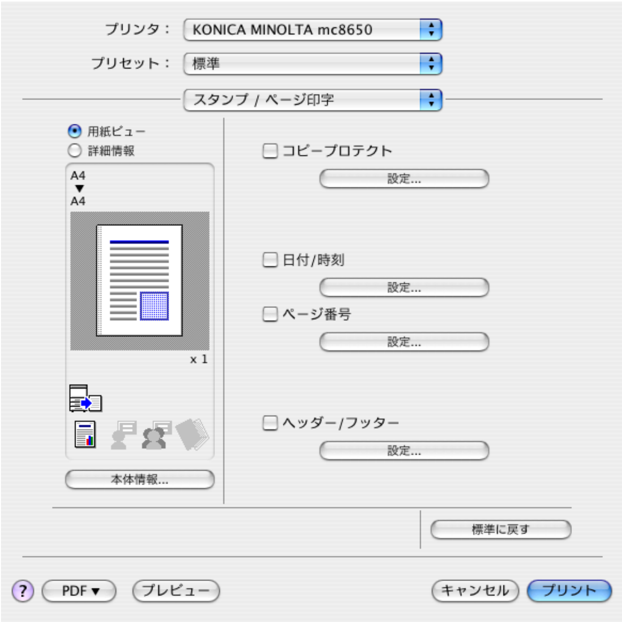
6.5.7　ページ単位設定

各ページの印刷種類や給紙トレイを指定できます。複数ページの印刷で、途中で給紙トレイを変えたい場合などに便利です。設定内容はリストに登録でき、必要なときに利用できます。



機能名称	選択肢	説明
ページ単位設定	ON/OFF	ページ間に用紙を挿入したり、ページごとに用紙やトレイを切換えます。
[追加]	−	条件を設定したリストを作成します。
[削除]	−	リストを削除します。
[編集]	−	条件を設定したリストを編集します。

6.5.8　スタンプ / ページ印字



機能名称	選択肢	説明
コピープロテクト	ON/OFF	特殊なパターンを印刷し、コピーを防止します。［設定］で印刷する項目や位置、合成方法を指定できます。
［設定］	―	詳しくは、「コピープロテクトの編集」（p. 6-17）をごらんください。
日付 / 時刻	ON/OFF	日付や時刻を付けて印刷します。［設定］で印刷する項目や印刷するページ、位置を指定できます。
［設定］	―	詳しくは、「日付 / 時刻の編集」（p. 6-18）をごらんください。
ページ番号	ON/OFF	ページ番号を付けて印刷します。［設定］で印刷する項目や印刷するページ、位置を指定できます。
［設定］	―	詳しくは、「ページ番号の編集」（p. 6-18）をごらんください。
ヘッダー / フッター	本体設定 1 ～ 20	ヘッダー / フッターを付けて印刷します。ヘッダー / フッターの内容は本体で設定されている一覧から選択します。［設定］で印刷する項目や印刷するページを指定できます。
［設定］	―	詳しくは、「ヘッダー／フッターの編集」（p. 6-19）をごらんください。

■ コピープロテクトの編集



文字列：選択した文字列をパターンに埋め込みます。あらかじめ用意されている文字列（定型スタンプ）か、本機に登録されている文字列（登録スタンプ）を指定できます。

日付 / 時刻：日時と時刻をパターンに埋め込みます。「書式」の［編集］で表示種類や時刻表示の有無を設定できます。

シリアル番号：本機のシリアル番号をパターンに埋め込みます。

部数管理番号：複数部数を印刷する場合、部数番号をパターンに埋め込みます。開始番号や表示種類を設定できます。

ジョブ番号：自動的に割り付けられる文書の印刷ジョブ番号をパターンに埋め込みます。

文字サイズ：パターンの文字サイズを指定します。

文字の角度：パターンの角度を指定します。



「不正コピーを抑止する」を選択するときに設定できる項目です。

不正コピーを抑止する：不正コピー時に浮き上がるパターンを埋め込みます。

不正コピー時の効果：パターンがどのように埋め込まれるかを設定します。

重ね合わせ：パターンと原稿との重ね合わせ順を設定します。

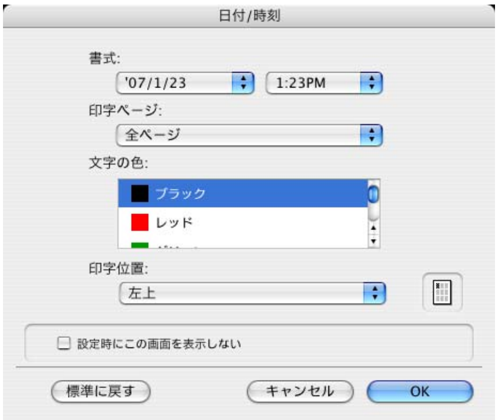
ひとこと

- 「不正コピーを抑止する」と「文字パターンを印刷する」は同時に選択できません。
- 「不正コピーを抑止する」と「文字パターンを印刷する」では、設定できる項目が異なります。

背景パターン：背景のパターンを設定します。
色の調整：パターンの色を設定します。

「文字パターンを印刷する」を選択するときに設定できる項目です。
文字パターンを印刷する：文字パターンを印刷します。
重ね合わせ：パターンと原稿との重ね合わせ順を設定します。
色の調整：パターンの色を設定します。

■ 日付 / 時刻の編集



書式：印刷する日時と時刻の書式を表示します。
印字ページ：日時と時刻を印刷するページを設定します。
文字の色：印刷する文字の色を設定します。
印字位置：印刷する位置を設定します。

■ ページ番号の編集



印刷開始ページ：ページ番号印刷の開始ページを設定します。
印刷開始番号：ページ番号印刷の開始番号を設定します。
カバーシートへの印字：カバーシートを付けている場合、表カバーや裏カバーにページ番号を印刷するかどうかを設定します。
文字の色：印刷する文字の色を設定します。
印字位置：印刷する位置を設定します。

■ ヘッダー／フッターの編集



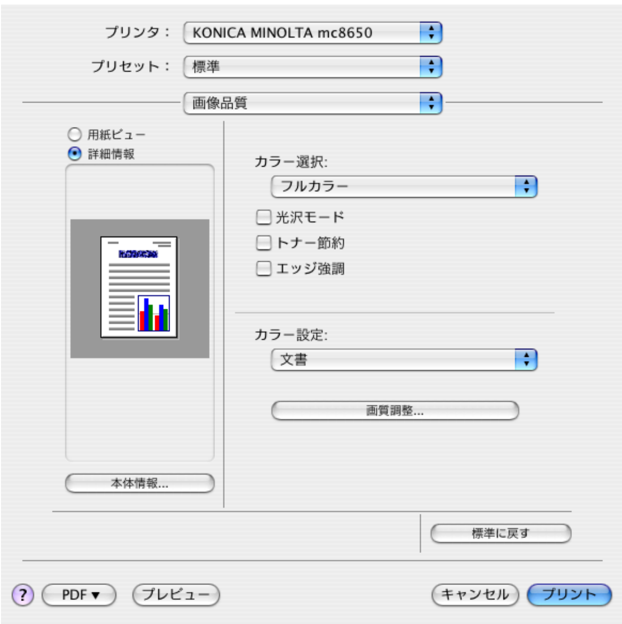
ヘッダー / フッター呼出し：本機に登録されているヘッダー／フッターの設定を選択します。

部数管理番号：複数部数を印刷する場合、部数番号をヘッダー／フッターに印刷します。開始番号や表示桁数を設定できます。

印字ページ：ヘッダー／フッターを印刷するページを設定します。

文字の色：印刷する文字の色を設定します。

6.5.9　　画像品質



機能名称	選択肢	説明
カラー選択	フルカラー、グレースケール	印刷する色を設定します。
光沢モード	ON/OFF	光沢効果を加えて印刷します。
トナー節約	ON/OFF	印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。

機能名称	選択肢	説明
エッジ強調	ON/OFF	文字、グラフィック、イメージのエッジを強調して小さい文字を見えやすくします。 カラー選択が「グレースケール」のときに指定できます。
カラー設定	文書、写真、DTP、Web、CAD	選択した原稿に適した画質で印刷します。 文書：文字の多い文書に適した処理です。 写真：写真に適した処理です。 DTP：DTP で作成した文書に適した処理です。 WEB：WEB ページの印刷に適した処理です。 CAD：CAD データの印刷に適した処理です。
画質調整	ー	画質を調整します。文書全体を調整する「簡易調整」と文字や写真、図表など、原稿内容ごとに調整する「詳細調整」を選べます。 プロファイルの管理も行えます。

参照

プロファイルの管理については、「ICC プロファイルの設定」（p. 7-31）、「プリンタードライバーに ICC プロファイルを登録する」（p. 7-33）をごらんください。

通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

1

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから「印刷」(または「プリント」) をクリックします。

❍ メニューがない場合は、[印刷] ボタンをクリックします。

「プリント」画面が表示されます。

2

「プリンタ」で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

❍ 目的のプリンターが選択されていないときは、選択します。



3

印刷するページ範囲や部数を設定します。

4

必要に応じて設定画面を切換えて、プリンタードライバーの設定を変更します。

5

[プリント] をクリックします。

本機のデータランプが点滅します。

ひとこと

- プリンターが表示されないときは、「セレクタ」でプリンターを選択します。詳しくは、「プリンターの選択と接続」(p. 4-17) をごらんください。
- 「プリント」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

詳しく説明します

「一般設定」のメニューを変更すると、プリンタードライバーのほかの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、「OS 9 ドライバーの設定項目詳細」(p. 6-24) をごらんください。

ひとこと

「プリント」画面で変更したプリンタードライバーの設定は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

6.7 OS 9 プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションなどの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にする必要があります。

ひとこと

本機の機種名や装着されているオプションが設定されていないと、プリンタードライバーでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

6.7.1 オプション設定

1 「アップルメニュー」の「セレクタ」を選択します。

2 プリンター名を選択します。

3 ［再設定］をクリックします。

4 ［構成］をクリックします。

オプションの設定画面が表示されます。



ひとこと

LPR プリンターとして設定している場合は、デスクトップ上にある LPR プリンターのアイコンをダブルクリックし、「プリンタ」メニューの「設定の変更」をクリックするとオプションの設定画面が表示されます。

5 「Options Installed 1」と「Options Installed 2」の各画面で本機に装着しているオプションを設定します。

6 ［OK］をクリックします。

「セレクタ」画面に戻ります。

7 「セレクタ」画面を閉じます。

参照

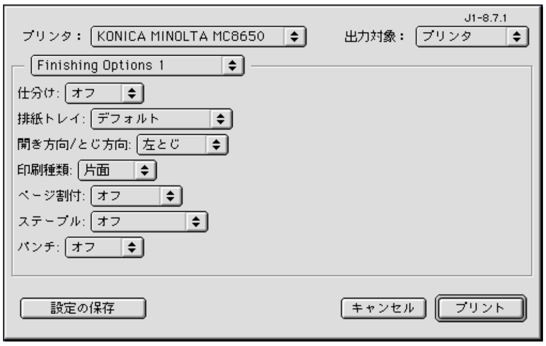
オプションの設定は、最初にプリンタードライバーを選択したときには、自動的に表示します。詳しくは、「プリンターの選択と接続」（p. 4-17）をごらんください。

6.7.2　デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの設定を保存します。

OS 9.2 の場合は、「プリント」画面で［設定の保存］をクリックして保存します。



参照

プリンタードライバーの機能や設定項目については、「OS 9 ドライバーの設定項目詳細」（p. 6-24）をごらんください。

ひとこと

- 「ページ設定」画面の設定は保存できません。
- 「プリント」画面の「一般設定」は保存できません。

6.8　OS 9 ドライバーの設定項目詳細

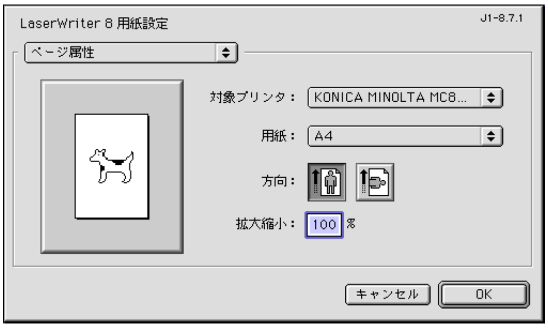
プリンタードライバーの機能は「ページ設定」画面から指定する「ページ属性」と「プリント」画面から設定する、「レイアウト」、「Finishing Option」の各画面で設定します。

6.8.1　ページ属性

［ファイル］メニューの「ページ設定」（または「用紙設定」）で選択します。

ひとこと

用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、不定形サイズを設定してください。不定形サイズの登録については、「カスタム用紙サイズの設定」（p. 6-24）をごらんください。



用紙：印刷する用紙サイズを設定します。

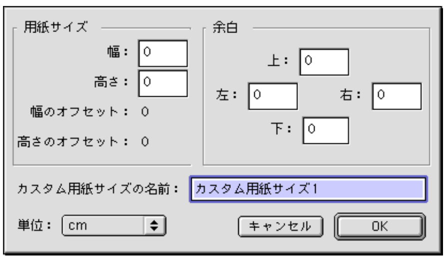
方向：原稿の用紙方向を設定します。

拡大縮小：拡大・縮小率を設定します。

6.8.2　カスタム用紙サイズの設定

「ページ設定」画面で「カスタム用紙サイズ」を選択します。

1. ［ファイル］メニューの「用紙設定」（または「ページ設定」）を選択します。
2. 「カスタム用紙サイズ」を選択します。
3. ［新規］をクリックします。
4. 各項目を設定します。
   - 用紙サイズ：希望する用紙サイズを設定します。
   - 余白：用紙の余白を設定します。
   - カスタム用紙サイズの名前：設定した用紙サイズや余白の登録名を入力し、［OK］をクリックします。
   - 単位：設定単位を選択します。



5. ［OK］をクリックします。

   カスタムページ設定が登録され、「ページ属性」の用紙で選択できるようになります。

ひとこと

・本機で設定できるカスタムサイズは以下のとおりです。
　幅：90.0 ～ 311.1mm
　高さ：139.7 ～ 457.2mm
・OS 9 ドライバーは、長尺紙印刷には対応しておりません。

6.8.3 一般設定

［ファイル］メニューの「印刷」（または「プリント」）で選択します。



部数：印刷する部数を設定します。

丁合い：複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。

ページ：印刷するページ範囲を設定します。

給紙元：使用する給紙トレイを選択します。

6.8.4 レイアウト（ページ割付）

複数ページを 1 枚の用紙に割付けるときに設定します。



ページ割り付け：複数ページの文書を 1 枚の用紙に割付けます。

レイアウト方向：ページの割付け順を設定します。

枠線：ページ間に境界線を設定します。

6.8.5 プリンター固有機能（Finishing Option 1 ～ 5）

プリンター固有の機能を設定します。ステープルやパンチなど本機の機能を利用するときに設定します。



仕分け：仕分けを設定します。

排紙トレイ：排紙トレイを選択します。

開き方向 / とじ方向：とじ位置を設定します。

ひとこと

用紙種類にて、レターヘッド紙を選択して印刷する場合、用紙の面合せ動作を行うため、片面印刷であっても印刷速度が遅くなります。

印刷種類：両面印刷を行います。
ページ割付：小冊子印刷を行います。
ステープル：ステープルを行います。
パンチ：パンチを行います。
折り：折りを行います。
画像シフト：印刷イメージを全体にずらして印刷します。
表カバー：オモテ表紙を付けて印刷します。
表カバー用トレイ：オモテ表紙を給紙するトレイを選択します。
裏カバー：ウラ表紙を付けて印刷します。
裏カバー用トレイ：ウラ表紙を給紙するトレイを選択します。
OHP 合紙：OHP フィルムに合紙を付けて印刷します。
合紙用トレイ：OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。
出力方法：文書が 1 部出力された後、一時停止して確認できる確認印刷を指定します。
解像度：解像度を設定します。
カラー選択：印刷する色をカラーまたはグレースケールに設定します。
光沢モード：光沢効果を加えて印刷します。
カラー設定：原稿に適した画質で印刷します。
カラーマッチング（文字）：原稿内の文字のカラー画質を調整します。
グレー補償（文字）：原稿内の文字のグレー補償を ON/OFF します。
スクリーン（文字）：原稿内の文字のスクリーン処理を設定します。
カラーマッチング（写真）：原稿内の写真のカラー画質を調整します。
グレー補償（写真）：原稿内の写真のグレー補償を ON/OFF します。
スクリーン（写真）：原稿内の写真のスクリーン処理を設定します。
スムージング（写真）：原稿内の写真のスムージング処理を設定します。
カラー設定（図表グラフ）：原稿内の図表グラフのカラー画質を文字または写真のどちらかの設定に合わせます。
スムージング（図表グラフ）：原稿内の図表グラフのスムージング処理を文字または写真のどちらかの設定に合わせます。
トナー節約：印刷濃度を調整し、トナー消費量を節約します。
エッジ強調：文字、グラフィック、イメージのエッジを強調して小さい文字を見えやすくします。カラー選択が「グレースケール」のときに指定できます。

原則

- 「ステープル」、「折り」機能は、オプションのフィニッシャーが装着されている場合のみ使用可能となります。
- 「パンチ」機能は、オプションのフィニッシャーにパンチキットが装着されている場合のみ使用可能となります。

第 7 章
機能詳細説明

プリンタードライバーと本機のパネル操作を組み合わせる必要があるなど、特に注意が必要な機能について説明します。

7.1 確認印刷

確認印刷機能は、複数部数を印刷するときに、1 部のみ出力して残り部数を待機する機能です。印刷結果を確認してから残り部数を出力できるので、大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に便利です。

確認印刷は、印刷時にプリンタードライバーで指定し、操作パネルで残り部数の出力を実行します。

7.1.1 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 4 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー
- Mac OS 9.2 用 PostScript PPD プリンタードライバー

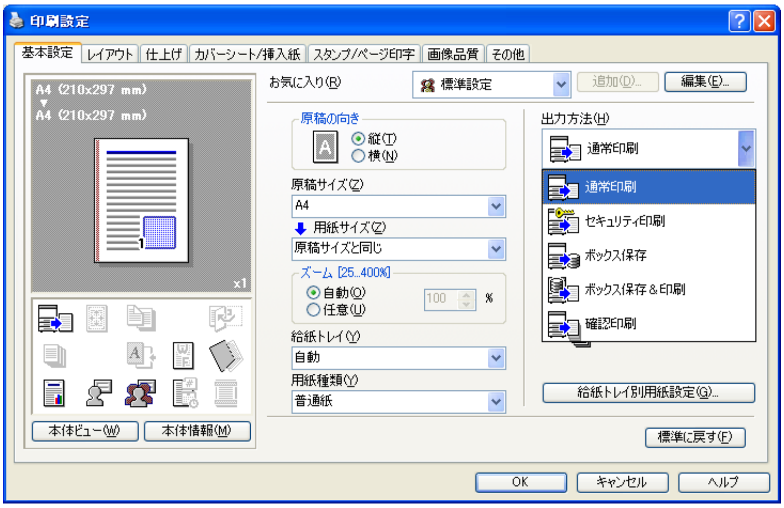
以下の設定で印刷します。

- 出力方法：「確認印刷」
- 印刷部数：複数部数

■ Windows の場合

1 「基本設定」タブを表示します。

2 「出力方法」で「確認印刷」を選択します。



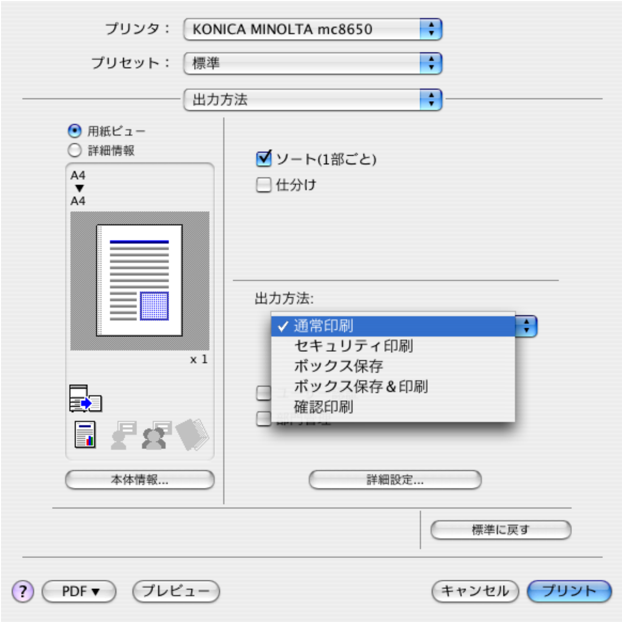
3 目的の部数を指定して印刷します。

1 部のみ出力され、内容を確認できます。

■ Mac OS X の場合

1 「出力方法」画面を表示します。

2 「出力方法」で「確認印刷」を選択します。



3 目的の部数を指定して印刷します。

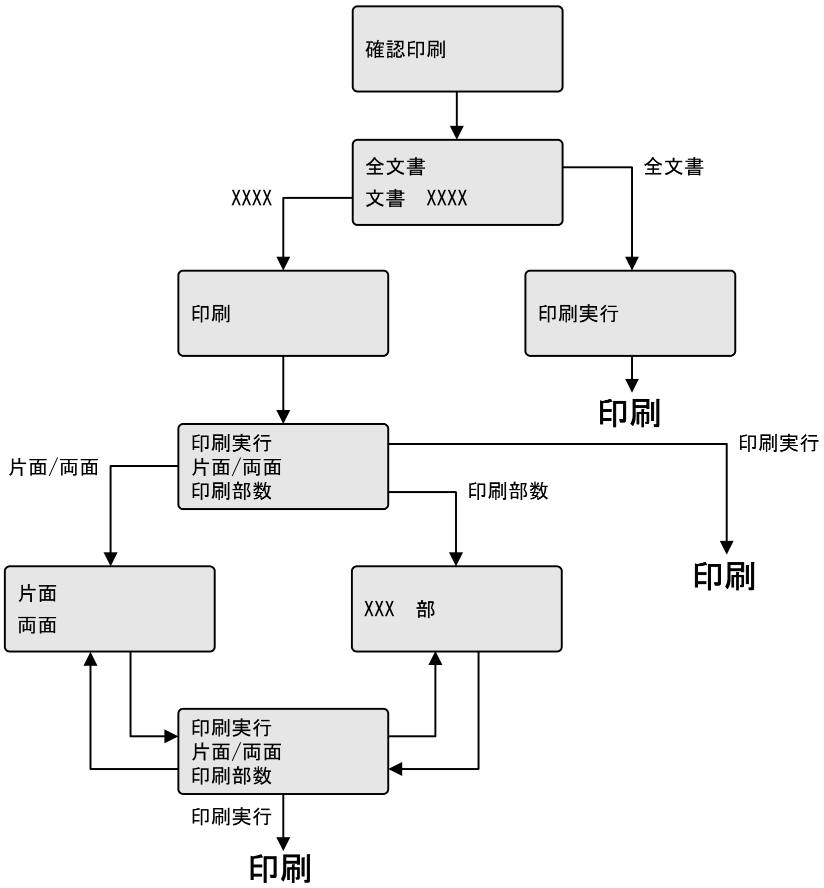
1 部のみ出力され、内容を確認できます。

ひとこと

OS 9.2 では、「Finishing Option 3」画面の「出力方法」で選択できます。

7.1.2　　操作パネルからのジョブ呼び出し

【メニュー / 選択】を押して表示する設定メニューの［ジョブ操作］－［確認印刷］で呼び出します。



❍ 本機でユーザー認証が設定されている場合は、［ジョブ操作］画面のあとにユーザー名入力画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。

❍ 本機で部門管理が設定されている場合は、［ジョブ操作］画面のあとに部門名入力画面が表示されます。部門名とパスワードを入力してください。

参照

設定メニューの操作について詳しくは、「操作パネルについて」（p. 8-2）をごらんください。

7.2　セキュリティ印刷

セキュリティ印刷機能は、印刷ジョブを本機のセキュリティー文書ボックスに保存する機能です。操作パネルから ID とパスワードを入力することで出力するので、機密性の高い文書の出力に便利です。

セキュリティ印刷は、印刷時にプリンタードライバーで指定し、操作パネルで出力を実行します。

原則

セキュリティ印刷は本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用可能となります。

7.2.1　プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 3 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

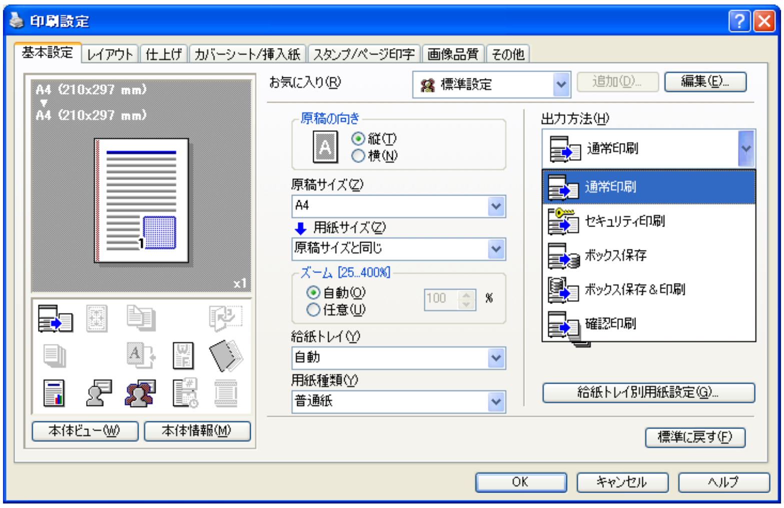
以下の設定で印刷します。

- 出力方法：「セキュリティ印刷」

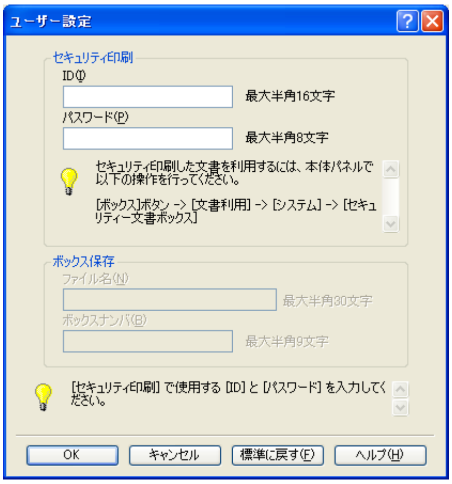
■ Windows の場合

1 「基本設定」タブを表示します。

2 「出力方法」で「セキュリティ印刷」を選択します。



3 IDとパスワードを入力します。

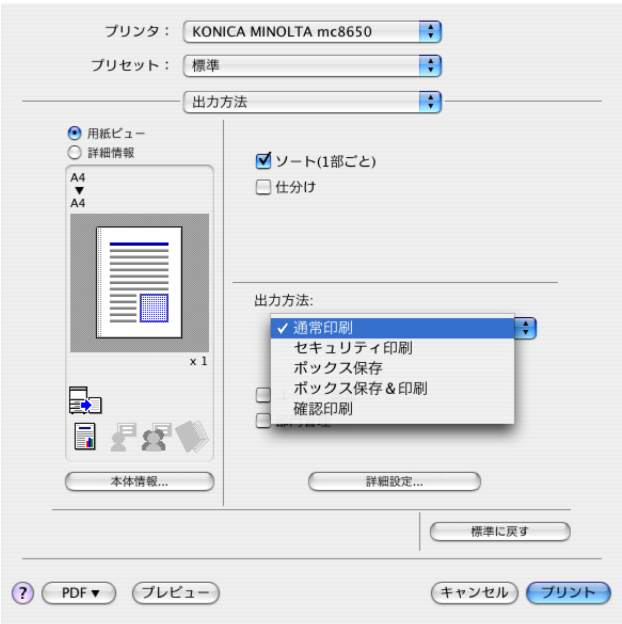


4 印刷します。

■ Mac OS X の場合

1 「出力方法」画面を表示します。

2 「出力方法」で「セキュリティ印刷」を選択します。



ひとこと

本機側でパスワード規約がONの場合、セキュリティ印刷で使用可能なパスワードに制限があり、パスワード規約を満たさないパスワードを入力するとジョブが消去されます。パスワード規約については、「管理者設定メニュー」（p. 8-25）をごらんください。

ひとこと

「基本設定」タブの［ユーザー設定］では、セキュリティ印刷で必要なIDとパスワードをあらかじめ登録しておくことができます。常に同じIDとパスワードで印刷する場合は、あらかじめ登録しておくと「セキュリティ印刷」選択時にIDとパスワードを入力する画面が表示されません。

3 IDとパスワードを入力します。



4 印刷します。

ひとこと

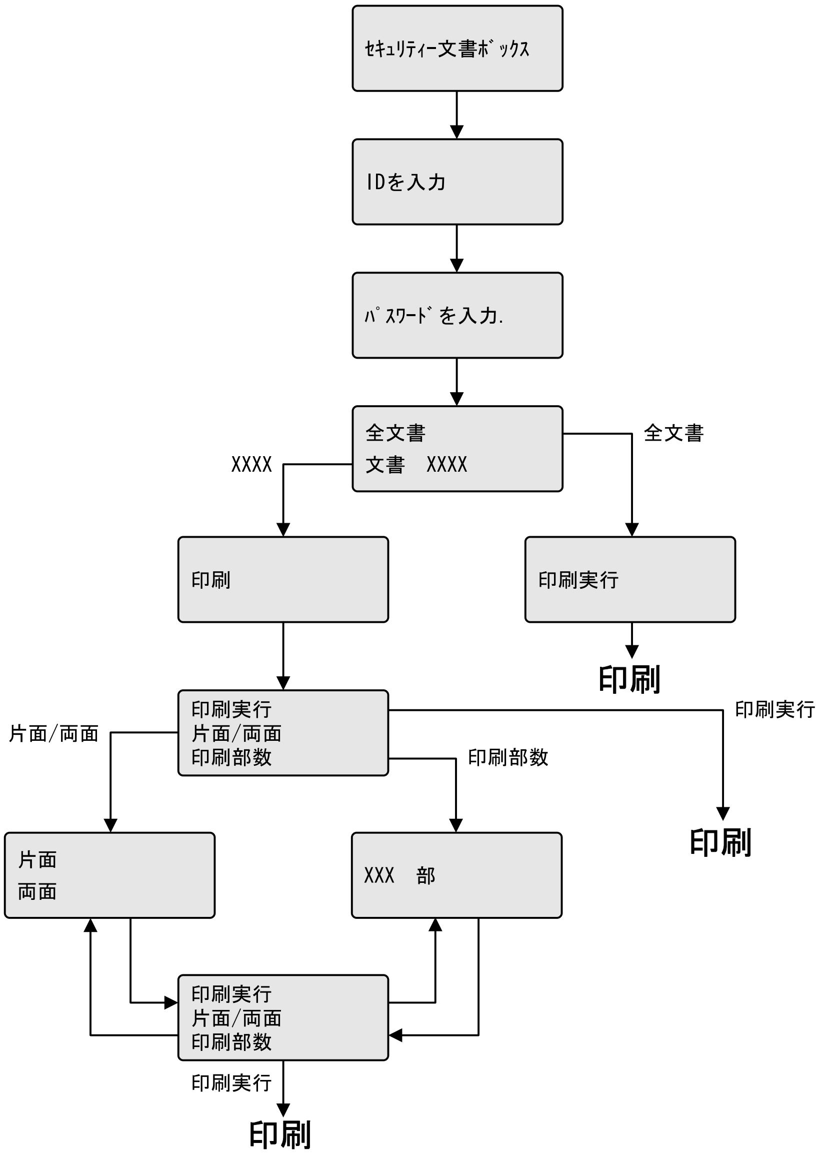
- 「設定を保存する」をONにすると設定した内容が保存されます。さらに「設定時にこの画面を表示しない」をONにすると、機能を指定したときにダイアログが表示されません。
- 本機側でパスワード規約がONの場合、セキュリティ印刷で使用可能なパスワードに制限があり、パスワード規約を満たさないパスワードを入力するとジョブが消去されます。パスワード規約については、「管理者設定メニュー」（p. 8-25）をごらんください。

7.2.2　　操作パネルからのジョブ呼び出し

「セキュリティ印刷」によるジョブは、セキュリティー文書ボックスに保存されます。セキュリティー文書を印刷するには、プリンタードライバーで指定した ID とパスワードが必要です。

【メニュー / 選択】を押して表示する設定メニューの［ジョブ操作］－［セキュリティ文書ボックス］で呼び出します。

■ セキュリティー文書アクセス方式が「モード 1」に設定されている場合

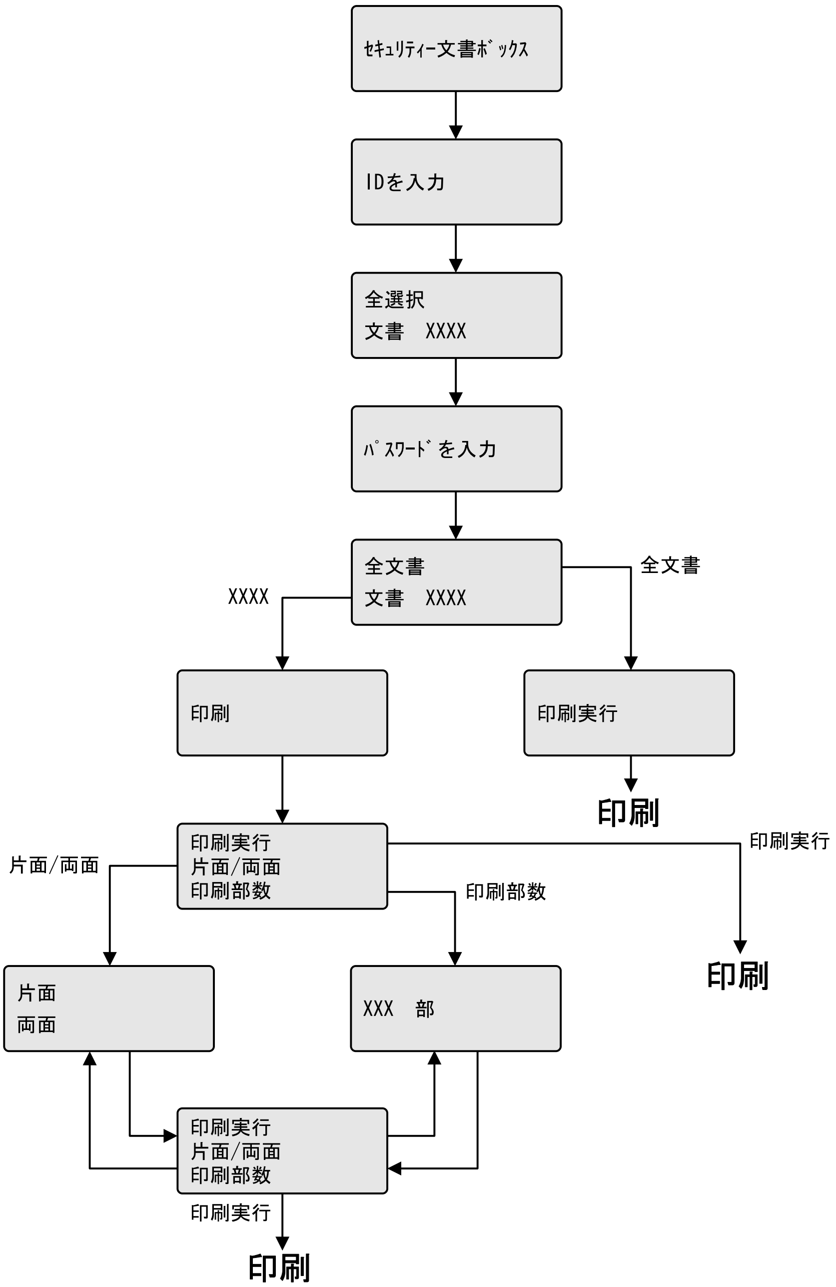


- 本機でユーザー認証が設定されている場合は、［ジョブ操作］画面のあとにユーザー名入力画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。
- 本機で部門管理が設定されている場合は、［ジョブ操作］画面のあとに部門名入力画面が表示されます。部門名とパスワードを入力してください。

ひとこと

・設定メニューの操作について詳しくは、「操作パネルについて」（p. 8-2）をごらんください。
・［セキュリティ文書アクセス］が「モード 1」に設定されているときは、ID 入力後にパスワードを入力します。［セキュリティ文書アクセス］が「モード 2」に設定されているときは、ID 入力のあと、文書を選択してからパスワードを入力します。
・セキュリティー文書は登録されてから一定時間経過すると自動的に削除されます。この時間は初期値が 1 日に設定されており、管理者モードで設定できます。
・印刷したセキュリティー文書を手動で削除するときは管理者モードで操作します。

■ セキュリティー文書アクセス方式が「モード 2」に設定されている場合



- 本機でユーザー認証が設定されている場合は、［ジョブ操作］画面のあとにユーザー名入力画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。
- 本機で部門管理が設定されている場合は、［ジョブ操作］画面のあとに部門名入力画面が表示されます。部門名とパスワードを入力してください。

7.3 ボックス保存

ボックス保存機能は、印刷ジョブを本機のユーザーボックスに保存する機能です。操作パネルからボックスを指定することで出力するので、文書の配布にも利用できます。

ボックス保存は、印刷時にプリンタードライバーで指定し、操作パネルで出力します。

原則

ボックス機能は本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用可能となります。

7.3.1 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 3 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

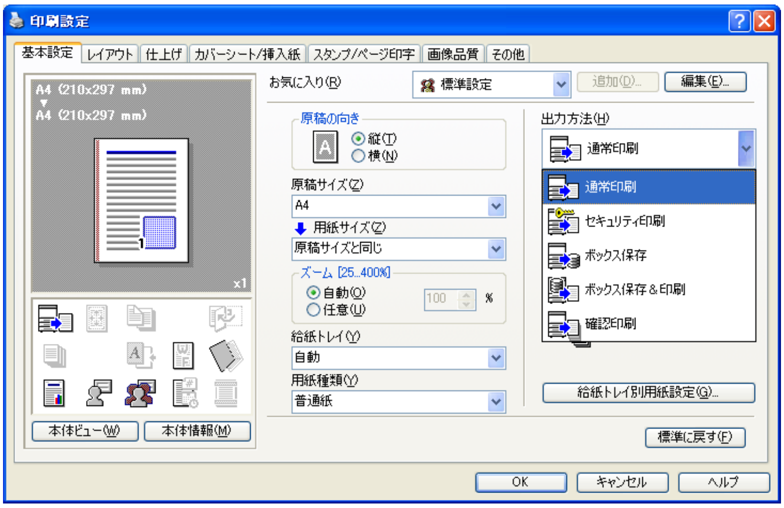
以下の設定で印刷します。

- 出力方法：「ボックス保存」または「ボックス保存 & 印刷」

■ Windows の場合

1 「基本設定」タブを表示します。

2 「出力方法」で「ボックス保存」または「ボックス保存 & 印刷」を選択します。



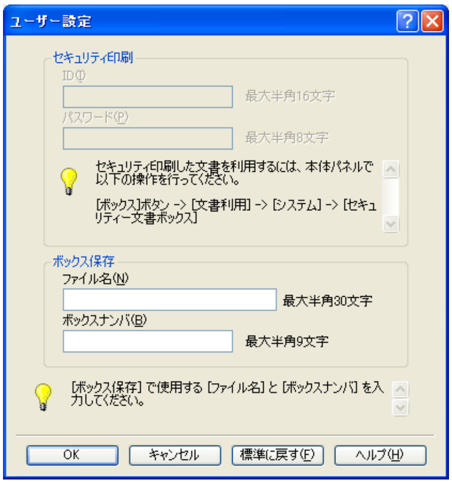
参照

ボックスは、あらかじめ本機に登録しておく必要があります。詳しくは、「新しくボックスを作成する」（p. 9-21）をごらんください。

ひとこと

ボックスへの保存と印刷を同時に実行したいときは「ボックス保存 & 印刷」を選択します。

3 文書のファイル名と保存先のボックスナンバを入力します。



4 印刷します。

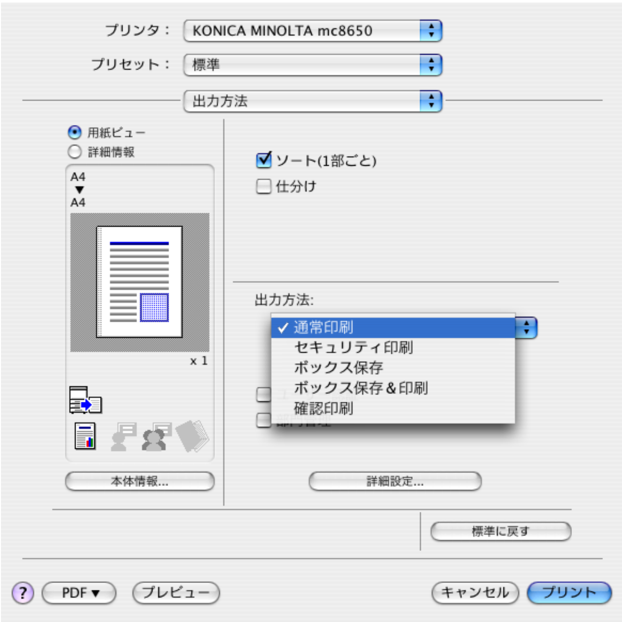
ひとこと

「基本設定」タブの［ユーザー設定］では、ボックス保存で必要なファイル名とボックス番号をあらかじめ登録しておくことができます。常に同じファイル名とボックス番号で保存する場合は、あらかじめ登録しておくと「ボックス保存」選択時にファイル名とボックス番号を入力する画面が表示されません。

■ Mac OS X の場合

1 「出力方法」画面を表示します。

2 「出力方法」で「ボックス保存」または「ボックス保存＆印刷」を選択します。



3 文書のファイル名と保存先のボックスナンバを入力します。



4 印刷します。

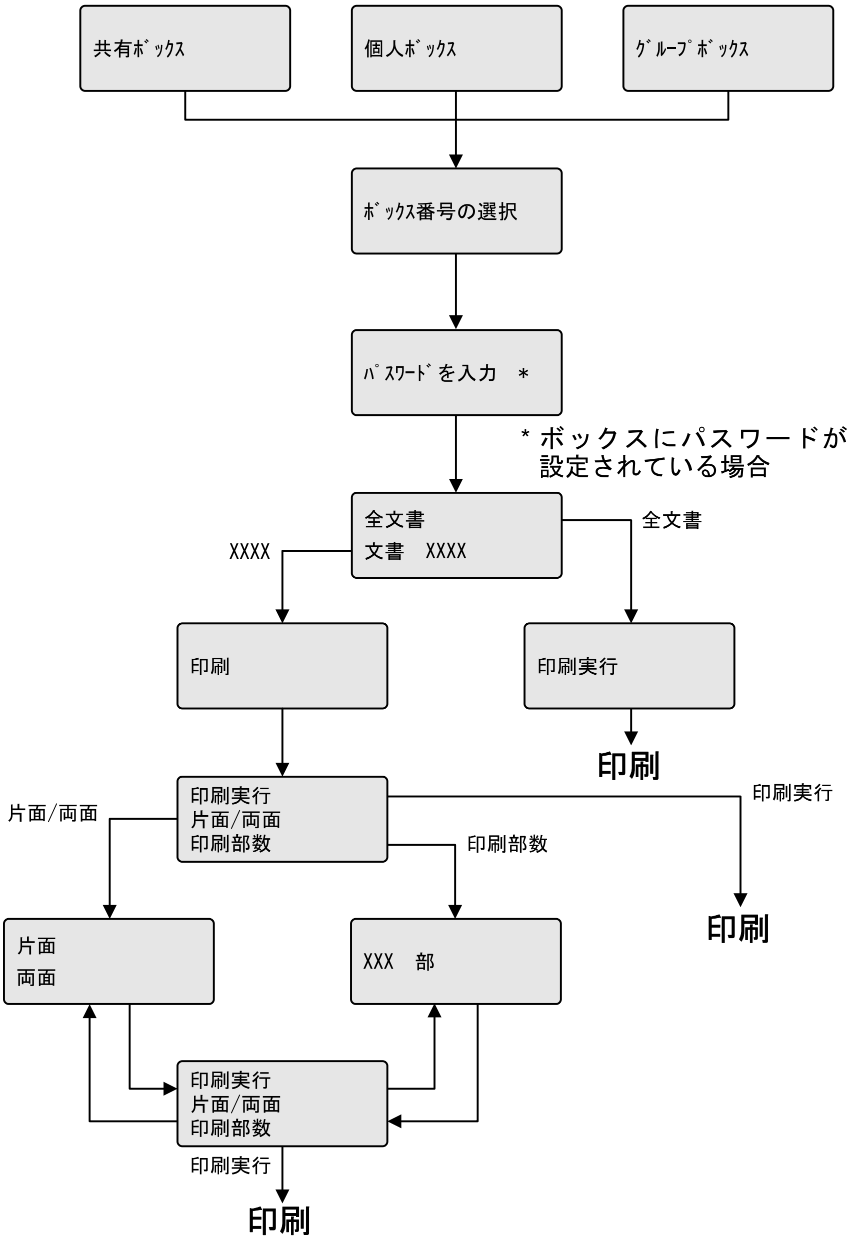
ひとこと

「設定を保存する」を ON にすると設定した内容が保存されます。さらに「設定時にこの画面を表示しない」を ON にすると、機能を指定したときにダイアログが表示されません。

7.3.2　　操作パネルからのジョブ呼び出し

「ボックス保存」、「ボックス保存＆印刷」によるジョブは、指定した番号のボックスに保存されます。

ボックスに保存された文書を印刷するには、指定したボックスを開いて文書を取り出します。ボックスは【メニュー / 選択】を押して表示する設定メニューの［ジョブ操作］メニューで呼び出します。ボックスには、［共有ボックス］、［個人ボックス］、［グループボックス］があります。文書を保存したボックスが登録されているボックスを選択してください。ボックスにパスワードが設定されている場合は、ボックスパスワードが必要です。



- 本機でユーザー認証が設定されている場合は、［ジョブ操作］画面のあとにユーザー名入力画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。
- 本機で部門管理が設定されている場合は、［ジョブ操作］画面のあとに部門名入力画面が表示されます。部門名とパスワードを入力してください。

ひとこと

- ・設定メニューの操作について詳しくは、「操作パネルについて」（p. 8-2）をごらんください。
- ・ボックス文書は登録されてから一定時間経過すると自動的に削除されます。この時間は初期値が 1 日に設定されており、ボックス作成時に設定できます。

7.4　ファイリングナンバーボックス

ボックス保存機能でファイリングナンバーボックスに印刷ジョブを保存することもできます。ファイリングナンバーボックスは、登録ユーザー共通に利用できるシステムボックスです。

ボックス保存は、印刷時にプリンタードライバーで指定し、操作パネルで出力します。

原則

ボックス機能は本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用可能となります。

参照

ボックスは、あらかじめ本機に登録しておく必要があります。詳しくは、「新しくボックスを作成する」（p. 9-21）をごらんください。

7.4.1　プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 3 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

以下の設定で印刷します。

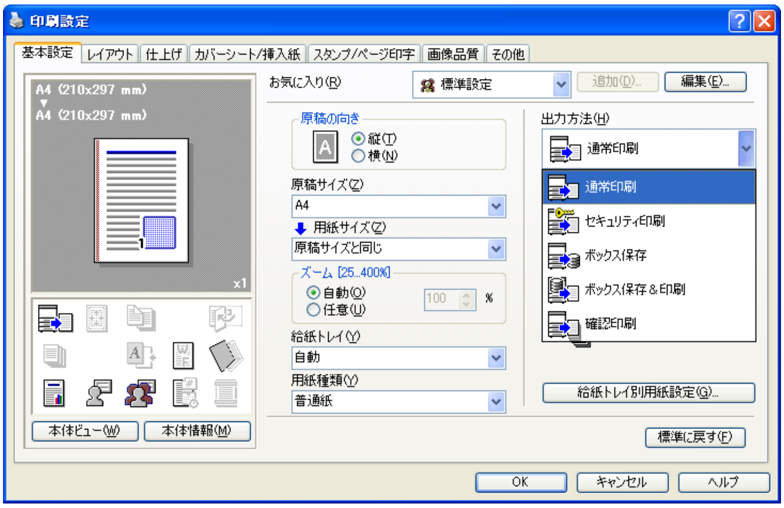
- 出力方法：「ボックス保存」または「ボックス保存＆印刷」

ひとこと

ボックスへの保存と印刷を同時に実行したいときは「ボックス保存＆印刷」を選択します。

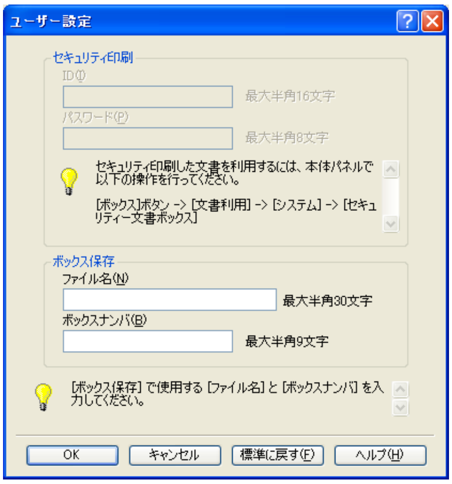
■ Windows の場合

1. 「基本設定」タブを表示します。
2. 「出力方法」で「ボックス保存」または「ボックス保存 & 印刷」を選択します。



3

文書のファイル名と保存先のファイリングナンバーボックスナンバのボックスを入力します。



4

印刷します。

ひとこと

「基本設定」タブの［ユーザー設定］では、ボックス保存で必要なファイル名とボックス番号をあらかじめ登録しておくことができます。常に同じファイル名とボックス番号で保存する場合は、あらかじめ登録しておくと「ボックス保存」選択時にファイル名とボックス番号を入力する画面が表示されません。

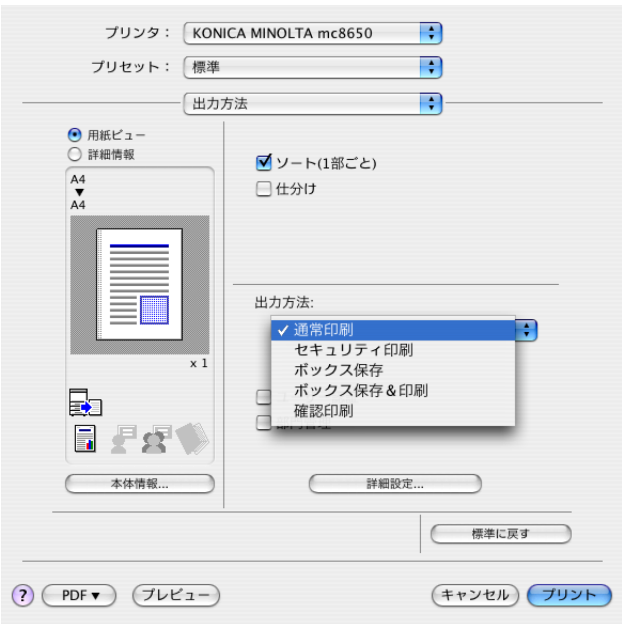
■ Mac OS X の場合

1

「出力方法」画面を表示します。

2

「出力方法」で「ボックス保存」または「ボックス保存＆印刷」を選択します。



3 文書のファイル名と保存先のファイリングナンバーボックスのボックスナンバを入力します。



4 印刷します。

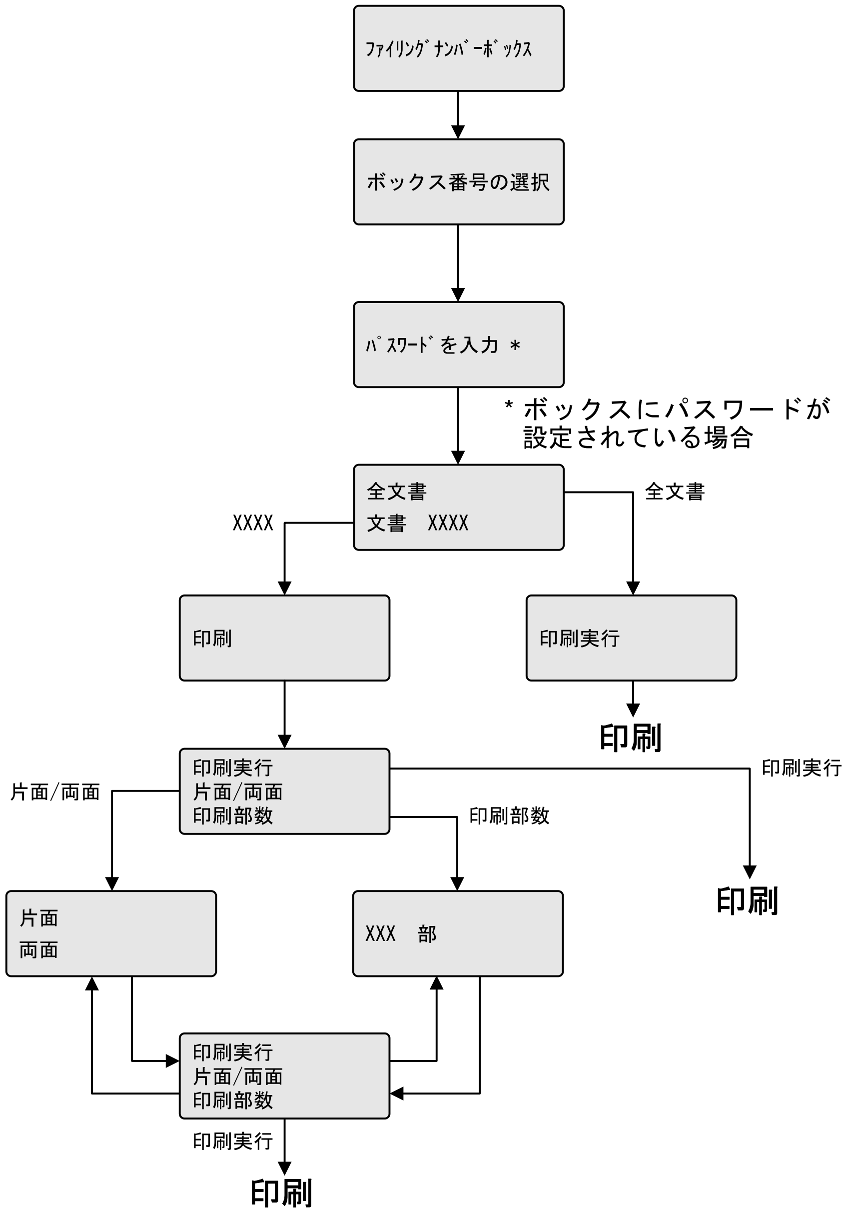
ひとこと

「設定を保存する」を ON にすると設定した内容が保存されます。さらに「設定時にこの画面を表示しない」を ON にすると、機能を指定したときにダイアログが表示されません。

7.4.2　操作パネルからのジョブ呼び出し

「ボックス保存」、「ボックス保存＆印刷」によるジョブは、指定した番号のボックスに保存されます。

ボックスに保存された文書を印刷するには、指定したボックスを開いて文書を取り出します。ボックスは【メニュー / 選択】を押して表示する設定メニューの［ジョブ操作］－［ファイリングナンバーボックス］で呼び出します。文書を保存したボックスを選択してください。ボックスにパスワードが設定されている場合は、ボックスパスワードが必要です。



- 本機でユーザー認証が設定されている場合は、［ジョブ操作］画面のあとにユーザー名入力画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。
- 本機で部門管理が設定されている場合は、［ジョブ操作］画面のあとに部門名入力画面が表示されます。部門名とパスワードを入力してください。

ひとこと

- 設定メニューの操作について詳しくは、「操作パネルについて」（p. 8-2）をごらんください
- ボックス文書は登録されてから一定時間経過すると自動的に削除されます。この時間は初期値が 1 日に設定されており、ボックス作成時に設定できます。

7.5　暗号化 PDF ボックス

暗号化 PDF ボックスは、暗号化 PDF の印刷ジョブを本機に保存する機能です。

暗号化 PDF のボックスへの保存は、PageScope Web Connection のダイレクトプリントタブでファイルを指定し、操作パネルで出力します。

原則

暗号化 PDF ボックスは本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用可能となります。

7.5.1　暗号化 PDF ファイルの指定

1. あらかじめ暗号化した PDF ファイルを保存しておきます。

2. PageScope Web Connection のダイレクトプリントタブの「印刷の実行」で目的のファイルを指定し、［実行］をクリックします。

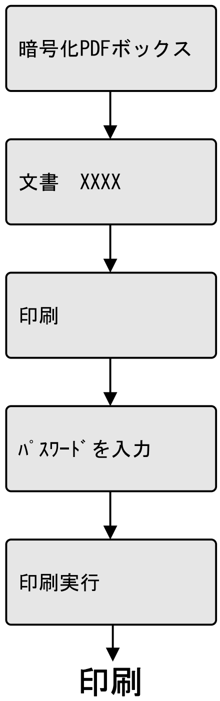
   ファイルが本機に送信されます。



7.5.2　操作パネルからのジョブの呼び出し

暗号化 PDF ファイルは、本機の暗号化 PDF ボックスに保存されます。

ボックスに保存された文書を印刷するには、暗号化 PDF ボックスを開いて文書を取り出します。文書を指定するときに PDF のパスワードが必要です。



- 本機でユーザー認証が設定されている場合は、［ジョブ操作］画面のあとにユーザー名入力画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。
- 本機で部門管理が設定されている場合は、［ジョブ操作］画面のあとに部門名入力画面が表示されます。部門名とパスワードを入力してください。

ひとこと

設定メニューの操作について詳しくは、「操作パネルについて」（p. 8-2）をごらんください。

7.6 ユーザー認証を設定している本機で印刷する

本機側でユーザー認証が設定されている場合、印刷時にユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

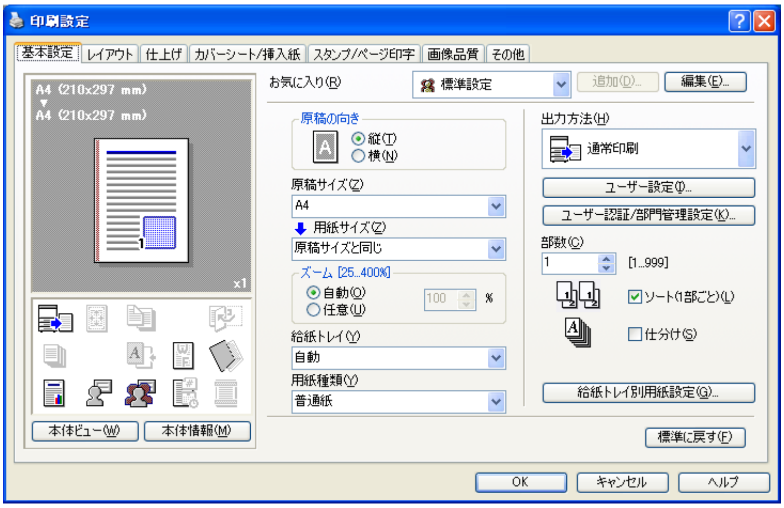
7.6.1 プリンタードライバーの設定

■ Windows の場合

1 「印刷」ダイアログボックスで［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックして、プリンタードライバーの設定ダイアログを表示します。

2 「基本設定」タブをクリックします。

3 ［ユーザー認証 / 部門管理設定］をクリックします。



詳しく説明します

- ユーザー認証は、あらかじめ本機で「ユーザー認証 / 部門管理」を設定し、ユーザーを登録しておく必要があります。詳しくは、「本機を使用するユーザーを制限する（本体装置認証）」（p. 9-27）をごらんください。
- 本機側の「認証モード」で有効ではないユーザー名やパスワードを入力して印刷したり、または「認証」を設定しないで印刷した場合は本機で認証されずにジョブが破棄されます。
- 本機のユーザー認証が設定され、認証操作禁止機能がモード 2 の場合、認証情報が正しく入力されていない場合は、該当するユーザーがロックされアクセスができなくなる場合があります。
- 本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 3 種類です。
  Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
  Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
  Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

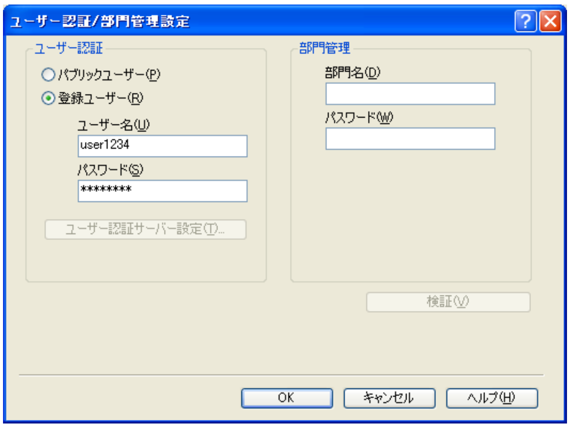
ひとこと

- 登録ユーザーであっても、印刷が許可されていない場合は印刷できません。
  ユーザー認証については、本機の管理者にお問合わせください。
- オプションの認証装置によるユーザー認証を行っている場合も、ユーザー名とパスワードを入力してください。詳しくは、「タッチ＆プリント」（p. 7-26）をごらんください。

4 「登録ユーザー」を選択し、ユーザー名、パスワードを入力します。

❍ 本体でパブリックユーザーが許可されている場合は、パブリックユーザーで利用できます。

❍ パスワードはジョブごとではなく、デフォルト値としてプリンタードライバーに設定しておいても使用できます。



5 [OK] をクリックして設定後、印刷します。

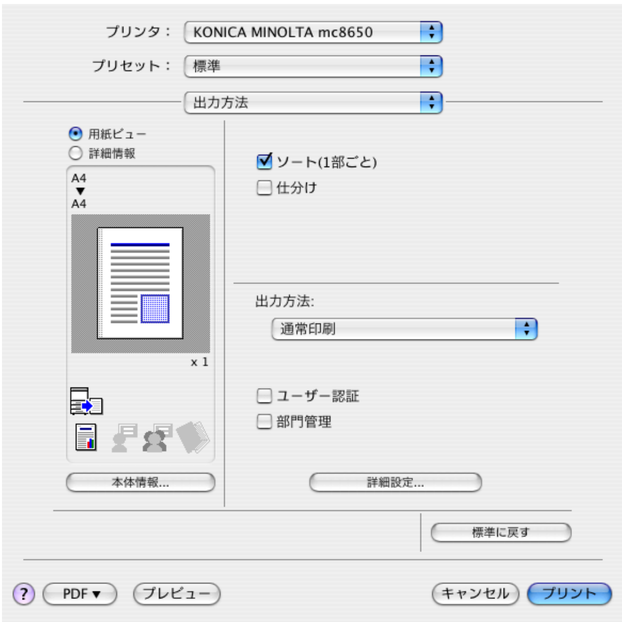
❍ 入力したユーザー名が本機側で有効になっているユーザー名である場合、ジョブは印刷され、指定したユーザーにカウントされます。

■ Mac OS X の場合

1 [ファイル] メニューの「プリント」を選択します。

2 「出力方法」を選択します。

3 「ユーザー認証」のチェックボックスを ON にします。



ひとこと

・ユーザー認証が「装置情報」タブで設定されていないと、ユーザー認証が行えません。ユーザー認証を利用している場合は、必ず「装置情報」で設定してください。詳しくは、「装置情報タブ」(p. 5-4) をごらんください。

・ユーザー認証をサーバーで行っている場合は、サーバーの設定が必要です。[ユーザー認証サーバー設定] をクリックし、サーバーを選択してください。

・[検証] をクリックすると、本機と通信し入力したユーザーで認証可能かどうかを確認できます。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

4

「登録ユーザー」を選択し、ユーザー名、パスワードを入力します。

❍ 本体でパブリックユーザーが許可されている場合は、パブリックユーザーで利用できます。



ひとこと

・「設定を保存する」を ON にすると設定した内容が保存されます。さらに「設定時にこの画面を表示しない」を ON にすると、機能を指定したときにダイアログが表示されません。
・ユーザー認証をサーバーで行っている場合は、サーバーの設定が必要です。［ユーザー認証サーバー設定］をクリックし、サーバーを選択してください。

7.7　部門管理機能を使用している本機で印刷する

本機側で「部門管理機能」を使用している場合、印刷時に部門管理コード（暗証番号）を入力する必要があります。

詳しく説明します

- 部門管理機能は、あらかじめ本機で「ユーザー認証 / 部門管理」を設定し、部門を登録しておく必要があります。詳しくは、「本機を使用するユーザーを制限する（本体装置認証）」（p. 9-27）をごらんください。
- 本機側の「部門管理機能」で有効ではない暗証番号を入力して印刷した、または「部門管理」を設定しないで印刷した場合は本機で認証されずにジョブが破棄されます。
  本機の部門認証が設定され、認証操作禁止機能がモード 2 の場合、認証情報が正しく入力されていない場合は、該当する部門がロックされアクセスができなくなる場合があります。
- 本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 3 種類です。
  Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
  Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
  Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

7.7.1　　プリンタードライバーの設定

ひとこと

- 登録部門であっても、印刷が許可されていない場合は印刷できません。
- 部門管理については、本機の管理者にお問合わせください。

■ Windows の場合

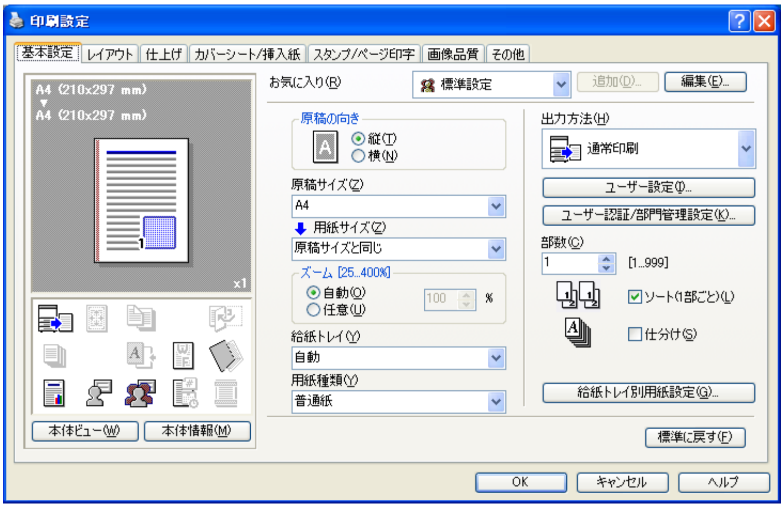
1. 「印刷」ダイアログボックスで［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックして、プリンタードライバーの設定ダイアログを表示します。
2. 「基本設定」タブをクリックします。

ひとこと

- 部門管理が「装置情報」タブで設定されていないと、部門管理が行えません。部門管理を利用している場合は、必ず「装置情報」で設定してください。詳しくは、「装置情報タブ」（p. 5-4）をごらんください。
- ［検証］をクリックすると、本機と通信し入力した部門で認証可能かどうかを確認できます。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

3

［ユーザー認証 / 部門管理設定］をクリックします。



4

部門名、パスワードを入力します。

❍ パスワードはジョブごとではなく、デフォルト値としてプリンタードライバーに設定しておいても使用できます。



5

［OK］をクリックして設定後、印刷します。

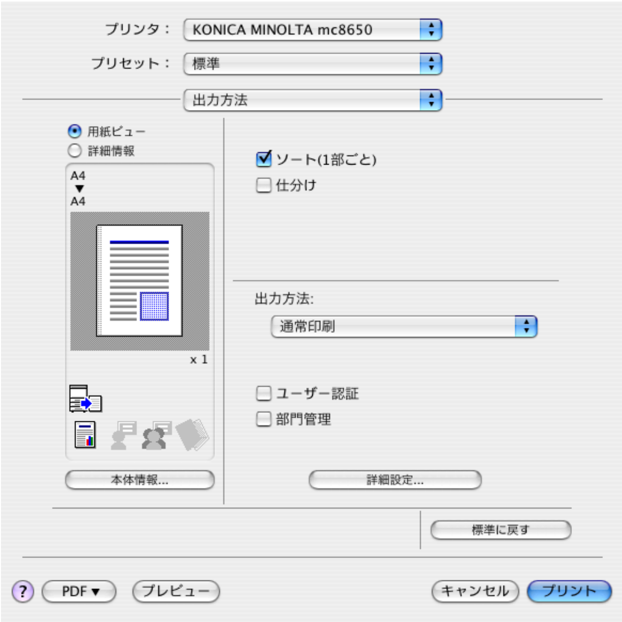
入力した暗証番号が本機側で有効になっている暗証番号である場合、ジョブは印刷され、指定した部門番号にカウントされます。

■ Mac OS X の場合

1. ［ファイル］メニューの「プリント」を選択します。

2. 「出力方法」を選択します。

3. 「部門管理」のチェックボックスを ON にします。



4. 部門名とパスワードを登録します。



ひとこと

「設定を保存する」を ON にすると設定した内容が保存されます。さらに「設定時にこの画面を表示しない」を ON にすると、機能を指定したときにダイアログが表示されません。

7.8　タッチ＆プリント

オプションの生体認証装置、IC カード認証装置によるユーザー認証を行っている場合に、認証装置に指または IC カードでタッチするだけでユーザーが確認でき、印刷できることをタッチ＆プリントと呼びます。

この方法によるユーザー認証も、コンピューターから印刷する場合は、通常のユーザー認証と同様にプリンタードライバーでユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

ひとこと

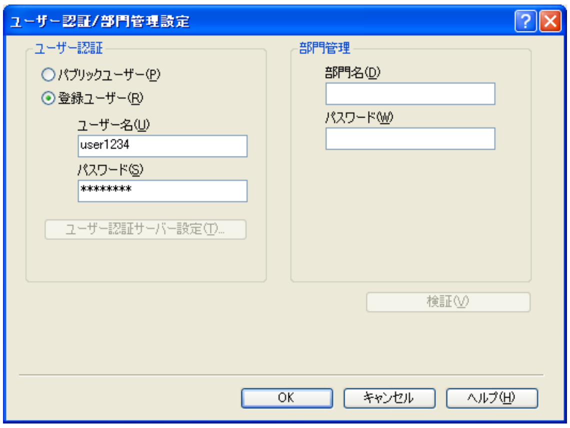
タッチ＆プリントを利用するには、【メニュー / 選択】を押して表示する設定メニューの［管理者設定］－［認証装置設定］－［タッチ＆プリント設定］でタッチ＆プリントボックス設定を「使用する」にしておく必要があります。詳しくは、「認証装置設定」（p. 8-28）をごらんください。

7.8.1　タッチ＆プリントの操作方法

1

プリンタードライバーでユーザー名とパスワードを入力して印刷します。

- Windows の場合：



- Mac OS X の場合：



2

本機の認証装置にタッチします。

ユーザーが認証されると文書が印刷されます。

参照

詳しくは、「ユーザー認証を設定している本機で印刷する」（p. 7-20）をごらんください。

ひとこと

Mac OS X からも生体認証装置、IC カード認証装置を使用した「タッチ＆プリント」が可能です。生体認証装置、IC カード認証装置を使用して認証するには、Windows OS 搭載のコンピューターに生体認証装置、IC カード認証装置を接続してユーザー登録（指静脈パターン、カード ID）をする必要があります。

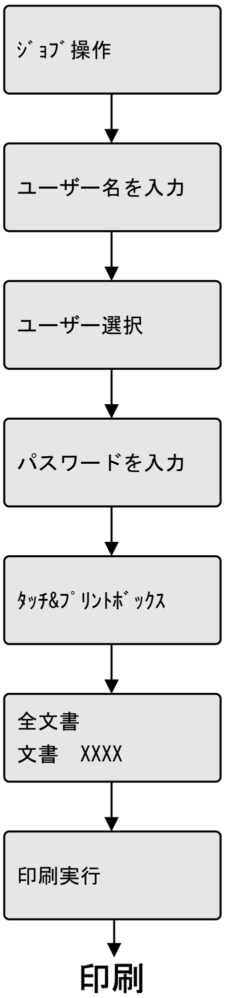
参照

認証装置については、「第 14 章 認証装置 （指静脈 生体認証タイプ AU-101）」または「第 15 章 認証装置 （IC カード認証タイプ AU-201）」をごらんください。

7.8.2　操作パネルからのジョブの呼び出し

タッチ＆プリントで出力されるジョブは、本機のタッチ＆プリントボックスに保存され、タッチ＆プリントボックスを開いて文書を手動で取り出すこともできます。

［ジョブ操作］を選択するときに、ユーザー名とパスワードが必要です。



ひとこと

- ・設定メニューの操作について詳しくは、「操作パネルについて」（p. 8-2）をごらんください。
- ・タッチ＆プリントボックスの文書は登録されてから一定時間経過すると自動的に削除されます。この時間は初期値が 1 日に設定されており、管理者設定で変更できます。

7.9 暗号化ワードをユーザー設定する

本機とプリンタードライバーは、ユーザーパスワード、部門パスワード、セキュリティー文書のパスワードを暗号化共通鍵で暗号化して通信します。

暗号化共通鍵を生成する暗号化ワードは初期値で設定されていますが、ユーザー定義の暗号化ワードで生成することもできます。

暗号化ワードをユーザー定義する場合は、本機とプリンタードライバーの両方で同じ暗号化ワードを設定してください。

ひとこと

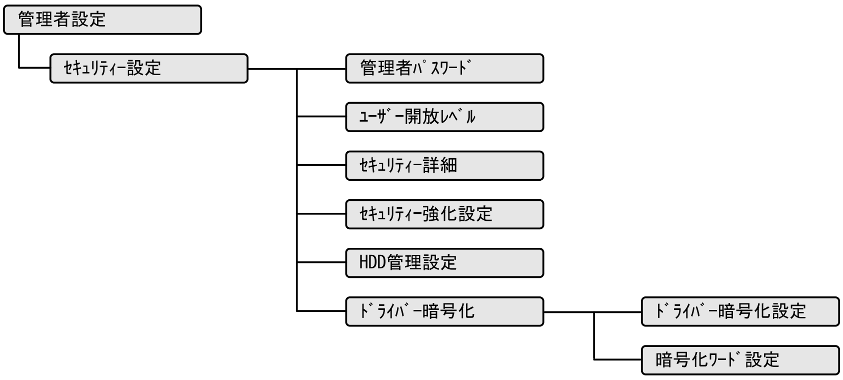
- 本機とプリンタードライバーの暗号化ワードの値が異なる場合は、本機が暗号化されたユーザーパスワード、部門パスワード、セキュリティー文書パスワードを復号することができないため、印刷されません。
- 暗号化共通鍵は、暗号化ワードで自動生成されます。暗号化共通鍵を直接設定することはできません。

7.9.1 本機の設定

【メニュー / 選択】を押して表示する設定メニューの［管理者設定］－［セキュリティー設定］－［ドライバー暗号化］－［ドライバー暗号化設定］で呼び出します。

「暗号化ワード」を変更するときは、「ユーザー定義」を選択し、続いて「暗号化ワード設定」で暗号化ワードを入力します。「暗号化ワード」をユーザー定義に設定しない場合は、「出荷値を使用」を選択します。

設定メニューの操作について詳しくは、「操作パネルについて」（p. 8-2）をごらんください。



ひとこと

- 暗号化ワードは 20 文字の英数字で入力します。本機とプリンタードライバーの両方で同じ暗号化ワードを設定してください。
- 同一文字が連続する暗号化ワードは無効です。

7.9.2 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 3 種類です。

- Windows 用 PCL コニカミノルタ製プリンタードライバー（PCL ドライバー）
- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

■ Windows の場合

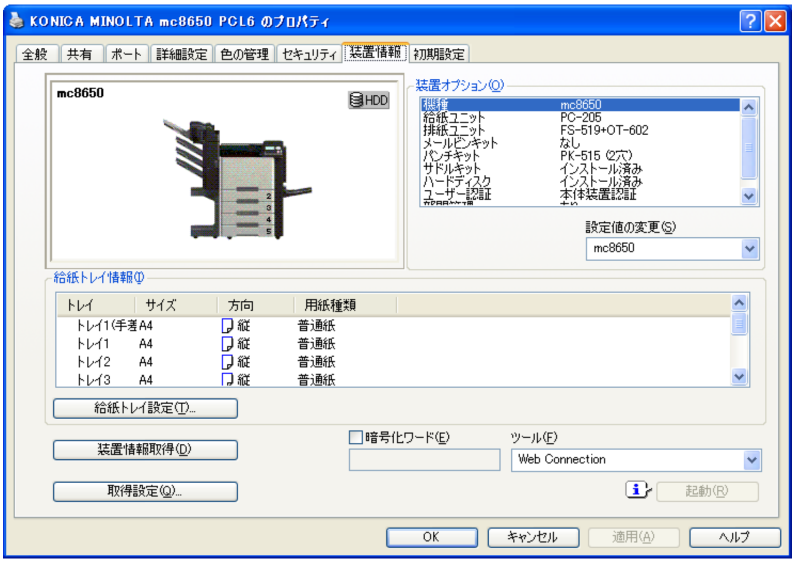
1 プロパティ画面を表示します。

❍ プロパティ画面は、「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタと FAX」ウィンドウを開き、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックして表示させせます。

2 「装置情報」タブをクリックします。

3 「暗号化ワード」をチェックし、暗号化ワードを入力します。

❍「暗号化ワード」をユーザー定義に設定しない場合は、「暗号化ワード」のチェックを外します。



4 ［OK］をクリックします。

■ Mac OS X の場合

1 「出力方法」画面を表示します。

2 ［詳細設定］をクリックします。

「詳細設定」ダイアログが表示されます。

3 「管理者設定」を選択し、［設定］をクリックします。



「管理者設定」ダイアログが表示されます。

ひとこと

- 暗号化ワードは 20 文字の英数字で入力します。本機とプリンタードライバーの両方で同じ暗号化ワードを設定してください。
- 同一文字が連続する暗号化ワードは無効です。
- OpenAPI で SSL が有効な場合で、プリンタードライバーの装置情報の自動取得が可能であれば、暗号化共通鍵を本機側から取得することもできます。

4

「暗号化ワード」をチェックし、暗号化ワードを入力します。

❍「暗号化ワード」をユーザー定義に設定しない場合は、「暗号化ワード」のチェックを外します。



5

［OK］をクリックします。

ひとこと

・暗号化ワードは 20 文字の英数字で入力します。本機とプリンタードライバーの両方で同じ暗号化ワードを設定してください。
・同一文字が連続する暗号化ワードは無効です。

7.10 ICC プロファイルの設定

プリンタードライバーには、本機に登録されている ICC プロファイルを印刷時に指定する機能があります。

7.10.1 プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 2 種類です。

- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

■ Windows の場合

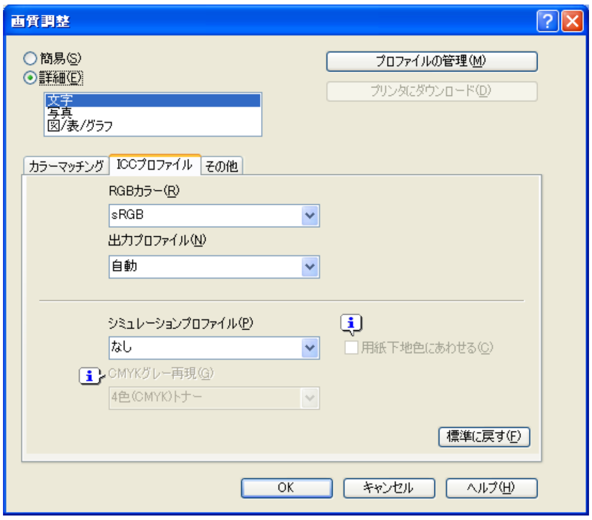
1 「画像品質」タブを表示します。

2 ［画質調整］をクリックします。

「画質調整」ダイアログボックスが表示されます。

3 「ICC プロファイル」タブをクリックします。

4 「詳細」をクリックし、文書の種類を選択します。



5 「RGB カラー」、「出力プロファイル」、「シミュレーションプロファイル」の各項目を選択します。

❍ プリンタードライバーに登録されているICCプロファイルが選択できます。

印刷時に、選択したプロファイルによってカラー処理が行われます。

6 ［OK］をクリックします。

ひとこと

- 本機に登録されている ICC プロファイルの初期値は、「ICC プロファイル設定」で設定できます。
- ［ICC プロファイル設定］は【メニュー / 選択】を押して表示する設定メニューの［ユーザー設定］－［プリンター設定］－［PS 設定］－［ICC プロファイル設定］で呼び出します。
- 設定メニューの操作について詳しくは、「操作パネルについて」（p. 8-2）をごらんください。
- 本機に新たに追加した ICC プロファイルを利用するためには、あらかじめ本機の ICC プロファイルをプリンタードライバーに登録する必要があります。詳しくは、「プリンタードライバーに ICC プロファイルを登録する」（p. 7-33）をごらんください。

■ Mac OS X の場合

1 「画像品質」画面を表示します。

2 ［画質調整］をクリックします。

「画質調整」ダイアログが表示されます。

3 印刷する文書の種類に対応した、「RGB カラー」、「出力プロファイル」、「シミュレーションプロファイル」の各項目を選択します。

❍ プリンタードライバーに登録されているICCプロファイルが選択できます。



印刷時に、選択したプロファイルによってカラー処理が行われます。

4 ［OK］をクリックします。

7.11　プリンタードライバーに ICC プロファイルを登録する

本機にダウンロードして追加登録されている ICC プロファイルをプリンタードライバーに登録することができます。
登録されたプロファイルは、印刷時に指定できます。

7.11.1　　プリンタードライバーの設定

本機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 2 種類です。

- Windows 用 PostScript コニカミノルタ製プリンタードライバー（PS ドライバー）
- Mac OS X 用 PostScript PPD プリンタードライバー

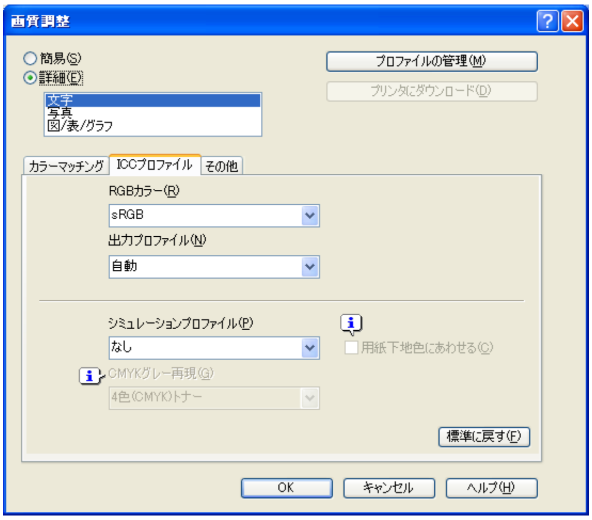
■ Windows の場合

1　「画像品質」タブを表示します。

2　［画質調整］をクリックします。

「画質調整」ダイアログボックスが表示されます。

3　［プロファイルの管理］をクリックします。



「カラープロファイルの管理」ダイアログボックスが表示されます。

4　本機に追加登録した利用可能なプロファイル一覧が表示されることを確認します。

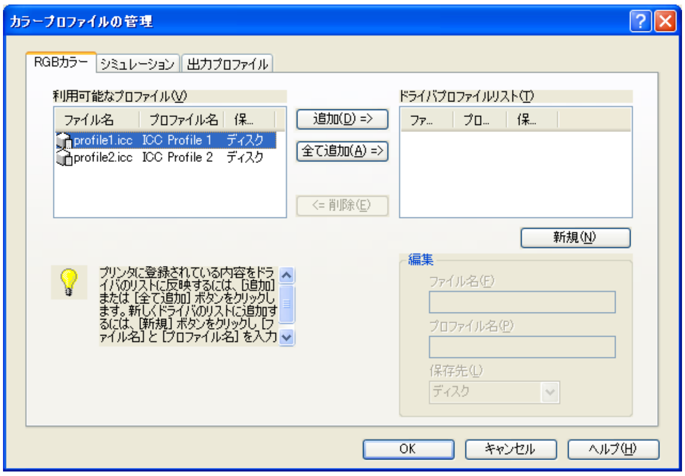
ひとこと

本機への ICC プロファイルの登録は、「DownloadManager (magicolor)」アプリケーションで行います。詳しくは、アプリケーションのヘルプをごらんください。

ひとこと

- 「カラープロファイルの管理」は本機と通信し、本機が利用できる ICC プロファイルを読み取ります。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。
- USB 経由で接続されている場合は、本機が利用できる ICC プロファイルを読み取ることができません。
- ［プリンタにダウンロード］をクリックすると「Download Manager（magicolor）」アプリケーションが起動します。この機能は、「Download Manager（magicolor）」インストール時のみ有効です。
- ICC プロファイルのダウンロードはオプションの HDD が装着されている場合のみ可能です。

5 タブをクリックし、カラープロファイルの種類を選択します。



6 「利用可能なプロファイル」一覧から利用するプロファイルを選択し、［追加］をクリックします。

- 現在のドライバー設定をプロファイルとして登録する場合は、［新規］をクリックして「ファイル名」、「プロファイル名」を入力します。

選択したプロファイルが「ドライバプロファイルリスト」に追加され、「画質調整」ダイアログボックスの ICC プロファイルの項目で選択できるようになります。

7 ［OK］をクリックします。

ひとこと

プロファイル名は、「編集」で変更できます。

■ Mac OS X の場合

1 「画像品質」画面を表示します。

2 ［画質調整］をクリックします。

「画質調整」ダイアログが表示されます。

3　［プロファイルの管理］をクリックします。



「カラープロファイルの管理」ダイアログが表示されます。

4　本機に追加登録した利用可能なプロファイル一覧が表示されることを確認します。

5　ドロップダウンリストでカラープロファイルの種類を選択します。



6　「利用可能なプロファイル」一覧から利用するプロファイルを選択し、［追加］をクリックします。

❍ 現在のドライバー設定をプロファイルとして登録する場合は、［新規］をクリックして「ファイル名」、「プロファイル名」を入力します。

選択したプロファイルが「ドライバプロファイルリスト」に追加され、「画質調整」ダイアログのプロファイルの項目で選択できるようになります。

7　［OK］をクリックします。

ひとこと

・「カラープロファイルの管理」は本機と通信し、本機が利用できるプロファイルを読み取ります。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。
・［プリンタにダウンロード］をクリックすると「Download Manager （magicolor）」アプリケーションが起動します。この機能は、「Download Manager （magicolor）」インストール時のみ有効です。
・Mac OS X 用 Download Manager は弊社 Web サイトからダウンロードしてください。

ひとこと

プロファイル名は、新規 / 編集で変更できます。

7.12 長尺紙印刷機能

本機では、操作パネルの設定により 1200 mm までの用紙をトレイ 1（手差し）にセットし、印刷することができます。

以降本文中では、長い用紙をセットして印刷することを長尺紙印刷と呼びます。

7.12.1 用紙について

■ 使用できる用紙

用紙幅	用紙長	用紙種類
210 mm ～ 297 mm	457.3 mm ～ 1200 mm	厚紙 1、厚紙 1+ 両面 2 面目、厚紙 2、厚紙 2+ 両面 2 面目（127 g/m^2 ～ 210 g/m^2）

7.12.2 プリンタードライバーの種類と対応 OS

長尺紙印刷に対応しているドライバーは以下のとおりです。

- PCL コニカミノルタ製ドライバ（PCL ドライバ）
- PostScript コニカミノルタ製ドライバ（Windows PS ドライバ）

ひとこと

長尺紙印刷は Mac OS 9.2/OS X には対応しておりません。

7.12.3 プリンタードライバーを設定する

印刷する用紙サイズを不定形サイズとして設定します。

1 「基本設定」タブをクリックします。

2 「原稿サイズ」または「出力サイズ」から「不定形サイズ」を選択します。

「不定形サイズ設定」ダイアログボックスが表示されます。

3 不定形サイズの幅、長さを単位に合わせて設定します。

4 「用紙種類」を設定します。

❍ 必要に応じて、その他の項目も設定します。

5 ［OK］をクリックします。

ひとこと

PCL コニカミノルタ製ドライバーの場合、不定形サイズの設定は、Windows の「プリンタ」（Windows XP/Server 2003 の場合は「プリンタと FAX 」）ウィンドウから開くプリンタードライバーの「初期設定」タブであらかじめ登録しておくこともできます。

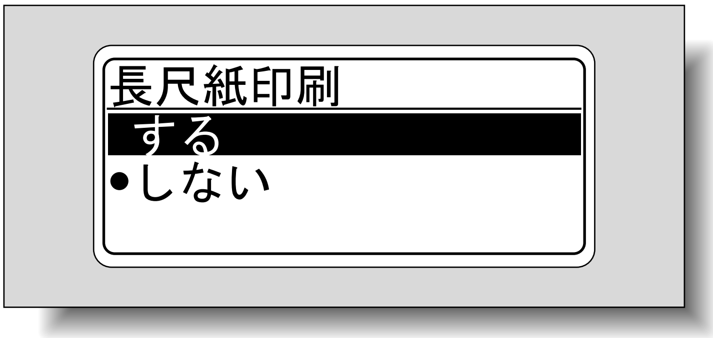
7.12.4 印刷する

長尺紙印刷は、【メニュー / 選択】を押して表示する設定メニューの［長尺紙印刷］で実行します。

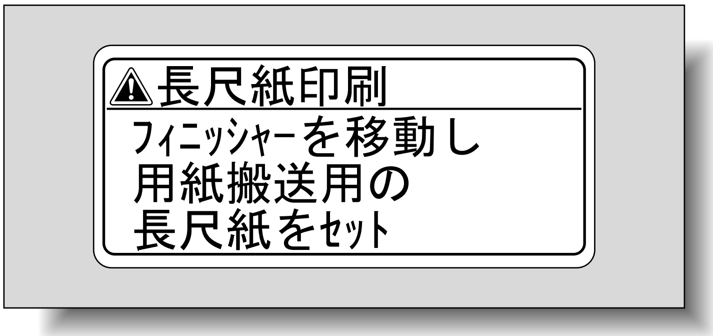
1 【メニュー / 選択】を押します。

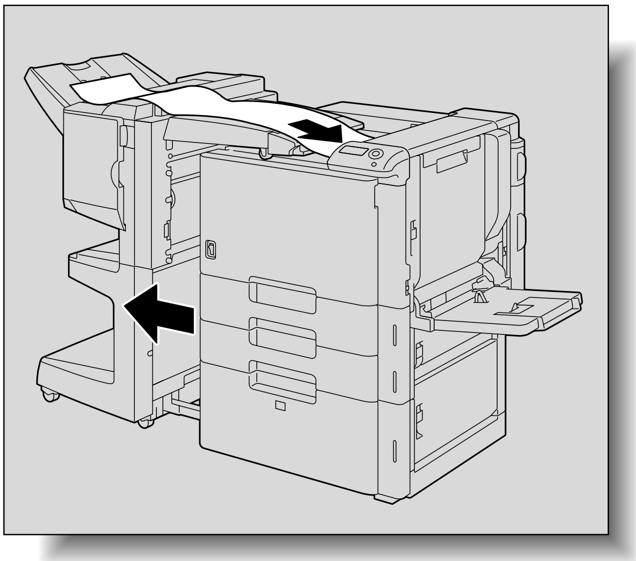
2 ［長尺紙印刷］を選択して【メニュー / 選択】を押します。

3 ［する］を選択して【メニュー / 選択】を押します。



4 フィニッシャー FS-609 を装着しているときは、フィニッシャーを本機からとりはずし、フィニッシャーの上に用紙搬送用の長尺紙をセットします。

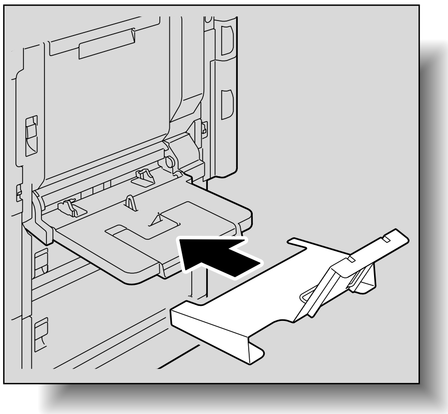




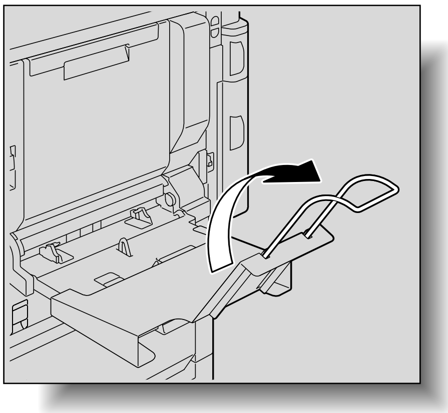
5 コンピューターから長尺紙サイズの文書データを送って印刷します。

6 トレイ 1 を開きます。

7 トレイ 1 に取り付けキットを取り付けます。

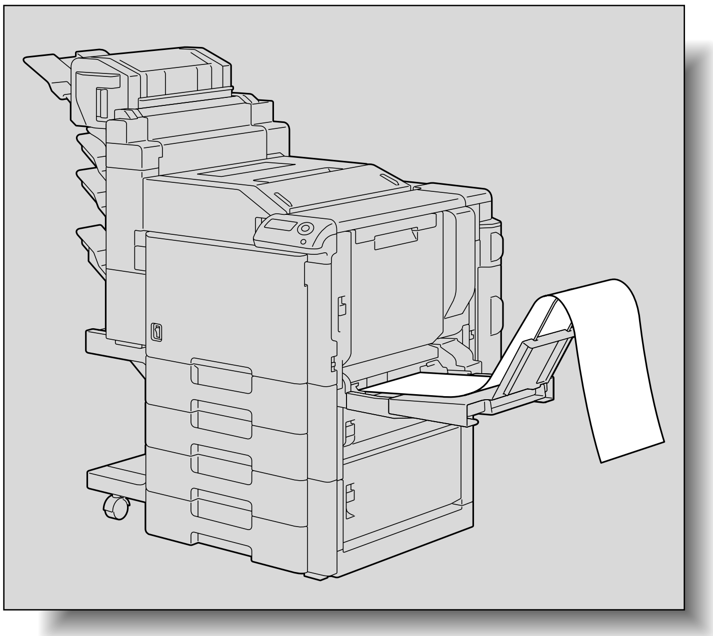


8 取り付けキットのガイドを立てます。

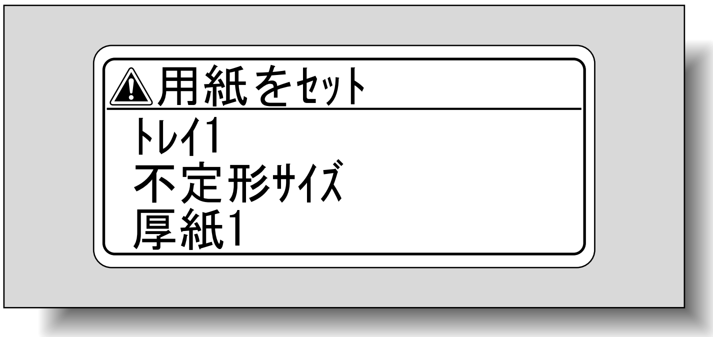


9 印刷したい面を下向きにし、用紙の先端を奥まで差し込んでセットします。
長尺紙は、1 枚のみセットできます。

10 トレイ 1 のガイド板をスライドさせ、用紙サイズに合わせます。



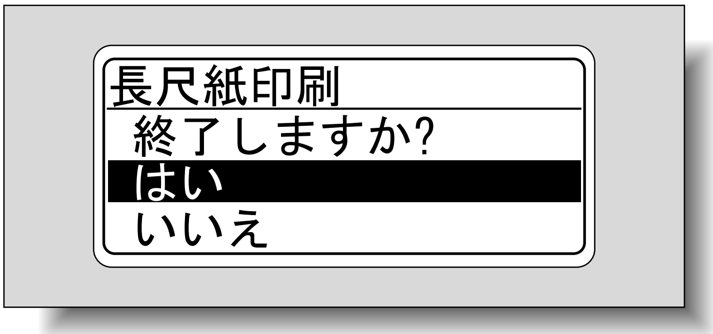
11 以下の画面が表示された場合は、【メニュー / 選択】を押します。



データが印刷されます。

続いて印刷する場合は、コンピュータから文書データを送ると印刷されます。

12 印刷を終了するときは、【キャンセル】を押し、［はい］を選択して【メニュー / 選択】を押します。
終了しないときは［いいえ］を選択して印刷を続けます。



ひとこと

定形サイズ以外（はがき、封筒、その他非定形サイズ）の用紙をトレイ 1（手差し）から印刷する場合、非定形サイズ用紙をトレイ 1（手差し）にセット後、文書データを送信すると、用紙のサイズや種類の再確認のため、用紙の再セットを行う必要がありますので、ご注意ください。

第８章
操作パネルの設定

8.1　操作パネルについて

操作パネルでは、ジョブの印刷や削除、用紙などの初期設定、ネットワーク設定など各種設定が、変更できます。

8.1.1　　基本操作

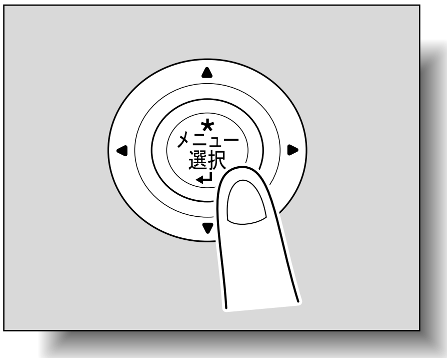
操作パネルでの変更操作を、以下の機能を例に説明します。

- 基本的なメニュー操作→設定情報リストを印刷する
- 数値変更の操作→管理者設定画面を表示する

■ 基本的なメニュー操作

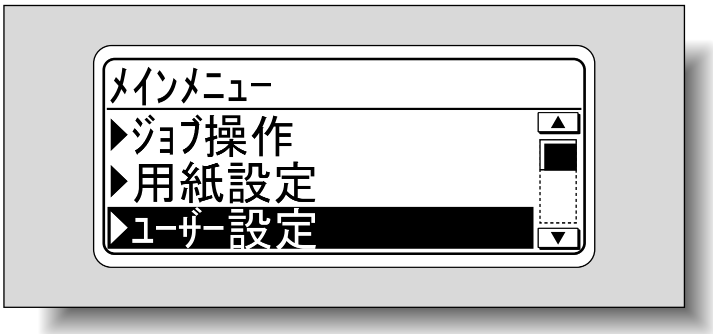
例：設定情報リストを印刷する

1 【メニュー / 選択】を押します。



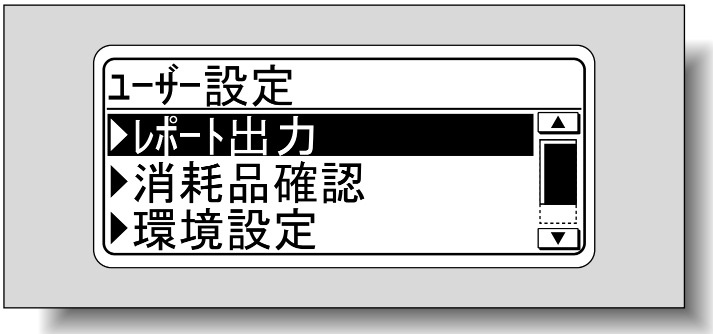
設定のメインメニューが表示されます。

2 【↓】を何回か押して［ユーザー設定］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。



ユーザー設定 メニューが表示されます。

3 【↓】を何回か押して［レポート出力］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。

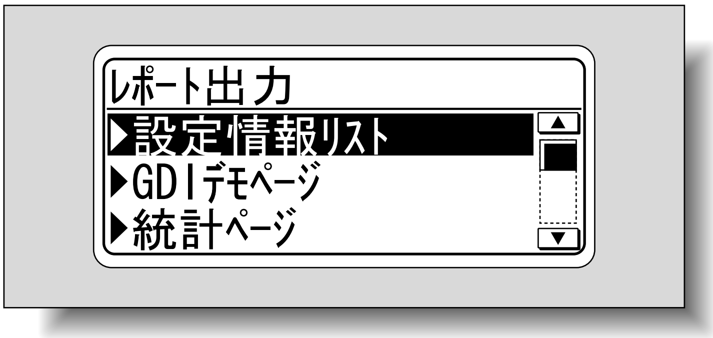


レポート出力メニューが表示されます。

ひとこと

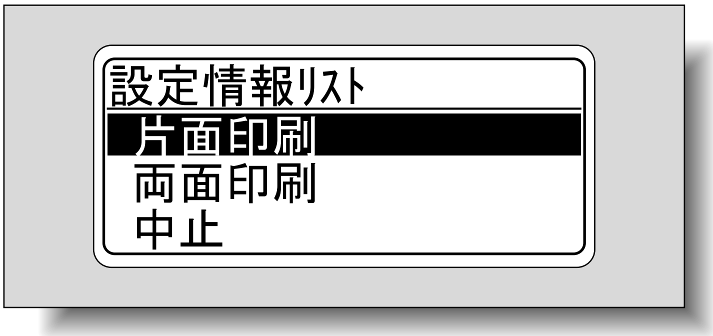
- 管理者設定メニューの［セキュリティー設定］で［ユーザー開放レベル］が「ON」になっているときは、ユーザー設定 メニューを表示するときにパスワードが必要です。
  出荷時はパスワードを「12345678」に設定してあります。
  パスワードは、［管理者設定］－［セキュリティー設定］－［管理者パスワード］で設定します。
- メニューや項目を選択するときは、【メニュー / 選択】の代わりに【→】キーを押しても選択できます。

4 【↓】を何回か押して［設定情報リスト］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。



印刷メニューが表示されます。

5 【↓】を何回か押して印刷面を選択し、【メニュー / 選択】を押します。

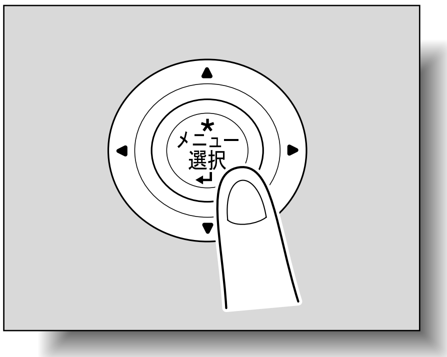


印刷が開始されます。

■ 数値変更の操作

例：管理者設定画面を表示する

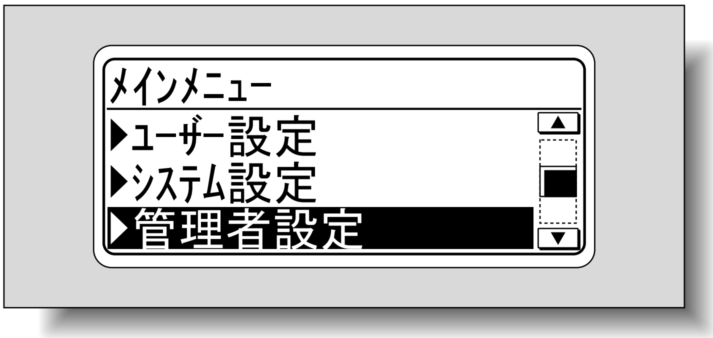
1 【メニュー / 選択】を押します。



設定のメインメニューが表示されます。

2

【↓】を何回か押して［管理者設定］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。

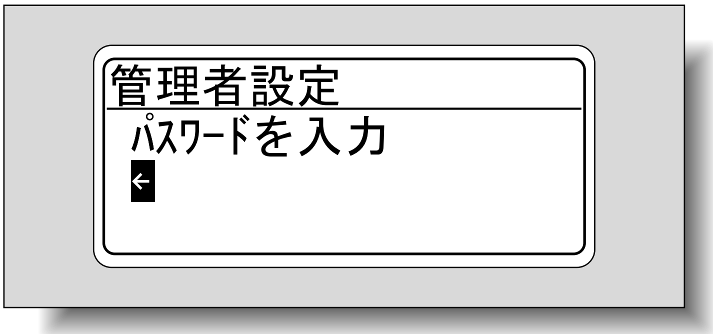


パスワード入力画面が表示されます。

3

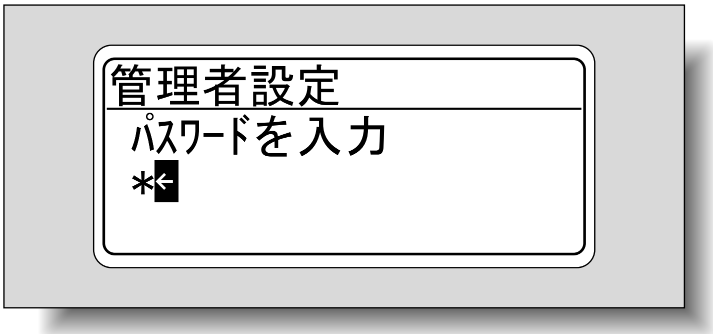
【↑】【↓】を何回か押して 1 文字目に入力する文字を表示します。
【↑】を押すと、「a、b、c…」の順に表示が切換わります。
【↓】を押すと、「9、8、7…」の順に表示が切換わります。

文字は以下の順で表示します。
abcde･･･xyzABCDE･･･XYZ!#$%&'()*,-./:;<=>?@[¥]^_‘{I}~0123456789
【↑】→･･････　　←【↓】



4

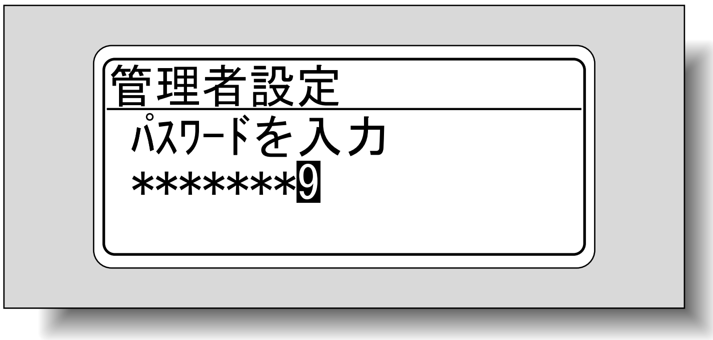
【→】を押してカーソルを 2 文字目に移動します。
入力を間違えたときは【←】を押してカーソルを移動し、入力しなおします。



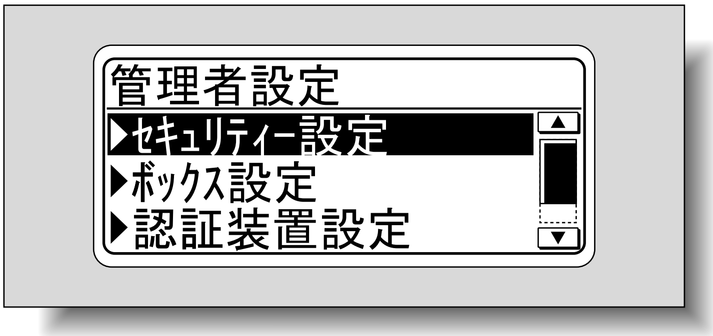
ひとこと

- メニューや項目を選択するときは、【メニュー / 選択】の代わりに【→】キーを押しても選択できます。
- 管理者設定メニューを表示するときにパスワードが必要です。出荷時はパスワードを「12345678」に設定してあります。
- パスワードは、［管理者設定］－［セキュリティー設定］－［管理者パスワード］で設定します。

5 手順 3 〜 4 を繰り返し、パスワードのすべての桁を入力します。



6 パスワード入力後、【メニュー / 選択】を押します。
管理者設定メニューが表示され、目的の管理者設定項目を変更できます。

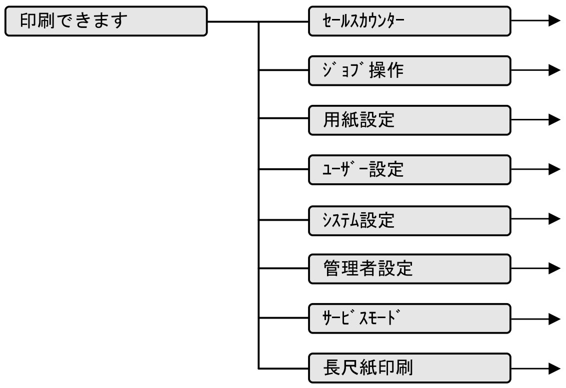


8.2　設定メニュー一覧表

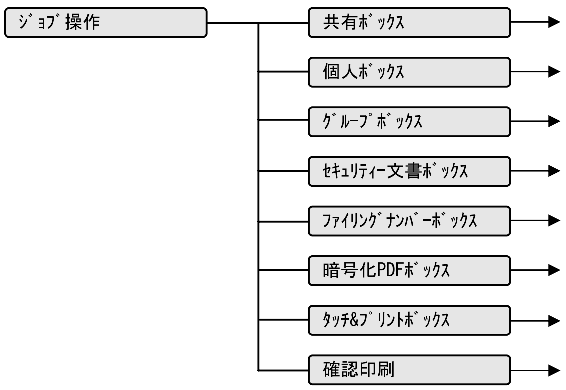
設定メニューで表示される項目の概要です。

表示されるメニューは、他の設定項目の状態やオプションの装着状態によって異なります。

■ メインメニュー



■ ジョブ操作メニュー



ひとこと

［セールスカウンター］と［サービスモード］はサービス技術者がプリンタの調整やメンテナンスのために使用するメニューです。ユーザは使用しません。

ひとこと

- 本機でユーザー認証や部門管理を行っているときは、ジョブ操作 メニューを表示するときにユーザー名や部門名とパスワードが必要です。
- 各ボックスにパスワードが設定されているときは、ボックスを表示するときにパスワードが必要です。
- ［セキュリティー文書ボックス］を表示するときは、ID とパスワードが必要です。パスワードは、［セキュリティー文書アクセス］の設定によって入力タイミングが異なり、［セキュリティー文書アクセス］が「モード 1」に設定されているときは、ID 入力後にパスワードを入力します。［セキュリティー文書アクセス］が［モード 2］に設定されているときは、ID 入力のあと、文書を選択してからパスワードを入力します。
- パスワードを間違えた場合は、ボックスに移行しません。

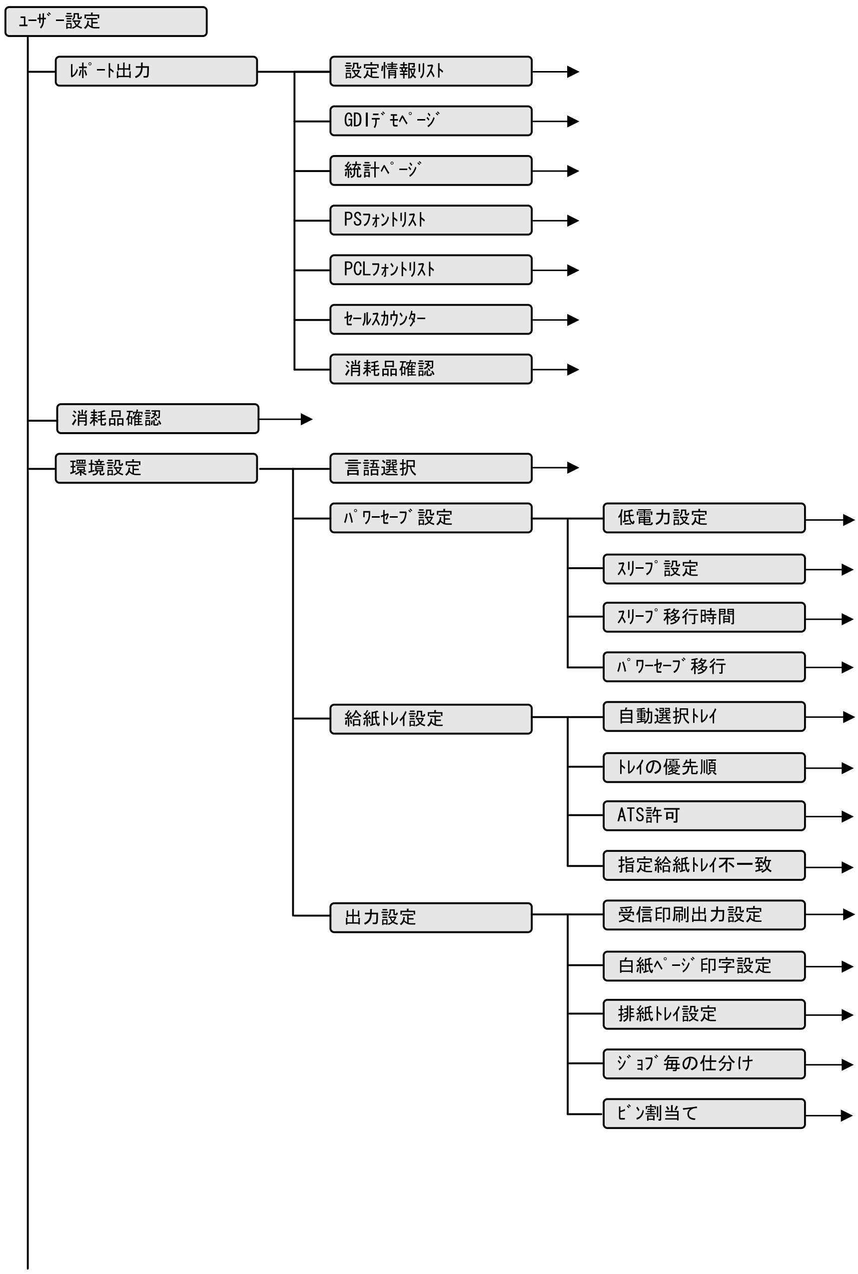
■ 用紙設定メニュー



ひとこと

- ［管理者設定］の［ユーザー開放レベル］が「ON」になっているときは、用紙設定メニューを表示するときにパスワードが必要です。
  出荷時はパスワードを「12345678」に設定してあります。
  パスワードは、［管理者設定］－［セキュリティー設定］－［管理者パスワード］で設定します。
- パスワードを間違えた場合は、用紙設定 メニューに移行しません。
- 認証の失敗でパスワードが無効になり、操作禁止状態になった場合は本機を再起動してください。
- ［トレイ 1］で［用紙サイズ］に「不定形サイズ」またはワイド紙を選択した場合は、用紙サイズを数値で指定します。
- 表示される給紙トレイは、装着しているオプションによって異なります。

■ ユーザー設定メニュー



ひとこと

- ［管理者設定］の［ユーザー開放レベル］が「ON」になっているときは、ユーザー設定メニューを表示するときにパスワードが必要です。
  出荷時はパスワードを「12345678」に設定してあります。
  パスワードは、［管理者設定］－［セキュリティー設定］－［管理者パスワード］で設定します。
- パスワードを間違えた場合は、ユーザー設定メニューに移行しません。
- 認証の失敗でパスワードが無効になり、操作禁止状態になった場合は本機を再起動してください。
- ［スリープ設定］は［サービスモード］の［スリープしない設定］が［禁止］の場合は表示されません。本メニューの変更はサービスエンジニアによる作業が必要です。
- ［排紙トレイ設定］、［ジョブ毎の仕分け］はオプションのフィニッシャーが装着されている場合に表示されます。
- ［ビン割り当て］は、オプションのフィニッシャーにメールビンキットが装着されている場合に表示されます。

- ﾌﾟﾘﾝﾀｰ設定
  - 基本設定
    - PDL設定
    - 印刷部数
    - 画像の向き
    - ｽﾌﾟｰﾙ設定
    - 用紙ｻｲｽﾞ変換
    - ﾊﾞﾅｰｼｰﾄ設定
    - 開き/とじ方向補正
  - 用紙設定
    - 給紙ﾄﾚｲ
    - 用紙ｻｲｽﾞ
    - 両面印刷
    - 開き方向/とじ方向
    - ｽﾃｰﾌﾟﾙ
    - ﾊﾟﾝﾁ
    - ﾊﾞﾅｰｼｰﾄ給紙ﾄﾚｲ
  - PCL設定
    - ﾌｫﾝﾄ設定
    - ｼﾝﾎﾞﾙｾｯﾄ
    - ﾌｫﾝﾄｻｲｽﾞ
    - ﾗｲﾝ/ﾍﾟｰｼﾞ
    - CR/LFﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ
  - PS設定
    - PSｴﾗｰ印刷
    - ICCﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ設定
  - XPS設定
    - XPSﾃﾞｼﾞﾀﾙ署名検証

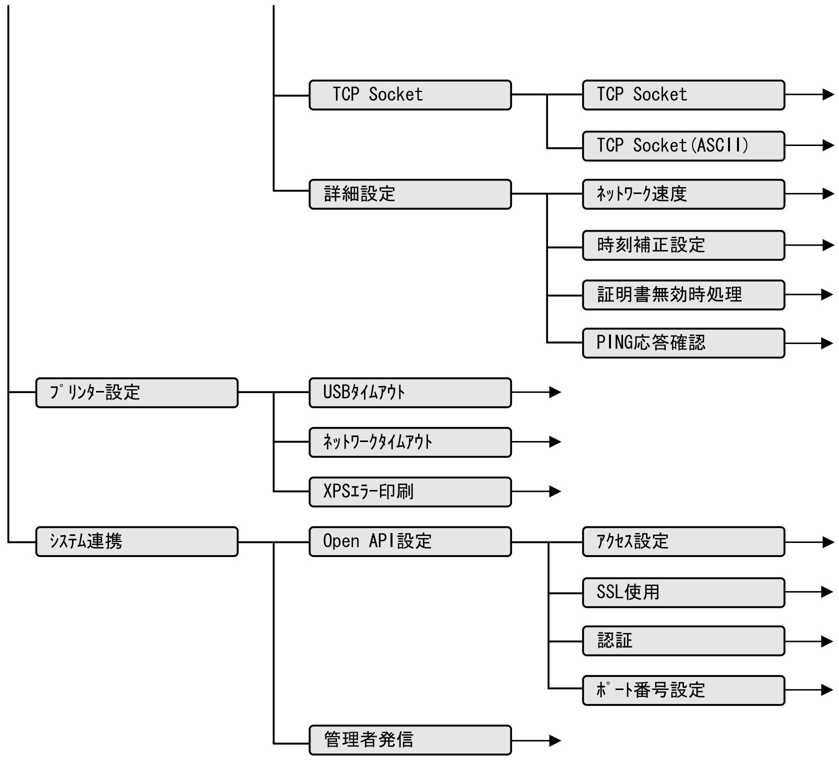
■ システム設定メニュー

- ｼｽﾃﾑ設定
  - 環境設定
    - 日時設定
      - 日付設定 →
      - 時刻設定 →
      - ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ設定 →
      - 時刻補正実行 →
    - ｻﾏｰﾀｲﾑ
      - ｻﾏｰﾀｲﾑ設定 →
      - ｻﾏｰﾀｲﾑ時間
    - LCD輝度調整 →
    - ﾏｼﾝ管理ﾘｽﾄ印刷
      - 設定値ﾘｽﾄ
      - 使用管理ｶｳﾝﾀｰﾘｽﾄ
    - ｼｽﾃﾑｵｰﾄﾘｾｯﾄ
      - ｼｽﾃﾑｵｰﾄﾘｾｯﾄ設定
      - ｼｽﾃﾑｵｰﾄﾘｾｯﾄ時間
  - ﾈｯﾄﾜｰｸ設定
    - TCP/IP
      - TCP/IP設定 →
      - IP設定 →
      - IPv6 →
      - DNSｻｰﾊﾞｰ →
      - IPﾌｨﾙﾀﾘﾝｸﾞ →
      - IPsec →
      - RAWﾎﾟｰﾄ番号 →
      - ﾎｽﾄ名 →
      - DNSﾄﾞﾒｲﾝ →
      - Dynamic DNS設定 →
    - NetWare
      - IPX →
      - NetWareﾌﾟﾘﾝﾄ →
      - ﾕｰｻﾞｰ認証設定 NDS →

ひとこと

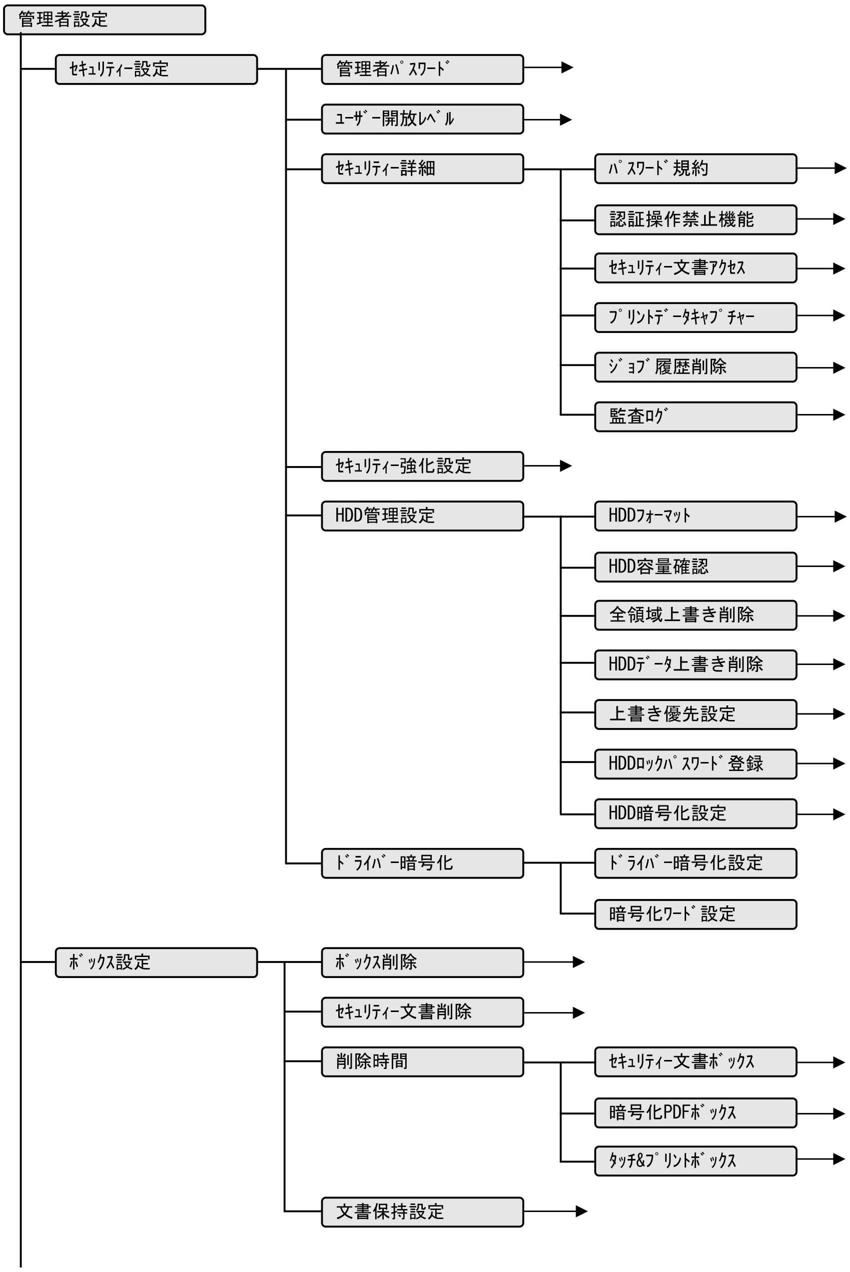
- ［管理者設定］の［ユーザー開放レベル］が「ON」または「MINIMUM」になっているときは、システム設定 メニューを表示するときにパスワードが必要です。
  出荷時はパスワードを「12345678」に設定してあります。
  パスワードは、［管理者設定］－［セキュリティー設定］－［管理者パスワード］で設定します。
- パスワードを間違えた場合は、システム設定メニューに移行しません。
- 認証の失敗でパスワードが無効になり、操作禁止状態になった場合は本機を再起動してください。
- ［日時設定］－［時刻補正実行］は、［ネットワーク設定］－［詳細設定］－［時刻補正設定］－［NTP 設定］が「使用する」の場合に表示されます。
- ［TCP/IP］、［HTTP サーバー］、［SNMP］、［AppleTalk］、［Bonjour］の設定項目は、それぞれ［TCP/IP 設定］、［HTTP サーバー設定］、「SNMP 設定」、［AppleTalk 設定］、［Bonjour 設定］が「使用する」の場合に、そのほかの項目が表示されます。
- ネットワークの設定を変更した場合、変更した設定を有効にするには、本機を再起動してください。
- 電源を OFF/ON する場合は、電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
- ［OpenAPI 設定］－［SSL 使用］は、SSL 証明書がインストールされていない場合、または［セキュリティー強化設定］が「ON」の場合は表示されません。
- ［管理者発信］は［サービスモード］の［CS Remote Care］のセンター登録が完了していない場合は表示されません。本メニューの変更はサービスエンジニアによる作業が必要です。

- HTTPｻｰﾊﾞｰ
  - HTTPｻｰﾊﾞｰ設定 →
  - PSWC設定 →
  - IPP設定
  - IPP認証設定
  - IPP設定ｼﾞｮﾌﾞ許可
  - ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝｻﾎﾟｰﾄ情報
  - ﾌﾟﾘﾝﾀｰ関連情報 →
- SMB
  - ﾌﾟﾘﾝﾄ →
  - WINS →
  - Direct Hosting →
- Webｻｰﾋﾞｽ
  - Webｻｰﾋﾞｽ設定 →
  - ﾌﾟﾘﾝﾀｰ設定 →
- SNMP
  - SNMP設定 →
  - SNMP v1/v2c(IP) →
  - SNMP v3(IP) →
  - SNMP v1(IPX) →
  - UDPﾎﾟｰﾄ番号 →
  - SNMPv1v2c設定 →
  - SNMP v3設定 →
  - TRAP設定 →
- AppleTalk
  - AppleTalk設定 →
  - ﾌﾟﾘﾝﾀｰ名 →
  - ｿﾞｰﾝ名 →
- Bonjour
  - Bonjour設定 →
  - Bonjour名 →



TCP Socket
TCP Socket
TCP Socket(ASCII)
詳細設定
ﾈｯﾄﾜｰｸ速度
時刻補正設定
証明書無効時処理
PING応答確認
ﾌﾟﾘﾝﾀｰ設定
USBﾀｲﾑｱｳﾄ
ﾈｯﾄﾜｰｸﾀｲﾑｱｳﾄ
XPSｴﾗｰ印刷
ｼｽﾃﾑ連携
Open API設定
ｱｸｾｽ設定
SSL使用
認証
ﾎﾟｰﾄ番号設定
管理者発信

■ 管理者設定メニュー



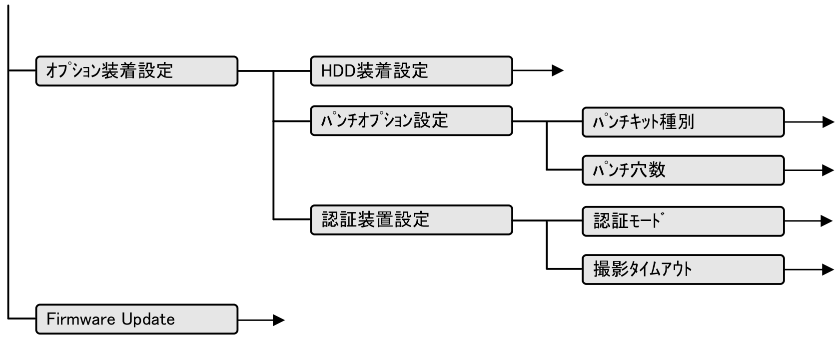
ひとこと

- 管理者設定メニューを表示するときにパスワードが必要です。
  管理者パスワードは、［管理者設定］－［セキュリティー設定］－［管理者パスワード］で設定します。
  出荷時はパスワードを「12345678」に設定してあります。
- 管理者パスワードを間違えた場合は、管理者設定 メニューに移行しません。
- 管理者認証の失敗でパスワードが無効になり、操作禁止状態になった場合は本機を再起動してください。
- ［プリントデータキャプチャー］は、［セキュリティー強化設定］が「OFF」の場合に表示されます。
- ［HDD 管理設定］、［ボックス設定］は HDD が装着されている場合に表示されます。
- ［上書き優先設定］、［HDD 暗号化設定］は、暗号化基盤が装着されている場合に表示されます。
- ［暗号化ワード設定］は、［ドライバー暗号化設定］が［ユーザー定義］の場合に表示されます。

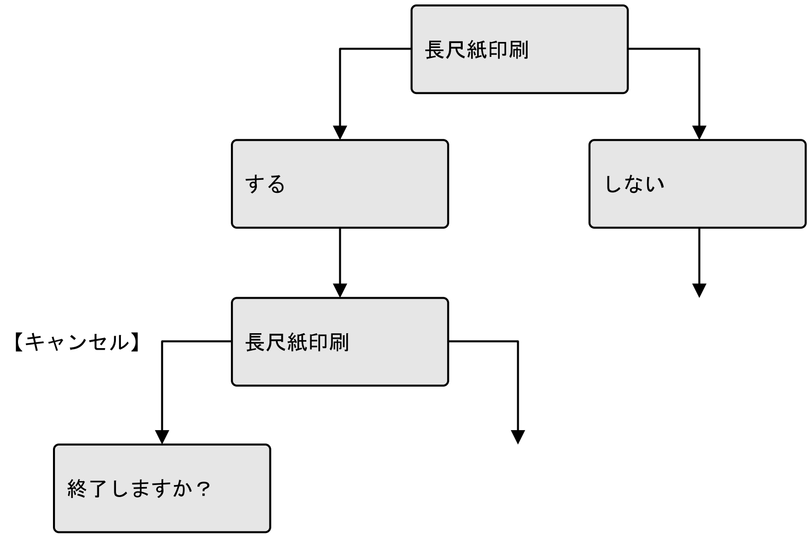
- 認証装置設定
  - ICｶｰﾄﾞ認証設定
    - ICｶｰﾄﾞﾀｲﾌﾟ
    - 動作設定
  - 生体認証設定
    - 報知音
    - 動作設定
  - ﾀｯﾁ&ﾌﾟﾘﾝﾄ設定
    - ﾀｯﾁ&ﾌﾟﾘﾝﾄﾎﾞｯｸｽ設定
    - 印刷動作指定
- ｴｷｽﾊﾟｰﾄ調整
  - ﾌﾟﾘﾝﾀｰ調整
    - 印刷位置:先端
    - 印刷位置:側端
    - 両面印刷位置:先端
    - 両面印刷位置:側端
    - 通紙方向倍率
    - 先端ｲﾚｰｽ量
  - ﾌｨﾆｯｼｬｰ調整
    - ｾﾝﾀｰｽﾃｰﾌﾟﾙ位置
    - 中折り位置
  - 濃度補正
    - 厚紙/ｲｴﾛｰ
    - 厚紙/ﾏｾﾞﾝﾀ
    - 厚紙/ｼｱﾝ
    - 厚紙/ﾌﾞﾗｯｸ
    - ﾓﾉｸﾛ画像濃度
  - 画像安定化
    - 初期化+安定化実行
    - 安定化実行
  - 色重ねｽﾞﾚ補正
    - ｲｴﾛｰ
    - ﾏｾﾞﾝﾀ
    - ｼｱﾝ
  - ﾃｽﾄﾊﾟﾀｰﾝ
    - ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝﾊﾟﾀｰﾝ
    - ﾊｰﾌﾄｰﾝﾊﾟﾀｰﾝ

ひとこと

・［認証装置設定］は、認証装置とHDD が装着されている場合に表示されます。
・［フィニッシャー調整］はフィニッシャーが装着されている場合に表示されます。
・［HDD 装着設定］は HDD が装着されている場合に表示されます。
・［パンチオプション設定］はフィニッシャーが装着されている場合に表示されます。
・［撮影タイムアウト］は、「認証モード」が「生体」の場合に表示されます。



■ 長尺紙印刷メニュー



ひとこと

- フィニッシャー FS-609 を装着しているときは、長尺紙印刷を「する」に設定したあと、フィニッシャーを本機からとりはずすメッセージが表示されます。
- ［長尺紙印刷］画面で印刷ジョブを送ると印刷できます。このとき、用紙をセットするメッセージが表示されます。サイズに適合した用紙をセットしてください。
- ［長尺紙印刷］状態から戻るには、［長尺紙印刷］画面で【キャンセル】を押して表示される［終了しますか？］で「はい」を選択するか、［長尺紙印刷］メニューで「しない」を選択します。

8.3 設定項目

8.3.1 ジョブ操作メニュー

■ ユーザー名入力項目

メニュー	説明
ユーザー名	ユーザー名を入力します。
ユーザー名一覧	表示されるユーザー名一覧からユーザー名を選択します。
ユーザーパスワード	ユーザーパスワードを入力します。

ひとこと

ユーザー名入力項目は、本機でユーザー認証を行っているときに表示されます。

■ 部門名入力項目

メニュー	説明
部門名	部門名を入力します。
部門パスワード	部門パスワードを入力します。

ひとこと

部門名入力項目は、本機で部門管理を行っているときに表示されます。

■ 文書選択項目

メニュー	説明
共有ボックス 個人ボックス グループボックス	文書を選択して印刷します。 パスワードが設定されているときは、ボックス選択時にパスワードの入力が必要です。 文書が複数ある場合は「全文書」か個別の文書を選択できます。
セキュリティー文書ボックス	文書を選択して印刷します。ID とパスワードの入力が必要です。
ファイリングナンバーボックス	文書を選択して印刷します。 パスワードが設定されているときは、ボックス選択時にパスワードの入力が必要です。 文書が複数ある場合は「全文書」か個別の文書を選択できます。
暗号化 PDF ボックス	文書を選択して印刷します。印刷実行時に PDF に設定されたパスワードの入力が必要です。
タッチ＆プリントボックス	通常はユーザー認証した時点で印刷できるので、このボックスから文書を選択する必要がありません。
確認印刷	文書を選択して印刷します。

ひとこと

- ［個人ボックス］は、本機でユーザー認証を行っているときに表示されます。
- ［グループボックス］は、本機で部門管理を行っているときに表示されます。
- ボックス機能は本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用可能となります。

■ 印刷項目

ジョブ操作メニューで各ボックスから 1 文書を選択すると、印刷関連のメニューが表示されます。

メニュー	説明	出荷時設定
印刷実行	印刷を開始します。	−
片面 / 両面	両面 / 片面印刷を設定できます。	片面
印刷部数	印刷部数を設定できます。	001
センターステープル位置	中とじ機能で印刷するときのステープル位置を調整できます。	0
中折り位置	中とじ機能で印刷するときの中折り位置を調整できます。	0

ひとこと

- ［センターステープル位置］は、プリンタードライバーで「中とじ」が指定されている場合に表示されます。
- ［中折り位置］は、プリンタードライバーで「折り」が指定されている場合に表示されます。
- ［センターステープル位置］と［中折り位置］は、装着しているフィニッシャーにより設定内容が異なります。FS-609 装着時は位置調整の数値のみ指定します。FS-519 装着時は、用紙サイズ / 用紙種類ごとに位置調整の数値を指定します。

8.3.2 用紙設定メニュー

メニュー		説明	出荷時設定
トレイ 1	用紙サイズ	手差しトレイの用紙サイズを設定します。	自動検出
	用紙種類	手差しトレイの用紙種類を設定します。	普通紙
トレイ 2 ～ 5	ワイド紙サイズ	ワイド紙を使用する場合に設定します。	しない
	用紙種類	トレイの用紙種類を設定します。	普通紙
トレイ 4	用紙種類	トレイ 4（大容量）の用紙種類を設定します。	普通紙

8.3.3 ユーザー設定メニュー

■ レポート出力

メニュー	説明
設定情報リスト	本機の設定情報を印刷します。
GDI デモページ	デモページを印刷します。
統計ページ	印刷枚数などの統計ページを印刷します。
PS フォントリスト	PS フォントリストを印刷します。
PCL フォントリスト	PCL フォントリストを印刷します。
セールスカウンター	セールスカウンターページを印刷します。
消耗品確認	消耗品の情報ページを印刷します。

■ 消耗品確認

メニュー	説明
イメージングユニット C	使用状況を表示します。
イメージングユニット M	
イメージングユニット Y	
イメージングユニット K	
定着ユニット	
転写ベルトユニット	

■ 環境設定

メニュー	説明	出荷時設定
言語選択	表示される言語を設定します。	日本語

ひとこと

- 表示される給紙トレイは、装着しているオプションによって異なります。
- 用紙サイズの設定値で、「-R」がついているサイズは横置き、「W」がついているサイズはワイド紙を示します。
- ［トレイ 1］で［用紙サイズ］に「不定形サイズ」またはワイド紙を選択した場合は、用紙サイズを数値で指定します。
- 用紙種類にて、レターヘッド紙を選択して印刷する場合、用紙の面合せ動作を行うため、片面印刷であっても印刷速度が遅くなります。

ひとこと

［スリープ設定］は［サービスモード］の［スリープしない設定］が［禁止］の場合は表示されません。本メニューの変更はサービスエンジニアによる作業が必要です。

メニュー		説明	出荷時設定
パワーセーブ設定	低電力設定	低電力モードがはたらくまでの時間を 2 分～ 240 分から設定できます。	15 分
	スリープ設定	スリープ設定を有効にするかどうかを設定します。	する
	スリープ移行時間	スリープモードがはたらくまでの時間を 2 分～ 240 分から設定できます。	20 分
	パワーセーブ移行	パワーセーブに移行する条件を通常 / 即時で設定します。 通常：印刷終了後、通常のパワーセーブ設定（低電力設定、スリープ移行時間で設定した時間）にしたがってパワーセーブ（低電力モード、スリープモード）へ移行します。 即時：印刷終了後、即時に印刷開始の直前の状態へ移行します。	即時

メニュー		説明	出荷時設定
給紙トレイ設定	自動選択トレイ	ATS（自動用紙機能）がはたらいたとき、自動選択の対象となるトレイを設定できます。	T2、T3、T4、T5
	トレイの優先順	ATS（自動用紙機能）がはたらいたとき、トレイを切換える優先順位を設定できます。	T2、T3、T4、T5
	ATS 許可	給紙トレイを手動で選択し、印刷中にそのトレイの用紙がなくなった場合に、同じサイズの用紙がセットされている給紙トレイに自動的に切換えるかどうかを設定できます。	禁止する
	指定給紙トレイ不一致	指定した給紙トレイに該当する用紙がない場合の動作を設定できます。 ・[指定給紙トレイ固定]：動作を停止します。 ・[指定給紙トレイ優先]：指定給紙トレイに該当する用紙の有無を優先して判断し、ない場合、他の給紙トレイに該当する用紙があればその給紙トレイを選択します。	指定給紙トレイ固定
出力設定	受信印刷出力設定	データを受信したときに、受信完了後、一括で印刷するか、受信と同時に印刷するかの印刷のタイミングを設定できます。	同時印刷
	白紙ページ印字設定	白紙のページが含まれている場合に、印刷するかしないかを設定します。	印字しない
	排紙トレイ設定	優先出力される排紙トレイを設定できます。	フィニッシャー トレイ 1
	ジョブ毎の仕分け	ジョブごとに仕分け処理をするかどうかを設定します。	する
	ビン割当て	フィニッシャー FS-519 の排紙トレイ 1 をビン 5 に、排紙トレイ 2 をビン 6 に指定できます。 増設排紙トレイがあるときは、FS-519 の排紙トレイ 1 をビン 5 に増設排紙トレイをビン 6 に指定できます。	指定しない

ひとこと

・[排紙トレイ設定]、[ジョブ毎の仕分け] はオプションのフィニッシャー FS-519 が装着されている場合に表示されます。
・[ビン割り当て] は、オプションのフィニッシャー FS-519 にメールビンキットが装着されている場合に表示されます。

■ プリンター設定

メニュー		説明	出荷時設定
基本設定	PDL 設定	Page Description Language を「自動」、「PCL」、「PS」から設定できます。	自動
	印刷部数	印刷部数を設定します（1-999）。	001
	画像の向き	印刷画像の向きを設定します。	ポートレート
	スプール設定	スプールの設定ができます。 する：ジョブの処理中に次のジョブを受信した場合、HDD にジョブを格納します（HDD 装着時）。 しない：HDD に印刷データを格納しません。	する
	用紙サイズ変換	指定されている用紙がトレイにセットされていない場合に、A4 ⇔ Letter、A3 ⇔ Ledger の用紙変換をし、近いサイズの用紙で印刷します。	しない
	バナーシート設定	印刷ジョブの送信者や表題などの入ったバナーページ（表紙）を印刷するかどうかを設定できます。	しない
	開き方向 / とじ方向補正	両面印刷する場合の辺あわせ（とじ位置補正）処理を設定します。印刷効率を上げたい場合は生産性優先にしてください。辺の位置や幅が思うように揃わない場合は仕上り優先にしてください。 仕上げ優先：本機で全印刷データ受信後に辺あわせ処理を行うため全ページを最適に処理できます。 生産性優先：データを受信／印刷しながら処理するため、印刷処理を効率的に行えます。 補正を抑制：辺あわせ処理を行わず、プリンタードライバーからの指定にしたがいます。	仕上げ優先
用紙設定	給紙トレイ	給紙トレイを設定します。	自動
	用紙サイズ	用紙サイズを設定します。	A4
	両面印刷	両面印刷を設定します。	しない
	開き方向 / とじ方向	両面印刷時のとじ方向の初期値を設定します。	左開き / とじ
	ステープル	ステープルを設定します。	しない
	パンチ	パンチを設定します。	しない
	バナーシート給紙トレイ	バナーページの印刷で使用する給紙トレイを設定します。	自動

メニュー		説明	出荷時設定
PCL 設定	フォント設定	フォントをフォント番号で設定します。フォント番号とフォントの対応については次ページの「フォントリスト」をごらんください。	000
	シンボルセット	シンボルセットを設定します。	PC-8
	フォントサイズ	フォントサイズを設定します。	プロポーショナルフォント - 12.00 ポイント／固定幅フォント - 10.00 ピッチ
	ライン / ページ	テキスト印字時の 1 ページのライン数を設定します。	64 ライン
	CR/LF マッピング	テキストデータを印刷する場合の CR と LF の置換え方法を設定します。 ・CR=CR LF=LF: 置換えは行いません。 ・CR=CRLF LF=LF: CR を CR-LF に置換えます。 ・CR=CR LF=CRLF: LF を CR-LF に置換えます。 ・R=CRLF LF=CRLF: CR-LF に置換えます。	CR=CR LF=LF
PS 設定	PS エラー印刷	PS のラスタライズ中にエラーが発生した場合、エラー情報を印刷するかしないかを設定します。	無効
	ICC プロファイル設定	プリンタードライバーに表示されるプロファイルの初期値を設定します。	ー
XPS 設定	XPS デジタル署名検証	XPS 印刷でデジタル署名の検証を行うかどうかを設定できます。検証を「する」にした場合、署名が無効な場合に印刷されません。	しない

■ フォントリスト

No.	Font Name	No.	Font Name
0	Courier	40	Helvetica BoldOblique
1	CG Times	41	Helvetica Narrow
2	CG Times Bold	42	Helvetica Narrow Bold
3	CG Times Italic	43	Helvetica Narrow Oblique
4	CG Times Bold Italic	44	Helvetica Narrow Bold Oblique
5	CG Omega	45	Palatino Roman
6	CG Omega Bold	46	Palatino Bold
7	CG Omega Italic	47	Palatino Italic
8	CG Omega Bold Italic	48	Palatino Bold Italic
9	Coronet	49	ITC Avant Garde Gothic Book
10	Clarendon Condensed	50	ITC Avant Garde Gothic Demi

No.	Font Name	No.	Font Name
11	Univers Medium	51	ITC Avant Garde Gothic Book Oblique
12	Univers Bold	52	ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique
13	Univers Medium Italic	53	ITC Bookman Light
14	Univers Bold Italic	54	ITC Bookman Demi
15	Univers Condensed Medium	55	ITC Bookman Light Italic
16	Univers Condensed Bold	56	ITC Bookman Demi Italic
17	Univers Condensed Medium Italic	57	New Century Schoolbook Roman
18	Univers Condensed Bold Italic	58	New Century Schoolbook Bold
19	Antique Olive	59	New Century Schoolbook Italic
20	Antique Olive Bold	60	New Century Schoolbook Bold Italic
21	Antique Olive Italic	61	Times Roman
22	Garamond Antiqua	62	Times Bold
23	Garamond Halbfett	63	Times Italic
24	Garamond Kursiv	64	Times Bold Italic
25	Garamond Kursiv Halbfett	65	ITC Zapf Chancery Medium Italic
26	Marigold	66	Symbol
27	Albertus Medium	67	SymbolPS
28	Albertus Extra Bold	68	Wingdings
29	Arial	69	ITC Zapf Dingbats
30	Arial Bold	70	Courier Bold
31	Arial Italic	71	Courier Italic
32	Arial Bold Italic	72	Courier Bold Italic
33	Times New Roman	73	Letter Gothic
34	Times New Roman Bold	74	Letter Gothic Bold
35	Times New Roman Italic	75	Letter Gothic Italic
36	Times New Roman Bold Italic	76	CourierPS
37	Helvetica	77	CourierPS Bold
38	Helvetica Bold	78	CourierPS Oblique
39	Helvetica Oblique	79	CourierPS Bold Oblique
		80-89	Line Printer 0N-12U

8.3.4　システム設定メニュー

■ 環境設定

メニュー		説明	出荷時設定
日時設定	日付設定	日付を設定します。	YYYY/MM/DD
	時刻設定	時刻を設定します。	xx:xx
	タイムゾーン設定	タイムゾーンを設定します。	00:00
	時刻補正実行	設定されているサーバーに接続し、時刻を補正します。	−
サマータイム	サマータイム設定	サマータイムを利用するかどうかを設定します。	使用しない
	サマータイム時間	サマータイムの補正時間を設定します。	60 分
LCD 輝度調整		LCD の輝度を -3 ～ +3 で調整します。	0
マシン管理リスト印刷	設定値リスト	本機の各設定値を印刷します。	−
	使用管理カウンターリスト	部門ごと、部門に所属するユーザーごとのカウンターリストを印刷します。	−
システムオートリセット	システムオートリセット設定	システムオートリセットをするかどうかを設定します。	使用する
	システムオートリセット時間	システムオートリセット機能がはたらくまでの時間を 1 分～ 9 分で設定します。	1 分

ひとこと

- ［日時設定］−［時刻補正実行］は、［ネットワーク設定］−［詳細設定］−［時刻補正設定］−［NTP 設定］が「使用する」の場合に表示されます。
- ［マシン管理リスト印刷］−［使用管理カウンターリスト］は、本機で部門管理している場合に表示されます。

■ ネットワーク設定

ネットワーク設定の項目を変更する場合は、PageScope Web Connection が便利です。すべての項目が PageScope Web Connection で設定できます。

メニュー		説明	出荷時設定
TCP/IP	TCP/IP 設定	TCP/IP の使用する／しないを選択します。	使用する
	IP 設定	IP アドレスを自動取得するか、直接入力するかを選択します。「直接設定」にした場合は、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を設定します。	自動設定
	IPv6	IPv6 を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、アドレスを設定します。	─
	DNS サーバー	DNS サーバーを設定します。	─
	IP フィルタリング	IP アドレスフィルタ機能を設定します。	─
	IPsec	IPsec での通信するときの環境を設定します。	─
	RAW ポート番号	RAW ポート番号を設定します。	─
	ホスト名	ホスト名を設定します。	─
	DNS ドメイン	DNS ドメインを設定します。	─
	Dynamic DNS 設定	Dynamic DNS の有効／無効を選択します。	無効
NetWare	IPX	IPX を設定します。	─
	NetWare プリント	サーバーの各種項目を設定します。	─
	ユーザー認証設定 NDS	ユーザー認証設定（NDS）を使用するかどうかを設定します。	使用する
HTTP サーバー	HTTP サーバー設定	HTTP サーバーを使用するかどうかを設定します。	使用する
	PSWC 設定	PageScope Web Connection を使用するかどうかを設定します。	使用する
	IPP 設定	IPP 印刷を使用するかどうかを設定します。	使用する
	IPP 認証設定	IPP 認証を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、認証方式を選択します。	Req-user-name
	IPP 設定ジョブ許可	IPP ジョブを許可するかどうかを設定します。	使用する
	オペレーションサポート情報	IPP 印刷のオペレーションサポート情報を設定します。	─
	プリンター関連情報	プリンター関連情報を設定します。	─

参照

使用するネットワーク別の設定については、「第 2 章 ネットワーク設定」または「第 9 章 PageScope Web Connection」をごらんください。

ひとこと

- ［TCP/IP］、［HTTP サーバー］、［SNMP］、［AppleTalk］、［Bonjour］の設定項目は、それぞれ［TCP/IP 設定］、［HTTP サーバー設定］、「SNMP 設定」、［AppleTalk 設定］、［Bonjour 設定］が「使用する」の場合に、そのほかの項目が表示されます。
- ネットワークの設定を変更した場合、変更した設定を有効にするには、本機を再起動してください。
- 電源を OFF/ON する場合は、電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

メニュー		説明	出荷時設定
SMB	プリント	SMB 印刷の機能を設定します。	ー
	WINS	SMB 印刷の WINS 機能を設定します。	ー
	Direct Hosting	Direct Hosting を使用するかどうかを設定します。	使用する
Web サービス	Web サービス設定	Web サービスを利用する設定をします。	ー
	プリンター設定	プリンター情報を設定します。	ー
SNMP	SNMP 設定	SNMP を使用するかどうかを設定します。	使用する
	SNMP v1/v2c(IP)	SNMP v1/v2c(IP) を使用するかどうかを設定します。	使用する
	SNMP v3(IP)	SNMP v3(IP) を使用するかどうかを設定します。	使用する
	SNMP v1(IPX)	SNMP v1(IPX) を使用するかどうかを設定します。	使用する
	UDP ポート番号	UDP ポート番号を設定します。	161
	SNMP v1v2c 設定	SNMP v1v2c を利用する設定をします。	ー
	SNMP v3 設定	SNMP v3 を利用する設定をします。	ー
	TRAP 設定	TRAP 機能を利用する設定をします。	ー
Apple Talk	AppleTalk 設定	AppleTalk を使用するかどうかを設定します。	使用しない
	プリンター名	プリンター名を設定します。	ー
	ゾーン名	ゾーン名を設定します。	ー
Bonjour	Bonjour 設定	Bonjour を使用するかどうかを設定します。	使用する
	Bonjour 名	Bonjour 名を設定します。	ー
TCP Socket	TCP Socket	TCP Socket 機能を利用する設定をします。	ー
	TCP Socket（ASCII）	TCP Socket（ASCII）機能を利用する設定をします。	ー
詳細設定	ネットワーク速度	ネットワーク速度を設定します。	自動設定
	時刻補正設定	時間補正を行う NTP サーバーの設定をします。	ー
	証明書無効時処理	証明書の有効期間が過ぎている場合にどのように動作するかを指定します。 「継続」を選択するとサーバーの証明書の有効期間が失効している場合でもジョブを継続します。 「ジョブを削除」を選択するとサーバーの証明書の有効期間が失効している場合はジョブを削除します。	継続
	Ping 応答確認	ping を送信して、応答を確認します。	ー

■ プリンター設定

メニュー	説明	出荷時設定
USB タイムアウト	通信タイムアウトまでの時間を設定します。	60 秒
Network タイムアウト	通信タイムアウトまでの時間を設定します。	60 秒
XPS エラー印刷	XPS 印刷中にエラーが発生した場合、エラー情報を印字するかしないかを設定します。	する

■ システム連携

メニュー		説明	出荷時設定
Open API 設定	アクセス設定	OpenAPI を使用した他のシステムからのアクセスが可能かどうかを設定します。	可能
	SSL 使用	SSL で通信を暗号化するかどうかを設定します。	使用する
	認証	認証機能を使用するかどうかを設定します。	−
	ポート番号設定	ポート番号を設定します。	50001
管理者発信	→	センターに機器の状態を送信します。	

ひとこと

・［OpenAPI 設定］－［SSL 使用］は、SSL 証明書がインストールされていない場合、または［セキュリティー強化設定］が「ON」の場合は表示されません。
・［管理者発信］は［サービスモード］の［CS Remote Care］のセンター登録が完了していない場合は表示されません。本メニューの変更はサービスエンジニアによる作業が必要です。

8.3.5　　管理者設定メニュー

■ セキュリティー設定

メニュー	説明	出荷時設定
管理者パスワード	管理者パスワードを変更します。	12345678
ユーザー開放レベル	ユーザー開放する設定項目を定義します。 OFF: ［管理者設定］と［サービスモード］でパスワードが必要です。 MINIMUM :［システム設定］と［管理者設定］、［サービスモード］でパスワードが必要です。 ON:［ジョブ操作］と［長尺紙印刷］以外の機能でパスワードが必要です。	MINIMUM

ひとこと

・本機を管理される方は、セキュリティ維持のため、必ず管理者パスワードを変更してください。
・パスワード規約を［ON］に設定する場合、8 桁以外の管理者パスワードは設定できません。
・［プリントデータキャプチャー］は、［セキュリティー強化設定］が「OFF」の場合に表示されます。
・［HDD 管理設定］は HDD が装着されている場合に表示されます。
・［上書き優先設定］、［HDD 暗号化設定］は、暗号化基盤が装着されている場合に表示されます。
・［暗号化ワード設定］は、［ドライバー暗号化設定］が［ユーザー定義］の場合に表示されます。

メニュー		説明	出荷時設定
セキュリティー詳細	パスワード規約	パスワード規約を適用するかしないかを設定します。	無効
	認証操作禁止機能	操作の禁止を設定できます。 ・モード 1：一定時間、操作ができません。 ・モード 2：認証失敗を繰り返すと操作パネルの操作ができません。認証失敗回数は 1 ～ 5 回から設定できます。 パネル操作禁止になった場合は、［操作禁止解除］で操作禁止を解除する項目を選択します。 ・ユーザー + 部門：ユーザー認証、部門管理に対する操作 ・セキュリティー文書：セキュリティー文書に対する操作 ・ボックス：パスワード付きボックスに対する操作 ・SNMP：SNMP v3 Write ユーザーの認証に対する操作 ・操作禁止解除時間設定：操作禁止の状態から自動的に解除するまでの時間を設定します。1 分～ 60 分の間で調整できます。	モード 1 Time：5 分
	セキュリティー文書アクセス	セキュリティー文書に対する操作方式を確認できます。認証操作禁止機能が［モード 1］の場合、［モード 1］が設定されます。認証操作禁止機能が［モード 2］の場合、［モード 2］が設定されます。 モード 1：セキュリティー文書 ID とパスワードを入力し、文書を選択します。 モード 2：セキュリティー文書 ID を入力し、文書を選択したあとパスワードにより認証します。	モード 1
	プリントデータキャプチャー	印刷ジョブのデータキャプチャーを許可するかどうかを設定します。	許可
	ジョブ履歴削除	ジョブ履歴を削除します。	－
	監査ログ	監査ログの扱いに関する設定をします。 ・監査ログ設定：監査ログ設定をするかしないかを設定します。 ・監査ログ上書き：監査ログ上書きを許可するか禁止するかを設定します。 ・監査ログ消去：監査ログを消去するかしないかを設定します。	－
セキュリティー強化設定		セキュリティー強化設定を適用するために必要な設定が表示されます。必要な設定がされている場合は、セキュリティー強化設定を適用するかしないかを設定できます。本メニューの変更はサービスエンジニアによる作業が必要です。	OFF

詳しく説明します

- 認証操作禁止機能の対象になるのは、以下のパスワードです。ユーザーパスワード、部門パスワード、ボックスのパスワード、セキュリティー文書のパスワード、管理者パスワード
- 認証操作禁止機能の［操作禁止解除］で解除を設定しても操作パネルが操作できない場合や、管理者パスワードの認証失敗で操作できない場合は、本機を再起動してください。再起動後、［操作禁止解除時間設定］で設定されている時間が経過したあと管理者認証を行ってください。
- 監査ログ機能、または Log Management Utility を使用する場合は、あらかじめ［監査ログ設定］を［使用する］に設定しておく必要があります。

メニュー		説明	出荷時設定
HDD 管理設定	HDD フォーマット	ハードディスクのフォーマットを行います。	―
	HDD 容量確認	ハードディスクの容量に関する情報を表示します。	―
	全領域上書き削除	本機をリース返却または廃棄する際に、ハードディスク内の全領域に対してモード 1 からモード 8 の指定したパターンでデータを上書き削除し、データ漏洩を防ぎます。この機能を実行する前に、サービス実施店へお問い合わせください。	モード 1
	HDD データ上書き削除	印刷時、ハードディスクに一時的に画像データを書き込む動作を行うかどうかを設定します。一時データ上書き削除の設定を行うと、印刷やデータ送信後に画像データが保存されたハードディスクエリアに上書き処理を行い、完全にデータを削除します。この処理によりハードディスク内の画像データの漏洩を防ぎます。	OFF
	上書き優先設定	上書き時に、暗号化を優先するか上書きを優先にするかを設定します。	暗号化優先
	HDD ロックパスワード登録	ハードディスクのデータを守るためのパスワードを設定します。	―
	HDD 暗号化設定	オプションのセキュリティーキット装着時に表示されます。ハードディスク内のデータを暗号化するために暗号化ワードを設定します。この設定を行うとハードディスクに書き込むデータがすべて暗号化され、ハードディスク内のデータを守ることができます。なお暗号化の設定を変更した場合には、ハードディスクの再フォーマットが必要です。	―
ドライバー暗号化	ドライバー暗号化設定	ドライバー暗号化ワードを変更するかどうかを設定します。	出荷値を使用
	暗号化ワード設定	暗号化ワードを 20 文字で設定します。	―

詳しく説明します

・上書き削除方式の内容は以下のとおりです。
モード 1：0x00 で上書き
モード 2：1 バイトの乱数で上書き→ 1 バイトの乱数で上書き→ 0x00 で上書き
モード 3：0x00 で上書き→ 0xff で上書き→ 1 バイトの乱数で上書き→検証
モード 4：1 バイトの乱数で上書き→ 0x00 で上書き→ 0xff で上書き
モード 5：0x00 で上書き→ 0xff で上書き→ 0x00 で上書き→ 0xff で上書き
モード 6：0x00 で上書き→ 0xff で上書き→ 0x00 で上書き→ 0xff で上書き→ 0x00 で上書き→ 0xff で上書き→乱数で上書き
モード 7：0x00 で上書き→ 0xff で上書き→ 0x00 で上書き→ 0xff で上書き→ 0x00 で上書き→ 0xff で上書き→ 0xaa で上書き
モード 8：0x00 で上書き→ 0xff で上書き→ 0x00 で上書き→ 0xff で上書き→ 0x00 で上書き→ 0xff で上書き→ 0xaa で上書き→検証

必ず守ってください

電源を OFF/ON する場合は、電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

■ ボックス設定

メニュー		説明	出荷時設定
ボックス削除		選択したボックスを削除します。	–
セキュリティー文書削除		セキュリティー文書ボックスに保存されているすべての文書を削除します。	–
削除時間	セキュリティー文書ボックス	セキュリティー文書が保存されてから自動的に削除されるまでの時間を設定します。	1 日
	暗号化 PDF ボックス	暗号化 PDF ファイルが保存されてから自動的に削除されるまでの時間を設定します。	1 日
	タッチ＆プリントボックス	タッチ＆プリントボックスに文書が保存されてから自動的に削除されるまでの時間を設定します。	1 日
文書保持設定		文書の印刷時に、文書を保持する / しないを設定します。	する

ひとこと

・［ボックス設定］は HDD が装着されている場合に表示されます。
・［文書保持設定］を「する」に設定している場合でも、セキュリティー文書ボックス、暗号化 PDF ボックス、およびタッチ＆プリントボックスに入る文書は、保持されません。

■ 認証装置設定

メニュー		説明	出荷時設定
IC カード認証設定	IC カードタイプ	装着している IC カード認証装置のタイプを設定します。	Felica
	動作設定	認証動作としてカードのみで認証するかパスワードを必要とするかを設定します。	カード認証
生体認証設定	報知音	生体認証の認証時に音を鳴らすかどうかを設定します。	ON
	動作設定	生体認証の動作を設定します。 1 対多認証：指を置くだけで認証されます。タッチ＆プリントを利用する場合は、こちらの設定にしてください。 1 対 1 認証：ユーザー名を入力して指を置くことで認証されます。	1 対多認証
タッチ＆プリント設定	タッチ＆プリントボックス設定	認証装置と連携したタッチ＆プリント機能を使用するかどうかを設定します。	使用する
	印刷動作指定	複数のジョブがある場合、ジョブごとに認証して印刷するか、1 回の認証で全ジョブを印刷するかを設定します。	全ジョブ印刷

ひとこと

［認証装置設定］は、認証装置と HDD が装着されている場合に表示されます。
［IC カード認証設定］は、IC カード認証装置が装着されている場合に表示されます。
［生体認証設定］は、生体認証装置が装着されている場合に表示されます。

詳しく説明します

生体認証を行う場合は、あらかじめ指静脈パターンを登録しておいてください。
認証装置の認証設定、指静脈パターンの登録は、「第 14 章 認証装置 （指静脈 生体認証タイプ AU-101）」または「第 15 章 認証装置（IC カード認証タイプ AU-201）」をごらんください。

■ エキスパート調整

メニュー		説明	出荷時設定
プリンター調整	印刷位置：先端	用紙排紙方向に対しての用紙先端部分の印刷開始位置を -3.0 mm ～ 3.0 mm から調整できます。用紙種類ごとに設定できます。	0.0mm
	印刷位置：側端	用紙排紙方向に対しての用紙左端部分の印刷開始位置を -3.0 mm ～ 3.0 mm の間で調整できます。給紙トレイごとに設定できます。	0.0mm
	両面印刷位置：先端	自動両面印刷時の 2 面目の印刷画像の用紙先端部分の印刷開始位置を -3.0 mm ～ 3.0 mm の間で調整できます。用紙種類ごとに設定できます。	0.0mm
	両面印刷位置：側端	自動両面印刷時の 2 面目の印刷画像の用紙左端部分の印刷開始位置を -3.0 mm ～ 3.0 mm の間で調整できます。給紙トレイごとに設定できます。	0.0mm
	通紙方向倍率	通紙方向の倍率を -7 ～ +7 で設定します。	0
	先端イレース量	用紙先端の非印刷領域を設定します。	4mm
フィニッシャー調整	センターステープル位置	中とじ機能で印刷するときのステープル位置を -10 ～ 10 の間で調整できます。	00mm
	中折り位置	中とじ機能で印刷するときの中折り位置を -10 ～ 10 の間で調整できます。	00mm
濃度補正	厚紙 - イエロー	厚紙、OHP フィルムの印刷画像濃度の補正ができます。濃度補正は、色ごと（カラー画像のイエロー、マゼンタ、シアン、ブラック、モノクロ画像濃度）に補正できます。数値が大きいほど濃度は濃くなります。 イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックは、-5 ～ +5 から調整できます。 モノクロ画像濃度は -2 ～ +2 から調整できます。	0
	厚紙 - マゼンタ		0
	厚紙 - シアン		0
	厚紙 - ブラック		0
	モノクロ画像濃度		0
画像安定化	初期化 + 安定化実行	階調補正を行っても画像が安定しない場合に、画像安定化を行うことができます。 画像安定化実行：通常の画像安定化を行います。 初期化 + 画像安定化実行：［画像安定化実行］を行っても効果が得られない場合に行います。	初期化 + 安定化実行
	安定化実行		
色重ねズレ補正	イエロー	印刷結果に色ずれが見られる場合、色ずれを補正できます。	0
	マゼンタ		0
	シアン		0
テストパターン	グラデーションパターン	各色グラデーションのテストパターンを印刷します。	−
	ハーフトーンパターン	各色ハーフトーンのテストパターンを印刷します。	−

ひとこと

- ［プリンター調整］で「印刷」を選択すると、テスト印刷をして設定量を確認できます。
- ［フィニッシャー調整］はフィニッシャーが装着されている場合に表示されます。
- ［フィニッシャー調整］の［センターステープル位置］と［中折り位置］は、装着しているフィニッシャーにより設定内容が異なります。FS-609 装着時は位置調整の数値のみ指定します。FS-519 装着時は、用紙サイズ / 用紙種類ごとに位置調整の数値を指定します。

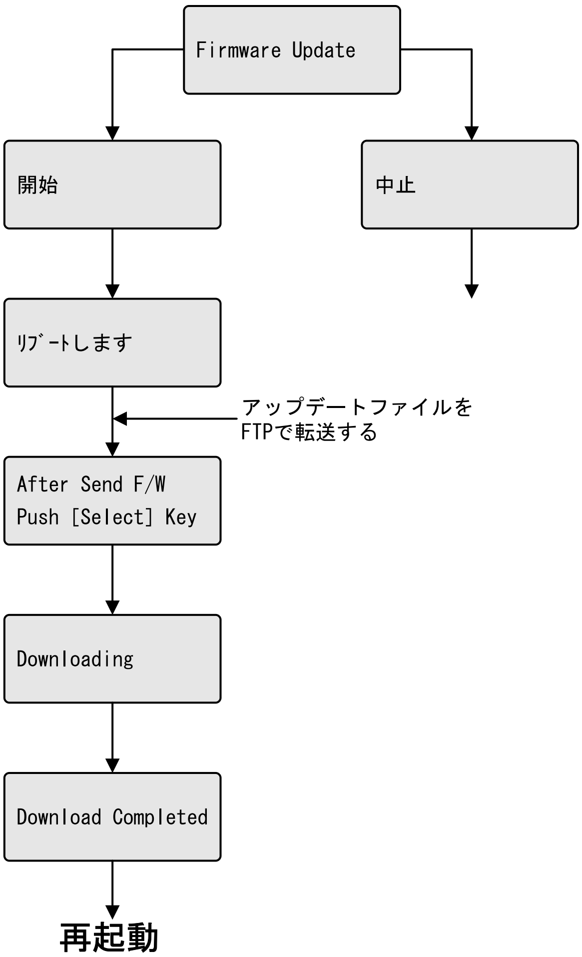
■ オプション装着設定

メニュー		説明	出荷時設定
HDD 装着設定		HDD の装着の有無を設定します。	–
パンチオプション設定	パンチキット種別	オプションのパンチキットの有無と種別を設定します。	–
	パンチ穴数	オプションのパンチキットのパンチ穴の数を設定します。	–
認証装置設定	認証モード	認証装置の有無と種別（カード / 生体）を設定します。	–
	撮影タイムアウト	生体認証装置の撮影タイムアウト時間を 5 ～ 60 秒で設定します。	10 秒

■ Firmware Update

ファームウェアのアップデートファイルが提供された場合は、［Firmware Update］が必要です。［Firmware Update］は【メニュー / 選択】を押して表示する設定メニューの［管理者設定］メニューから選択します。

［Firmware Update］で［開始］を選択すると、ファームウェアのアップデートが始まり、本機にアップデートファイルを FTP 転送できます。



1. 本機の操作パネルで【メニュー / 選択】を押します。
2. ［管理者設定］を選択して【メニュー / 選択】を押します。

ひとこと

・［HDD 装着設定］は HDD が装着されている場合に表示されます。
・［パンチオプション設定］はフィニッシャーが装着されている場合に表示されます。
・［撮影タイムアウト］は、［認証モード］が［生体］の場合に表示されます。

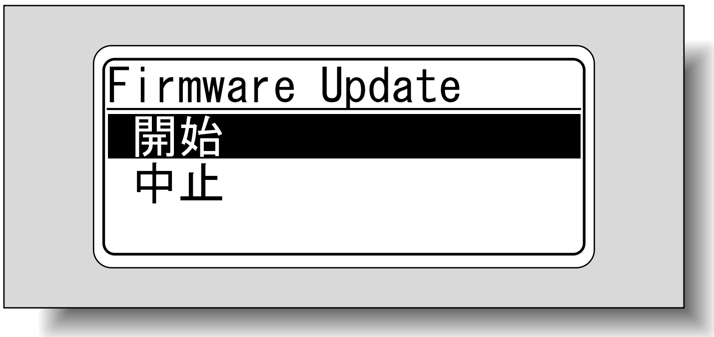
ひとこと

［Firmware Update］でアップデートファイルを転送するため、本機を FTP サーバーに設定しておく必要があります。詳しくは、「TCP Socket/OpenAPI/FTP サーバー機能を使用する」（p. 9-72）をごらんください。

3 管理者パスワードを入力して【メニュー / 選択】を押します。

4 ［Firmware Update］を選択して【メニュー / 選択】を押します。

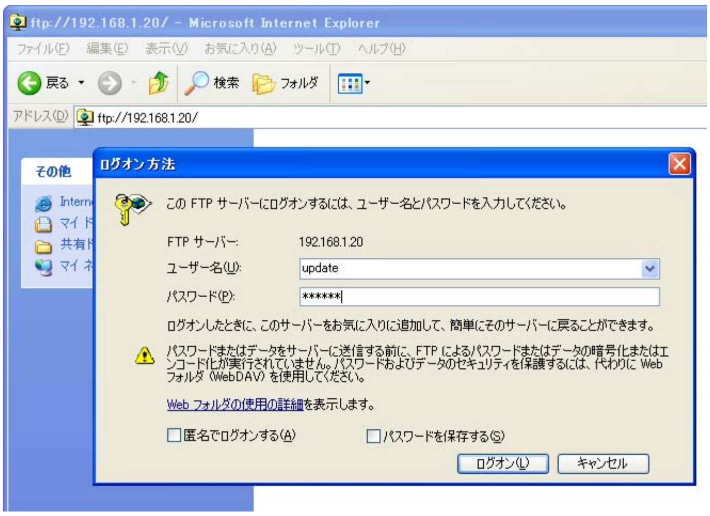
5 ［開始］を選択して【メニュー / 選択】を押します。



Firmware Update の準備が始まります。

6 コンピュータから FTP サーバーに設定してある本機にアクセスし、ログインします。

- ユーザー名「update」、パスワード「update」でログインします。
- Internet Explorer ver.6 でログインする場合は以下の操作になります。
  URL フィールドに「ftp:// <本機の IP アドレス>」を入力します。
  「ファイル」メニューの「ログイン方法」を選択し、ログイン画面を表示させます。
  ユーザー名とパスワードを入力します。



7 アクセスした FTP サーバーにアップデートファイルを転送します。

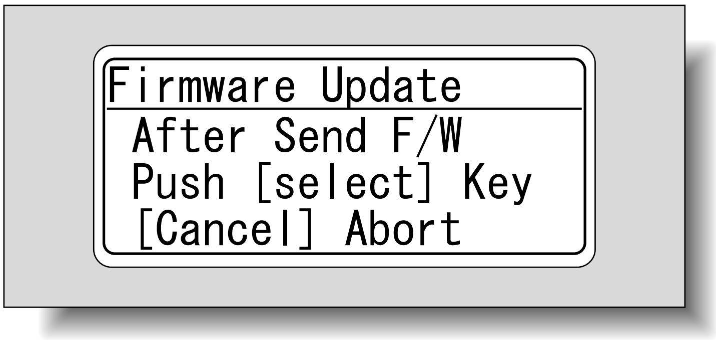
- 供給されたアップデートファイルをドラッグアンドドロップで FTP 画面内に移動することで、データ転送が開始されます。

転送終了後、本機のパネル操作を行います。

ひとこと

Internet Explorer Ver.7 を使用している場合、URL に FTP のアドレス入力後、「表示メニュー」の「エクスプローラーで FTP サイトを開く」を選択してから、同様にログインを行ってください。

8 本機の操作パネルで【メニュー / 選択】を押します。

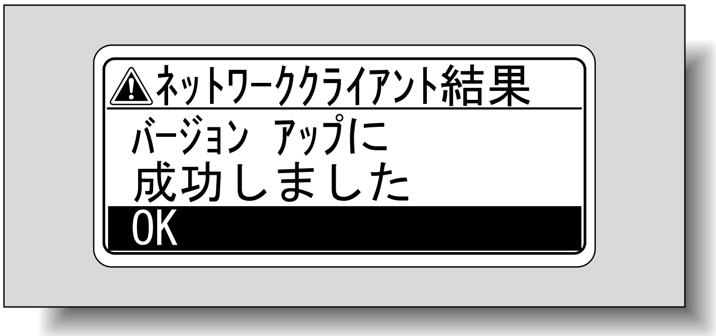


データダウンロードが始まります。

9 ダウンロード完了後、本機を再起動します。

再起動時にアップデートが完了します。

10 再起動後、【メニュー / 選択】を押します。



本機が使用できるようになります。

ひとこと

［Firmware Update］が失敗した場合は「失敗しました」と表示されます。【メニュー / 選択】を押して、前バージョンのファームに戻し、再度［Firmware Update］を実行してください。

第9章 PageScope Web Connection

デバイス管理用ユーティリティー「PageScope Web Connection」の機能について説明します。

9.1 PageScope Web Connection の使いかた

PageScope Web Connection は、プリンターコントローラーに内蔵されている HTTP サーバーが提供する、デバイス管理用ユーティリティーです。ネットワーク上のコンピューターで Web ブラウザーを起動し、本機の設定変更や状態確認ができます。

本機の操作パネルで行う設定の一部を、手元のコンピューターから操作でき、漢字の入力もスムーズなので便利です。

9.1.1 動作環境

ネットワーク	Ethernet（TCP/IP）
コンピューター側のアプリケーション	対応 Web ブラウザー： Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Netscape Navigator Ver.7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Mozilla Firefox Ver.1.0 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Adobe® Flash® Player（表示形式で Flash を選択する場合、Ver.7.0 以降のプラグイン必須）

9.1.2 アクセス方法

PageScope Web Connection は、Web ブラウザーを起動して使用します。

1. Web ブラウザーを起動します。

2. URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力して［Enter］キーを押します。

   http:// <本機の IP アドレス> /

   ❍（例）本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合

   http://192.168.1.20/

   IPv6 が「使用する」に設定されていて、Internet Explorer 以外のブラウザーを使用している場合は、IPv6 アドレスを [] で囲んでアクセスします。

   http://[本機の IPv6 アドレス]/

   ❍（例）本機の IPv6 アドレスが fe80::220:6bff:fe10:2f16 の場合

   http://[fe80::220:6bff:fe10:2f16]

   ❍ IPv6 が「使用する」に設定されていて、Internet Explorer を使用している場合は、あらかじめ hosts ファイルに「fe80::220:6bff:fe10:2f16IPv6 IPv6_MFP_1」といった追記をする編集をし、ドメイン名による URL 指定を行います。

   ユーザーとしてログインしたユーザーモードの画面が表示されます。

ひとこと

- ユーザー認証機能が有効の場合は、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。詳しくは、「登録ユーザーとしてログイン」（p. 9-9）をごらんください。
- 本機の IP アドレスの設定については、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。
- PageScope Web Connection の表示形式には Flash と HTML があります。詳しくは、「ログインとログアウト」（p. 9-6）をごらんください。

9.1.3 Web ブラウザーのキャッシュ機能について

Web ブラウザーにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こる場合があります。

PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザーでキャッシュ機能を無効にしてください。

■ Internet Explorer の場合

1 「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選択します。

2 「全般」タブで「インターネット一時ファイル」の［設定］をクリックします。

3 「ページを表示するごとに確認する」を選択し、［OK］をクリックします。

■ Netscape Navigator の場合

1 「編集」メニューから「設定」を選択します。

2 左側の「カテゴリ」で「詳細」－「キャッシュ」を選択します。

3 「キャッシュにあるページとネットワーク上のページの比較：」で「ページにアクセスするたび」を選択します。

■ Mozilla Firefox の場合

1 「ツール」メニューから「オプション」を選択します。

2 「プライバシー」をクリックし、［消去設定］をクリックします。

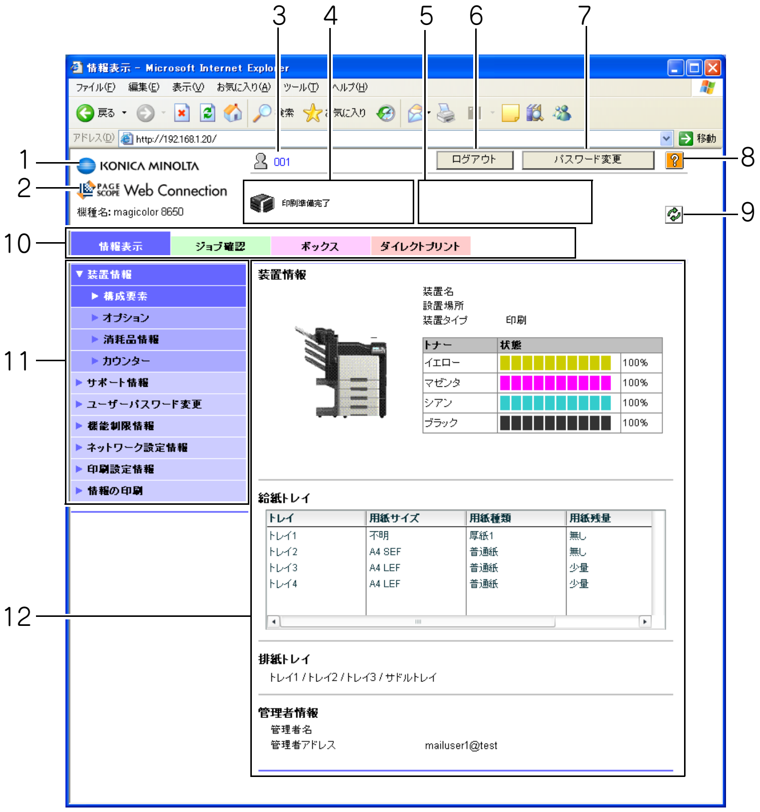
3 「消去するデータ」で「キャッシュ」にチェックを付け、「消去の設定」で「Firefox の終了時にプライバシー情報を消去する」にチェックを付け、［OK］をクリックします。

ひとこと

- Web ブラウザーのバージョンによっては、メニューや項目名が異なる場合があります。詳しくは、Web ブラウザーのヘルプをごらんください。
- キャッシュ機能を有効にしたまま使用すると、管理者モードでタイムアウトになったあと、再度アクセスしてもタイムアウト表示になることがあります。この場合でも、本機の操作パネルがロックされ操作できなくなるため、主電源の再投入が必要になります。このような問題を避けるために、キャッシュ機能を無効にしてください。

9.1.4　　画面の構成

PageScope Web Connection の画面は、以下のように構成されています。



No.	項目	説明
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、以下のサイト（KONICA MINOLTA のサイト）へジャンプします。 http://konicaminolta.jp
2	PageScope Web Connection ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、PageScope Web Connection のバージョンが表示されます。
3	ログインユーザー名	現在ログインしているモードアイコンとユーザー名（パブリック、管理者、登録ユーザー名、部門名）が表示されます。ユーザー名をクリックすると、ログインしているユーザー名が表示されます。
4	ステータス表示	本機の状態が、アイコンとメッセージで表示されます。エラーが発生している場合にアイコンをクリックすると、その状態に関連した情報（消耗品情報画面、給紙トレイ画面、ユーザー登録情報画面）が表示され、状況を確認できます。
5	メッセージ表示	本機の動作状態が表示されます。
6	［ログアウト］	現在のモードからログアウトするときにクリックします。
7	［パスワード変更］	クリックすると、「ユーザーパスワード変更」（p. 9-11）へジャンプします。登録ユーザーでログインしたユーザーモード画面でのみ表示されます。

ひとこと

- PageScope Web Connection でアクセス直後に表示される画面は「ユーザーモード」と呼ばれる画面で、ユーザーとしてログインした状態で表示されます。
- ユーザー認証機能が有効の場合は、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。詳しくは、「登録ユーザーとしてログイン」（p. 9-9）をごらんください。
- 本機に装着されているオプションや本機の設定によって、PageScope Web Connection の画面表示が異なります。別のユーザーや管理者としてログインする方法については「ログインとログアウト」（p. 9-6）をごらんください。

8	ヘルプ	オンラインマニュアルホームページに設定してあるページが表示されます。設定方法は、「サポート情報」（p. 9-11）をごらんください。
9	更新	クリックすると画面の表示を更新します。
10	タブ	表示する項目のカテゴリを選択します。ユーザーモードでは、以下のタブが表示されます。 ･情報表示 ･ジョブ確認 ･ボックス ･ダイレクトプリント
11	メニュー	選択されたタブにおける情報および設定が表示されます。タブの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。
12	情報、設定の表示	メニューで選択されている項目の内容が表示されます。

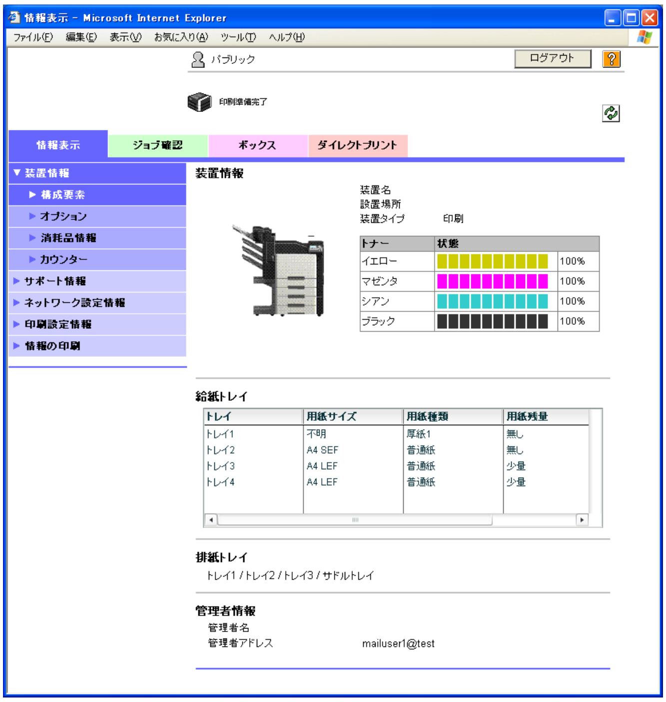
9.2 ログインとログアウト

9.2.1 ログインとログアウトのながれ

PageScope Web Connection でアクセスすると、本機でユーザー認証や部門管理を行っているときはログイン画面が表示され、ユーザー認証や部門管理を行っていないときはパブリックユーザーとしてログインした画面が表示されます。ログイン後、別のユーザーとしてログインするときや、管理者としてログインするためにはいったんログアウトし、ログインしなおす必要があります。

■ ユーザー認証、部門管理を行っていない場合

Public ユーザーとして自動的にログインします。



↓

管理者としてログインするときは、いったんログアウトします。

↓

管理者としてログインしなおします。



■ ユーザー認証、部門管理を行っている場合

ユーザー認証、部門認証画面が表示されます。必要事項を入力してログインします。



↓

他のユーザーまたは管理者としてログインするときは、いったんログアウトします。

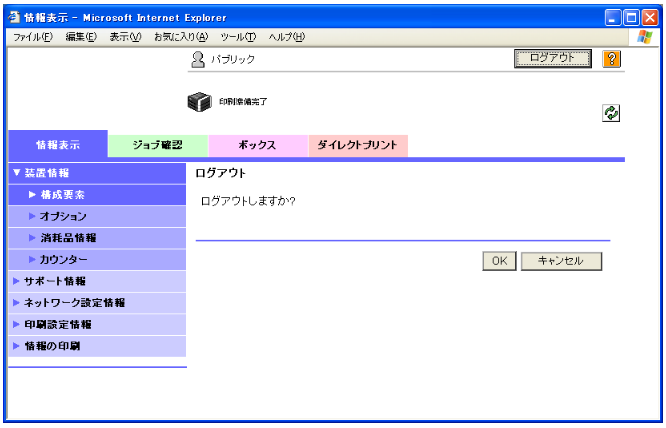
↓

ログインしなおします。



9.2.2　ログアウト

画面右上の［ログアウト］をクリックすると、ログアウトを確認する画面が表示されます。［OK］をクリックするとログイン画面に戻ります。



ひとこと

・本機の認証設定によって、表示されるログイン画面が異なります。
・ログインした状態で操作が一定期間行われずにタイムアウトとなった場合や、ユーザーモードログイン中に本機の操作パネルで認証設定が変更された場合は、自動的にログアウトされます。
・ユーザーモードおよび管理者モードのタイムアウトの時間設定については、「自動ログアウト」（p. 9-15）をごらんください。

9.2.3　ログイン

PageScope Web Connection はログインのしかたによって、ユーザーモードと管理者モードがあります。

■ ログイン時の選択項目

- 必要に応じて言語や表示形式を選択します。
- 「警告時、ダイアログ表示する」にチェックを付けると、ログイン後の操作中、警告時にダイアログが表示されます。
- 表示形式で「Flash」を選択した場合、以下の項目について表示が自動更新されます。
  - ステータスのアイコンやメッセージ
  - 「情報表示タブ － 装置情報」の「給紙トレイ」の状態
  - 「ジョブ確認タブ」の状態
- 「Flash」機能を使用する場合は、Flash Player が必要です。
- 読み上げソフトを使用する場合は、HTML を選択することを推奨します。IPv6 環境においては、HTML を選択してください。

ひとこと

・管理者としてユーザーモードにログインした場合は、管理者モードでは行えないジョブ削除を行うことができます。
・表示形式で Flash と HTML とで表示される内容については変わりがありません。

■ パブリックユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っていない場合はパブリックユーザーとしてログインします。ログイン画面で「パブリックユーザー」を選択し、［ログイン］をクリックします。



■ 登録ユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っている場合は、登録ユーザー名とパスワードを利用してログインする必要があります。ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

- ❍ 部門管理を行っている場合は、部門名と部門パスワードも入力します。
- ❍ 外部サーバー認証が設定されている場合は、サーバーを選択します。
- ❍ 管理者としてユーザーモードにログインする場合は、［管理者］－「管理者（ユーザーモード）」を選択し、管理者パスワードを入力します。



ひとこと

管理者設定の「セキュリティー詳細」－「認証操作禁止設定」でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、そのユーザーがロックされて使用できなくなります。操作禁止状態の解除については管理者にお問い合わせください。

■ 管理者モードへログイン

システムやネットワークなどの設定を行うには、管理者モードにログインします。ログイン画面で「管理者」を選択し、管理者パスワードを入力して［ログイン］をクリックします。



ひとこと

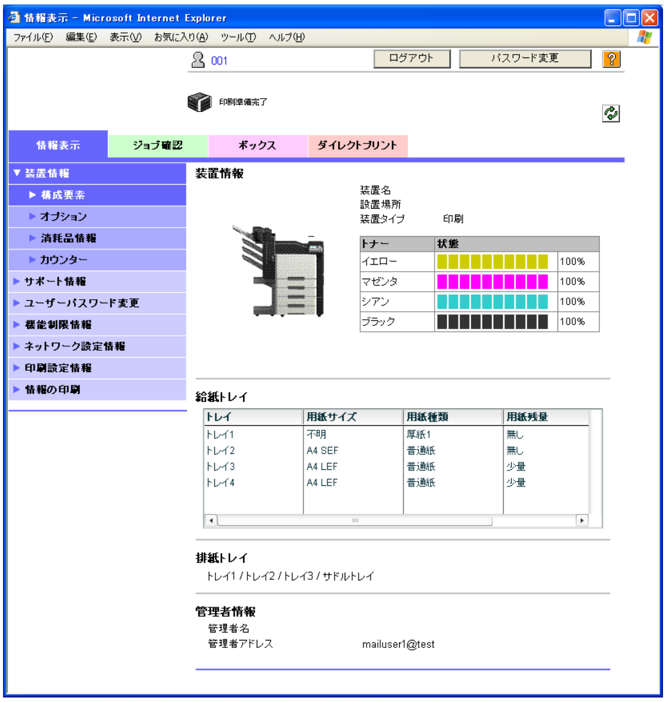
- 管理者モードにログインしているときは、本機の操作パネルがロックされ、操作できなくなります。
- 本機の状態によっては、管理者モードにログインできない場合があります。
- 管理者設定の「セキュリティー詳細」－「認証操作禁止設定」でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、管理者モードにログインできなくなります。認証操作設定について詳しくは「管理者設定メニュー」（p. 8-25）をごらんください。
- 本機の設定によって、表示されるパスワード入力の画面が異なります。
  出荷時はパスワードを「12345678」に設定してあります。
- パスワードは、［管理者設定］－［セキュリティー設定］－［管理者パスワード］で設定します。
  管理者パスワードについて詳しくは「管理者設定メニュー」（p. 8-25）をごらんください。

9.3 ユーザーモードの概要

ユーザーモードにログインすると、以下の機能を設定できます。

9.3.1 情報表示

PageScope Web Connection にアクセスしたときに、最初に表示されます。



項目	説明
装置情報	本機の構成要素、オプション、消耗品情報、カウンターを確認できます。
サポート情報	製品に関するサポート情報を確認できます。
ユーザーパスワード変更	ログインしているユーザーのパスワードを変更できます。
機能制限情報	ユーザーや部門の操作制限情報を確認できます。
ネットワーク設定情報	本機のネットワーク設定を確認できます。
印刷設定情報 *	本機のプリンターコントローラーに関連した設定情報を確認できます。
情報の印刷	フォント情報や設定情報などを印刷できます。

* 「印刷設定情報」－「マクロ一覧」を選択すると、ホストコンピューターからの印刷時に使用するフォーム（マクロ）が表示されます。
コンピューターからプリンタドライバーを使用して印刷する場合は関係ありません。
フォーム（マクロ）は、アプリケーション CD 内の Font Management Utility を使用して本機に保存します。

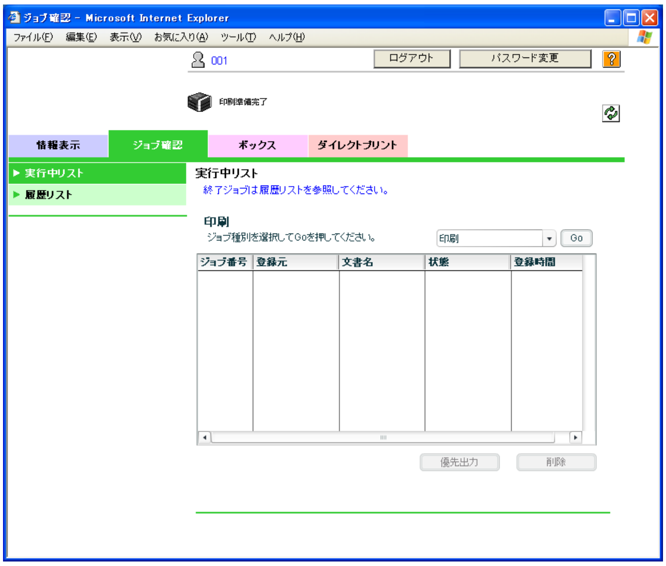
ひとこと

ユーザーモードに関するその他の情報は、PageScope Utilities CD-ROM の PageScope Web Connection のヘルプをごらんください。

ひとこと

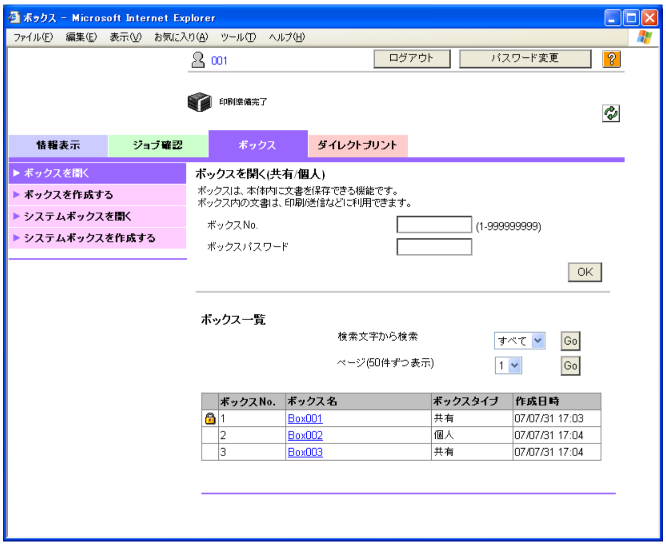
コピー、スキャン、ファクスに関する表示項目は本機では機能しません。

9.3.2　　ジョブ確認



項目	説明
実行中リスト	実行中 / 実行待ちのジョブを確認できます。
履歴リスト	実行済みのジョブを確認できます。

9.3.3　　ボックス



項目	説明
ボックスを開く	現在作成されているボックス（共有 / 個人 / グループ）を開き、保存されている文書を操作したり、ボックスの設定を変更できます。
ボックスを作成する	新しくボックスを作成できます。
システムボックスを開く	システムボックス（ファイリングナンバーボックス）を開き、保存されている文書を操作したり、ボックスの設定を変更できます。管理者としてユーザーモードにログインした場合に表示されます。
システムボックスを作成する	新しくファイリングナンバーボックスを作成できます。管理者としてユーザーモードにログインした場合に表示されます。

ひとこと

ボックスタブはオプションの HDD 装着時のみ表示されます。

9.3.4 ダイレクトプリント



項目	説明
ダイレクトプリント	コンピューターに保存されているファイルを指定して、本機で印刷を行うことができます

9.4 管理者モードの概要

管理者モードにログインすると、以下の機能を設定できます。

9.4.1 メンテナンス



項目	説明
カウンター	本機で管理されているカウンターを確認できます。
ROM バージョン	ROM バージョンを確認できます。
インポート / エクスポート	本機の設定情報をファイルとして保存（エクスポート）またはファイルから本機に書込み（インポート）できます。 また、カウンター情報などをテキストファイルでエクスポートできます。
状態通知設定	本機でエラーが発生した場合に登録者に通知する機能の設定を行います。エラーの通知先と通知する項目を設定できます。
トータルカウンター通知設定	トータルカウンターを E-mail で通知する設定と通知先のメールアドレスを登録します。
本体登録	装置の登録情報を変更します。
サポート情報	本機のサポート情報を設定します。この内容はユーザーモードの「情報表示」タブ－「サポート情報」で表示されます。
日時設定	本機に表示される日時の設定を行います。
タイマー設定	本機のパワーセーブの設定を行います。
ネットワーク TWAIN	本機では機能しません。
初期化	ネットワーク設定、コントローラーのリセットを行います。
ヘッダー / フッター登録	ヘッダー / フッターの一覧が表示され、登録や編集ができます。

ひとこと

コピー、スキャン、ファクスに関する表示項目は本機では機能しません。

9.4.2　セキュリティー



項目	説明
認証設定	本機のユーザー認証、部門管理の設定を行います。認証を行う場合は使用する外部サーバーの設定、初期機能制限の設定もできます。
ユーザー登録	ユーザー認証が設定されている場合に、ユーザーの登録や設定変更ができます。
部門登録	部門管理が設定されている場合に、部門の登録や設定変更ができます。
SSL/TLS 設定	SSL/TLS の設定を行います。SSL/TLS を有効にすると、本機とクライアントコンピューター間の通信を暗号化し、パスワードや通信内容の漏洩を防止します。
宛先参照許可設定	本機では機能しません。
自動ログアウト	管理者モード、ユーザーモードの自動ログアウト時間を設定します。
管理者パスワード設定	管理者モードにログインするためのパスワードを設定します。

ひとこと

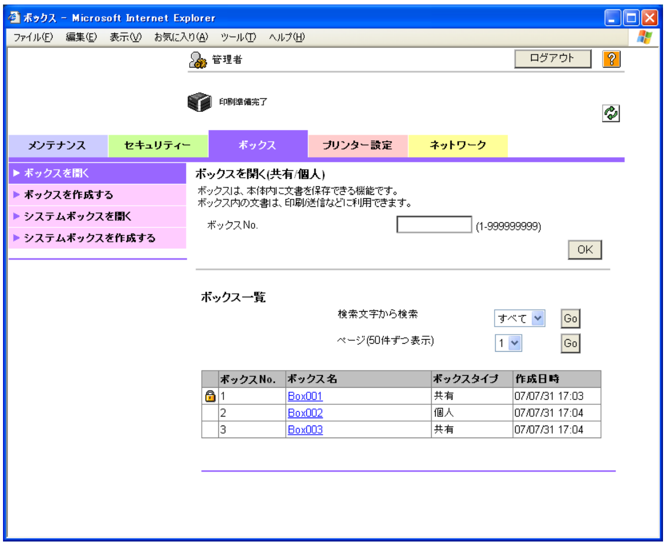
- 本機では、ユーザー認証と部門管理は HDD 装着時に合計 1,000 件、HDD を装着していない場合は 30 件まで登録できます。

ひとこと

「管理者パスワード設定」は以下の場合は表示されません。
- SSL 証明書がインストールされていない
- セキュリティー強化モードが「ON」に設定されている

9.4.3　　ボックス

管理者モードでログインしている場合は、ボックスを開くときのパスワード入力をせずに操作できます。

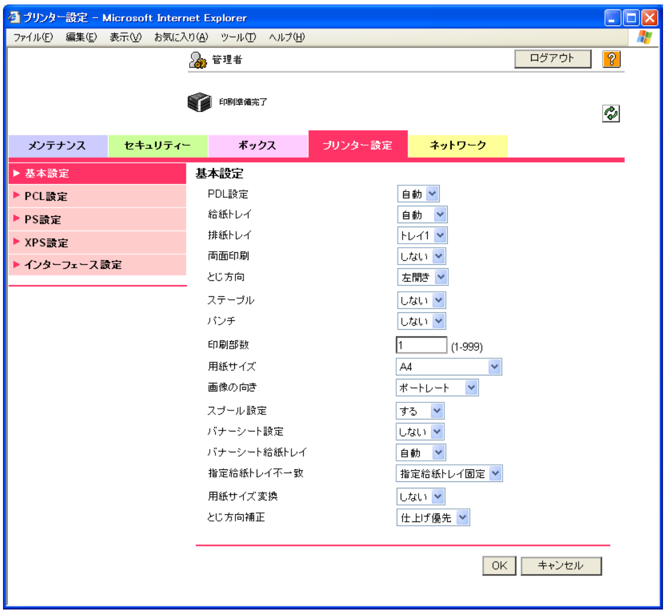


項目	説明
ボックスを開く	現在作成されているボックス（共有 / 個人 / グループ）を開き、保存されている文書を操作したり、ボックスの設定を変更できます。
ボックスを作成する	新しくボックスを作成できます。
システムボックスを開く	システムボックス（ファイリングナンバーボックス）を開き、保存されている文書を操作したり、ボックスの設定を変更できます。
システムボックスを作成する	新しくファイリングナンバーボックスを作成できます。

ひとこと

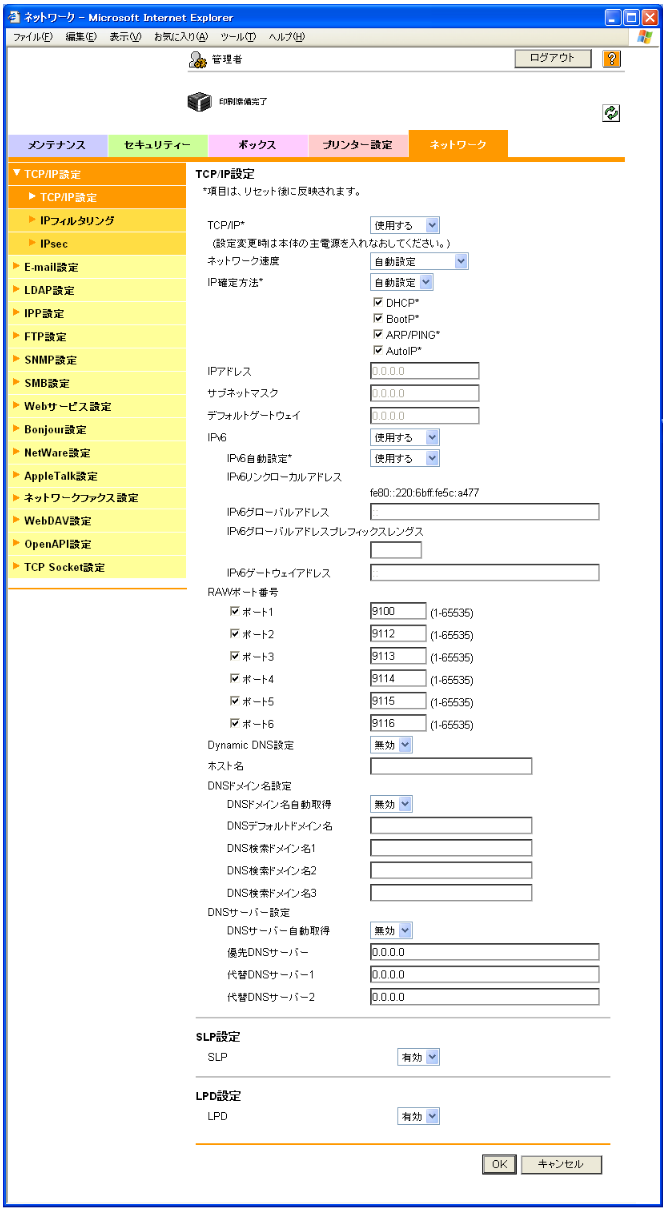
ボックスタブはオプションの HDD 装着時のみ表示されます。

9.4.4 プリンター設定



項目	説明
基本設定	プリンターの初期設定値を設定できます。
PCL 設定	PCL モードの初期設定値を設定できます。
PS 設定	PS モードの初期設定値を設定できます。
XPS 設定	XPS 印刷に関する設定ができます。
インターフェース設定	インターフェースのタイムアウト時間を設定できます。

9.4.5 ネットワーク



項目	説明
TCP/IP 設定	本機をネットワーク接続する場合の TCP/IP の設定ができます。
E-mail 設定	E-mail 送受信の設定ができます。 S/MIME 機能に関する表示項目は本機では機能しません。
LDAP 設定	本機では機能しません。
IPP 設定	IPP 印刷の設定をします。
FTP 設定	本機を FTP サーバーとして使用するための設定ができます。 「FTP 送信設定」は、本機では機能しません。
SNMP 設定	SNMP の設定ができます。
SMB 設定	WINS、SMB 印刷の設定ができます。
Web サービス設定	Web サービスによるプリントに関する設定ができます。 「スキャン設定」は、本機では機能しません。
Bonjour 設定	Bonjour の設定ができます。
NetWare 設定	NetWare の設定ができます。

項目	説明
AppleTalk 設定	AppleTalk の設定ができます。
ネットワークファクス設定	本機では機能しません。
WebDAV 設定	本機では機能しません。
OpenAPI 設定	OpenAPI の設定ができます。
TCP Socket 設定	コンピューターのアプリケーションソフトと本機のデータ通信に使用される TCP Socket の設定ができます。

9.5　ボックスの設定項目

PageScope Web Connection のボックスタブで設定できる項目を説明します。
ボックスタブでは、ボックス機能で利用するボックスの作成や、ボックスの基本的な情報の確認をすることができます。

ひとこと

ボックスタブはオプションの HDD 装着時のみ表示されます。

9.5.1　ボックスを設定変更／削除する

作成されているボックスの設定変更と削除を行います。

詳しく説明します

管理者モードでは、ボックスのパスワードを入力しなくてもボックスの設定変更や削除を行うことができます。ユーザーモードでは、ボックス内の文書を操作できます。

■ ボックスを開く

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ボックス」タブ －「ボックスを開く」を選択します。表示されたリストより設定を行うボックスを選択するか、ボックス No を指定して［OK］ボタンをクリックします。
以下の設定を行います。



項目	説明
［ボックス設定］	ボックスの設定を変更できます。
［ボックス削除］	ボックスを削除できます。

ボックス設定

項目	説明
ボックス No.	ボックス番号が表示されます。
ボックス名	ボックス名を設定します（半角 20 文字、全角 10 文字以内）。
検索文字	検索用の文字を設定します。
ボックス内ドキュメント削除時間	ボックス内のデータを保存する期間を設定します。
ボックスパスワードを変更する	ボックスパスワードを変更する場合にチェックを付け、現在のパスワードと新しいパスワードを設定します（半角 8 文字以内）。
所有ユーザーを変更する	ボックス所有者を変更する場合にチェックを付け、ボックスタイプを選択します。

9.5.2　　新しくボックスを作成する

新しくボックスを作成します。

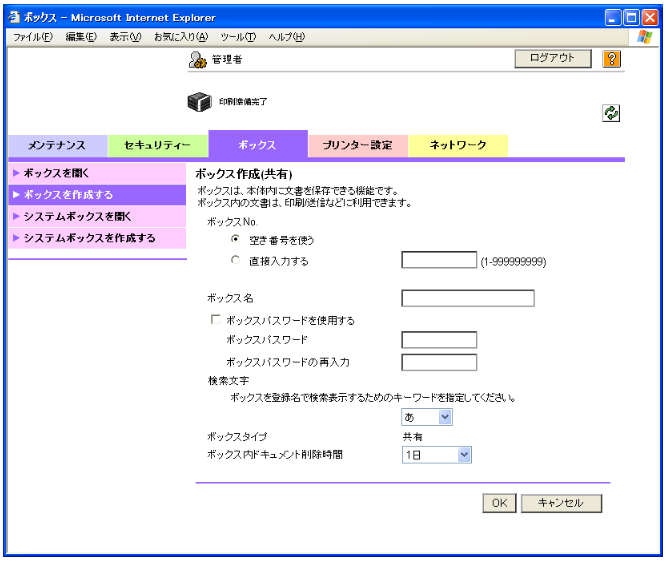
詳しく説明します

管理者モードで作成できるボックスのボックスタイプは共有のみで変更はできません。ボックスには、共有ボックスのほか、ユーザー認証機能が有効時に利用可能なユーザー個別の個人ボックスと部門管理機能が有効時に利用可能な部門向けのグループボックスがあります。個人ボックスとグループボックスは、ユーザーモードのボックスタブで作成できます。個人ボックスは、利用するユーザーでユーザーモードにログインし、ボックスタブで作成してください。グループボックスは、利用する部門でユーザーモードにログインし、ボックスタブで作成してください。作成方法は管理者モードと同様です。

■ ボックスを作成する

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ボックス」タブ －「ボックスを作成する」を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明
ボックス No.	作成するボックスの登録番号（空き番号を使う／直接入力する）を選択します。
ボックス名	ボックス名を設定します（半角 20 文字、全角 10 文字以内）。 ボックスパスワードを設定する場合は、「ボックスパスワードを使用する」にチェックを付け、ボックスパスワードを設定します（半角 8 文字以内）。
検索文字	検索用の文字を設定します。
ボックスタイプ	ボックスタイプを設定します。管理者モードで作成できるボックスのボックスタイプは共有のみで変更はできません。 ボックスのタイプには以下のものがあります。 共有ボックス：すべてのユーザーで利用できるボックスです。 個人ボックス：ユーザー個別のボックスです。ユーザー認証機能が有効時に利用可能です。 グループボックス：部門個別のボックスです。部門管理機能が有効時に利用可能です。
ボックス内ドキュメント削除時間	ボックス内のデータを保存する期間を設定します。

詳しく説明します

「パスワード規約」を ON に設定している場合、8 文字未満のパスワードを登録することはできません。すでに登録済みのユーザーパスワードが 8 文字未満の場合は「パスワード規約」を ON にする前に 8 文字に変更してください。パスワード規約について詳しくは「管理者設定メニュー」(p. 8-25) をごらんください。

9.5.3　システムボックスを設定変更／削除する

作成されているシステムボックス（ファイリングナンバーボックス）の設定変更と削除を行います。

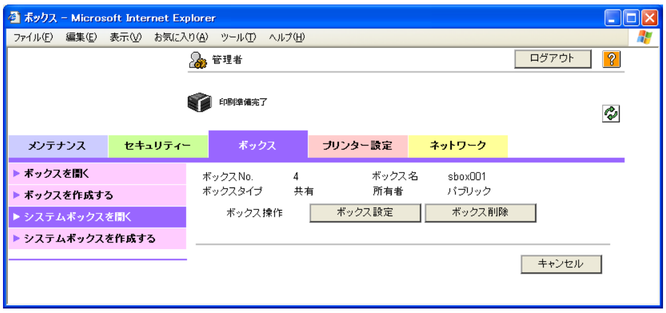
詳しく説明します

ファイリングナンバーボックス：
保存した文書データに日付 / 時刻やファイリング番号の画像を付加して印刷できるボックスです。保存したボックスに付加する文字列などを設定できます。

■ システムボックスを開く

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ボックス」タブ －「システムボックスを開く」を選択します。［OK］ボタンをクリックし、表示されたリストより設定を行うボックスを選択するか、ボックス No を指定して［OK］ボタンをクリックします。

以下の設定を行います。



項目	説明
［ボックス設定］	ボックスの設定を変更できます。
［ボックス削除］	ボックスを削除できます。

「ファイリングナンバーボックス」のボックス設定

項目	説明
ボックス No.	ボックス番号が表示されます。
ボックス名	ボックス名を設定します（半角 20 文字、全角 10 文字以内）。
ボックス内ドキュメント削除時間	ボックス内のデータを保存する期間を設定します。
ボックスパスワードを変更する	ボックスのパスワードを変更します。
ナンバーカウント方式を変更する	ナンバーカウント方式を変更する場合にチェックを付け、カウント方式を設定します。ボックス内に文書がある場合は設定できません。
文字列指定を変更する	文字列指定を変更する場合にチェックを付け、文字列、ナンバー文字列、日付／時刻、印字位置、濃度、カウンター出力形式を設定します。

9.5.4　新しくシステムボックスを作成する

新しくシステムボックスを作成します。

■ システムボックスを作成する

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ボックス」タブ －「システムボックスを作成する」を選択します。

以下の設定を行います。



「ファイリングナンバーボックス」を選択した場合

項目	説明
ボックス No.	作成するボックスの登録番号（空き番号を使う／直接入力する）を設定します。
ボックス名	ボックス名を設定します（半角 20 文字、全角 10 文字以内）。 ボックスパスワードを設定する場合は、「ボックスパスワードを使用する」にチェックを付け、ボックスパスワードを設定します（半角 8 文字以内）。
ボックス内ドキュメント削除時間	ボックス内のデータを保存する期間を設定します。
ナンバーカウント方式	ナンバーカウント方式を設定します。ボックス内に文書がある場合は設定できません。
文字列指定	文字列、ナンバー文字列、日付 / 時刻、印字位置、濃度、カウンター出力形式を設定します。

詳しく説明します

「パスワード規約」を ON に設定している場合、8 文字未満のパスワードを登録することはできません。すでに登録済みのユーザーパスワードが 8 文字未満の場合は「パスワード規約」を ON にする前に 8 文字に変更してください。パスワード規約について詳しくは「管理者設定メニュー」（p. 8-25）をごらんください。

9.6　設定情報をインポート／エクスポートする

本機の設定情報をインポート／エクスポートします。

本機に記録されている情報を本機からコンピューターへ保存（エクスポート）、またはコンピューターから本機へ書込み（インポート）できます。

■ インポート / エクスポート

PageScope Web Connection の管理者モードで、「メンテナンス」タブ －「インポート / エクスポート」を選択します。

以下の設定を行います。



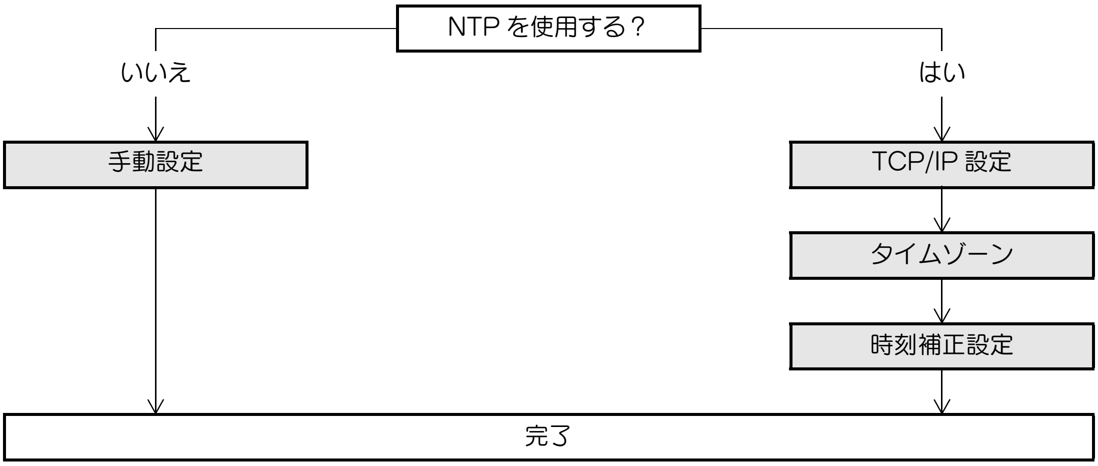
項目	説明
デバイス設定	デバイスの設定値をインポート、エクスポートできます。
監査ログ	監査ログ情報をエクスポートできます。
カウンター	カウンター情報をエクスポートできます。
ユーザー登録情報	ユーザー登録情報をインポート、エクスポートできます。 ユーザー認証もしくは部門管理を行っている場合はユーザーもしくは部門ごとのカウンター情報をテキストファイルでエクスポートできます。
認証データ	本機で生体認証装置を使用する場合は、生体認証情報をインポート、エクスポートできます。

詳しく説明します

- エクスポートしたファイルの編集はできません。
- 監査ログ、カウンターはエクスポート機能のみです。
- 認証データのインポートやエクスポートを行う場合は、ユーザー登録情報も同様に操作します。最初にユーザー登録情報を操作したあとで、認証データを操作してください。
- 監査ログ機能は、本機で使用可能な設定になっている場合に使用できます。詳しくは、「セキュリティー設定」（p. 8-25）をごらんください。

9.7 本機の日時を設定する

本機に内蔵されている時計の日時を設定します。
設定方法には、手動で設定する方法とネットワークを介して NTP サーバーから取得する方法があります。
本機を Active Directory にログインさせたい場合には、本機の日時設定が必要となる場合があります。
以下のフローチャートを参考にして設定してください。



参照

以下の項目で、本機を Active Directory にログインさせるための設定を行います。詳しくは、参照先をごらんください。

・「本機を使用するユーザーを制限する（Active Directory）」（p. 9-31）

9.7.1 手動設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「メンテナンス」タブ －「日時設定」－「手動設定」を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
年	年を入力します。	
月	月を入力します。	
日	日を入力します。	
時	時を入力します。	
分	分を入力します。	
タイムゾーン	世界標準時からの時差を設定します。	タイムゾーン
サマータイム設定	必要に応じて、夏時間を設定します。	

9.7.2　TCP/IP 設定

TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。
詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

9.7.3　タイムゾーン

手動設定画面で、タイムゾーンの設定を行います。
詳しくは、「手動設定」（p. 9-25）をごらんください。

9.7.4　時刻補正設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「メンテナンス」タブ －「日時設定」－「時刻補正設定」を選択します。
以下の設定を行います。



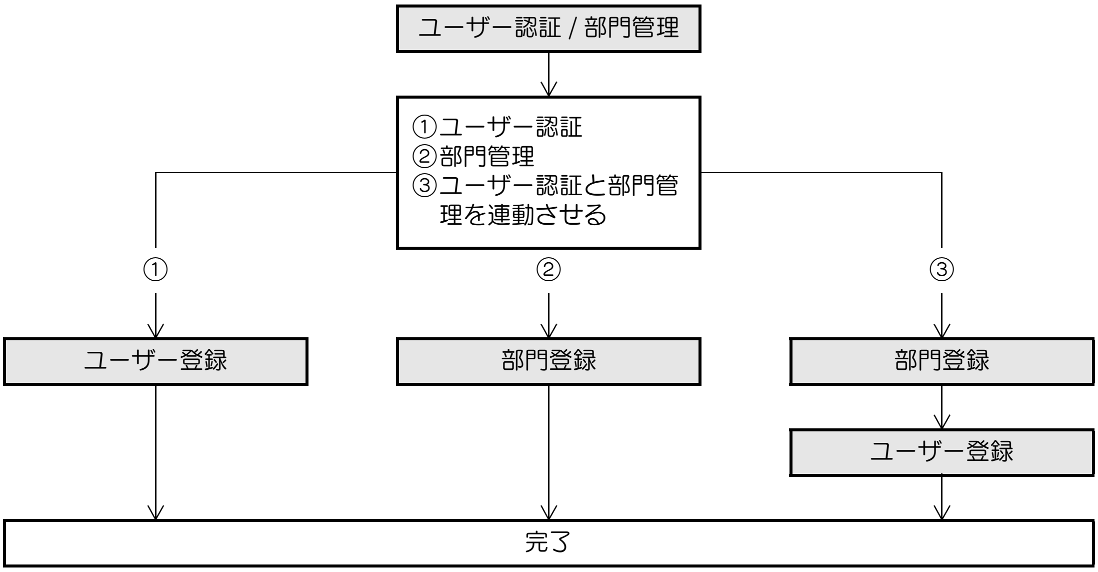
項目	説明	事前確認
時刻補正設定	「使用する」を選択します。	
NTP サーバーアドレス	NTP サーバーアドレスを設定します（書式：「***.***.***.***」、***：0 ～ 255）。 DNS サーバーを指定している場合は、ホスト名で設定できます。 IPv6 でも設定できます。	サーバーのアドレス
ポート番号	初期値：123 ポート番号を設定します。	サーバーのポート番号
[調整]	設定した条件で NTP サーバーに接続し、時刻を調整します。	

9.8 本機を使用するユーザーを制限する（本体装置認証）

本体装置認証で本機を使用するユーザーを制限するための設定を行います。

本機の使用を制限するユーザー認証や部門管理の設定ができます。ユーザー認証は個人を管理するとき、部門管理はグループや複数のユーザーを管理するときに設定するのが適しています。ユーザー認証と部門管理を組合わせて使用すると、ユーザー別に各部門のカウント管理ができます。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



①のユーザー登録の場合は、「ユーザー認証 / 部門管理」の「ユーザー認証」を「本体装置認証」にします。

②の部門管理の場合は、「ユーザー認証 / 部門管理」の 「部門管理」を「管理する」にします。

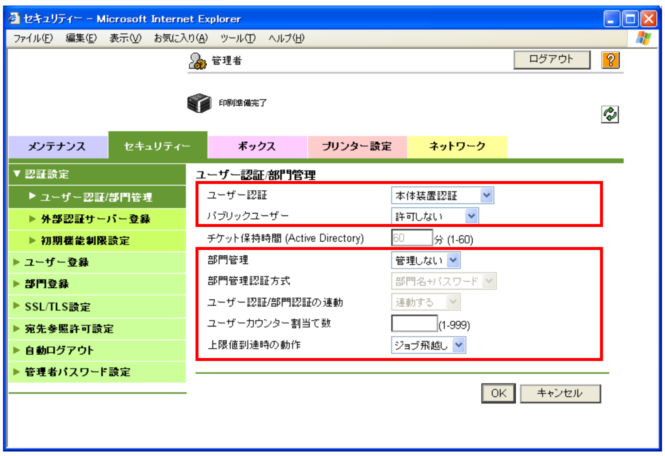
③のユーザー認証と部門管理を連動させるの場合は、[ユーザー認証 / 部門管理] の「ユーザー認証」と「部門管理」の両方を有効にし、「ユーザー認証 / 部門認証の連動」を 「連動する」にします。

詳しくは、「ユーザー認証 / 部門管理」（p. 9-27）をごらんください。

9.8.1 ユーザー認証 / 部門管理

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「認証設定」－「ユーザー認証 / 部門管理」を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
ユーザー認証	「本体装置認証」を選択します。	
パブリックユーザー	パブリックユーザーを許可するかどうか設定します。	パブリックユーザーを許可するか
部門管理	部門管理を行う場合は、「管理する」を選択します。	部門管理するか
部門管理認証方式	部門管理を行う場合は、認証方式を選択します。	

項目	説明	事前確認
ユーザー認証 / 部門認証の連動	ユーザー認証と部門管理を連動させる場合は、「連動する」を選択します。	ユーザー認証と部門管理を連動させるか
ユーザーカウンター割当て数	ユーザー認証と部門管理を行う場合、ユーザーカウンターの割当て数を設定します。	
上限値到達時の動作	コピーや印刷枚数が上限値に到達した場合の動作を設定します。	

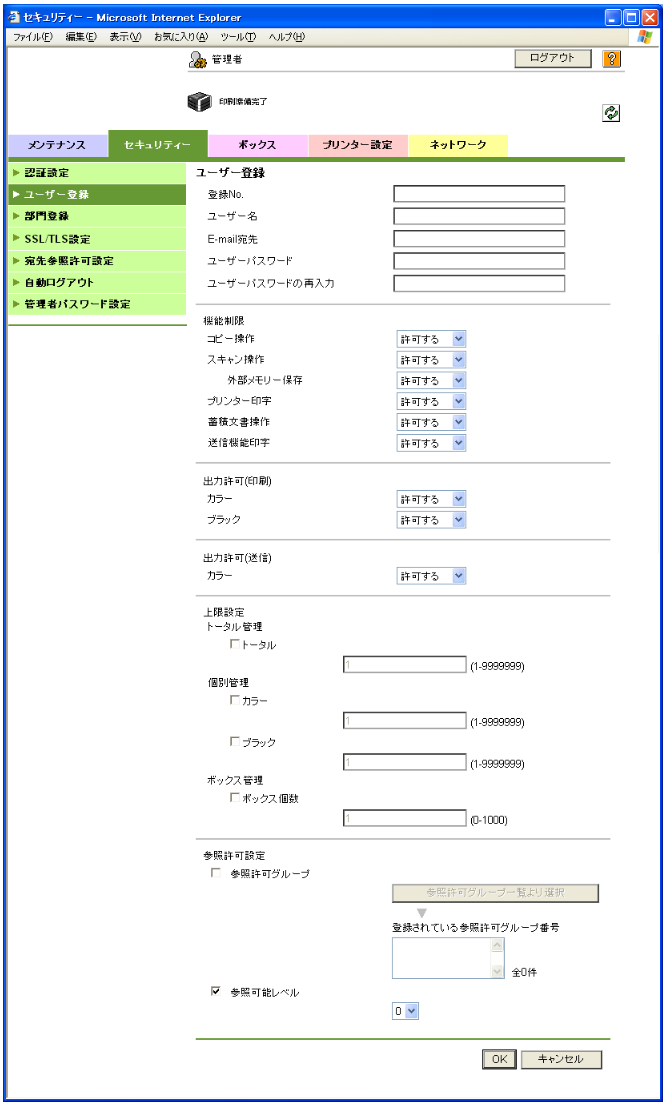
詳しく説明します

セキュリティー強化設定が ON の場合、認証方式で「認証しない」は選択できません。また、パブリックユーザーは「許可しない」が設定されます。

9.8.2　ユーザー登録

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「ユーザー登録」－［新規登録］を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
登録 No.	登録番号を入力します。	

項目	説明	事前確認
ユーザー名	ユーザー名を入力します。	
E-mail 宛先	本機では機能しません。	
ユーザーパスワード	パスワードを入力します。	
ユーザーパスワードの再入力	パスワードを再入力します。	
所属部門	所属する部門を登録します。所属部門を選択する前に部門登録が必要です。ユーザー認証と部門管理が「連動する」となっている場合に表示されます。	
機能制限	プリンター印字、蓄積文書操作を許可するかどうかをそれぞれ設定します。 コピー、スキャン、外部メモリー、ファクス、送信に関する表示項目は本機では機能しません。	
出力許可（印刷）	印刷する場合に、カラー／ブラックの出力を許可するかどうかを設定します。	
出力許可（送信）	本機では機能しません。	
上限設定	出力の上限を設けるかどうかを設定します。	
参照許可設定	本機では機能しません。	

詳しく説明します

「パスワード規約」を ON に設定している場合、8 文字未満のパスワードを登録することはできません。すでに登録済みのユーザーパスワードが 8 文字未満の場合は「パスワード規約」を ON にする前に 8 文字以上に変更してください。パスワード規約について詳しくは「管理者設定メニュー」（p. 8-25）をごらんください。

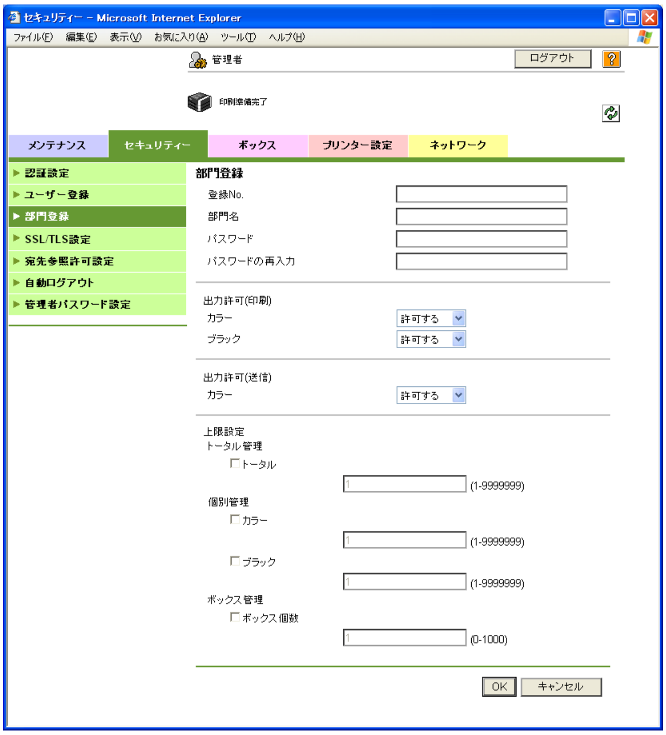
ひとこと

本機では、ユーザー認証と部門管理は HDD 装着時に合計 1,000 件、HDD を装着していない場合は 30 件まで登録できます。

9.8.3　　部門登録

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「部門登録」－［新規登録］を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
登録 No.	登録番号を入力します。	
部門名	部門名を入力します。	
パスワード	パスワードを入力します。	
パスワードの再入力	パスワードを再入力します。	
出力許可（印刷）	印刷する場合に、カラー／ブラックの出力を許可するかどうかを設定します。	
出力許可（送信）	本機では機能しません。	
上限設定	出力の上限を設けるかどうかを設定します。	

詳しく説明します

「パスワード規約」を ON に設定している場合、8 文字未満のパスワードを登録することはできません。すでに登録済みのユーザーパスワードが 8 文字未満の場合は「パスワード規約」を ON にする前に 8 文字に変更してください。パスワード規約について詳しくは「管理者設定メニュー」（p. 8-25）をごらんください。

ひとこと

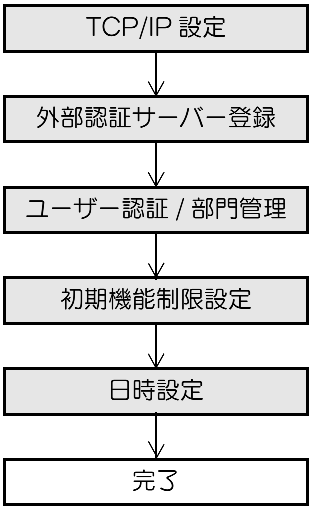
本機では、ユーザー認証と部門管理は HDD 装着時に合計 1,000 件、HDD を装着していない場合は 30 件まで登録できます。

9.9　本機を使用するユーザーを制限する（Active Directory）

Active Directory で本機を使用するユーザーを制限するための設定を行います。

Windows Server の Active Directory で認証させたい場合にこの設定を行います。ユーザー別に使用できる機能を制限することができます。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



9.9.1　　TCP/IP 設定

TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。

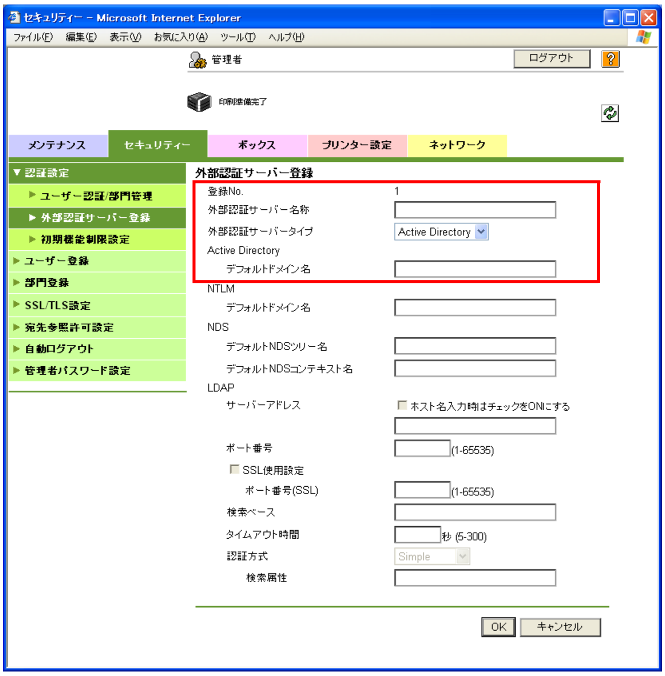
Active Directory を使用する場合は、本機の DNS サーバー設定で Active Directory と連携している DNS サーバーを指定します。

詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

9.9.2　　外部認証サーバー登録

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ－「認証設定」－「外部認証サーバー登録」－［編集］を選択します。

以下の設定を行います。



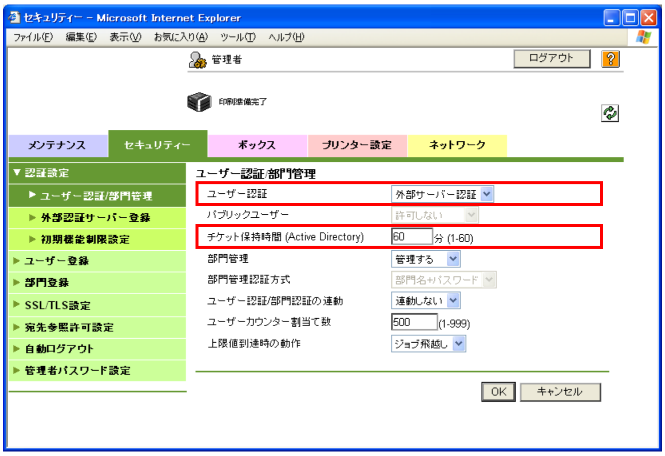
項目	説明	事前確認
登録 No.	登録番号が表示されます。	

項目	説明	事前確認
外部認証サーバー名称	外部認証サーバー名称を入力します（半角 32 文字以内）。	
外部認証サーバータイプ	「Active Directory」を選択します。	
デフォルトドメイン名	デフォルトドメイン名を入力します。	デフォルトドメイン名

9.9.3　ユーザー認証 / 部門管理

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「認証設定」－「ユーザー認証 / 部門管理」を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
ユーザー認証	「外部サーバー認証」を選択します。	
チケット保持時間 （Active Directory）	チケット保持時間を設定します。	

9.9.4　初期機能制限設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「認証設定」－「初期機能制限設定」を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
コピー操作	認証したユーザーが本機で使用できる機能を制限します。各操作について、許可するかどうかを設定します。 コピー、スキャン、外部メモリー、ファクス、送信に関する表示項目は本機では機能しません。	
スキャン操作		
外部メモリー保存		
ファクス操作		
プリンター印字		
蓄積文書操作		
送信機能印字		

9.9.5　日時設定

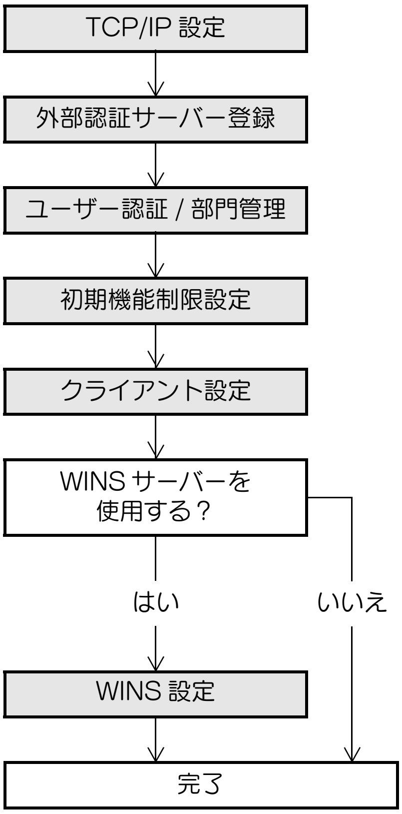
Active Directory を使用する場合は、本機の日時を設定します。
詳しくは、「本機の日時を設定する」（p. 9-25）をごらんください。

9.10　本機を使用するユーザーを制限する（Windows ドメイン／ワークグループ）

NTLM 認証で本機を使用するユーザーを制限するための設定を行います。

Windows Server で Active Directory を利用しない場合など、NTLM で認証させたい場合にこの設定を行います。ユーザー別に使用できる機能を制限することができます。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



本機はダイレクトホスティングサービスに対応しています。IPv6 環境で NTLM 認証をするには、Direct Hosting 設定を有効にする必要があります。

ダイレクトホスティングを有効に設定すると、本機は DNS サーバーを利用し、Windows サーバーの IPv6 アドレスを取得します。

DNS サーバーを用意し、必ず本機の DNS 設定を正しく行ってください。

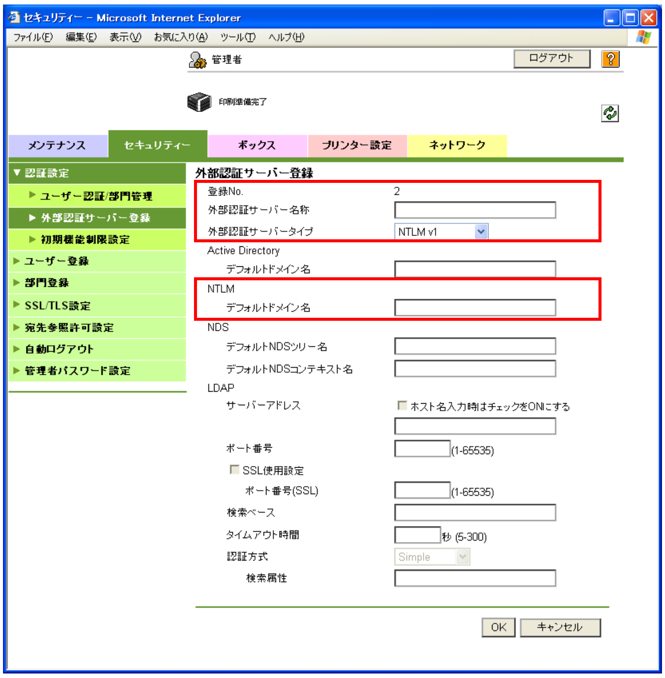
9.10.1　TCP/IP 設定

TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。

詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

9.10.2　外部認証サーバー登録

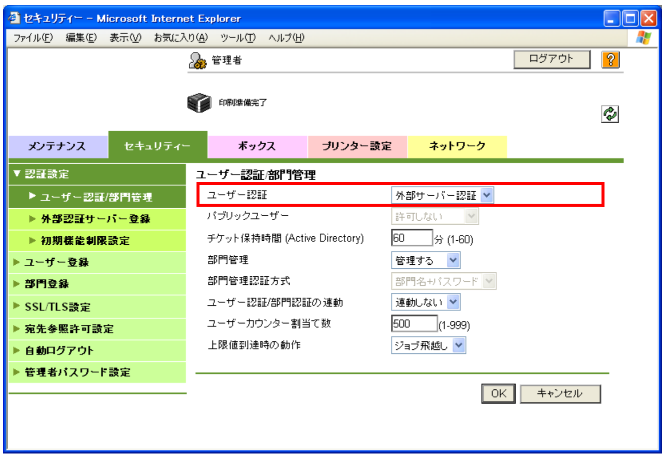
PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「認証設定」－「外部認証サーバー登録」－［編集］を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
登録 No.	登録番号が表示されます。	
外部認証サーバー名称	外部認証サーバー名称を入力します（半角 32 文字以内）。	
外部認証サーバータイプ	「NTLM v1」または「NTLM v2」を選択します。 NTLMv2 は Windows NT4.0（SP4）から適用されています。	
デフォルトドメイン名	デフォルトドメイン名を入力します。 デフォルトドメイン名は大文字で入力してください。	デフォルトドメイン名

9.10.3　ユーザー認証 / 部門管理

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「認証設定」－「ユーザー認証 / 部門管理」を選択します。
以下の設定を行います。



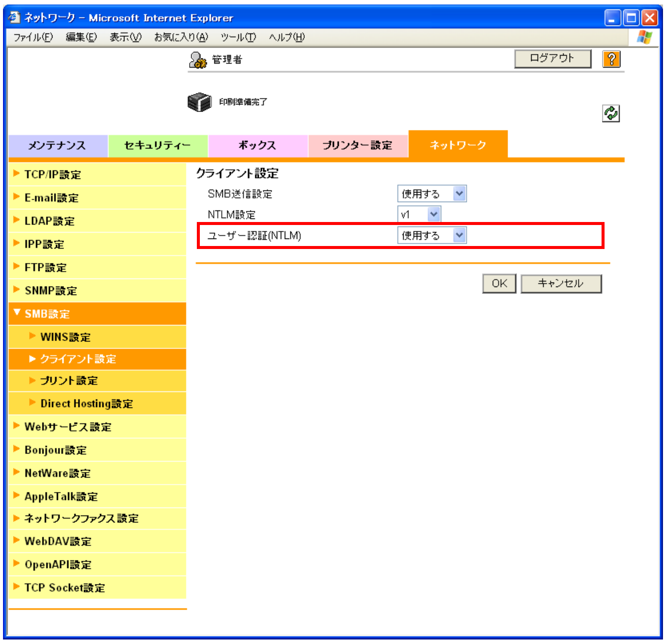
項目	説明	事前確認
ユーザー認証	「外部サーバー認証」を選択します。	

9.10.4　初期機能制限設定

認証したユーザーが本機で使用できる機能を制限します。
詳しくは、「初期機能制限設定」（p. 9-33）をごらんください。

9.10.5　クライアント設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「SMB 設定」－「クライアント設定」を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
ユーザー認証（NTLM）	「使用する」を選択します。	

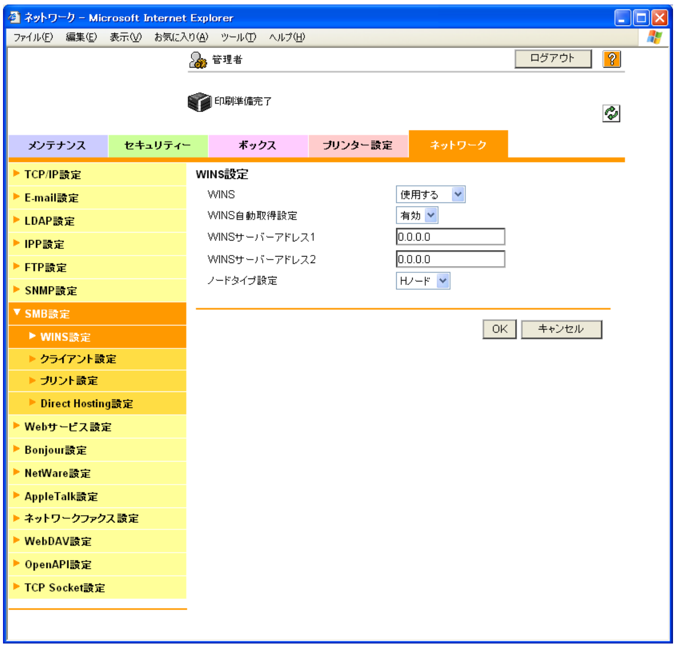
ひとこと

ユーザー認証（NTLM）を「使用しない」に設定すると、連動して「外部認証サーバー登録」で、外部認証サーバータイプに「NTLM v1」または「NTLM v2」を選択できなくなります。

9.10.6　WINS 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「SMB 設定」－「WINS 設定」を選択します。

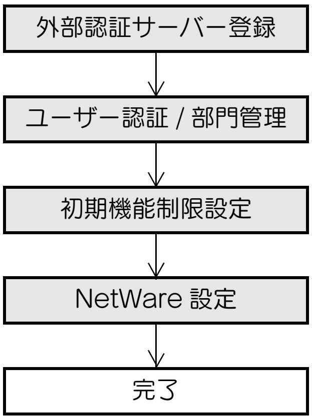
以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
WINS	WINS サーバーを使用する場合は、「使用する」を選択します。	
WINS 自動取得設定	WINS サーバーアドレスを自動取得する場合は、「有効」を選択します。 DHCP が有効の場合に設定できます。	DHCP で自動取得可能か
WINS サーバーアドレス 1 ～ 2	WINS サーバーアドレスを設定します（書式：「***.***.***.***」、***：0 ～ 255）。	サーバーのアドレス
ノードタイプ設定	名前解決の方法を設定します。 ・B ノード：ブロードキャストで問い合わせ ・P ノード：WINS サーバーに問い合わせ ・M ノード：ブロードキャスト、WINS サーバーの順に問い合わせ ・H ノード：WINS サーバー、ブロードキャストの順に問い合わせ	

9.11　本機を使用するユーザーを制限する（NDS）

NDS で本機を使用するユーザーを制限するための設定を行います。
NetWare 5.1、NetWare 6.0 を使用して、NDS で認証させたい場合にこの設定を行います。ユーザー別に使用できる機能を制限することができます。
以下のフローチャートを参考にして設定してください。

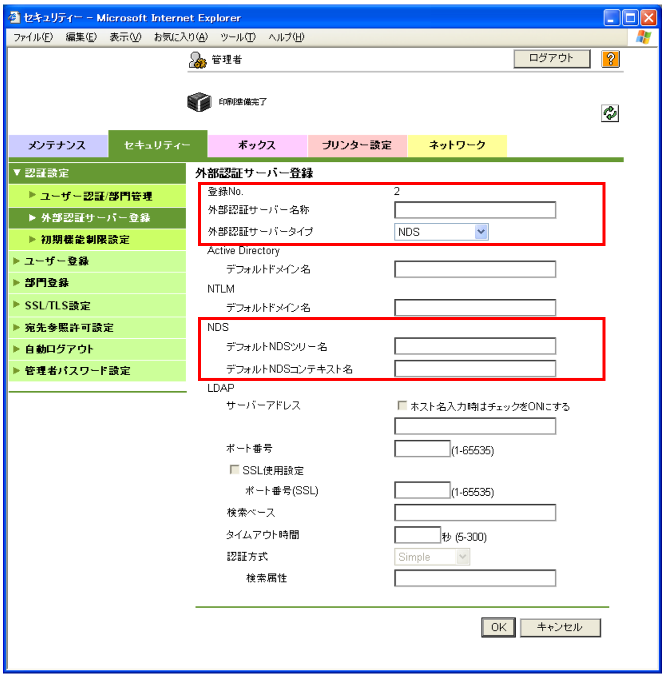


詳しく説明します

NDS が使用できるのは、プロトコルとして IPX を使用しているときだけです。IP のときは使用できません。

9.11.1　外部認証サーバー登録

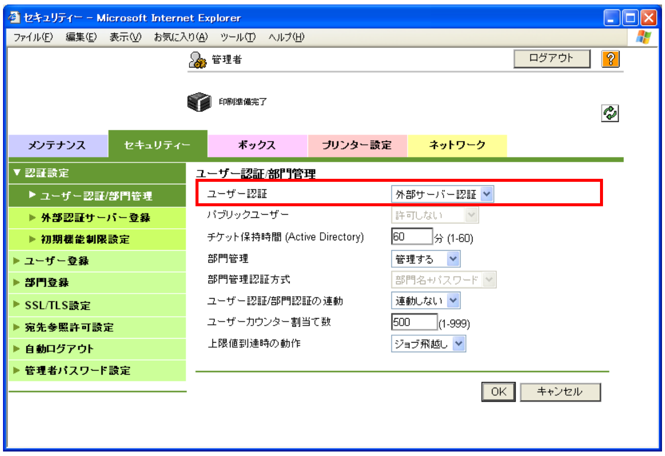
PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ ー「認証設定」ー「外部認証サーバー登録」ー［編集］を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
登録 No.	登録番号が表示されます。	
外部認証サーバー名称	外部認証サーバー名称を入力します（半角 32 文字以内）。	
外部認証サーバータイプ	「NDS」を選択します。	
デフォルト NDS ツリー名	デフォルト NDS ツリー名を入力します。	
デフォルト NDS コンテキスト名	デフォルト NDS コンテキスト名を入力します。	

9.11.2　ユーザー認証 / 部門管理

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ ー「認証設定」ー「ユーザー認証 / 部門管理」を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
ユーザー認証	「外部サーバー認証」を選択します。	

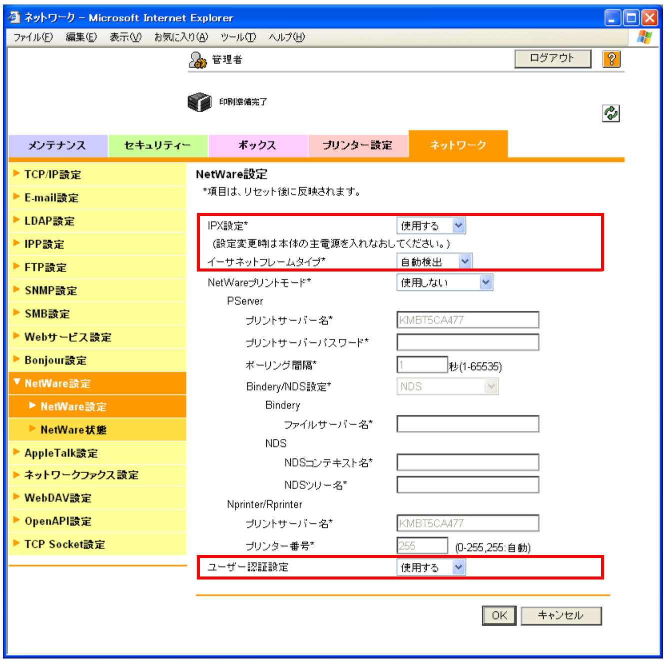
9.11.3　初期機能制限設定

認証したユーザーが本機で使用できる機能を制限します。
詳しくは、「初期機能制限設定」（p. 9-33）をごらんください。

9.11.4　NetWare 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「NetWare 設定」－「NetWare 設定」を選択します。

以下の設定を行います。



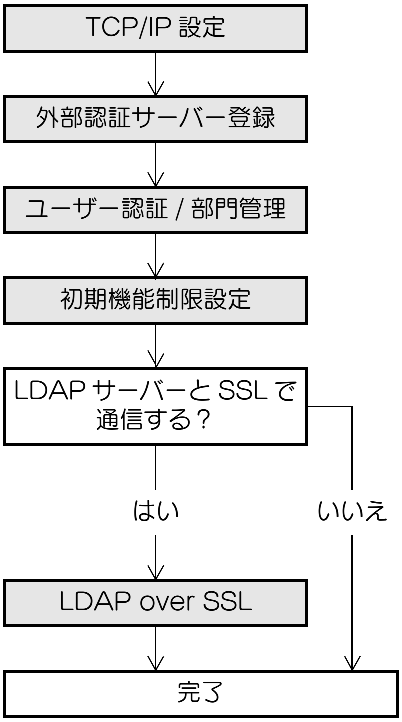
項目	説明	事前確認
IPX 設定	「使用する」を選択します。	
イーサネットフレームタイプ	使用するフレームタイプを設定します。	フレームタイプ
ユーザー認証設定	「使用する」を選択します。	

9.12　本機を使用するユーザーを制限する（LDAP）

LDAP サーバーで本機を使用するユーザーを制限するための設定を行います。

LDAP サーバーで認証させたい場合にこの設定を行います。ユーザー別に使用できる機能を制限することができます。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



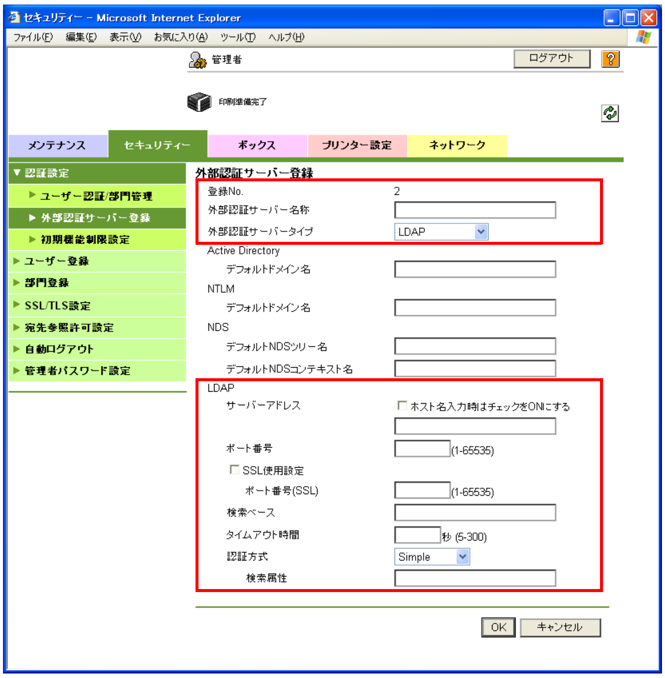
9.12.1　　TCP/IP 設定

TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。

詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

9.12.2　外部認証サーバー登録

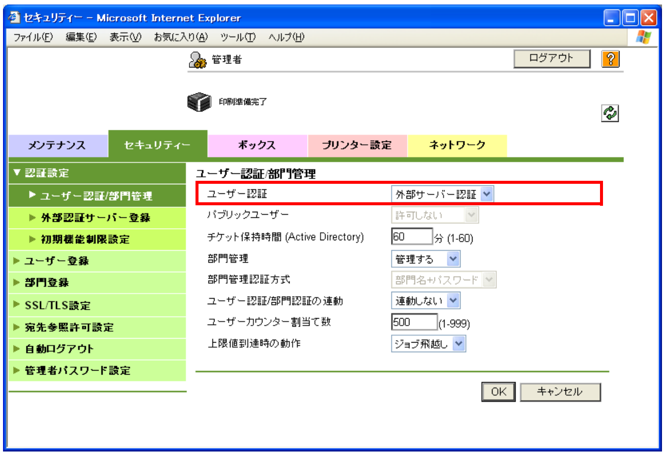
PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「認証設定」－「外部認証サーバー登録」－［編集］を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
登録 No.	登録番号が表示されます。	
外部認証サーバー名称	外部認証サーバー名称を入力します（半角 32 文字以内)。	
外部認証サーバータイプ	「LDAP」を選択します。	
サーバーアドレス	LDAP サーバーアドレスを設定します（書式：「***.***.***.***」、*** ：0 ～ 255)。 DNS サーバーを指定している場合は、ホスト名で設定できます。 IPv6 でも設定できます。	サーバーのアドレス
ポート番号	ポート番号を設定します。	サーバーのポート番号
検索ベース	LDAP サーバーに配置されている階層構造の中の検索起点を設定します。検索は、設定した起点から下のサブディレクトリも含めて行われます。	
タイムアウト時間	検索処理中の最大待ち時間を設定します。	
認証方式	LDAP サーバーへログインするときの認証方式を選択します。	サーバーの認証方式
検索属性	認証方式で「Digest-MD5」を選択した場合は、検索属性を設定します。	

9.12.3　ユーザー認証 / 部門管理

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ ー「認証設定」ー「ユーザー認証 / 部門管理」を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
ユーザー認証	「外部サーバー認証」を選択します。	

9.12.4　初期機能制限設定

認証したユーザーが本機で使用できる機能を制限します。
詳しくは、「初期機能制限設定」（p. 9-33）をごらんください。

9.12.5　LDAP over SSL

■ 外部認証サーバー登録

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ ー「認証設定」ー「外部認証サーバー登録」ー［編集］を選択します。
以下の設定を行います。

項目	説明	事前確認
SSL 使用設定	本機と LDAP サーバー間の通信を SSL で暗号化する場合は、「SSL 使用設定」にチェックを付けます。	サーバーは SSL に対応するか
ポート番号（SSL）	SSL 通信で使用するポート番号を設定します。	サーバーのポート番号

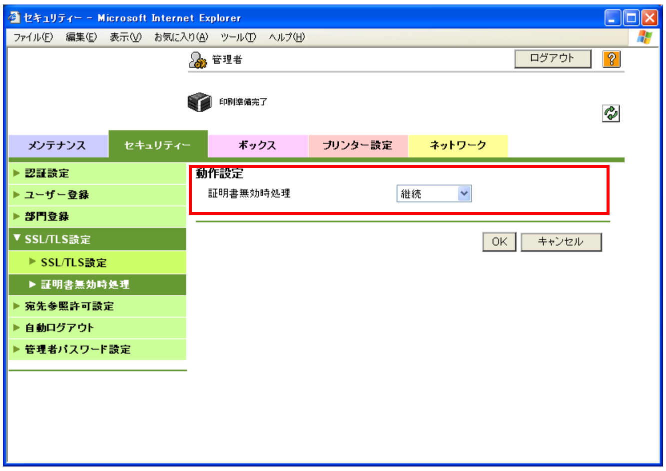
■ 証明書無効時処理

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「SSL/TLS 設定」－「証明書無効時処理」を選択します。

以下の設定を行います。

ひとこと

「証明書無効時処理」を設定するためには、あらかじめ本機の証明書を作成してください。詳しくは、「本機の証明書を作成して SSL で通信する」（p. 9-45）をごらんください。



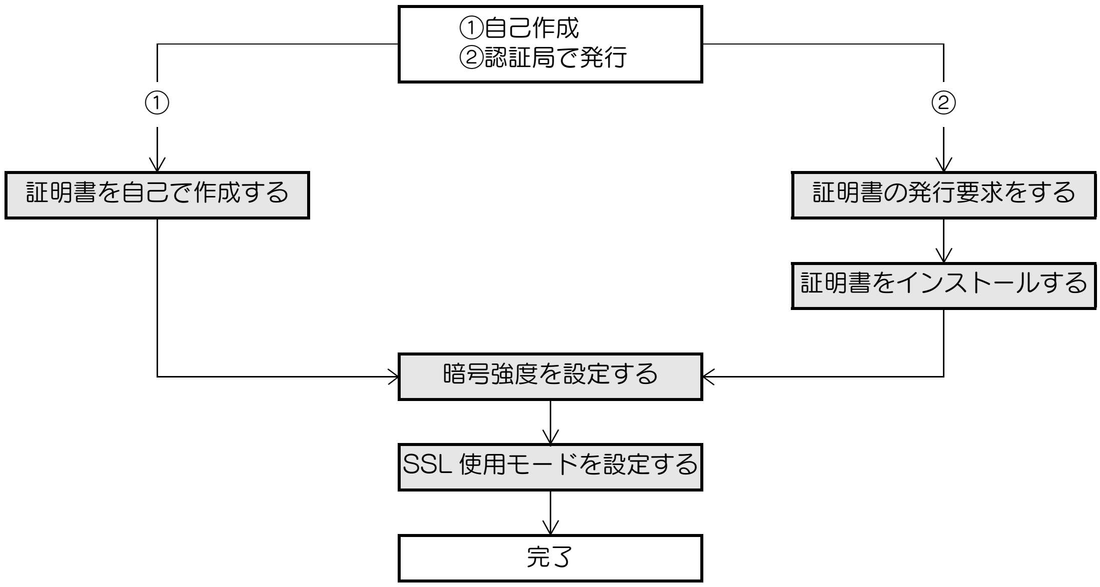
項目	説明	事前確認
証明書無効時処理	受け取った証明書の有効期間が失効していた場合の動作を設定します。 「継続」を選択した場合は、証明書の日付が無効でも処理を継続します。 「ジョブを削除」を選択した場合は、証明書の日付が無効のときジョブを削除します。	

9.13 本機の証明書を作成して SSL で通信する

本機の電子証明書を作成して、SSL で通信するための設定を行います。

本機の証明書を作成することで、クライアントコンピューターから本機への通信を SSL で暗号化し、通信内容やパスワードの漏洩を防止できます。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



参照

以下の設定を行うときに、クライアントコンピューターから本機への通信を SSL で暗号化できます。詳しくは、参照先をごらんください。

- 「PageScope Web Connection を使用する」（p. 2-3）
- 「IPPS 印刷の設定」（p. 2-12）
- 「Web サービスでコンピューターから本機方向の通信を SSL 通信にする」（p. 9-51）
- 「TCP Socket/OpenAPI/FTP サーバー機能を使用する」（p. 9-72）

9.13.1 証明書を自己で作成する

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「SSL/TLS 設定」－「SSL/TLS 設定」－［設定］－「証明書を自己で作成する」を選択します。

以下の設定を行います。

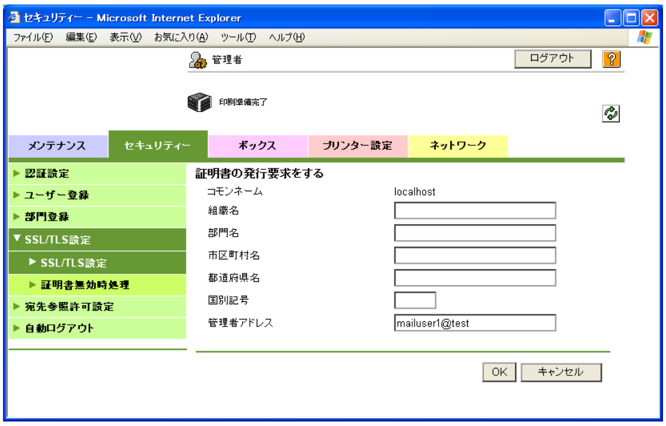


項目	説明	事前確認
コモンネーム	本機の IP アドレスまたはドメイン名が表示されます。	
組織名	組織名証明書を作成するときの組織名、団体名を入力します（半角 63 文字以内）。	
部門名	部門名証明書を作成するときの部門名を入力します（半角 63 文字以内）。	
市区町村名	市区町村名証明書を作成するときの市区町村名を入力します（半角 127 文字以内）。	
都道府県名	都道府県名証明書を作成するときの都道府県名を入力します（半角 127 文字以内）。	
国別記号	国名証明書を作成するときの国名を、ISO3166 で規定されている 2 文字の国コードで入力します。 アメリカ：US、イギリス：GB、イタリア：IT、オーストラリア：AU、オランダ：NL、カナダ：CA、スペイン：ES、チェコ：CZ、中国：CN、デンマーク：DK、ドイツ：DE、日本：JP、フランス：FR、ベルギー：BE、ロシア：RU	
管理者アドレス	管理者のアドレスを入力します（半角 127 文字以内）。	管理者のアドレス
有効開始の日付	有効期間の開始日を入力します。本画面を表示したときの日付、時刻が表示されます。	
有効期間	証明書の有効期間を開始日からの経過日数で入力します。	
暗号強度	暗号化方式を設定します。	
SSL/TLS 使用モード	SSL/TLS を適用するモードを設定します。	
［OK］	自己証明書を作成します。証明書を作成するのに数分かかる場合があります。	

9.13.2　証明書の発行要求をする

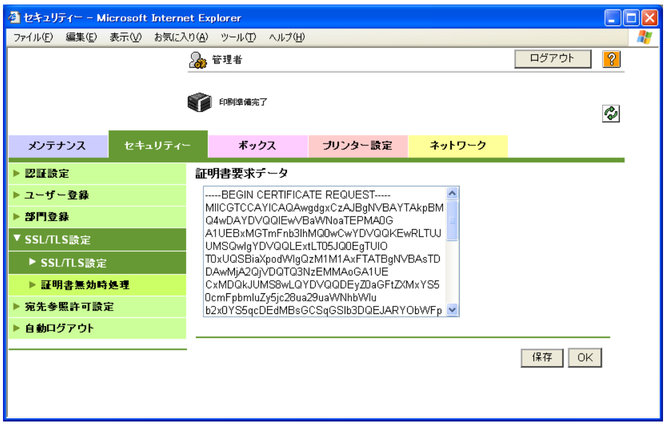
PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「SSL/TLS 設定」－「SSL/TLS 設定」－［設定］－「証明書の発行要求をする」を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
コモンネーム	本機の IP アドレスまたはドメイン名が表示されます。	
組織名	組織名証明書を作成するときの組織名、団体名を入力します（半角 63 文字以内）。	
部門名	部門名証明書を作成するときの部門名を入力します（半角 63 文字以内）。	
市区町村名	市区町村名証明書を作成するときの市区町村名を入力します（半角 127 文字以内）。	

項目	説明	事前確認
都道府県名	都道府県名証明書を作成するときの都道府県名を入力します（半角 127 文字以内）。	
国別記号	国名証明書を作成するときの国名を、ISO3166 で規定されている 2 文字の国コードで入力します。 アメリカ：US、イギリス：GB、イタリア：IT、オーストラリア：AU、オランダ：NL、カナダ：CA、スペイン：ES、チェコ：CZ、中国：CN、デンマーク：DK、ドイツ：DE、日本：JP、フランス：FR、ベルギー：BE、ロシア：RU	
管理者アドレス	管理者のアドレスを設定します（半角 127 文字以内）。	管理者のアドレス
[OK]	証明書発行要求データを作成します。	

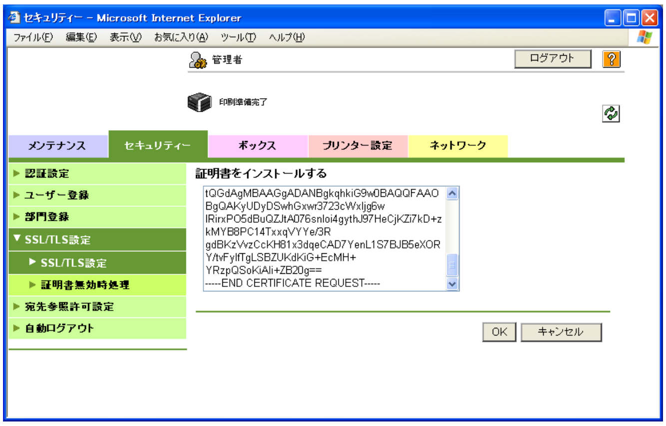


項目	説明	事前確認
証明書要求データ	証明書発行要求データが表示されます。	
[保存]	証明書発行要求データをファイルとしてコンピューターに保存します。	

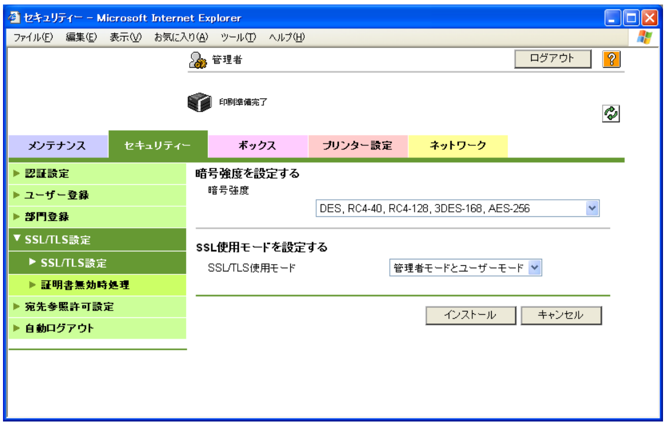
9.13.3　証明書をインストールする

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「SSL/TLS 設定」－「SSL/TLS 設定」－［設定］－「証明書をインストールする」を選択します。

認証局に証明書の発行要求をした後、認証局から送られてきた証明書を本機にインストールします。



項目	説明	事前確認
証明書をインストールする	認証局から送られてきたテキスト形式のデータを貼り付けます。	
［OK］	暗号強度設定、SSL 使用モード設定画面に移動します。	

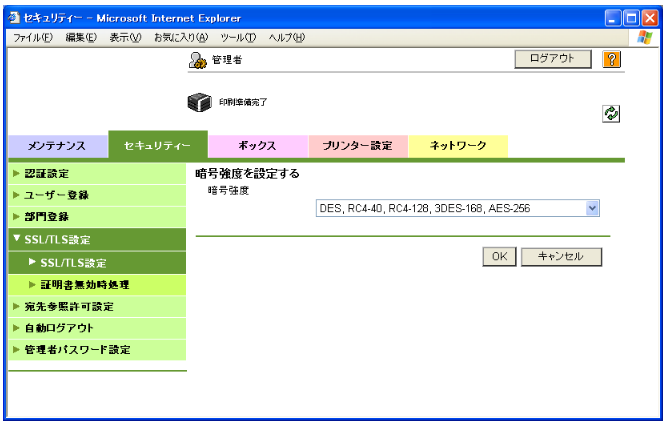


項目	説明	事前確認
暗号強度	暗号化方式を設定します。	
SSL/TLS 使用モード	SSL/TLS の適用範囲を設定します。	
［インストール］	証明書をインストールします。	

9.13.4　暗号強度を設定する

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「SSL/TLS 設定」－「SSL/TLS 設定」－［設定］－「暗号強度を設定する」を選択します。

以下の設定を行います。

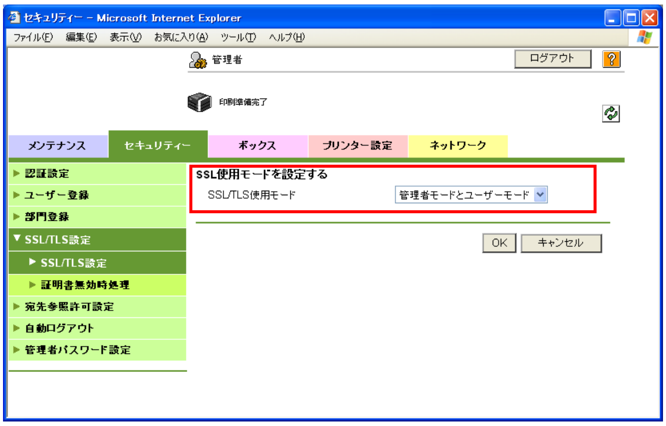


項目	説明	事前確認
暗号強度	必要に応じて、設定した暗号強度を変更できます。暗号強度を設定します。	

9.13.5　SSL 使用モードを設定する

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「SSL/TLS 設定」－「SSL/TLS 設定」－［設定］－「SSL 使用モードを設定する」を選択します。

以下の設定を行います。

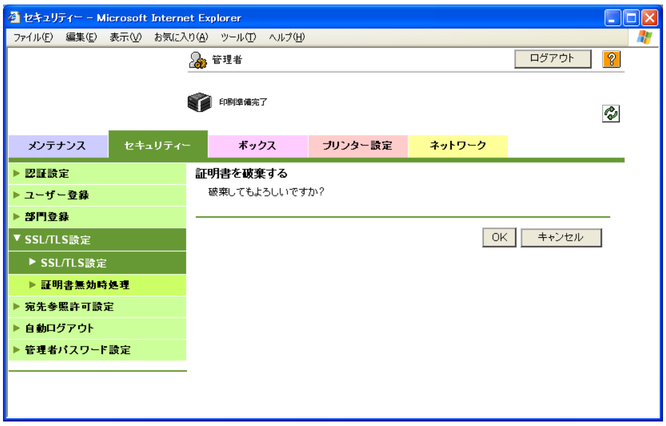


項目	説明	事前確認
SSL/TLS 使用モード	必要に応じて、設定した SSL/TLS の適用範囲を変更できます。SSL/TLS の適用範囲を設定します。	

9.13.6　証明書を破棄する

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「SSL/TLS 設定」－「SSL/TLS 設定」－［設定］－「証明書を破棄する」を選択します。

必要に応じて、本機にインストールされている証明書を破棄できます。［OK］をクリックすると、インストールされている証明書を破棄します。



ひとこと

セキュリティー強化設定が ON の場合、証明書の破棄はできません。

9.14 Web サービスでコンピューターと本機を SSL 通信にする

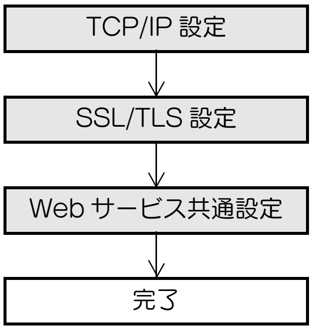
Web サービス機能を使用するときは、Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 搭載のコンピューターと本機間の通信を SSL で暗号化します。SSL 通信の設定は、コンピューターから本機方向の通信を SSL 通信にし、さらに本機からコンピューター方向の通信も SSL 通信にする必要があります。

次の「Web サービスでコンピューターから本機方向の通信を SSL 通信にする」と「Web サービスで本機からコンピューター方向の通信を SSL 通信にする」の両方の設定を実施してください。

9.14.1 Web サービスでコンピューターから本機方向の通信を SSL 通信にする

Web サービス機能を使用するときに、Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 搭載のコンピューターから本機方向の通信を SSL で暗号化するための設定を行います。Web サービスによる通信を SSL で暗号化して、より安全に通信できます。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



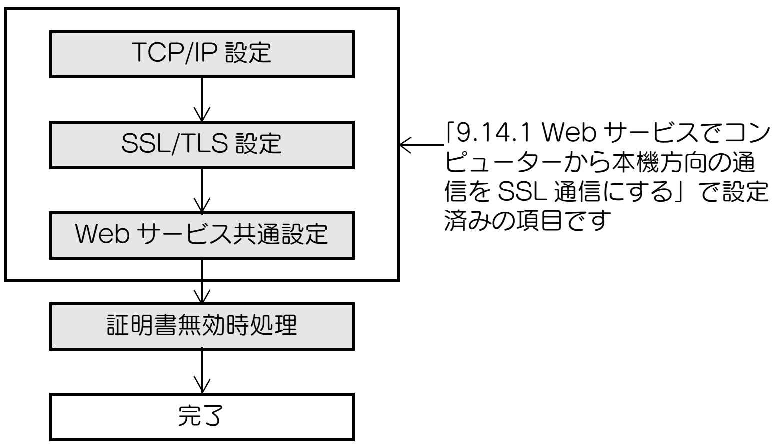
詳しく説明します

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 搭載のコンピューターから本機方向の通信を SSL で暗号化するためには、コンピューター側から本機を DNS により名前解決できる必要があります。あらかじめ DNS サーバーに本機を登録して、コンピューター側で DNS の設定を行ってください。本機の証明書が証明機関により発行されたものでない場合は、Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 でコンピュータアカウント用の信頼された発行元の証明書として本機の証明書を登録しておく必要があります。

9.14.2 Web サービスで本機からコンピューター方向の通信を SSL 通信にする

Web サービス機能を使用するときに、本機から Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 搭載のコンピューター方向の通信を SSL で暗号化するための設定を行います。Web サービスによる通信を SSL で暗号化して、より安全に通信できます。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



詳しく説明します

本機から Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 搭載のコンピューター方向の通信を SSL で暗号化するためには、あらかじめコンピューター側で証明書を作成して、TCP/IP の通信ポートとの関連付けを行ってください（初期値：ポート番号 5385）。

9.14.3　TCP/IP 設定

TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。
詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

9.14.4　SSL/TLS 設定

本機との通信を SSL で暗号化します。
詳しくは、「本機の証明書を作成して SSL で通信する」（p. 9-45）をごらんください。

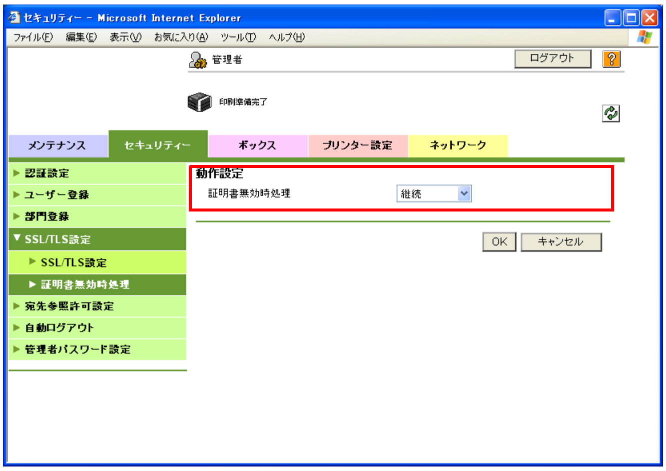
9.14.5　Web サービス共通設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「Web サービス設定」－「Web サービス共通設定」を選択します。
以下の設定を行います。

項目	説明	事前確認
Friendly Name	Friendly Name を設定します（半角 62 文字以内）。	
SSL 設定	「使用する」を選択します。	

9.14.6　証明書無効時処理

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「SSL/TLS 設定」－「証明書無効時処理」を選択します。
以下の設定を行います。



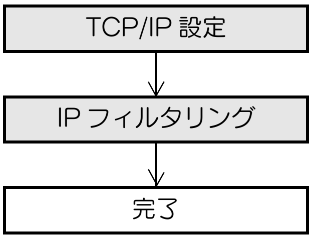
項目	説明	事前確認
証明書無効時処理	受け取った証明書の有効期間が失効していた場合の動作を設定します。 「継続」を選択した場合は、証明書の日付が無効でも処理を継続します。 「ジョブを削除」を選択した場合は、証明書の日付が無効のときジョブを削除します。	

9.15 IP アドレスフィルタリングを行う

IP アドレスフィルタリングを行うための設定を行います。

IP アドレスフィルタリングを行うことで、指定した IP アドレスからのアクセスを制限できます。本機へのアクセスを許可するアドレスと拒否するアドレスを指定できます。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



9.15.1 TCP/IP 設定

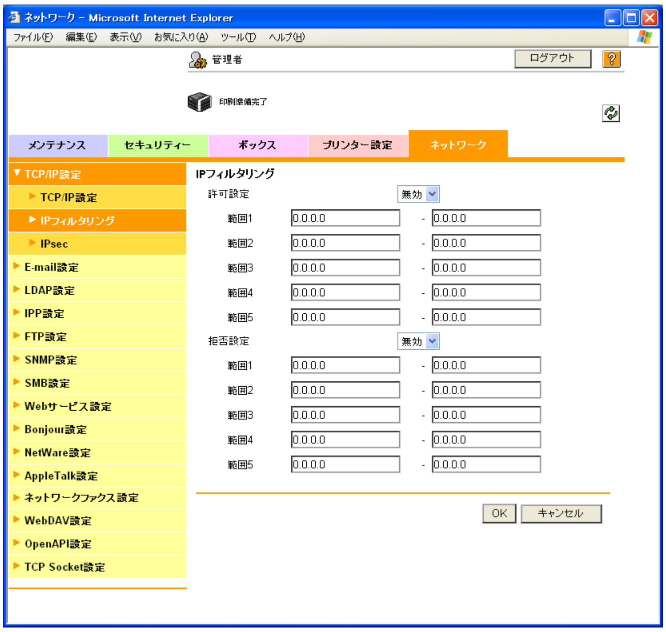
TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。

詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

9.15.2 IP フィルタリング

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「TCP/IP 設定」－「IP フィルタリング」を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
許可設定	許可アドレスを指定する場合は、「有効」を選択します。	
範囲 1 ～ 5	許可するアドレスを設定します（書式：「***.***.***.***」、***：0 ～ 255）。	許可するアドレス
拒否設定	拒否アドレスを指定する場合は、「有効」を選択します。	
範囲 1 ～ 5	拒否するアドレスを設定します（書式：「***.***.***.***」、***：0 ～ 255）。	拒否するアドレス

9.16 IPv6 で通信する

IPv6 で通信するための設定を行います。

IPv6 アドレスを本機に割り当てて使用したい場合に設定します。IPv6 を使用する場合、IPv4 と同時に動作させることができますが、IPv6 のみで使用することはできません。

本機を IPv6 環境で使用する場合、以下の制限があります。

- SMB 印刷と NTLM 認証ができません（ダイレクトホスティングサービスの場合は可能）。
- PageScope NDPS Gateway を使用できません。
- DHCPv6 を使用できません。
- IP フィルタリングができません。
- プリンタードライバーのインストーラーを使用できません。
- PageScope Web Connection を Flash で表示できません。

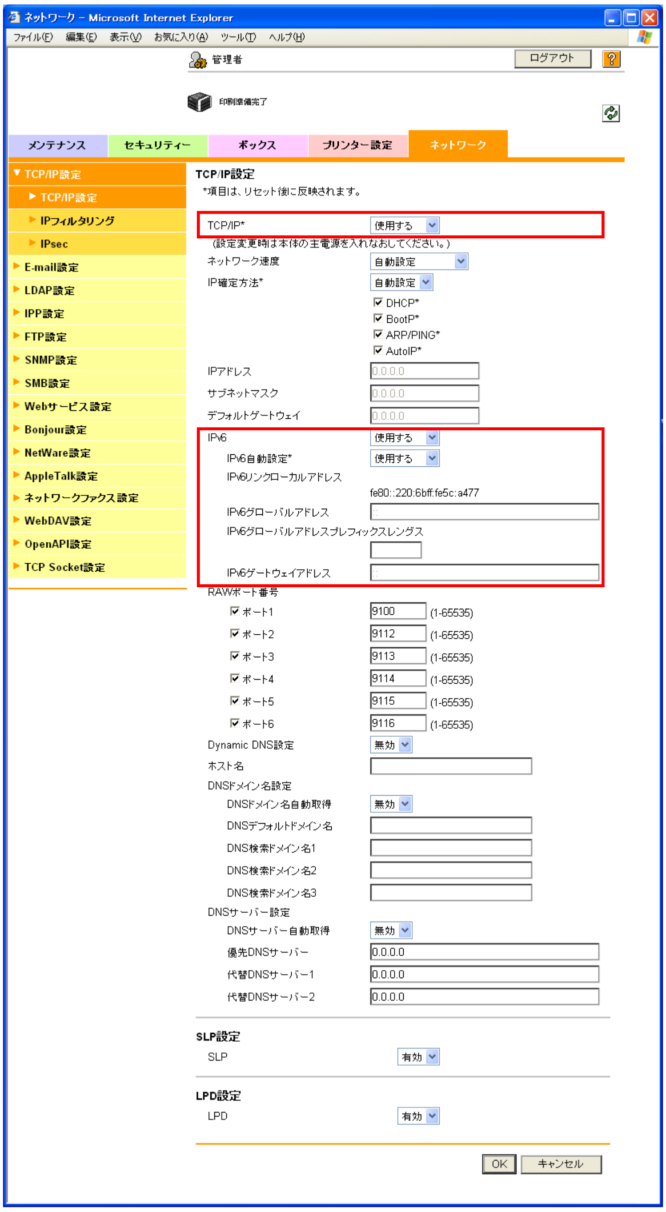
参照

ダイレクトホスティングサービスについて詳しくは、「Direct Hosting 設定」（p. 2-9）をごらんください。

■ TCP/IP 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ −「TCP/IP 設定」−「TCP/IP 設定」を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
TCP/IP	「使用する」を選択します。	
IPv6	「使用する」を選択します。	
IPv6 自動設定	IPv6 アドレスを自動取得する場合は、「使用する」を選択します。	IPv6 アドレスを自動取得するか
IPv6 リンクローカルアドレス	MAC アドレスから生成されたリンクローカルアドレスが表示されます。	
IPv6 グローバルアドレス	IPv6 アドレスを自動取得しない場合は、IPv6 グローバルアドレスを設定します。	IPv6 アドレス
IPv6 グローバルアドレスプレフィックスレングス	IPv6 アドレスを自動取得しない場合は、IPv6 グローバルアドレスプレフィックスレングスを設定します。	プレフィックスレングス
IPv6 ゲートウェイアドレス	IPv6 アドレスを自動取得しない場合は、IPv6 ゲートウェイアドレスを設定します。	ゲートウェイアドレス

参照

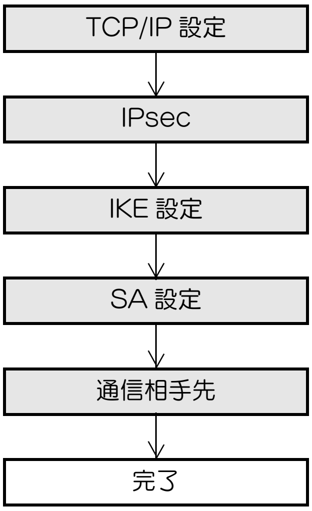
必要に応じて DNS の設定を行ってください。詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」(p. 2-2) をごらんください。

9.17　IPsec で通信する

IPsec で通信するための設定を行います。

IPsec で通信することで、IP パケット単位でデータの改ざんや漏洩を防止できます。これによって、暗号化をサポートしていないトランスポートやアプリケーションを用いても、安全に通信できます。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



9.17.1　　TCP/IP 設定

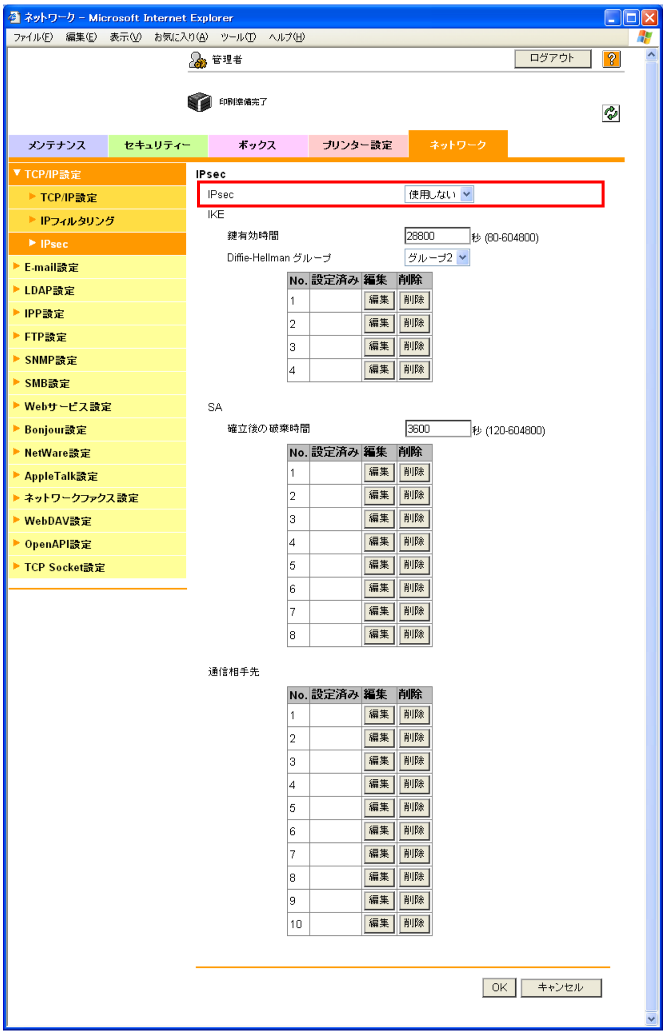
TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。

詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

9.17.2　　IPsec

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「TCP/IP 設定」－「IPsec」を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
IPsec	「使用する」を選択します。	

9.17.3　　IKE 設定

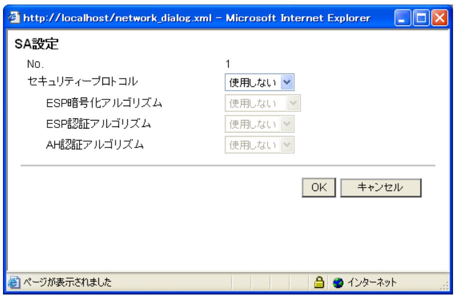
PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「TCP/IP 設定」－「IPsec」－「IKE」－［編集］を選択します。
以下の設定を行います。（IKE は 4 グループまで登録できます。）



項目	説明	事前確認
鍵有効時間	制御用トンネルを作るときに生成される鍵の有効時間を設定します。	
Diffie-Hellman グループ	Diffie-Hellman グループを選択します。	
暗号化アルゴリズム	制御用トンネルを作るときに使用する暗号化アルゴリズムを選択します。	
認証アルゴリズム	制御用トンネルを作るときに使用する認証アルゴリズムを選択します。	

9.17.4　　SA 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「TCP/IP 設定」－「IPsec」－「SA」－［編集］を選択します。
以下の設定を行います。（SA は 8 グループまで登録できます。）

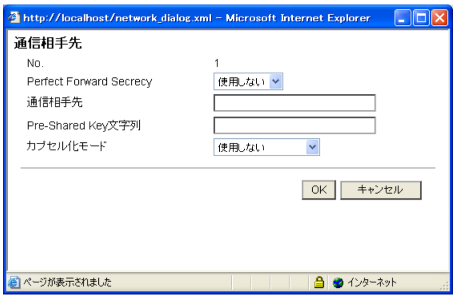


項目	説明	事前確認
確立後の破棄時間	通信用トンネルをつくる際に生成される鍵の有効時間を設定します。	
セキュリティープロトコル	セキュリティープロトコルを選択します。	
ESP 暗号化アルゴリズム	セキュリティープロトコルで「ESP」を選択した場合は、ESP 暗号化アルゴリズムを設定します	
ESP 認証アルゴリズム	セキュリティープロトコルで「ESP」を選択した場合は、ESP 認証アルゴリズムを設定します。	
AH 認証アルゴリズム	セキュリティープロトコルで「AH」を選択した場合は、AH 認証アルゴリズムを設定します。	

9.17.5　通信相手先

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「TCP/IP 設定」－「IPsec」－「通信相手先」－［編集］を選択します。

以下の設定を行います。（通信相手先は 10 台まで登録できます。）



項目	説明	事前確認
Perfect Forward Secrecy	IKE の強度を上げたい場合は、「使用する」を選択します。	
通信相手先	相手先の IP アドレスを設定します。	相手先の IP アドレス
Pre-Shared Key 文字列	通信相手先と共有する Pre-Shared Key 文字列を設定します。	
カプセル化モード	IPsec の動作モードを設定します。	

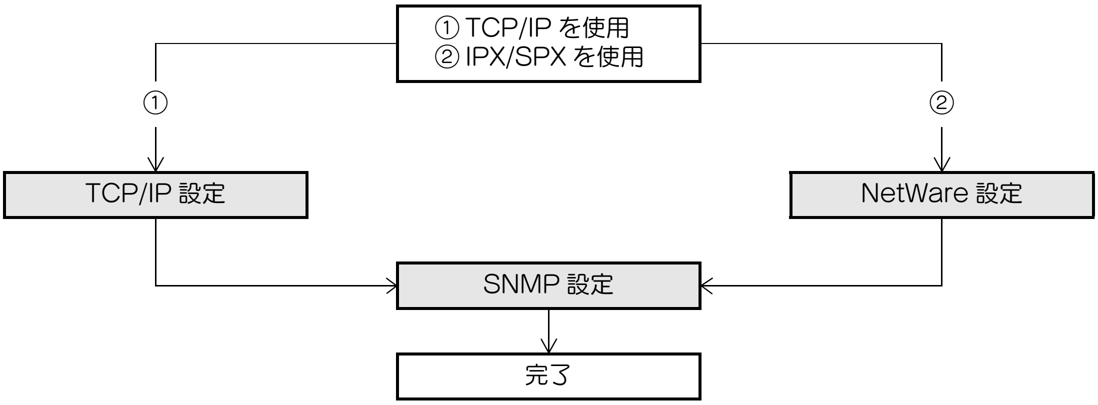
9.18 SNMP マネージャーで本機を監視する

一般的な SNMP マネージャーで本機を監視するための設定を行います。

SNMP マネージャーで本機の SNMP エージェントと通信して、ネットワーク経由で本機の情報の取得、管理および監視ができます。SNMP は TCP/IP 環境または IPX/SPX 環境で使用できます。

また、SNMP の TRAP 機能を利用して本機の状態を通知できるように設定できます。詳しくは、「本機の状態を通知する（TRAP)」（p. 9-70）をごらんください。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



9.18.1 TCP/IP 設定

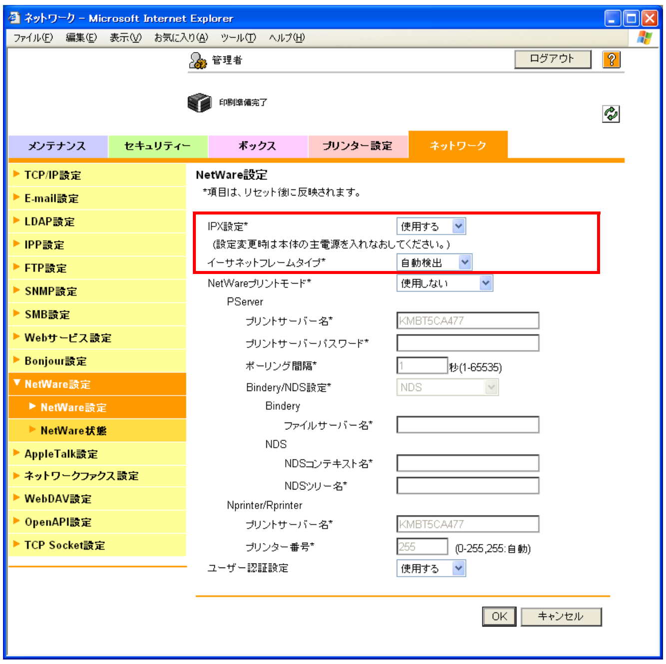
TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。

詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

9.18.2 NetWare 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「NetWare 設定」－「NetWare 設定」を選択します。

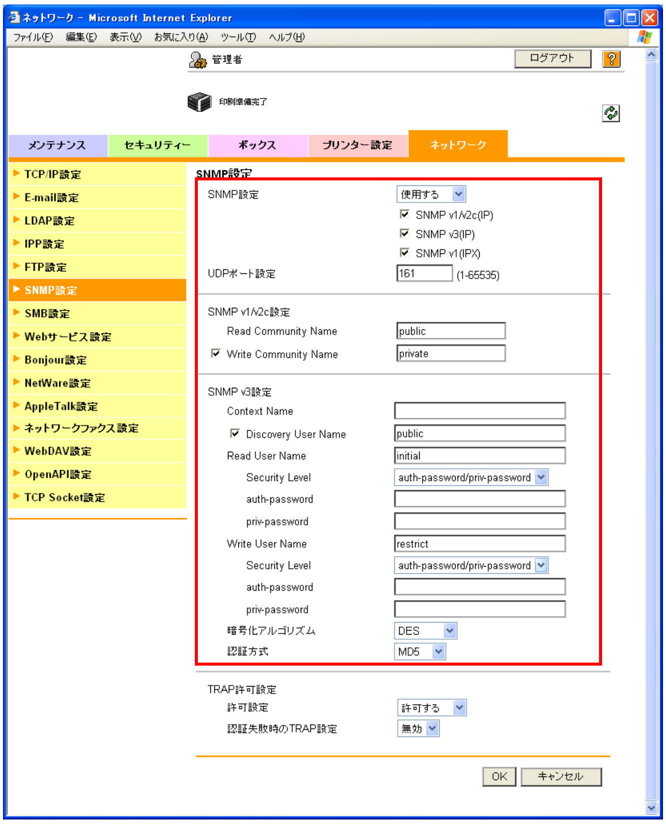
以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
IPX 設定	「使用する」を選択します。	
イーサネットフレームタイプ	使用するフレームタイプを設定します。	フレームタイプ

9.18.3　SNMP 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「SNMP 設定」を選択します。
以下の設定を行います。

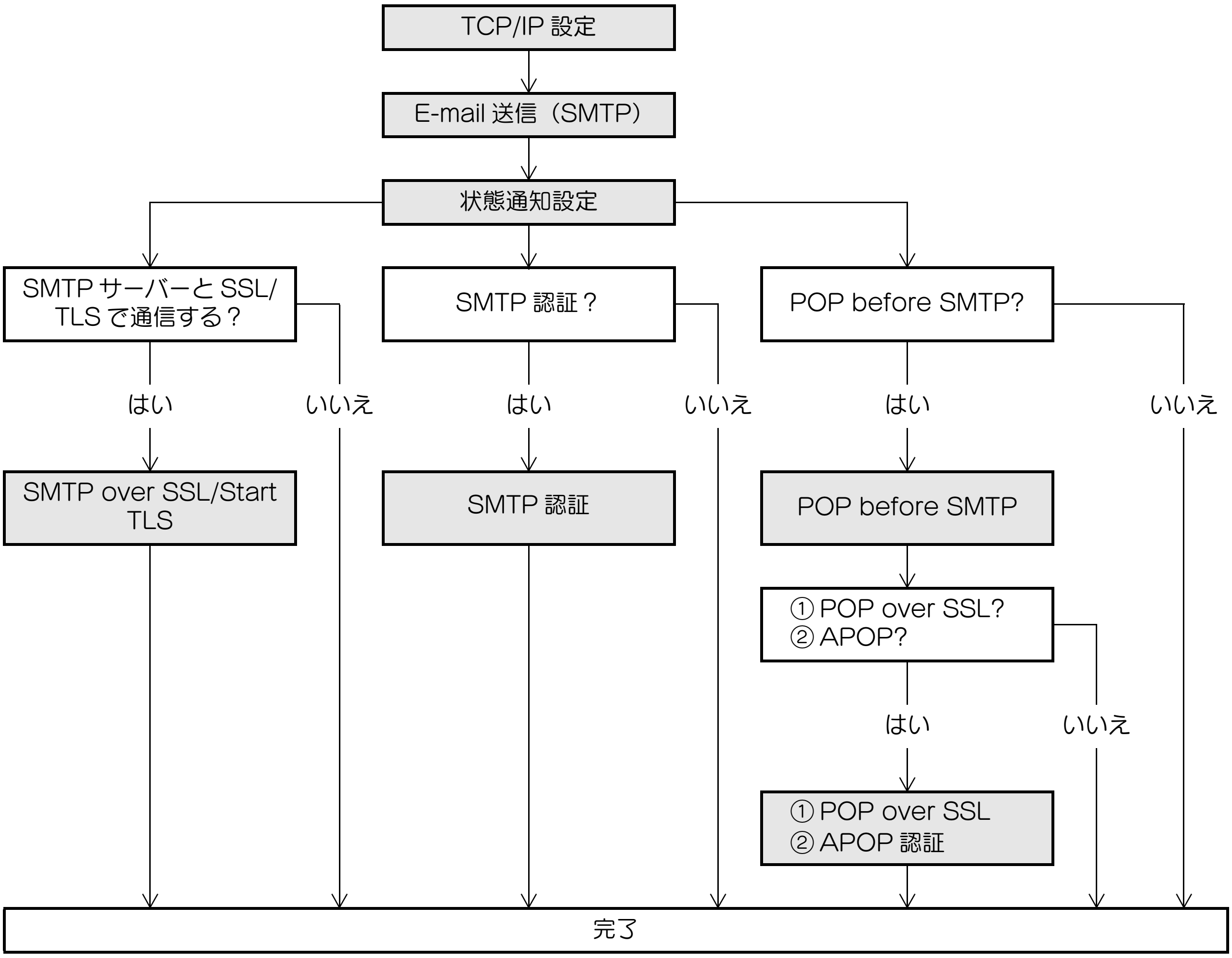


項目	説明	事前確認
SNMP 設定	SNMP を使用するかどうかを設定します。使用する場合、SNMP v1/v2 c (IP)、SNMP v3、SNMP v1(IPX) を使用するかどうか設定できます。 SNMP v1(IPX) は IPX が有効時のみ設定できます。	使用するプロトコル（TCP/IP または IPX/SPX）
UDP ポート設定	初期値：161 UDP ポート番号を設定します。	
SNMP v1/v2c 設定	SNMP v1/v2c に関する設定を行います。	
Read Community Name	読み取り時に使用されるコミュニティ名を設定します（半角 15 文字以下）。	
Write Community Name	読み書き用のコミュニティ名を設定します（半角 15 文字以下）。	
SNMP v3 設定	SNMP v3 に関する設定を行います。	
Context Name	コンテキスト名を設定します（半角 63 文字以下）。	
Discovery User Name	検出用ユーザー名を設定します（半角 32 文字以下）。	
Read User Name	読み取り専用ユーザーのユーザー名を設定します（半角 32 文字以下）。	
Security Level	読み取り専用ユーザーのセキュリティーレベルを設定します。	
auth-password	認証に使用する読み取り専用ユーザーの認証パスワードを設定します（半角 32 文字以下）。	
priv-password	プライバシ（暗号）に使用する読み取り専用ユーザーのプライバシパスワードを設定します（半角 32 文字以下）。	

項目	説明	事前確認
Write User Name	読み書き専用ユーザーのユーザー名を設定します（半角 32 文字以下）。	
Security Level	読み書き専用ユーザーのセキュリティーレベルを設定します。	
auth-password	認証に使用する読み書き専用ユーザーの認証パスワードを設定します（半角 32 文字以下）。	
priv-password	プライバシ（暗号）に使用する読み書き専用ユーザーのプライバシパスワードを設定します（半角 32 文字以下）。	
暗号化アルゴリズム	暗号化アルゴリズムを設定します。	
認証方式	認証方式を設定します。	

9.19　本機の状態を通知する（E-mail）

本機の状態を管理者に E-mail で通知するための設定を行います。
本機に警告が発生したときに、指定した宛先に E-mail で通知できます。
POP before SMTP、APOP、SMTP 認証や SSL/TLS による暗号化を組み合わせて通信できます。
以下のフローチャートを参考にして設定してください。



9.19.1　　TCP/IP 設定

TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。
詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

9.19.2　E-mail 送信（SMTP）

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「E-mail 設定」－「E-mail 送信（SMTP）」を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
E-mail 送信設定	「使用する」を選択します。	
E-mail 通知機能	「使用する」を選択します。	
SMTP サーバーアドレス	SMTP サーバーアドレスを設定します。（書式：「***.***.***.***」、***：0 ～ 255） DNS サーバーを指定している場合は、ホスト名で設定できます。 IPv6 でも設定できます。	サーバーのアドレス
ポート番号	初期値：25 ポート番号を設定します。	サーバーのポート番号
接続タイムアウト	サーバーとの接続タイムアウトを設定します。	
最大メールサイズ	送信メールのサイズを制限するかどうか設定します。	
サーバー容量	最大メールサイズを制限する場合は、添付ファイルを含むメールサイズの上限値を設定します。 上限値を超えるメールは破棄されます。 メールを分割する場合は、この設定は無効となります。	サーバーの受信制限値
管理者アドレス	管理者のアドレスが表示されます。 管理者アドレスが設定されていない場合は、「本体登録」で管理者アドレスを設定してください。	管理者のアドレス
バイナリー分割	メールを分割する場合は、「使用する」を選択します。 メールを受信したメールソフトに復元機能がない場合は、メールを読むことができない可能性があります。	メールソフトの復元機能
分割メールサイズ	メールを分割する場合は、分割サイズを設定します。	サーバーの受信制限値

9.19.3　状態通知設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「メンテナンス」タブ －「状態通知設定」－「E-mail 宛先」－［編集］を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
通知先アドレス	通知先アドレスを設定します。	通知先のアドレス
トレイ紙補給	トレイの用紙がなくなったときに通知します。	
ジャム発生	紙づまりが発生したときに通知します。	
PM コール	定期点検が必要になったときに通知します。	
ステープル針交換	ステープルの針がなくなったときに通知します。	
トナー補給	トナーがなくなったときに通知します。	
フィニッシャー積載オーバー	フィニッシャー積載オーバーを通知します。	
サービスコール	サービスコールが発生したときに通知します。	
ジョブ終了	ジョブが終了したことを通知します。	
パンチくず除去	パンチくずの除去が必要なときに通知します。	
廃棄トナーボックスフル	廃棄トナーボックスの交換が必要なときに通知します。	
IU ライフ	イメージングユニットの交換が必要なときに通知します。	
定着ユニットライフ	定着ユニットの交換が必要なときに通知します。	
転写ベルトユニットライフ	転写ベルトの交換が必要なときに通知します。	

9.19.4　SMTP over SSL/Start TLS

■ E-mail 送信（SMTP）

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「E-mail 設定」－「E-mail 送信（SMTP）」を選択します。

以下の設定を行います。

項目	説明	事前確認
SSL/TLS 使用	本機と SMTP サーバー間の通信を SSL/TLS で暗号化する場合は、「SMTP over SSL」または「Start TLS」を選択します。	サーバーは SSL、START TLS に対応するか
ポート番号	初期値：25 「Start TLS」を選択した場合は、ポート番号を設定します。	サーバーのポート番号
ポート番号（SSL）	初期値：465 「SMTP over SSL」を選択した場合は、SSL 通信で使用するポート番号を設定します。	サーバーのポート番号

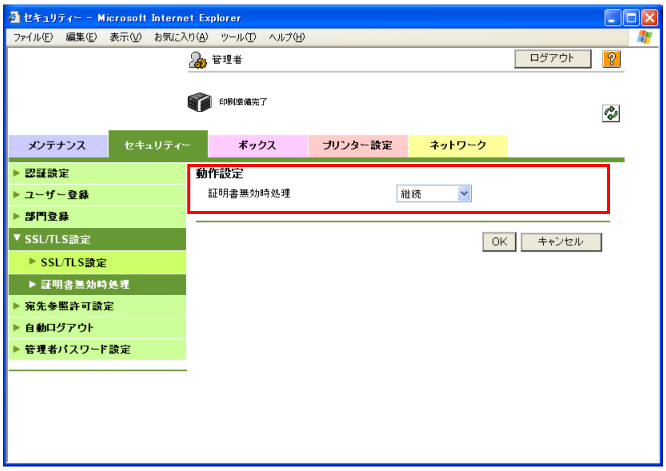
■ 証明書無効時処理

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「SSL/TLS 設定」－「証明書無効時処理」を選択します。

以下の設定を行います。

ひとこと

「証明書無効時処理」を設定するためには、あらかじめ本機の証明書を作成してください。詳しくは、「本機の証明書を作成して SSL で通信する」（p. 9-45）をごらんください。



項目	説明	事前確認
証明書無効時処理	受け取った証明書の有効期間が失効していた場合の動作を設定します。 「継続」を選択した場合は、証明書の日付が無効でも処理を継続します。 「ジョブを削除」を選択した場合は、証明書の日付が無効のときジョブを削除します。	

9.19.5　SMTP 認証

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「E-mail 設定」－「E-mail 送信（SMTP）」を選択します。

以下の設定を行います。

項目	説明	事前確認
SMTP 認証	SMTP 認証を行う場合は、「SMTP 認証」にチェックを付けます。	サーバーは SMTP 認証を要求するか
ユーザー ID	SMTP 認証のユーザー ID を設定します（半角 255 文字以内）。	
パスワード	SMTP 認証のパスワードを設定します（半角 128 文字以内）。	
ドメイン名	SMTP 認証のドメイン名を設定します（半角 255 文字以内）。 認証方式が Digest-MD5 の場合に設定が必要になります。	認証方式
認証設定	ユーザー認証と連動させるかどうかを設定します。 ユーザー認証を行う場合に表示されます。	ユーザー認証と連動させるか

詳しく説明します

- SMTP 認証の認証方式は、Digest-MD5, CRAM-MD5，PLAIN、LOGIN の中から、SMTP サーバーが対応している認証方式の中で最も強度が強いものが自動で選択されます。
- ドメイン名は、ユーザーが所属するドメイン（realm）が 1 つの場合は、初期通信時に SMTP サーバーからドメイン名が通知され、そのドメイン名を使って自動的に通信するため、本機での設定は不要です。ただし、ユーザーが所属するドメイン（realm）が 2 つ以上存在する場合は、ユーザーが所属するドメイン名を指定する必要があります。

9.19.6　POP before SMTP

■ POP before SMTP

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「E-mail 設定」－「E-mail 送信（SMTP）」を選択します。

以下の設定を行います。

項目	説明	事前確認
POP before SMTP	POP before SMTP を行う場合は、「使用する」を選択します。	サーバーは POP before SMTP 認証を要求するか
POP before SMTP 時間	POP サーバーにログインしてから SMTP サーバーにアクセスするまでの時間を設定します。	POP サーバーと SMTP サーバーは異なるサーバーか

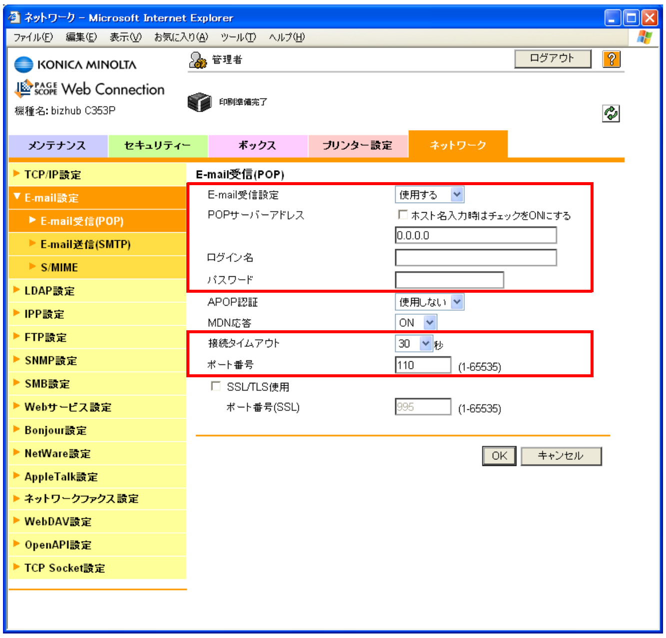
詳しく説明します

POP サーバーと SMTP サーバーが異なるサーバーの場合は、POP サーバーにログインしたことを POP サーバーが SMTP サーバーへ通知します。そのため、POP before SMTP 時間の設定時間が短すぎると、E-mail の送信ができないことがあります。

■ E-mail 受信（POP）

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「E-mail 設定」－「E-mail 受信（POP）」を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
E-mail 受信設定	POP before SMTP を行う場合は、「使用する」を選択します。	
POP サーバーアドレス	POP サーバーアドレスを設定します（書式：「***.***.***.***」、***：0 ～ 255）。 DNS サーバーを指定している場合は、ホスト名で設定できます。 IPv6 でも設定できます。	サーバーのアドレス
ログイン名	POP サーバーのログイン名を設定します（半角 63 文字以内）。	
パスワード	POP サーバーのログイン時のパスワードを設定します（半角 15 文字以内）。	
接続タイムアウト	サーバーとの接続タイムアウトを設定します。	
ポート番号	初期値：110 ポート番号を設定します。	サーバーのポート番号

9.19.7　POP over SSL

■ E-mail 受信（POP）

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「E-mail 設定」－「E-mail 受信（POP）」を選択します。

以下の設定を行います。

項目	説明	事前確認
SSL/TLS 使用	本機と POP サーバー間の通信を SSL で暗号化する場合は、「SSL/TLS 使用」にチェックを付けます。	サーバーは SSL に対応するか
ポート番号（SSL）	初期値：995 SSL 通信で使用するポート番号を設定します。	サーバーのポート番号

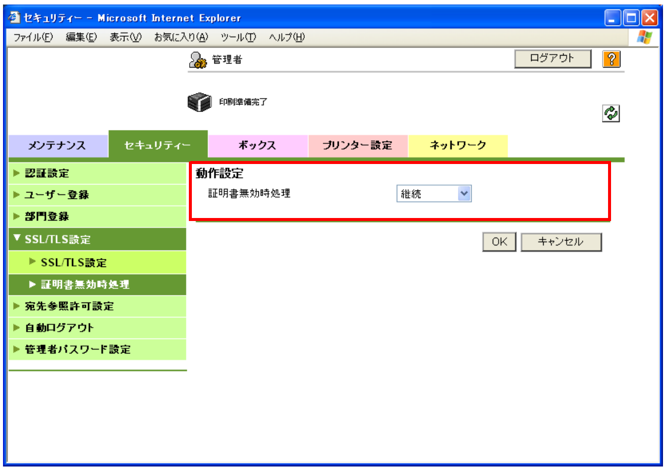
■ 証明書無効時処理

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「SSL/TLS 設定」－「証明書無効時処理」を選択します。

以下の設定を行います。

ひとこと

「証明書無効時処理」を設定するためには、あらかじめ本機の証明書を作成してください。詳しくは、「本機の証明書を作成して SSL で通信する」（p. 9-45）をごらんください。



項目	説明	事前確認
証明書無効時処理	受け取った証明書の有効期間が失効していた場合の動作を設定します。 「継続」を選択した場合は、証明書の日付が無効でも処理を継続します。 「ジョブを削除」を選択した場合は、証明書の日付が無効のときジョブを削除します。	

9.19.8　APOP 認証

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「E-mail 設定」－「E-mail 受信（POP）」を選択します。

以下の設定を行います。

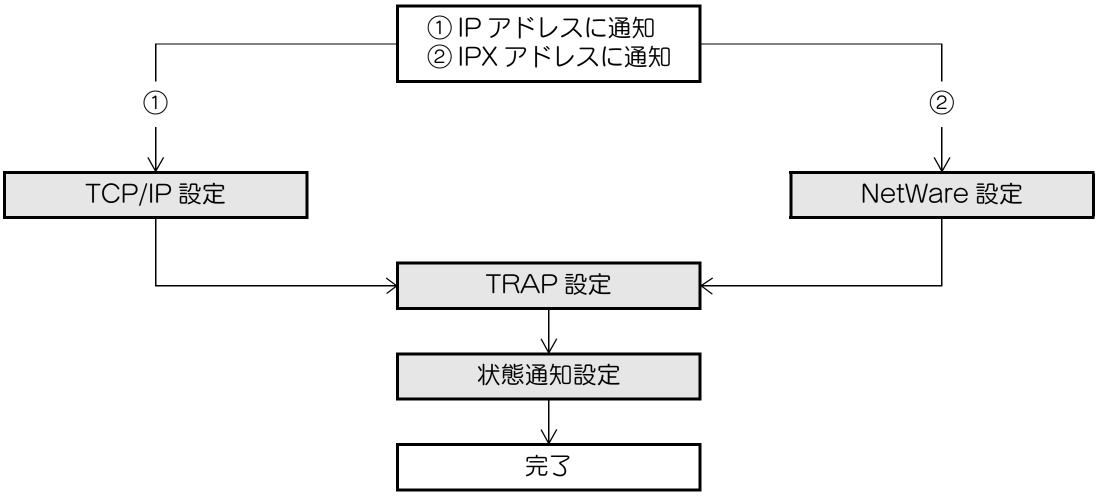
項目	説明	事前確認
APOP 認証	POP サーバーへログインするときに、ログイン名とパスワードを暗号化する場合は、「使用する」を選択します。	サーバーは APOP を要求するか

詳しく説明します

APOP を使用して POP サーバーにログインする場合は、パスワードが Digest-MD5 で暗号化されます。APOP 認証を「使用する」に設定した場合は、POP サーバーが APOP に対応していないとサーバーにログインできません。

9.20　本機の状態を通知する（TRAP）

本機の状態を管理者に SNMP の TRAP 機能で通知するための設定を行います。
本機に警告が発生したときに、指定した IP アドレスまたは IPX アドレスに TRAP で通知できます。
以下のフローチャートを参考にして設定してください。



参照

SNMP の TRAP 機能を使用するためには、あらかじめ SNMP の設定を行ってください。詳しくは、「SNMP マネージャーで本機を監視する」（p. 9-60）をごらんください。

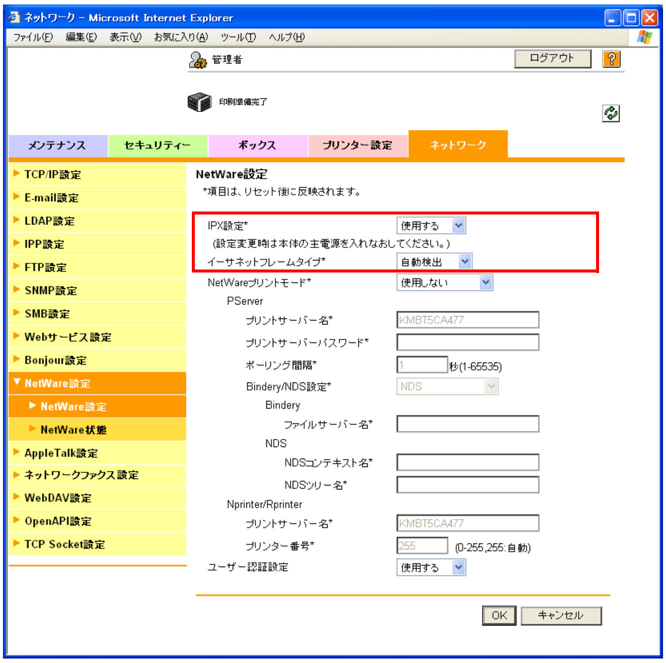
9.20.1　TCP/IP 設定

TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。
詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

9.20.2　NetWare 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「NetWare 設定」－「NetWare 設定」を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
IPX 設定	「使用する」を選択します。	
イーサネットフレームタイプ	使用するフレームタイプを設定します。	フレームタイプ

9.20.3　TRAP 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「SNMP 設定」を選択します。

以下の設定を行います。

項目	説明	事前確認
TRAP 許可設定	「許可する」を選択します。	
認証失敗時の TRAP 設定	認証失敗時に TRAP 機能を使用するかどうかを設定します。	

9.20.4　状態通知設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「メンテナンス」タブ －「状態通知設定」－「IP（IPX）アドレス」－［編集］を選択します。

設定内容について詳しくは、「状態通知設定」（p. 9-65）をごらんください。

9.21 TCP Socket/OpenAPI/FTP サーバー機能を使用する

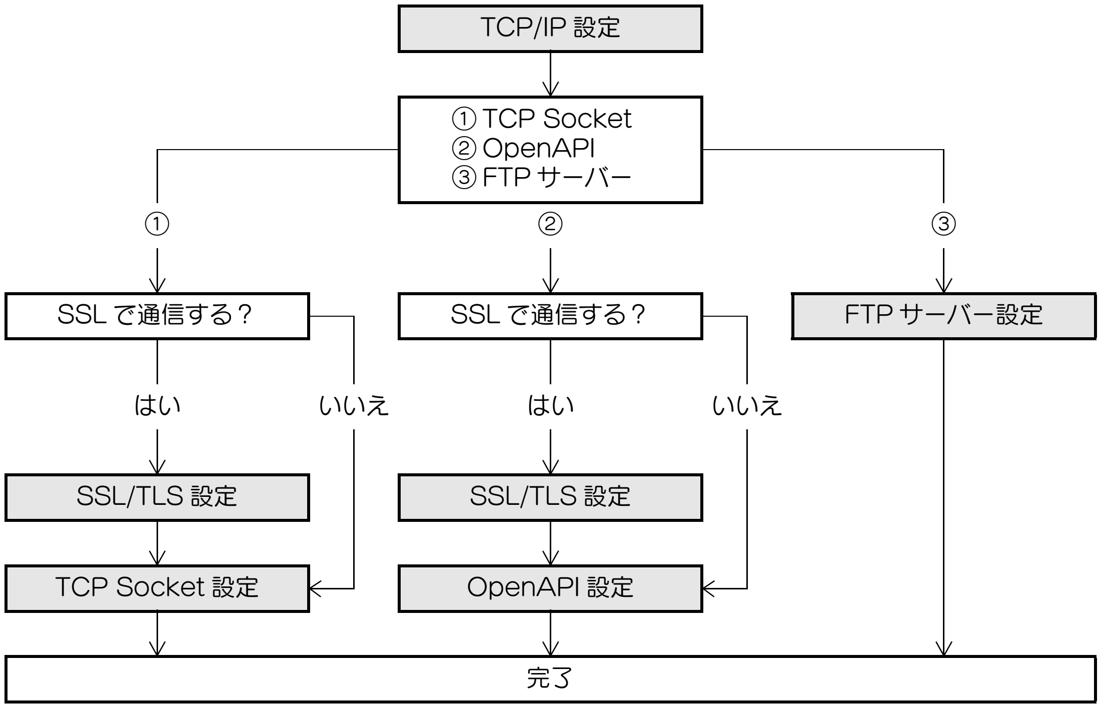
本機の TCP Socket/OpenAPI/FTP サーバーに関する設定を行います。

TCP Socket は、コンピューターのアプリケーションソフトと本機とのデータ通信に使用されます。

OpenAPI は、本機と OpenAPI を使用した他のシステムを連携させたい場合に設定します。

本機の FTP サーバー機能を設定することで、本機を FTP サーバーとして使用できます。ファームウェアのアップデート時や FTP クライアントとして本機と連携するアプリケーションソフトを使用する場合に設定します。

以下のフローチャートを参考にして設定してください。



9.21.1 TCP/IP 設定

TCP/IP のネットワーク環境で本機を使用するための設定を行います。

詳しくは、「TCP/IP で通信するための基本設定を行う」（p. 2-2）をごらんください。

9.21.2 SSL/TLS 設定

SSL で通信するための設定を行います。

詳しくは、「本機の証明書を作成して SSL で通信する」（p. 9-45）をごらんください。

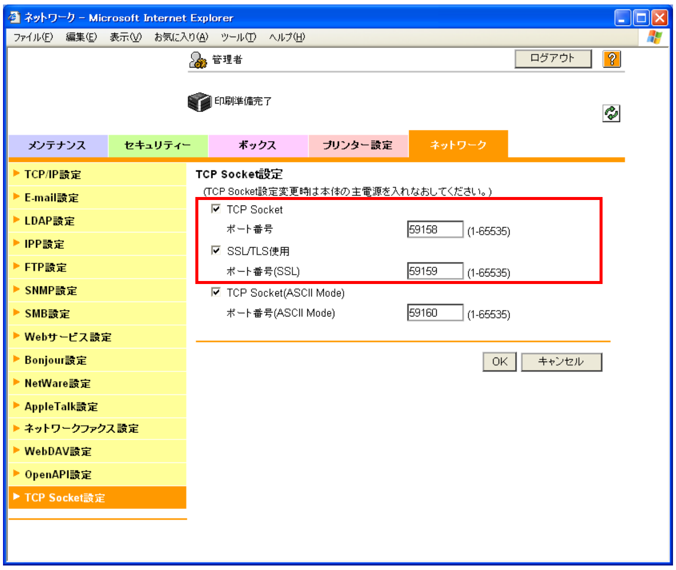
9.21.3　TCP Socket 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「TCP Socket 設定」を選択します。

以下の設定を行います。

詳しく説明します

SSL/TLS を使用する場合は、あらかじめ証明書のインストールを行ってください。詳しくは、「本機の証明書を作成して SSL で通信する」（p. 9-45）をごらんください。



項目	説明	事前確認
TCP Socket	「使用する」を選択します。	
ポート番号	ポート番号を設定します。	
SSL/TLS 使用	SSL/TLS を使用する場合は、「SSL/TLS 使用」にチェックを付けます。	SSL/TLS を使用するか
ポート番号（SSL）	SSL 通信で使用するポート番号を設定します。	

ひとこと

セキュリティー強化設定が ON の場合、「SSL/TLS 使用」が有効に設定されます。

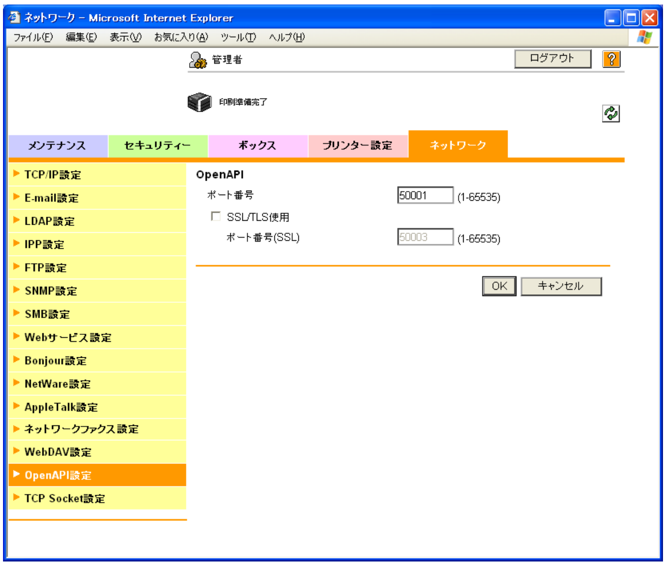
9.21.4 OpenAPI 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ ‒「OpenAPI 設定」を選択します。

以下の設定を行います。

詳しく説明します

SSL/TLS を使用する場合は、あらかじめ証明書のインストールを行ってください。詳しくは「本機の証明書を作成して SSL で通信する」（p. 9-45）をごらんください。



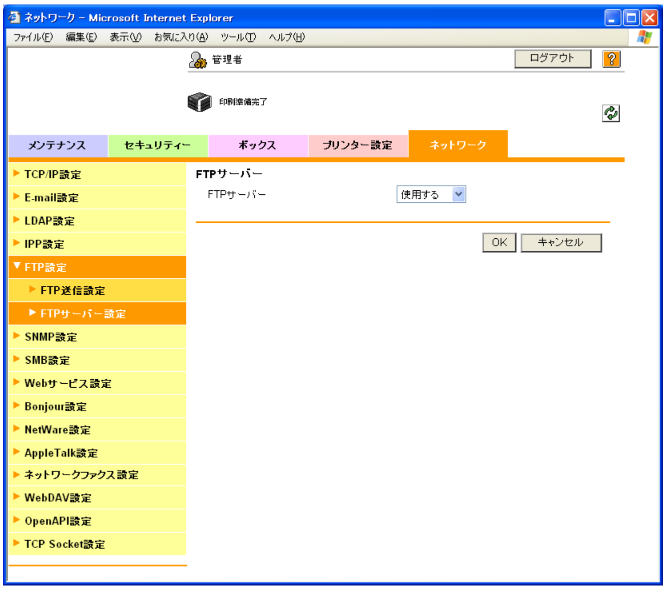
項目	説明	事前確認
ポート番号	ポート番号を設定します。	
SSL/TLS 使用	SSL/TLS を使用する場合は、「SSL/TLS 使用」にチェックを付けます。	SSL/TLS を使用するか
ポート番号（SSL/TLS）	SSL 通信で使用するポート番号を設定します。	

ひとこと

セキュリティー強化設定が ON の場合、「SSL/TLS 使用」が有効に設定されます。

9.21.5 FTP サーバー設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ －「FTP 設定」－「FTP サーバー設定」を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明	事前確認
FTP サーバー	「使用する」を選択します。	

ひとこと

セキュリティー強化設定が ON の場合、「使用しない」が設定されます。

9.22 メンテナンスタブのその他の設定項目

PageScope Web Connection のメンテナンスタブで設定できるその他の項目を説明します。

9.22.1 タイマー機能を使用する

本機のタイマー機能の設定を行います。
パワーセーブ機能を設定できます。

■ パワーセーブ設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「メンテナンス」タブ －「タイマー設定」－「パワーセーブ設定」を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明
低電力設定	低電力モードに移行するまでの時間を設定します。
スリープ設定	スリープモードに移行するまでの時間を設定します。
パワーセーブキー節電切替	パワーセーブ（低電力／スリープ）の機能を手動で設定します。

9.22.2　設定情報を初期化する

本機の設定情報を初期化します。
ネットワーク設定、コントローラー、宛先設定を初期化できます。

■ ネットワーク設定クリア

PageScope Web Connection の管理者モードで、「メンテナンス」タブ －「初期化」－「ネットワーク設定クリア」を選択します。
［クリア］をクリックすると、本機のネットワーク設定を工場出荷時の設定に戻します。

ひとこと

セキュリティー強化設定が ON の場合、このメニューは表示されません。



■ リセット

PageScope Web Connection の管理者モードで、「メンテナンス」タブ －「初期化」－「リセット」を選択します。
［リセット］をクリックすると、コントローラーをリセットします。

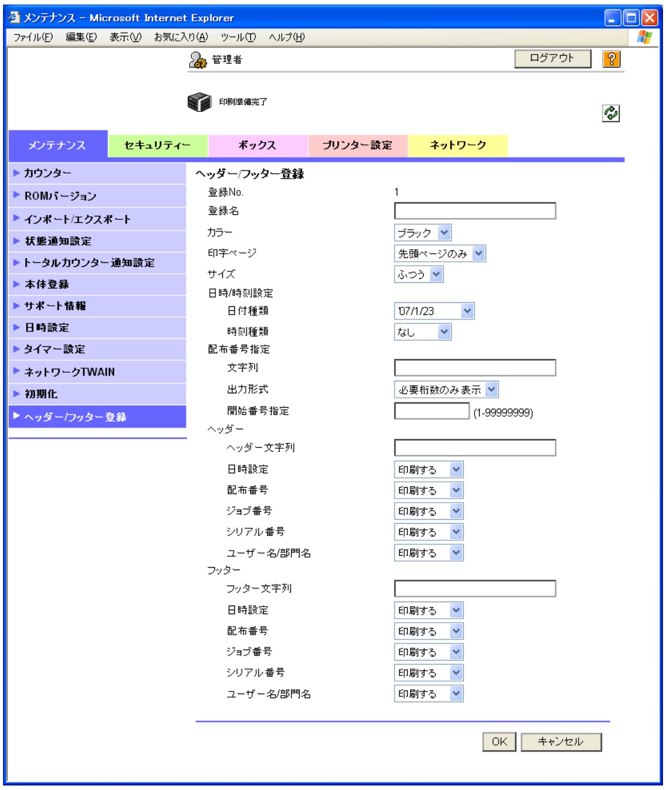


9.22.3　ヘッダー／フッターを登録する

本機で印刷をするときに、ヘッダー／フッターとして指定できる文字列などを登録します。
ここで登録したヘッダー／フッターは、プリンタドライバで選択できます。

■ ヘッダー / フッター登録

PageScope Web Connection の管理者モードで、「メンテナンス」タブ －「ヘッダー / フッター登録」－［編集］を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明
登録 No.	登録番号が表示されます。
登録名	登録名を設定します。
カラー	カラーを設定します。
印字ページ	印字ページを設定します。
サイズ	サイズを設定します。
日時 / 時刻設定	日付種類と時刻種類を設定します。
配布番号指定	配布番号の文字列を設定します。出力形式を選択し、開始番号を指定します。
ヘッダー／フッター	以下の項目を印刷するかどうか設定します。 ・ヘッダー／フッター文字列（それぞれ半角 40 文字、全角 20 文字以内） ・日時設定 ・配布番号 ・ジョブ番号 ・シリアル番号 ・ユーザー名 / 部門名

9.23 セキュリティータブのその他の設定項目

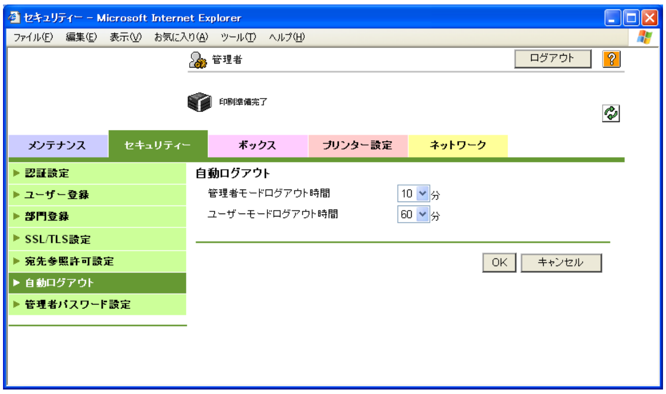
PageScope Web Connection のセキュリティータブで設定できるその他の項目を説明します。

9.23.1 自動ログアウト時間を設定する

管理者モード、ユーザーモードの自動ログアウト時間を設定します。
設定した時間内に操作が行われない場合は、自動的にログアウトされます。

■ 自動ログアウト

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「自動ログアウト」を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明
管理者モードログアウト時間	管理者モードで一定時間操作を行わない場合に、自動的にログアウトされるまでの時間を設定します。
ユーザーモードログアウト時間	ユーザーモードで一定時間操作を行わない場合に、自動的にログアウトされるまでの時間を設定します。

9.23.2　　管理者パスワードを設定する

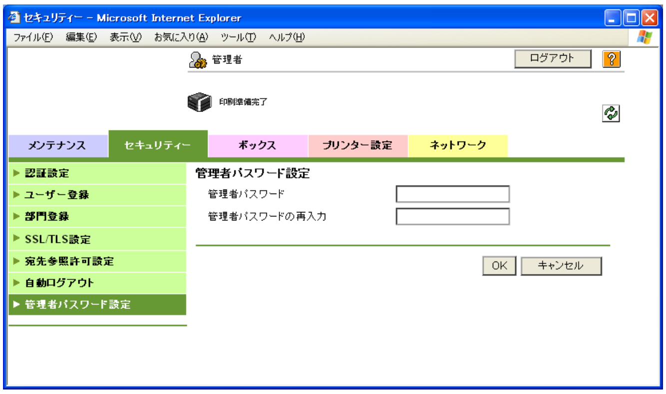
本機の管理者パスワードを設定します。

■ 管理者パスワード設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「セキュリティー」タブ －「管理者パスワード設定」を選択します。
以下の設定を行います。

ひとこと

・セキュリティー強化設定が ON の場合は、このメニューは表示されません。
・本機の証明書がインストールされていない場合は、このメニューは表示されません。



項目	説明
管理者パスワード	管理者パスワードを設定します（半角 8 文字以内）。
管理者パスワードの再入力	確認のため、管理者パスワードを再入力します。

詳しく説明します

「パスワード規約」を ON に設定している場合、8 文字未満のパスワードを登録することはできません。すでに登録済みのユーザーパスワードが 8 文字未満の場合は「パスワード規約」を ON にする前に 8 文字に変更してください。パスワード規約について詳しくは「管理者設定メニュー」（p. 8-25）をごらんください。

9.24 プリンター設定タブの設定項目

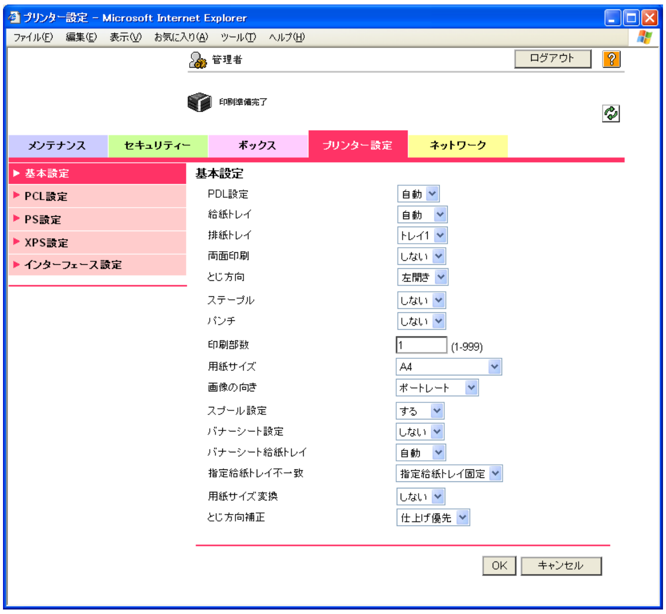
PageScope Web Connection のプリンター設定タブで設定できる項目を説明します。
プリンター設定タブでは、本機のプリント機能に関連した設定を行えます。

9.24.1 プリント機能の初期設定を行う

プリント機能の初期設定を行います。

■ 基本設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「プリンター設定」タブ － 「基本設定」を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明
PDL 設定	PDL 言語を設定します。
給紙トレイ	給紙トレイを設定します。
排紙トレイ	排紙トレイを設定します。
両面印刷	両面印刷を行うかどうかを設定します。
とじ方向	とじ方向を設定します。
ステープル	ステープルを行うかどうかを設定します。行う場合は、ステープル数を設定します。
パンチ	パンチを行うかどうかを設定します。
印刷部数	印刷部数を設定します。
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。
画像の向き	画像の向きを設定します。
スプール設定	印刷ジョブを HDD へスプールするかどうかを設定します。
バナーシート設定	先頭ページにバナーページを印刷するかどうかを設定します。
バナーシート給紙トレイ	バナーページを印刷するデフォルトの給紙トレイを設定します。
指定給紙トレイ不一致	指定された給紙トレイに適合する用紙がない場合、別の給紙トレイから印刷を続けるかどうかを設定します。
用紙サイズ変換	A4（Letter）/A3（Ledger）原稿の印刷で、Letter（A4）/Ledger（A3）の給紙トレイが選択された場合、画像欠損等を考慮せずにそのまま等倍で印字するかどうかを設定します。
とじ方向補正	とじ方向補正の方法を設定します。

ひとこと

・ステープル機能は、オプションのフィニッシャーが装着されている場合のみ使用可能となります。
・パンチ機能は、オプションのフィニッシャーとパンチキットが装着されている場合のみ使用可能となります。

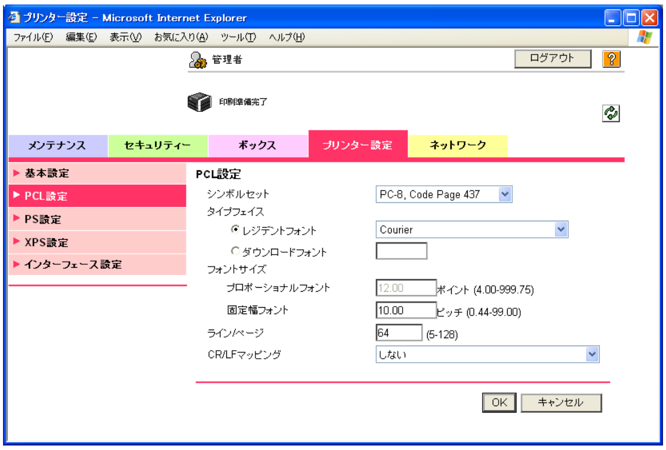
9.24.2　PCL/PS/XPS プリントに関する設定を行う

PCL/PS/XPS プリントに関する設定を行います。

■ PCL 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「プリンター設定」タブ －「PCL 設定」を選択します。

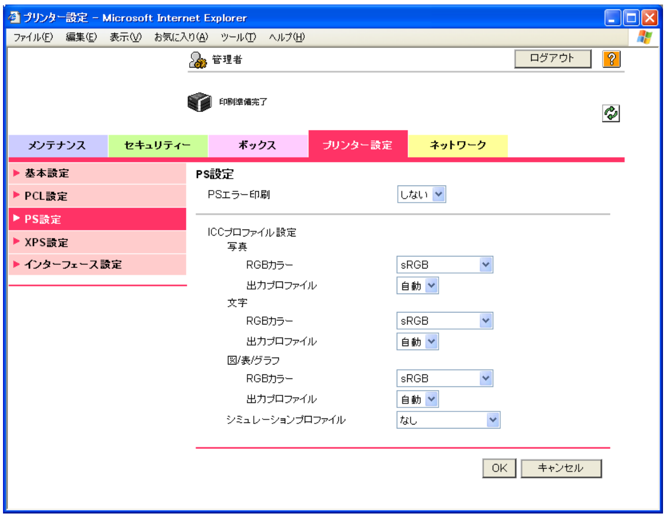
以下の設定を行います。



項目	説明
シンボルセット	シンボルセットを設定します。
タイプフェイス	内蔵されているフォント（レジデントフォント）か、ダウンロードされたフォント（ダウンロードフォント）かを選択します。
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。
ライン / ページ	1 ページあたりの行数を設定します。
CR/LF マッピング	テキストデータの CR/LF の置き換えをどのようにするかを設定します。

■ PS 設定

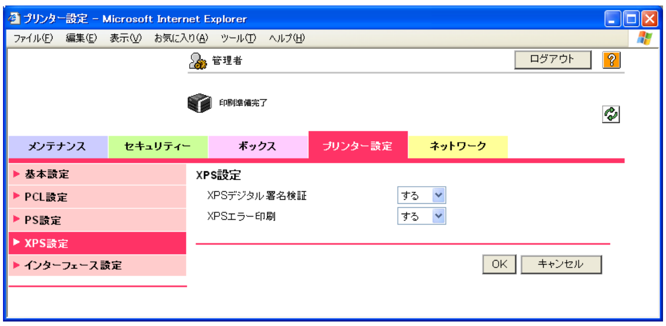
PageScope Web Connection の管理者モードで、「プリンター設定」タブ －「PS 設定」を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明
PS エラー印刷	PS のラスタライズ時にエラーが発生した場合に、エラー情報を印字するかどうかを設定します。
ICC プロファイル設定	ICC プロファイルを設定します。
写真	プリンタードライバーで「写真」を選択したときのプロファイルの初期値を設定します。
文字	プリンタードライバーで「文字」を選択したときのプロファイルの初期値を設定します。
図 / 表 / グラフ	プリンタードライバーで「図 / 表 / グラフ」を選択したときのプロファイルの初期値を設定します。
シミュレーションプロファイル	シミュレーション用の ICC プロファイルの初期値を設定します。

■ XPS 設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「プリンター設定」タブ －「XPS 設定」を選択します。
以下の設定を行います。



項目	説明
XPS デジタル署名検証	デジタル署名検証を行うかどうかを設定します。「する」を選択すると、署名が無効な場合はプリントされません。
XPS エラー印刷	XPS の印刷時にエラーが発生した場合に、エラー情報を印字するかどうかを設定します。

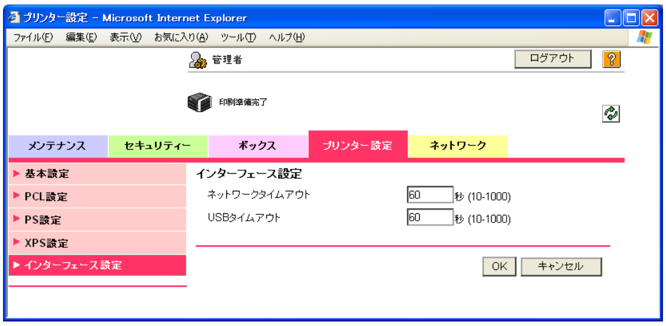
9.24.3　インターフェースのタイムアウト時間を設定する

インターフェースのタイムアウトを設定します。

■ インターフェース設定

PageScope Web Connection の管理者モードで、「プリンター設定」タブ －「インターフェース設定」を選択します。

以下の設定を行います。



項目	説明
ネットワークタイムアウト	ネットワーク受信タイムアウトを設定します。
USB タイムアウト	USB タイムアウトを設定します。

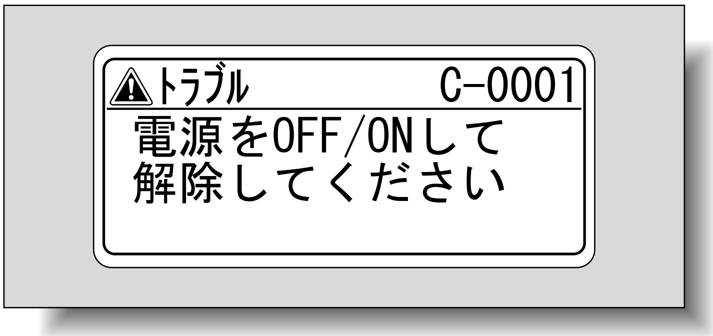
第 10 章
トラブルの処理

トラブルの処理方法について説明します。

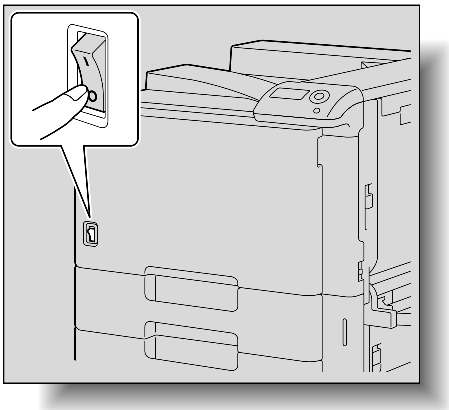
10.1 「トラブル」が表示されたら（サービスコール）

トラブルの種類には、前ドアを開閉して処理するトラブル、電源をOFF/ON して処理するトラブル、処理できないトラブルがあります。画面のメッセージにしたがって、トラブル処理をしてください。処理または解除できない場合は、トラブルコードを販売店または弊社に連絡してください。

例：電源を OFF/ON して処理するトラブル（C0001）



1. サービスコール画面のトラブルコード（例：C-0001）を書留めてください。
2. 【電源スイッチ】を OFF にします。



3. 本体の電源プラグをコンセントから抜きます。
4. 販売店または弊社に連絡し、書留めたトラブルコードをお知らせください。

必ず守ってください

- 故障の原因になるおそれがありますので、サービスコール画面が表示されたら、速やかに左記の手順にしたがって販売店または弊社にご連絡ください。
- CS Remote Care による管理が行われている機械の場合は、「サービスに通知します」の表示後に、【電源スイッチ】を OFF にして、本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。

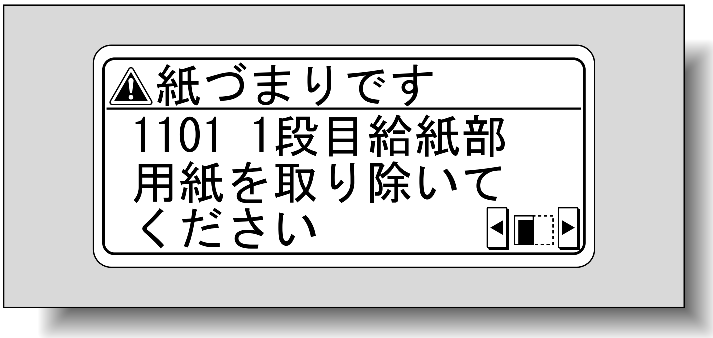
ひとこと

サービス実施店による CS Remote Care が行われている機械の場合は、自動でサービス実施店にトラブルコードが連絡されます。

10.2 「紙づまりです」と表示されたら

印刷中に紙づまりが発生すると、「紙づまりです」というメッセージと、紙づまりの箇所が画面上に表示されます。（紙づまり位置表示画面）

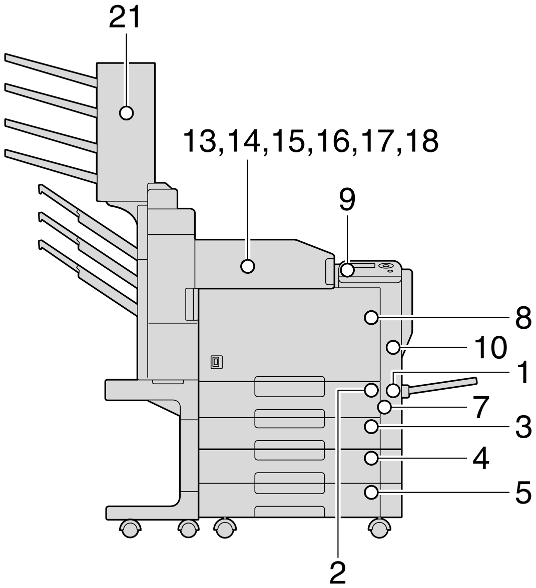
このとき、紙づまりが適切に処理されるまでは、印刷ができなくなっています。



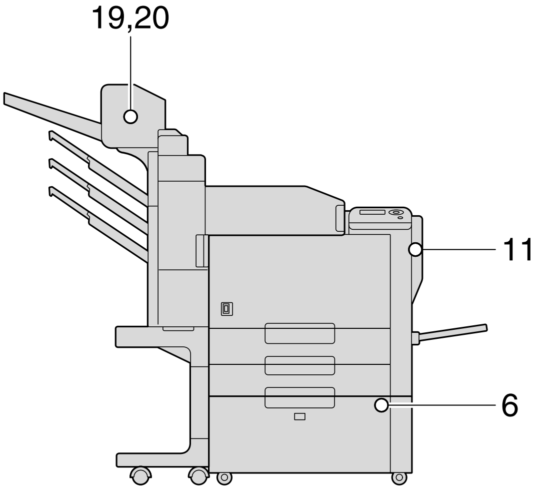
ひとこと

紙づまりが発生した箇所により紙づまり処理手順が異なります。紙づまり位置表示を見て、それぞれの説明にしたがって用紙を取除いてください。

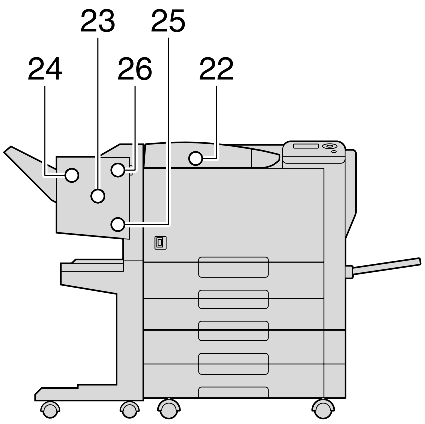
10.2.1 紙づまり位置表示



* 本図はオプションのフィニッシャー FS-519、メールビン、2 段給紙キャビネットを装着しています。



* 本図はオプションのフィニッシャー FS-519、中綴じ機、トレイ 4（大容量）を装着しています。



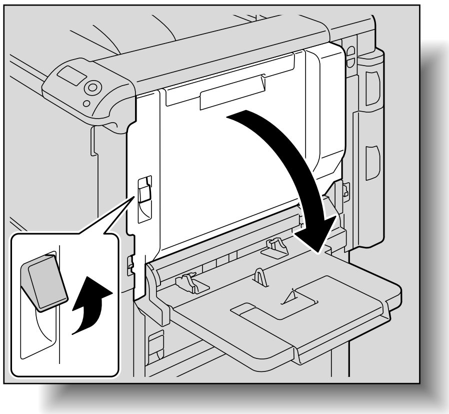
* 本図はオプションのフィニッシャー FS-609、2 段給紙キャビネットを装着しています。

No.	コード	説明
1	1001	トレイ 1（手差し）での紙づまり（p. 10-12）
2	1101	トレイ 2 での紙づまり（p. 10-16）
3	1201	トレイ 3 での紙づまり（p. 10-19）
4	1301	トレイ 4 での紙づまり（p. 10-21）
5	1401	トレイ 5 での紙づまり（p. 10-21）
6	1501	トレイ 4（大容量）での紙づまり（p. 10-23）
7	2001	用紙縦搬送部での紙づまり（p. 10-15）
8	3001	本体内部での紙づまり（p. 10-8）
9	3201	定着部での紙づまり（p. 10-5）
10	9201	本体内部での紙づまり（p. 10-8）
11	9301	両面ユニットでの紙づまり（p. 10-11）
12	9901	本体内部での紙づまり（p. 10-8）
13	7216	フィニッシャー FS-519 での紙づまり（p. 10-29）
14	7218	フィニッシャー FS-519 での紙づまり（p. 10-29）
15	7221	フィニッシャー FS-519 での紙づまり（p. 10-29）
16	7225	フィニッシャー FS-519 での紙づまり（p. 10-29）
17	7243	フィニッシャー FS-519 での紙づまり（p. 10-29）
18	7281	フィニッシャー FS-519 での紙づまり（p. 10-29）
19	7284	中綴じ機での紙づまり（p. 10-34）
20	7285	中綴じ機での紙づまり（p. 10-34）
21	7290	メールビンでの紙づまり（p. 10-32）
22	7216	フィニッシャー FS-609 での紙づまり（p. 10-36）
23	7218	フィニッシャー FS-609 での紙づまり（p. 10-36）
24	7221	フィニッシャー FS-609 での紙づまり（p. 10-36）
25	7225	フィニッシャー FS-609 での紙づまり（p. 10-36）
26	7281	フィニッシャー FS-609 での紙づまり（p. 10-36）

10.2.2　定着部での紙づまり処理のしかた

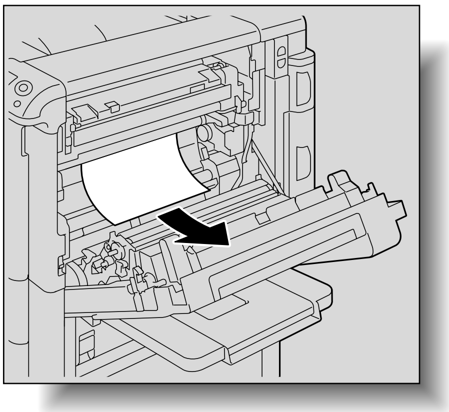
1

右上ドア解除レバーを引き、右上ドアを開きます。

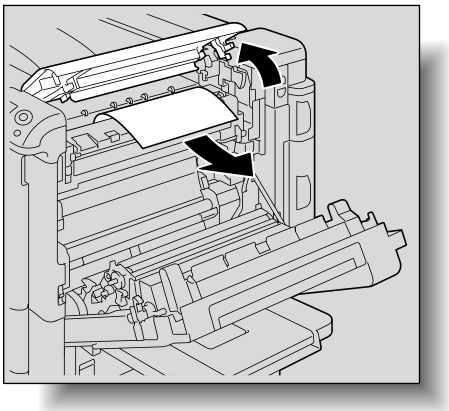


2

定着部につまっている用紙をゆっくり取除きます。



❍ 下側に取除くことができない場合は、定着ユニット上カバーを押上げ、上側に取除きます。



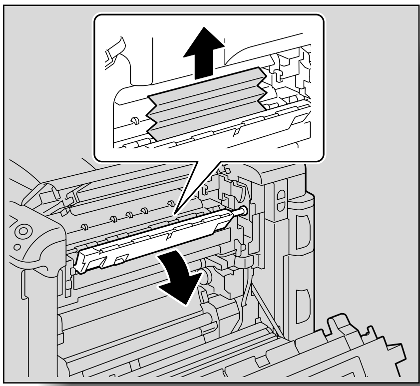
参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 10-3)をごらんください。

必ず守ってください

- 定着部につまっている用紙は下側に取除いてください。
- 用紙が以下のような状態になっている場合は、販売店または弊社までご連絡ください。
  - 用紙が定着ユニット内部に巻きついている場合
  - 用紙が定着ユニット内部のローラー部に折曲がり、噛みこんでいる場合
  - 取除いた用紙が破れ、定着ユニット内に残ってしまった場合
- 定着部を通っていないトナーは衣服または手などに付着することがあります。取扱いには十分に注意してください。

- 定着ユニット内部で、じゃばら状に用紙がつまっている場合は、定着カバー【M2】を開いて取除きます。

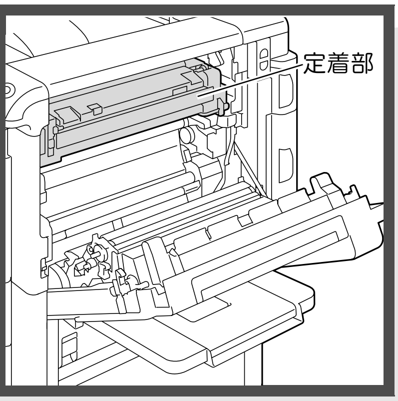


⚠注意



定着部周辺は高温となっています。

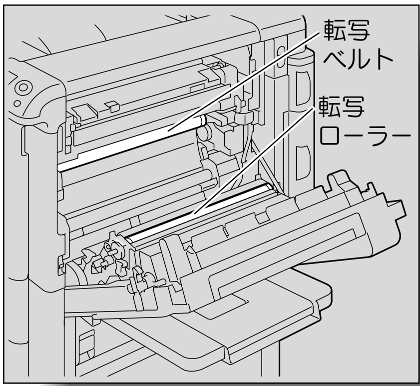
やけどの原因となりますので、指定されたつまみやダイアル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



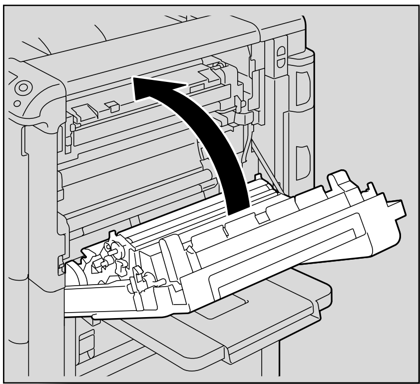
⚠注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。
トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

❍ 転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

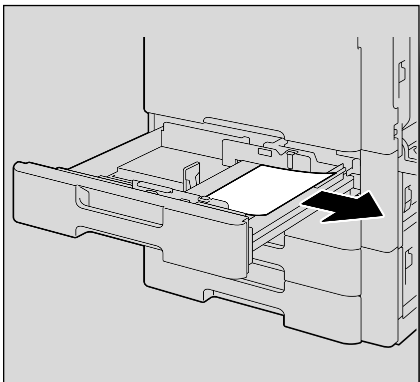


3 右上ドアを閉じます。



4 使用しているトレイを引出します。

5 つまっている用紙を取除きます。



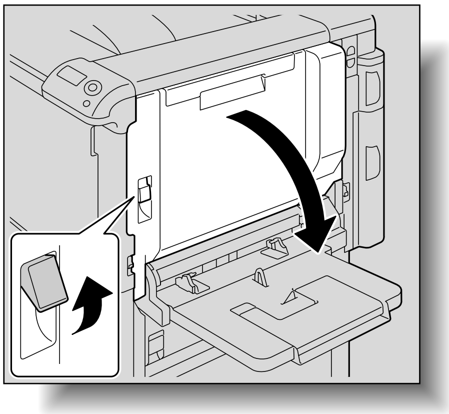
6 トレイを元に戻します。

必ず守ってください

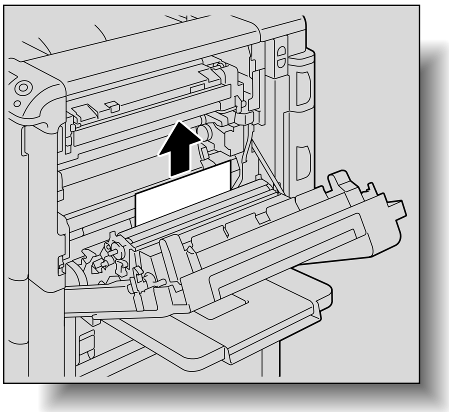
フィルムには手を触れないように注意してください。

10.2.3　本体内部での紙づまり処理のしかた

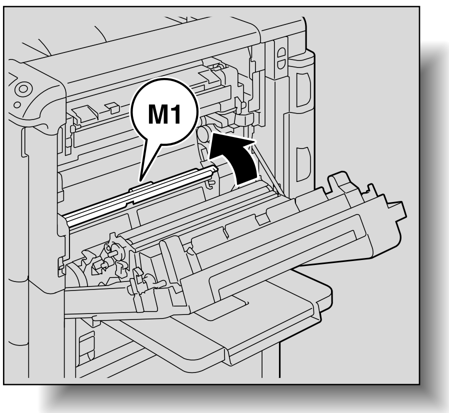
1 右上ドア解除レバーを引き、右上ドアを開きます。



2 本体内部につまっている用紙をゆっくり取除きます。



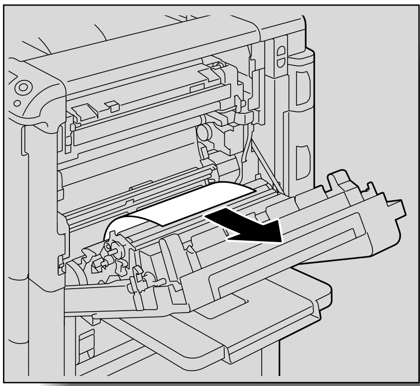
3 用紙の先端がタイミングローラー部にある場合は、内部カバー【M1】を開きます。



参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 10-3）をごらんください。

4 タイミングローラ部につまった用紙をゆっくり取除きます。

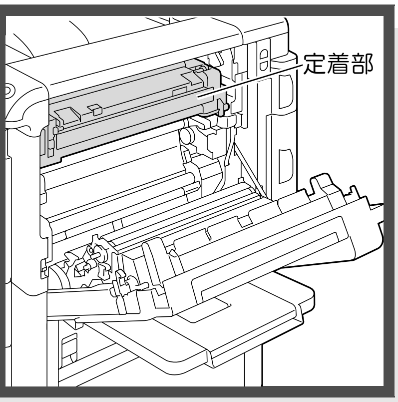


⚠注意



定着部周辺は高温となっています。

やけどの原因となりますので、指定されたつまみやダイアル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



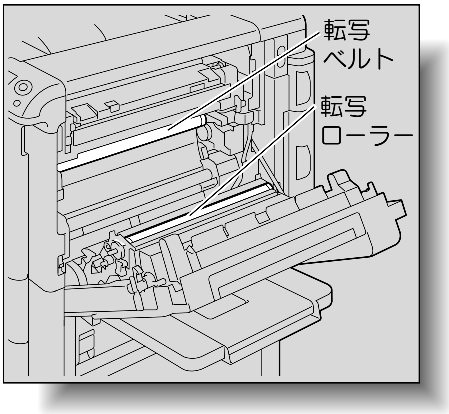
⚠注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。
トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

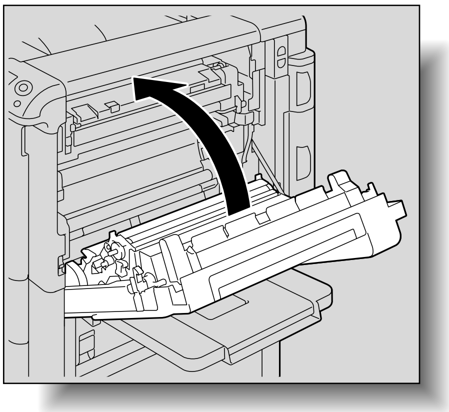
必ず守ってください

- 用紙が以下の状態になっている場合は、販売店または弊社までご連絡ください。
  - 用紙がタイミングローラー内部に巻きついている場合
  - 用紙がタイミングローラー内部に折曲がり、噛みこんでいる場合
- 定着部を通っていないトナーは衣服または手などに付着することがあります。取扱いには十分に注意してください。

❍ 転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

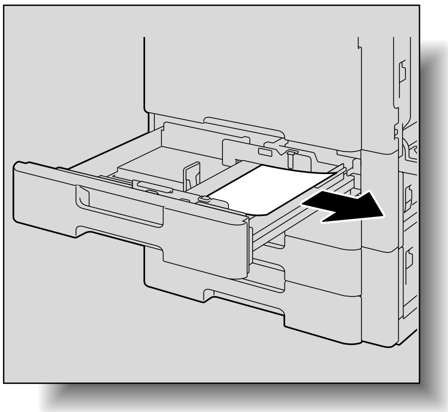


5 右上ドアを閉じます。



6 使用しているトレイを引出します。

7 つまっている用紙を取除きます。



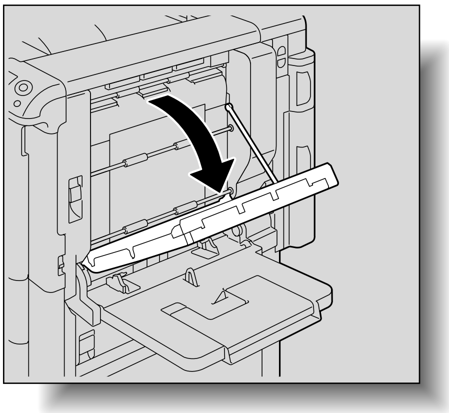
8 トレイを元に戻します。

必ず守ってください

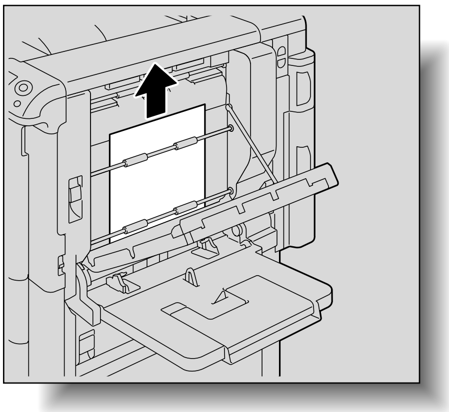
フィルムには手を触れないように注意してください。

10.2.4 自動両面ユニットでの紙づまり処理のしかた

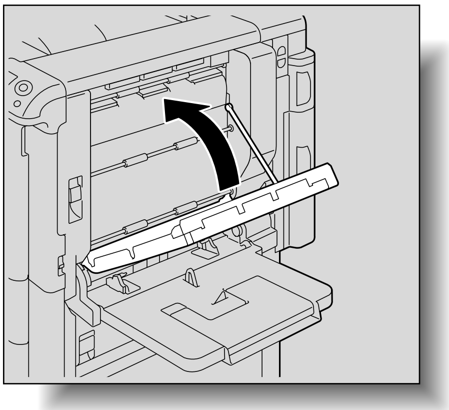
1 自動両面ユニットドアを開きます。



2 自動両面ユニットにつまっている用紙をゆっくり取除きます。



3 自動両面ユニットドアを閉じます。

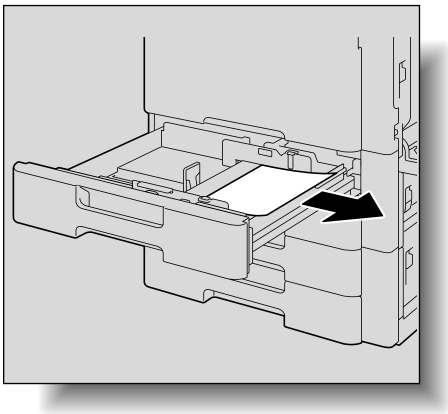


4 使用しているトレイを引出します。

参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 10-3) をごらんください。

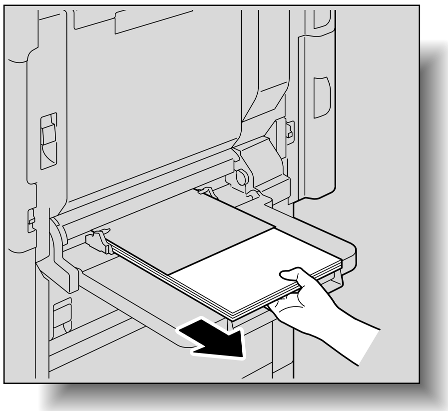
5 つまっている用紙を取除きます。



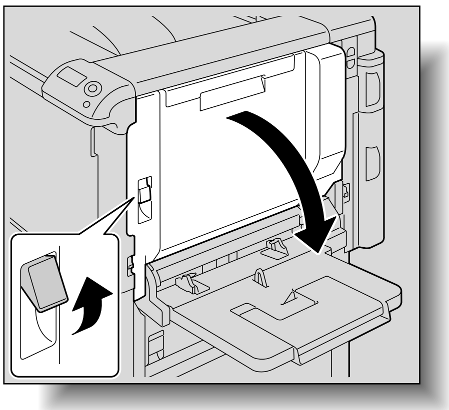
6 トレイを元に戻します。

10.2.5　トレイ 1（手差し）での紙づまり処理のしかた

1 トレイ 1 の用紙を取除きます。



2 右上ドアを開きます。



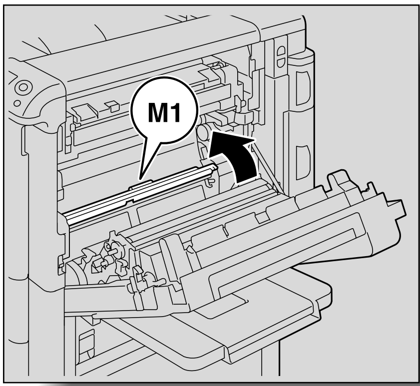
必ず守ってください

フィルムには手を触れないように注意してください。

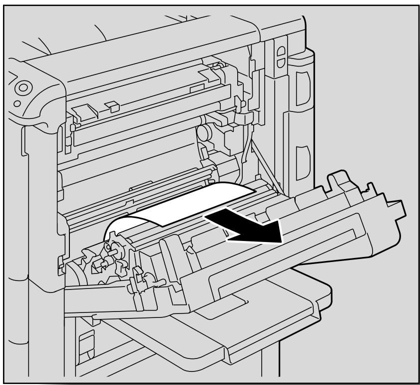
参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 10-3）をごらんください。

3 内部カバー【M1】を開きます。



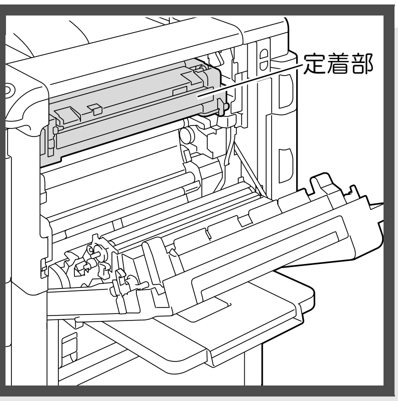
4 用紙をゆっくり取除きます。



⚠注意

定着部周辺は高温となっています。

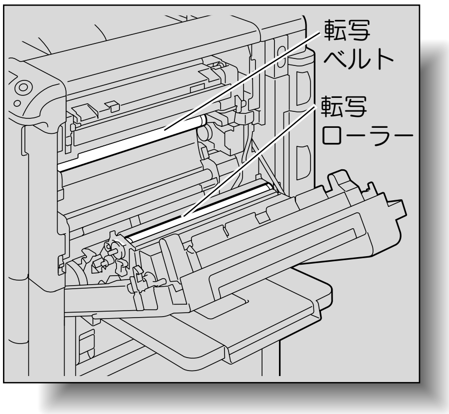
やけどの原因となりますので、指定されたつまみやダイアル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



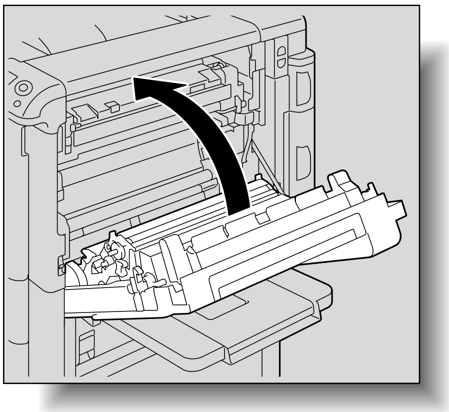
⚠注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。
トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

❍ 転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

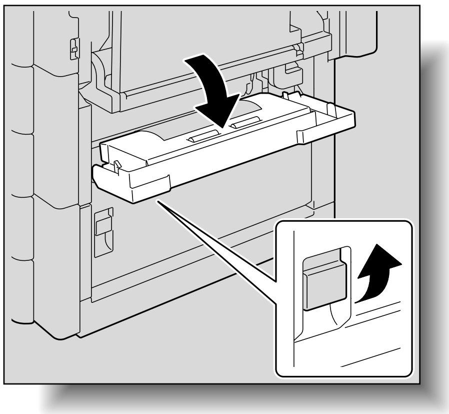


5　右上ドアを閉じます。

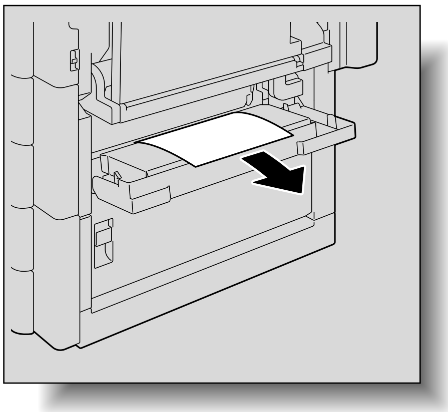


10.2.6　用紙縦搬送部での紙づまり処理のしかた

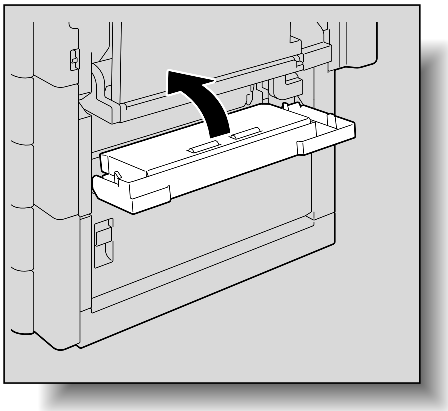
1 右中ドア解除レバーを引き、右中ドアを開きます。



2 用紙をゆっくり取除きます。



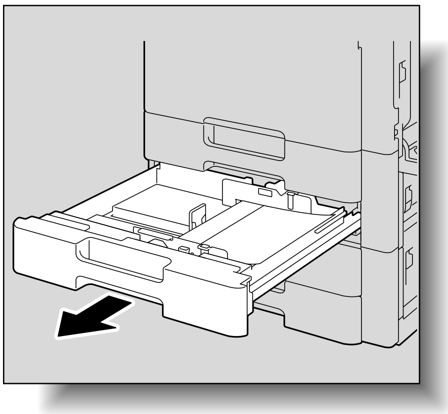
3 右中ドアを閉じます。



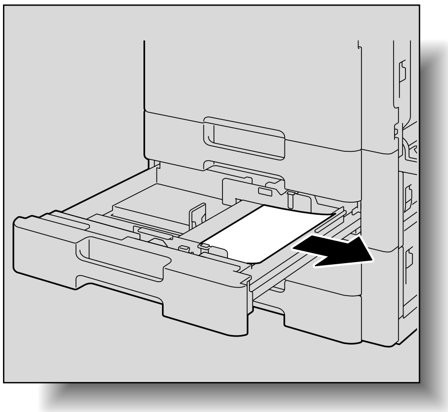
参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 10-3）をごらんください。

4 使用しているトレイを引出します。



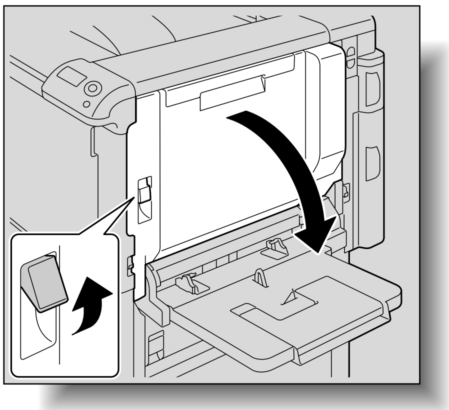
5 つまっている用紙を取除きます。



6 トレイを元に戻します。

10.2.7　トレイ 2 での紙づまり処理のしかた

1 右上ドア解除レバーを引き、右上ドアを開きます。



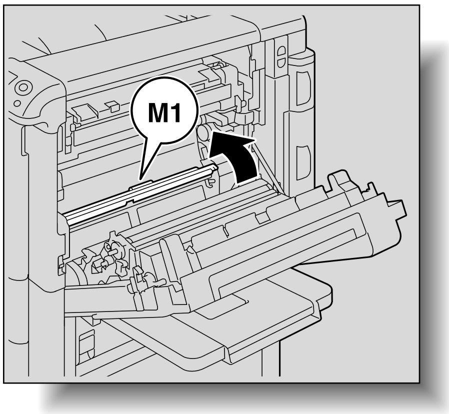
必ず守ってください

フィルムには手を触れないように注意してください。

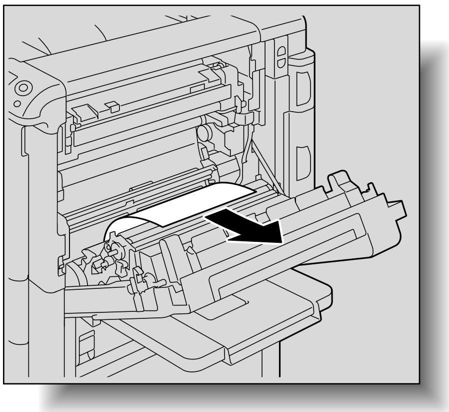
参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 10-3) をごらんください。

2 内部カバー【M1】を開きます。



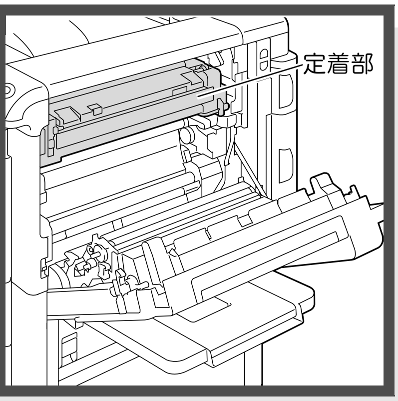
3 用紙をゆっくり取除きます。



⚠注意

定着部周辺は高温となっています。

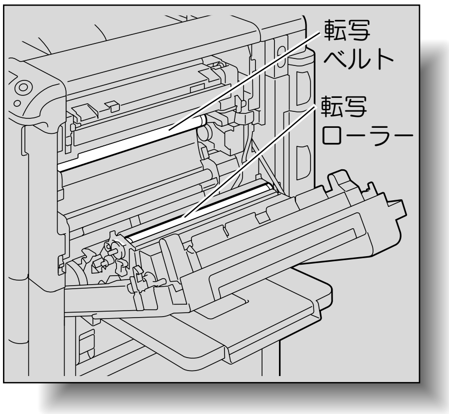
やけどの原因となりますので、指定されたつまみやダイアル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



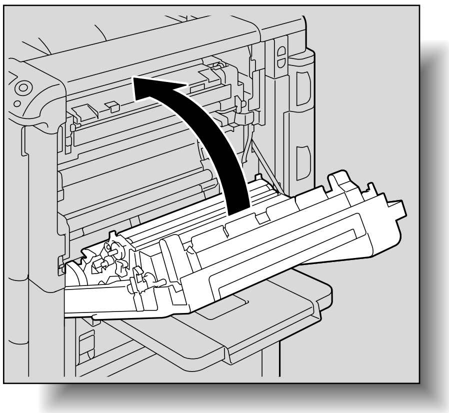
⚠注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。
トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

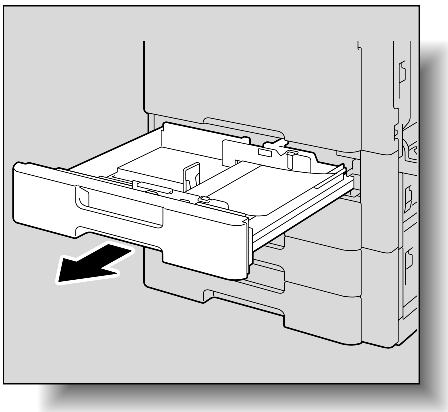
❍ 転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。



4 右上ドアを閉じます。

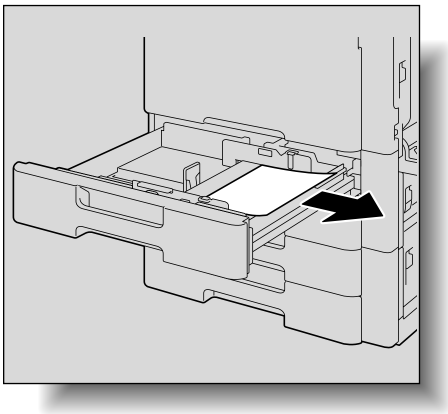


5 トレイ 2 を引出します。



6

つまっている用紙を取除きます。



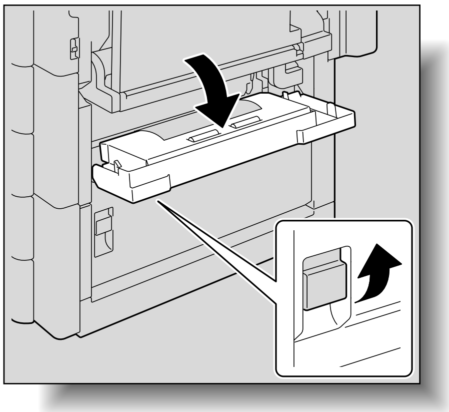
7

トレイを元に戻します。

10.2.8 トレイ 3 での紙づまり処理のしかた

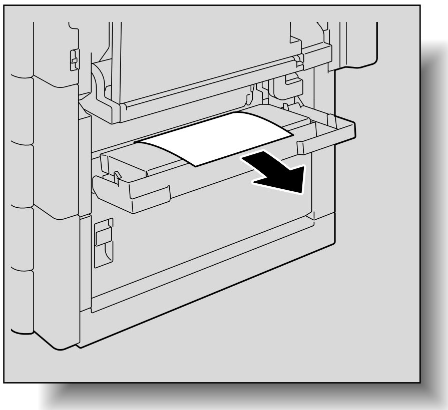
1

右中ドア解除レバーを引き、右中ドアを開きます。



2

用紙をゆっくり取除きます。



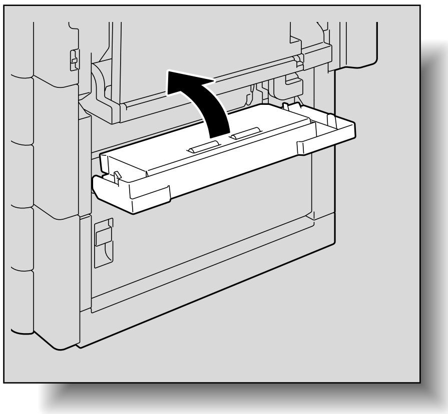
必ず守ってください

フィルムには手を触れないように注意してください。

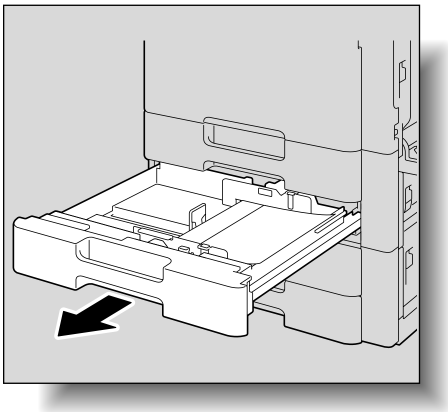
参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 10-3）をごらんください。

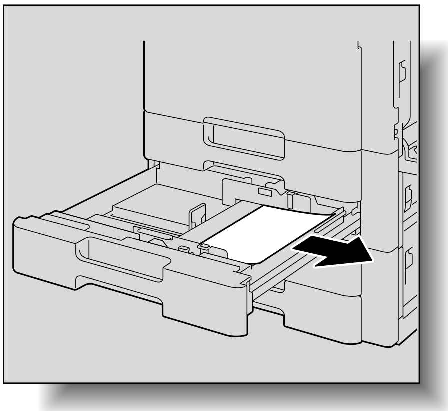
3　右中ドアを閉じます。



4　トレイ 3 を引出します。



5　つまっている用紙を取除きます。



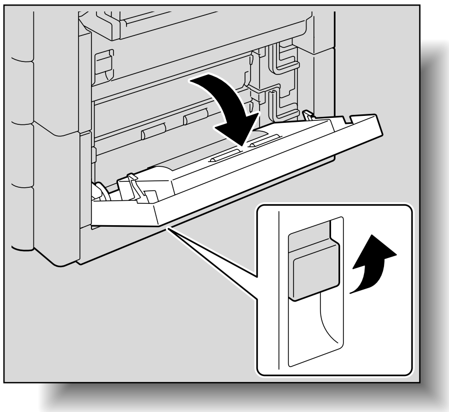
必ず守ってください

フィルムには手を触れないように注意してください。

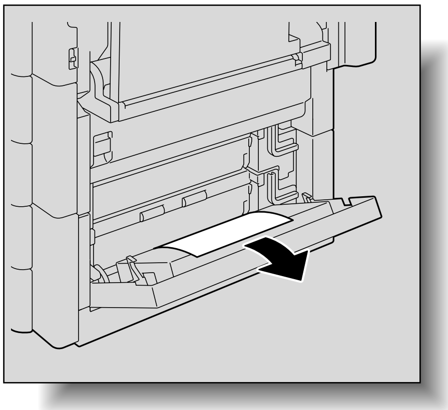
6　トレイを元に戻します。

10.2.9　給紙キャビネット（トレイ 4/5）での紙づまり処理のしかた

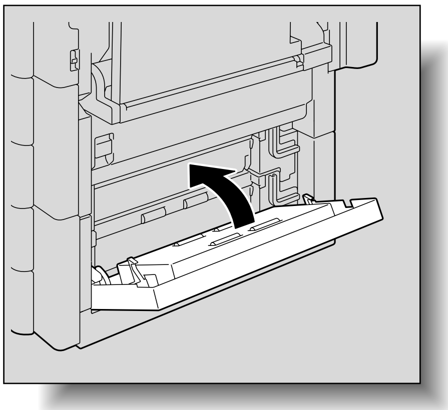
1　右下ドア解除レバーを引き、右下ドアを開きます。



2　用紙をゆっくり取除きます。



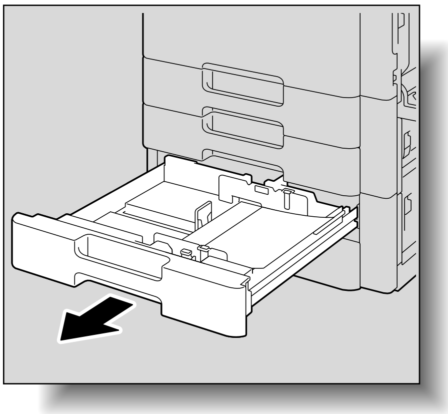
3　右下ドアを閉じます。



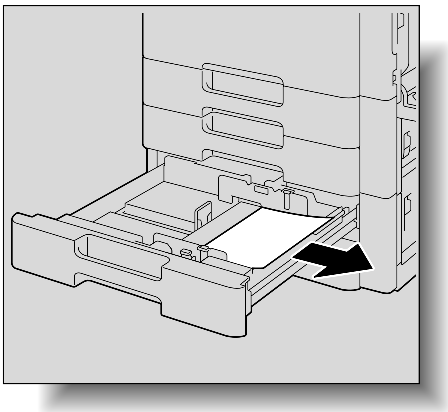
参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 10-3）をごらんください。

4 給紙トレイを引出します。



5 つまっている用紙を取除きます。



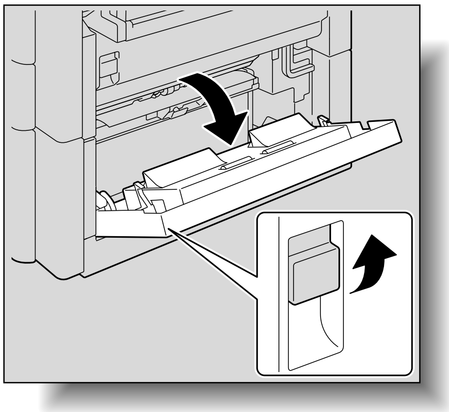
6 トレイを元に戻します。

必ず守ってください

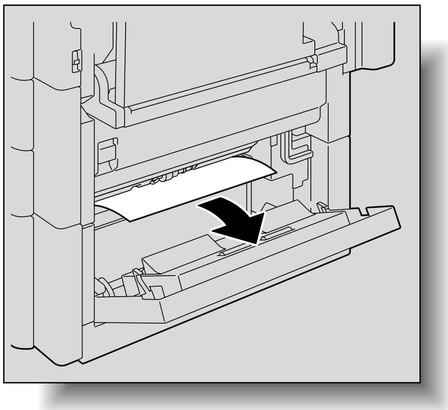
フィルムには手を触れないように注意してください。

10.2.10　トレイ 4（大容量）での紙づまり処理のしかた

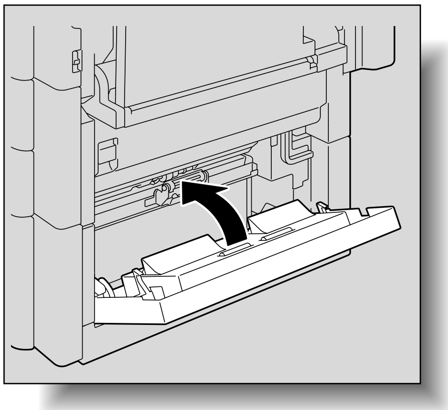
1. 右下ドア解除レバーを引き、右下ドアを開きます。



2. 用紙をゆっくり取除きます。



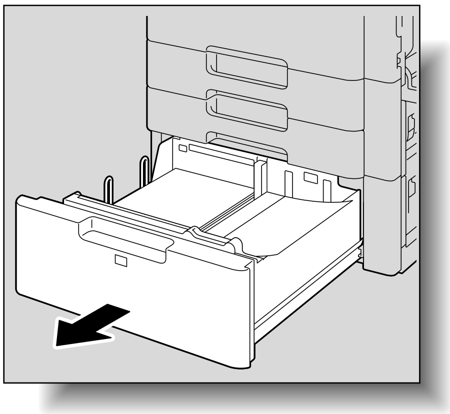
3. 右下ドアを閉じます。



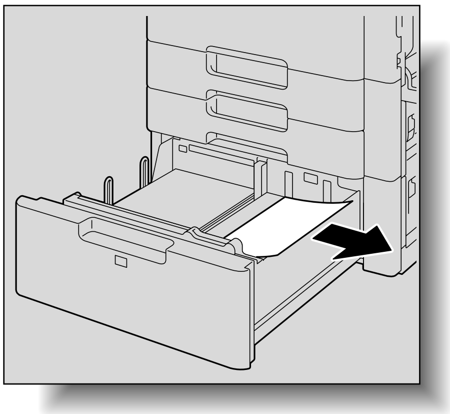
参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 10-3）をごらんください。

4　トレイ解除ボタンを押して、トレイ 4（大容量）を引出します。



5　つまっている用紙を取除きます。



6　トレイを元に戻します。

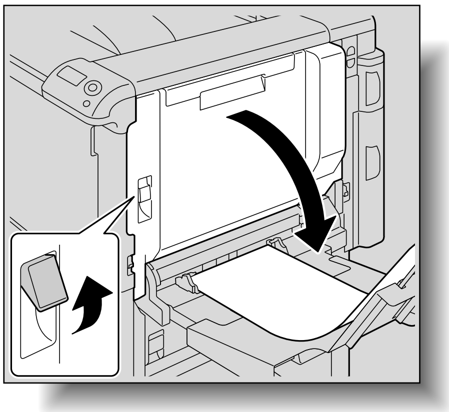


フィルムには手を触れないように注意してください。

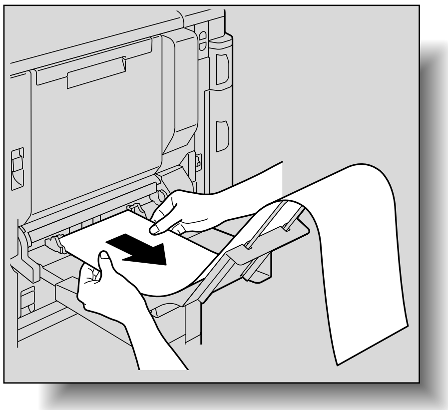
10.2.11　長尺紙の紙づまり処理のしかた

1

右上ドア解除レバーを引き、右上ドアを開きます。

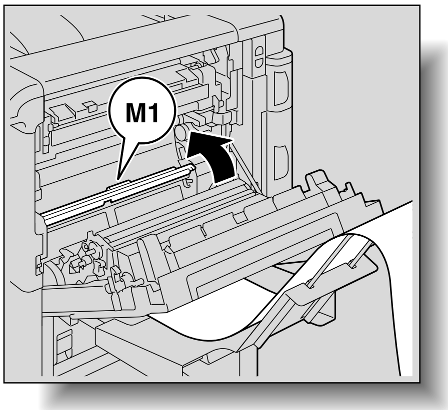


- 用紙の先端が見えない場合や用紙の先端がつかめない場合は、矢印の方向に用紙を取除きます。

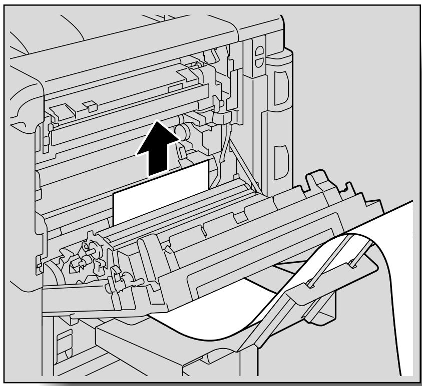


2

内部カバー【M1】を開きます。



3 タイミングローラ部につまった用紙を取除きます。



必ず守ってください

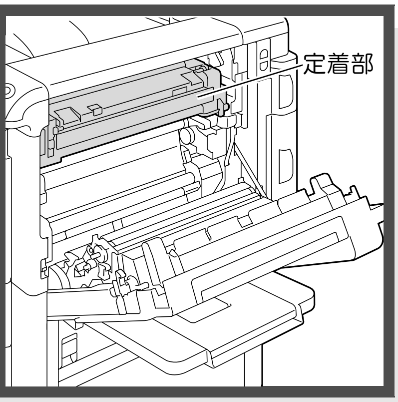
用紙が以下のような状態になっている場合は、販売店または弊社までご連絡ください。
- 用紙がタイミングローラ内部に巻きついている場合
- 用紙がタイミングローラ内部に折曲がり、噛みこんでいる場合

⚠注意



定着部周辺は高温となっています。

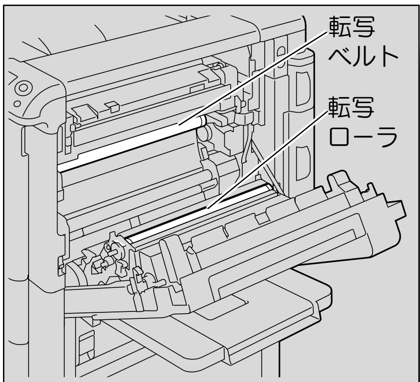
やけどの原因となりますので、指定されたつまみやダイアル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



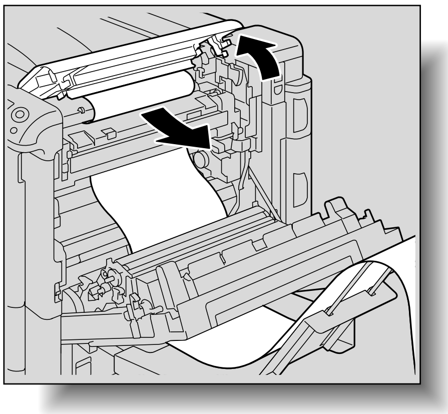
⚠注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。
トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

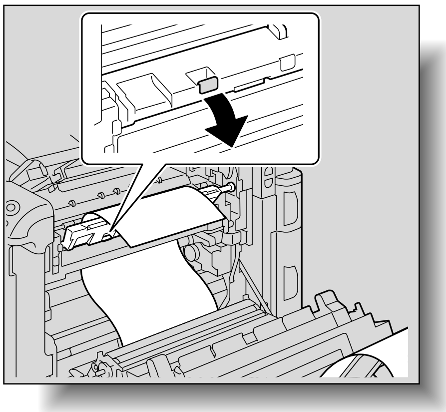
❍ 転写ベルトや転写ローラの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。転写ベルトや転写ローラの表面に触れないように注意してください。



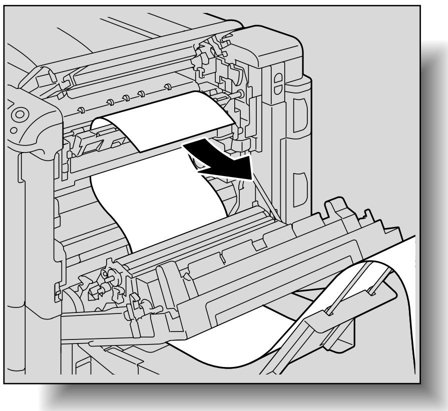
4 定着ユニット上カバーを押上げ、つまった用紙を取除きます。



5 定着カバー【M2】を開きます。



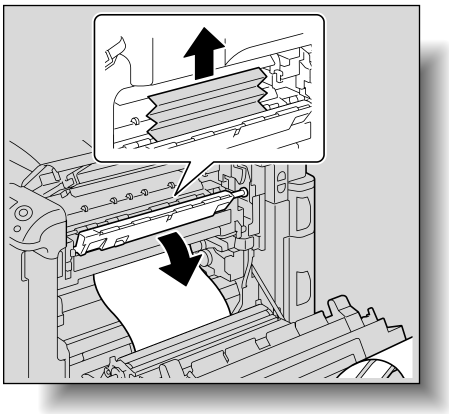
6 つまっている用紙を取除きます。



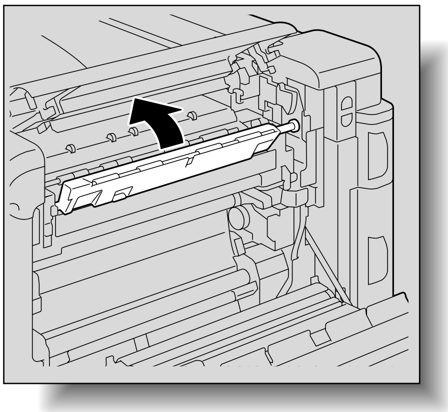
必ず守ってください

用紙が以下のような状態になっている場合は、販売店または弊社までご連絡ください。
- 用紙が定着ユニット内部に巻きついている場合
- 用紙が定着ユニット内部のローラ部に折曲がり、噛みこんでいる場合
- 取除いた用紙が破れ、定着ユニット内に残ってしまった場合

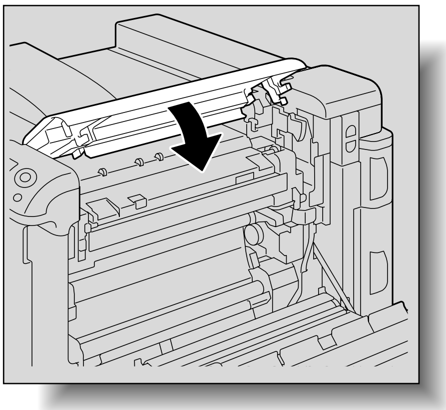
7 定着ユニット内につまっている用紙を取除きます。



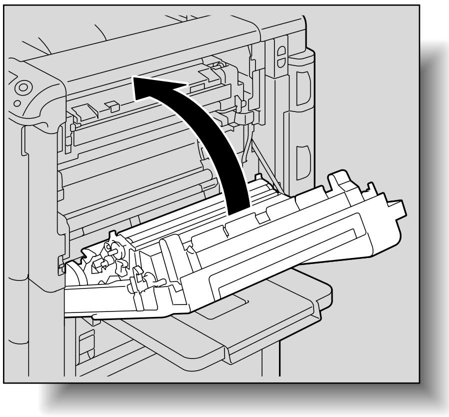
8 定着カバー【M2】を閉じます。



9 定着ユニット上カバーを閉じます。



10 右上ドアを閉じます。

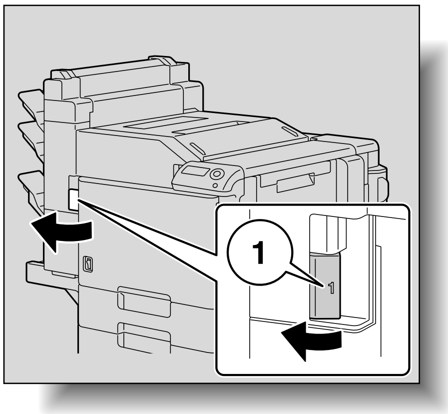


10.2.12　フィニッシャー FS-519 での紙づまり処理のしかた

参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 10-3）をごらんください。

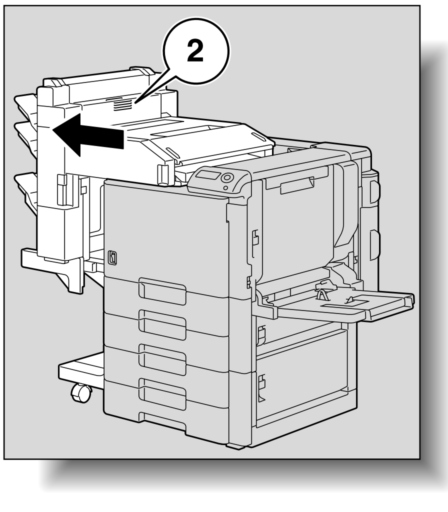
1 フィニッシャー解除レバー【1】を引いて、ロックを解除します。



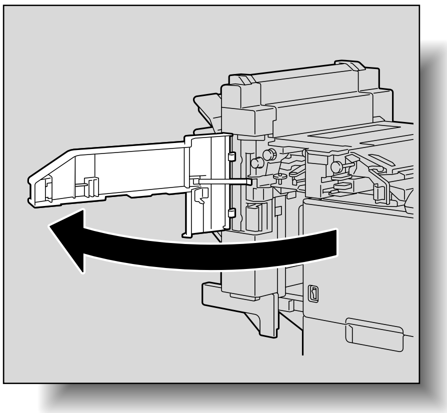
2 フィニッシャーの【2】を持って本体から引離します。

必ず守ってください

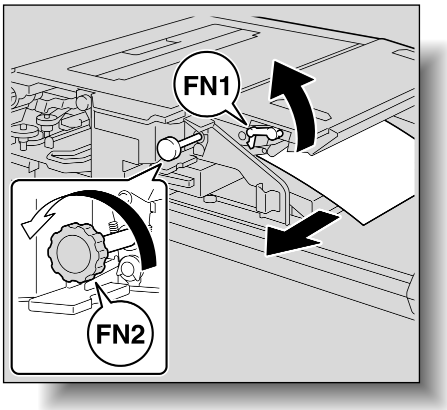
フィニッシャーを本体から離すときは、必ず【2】を持って移動してください。
メールビン、中綴じ機などを持っての移動は破損の原因となります。



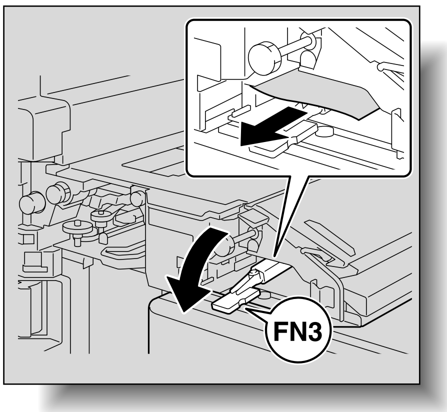
3 前ドアを開きます。



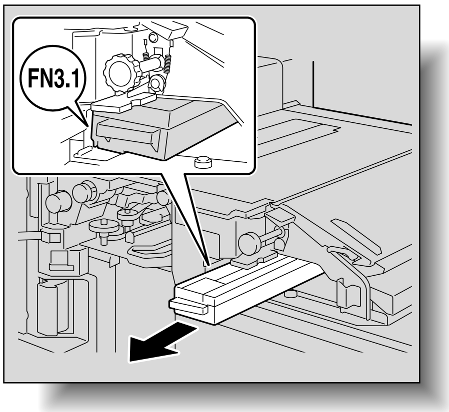
4 レバー【FN1】を上げ、ダイアル【FN2】を回して用紙を取除きます。



5 ガイド【FN3】を下げ、用紙を取除きます。



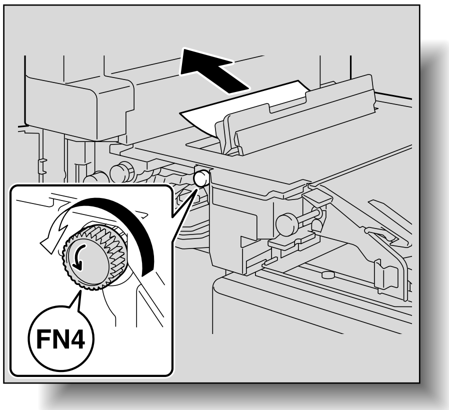
❍ パンチキット装着時は、パンチ廃棄ボックス【FN3.1】を引出してから行います。



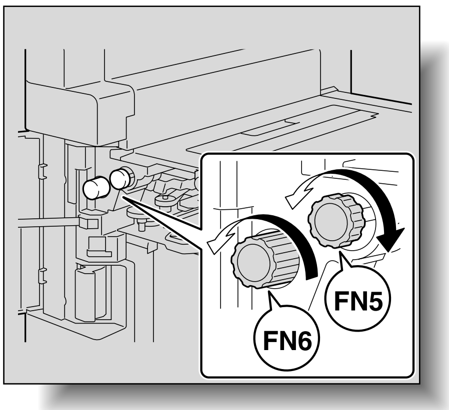
6 ガイド【FN3】を元の位置に戻します。

❍ パンチキット装着時は、パンチ廃棄ボックス【FN3.1】を元の位置に戻します。

7 ダイアル【FN4】を回して用紙を送り、搬送カバーを開いて用紙を取除きます。

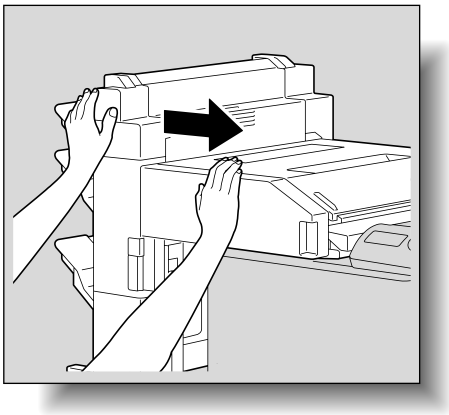


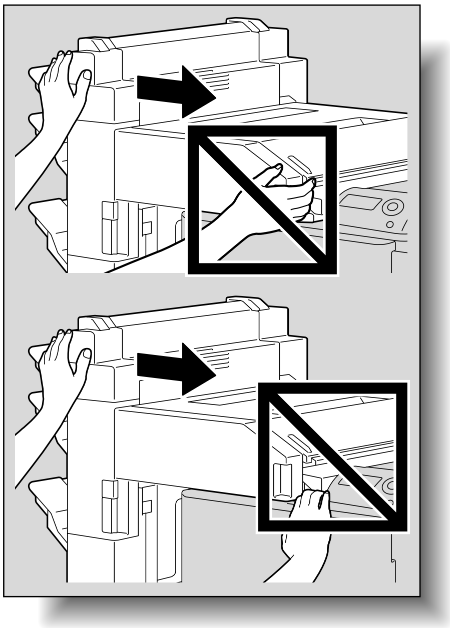
8 ダイアル【FN5】または【FN6】を回して用紙を取除きます。



9 前ドアを閉じます。

10 フィニッシャーを元の位置に戻します。



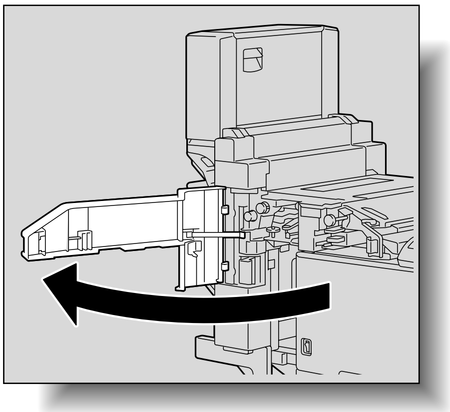


必ず守ってください

フィニッシャーを元の位置に戻すときは、前ドア取っ手部、操作パネル、メールビン、中綴じ機など持っての移動はしないでください。

10.2.13　メールビンでの紙づまり処理のしかた

1 前ドアを開きます。

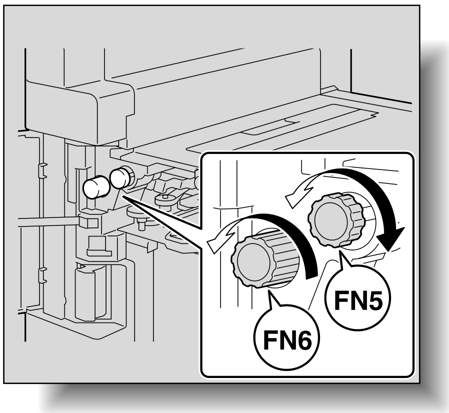


参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 10-3) をごらんください。

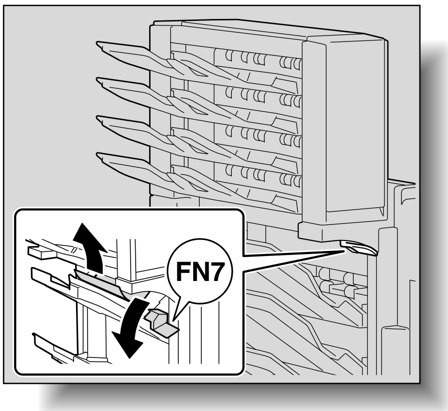
2

ダイアル【FN5】または【FN6】を回して用紙を送り出します。



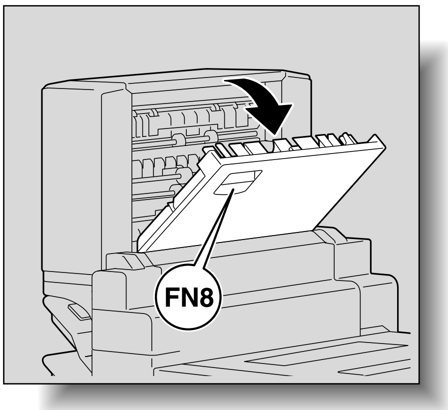
3

レバー【FN7】を押し下げながら用紙を取除きます。

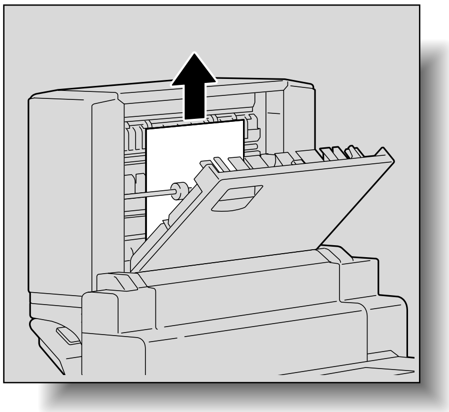


4

レバー【FN8】を引き、ジャム処理ドアを開きます。



5 メールビン内の用紙を取除きます。

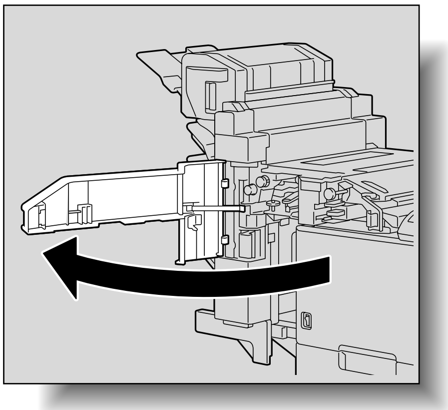


6 ジャム処理ドアを閉じます。

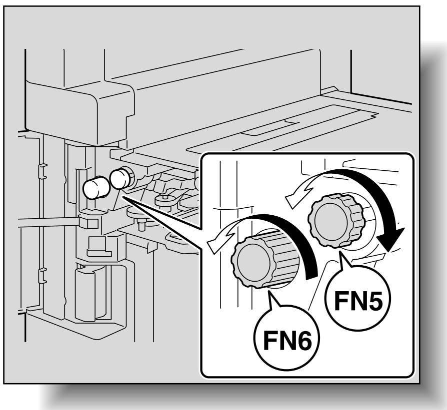
7 前ドアを閉じます。

10.2.14　中綴じ機での紙づまり処理のしかた

1 前ドアを開きます。



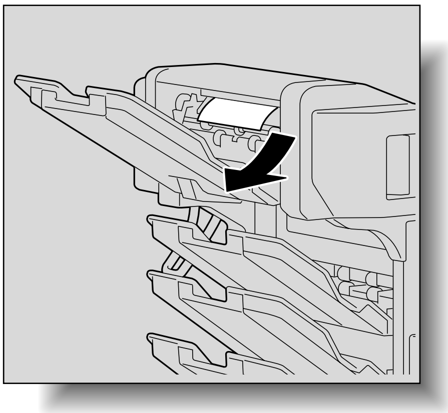
2 ダイアル【FN5】または【FN6】を回して用紙を送り出します。



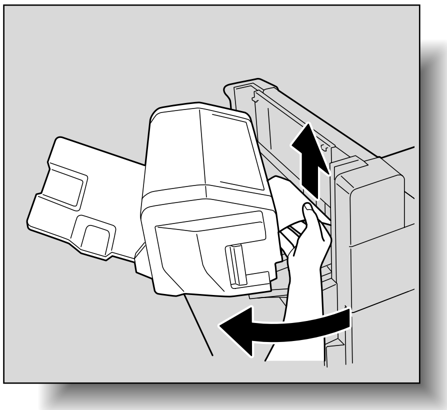
参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」（p. 10-3）をごらんください。

3 排紙トレイの用紙を取除きます。



4 ジャム処理ドアを開き、用紙を取除きます。

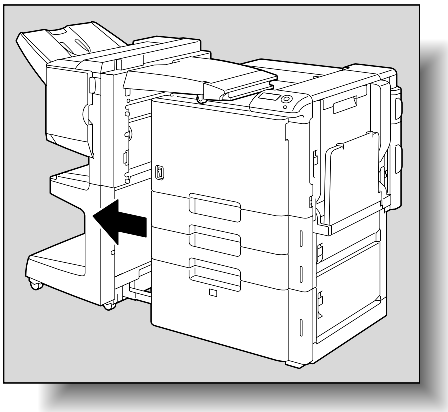


5 ジャム処理ドアを閉じます。

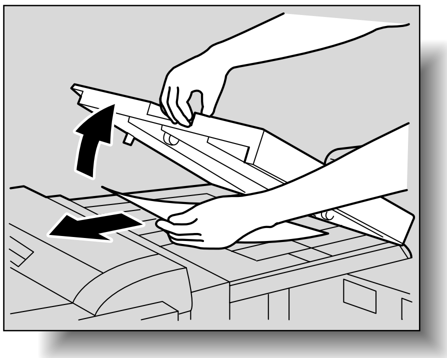
6 前ドアを閉じます。

10.2.15 フィニッシャー FS-609 での紙づまり処理のしかた

1 フィニッシャーを本体から引離します。

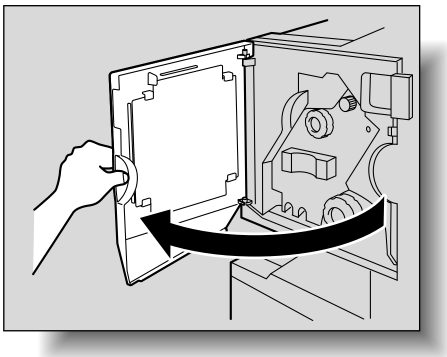


2 水平搬送ユニットカバーを開き、用紙を取除きます。



3 水平搬送ユニットカバーを閉じます。

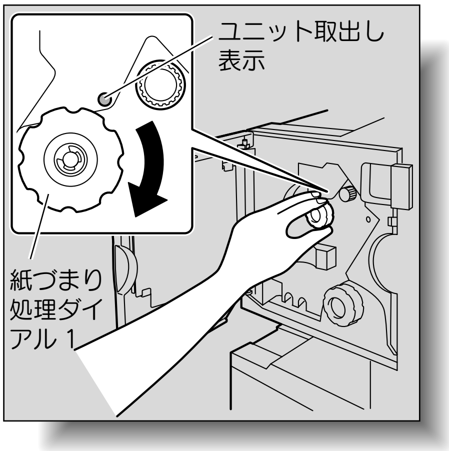
4 前ドアを開きます。



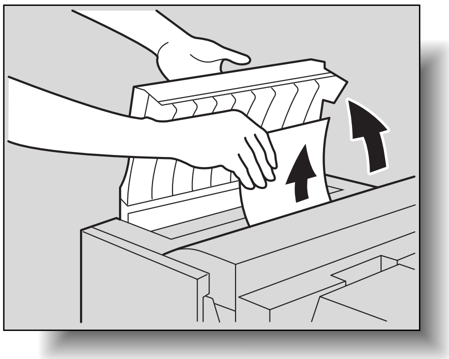
参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 10-3)をごらんください。

5 ユニット取出し表示が全面青色になるように、紙づまり処理ダイアル 1 を時計方向に回します。

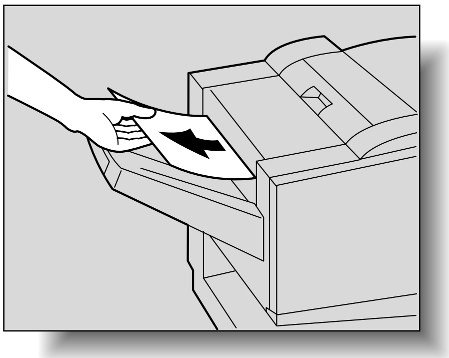


6 上カバーを開き、排紙部に残った用紙を取除きます。



7 上カバーを閉じます。

8 第 1 排紙トレイに排紙された用紙を取除きます。



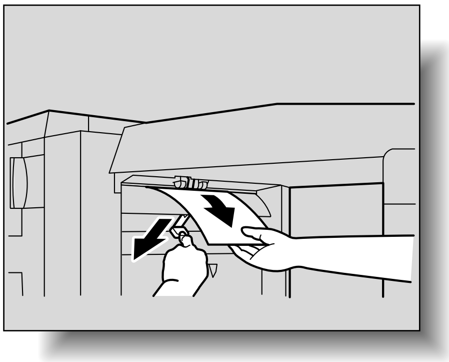
必ず守ってください

「紙づまりです」が表示された場合は必ずこの処理を行ってください。この処理を行わず、無理に用紙を取除くとフィニッシャーの破損の原因となります。

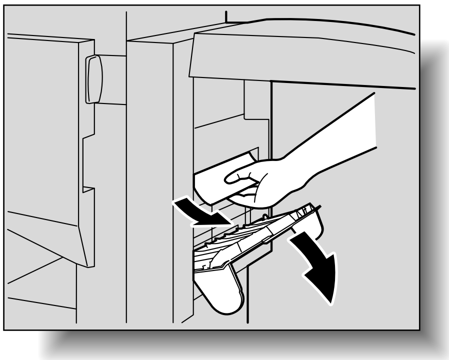
ひとこと

紙づまり処理ダイアル 1 を回しすぎた場合は、反時計方向に回して、微調整します。

9 紙づまり処理ガイドを開き、用紙を取除きます。



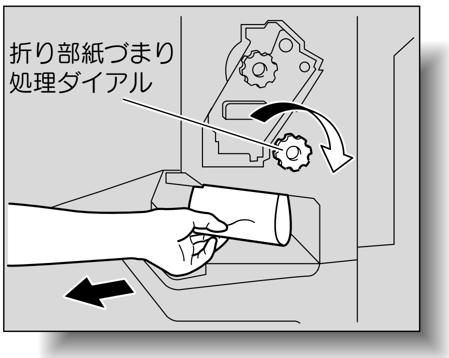
10 右ドアを開き、搬送部に残った用紙を取除きます。



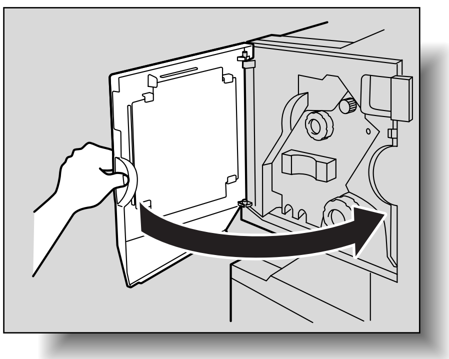
必ず守ってください

無理に用紙を取除かないでください。
無理に用紙を取除くと、折りユニットの破損の原因となります。

11 手順 10 で用紙が取除けない場合は、折り部紙づまり処理ダイアルを時計方向に回します。
用紙を第 2 排紙トレイに送り出し取除きます。



12 前ドアを閉じます。



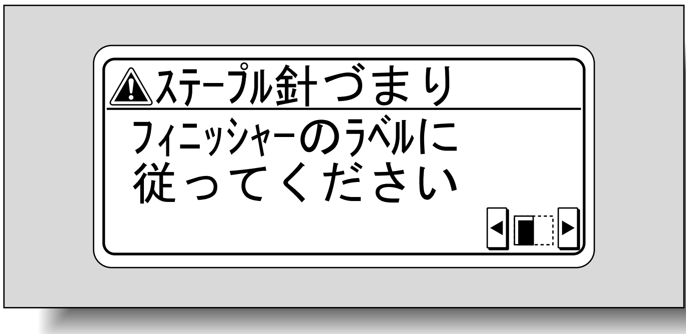
必ず守ってください

前ドアを元に戻すときには、指などを挟まないように注意してください。

13 フィニッシャーを元の位置に戻します。

10.3 「ステープル針づまり」と表示されたら

フィニッシャーでステープルの針づまりになると、下図のメッセージが表示されます。



必ず守ってください

けがをするおそれがありますので、ステープルの針づまり処理にはご注意ください。

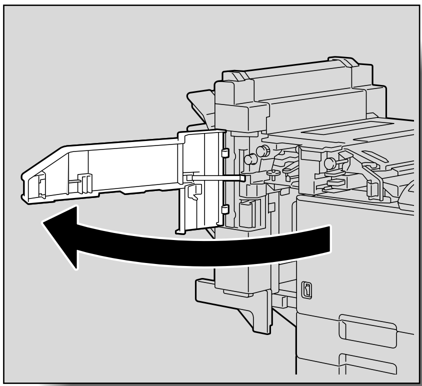
10.3.1 フィニッシャー FS-519 での針づまり処理のしかた

1 フィニッシャー内の用紙を全て取除きます。

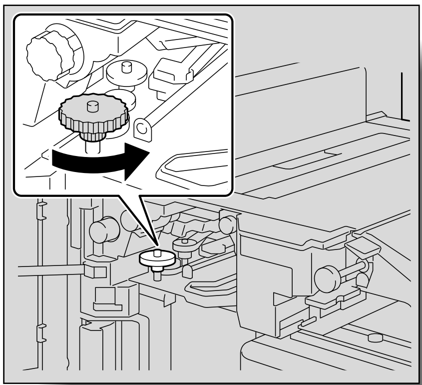
参照

フィニッシャー内の用紙の取除きかたについては、「フィニッシャー FS-519 での紙づまり処理のしかた」（p. 10-29）をごらんください。

2 前ドアを開きます。



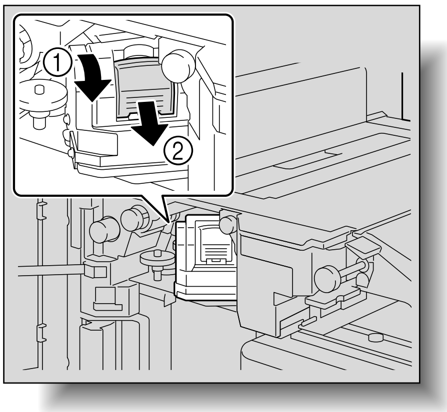
3 ダイアルを左側に回して、ステープラを手前に寄せます。



4

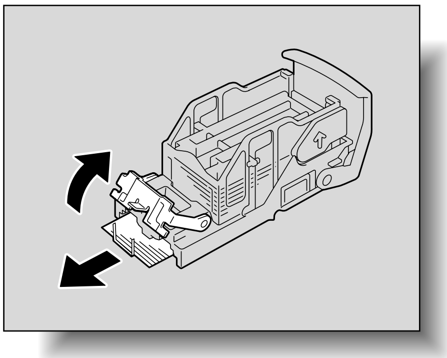
ステープルホルダーを取出します。

- ステープルホルダーを手前に引いて取出します。



5

ステープルホルダーのガイドを上に押上げ、針シートを 1 枚取除きます。

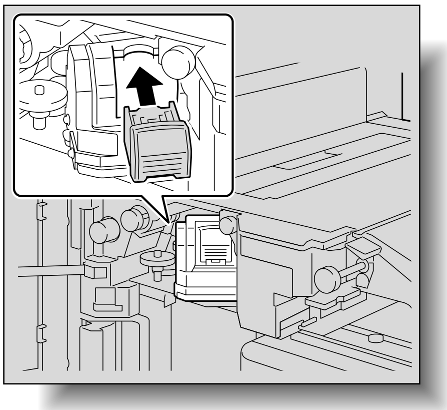


6

ステープルホルダーのガイドを元に戻します。

7

ステープルホルダーを取付け部のレールに沿わせて挿入します。



- ステープルホルダーが奥までしっかり固定されていることを確認してください。

8

前ドアを閉じます。

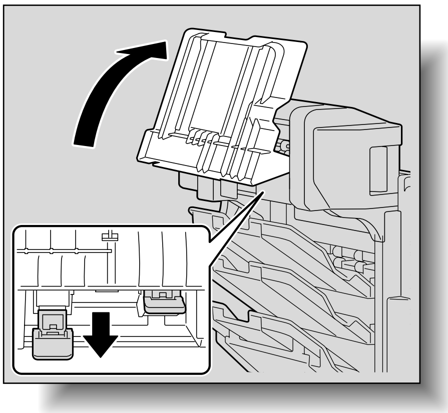
必ず守ってください

針づまり処理を行ってもステープルされない場合は、販売店または弊社にご連絡ください。

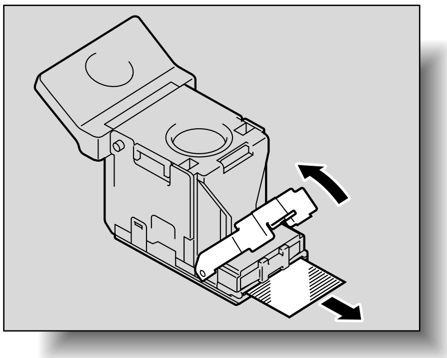
10.3.2　中綴じ機での針づまり処理のしかた

1. フィニッシャー内の用紙を全て取除きます。

2. 排紙トレイを持上げ、ステープルホルダーを押下げて取外します。

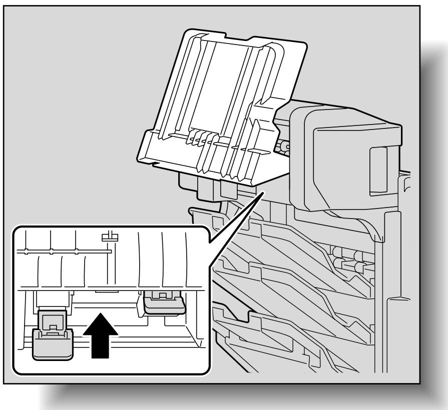


3. ステープルホルダーのガイドを上に押上げ、針シートを 1 枚取除きます。



4. ステープルホルダーのガイドを元に戻します。

5. ステープルホルダーを差込んで“カチッ”と音がするまで押上げます。



6. 排紙トレイを元の位置に戻します。

参照

フィニッシャー内の用紙の取除きかたについては、「フィニッシャー FS-519 での紙づまり処理のしかた」（p. 10-29）をごらんください。中綴じ機内の用紙の取除きかたについては、「中綴じ機での紙づまり処理のしかた」（p. 10-34）をごらんください。

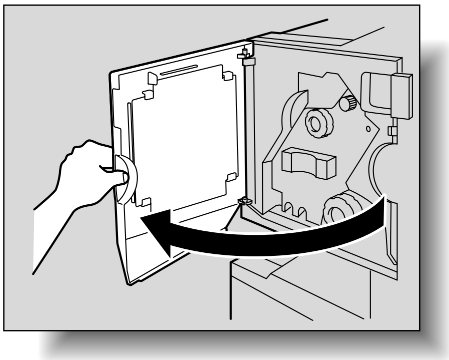
必ず守ってください

ステープルホルダーを取付けるときは、向きを間違えないように差込んでください。

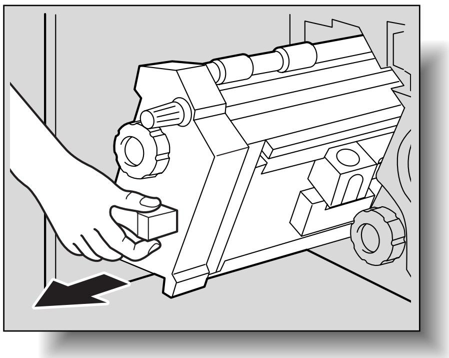
10.3.3 フィニッシャー FS-609 での針づまり処理のしかた

1 フィニッシャー内の用紙を全て取除きます。

2 前ドアを開きます。

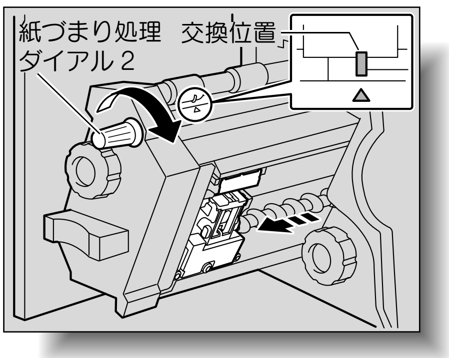


3 ステープルユニットを止まる位置まで、ゆっくりと引出します。



4 カートリッジ交換位置表示が一致するように、紙づまり処理ダイアル 2 を時計方向に回します。

ステープルカートリッジが交換位置まで移動します。



必ず守ってください

「ステープル針づまり」が表示された場合は、必ず左記の手順の処理を行ってください。
左記の処理を行わず、無理に用紙を取除くとステープルユニットの破損の原因となります。

参照

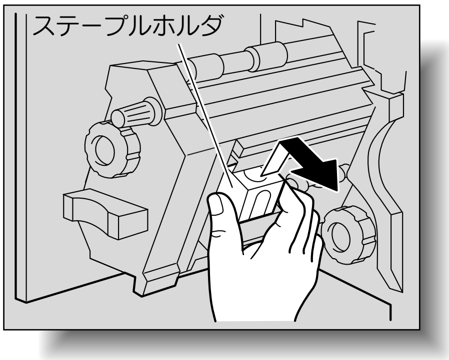
フィニッシャー内の用紙の取除きかたについては、「フィニッシャー FS-609 での紙づまり処理のしかた」（p. 10-36）をごらんください。

ひとこと

紙づまり処理ダイアル 2 を回しすぎてしまった場合は、紙づまり処理ダイアル 2 を反時計方向に回して、カートリッジ交換位置表示と一致するように紙づまり処理ダイアル 2 を微調整します。

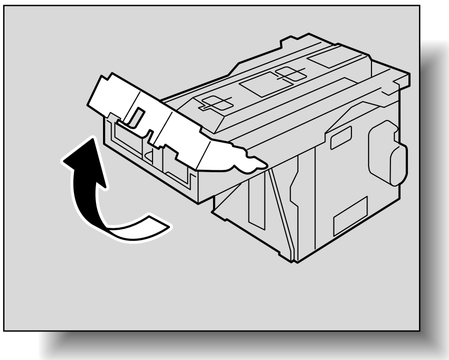
5

ステープルホルダの両側を持ち取外します。



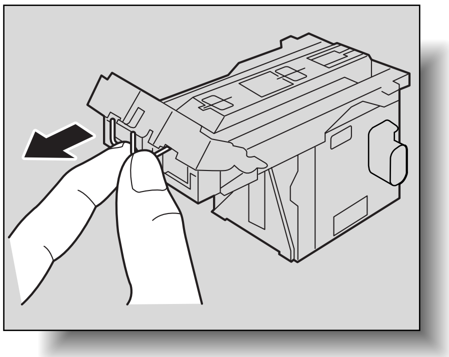
6

ステープルホルダのガイドを持上げます。



7

ステープルホルダの先端につまっているステープル針 2 本を手前側に抜取ります。



必ず守ってください

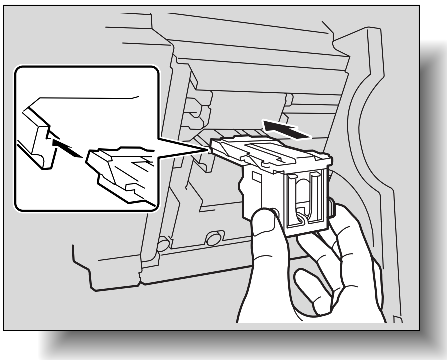
ステープル針は必ず 2 本取除いてください。1 本しか取除かなかった場合、次のステープルとじができない可能性があります。

8

ステープルホルダのガイドを元の位置に戻します。

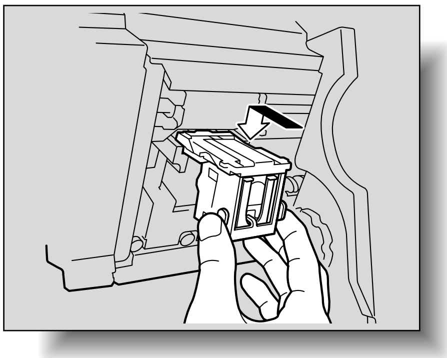
9

ステープルホルダの先端を、取付け部のレールに沿わせて挿入します。



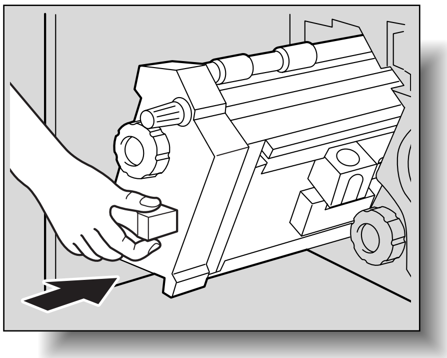
10

ステープルホルダを“カチッ”という音がするまで押込みます。
- ステープルホルダが奥までしっかり固定されたことを確認します。



11

ゆっくりステープルユニットを元の位置に戻します。



12

前ドアを閉じます。

必ず守ってください

針づまり処理を行ってもステープルされない場合は、販売店または弊社にご連絡ください。

10.4 「用紙を補給」と表示されたら

印刷中に用紙がなくなったときは、「用紙を補給」と表示されます。



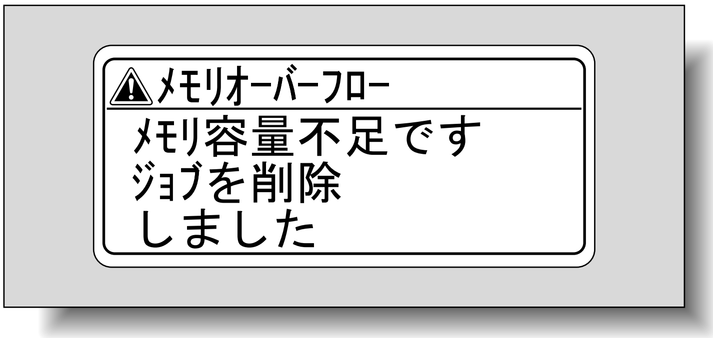
参照

用紙の補給について詳しくは、「トレイ 2/3/4/5 へ用紙をセットする」(p. 1-27)、「トレイ 4(大容量)へ用紙をセットする」(p. 1-28)、「トレイ 1(手差し)へ用紙をセットする」(p. 1-24)をごらんください。

10.5 「メモリオーバーフロー」と表示されたら

メモリ容量が足りなくなり、読込み中のジョブを破棄したときに表示されます。

送信データの容量を調整してください。



10.6 「まもなく…の交換時期です」と表示されたら

本機内の各消耗品および交換部品が、交換時期が近づくと、表示パネルに下図のようなメッセージが表示され、交換時期をお知らせします。



ひとこと

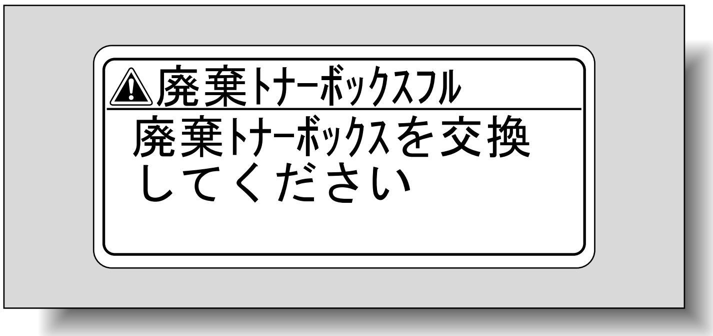
メッセージが表示されたら、各消耗品および交換部品の交換の準備を行ってください。

詳しく説明します

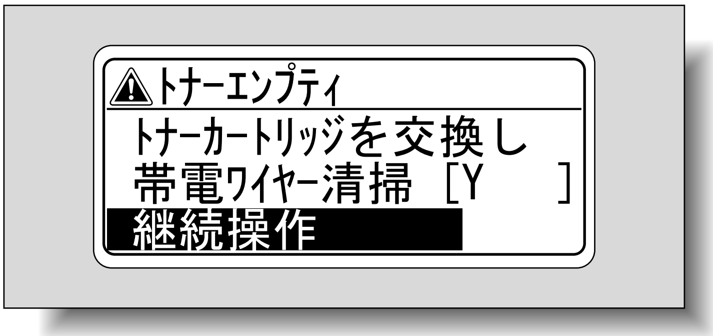
「まもなく…の交換時期です」の表示後に、「…を交換してください」と表示し、本機は停止します。
「まもなく…の交換時期です」と表示してから、「…を交換してください」が表示するまでの印刷枚数は、印刷条件および各消耗品／交換部品によって異なります。

10.7 「…を交換してください」と表示されたら

本機内の各消耗品および交換部品が交換時期になると、表示パネルに下図のようなメッセージが表示されます。



ブラック以外のトナーがなくなった場合は、一時的にブラックでの強制出力ができます。



ひとこと

メッセージが表示されたら、各消耗品および交換部品の交換処理を行ってください。

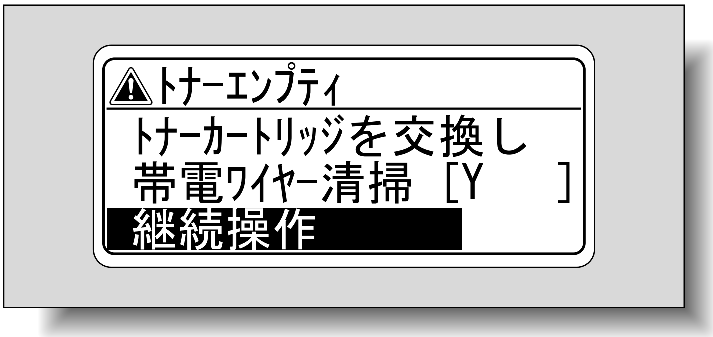
必ず守ってください

- 使用済みの消耗品および交換部品は回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。
- トナー交換処理メッセージが表示されてから、継続操作しない状態で 5 回以上本体電源を OFF/ON したり前カバーを開閉したりすると、本体保護のため印刷できなくなります。

10.7.1 ブラック強制出力のしかた

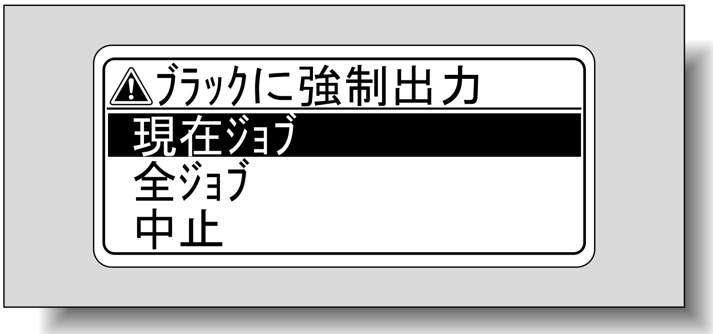
1 ［継続操作］を選択し、【メニュー選択】を押します。

「ブラックに強制出力」が表示されます。



2 出力するジョブを選択します。

- 「現在ジョブ」を選択した場合は、現在のジョブがモノクロで印刷されます。
- 「全ジョブ」を選択した場合は、その後のジョブが全てモノクロで印刷されます。

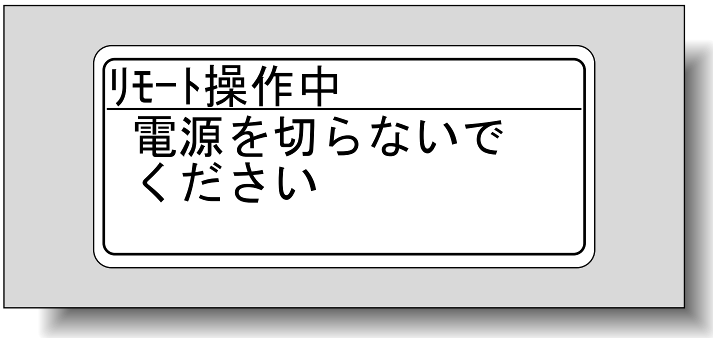


ひとこと

カラーモードで出力している場合も、モノクロでの印刷に自動で切り替わります。

10.8 「リモート操作中 電源を切らないでください」と表示されたら

本機へ PageScope Web Connection の管理者モードでアクセスしている場合や、サービス実施店によって CS Remote Care でアクセスしている場合に表示されます。



必ず守ってください

メッセージが表示されている間は電源を切断しないでください。PageScope Web Connection、CS Remote Care から本機へのアクセスをログアウトすると基本画面に戻ります。

10.9　簡単なトラブルの処理

10.9.1　　本体側のトラブル

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
本体	【電源スイッチ】を入れても機械が始動しない	コンセントへの接続は確実ですか？	電源プラグを正しくコンセントに接続してください。
	印刷がスタートしない	本体右ドアを確実に閉じていますか？	本体右ドアを確実に閉じてください。
		適正な用紙が入っていますか？	適正なサイズの用紙を給紙トレイにセットしてください。
	画像がうすい／色がうすい	プリンタードライバで画質が変更されていませんか？	プリンタードライバの設定を確認してください。
		用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。(p. 1-27)、(p. 1-28)、(p. 1-24)
	画像がこい／色がこい	プリンタードライバで画質が変更されていませんか？	プリンタードライバの設定を確認してください。
	画像がにじむまたはボケる	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。(p. 1-27)、(p. 1-28)、(p. 1-24)
	印刷の全体が汚れる 印刷にスジが表れる	帯電チャージャーワイヤーが汚れていませんか？	チャージャー清掃具で帯電チャージャーワイヤーの汚れを取り除いてください。(p. 12-3)
	印刷の画像が傾いている	給紙トレイのガイド板がきちんと用紙に合わせてありますか？	用紙端面にきちんとガイド板を合わせてください。
		カールの大きい用紙が給紙トレイにセットされていませんか？	用紙のカールを手でなおして給紙トレイにセットしなおしてください。
	印刷された用紙が反っている	お使いになる用紙（再生紙など）によっては反りが発生する場合があります。	給紙トレイにセットされている用紙を裏返してセットしなおしてください。
			吸湿していない、新しい用紙に交換してください。
	紙づまり処理しても印刷できない	他にも紙づまりはありませんか？	紙づまり位置表示などを見て、他の場所につまっている用紙を取り除いてください。(p. 10-3)
	部門管理設定をしている機械でパスワードを入力しても印刷できない	「上限値オーバー」が表示されていませんか？	管理責任者にご確認ください。
フィニッシャー	フィニッシャーが作動しない	コネクタへの接続は確実ですか？	コードをコネクタへ確実に接続してください。
	ステープルができない	ステープル針がなくなっていませんか？	ステープル針を補給してください。(p. 11-16)
	排紙される用紙が均一に積載されず、パンチ穴やステープルの位置がずれる	用紙が大きくカールしていませんか？	給紙トレイ内にセットされている用紙を、裏表逆にセットしてください。
		用紙をセットしている給紙トレイのガイド板と用紙の間に隙間がありませんか？	給紙トレイのガイド板を用紙に突き当て、隙間ができないようにしてください。
	パンチを設定してもパンチされない（パンチキットが装着されたフィニッシャー）	「パンチくずボックスフル廃棄してください」が表示されていませんか？	パンチ廃棄ボックスからパンチくずをすててください。

上記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがい処理を行ってください。
処理してもトラブルがなおらない場合は、販売店または弊社にご連絡ください。

10.9.2　プリンタードライバ側のトラブル

状況	考えられる原因	対処方法
コンピューター上の画面に「プリンタが接続されていない」または「印刷エラー」という内容のメッセージが表示される。	印刷時に指定しているプリンタードライバがプリンターコントローラ対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはパラレルケーブル、USB ケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	メモリが不足している可能性があります。	テスト印刷で印刷できるか確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
コンピューター上の画面にポストスクリプトエラーが表示される。	コンピューターのメモリが不足している可能性があります。	テスト印刷で印刷できるか確認してください。
	アプリケーションソフトウェアの設定によるエラーが考えられます。	アプリケーションソフトウェアの取扱説明書などを参考に、設定を再確認してください。
	ファイルの印刷設定が間違っている可能性があります。	設定を変えて再度印刷を試してみてください。
コンピューター側の印刷処理は終了したが印刷が開始されない。	印刷時に指定しているプリンタードライバがプリンターコントローラ対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはパラレルケーブル、USB ケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	未処理のジョブが本機に残っていて、処理待ち状態になっている可能性があります。	本機の操作パネルのジョブ確認でジョブの順番を確認してください。
	印刷実行時に「ボックス保存」を指定している可能性があります。	本機の操作パネルで「ボックス」に目的のジョブが保留されていないか確認してください。
	印刷実行時に「セキュリティ印刷」を指定している可能性があります。	本機の操作パネルで「セキュリティー文書ボックス」に目的のジョブが保留されていないか確認してください。
	部門管理している場合、登録以外の部門名、パスワードを入力している可能性があります。	部門名、パスワードを正しく入力してください。
	コンピューターのメモリが不足している可能性があります。	テスト印刷で印刷できるか確認してください。
	プリンターコントローラとのネットワークが確立されていません（ネットワーク接続時）。	ネットワーク管理者にご相談ください。
プリンタードライバ上で項目が選択できない。	機能によっては組み合わせできない場合があります。	グレー表示の部分は設定できません。
コンピューター画面上に「設定できない」「機能が解除される」内容の「競合」メッセージが表示される。	組み合わせできない機能を設定しています。	内容をよく確認し、機能を指定しなおしてください。

状況	考えられる原因	対処方法
設定したとおりに印刷できない。	正しく設定されていない可能性があります。	プリンタードライバの各設定項目を確認してください。
	プリンタードライバ上では組み合わせて設定できますが、本機としては組み合わせができません。	
	アプリケーションで設定した用紙サイズや用紙の向きなどがプリンタードライバでの設定より優先されて印刷されることがあります。	アプリケーション側の設定を正しく設定してください。
ウォーターマークが印刷できない。	ウォーターマークを正しく設定していない可能性があります。	ウォーターマークの設定を確認してください。
	ウォーターマークの濃度が薄い可能性があります。	濃淡設定を確認してください。
	グラフィックス系などのアプリケーションソフトウェアでは、ウォーターマークが印刷されないことがあります。	この場合、ウォーターマークは印刷できません。
ステープルが指定できない。	用紙種類が厚紙、OHP フィルムの場合は、ステープルできません。	プリンタードライバの各設定項目を確認してください。
	ステープルは、オプションのフィニッシャーが必要です。	必要なオプションを装着し、プリンタードライバでオプションを使用可能にしてください。
ステープルができない。	異なった用紙サイズが混在している場合は、ステープルできません。	用紙を確認してください。
ステープルの位置が思いどおりにならない。	方向の設定が合っていません。	プリンタードライバの設定でステープルの位置を確認してから印刷してください。
パンチが指定できない。	小冊子、OHP フィルム、厚紙、封筒を指定した場合は、パンチを指定できません。	プリンタードライバの各設定項目を確認してください。 厚紙は装着しているフィニッシャーによって異なります。
	オプションのフィニッシャー FS-519 または FS-609 にパンチキットが必要です。	必要なオプションを装着し、プリンタードライバでオプションを使用可能にしてください。
パンチされない。	給紙口にセットしてある用紙の向きが適切でない場合は、パンチせずに印刷されることがあります。	用紙の向きを確認してください。
パンチの位置が思いどおりにならない。	方向の設定が合っていません。	プリンタードライバの設定ダイアログの「ページレイアウト」でパンチの位置を確認してから印刷してください。
フォームがうまく印刷されない。	コンピューターのメモリが不足している可能性があります。	フォームを簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
画像がうまく印刷されない。	コンピューターのメモリが不足している可能性があります。	画像を簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
指定した給紙口から給紙されない。	指定した給紙口に必要なサイズ／方向の用紙が入っていない場合は、指定した給紙口から給紙されない可能性があります。	給紙口に適切なサイズ／方向の用紙を入れてください。

10.10 おもなメッセージと処理のしかた

メッセージ	原因	処理のしかた
用紙をセット 用紙サイズをチェック 用紙種類をチェック	適合するサイズや種類の用紙が用紙トレイにセットされていません。	他のサイズや種類の用紙を選択するか、トレイ 1（手差し）で印刷してください。
用紙を取り除いてください	表示されているフィニッシャートレイの容量が最大積載量に達したため、印刷ができません。	表示されているトレイ上の用紙を全て取り除いてください。
部門名	部門管理されています。部門名と正しいパスワードを入力しない限り印刷はできません。	部門名と正しいパスワードを入力してください。（p. 7-23）
上限値オーバー	印刷できる枚数が制限されており、その上限に達しました。	本機の管理者に連絡してください。
ドアオープン	本体のドアやカバーが開いているかオプションが確実にセットされていないため、印刷ができません。	本体のドアやカバー、オプションを確実にセットしてください。
IU をセットしてください	イメージングユニットが正しくセットされていません。	各消耗品および交換部品をセットしなおしてください。
正しいカートリッジをセットしてください	表示されているトナーカートリッジが正しくセットされていません。	
廃棄トナーボックスをセットしてください	廃棄トナーボックスが正しくセットされていません。	
用紙を補給	表示されているトレイに用紙がありません。	用紙を補給してください。（p. 1-27）、（p. 1-28）、（p. 1-24）
まもなくトナーの交換時期です	表示されているトナーが残り少なくなったときに表示されます。	トナーカートリッジ交換の準備をしてください。
トナーエンプティ	表示されている色のトナーがなくなったため、印刷できません。	トナーカートリッジを交換してください。
ステープルカートリッジ交換	ステープル針がなくなりました。	ステープルカートリッジを交換してください。（p. 11-16）
紙づまりです	紙づまりが発生し、印刷ができません。	つまっている用紙を取り除いてください。（p. 10-3）
HDD ロックパスワード不一致	パスワードが正しくありません。	正しいパスワードを登録します。
暗号化ワード不一致	暗号化ワードが正しくありません。	正しい暗号化ワードを登録するか、HDD をフォーマットします。
トラブル C-xxxx サービスに連絡 （以下の C-255X 除く）	本機に何らかのトラブルが発生し、印刷できません。	画面に表示されているトラブルコードを販売店または弊社に連絡してください。
トラブル　C-2551 サービスに連絡	シアントナーカートリッジがなくなった場合に、モノクロ印刷をしつづけたときに発生します。	新品シアントナーカートリッジに交換してください。
トラブル　C-2553 サービスに連絡	マゼンタトナーカートリッジがなくなった場合に、モノクロ印刷をしつづけたときに発生します。	新品マゼンタトナーカートリッジに交換してください。
トラブル　C-2555 サービスに連絡	イエロートナーカートリッジがなくなった場合に、モノクロ印刷をしつづけたときに発生します。	新品イエロートナーカートリッジに交換してください。
トラブル　C-2557 サービスに連絡	ブラックトナーカートリッジがなくなった場合に、モノクロ印刷をしつづけたときに発生します。	新品ブラックトナーカートリッジに交換してください。
非正規 IU 印刷続行を選択の場合は→	非正規品のイメージングユニットが装着されています。	印刷は続行できますが、印刷結果は保証されません。 正規品のイメージングユニットに交換してください。

メッセージ	原因	処理のしかた
非正規トナー 印刷続行を選択の場合は→	非正規品のトナーカートリッジが装着されています。	印刷は続行できますが、印刷結果は保証されません。 正規品のトナーカートリッジに交換してください。

上記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがい処理を行ってください。

第 11 章
消耗品の交換

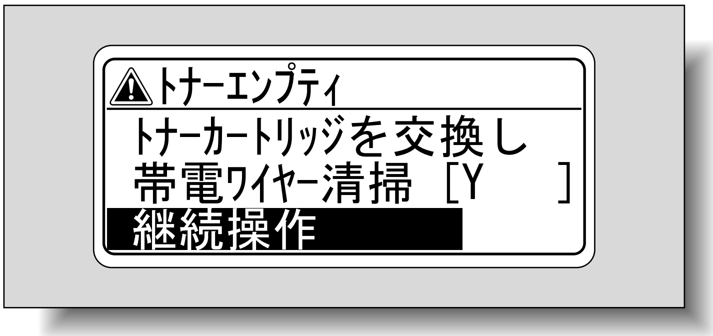
トナーカートリッジの交換やステープルカートリッジの交換、処理などについて説明します。

11.1　トナーカートリッジを交換する

トナーが残り少なくなると、下図のような事前通知メッセージが表示されます。



トナーがなくなると、下図のようなトナー交換処理メッセージが表示されます。



⚠注意

トナーおよびトナーカートリッジの取扱い
トナーまたはトナーカートリッジを火中に投じないでください。
トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。
トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

ひとこと

メッセージが表示されたら、トナーカートリッジの交換の準備を行ってください。

ひとこと

- メッセージ表示後に本機は停止します。トナーカートリッジの交換を行ってください。また表示された色以外のトナーカートリッジの交換をしないでください。
- ブラック以外のトナーがなくなった場合は、ブラックでの強制出力ができます。
［継続操作］－【メニュー選択】を押して、出力するジョブを選択してください。詳しくは、「ブラック強制出力のしかた」（p. 10-49）をごらんください。
- ブラックの強制出力では 5 回以上本体電源を OFF/ON したり前カバーを開閉したりすると、本体保護のため印刷できなくなります（C-255X エラー）。詳しくは、「おもなメッセージと処理のしかた」（p. 10-54）をごらんください。

参照

トナーカートリッジの交換のしかたについては、「トナーカートリッジ交換のしかた」（p. 11-3）をごらんください。

11.1.1　トナーカートリッジ交換のしかた

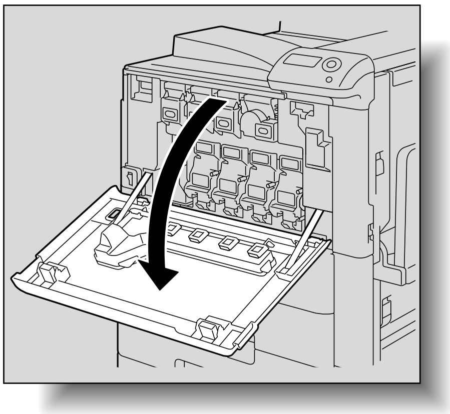
トナーカートリッジの交換のしかたは、全ての色（イエロー Y、マゼンタ M、シアン C、ブラック K）とも同じ交換手順です。

例：ブラックトナーカートリッジの交換のしかた

ひとこと

交換するトナーカートリッジの色と交換用に準備したトナーカートリッジの色が同じか確認します。

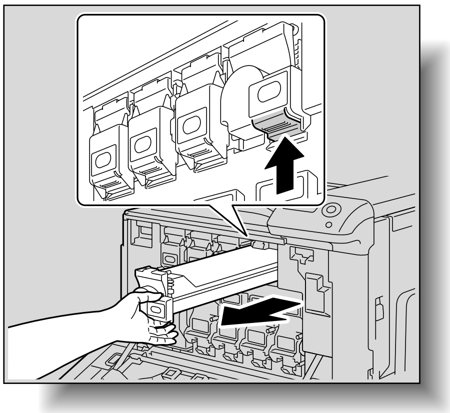
1 前ドアを開きます。



必ず守ってください

- 他の色のトナーカートリッジは取付け位置が異なりますのでご注意ください。
- ブラックのトナーカートリッジと他の色のトナーカートリッジでは形が異なります。

2 使い終わったトナーカートリッジのロックツメを押上げ、ロックを解除します。トナーカートリッジが止まる位置まで手前に引いてから上に持上げて取除きます。



必ず守ってください

使用済みのトナーカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

3 新しいトナーカートリッジを用意します。

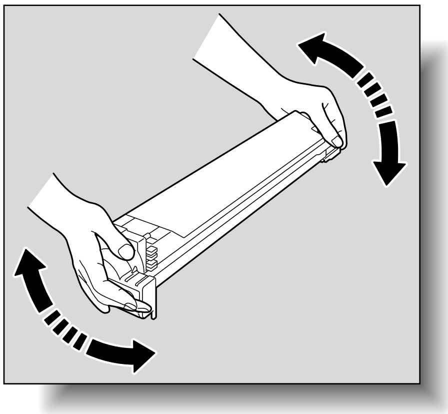
❍ トナーカートリッジの色と本体側のラベルの色が同じであることを確認してください。

必ず守ってください

他の色のトナーカートリッジは取付けることができないようになっています。
無理に取付けようとすると故障の原因になります。

4

新しいトナーカートリッジを個装箱から取出して、上下に 5 〜 10 回程度よく振ります。

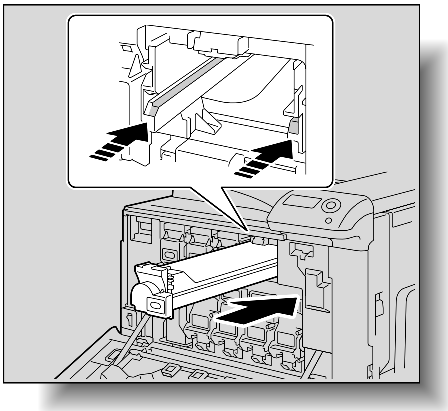


必ず守ってください

トナーカートリッジ内でトナーが固まっていることがありますので、必ずこの動作を行って、トナーをよく砕いてからトナーカートリッジの交換をしてください。

5

トナーカートリッジを本体側の溝に合わせて挿入し、ロックツメがロックするまで差込みます。

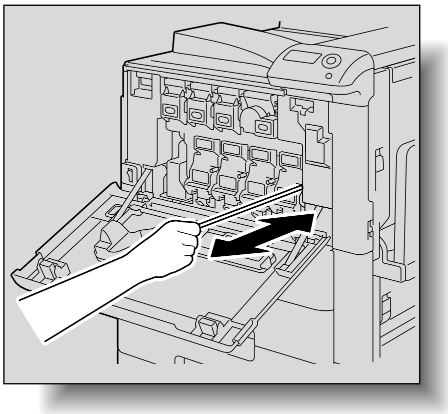


必ず守ってください

新しいトナーカートリッジを差込むときは、“カチッ” と音がするまで確実に差込んでください。

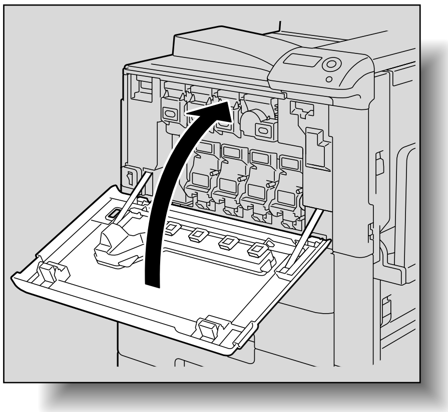
6

チャージャー清掃具を手前側に止まる位置までゆっくり引出します。
次に奥側に当たる位置までゆっくりと押込みます。
上記の操作を 3 回程度行います。



7

前ドアを閉じます。



必ず守ってください

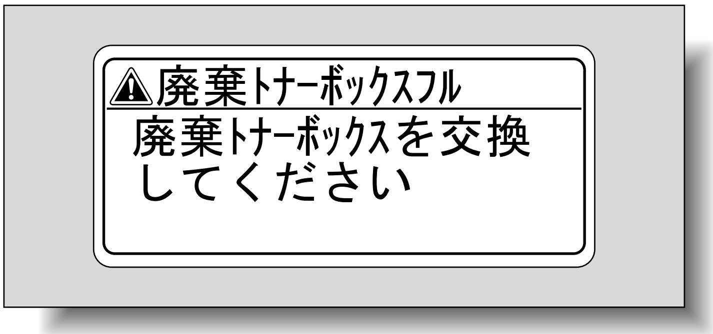
トナーカートリッジを交換した場合は、必ず交換した色に合った帯電チャージャーワイヤーの清掃を行ってください。

11.2 廃棄トナーボックスを交換する

廃棄トナーボックスの交換時期が近づくと、表示パネルに下図のメッセージが表示され、交換時期をお知らせします。

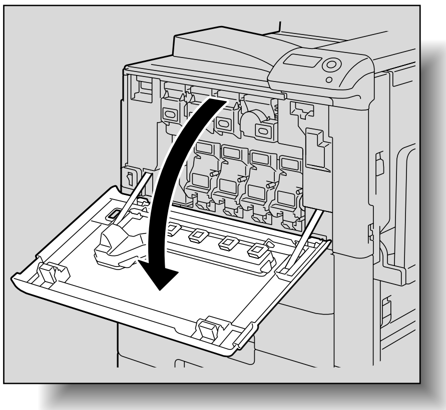


廃棄トナーボックスの交換時期になると、交換時期メッセージが表示され、本機は停止します。



11.2.1 廃棄トナーボックス交換のしかた

1 前ドアを開きます。



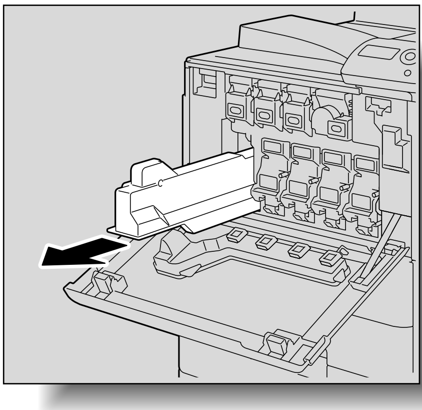
ひとこと

メッセージが表示されたら、廃棄トナーボックスの交換の準備を行ってください。

詳しく説明します

「まもなく廃棄トナーボックスの交換時期です」が表示されてから、「廃棄トナーボックスを交換してください」が表示されるまでの印刷枚数は、印刷条件および各消耗品 / 交換部品によって異なります。

2 廃棄トナーボックスを持上げて取外します。



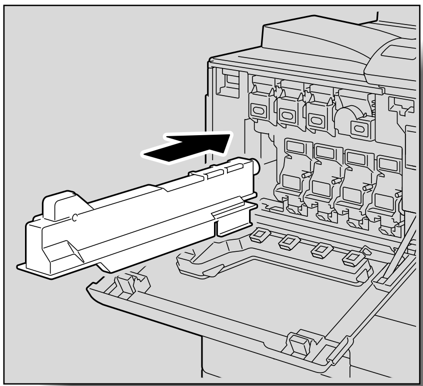
⚠ 注意

トナーまたは廃棄トナーボックスを火中に投じないでください。
トナーが飛散り、やけどのおそれがあります。

⚠ 注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。
トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

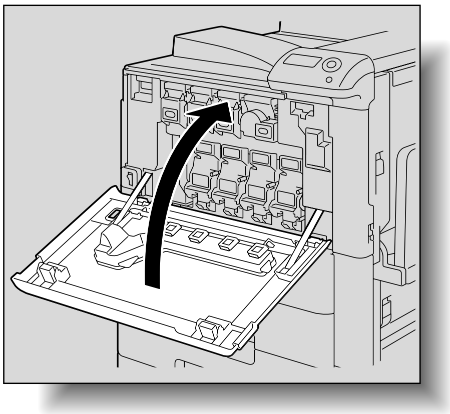
3 新しい廃棄トナーボックスを取り付けます。



必ず守ってください

取外した廃棄トナーボックスを傾けて放置しないでください。廃棄トナーがこぼれるおそれがあります。

4 前ドアを閉じます。



必ず守ってください

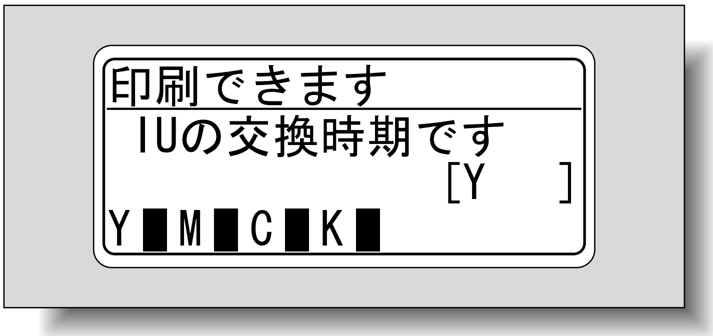
使用済みの廃棄トナーボックスは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

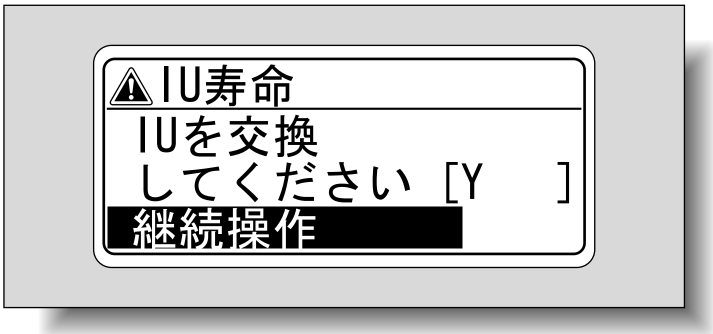
11.3　イメージングユニットを交換する

イメージングユニットの交換時期が近づくと、下図のような事前通知メッセージが表示されます。



イメージングユニットの交換時期に達しますと、下図のような事前通知メッセージが表示されます。





ひとこと

メッセージが表示されたら、イメージングユニットの交換の準備を行ってください。

ひとこと

- メッセージが表示されたら、イメージングユニットの交換を行ってください
- ブラック以外のイメージングユニットが交換時期になった場合は、ブラックでの強制出力ができます。
  ［継続操作］－【メニュー選択】を押して、出力するジョブを選択してください。

参照

イメージングユニットの交換のしかたについては、「イメージングユニット交換のしかた」（p. 11-10）をごらんください。

必ず守ってください

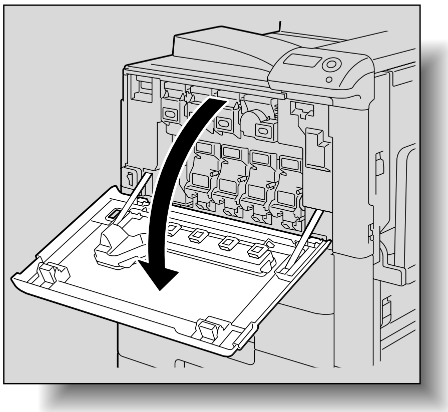
「交換時期です」が表示されるまでは、イメージングユニットの交換をしないでください。また表示された色以外のイメージングユニットの交換をしないでください。

11.3.1　イメージングユニット交換のしかた

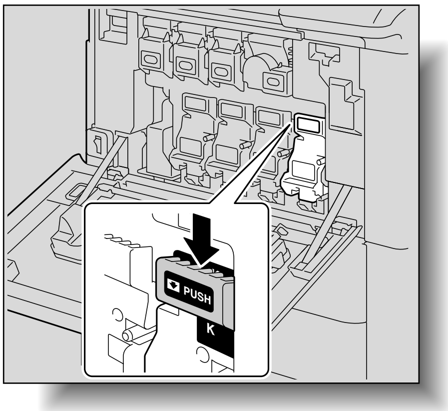
1 【電源スイッチ】の【○】を押します。

表示パネルの表示が消えたことを確認します。

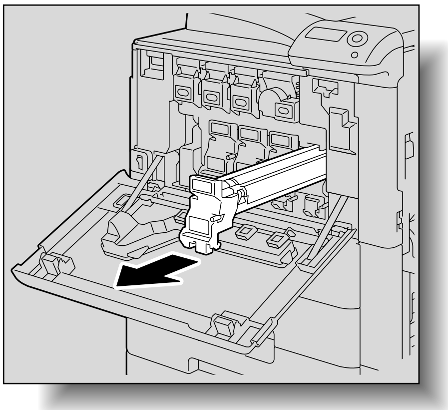
2 前ドアを開きます。



3 交換するイメージングユニットのロック解除つまみを押下げ、ロックを解除します。



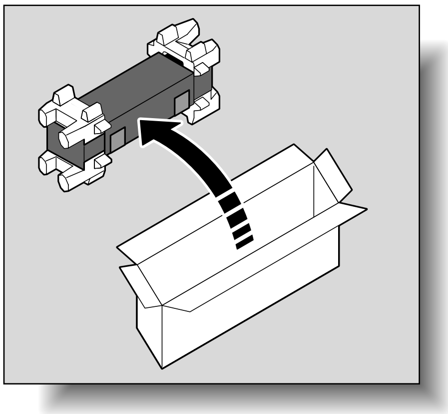
4 イメージングユニットを手前に引いて取外します。



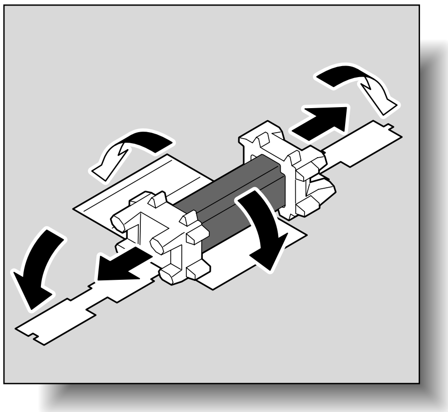
ひとこと

交換するイメージングユニットの色と交換用に準備したイメージングユニットの色が同じか確認します。

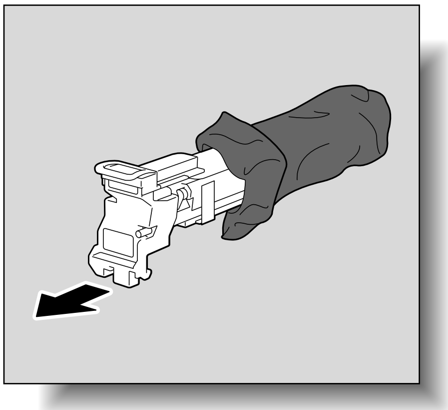
5 イメージングユニットを個装箱から取出します。



6 テープをはがし、梱包材を取外します。

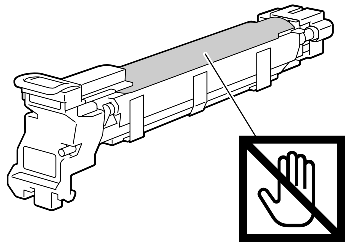


7 黒ビニール袋からイメージングユニットを取出します。



必ず守ってください

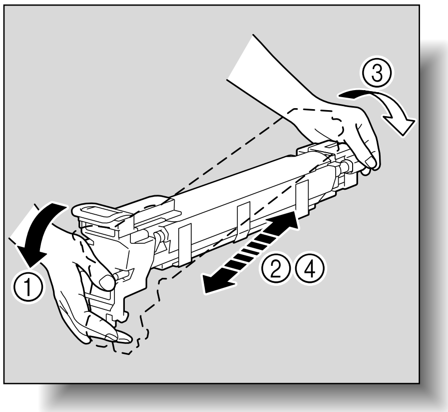
- イメージングユニットは光によるダメージを受けることがあります。取付ける直前まで黒ビニール袋から取出さないでください。
- イメージングユニットの上部を持たないでください。感光体に傷が付き、画像品質が低下するおそれがあります。



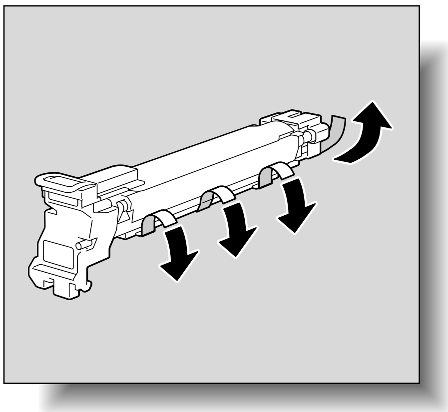
必ず守ってください

感光体には手を触れないでください。

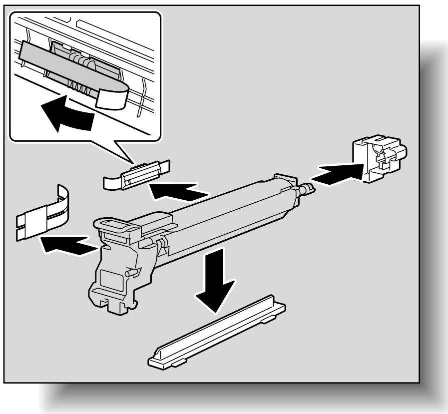
8 イメージングユニットを右に傾けて小さく 2 回、左に傾けて小さく 2 回振ります。



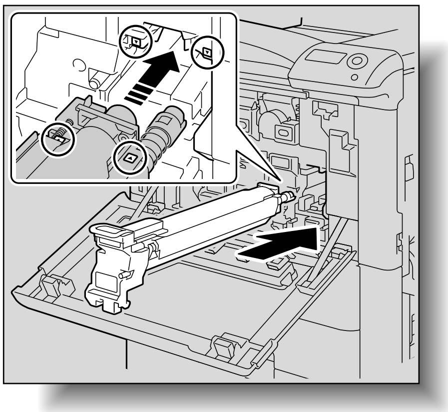
9 テープをはがします。



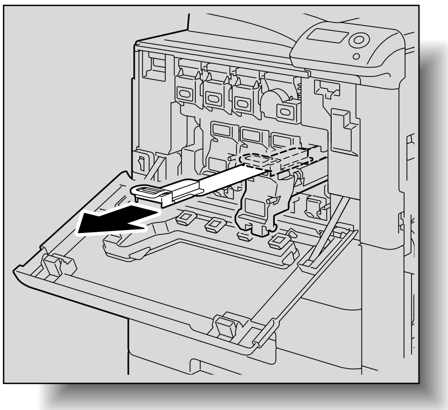
10 梱包材、固定材を取外します。



11 イメージングユニットの▲マークと本体の▼マークを合わせます。
イメージングユニットを本体に挿入します。



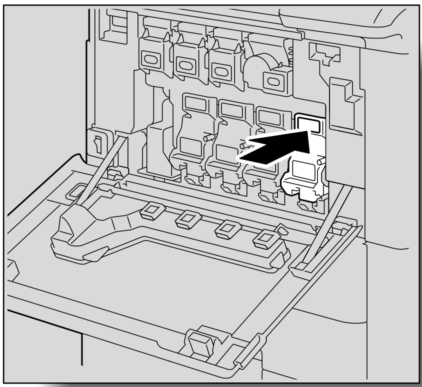
12 感光体保護シート取手を持上げて、ゆっくりと取除きます。



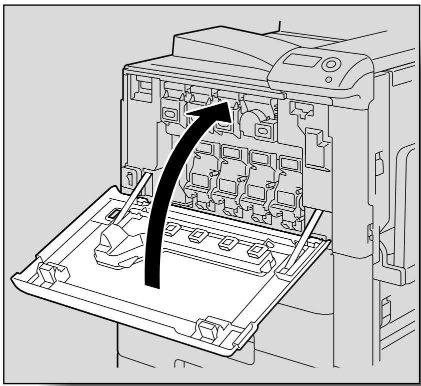
必ず守ってください

- イメージングユニットの色と本体挿入口のカラー表示ラベルの色が合っていることを確認してください。
- イメージングユニットを傾けた状態で、取付け部に挿入しないでください。
- イメージングユニットが確実に挿入されていることを確認してください。

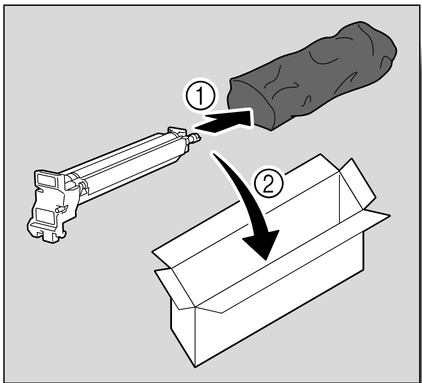
13 イメージングユニットを奥まで押込みます。



14 前ドアを閉じます。



15 交換したイメージングユニットを空になった黒ビニール袋に入れてから、個装箱に戻します。



必ず守ってください

使用済みのイメージングユニットは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

⚠注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。
トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

16 【電源スイッチ】の【I】を押します。

17 画像安定化を行います。

参照

画像安定化のしかたについては、「エキスパート調整」(p. 8-29)をごらんください。

11.4　ステープルカートリッジを交換する

ステープル針がなくなると、「ステープルカートリッジ交換」のメッセージが表示されます。
ステープルカートリッジを交換してください。



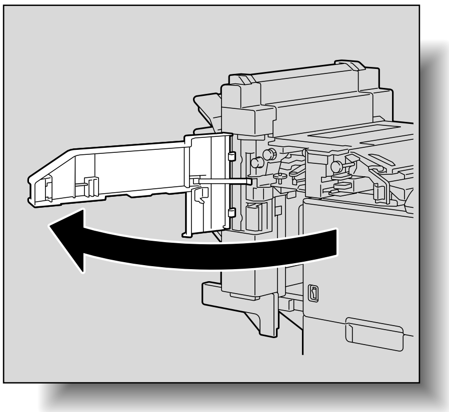
必ず守ってください

ステープルカートリッジの交換は、必ずメッセージが表示されたあとに行ってください。メッセージが表示される前にステープルカートリッジを取外すと故障の原因になります。

11.4.1　フィニッシャー FS-519 のステープルカートリッジ交換のしかた

1

前ドアを開きます。



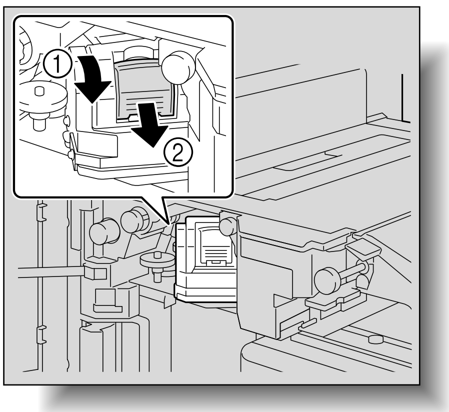
必ず守ってください

ステープルカートリッジの交換は、必ずメッセージが表示されたあとに行ってください。
メッセージが表示される前にステープルカートリッジを取外すと故障の原因になります。

2

ステープルホルダーを取出します。

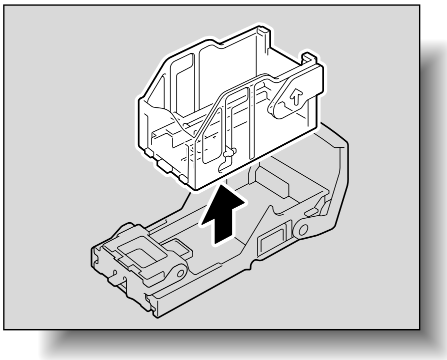
❍ ステープルホルダーを手前に引いて取出します。



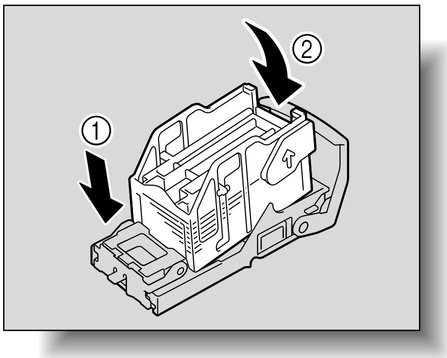
必ず守ってください

ステープルカートリッジの青色の部分以外には触れないでください。

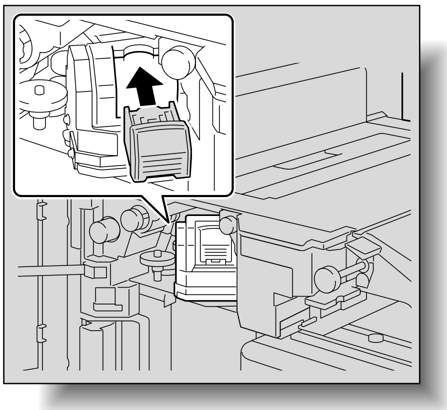
3 ステープルホルダーから空になったカートリッジを取出します。



4 新しいカートリッジをステープルホルダーにセットします。



5 ステープルホルダーを取付け部のレールに沿わせて“カチッ”と音がするまで挿入します。



- ステープルホルダーが奥までしっかり固定されていることを確認してください。

6 前ドアを閉じます。

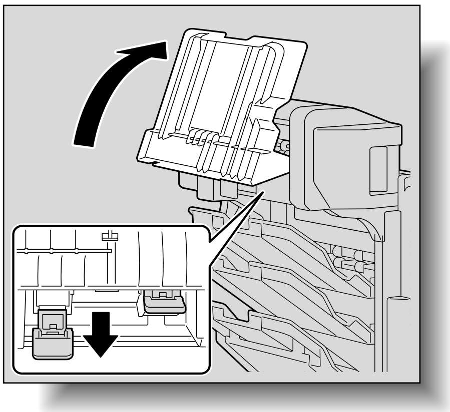
必ず守ってください

残っている針は取除かないでください。取除くと交換後のステープルは空とじされステープルできません。

11.4.2　中綴じ機のステープルカートリッジ交換のしかた

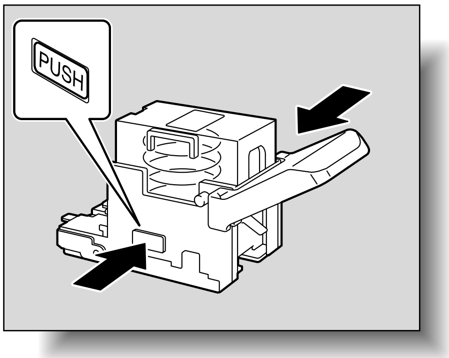
1

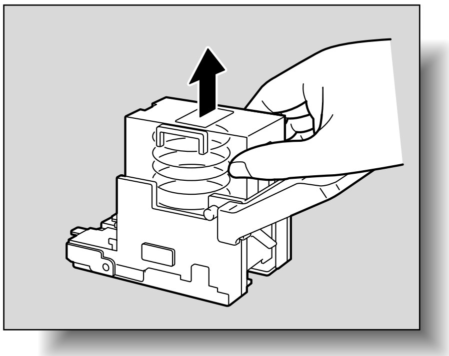
排紙トレイを持上げ、ステープルホルダーを押下げて取外します。



2

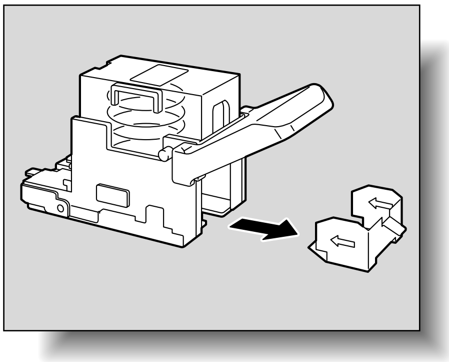
【PUSH】部分を押します。ステープルホルダーのロックが解除されます。





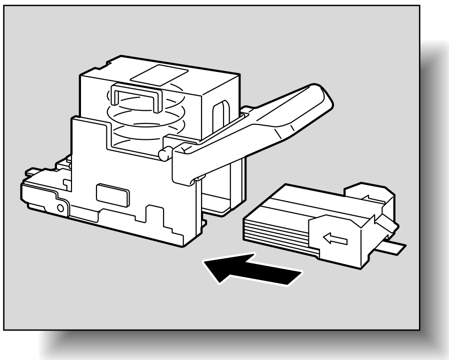
3

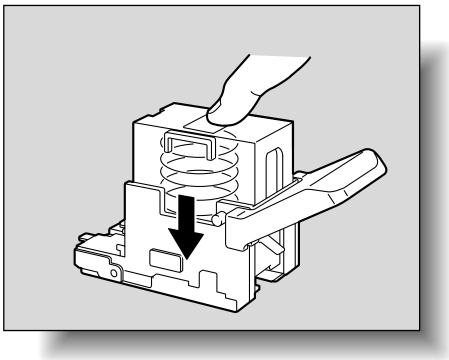
ステープルホルダーから空になったステープルカートリッジを取除きます。



4

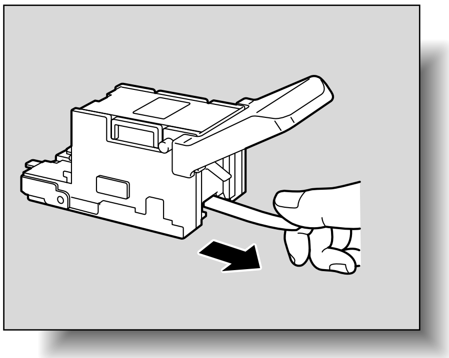
新しいステープルカートリッジをステープルホルダーにセットします。





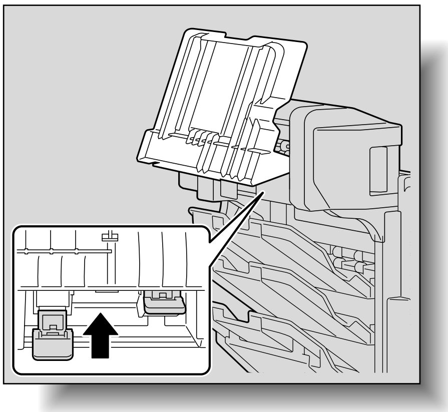
5

ストッパーシールをゆっくり取除きます。



6

新しいステープルホルダーを差込んで“カチッ”と音がするまで押上げます。

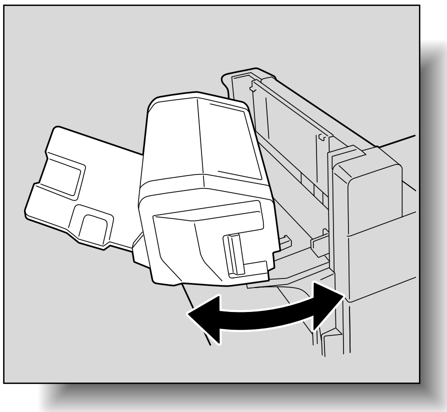


7

排紙トレイを元の位置に戻します。

8

ジャム処理ドアのつまみを引き、ドアを開閉します。

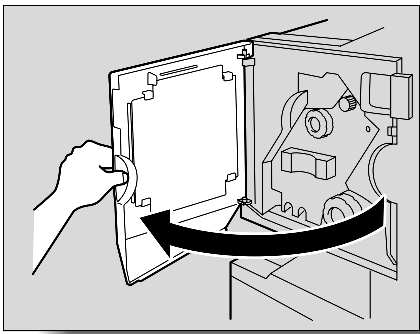


必ず守ってください

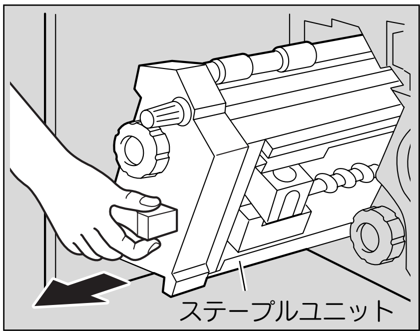
ステープルホルダーを取付けるときは、向きを間違えないように差込んでください。

11.4.3　フィニッシャー FS-609 のステープルカートリッジ交換のしかた

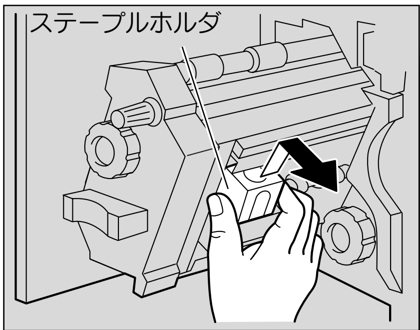
1 前ドアを開きます。



2 ステープルユニットが止まる位置までゆっくりと引出します。



3 ステープルホルダの両側を持ち取外します。



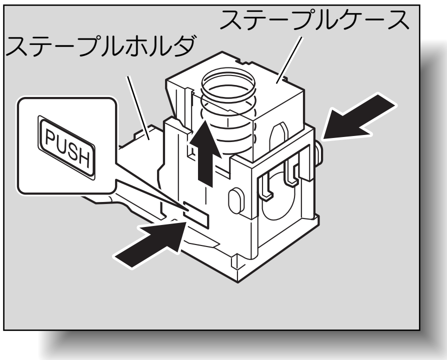
必ず守ってください

ステープルカートリッジの交換は、必ずメッセージが表示されたあとに行ってください。メッセージが表示される前に、ステープルカートリッジを取外すと故障の原因になります。

4

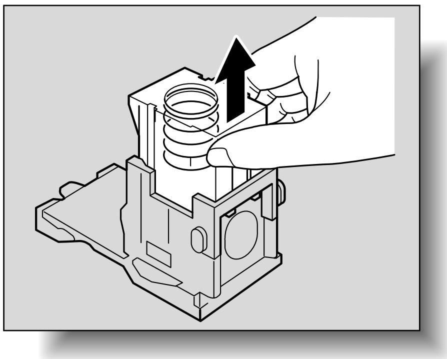
ステープルホルダの【PUSH】部分を押します。

ステープルケースのロックが解除されます。



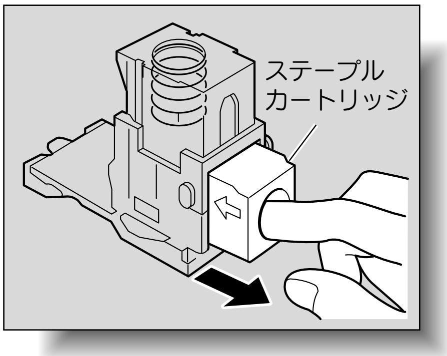
5

ステープルケースを矢印の方向に引上げます。



6

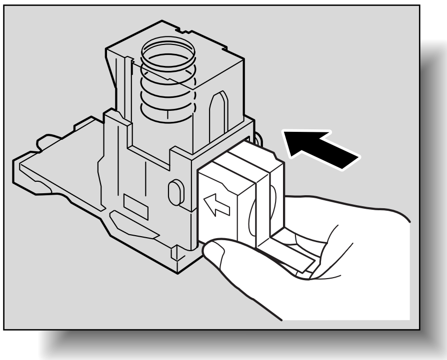
ステープルケース内に残ったステープルカートリッジを取出します。



7

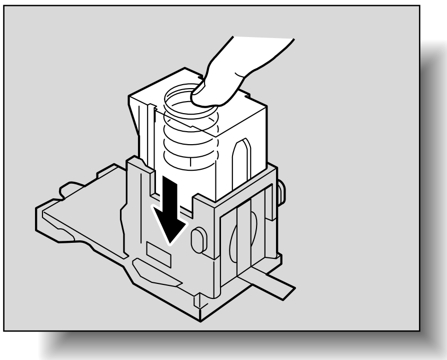
新しいステープルカートリッジをステープルホルダにセットします。

❍ 奥まで確実に押込んでください。



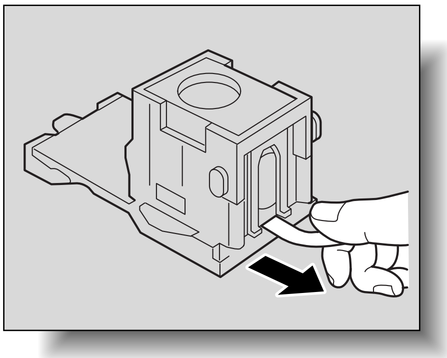
8

ステープルケースを矢印の方向に押下げます。

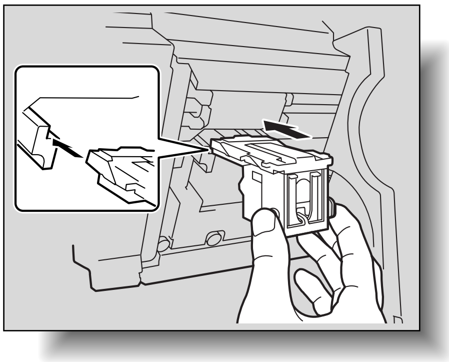


9

ステープルカートリッジのシールテープを取除きます。

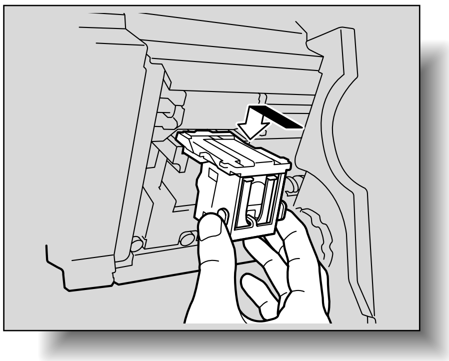


10 ステープルホルダの先端を、取付け部のレールに沿わせて挿入します。



11 ステープルホルダを“カチッ”という音がするまで押込みます。

❍ ステープルホルダが奥までしっかり固定されたことを確認します。



12 ゆっくりステープルユニットを元の位置に戻します。

13 前ドアを閉じます。

11.5 パンチくずを処理する

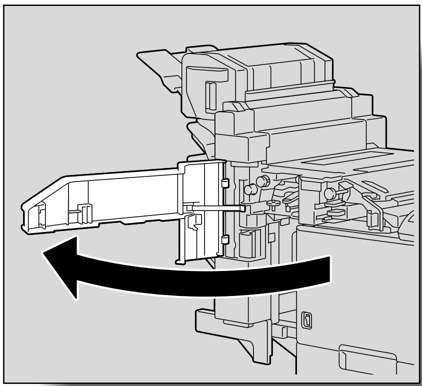
フィニッシャーでパンチキットを装着している場合、パンチくずがいっぱいになると下図のメッセージが表示されます。



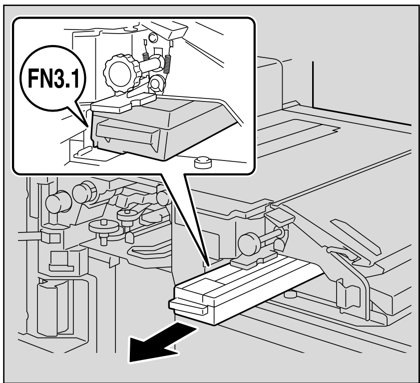
11.5.1 フィニッシャー FS-519 のパンチくず処理のしかた

以下の手順にしたがって、パンチくずを廃棄してください。

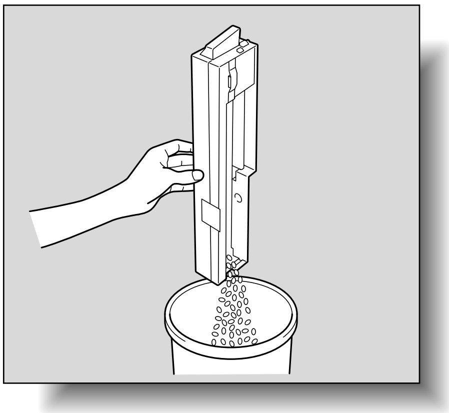
1 前ドアを開きます。



2 パンチ廃棄ボックス【FN3.1】を引出します。



3 パンチくずを廃棄します。



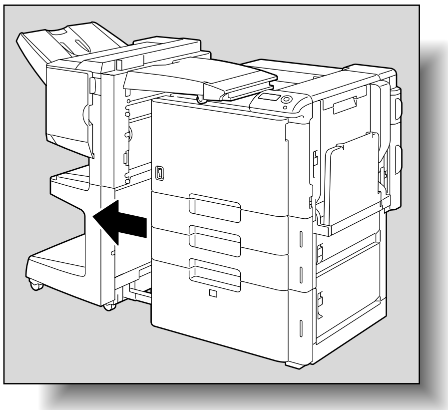
4 パンチ廃棄ボックスを元の位置にはめ込みます。

5 前ドアを閉じます。

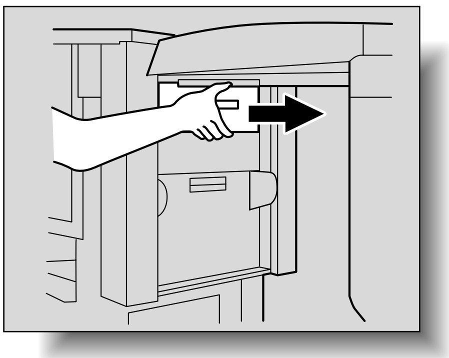
11.5.2 フィニッシャー FS-609 のパンチくず処理のしかた

以下の手順にしたがって、パンチくずを廃棄してください。

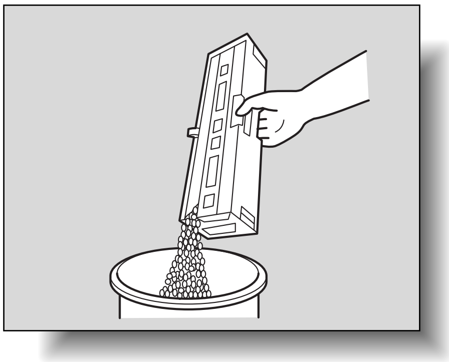
1 フィニッシャーを本体から引離します。



2 パンチ廃棄ボックスを引出します。



3 パンチくずを廃棄します。



4 パンチ廃棄ボックスを元の位置に取付けます。

5 フィニッシャーを元に戻します。

第 12 章
日頃の管理

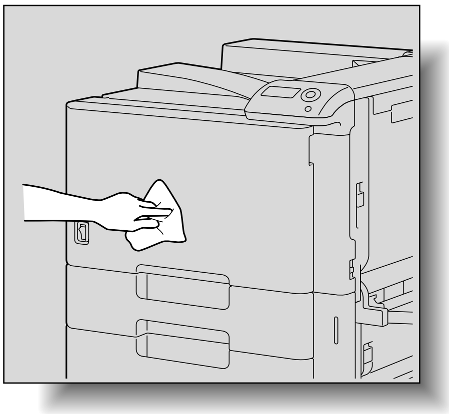
本機の日頃の管理について説明します。

12.1　清掃のしかた

ここでは各部の清掃のしかたについて説明します。

12.1.1　外装カバー

➔ 柔らかな布に家庭用中性洗剤をつけ、外装カバーの表面の汚れを拭取ります。



必ず守ってください

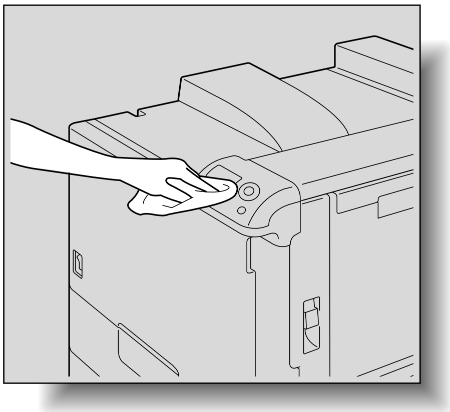
- 清掃時は必ず本体の【電源スイッチ】を OFF【○】にしてください。
- 外装カバーの清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

参照

電源の切りかたについては、「電源の切りかた」（p. 1-17）をごらんください。

12.1.2　操作パネル

➔ 柔らかな布で操作パネルの表面を乾拭きし、汚れを拭取ります。



必ず守ってください

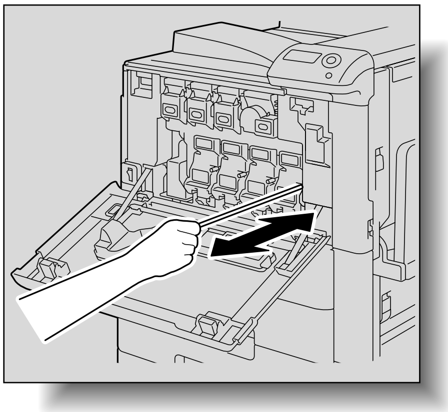
操作キー、表示パネルを傷めるおそれがあるため、強く押さえないでください。また、家庭用中性洗剤、ガラスクリーナー、ベンジン、シンナーなどは絶対に使用しないでください。

12.1.3　帯電チャージャーワイヤー

帯電チャージャーワイヤーが汚れると、印刷画像にスジのような汚れが出ることがあります。以下の手順にしたがって帯電チャージャーワイヤーを清掃してください。

1. 本体前ドアを開きます。

2. チャージャー清掃具を手前側に止まる位置までゆっくり引出します。
次に奥側に当たる位置までゆっくりと押込みます。
上記の操作を 3 回程度行います。

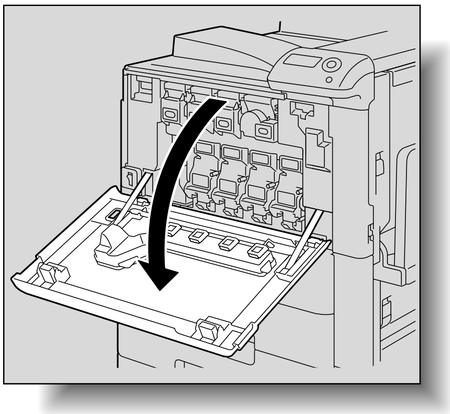


3. チャージャー清掃具を確実に押込み、本体前ドアを閉じます。

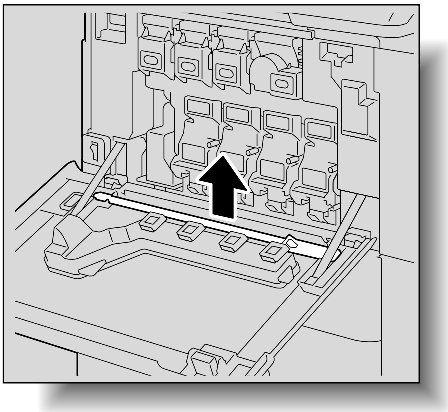
12.1.4　　プリントヘッド

プリントヘッドが汚れると、印刷画像に異常をきたすことがあります。
以下の手順にしたがってプリントヘッドを清掃してください。

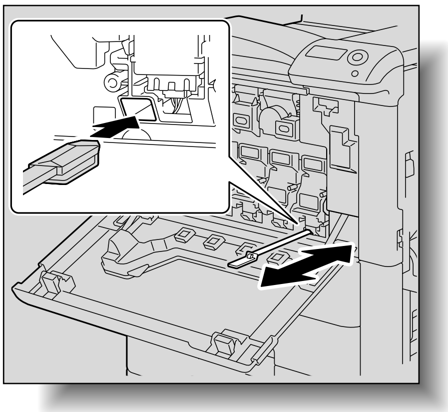
1 本体前ドアを開きます。



2 本体前ドアからプリントヘッド窓清掃具を取出します。



3 プリントヘッド窓清掃具をプリントヘッド清掃口に挿入して前後に 2、3 回往復します。



12.2 「装置の定期点検時期です」と表示されたら

「装置の定期点検時期です」と表示されたら、販売店または弊社にご連絡してください。



第 13 章
仕様

本体およびオプションの仕様、消耗品、交換部品の寿命の目安について説明します。

13.1 仕様

13.1.1 本体仕様

仕様	
形式	一体卓上型／自立型プリンター
感光体	OPC
複写方式	レーザー静電複写方式
現像方式	乾式 2 成分 HMT 現像方式
定着方式	ベルト定着方式
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙 1（91 g/m^2 ～ 150 g/m^2）、 厚紙 2（151 g/m^2 ～ 209 g/m^2）、厚紙 3（210 g/m^2 ～ 256 g/m^2）、 厚紙 4（257 g/m^2 ～ 271 g/m^2）*、OHP フィルム*、はがき*、レターヘッド紙、色紙、封筒*、ラベル用紙*、長尺紙（127 g/m^2 ～ 210 g/m^2）* 両面：普通紙（64 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙 1/2/3（91 g/m^2 ～ 256 g/m^2） * はトレイ 1（手差し）のみ使用可能
用紙サイズ	< トレイ 1（手差し）*> A3 ▭ ～ B6 ▭、A6 ▭、はがき（100 mm × 148 mm）▭、長尺紙、 12 × 18 ▭*2 ～ Statement ▭/▯、8 × 13 ▭*1、16K ▭/▯、8K ▭ 幅：90 mm ～ 311.1 mm、長さ：139.7 mm ～ 1200 mm * 厚紙 4 は A3 ▭、A4 ▯、11 × 17 ▭、Letter ▯ のみ印刷することができます。 < トレイ 2> A3 ▭ ～ A5 ▭、11 × 17 ▭ ～ Letter ▭/▯、8 × 13 ▭*1、16K ▯、8K ▭ < トレイ 3> A3 ▭ ～ A5 ▭、12 × 18 ▭*2 ～ Letter ▭/▯、8 × 13 ▭*1、16K ▯、8K ▭
用紙収容枚数	< トレイ 1（手差し）> 普通紙：150 枚、厚紙 1/2/3/4、OHP フィルム、はがき、ラベル用紙：20 枚、封筒：10 枚、長尺紙：10 枚 < トレイ 2/3> 普通紙：500 枚、厚紙 1/2/3：150 枚
排紙トレイ積載枚数	普通紙：250 枚 厚紙：10 枚 OHP フィルム：1 枚
ウォームアップタイム	【電源スイッチ】を ON にして、印刷可能な状態になるまでの時間（室温 23 ℃） 75 秒以下
画像欠け幅	先端：4.2 mm、後端：4.2 mm、右端：4.2 mm、左端：4.2 mm
ファーストプリントタイム	5.9 秒以下（モノクロ A4）
印刷速度	フルカラー：　35 枚 / 分（片面）、35 面 / 分（両面） ブラック：　35 枚 / 分（片面）、35 面 / 分（両面） （A4 ▯ 印刷時）
RAM	1024 MB
HDD（オプション）	60 GB
I/F	Ethernet（1000Base-T /100Base-TX / 10Base-T） USB 2.0
フレームタイプ	Ethernet 802.2 Ethernet 802.3 Ethernet II Ethernet SNAP
対応プロトコル	TCP/IP(IPv4/IPv6)、BOOTP、ARP、ICMP、DHCP、AutoIP、SNMP、FTP、LPR/LPD、RAW Socket、SMB over TCP/IP、IPP、HTTP、POP、SMTP、LDAP、NTP、SSL、IPX/SPX、AppleTalk、Bonjour、NetBEUI、DPWS、IPsec、DNS、DynamicDNS
プリンター言語	PCL5e/c エミュレーション PCL XL ver2.1 エミュレーション PostScript 3 エミュレーション（3016） XPS ver.1.0

仕様			
動作環境条件		温度 10 ～ 30 ℃ 湿度 15 ～ 85%RH	
解像度	データ処理	600 × 600 dpi	
	印刷	1800 dpi 相当 × 600 dpi	
フォント（内蔵フォント）		< PCL > 欧文　80 書体 日本語 HG 明朝 L HGP 明朝 L HG ゴシック B HGP ゴシック B < Postscript 3 Emulation > 欧文　137 書体 日本語 HG 明朝 L HG ゴシック B	
対応コンピューター		IBM PC およびその互換機、Macintosh（PowerPC 、Intel プロセッサー：Intel Processor は、Mac OS X 10.4 のみ）	
プリンタードライバー		PCL コニカミノルタ製ドライバー（PCL ドライバー）	Windows NT Workstation/Server Version4.0（Service Pack 6 以降） Windows 2000 Professional/Server（Service Pack 3 以降） Windows XP Home Edition/Windows XP Professional、Windows XP Professional x64 Edition Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition、Windows 7 Home Basic/Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate、Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate x64 Edition、Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition、Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64 Edition、Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise
		PostScript コニカミノルタ製ドライバー（PS ドライバー）	Windows 2000 Professional/Server（Service Pack 3 以降） Windows XP Home Edition/Windows XP Professional、Windows XP Professional x64 Edition Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition、Windows 7 Home Basic/Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate、Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate x64 Edition、Windows Server 2003 Standard Edition、Windows Server 2003 x64 Edition、Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64 Edition、Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise
		PostScript PPD ドライバー（PS-PPD）	Mac OS 9.2 以降 Mac OS X 10.2.8/10.3/10.4/10.5/10.6
ユーティリティ		PageScope Web Connection 対応 Web ブラウザー： Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Netscape Navigator Ver.7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Mozilla Firefox Ver.1.0 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Adobe® Flash®（表示形式で Flash を選択する場合、Ver.7.0 以降のプラグイン必須）	

仕様	
MetaFrame 動作環境	本ドライバーは以下の環境でのみ動作確認を実施しております。 Server OS：Windows 2000 Advanced server/ Windows 2003 Enterprise Server MetaFrame：Citrix® MetaFrame® Presentation Server 3.0 Citrix® MetaFrame® Presentation Server 4.0 Client OS：Windows 2000/Windows XP ICAClient：ICA32bit * 上記以外の構成での動作については販売店または弊社にお問合せください。
電源	AC100 V、15 A、50/60 Hz
最大消費電力	1,500 W 以下
スリープモード時消費電力	17W 以下
大きさ	幅 643 mm × 奥行 708 mm × 高さ 637 mm
機械占有寸法 *3	幅 1,668 mm × 奥行 1,168 mm（フィニッシャー FS-519 / 中綴じ機装着時） 幅 1,719 mm × 奥行 1,168 mm（フィニッシャー FS-609 装着時）
質量	約 79 kg

*1 Foolscap には、220 × 330 mm、8-1/2 × 13 、8-1/4 × 13 、8-1/8 × 13-1/4 、8 × 13 の 5 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。本メニューの変更はサービスエンジニアによる作業が必要です。

*2 12 × 18 は A3 よりひと回り大きい 304.8 × 457.2 mm です。

*3 機械占有寸法は、給紙トレイを引出した状態の寸法です。

この製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

13.1.2 自動両面ユニット

仕様	
用紙種類	普通紙（64 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙 1（91 g/m^2 ～ 150 g/m^2）、 厚紙 2（151 g/m^2 ～ 209 g/m^2）、厚紙 3（210 g/m^2 ～ 256 g/m^2）
用紙サイズ	A3 ～ A5 /、12-1/4 × 18 *1、12 × 18 *1 ～ Statement 、 8 ×13 *2、8K 、16K / 幅：139.7 mm ～ 311.1 mm、長さ：148 mm ～ 457.2 mm
電源	本体から供給

*1 A3 よりひと回り大きい用紙サイズです。12-1/4 × 18 は 311.1 × 457.2 mm、12 × 18 は 304.8 × 457.2 mm です。

*2 Foolscap には、220 × 330 mm 、8-1/2 × 13 、8-1/4 × 13 、8-1/8 × 13-1/4 、8 × 13 の 5 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。本メニューの変更はサービスエンジニアによる作業が必要です。

13.1.3 給紙キャビネット PC-106

仕様	
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2） 厚紙 1（91 g/m^2 ～ 150 g/m^2） 厚紙 2（151 g/m^2 ～ 209 g/m^2） 厚紙 3（210 g/m^2 ～ 256 g/m^2）
用紙サイズ	A3 ～ A5 、11 × 17 ～ Letter /、8 × 13 *、16K 、8K
収容枚数	トレイ 4 普通紙：500 枚、厚紙 1/2/3：150 枚
電源	本体から供給
最大消費電力	15 W 以下
大きさ	幅 600 mm × 奥行 578 mm × 高さ 301 mm
質量	約 24 kg

仕様	
ユニット構成	給紙トレイ 1 段

*　Foolscap には、220 × 330 mm 、8-1/2 × 13 、8-1/4 × 13 、8-1/8 × 13-1/4 、8 × 13 の 5 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。本メニューの変更はサービスエンジニアによる作業が必要です。

13.1.4　給紙キャビネット PC-205

仕様	
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2） 厚紙 1（91 g/m^2 ～ 150 g/m^2） 厚紙 2（151 g/m^2 ～ 209 g/m^2） 厚紙 3（210 g/m^2 ～ 256 g/m^2）
用紙サイズ	A3 ～ A5 、11 × 17 ～ Letter /、8 × 13 *、16K 、8K
収容枚数	上段（トレイ 4） 普通紙：500 枚、厚紙 1/2/3：150 枚 下段（トレイ 5） 普通紙：500 枚、厚紙 1/2/3：150 枚
電源	本体から供給
最大消費電力	15 W 以下
大きさ	幅 600 mm × 奥行 578 mm × 高さ 301 mm
質量	約 28 kg
ユニット構成	給紙トレイ 2 段

*　Foolscap には、220 × 330 mm 、8-1/2 × 13 、8-1/4 × 13 、8-1/8 × 13-1/4 、8 × 13 の 5 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。本メニューの変更はサービスエンジニアによる作業が必要です。

13.1.5　給紙キャビネット PC-406

仕様	
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2） 厚紙 1（91 g/m^2 ～ 150 g/m^2） 厚紙 2（151 g/m^2 ～ 209 g/m^2） 厚紙 3（210 g/m^2 ～ 256 g/m^2）
用紙サイズ	A4
収容枚数	普通紙：2,500 枚、厚紙 1/2/3：1,000 枚
電源	本体から供給
最大消費電力	45 W 以下
大きさ	幅 600 mm × 奥行 578 mm × 高さ 301 mm
質量	約 28 kg

13.1.6　フィニッシャー FS-519

仕様	
排紙トレイ	第 1 排紙トレイ、第 2 排紙トレイ
通紙機能	グループ、ソート、仕分けグループ、仕分けソート、ステープル

仕様	
用紙種類	＜第 1 排紙トレイ、第 2 排紙トレイ＞ グループ / ソート：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 271 g/m^2）、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙、レターヘッド 仕分けグループ / 仕分けソート：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 271 g/m^2） ステープル：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 209 g/m^2）
用紙サイズ	＜第 1 排紙トレイ、第 2 排紙トレイ＞ A3 ～ B6 、A6 、12-1/4 × 18 *、はがき（100 mm × 148 mm）
用紙積載量	＜第 1 排紙トレイ＞ 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）：200 枚 厚紙（91 g/m^2 ～ 271 g/m^2）、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙、レターヘッド：20 枚 ＜第 2 排紙トレイ＞ 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）：A4 以下 1000 枚、B4 以上 500 枚 厚紙（91 g/m^2 ～ 271 g/m^2）、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙、レターヘッド：20 枚
シフト量	30 mm
ステープル機能	用紙サイズ（とじ枚数）：A3 ～ A5 （普通紙：2 ～ 50 枚）
パンチ機能	オプションのパンチキットによる
電源	本体から供給
最大消費電力	66 W 以下
大きさ	幅 352（471）mm × 奥行 558 mm × 高さ 573 mm（ ）はトレイ引出し時
質量	約 33.2 kg
消耗品	ステープル針 SK-602（5,000 針入り）× 1 個

* 12-1/4 × 18 は A3 よりひと回り大きい 311.1 × 457.2 mm です。

13.1.7　パンチキット PK-515

仕様	
パンチ穴数	2 穴
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 256 g/m^2）
用紙サイズ	A3 ～ B5 /
電源	フィニッシャーより供給
大きさ	幅 114 mm × 奥行 461 mm × 高さ 106 mm
質量	約 1.9 kg

13.1.8　中綴じ機 SD-505

仕様	
ビン数	1 ビン
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 209 g/m^2）
用紙サイズ	A3 、B4 、A4 、B5
用紙積載量	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）：最大 200 枚または 20 部
ステープル機能	とじ枚数：2 ～ 15 枚
大きさ	幅 445（576）mm × 奥行 478 mm × 高さ 203（281）mm （ ）内の数値はトレイ引出し時
質量	7.4 kg

仕様	
消耗品	MS-2C 1 カートリッジ（2000 本用）
電源	フィニッシャーより供給

13.1.9　排紙トレイ OT-602

仕様	
ビン数	1 ビン
用紙種類	＜第 1 排紙トレイ、第 2 排紙トレイ＞ グループ / ソート：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 271 g/m^2）、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙、レターヘッド 仕分けグループ / 仕分けソート：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 271 g/m^2） ステープル：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 209 g/m^2）
用紙サイズ	＜第 1 排紙トレイ、第 2 排紙トレイ＞ A3 ▭ ～ B6 ▭、A6 ▭、12-1/4 × 18 ▭*、はがき（100 mm × 148 mm）
用紙積載量	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）：200 枚 厚紙（91 g/m^2 ～ 271 g/m^2）、はがき、封筒、OHP フィルム、ラベル用紙、レターヘッド：20 枚
大きさ	幅 282 mm × 奥行 368 mm × 高さ 57 mm
質量	0.7 kg

*　12-1/4 × 18 は A3 よりひと回り大きい 311.1 × 457.2 mm です。

13.1.10　メールビンキット MT-502

仕様	
ビン数	4 ビン
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）
用紙サイズ	A4 ▯、B5 ▯、A5 ▭
用紙積載量	各ビン 125 枚まで
大きさ	幅 340 mm × 奥行 509 mm × 高さ 387 mm
質量	約 8 kg（製品質量）
電源	フィニッシャーより供給

13.1.11　フィニッシャー FS-609

仕様	
排紙トレイ	第 1 排紙トレイ、第 2 排紙トレイ
通紙機能	ノーマル機能：グループ、ソート、仕分けグループ、仕分けソート、ステープル、サドルステープル
用紙種類	＜第 1 排紙トレイ＞ グループ／ソート：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 256 g/m^2）、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙 仕分けソート／仕分けグループ：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2） ステープル：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2） ＜第 2 排紙トレイ＞ 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）
用紙サイズ	＜第 1 排紙トレイ＞ グループ：A3 ▭ ～ A5 ▭/▯、A6 ▭、12-1/4 × 18 ▭[*1]、はがき（100 mm × 148 mm） ソート：A3 ▭ ～ A5 ▯ ステープル：A3 ▭ ～ B5 ▭/▯ ＜第 2 排紙トレイ＞ A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭

仕様	
用紙積載量	＜第 1 排紙トレイ＞ 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）：A4 以下 1,000 枚、B4 以上 500 枚 厚紙（91 g/m^2 ～ 256 g/m^2）、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙： 20 枚 ＜第 2 排紙トレイ＞ 10 部（とじ枚数 6 枚～ 15 枚）*2 20 部（とじ枚数 2 枚～ 5 枚）
シフト量	20 mm
ステープル機能	＜第 1 排紙トレイ＞ 用紙サイズ（とじ枚数）：A4 /、B5 /（2 枚～ 50 枚） A3 、B4 （2 枚～ 25 枚） ＜第 2 排紙トレイ＞ 用紙サイズ（とじ枚数）：A3 ～ A4 （2 枚～ 15 枚）
パンチ機能	オプションのパンチキットによる
電源	本体より供給
最大消費電力	65 W 以下
大きさ	幅 601 mm × 奥行 603 mm × 高さ 933 mm
質量	約 42 kg（水平搬送部を含む）
消耗品	ステープル MS-5D（50 枚とじ用 5,000 針入り）× 1

*1　12-1/4 × 18 は A3 よりひと回り大きい 311.1 × 457.2 mm です。

*2　とじ枚数は用紙種類により異なります。64 g/m^2 紙使用時 6 枚～ 15 枚、80 g/m^2 紙使用時 6 枚～ 10 枚までとなります。

13.1.12　パンチキット PK-501

仕様	
パンチ穴数	2 穴
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 209 g/m^2）
用紙サイズ	A3 ～ B5 /
電源	フィニッシャーより供給
大きさ	幅 90 mm × 奥行 560 mm × 高さ 170 mm
質量	約 3 kg

13.2 消耗品、交換部品の寿命の目安

13.2.1 消耗品の寿命の目安

消耗品	平均寿命の目安
トナーカートリッジ ブラック（K）	製品に付属のトナーカートリッジ：平均 9,000 ページ（間欠印刷：4P/J） 交換用トナーカートリッジ：平均 26,000 ページ（間欠印刷：4P/J）
トナーカートリッジ イエロー（Y） マゼンタ（M） シアン（C）	製品に付属のトナーカートリッジ：平均 6,000 ページ（間欠印刷：4P/J） 交換用トナーカートリッジ：平均 20,000 ページ（間欠印刷：4P/J）
イメージングユニット ブラック（K）	「まもなく IU の交換時期です」：平均 118,000 ページ（間欠印刷：4P/J） 「IU の交換時期です」：平均 120,000 ページ（間欠印刷：4P/J） 「IU を交換してください」：平均 122,000 ページ（間欠印刷：4P/J）
イメージングユニット イエロー（Y） マゼンタ（M） シアン（C）	「まもなく IU の交換時期です」：平均 88,000 ページ（間欠印刷：4P/J） 「IU の交換時期です」：平均 90,000 ページ（間欠印刷：4P/J） 「IU を交換してください」：平均 92,000 ページ（間欠印刷：4P/J）
廃棄トナーボックス	平均 50,000 ページ（間欠印刷：4P/J）
ステープル針 フィニッシャー FS-519	5,000 本（1 カートリッジ）
ステープル針 中綴じ機	2,000 本（1 カートリッジ）
ステープル針 フィニッシャー FS-609	5,000 本（1 カートリッジ）

上記の数値は印字率が 5% で、A4/Letter サイズの用紙を使用した片面印刷時の数値です。

実際の寿命は、印刷条件（印刷率、用紙サイズ等）や、連続印刷（平均 4 ページのプリントジョブが消耗品には最良です）か、間欠的な印刷（1 ページのプリントジョブと複数回印刷する場合）かなどの印刷方法の違い、厚紙印刷など使用する用紙種類によって異なります（短くなります）。また、周囲の気温や湿度も影響します。

カラープリンタでは、モノクロ印刷・カラー印刷に関わらず、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作やプリント品質保持のための自動調整動作時に、全てのトナーが微量に消費されます。

モノクロ印刷でご使用になられた場合でも、カラートナーは消耗し交換が必要になります。

13.2.2　定期交換部品の寿命の目安

定期交換部品	平均寿命の目安
トレイ 1（手差し）	
給紙ローラー	約 200,000 ページ
分離ローラー Ass'y	約 200,000 ページ
トレイ 2、3	
給紙ローラー	約 300,000 ページ
分離ローラー Ass'y	約 300,000 ページ
ピックアップローラー	約 300,000 ページ
転写ローラーユニット	約 150,000 ページ
転写ベルトユニット（オゾンフィルタ）	約 150,000 ページ
定着ユニット	約 400,000 ページ

本機のご使用にあたって万が一画像不良などが発生した場合は、下記にお問い合わせください。
コニカミノルタプリンタサポートセンター：TEL 0570-003-111
（土日・祝日・年始年末を除く 午前 9:00 〜 12:00、午後 1:00 〜 5:00）

第 14 章
認証装置
（指静脈 生体認証タイプ AU-101）

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）について説明します。

14.1　安全にお使いいただくために

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）をご使用になる場合は、「セーフティインフォメーションガイド」と併せて以下の注意事項をお守りください。

14.1.1　重要事項

- 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）は、オプション製品です。全て現状のままで販売、または利用許諾されるものです。
- 弊社は、本ユーザーズガイドに従わない使用はもとより、製品または製品の使用から生じたいかなる損害（逸失利益、その他の間接損害を含む）についても責任を負いません。
- 本製品は一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途に使用しないでください。（高信頼性を必要とする用途例：化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御など）
- 他の認証装置との使用については動作保証していません。
- 本製品の仕様は改良のため変更することがあります。

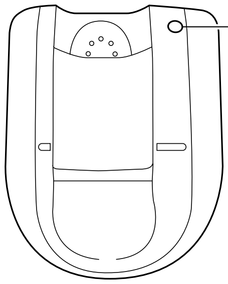
14.1.2　安全にご使用いただくために

- 本製品を水の近くで使用しないでください。故障の原因となります。
- USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたりしないでください。USB ケーブルが傷つき、断線による誤作動の原因となることがあります。
- 本製品を開けたりしないでください。故障の原因になります。

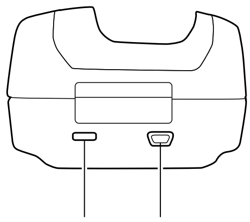
14.2　製品の特徴

本装置は、指の静脈パターンを撮影することにより個人認証を行う「バイオメトリクス（生体認証）」のシステムです。ユーザー認証が設定されているプリンターで、印刷ジョブの出力を指静脈による認証で行うことができます。

14.3　各部の名称とはたらき



上から見た図



後ろから見た図

No	名称	説明
1	状態表示 LED	本装置の状態を表します。
2	盗難防止用ロック穴	盗難防止用セキュリティーケーブルを接続します。 （ケンジントン社製セキュリティーケーブル規格に準拠）
3	USB ポート（Mini-B タイプ）	USB ケーブル （Mini-B プラグ）を接続します。

状態表示 LED と報知音により、本装置の状態を表します。

状態表示 LED	本装置の状態
点灯（緑）	待機中・認証完了
点滅（緑）	認証中・撮影中
点灯（赤）	認証失敗・撮影失敗
消灯	本装置を認識していない状態

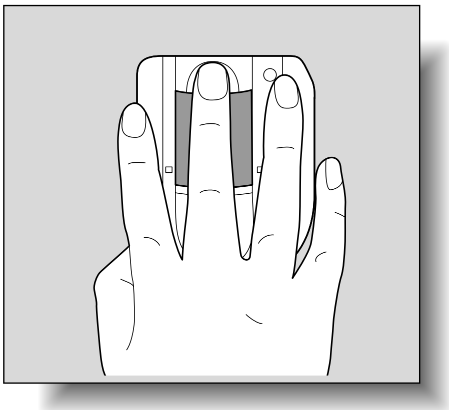
報知音	本装置の状態
短く 1 度（ピッ）	撮影開始
短く 1 度（ピッ）	認証失敗リトライ中
短く 1 度（ピッ）	認証完了
短く 2 度（ピピッ）	認証失敗

14.4 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）の使いかた

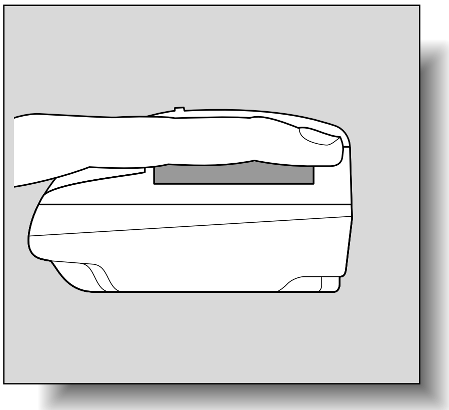
本装置を使用するためには、最初にユーザーの指静脈パターンを本機に登録します。登録されたユーザーは、指静脈パターンによる認証で、印刷ジョブの出力をすることができます。ここでは本機で必要な設定のしかた、ユーザー登録のしかたを説明します。

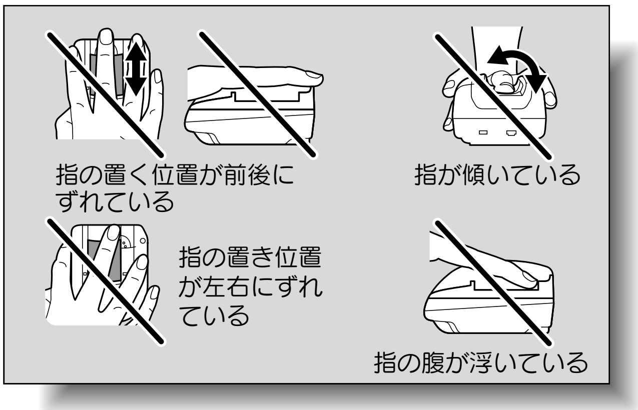
14.4.1 指の置きかた

1 手を軽く広げて、本装置の上から登録・認証させる指を置きます。



2 指の先端を本装置のくぼみに合わせて、指先が突起を感じる位置に軽く乗せます。





ひとこと

人差し指は読取り部分の窪みと突起部分を目標にして、人差し指の指先の腹で軽く触れるようにまっすぐにした状態で置いてください。中指と親指を本装置の両側に固定し、認証に使用する人差し指の回転を防ぎます。

必ず守ってください

- 撮影中は本装置の読取り部分に指以外のものを置かないでください。誤動作の原因となる場合があります。
- 撮影中に本装置やコンピューターから USB ケーブルを抜かないでください。システムが不安定になる場合があります。

ひとこと

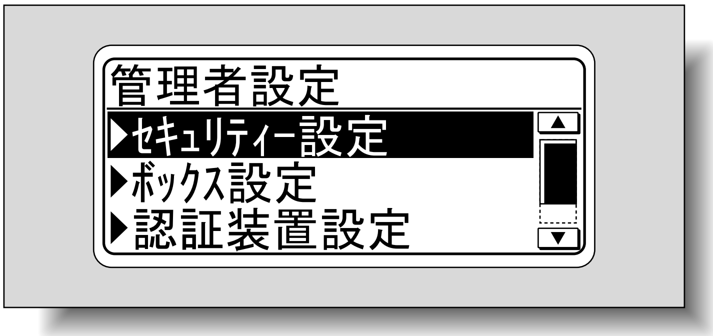
登録・認証ができない場合は、左図を確認してください。
本装置から指を離して、再度正しい位置に置きなおしてください。

14.4.2　本機の設定

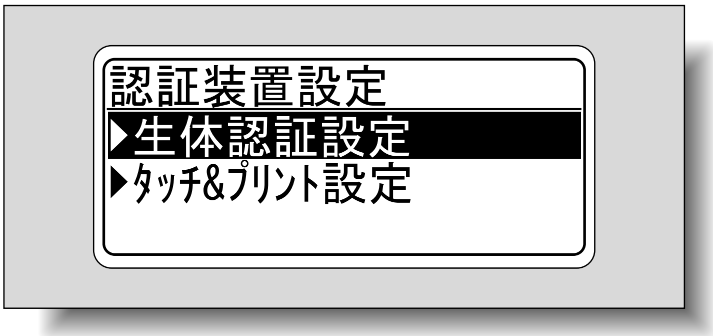
原則

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）を使用する場合は、オプションの HDD、ローカル接続キットの装着が必要になります。

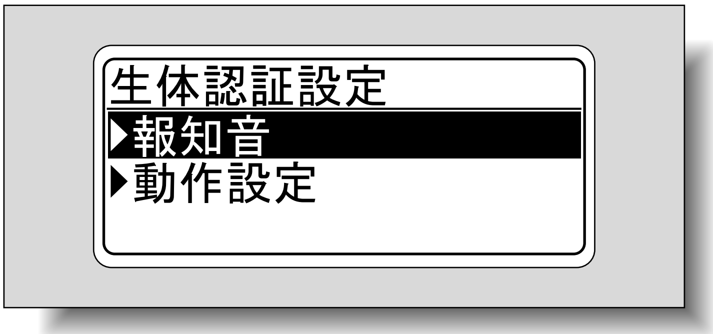
1. 表示パネルの［メインメニュー］から「管理者設定」画面を表示させせます。



2. 「認証装置設定」画面から［生体認証設定］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。



3. ［報知音］と［動作設定］の設定を行います。



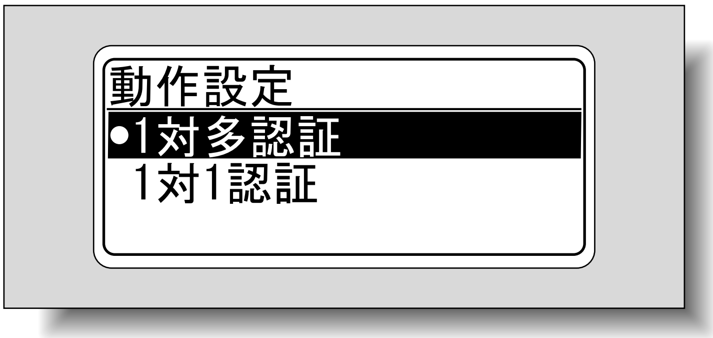
参照

「管理者設定」画面の表示のしかたは、「設定メニュー一覧表」（p. 8-6）をごらんください。

❍［報知音］は、指静脈パターンの読取りに成功したときに「ピッ」という音を鳴らすかどうかを指定します。



❍［動作設定］は、登録後の印刷のしかたを指定します。



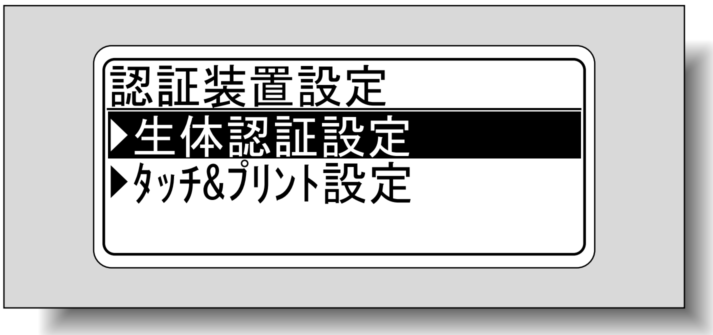
4

【◀】キーを 2 回押します。

「認証装置設定」画面に戻ります。

5

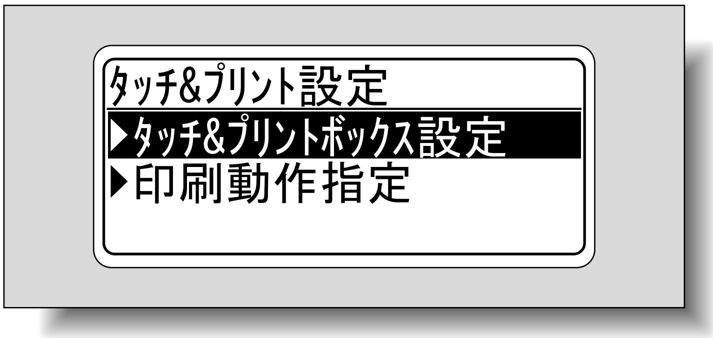
［タッチ＆プリント設定］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。



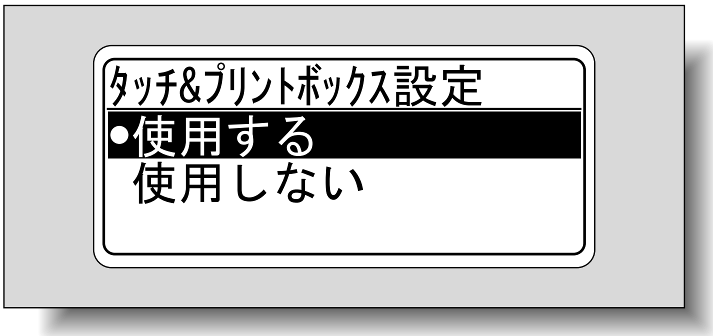
ひとこと

1 対多認証：プリンタードライバーでユーザー名、パスワードを指定し、認証装置に指を置くことで出力できます。
1 対 1 認証：プリンタードライバーで指定したユーザー名、パスワードが正しければ、出力されます。「1 対 1 認証」を選択した場合は、タッチ＆プリント機能は使用できません。

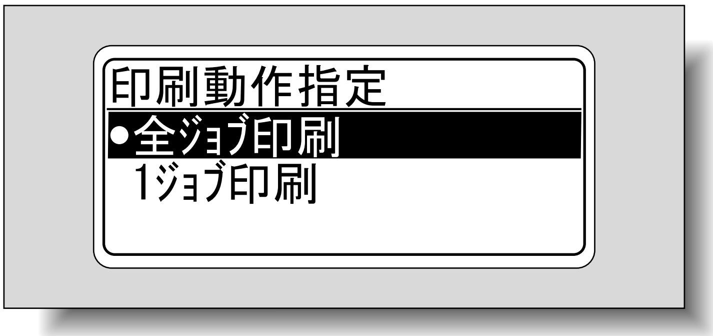
6 ［タッチ＆プリントボックス設定］と［印刷動作指定］の設定を選択します。



- 「タッチ＆プリントボックス設定」で［使用しない］を選択した場合は、タッチ＆プリント機能は使用できません。
- 「タッチ＆プリントボックス設定」で［使用する］を選択した場合は、［1 対 1 認証］は設定できません。



- 「印刷動作指定」では、タッチ＆プリント機能の印刷方法を設定します。



ひとこと

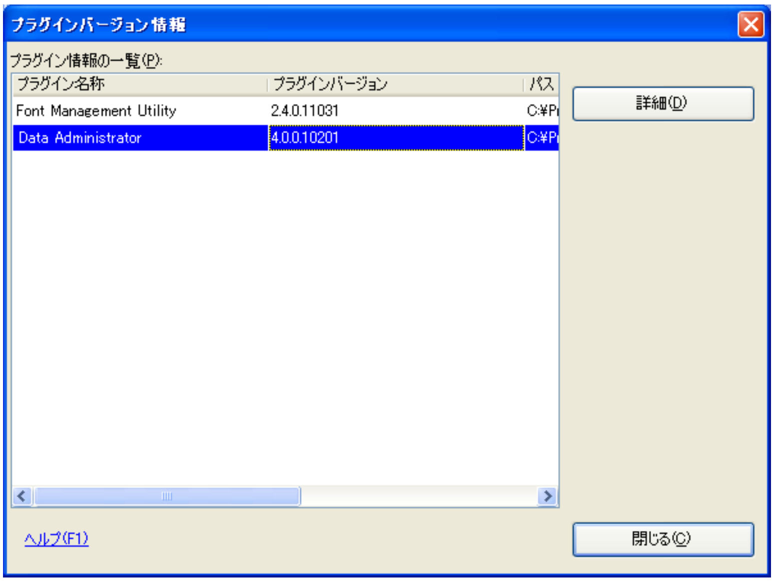
全ジョブ印刷：タッチ＆プリントボックスに複数の文書が保存されている場合に、1 回の認証で認証されたすべての文書が印刷されます。
1 ジョブ印刷：タッチ＆プリントボックスに保存されている文書が、1 回の認証で 1 文書ずつ印刷されます。

14.4.3　ユーザー登録のしかた

ユーザー登録は、本装置をコンピューターに接続して PageScope Data Administrator を使用して登録します。

■ インストールバージョンの確認

1. PageScope Data Administrator の「ヘルプ」メニューから「バージョン情報」を選択します。
2. [プラグインバージョン情報] をクリックします。
3. [プラグイン情報の一覧] で、PageScope Data Administrator のプラグインバージョンを確認します。



ひとこと

- バージョンが「3.x」の場合、このソフトは使用できません。「4.x」をインストールしてください。
- PageScope Data Administrator V3.x がインストールされている場合は、V4.x のインストール時に削除されます。

ひとこと

プラグインバージョンが「4.x」の場合、このソフトを使用できます。

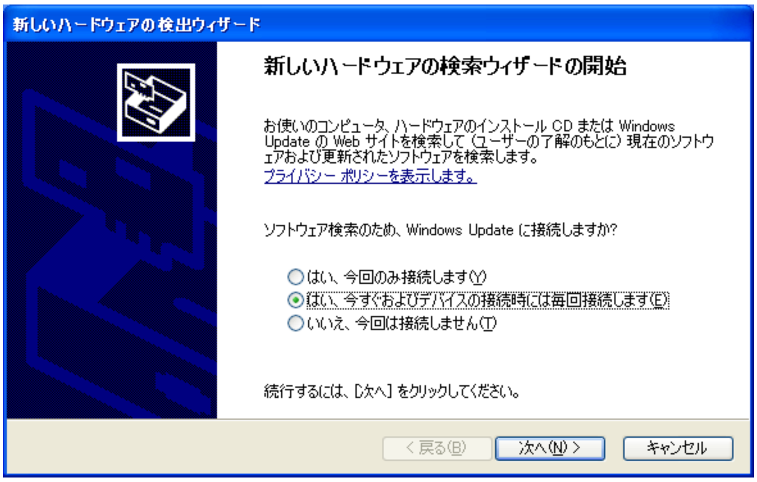
■ セットアップ

1 本機の電源を OFF にし、本機から本装置を取外します。

2 BioDriver（USB-Driver）をインストールします。
本装置をコンピューターの USB ポートに接続します。

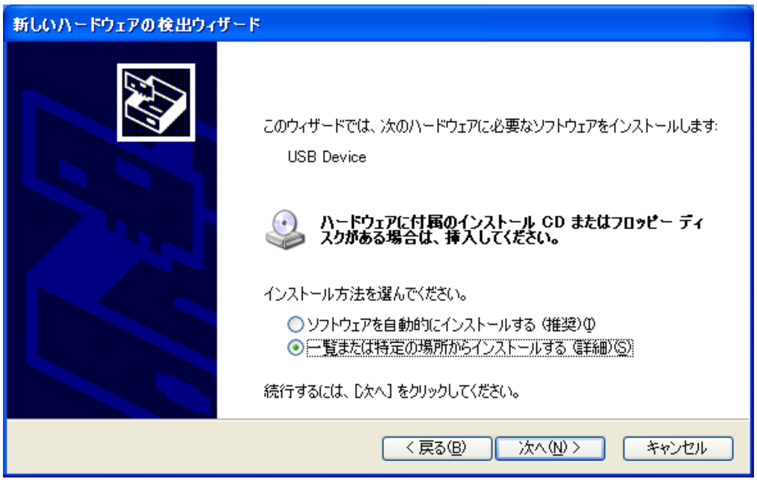
新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されます。

3 「はい、今すぐおよびデバイスの接続時には毎回接続します」を選択し、［次へ］をクリックします。



4 本装置に同梱されているアプリケーション CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

5 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、［次へ］をクリックします。



詳しく説明します

登録されたユーザーデータは、本機の HDD に保存されます。本機のユーザー認証形式を変更した場合や HDD フォーマットを行った場合は、登録されたユーザーデータが消去されます。

ひとこと

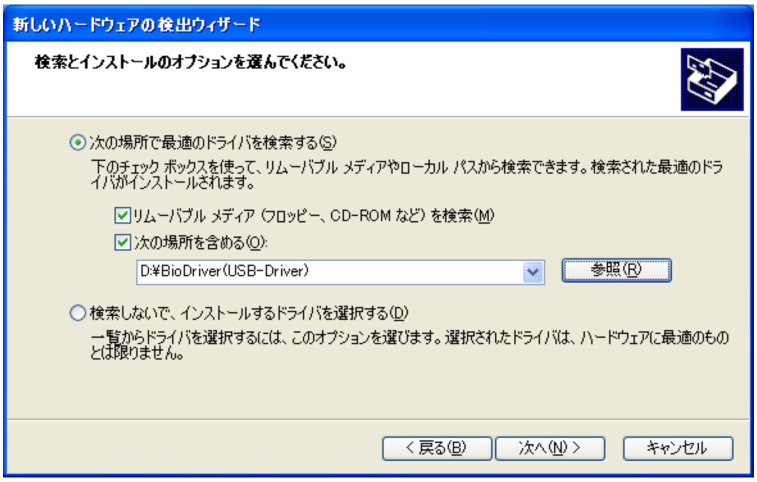
PageScope Data Administrator を使用するには、本機の設定後、セットアップを行います。セットアップは、本装置の BioDriver（USB-Driver）をインストールし、次に PageScope Data Administrator Bio Plugin をインストールするという手順を行います。

必ず守ってください

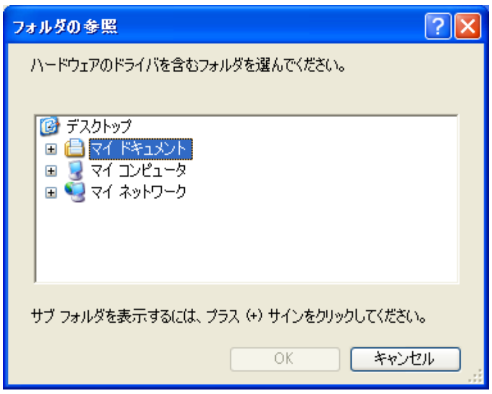
あらかじめコンピューターに PageScope Data Administrator V4.0 以降をインストールしておく必要があります。
PageScope Data Administrator の動作環境やインストール手順については、PageScope Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

6

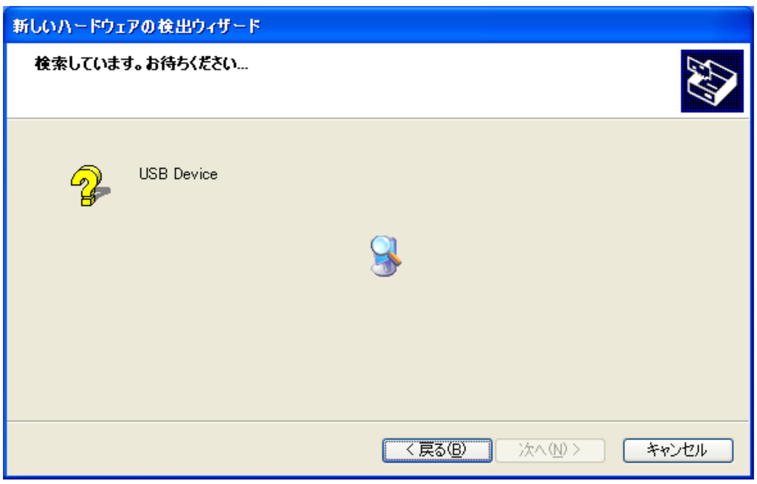
「次の場所を含める」にチェックを付け、ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM であることを確認して［次へ］をクリックします。



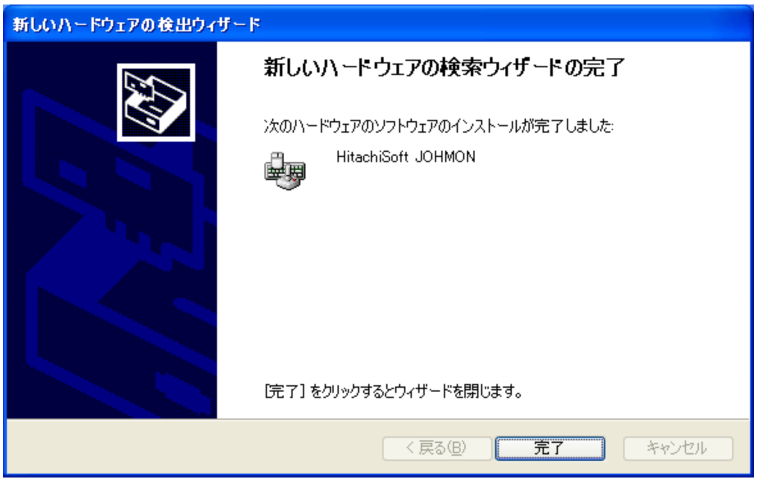
❍ ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM になっていない場合は、［参照］をクリックし、CD-ROM 内の BioDriver（USB-Driver）フォルダーを選択して［OK］をクリックします。



インストールが開始されます。



7　[完了］をクリックします。



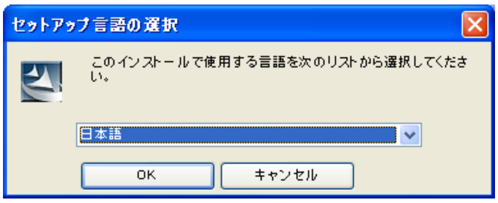
8　再度、手順 5 ～ 7 を繰り返します。

BioDriver（USB-Driver）のインストールが完了します。

9　PageScope Data Administrator Bio Plugin をインストールします。

アプリケーション CD-ROM 内の DA_Bio_Plugin フォルダーを開き、setup.exe をクリックします。

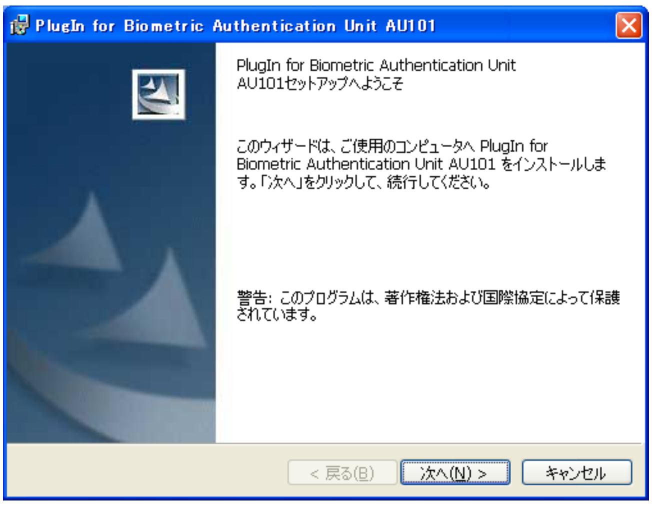
10　言語を選択し、[OK］をクリックします。



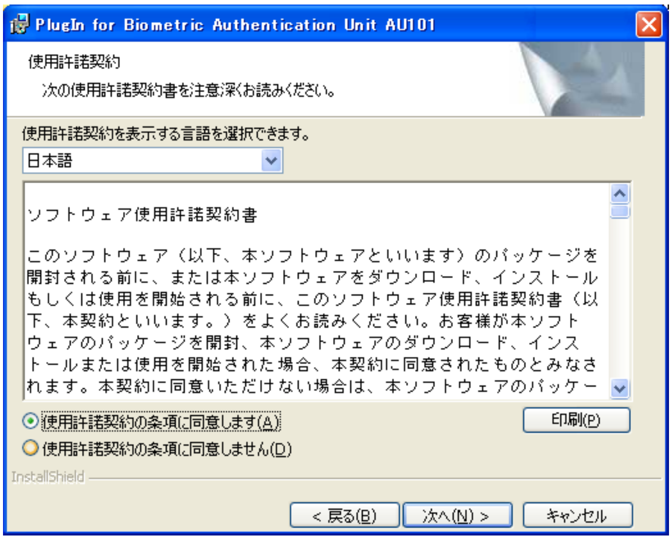
インストールプログラムが起動します。

11　画面の指示にしたがってインストールを行います。

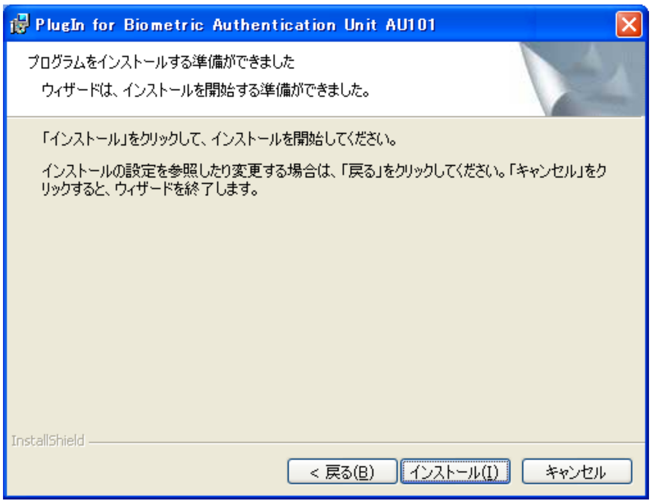
12　[次へ］をクリックします。



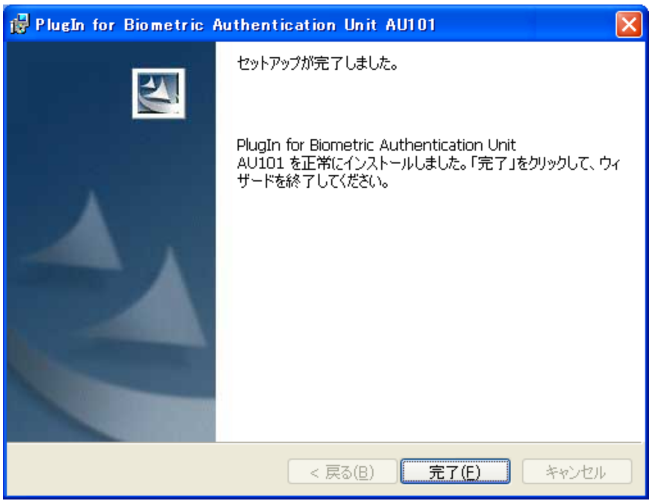
13 「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、［次へ］をクリックします。



14 ［インストール］をクリックします。

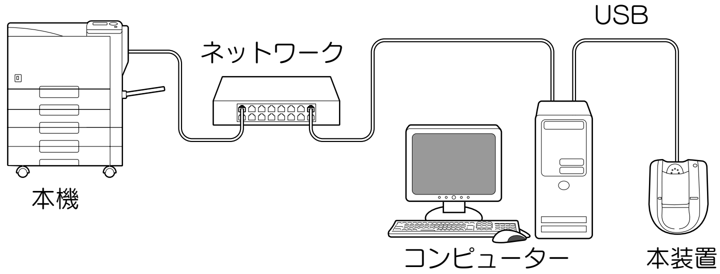


15 ［完了］をクリックします。



PageScope Data Administrator Bio Plugin のインストールが完了し、セットアップが完了します。

■ ユーザー登録



1 本装置が本機に接続されている場合は、本機の電源を OFF にして本装置を取外します。

- ❍ 本装置がコンピューターに接続されている場合は、手順 4 に進みます。

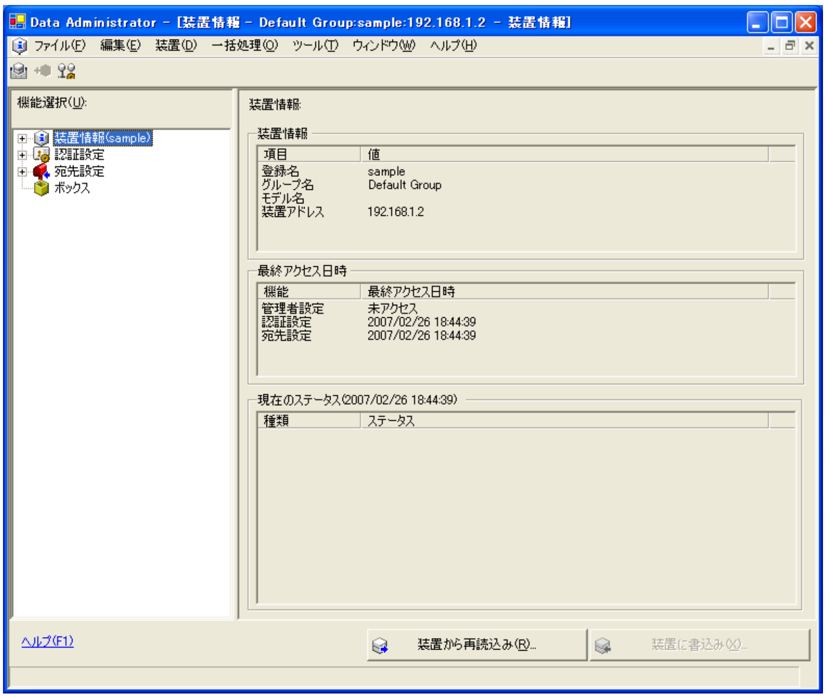
2 本機の電源を ON にします。

3 PageScope Data Administrator がインストールされたコンピューターの USB ポートに、本装置を接続します。

4 PageScope Data Administrator を起動させ、本機の装置情報を読込みます。

- ❍ 装置情報の読込みについては、PageScope Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

装置情報画面が表示されます。



詳しく説明します

PageScope Data Administrator でユーザー登録するには、本装置がコンピューターの USB ポートに接続され、コンピューターと本機がネットワークで接続されている必要があります。

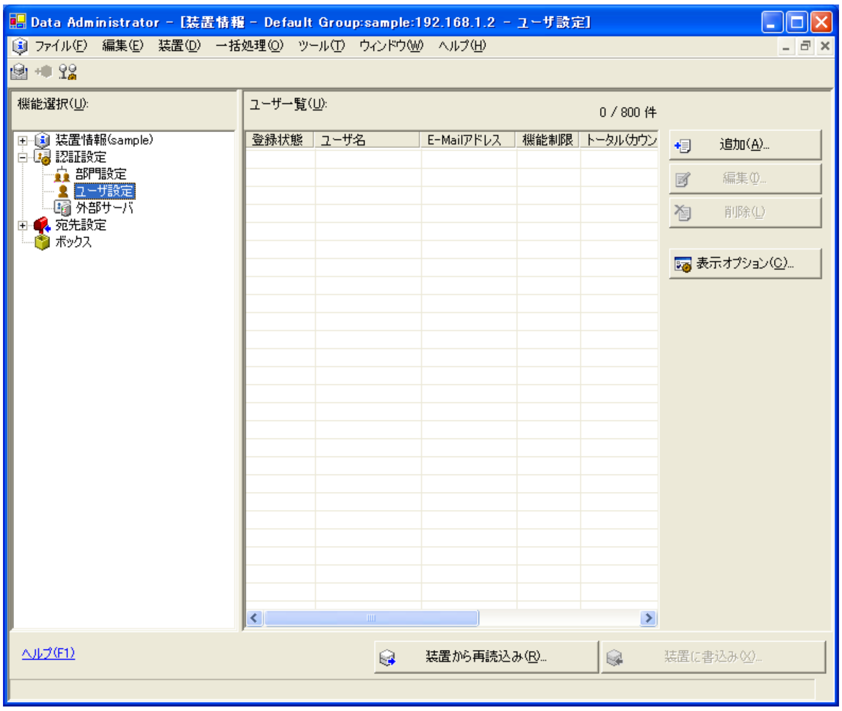
ひとこと

- 本機の電源スイッチを OFF/ON する場合は、電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
- USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

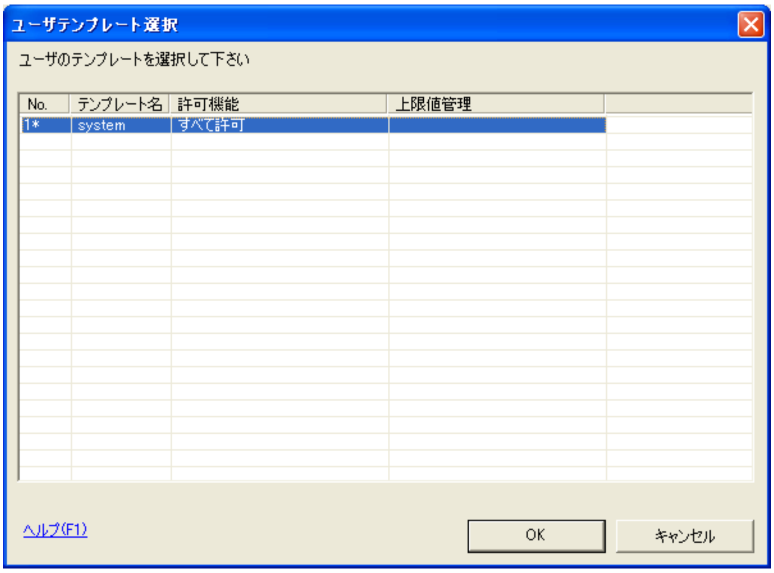
必ず守ってください

- 本装置と同一のポートに他の USB 機器を接続しないでください。USB パワーが供給不足になり正しく動作できなくなります。
- USB ハブを使用する場合は必ず 500 mA 以上の電力の供給できるセルフパワーの USB ハブを使用してください。
- 本装置を接続後、5 秒以上経過してから操作を行ってください。

5 機能選択から「ユーザ設定」を選択し、［追加］をクリックします。



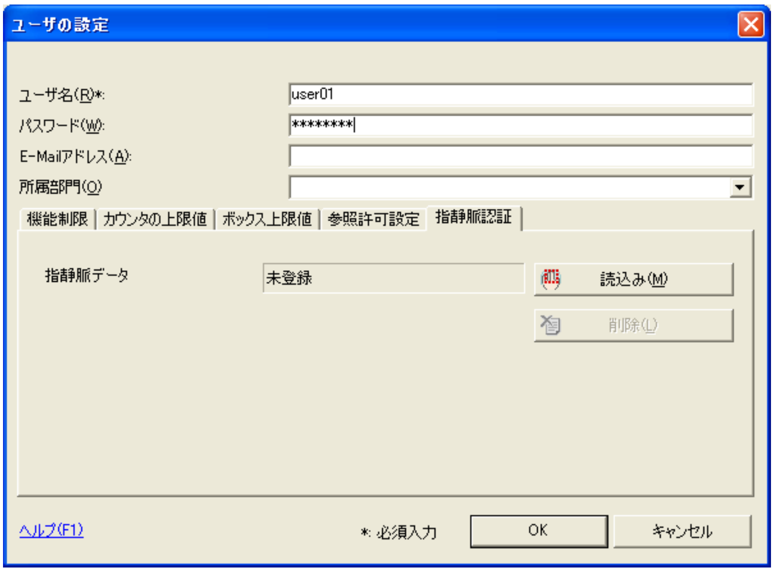
6 テンプレートを選択し、［OK］をクリックします。



ユーザーの登録画面が表示されます。

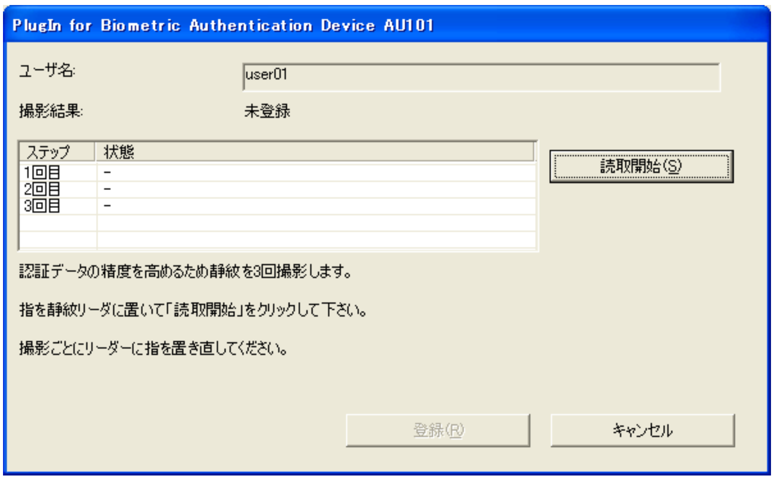
7 ユーザ名、パスワードを入力し、「指静脈認証」タブを選択して［読込み］をクリックします。

❍ 必要に応じて E-Mail アドレスなどを入力します。



8 本装置に指を置いて、［読取開始］をクリックします。

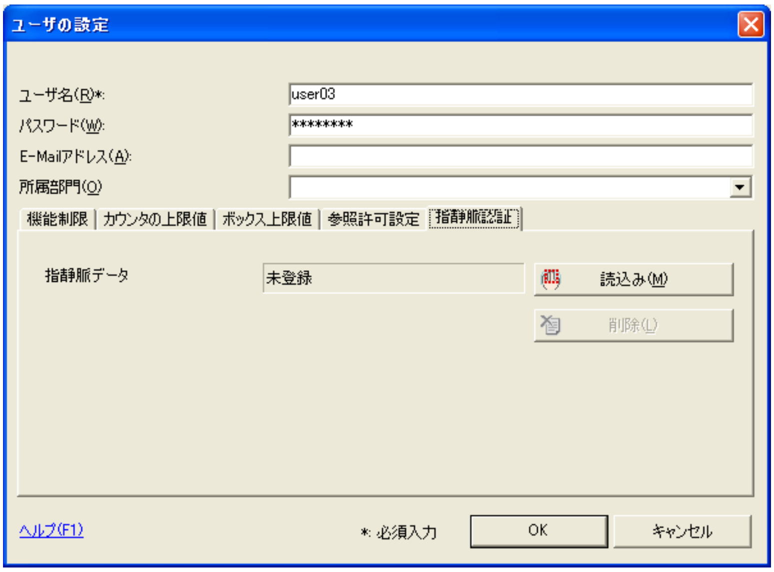
❍ 指静脈パターンの読取りは 3 回行い、同じ指を 1 回ごとに置きなおします。



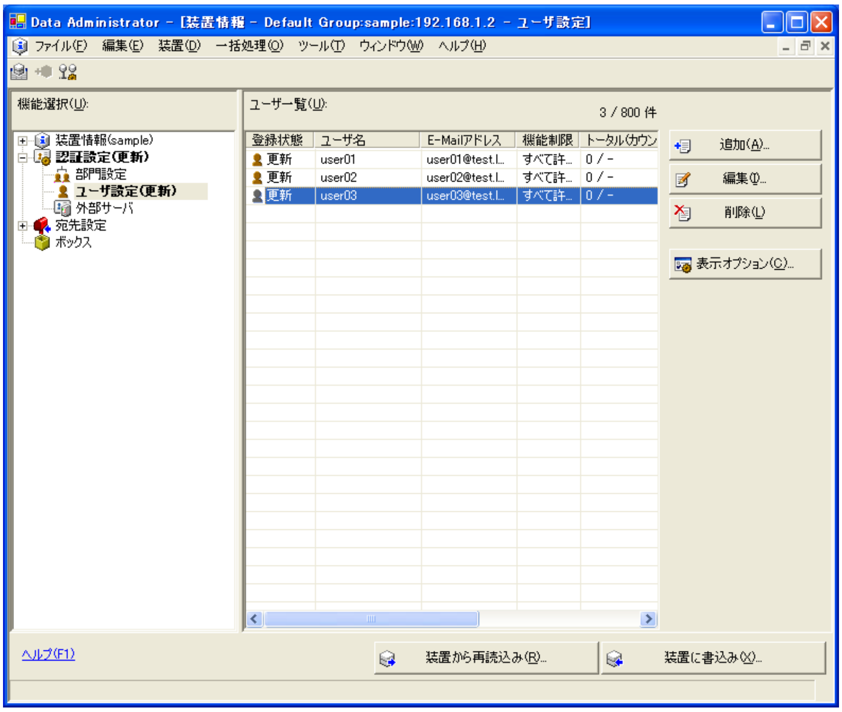
9 ［登録］をクリックします。

10 ［OK］をクリックします。

❍ 手順 5 〜 10 を繰り返し、すべてのユーザー登録を行います。



11 ［装置に書込み］をクリックします。



❍ ユーザ名を選択して［編集］をクリックすると、登録したデータを変更できます。

12 ［書込み］をクリックします。



登録したユーザーデータが本機に設定されます。

13 ［OK］をクリックします。



14 コンピューターの USB ポートから本装置を取外します。

15 本機の電源を OFF にして本装置を接続し、本機の電源を ON にします。

詳しく説明します

PageScope Data Administrator には一括コピー機能があり、本装置の使用が設定された複数の機器に、登録したユーザーデータをまとめて設定することができます。

ひとこと

- 本機の電源スイッチを OFF/ON する場合は、電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
- USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

14.5　認証装置（指静脈 生体認証タイプ）のお手入れ

■ 外観のお手入れ

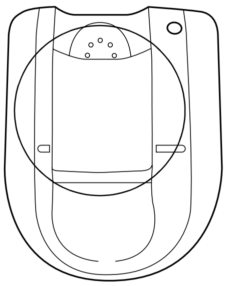
頻度：1ヶ月に 1 回程度、もしくは汚れ具合により随時

外観は柔らかい布で乾拭きをしてください。乾拭きしても汚れが落ちない場合は、中性洗剤をしみこませ、固く絞った布で拭いてください。汚れが落ちたら、水に浸して固く絞った布で中性洗剤を拭き取ってください。

■ カバー部のお手入れ

頻度：1ヶ月に 1 回程度、もしくは指紋の跡や汚れが目立った時

読取り部分を柔らかい布で清掃します。大きな汚れが目立つ場合には、清掃前にゴミを取除いてください。



必ず守ってください

- お手入れの前に本装置を本機から取外してください。USB ポートに負荷がかかると故障の原因になります。
- 本装置のお手入れの際、本装置内部に水が入らないようにしてください。本装置内部に水が入ると、システムの故障の原因となります。
- ベンゼン・アルコールなど有機溶剤を使用して清掃を行わないでください。故障の原因となります。

ひとこと

- 本装置の取外しおよび接続は、本機の電源を OFF にしてから行い、10 秒以上経過してから本機の電源を ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
- USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

14.6　仕様

製品名		認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101
適応指幅		10 mm 以上～ 25 mm 未満
インターフェース		USB 2.0
寸法（mm）		約 78（W）× 95（D）× 55（H）
質量（g）		約 150 （USB ケーブル含まず）
最大消費電力 （mA）		DC 5 V 500 mA
環境条件（動作時）	周辺温度（℃）	10 ～ 35
	湿度（%）	10 ～ 80 （ただし結露しないこと）
環境条件（非動作時）	周辺温度（℃）	-10 ～ 60
	湿度（%）	10 ～ 80 （ただし結露しないこと）
対応コンピューター	CPU	PC/AT 互換、1GHz 以上
	メモリ	128 MB 以上
	HDD	空き容量：100 MB 以上
	ディスプレイ	800 × 600 ピクセル、16 ビットカラー以上
	ネットワーク	TCP/IP プロトコル
	アプリケーション	Microsoft Internet Explorer 6.0 （SP1）以降 Microsoft .NET Framework （SP1）以降
	インターフェース	USB 1.1 以上
対応 OS		Windows 2000 Professional （SP4） Windows XP Professional Edition （SP2） Windows Vista Business/Enterprise

14.7　トラブルの処理

システムの運用中に何らかのトラブルが発生した場合には、下記をごらんください。

状態	チェックポイント	処理のしかた
本装置と本機を USB ケーブルでつないだが、状態表示 LED が緑点灯しない	本機の USB ポートの誤作動が考えられます。	本機の電源を OFF にし、本機または本装置の USB ケーブルを一旦抜き、再度接続し、10 秒以上経過してから本機の電源を ON にしてください。
本装置とコンピューターを USB ケーブルでつないだが、状態表示 LED が緑点灯しない	コンピューターの USB ポートの誤作動が考えられます。	お使いのコンピューターを再起動してください。
	本装置のドライバーは正しく組込まれていますか？	「ユーザー登録のしかた」を参照して、お使いのコンピューターに正しくドライバーが組込まれているかを確認してください。（p. 14-9）
本機での撮影開始時や認証完了時に報知音が鳴らない	本機の報知音の設定が OFF になっていませんか？	「本機の設定」を参照して、本機の報知音の設定を ON にしてください。（p. 14-6）
本機に「認証に失敗しました。」のメッセージが表示される場合	本装置での撮影時間は 1 回の撮影につき時間が制限されています。制限時間内に撮影できなかった場合は、該当のメッセージが表示されます。撮影時間については、管理者にお問い合わせください。	制限時間内に撮影が終わるように、「指の置きかた」（p. 14-5）を参照し、認証や撮影時の指の置き方を確認してください。 撮影中は撮影部位を読取り部分に正しく置き、撮影結果が得られるまで動かさないでください。 撮影部位が土ぼこりなどで汚れていたり、手荒れした状態で認証を行おうとした場合は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない可能性があります。手をきれいにしてから再度撮影を行うか、手荒れをできるだけ改善してください。 撮影部位が太すぎたり細すぎたりする場合（指の幅が 10 mm 以上 25 mm 未満の範囲外の場合）は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない場合があります。「指を伸ばしてみる」「指を深く入れる」「指を浅く入れる」などの指の置き方を試してください。
登録に失敗する コンピューターに「失敗しました。もう一度指を置き直してから、「読取開始」をクリックして ...」のメッセージが表示される場合	本装置での撮影時間は 1 回の撮影につき 5 秒となっています。5 秒で撮影できなかった場合は、該当のメッセージが表示されます。	

状態	チェックポイント	処理のしかた
撮影が開始されない	本装置に指を正しく置いていますか？	「指の置きかた」（p. 14-5）を参照し、認証や撮影時の指の置き方を確認してください。 撮影中は撮影部位を読取り部分に正しく置き、撮影結果が得られるまで動かさないでください。 撮影部位が土ぼこりなどで汚れていたり、手荒れした状態で認証を行おうとした場合は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない可能性があります。手をきれいにしてから再度撮影を行うか、手荒れをできるだけ改善してください。 撮影部位が太すぎたり細すぎたりする場合（指の幅が 10 mm 以上 25 mm 未満の範囲外の場合）は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない場合があります。「指を伸ばしてみる」「指を深く入れる」「指を浅く入れる」などの指の置き方を試してください。
	本装置を本機に接続後、本機を再起動しましたか？	本機の電源を OFF にし、本機または本装置の USB ケーブルを一旦抜き、再度接続し、10 秒以上経過してから本機の電源を ON にしてください。
本装置をコンピューターに接続するとハードウェアインストールウィザードが起動する	本装置を接続した USB ポートは、ドライバーインストール時と同じものですか？	ドライバーをインストールしたときと異なる USB ポートに本装置を接続した場合は、ハードウェアインストールウィザードが起動することがあります。ドライバーをインストールしたときと同じ USB ポートを使用してください。

上記処置を行ってもトラブルがなおらない場合は、販売店または弊社にご連絡ください。

第 15 章
認証装置
（IC カード認証タイプ AU-201）

認証装置（IC カード認証タイプ）について説明します。

15.1 安全にお使いいただくために

認証装置（IC カード認証タイプ）をご使用になる場合は、「セーフティインフォメーションガイド」と併せて以下の注意事項をお守りください。

15.1.1 重要事項

- 認証装置（IC カード認証タイプ）は、オプション製品です。全て現状のままで販売、または利用許諾されるものです。
- 弊社は、本ユーザーズガイドに従わない使用はもとより、製品または製品の使用から生じたいかなる損害（逸失利益、その他の間接損害を含む）についても責任を負いません。
- 本製品は一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途に使用しないでください。（高信頼性を必要とする用途例：化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御など）
- 他の認証装置との使用については動作保証していません。
- 本製品の仕様は改良のため変更することがあります。
- IC カードは､カード読取部から 40 mm 以内に近づけたまま放置しないでください。

15.1.2 安全にご使用いただくために

- 本製品を水の近くで使用しないでください。故障の原因となります。
- USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたりしないでください。USB ケーブルが傷つき、断線による誤作動の原因となることがあります。
- 本製品を開けたりしないでください。故障の原因になります。

15.1.3 植込み型医用機器に対する影響

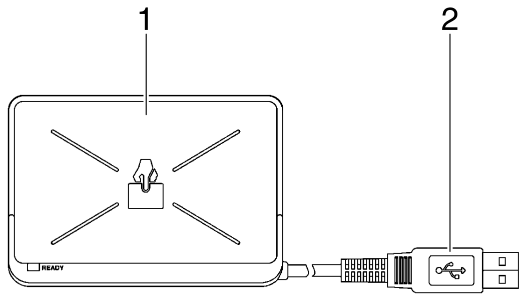
植え込み型医用機器（心臓ペースメーカなど）の装着者は、その装着部位から 22 cm 程度以上離してこの装置をご使用ください。（一般的にワイヤレスカード「非接触 IC カード」システムおよび RFID 「電子タグ」機器は、植込み型医用機器に対して影響を与えうるとの調査結果が報告されています。）

詳細は総務省のホームページをご覧ください。

15.2　製品の特徴

本装置は、IC カードの読取りにより個人認証を行う「IC カード認証」のシステムです。ユーザー認証が設定されているプリンターで、印刷ジョブの出力を IC カードによる認証で行うことができます。

15.3 各部の名称とはたらき



No	名称	説明
1	カード読取部	IC カードを置きます。
2	USB ケーブル	本機と接続します。

15.4 認証装置（IC カード認証タイプ）の使いかた

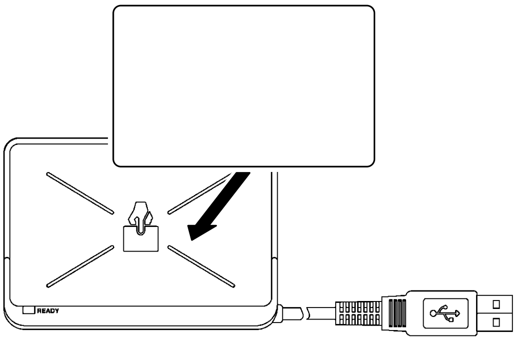
本装置を使用するためには、最初にユーザーのカード ID を本機に登録します。登録されたユーザーは、カード ID による認証で、印刷ジョブの出力をすることができます。ここでは本機で必要な設定のしかた、ユーザー登録のしかたを説明します。

必ず守ってください

本装置を使用中に USB ケーブルを抜かないでください。システムが不安定になる場合があります。

15.4.1 IC カードの置きかた

➔ IC カード読取部に、IC カードを置きます。



必ず守ってください

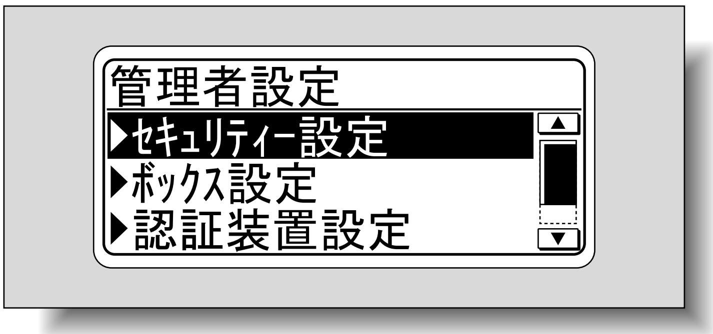
IC カードは、カード読取部から 40 mm 以内に近づけたまま放置しないでください。

15.4.2 本機の設定

原則

認証装置（IC カード認証タイプ）を使用する場合は、オプションの HDD、ローカル接続キットの装着が必要になります。

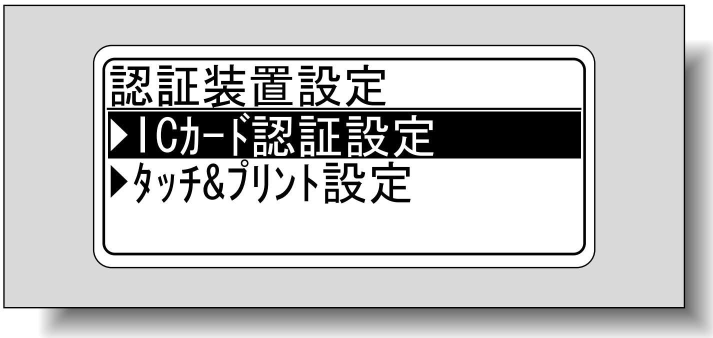
1 表示パネルの［メインメニュー］から「管理者設定」画面を表示させます。



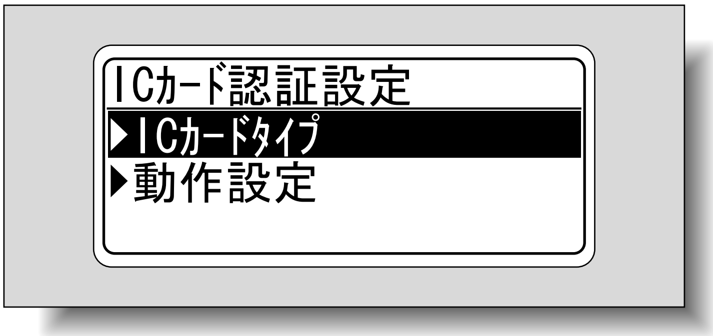
参照

「管理者設定」画面の表示のしかたは、「設定メニュー一覧表」（p. 8-6）をごらんください。

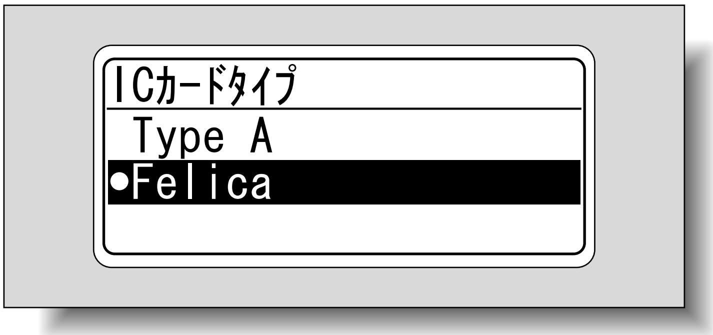
2 「認証装置設定」画面から［IC カード認証設定］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。



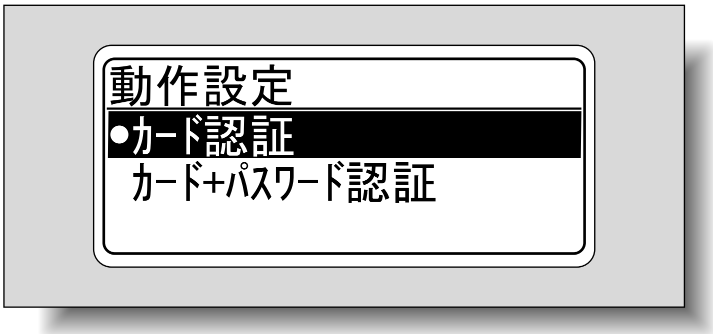
3 ［IC カードタイプ］と［動作設定］の設定を行います。



- ［IC カードタイプ］は、使用する IC カードの種類を指定します。



- ［動作設定］は、登録後の出力のしかたを指定します。



ひとこと

カード認証：プリンタードライバーでユーザー名、パスワードを指定し、認証装置にカードを置くことで出力できます。
カード＋パスワード認証：プリンタードライバーで指定したユーザー名、パスワードが正しければ、出力されます。「カード＋パスワード認証」を選択した場合は、タッチ＆プリント機能は使用できません。

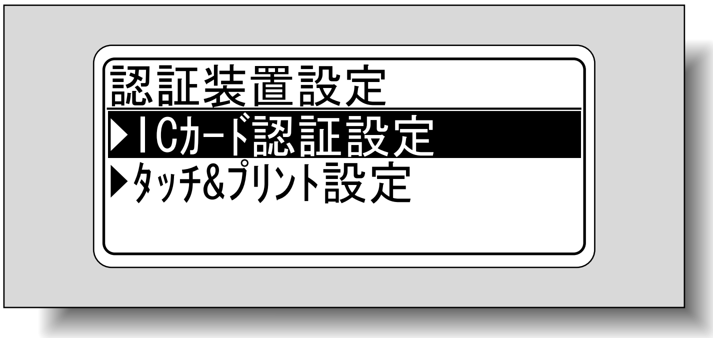
4

【◀】キーを 2 回押します。

「認証装置設定」画面に戻ります。

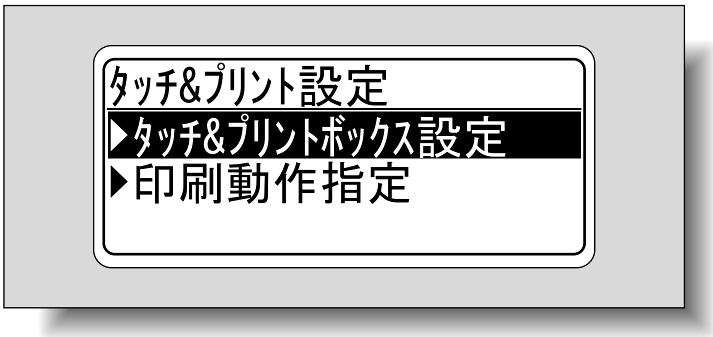
5

［タッチ＆プリント設定］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。

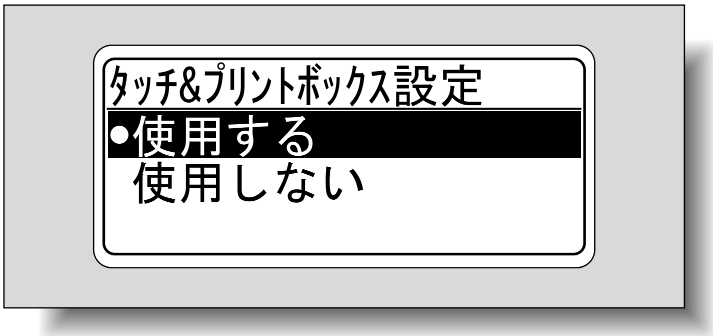


6

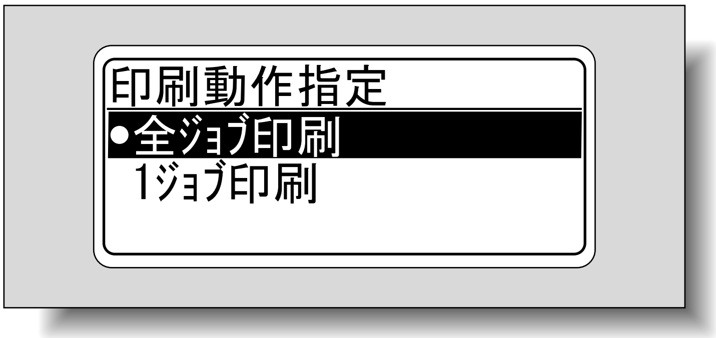
［タッチ＆プリントボックス設定］と［印刷動作指定］の設定を選択します。



❍「タッチ＆プリントボックス設定」で［使用しない］を選択した場合は、タッチ＆プリント機能は使用できません。
❍「タッチ＆プリントボックス設定」で［使用する］を選択した場合は、［カード＋パスワード認証］は設定できません。



❍「印刷動作指定」では、タッチ＆プリント機能の印刷方法を設定します。



> **ひとこと**
> 全ジョブ印刷：タッチ＆プリントボックスに複数の文書が保存されている場合に、1 回の認証で認証されたすべての文書が印刷されます。
> 1 ジョブ印刷：タッチ＆プリントボックスに保存されている文書が、1 回の認証で 1 文書ずつ印刷されます。

15.4.3　ユーザー登録のしかた

ユーザー登録は、本装置をコンピューターに接続して PageScope Data Administrator を使用して登録します。

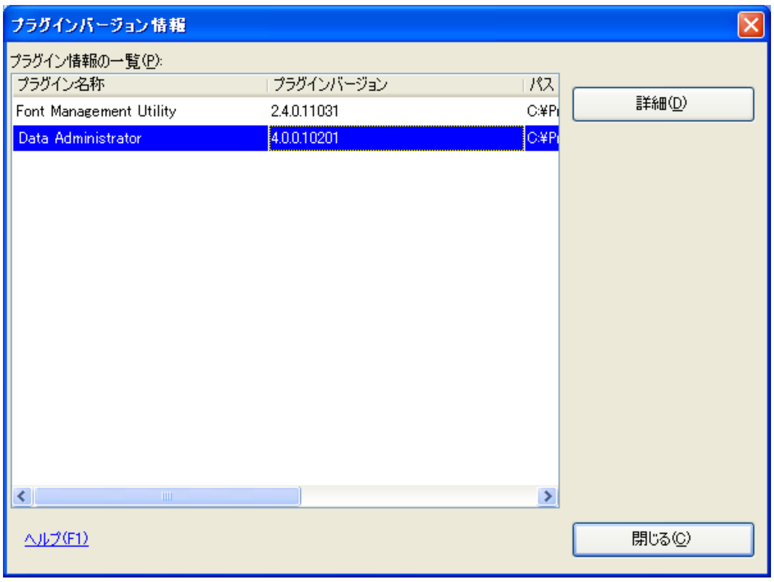
■ インストールバージョンの確認

1 PageScope Data Administrator の「ヘルプ」メニューから「バージョン情報」を選択します。

2 [プラグインバージョン情報] をクリックします。

> **ひとこと**
> ・バージョンが「3.x」の場合、このソフトは使用できません。「4.x」をインストールしてください。
> ・PageScope Data Administrator V3.x がインストールされている場合は、V4.x のインストール時に削除されます。

3 [プラグイン情報の一覧] で、PageScope Data Administrator のプラグインバージョンを確認します。



> **ひとこと**
> プラグインバージョンが「4.x」の場合、このソフトを使用できます。

■ セットアップ

1

本機の電源を OFF にし、本機から本装置を取外します。

2

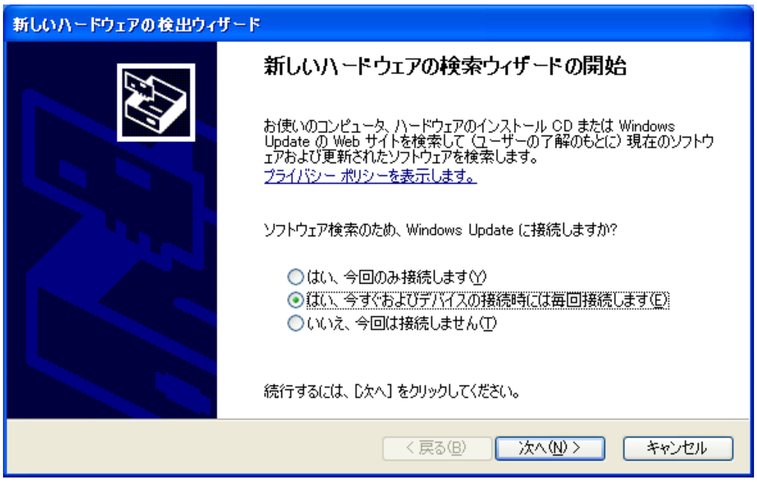
IC Card Driver（USB-Driver）をインストールします。

本装置をコンピューターの USB ポートに接続します。

新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されます。

3

「はい、今すぐおよびデバイスの接続時には毎回接続します」を選択し、［次へ］をクリックします。



4

本装置に同梱されているアプリケーション CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

詳しく説明します

登録されたユーザーデータは、本機の HDD に保存されます。本機のユーザー認証形式を変更した場合や HDD フォーマットを行った場合は、登録されたユーザーデータが消去されます。

ひとこと

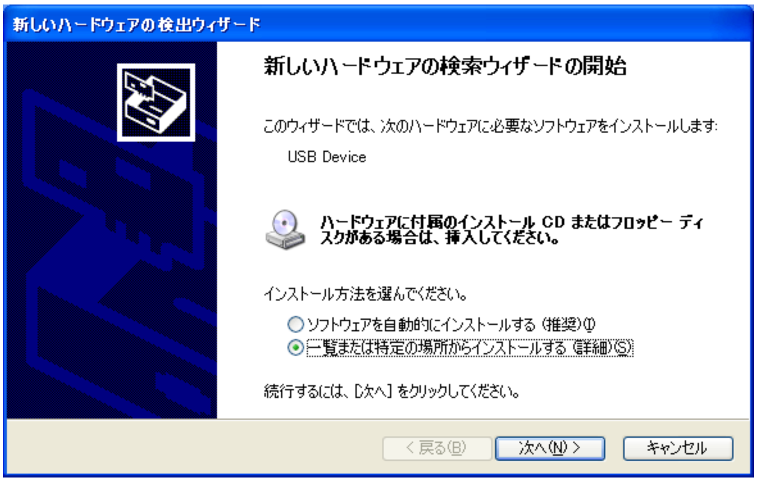
PageScope Data Administrator を使用するには、本機の設定後、セットアップを行います。セットアップは、本装置の IC Card Driver（USB-Driver）をインストールし、次に PageScope Data Administrator IC Card Plugin をインストールするという手順を行います。

必ず守ってください

あらかじめコンピューターに PageScope Data Administrator V4.0 以降をインストールしておく必要があります。PageScope Data Administrator の動作環境やインストール手順については、PageScope Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

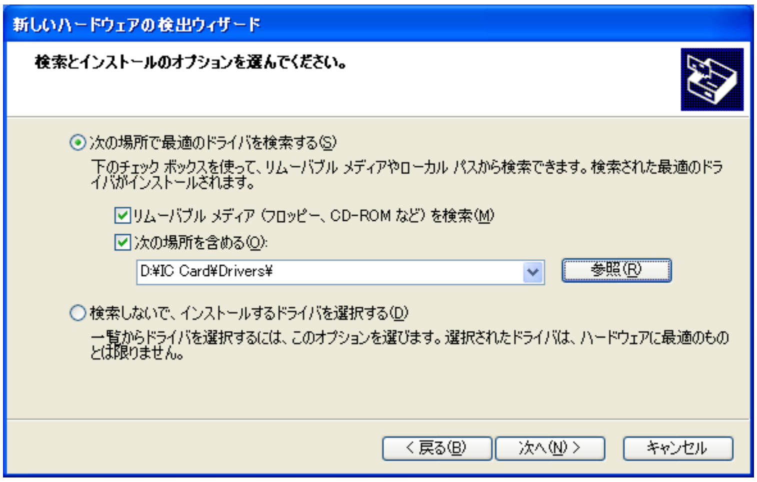
5

「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、［次へ］をクリックします。

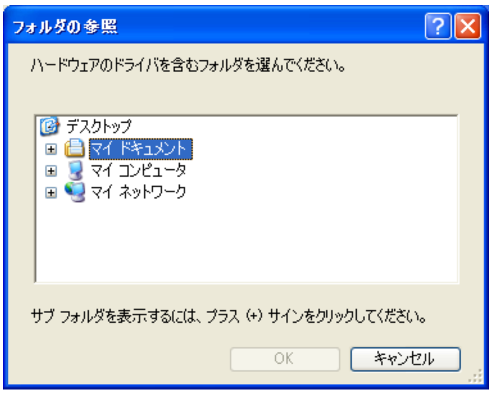


6

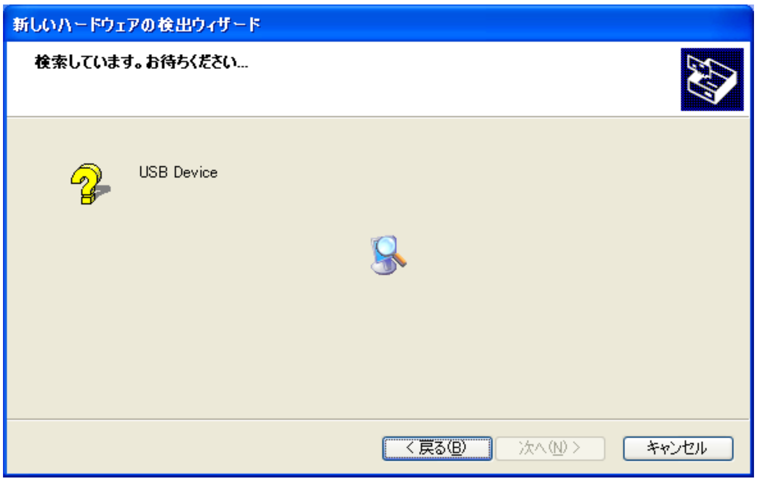
「次の場所を含める」にチェックを付け、ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM であることを確認して［次へ］をクリックします。



❍ ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM になっていない場合は、［参照］をクリックし、CD-ROM 内の IC Card Driver（USB-Driver）フォルダーを選択して［OK］をクリックします。



インストールが開始されます。



7 ［完了］をクリックします。

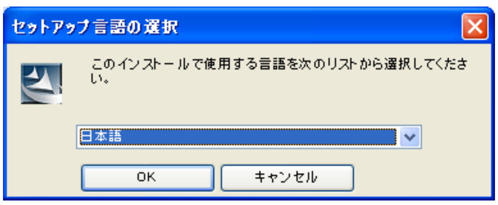


IC Card Driver（USB-Driver）のインストールが完了します。

8 PageScope Data Administrator IC Card Plugin をインストールします。

アプリケーション CD-ROM 内の IC_Card_Plugin フォルダーを開き、setup.exe をクリックします。

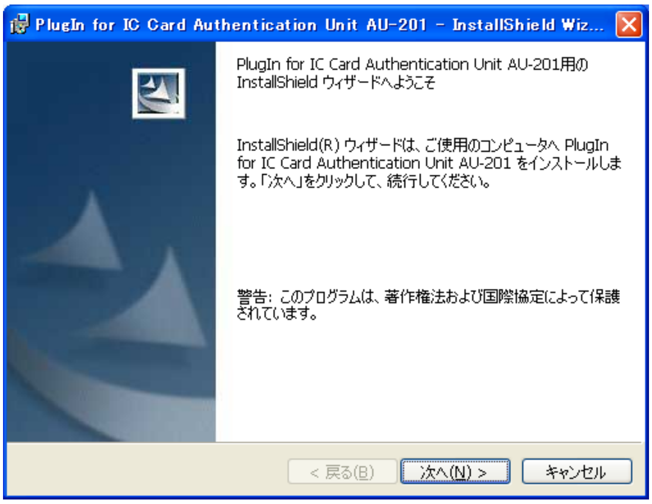
9 言語を選択し、［OK］をクリックします。



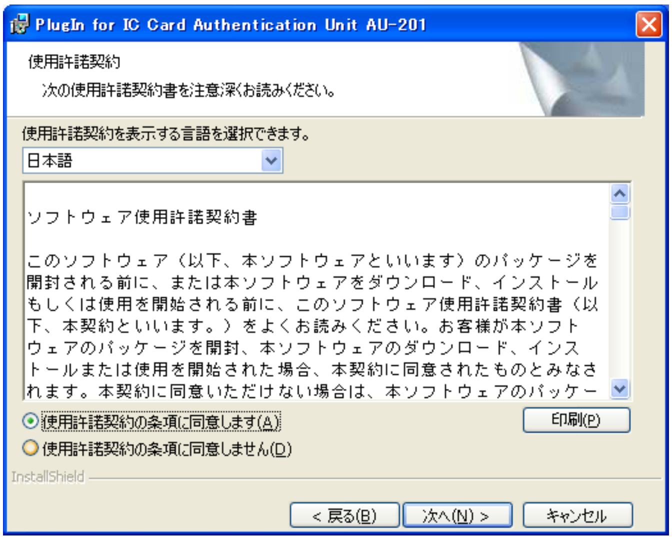
インストールプログラムが起動します。

10 画面の指示にしたがってインストールを行います。

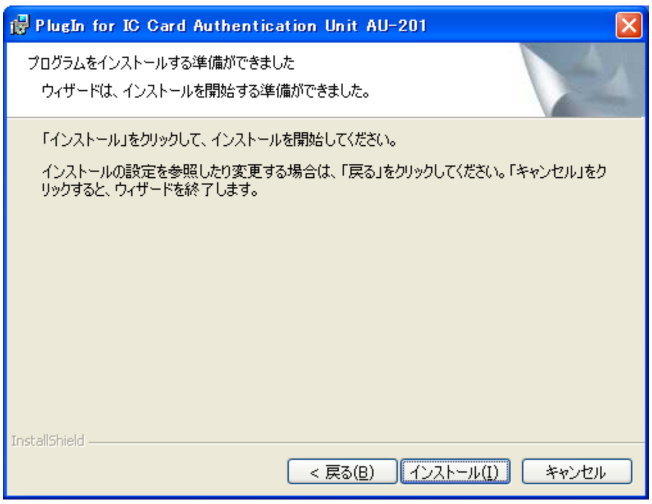
11 ［次へ］をクリックします。



12 「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、［次へ］をクリックします。

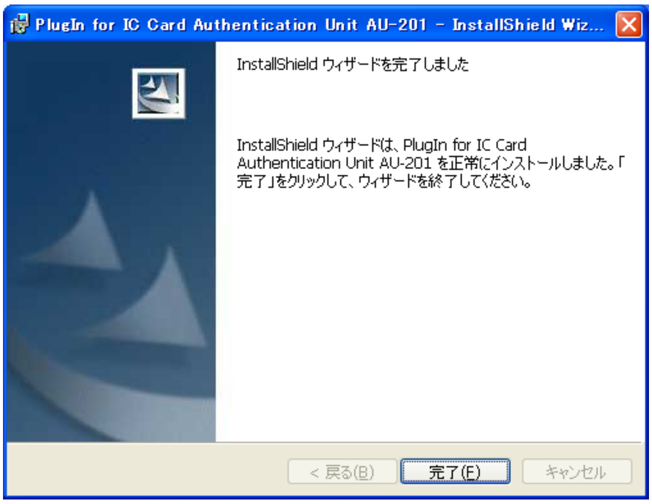


13 ［インストール］をクリックします。



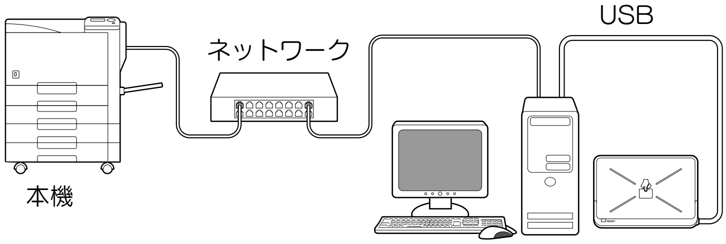
14

［完了］をクリックします。



PageScope Data Administrator IC Card Plugin のインストールが完了し、セットアップが完了します。

■ ユーザー登録



1

本装置が本機に接続されている場合は、本機の電源を OFF にして本装置を取外します。

❍ 本装置がコンピューターに接続されている場合は、手順 4 に進みます。

2

本機の電源を ON にします。

3

PageScope Data Administrator がインストールされたコンピューターの USB ポートに、本装置を接続します。

詳しく説明します

PageScope Data Administrator でユーザー登録するには、本装置がコンピューターの USB ポートに接続され、コンピューターと本機がネットワークで接続されている必要があります。

ひとこと

- 本機の電源スイッチを OFF/ON する場合は、電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
- USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

必ず守ってください

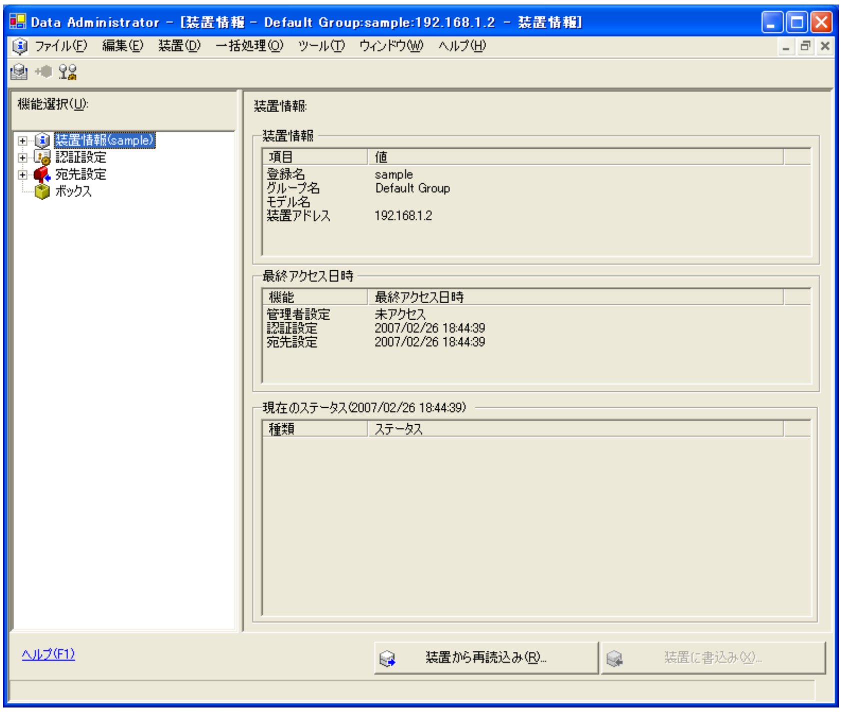
- 本装置と同一のポートに他の USB 機器を接続しないでください。USB パワーが供給不足になり正しく動作できなくなります。
- USB ハブを使用する場合は必ず 500 mA 以上の電力の供給できるセルフパワーの USB ハブを使用してください。
- 本装置を接続後、5 秒以上経過してから操作を行ってください。

4

PageScope Data Administrator を起動させ、本機の装置情報を読込みます。

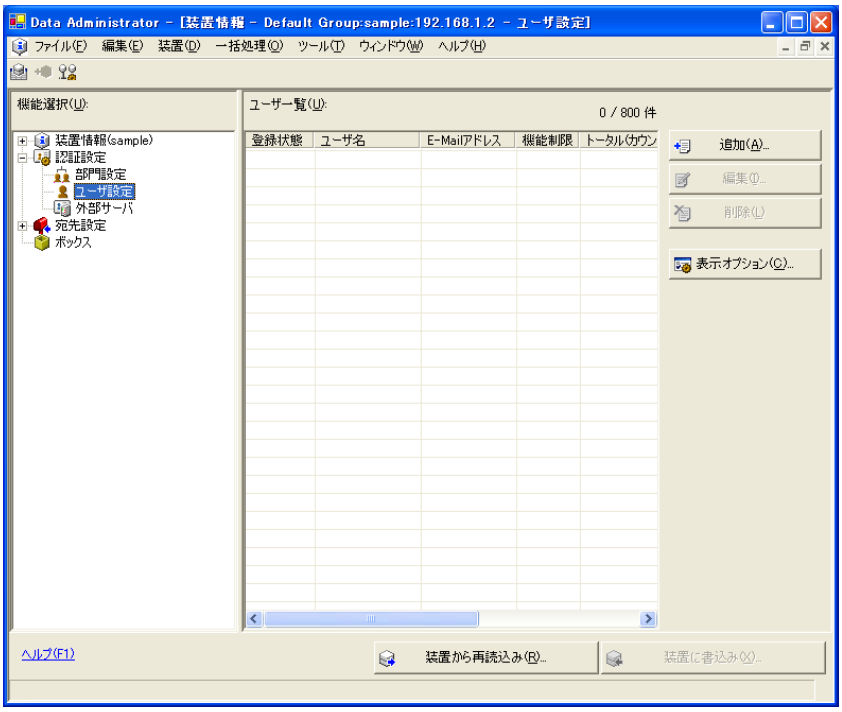
❍ 装置情報の読込みについては、PageScope Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

装置情報画面が表示されます。



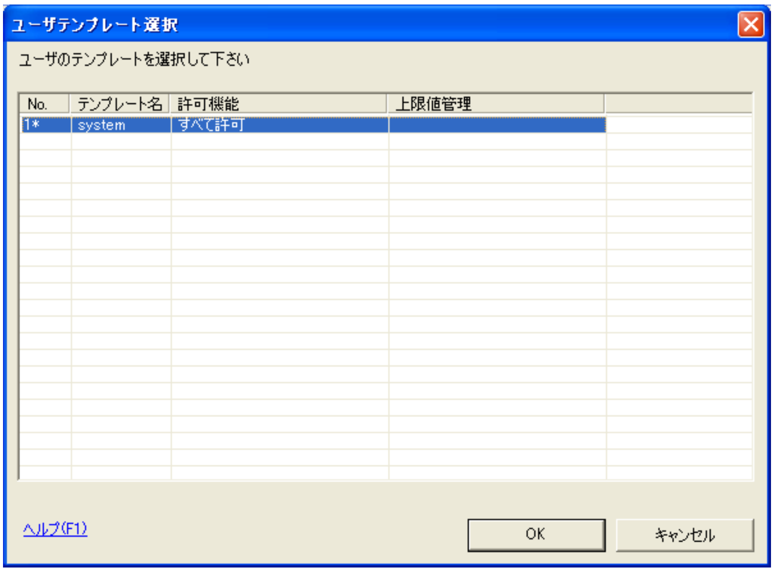
5

機能選択から「ユーザ設定」を選択し、［追加］をクリックします。



6

テンプレートを選択し、［OK］をクリックします。

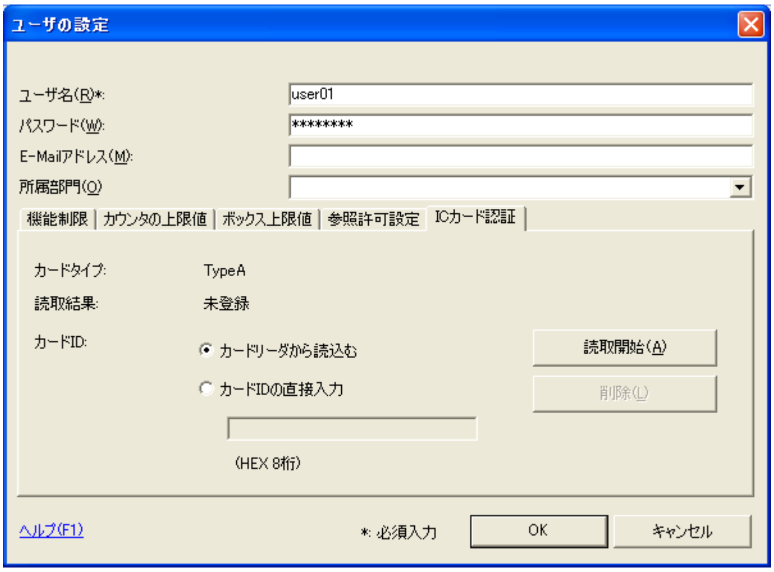


ユーザーの登録画面が表示されます。

7

ユーザ名、パスワードを入力し、「IC カード認証」タブを選択します。

- 必要に応じて E-Mail アドレスなどを入力します。



8

本装置に IC カードを置いて、［読取開始］をクリックします。

- 「カード ID の直接入力」を選択して、カード ID を登録することもできます。

9

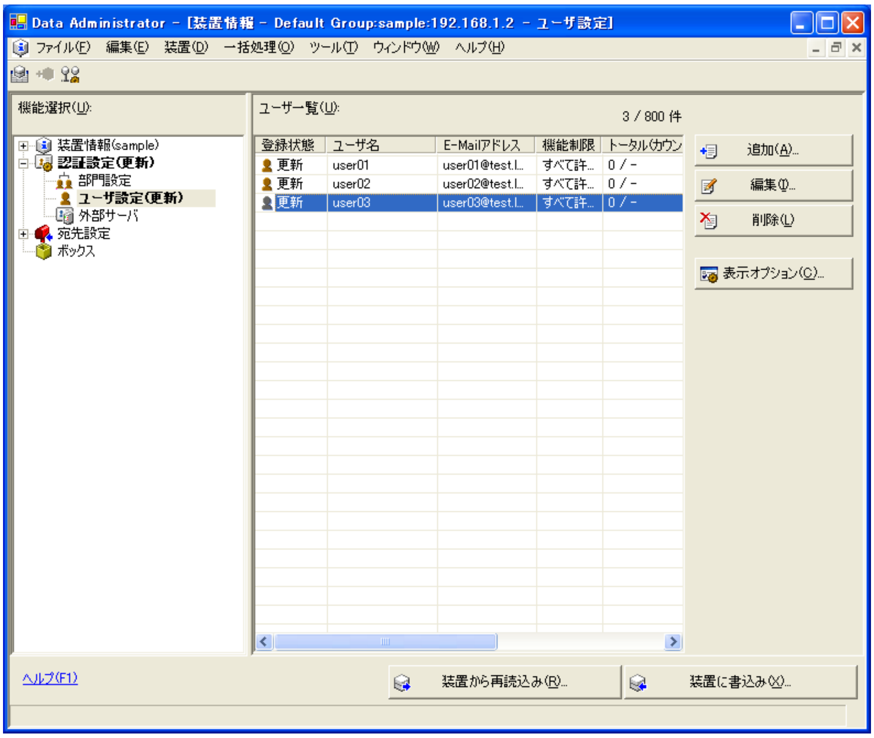
［OK］をクリックします。

❍ 手順 5 〜 9 を繰り返し、すべてのユーザー登録を行います。



10

［装置に書込み］をクリックします。



❍ ユーザ名を選択して［編集］をクリックすると、登録したデータを変更できます。

11 ［書込み］をクリックします。



登録したユーザーデータが本機に設定されます。

12 ［OK］をクリックします。



13 コンピューターの USB ポートから本装置を取外します。

14 本機の電源を OFF にして本装置を接続し、本機の電源を ON にします。

詳しく説明します

PageScope Data Administrator には一括コピー機能があり、本装置の使用が設定された複数の機器に、登録したユーザーデータをまとめて設定することができます。

ひとこと

- 本機の電源スイッチを OFF/ON する場合は、電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
- USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

15.5　認証装置（指静脈 生体認証タイプ）のお手入れ

頻度：1ヶ月に 1 回程度、もしくは汚れ具合により随時

柔らかい布で乾拭きをしてください。乾拭きしても汚れが落ちない場合は、中性洗剤をしみこませ、固く絞った布で拭いてください。汚れが落ちたら、水に浸して固く絞った布で中性洗剤を拭き取ってください。

必ず守ってください

- お手入れの前に本装置を本機から取外してください。USB ポートに負荷がかかると故障の原因になります。
- 本装置のお手入れの際、本装置内部に水が入らないようにしてください。本装置内部に水が入ると、システムの故障の原因となります。
- ベンゼン・アルコールなど有機溶剤を使用して清掃を行わないでください。故障の原因となります。

ひとこと

- 本装置の取外しおよび接続は、本機の電源を OFF にしてから行い、10 秒以上経過してから本機の電源を ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。
- USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

15.6　仕様

製品名		認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201
寸法（mm）		約 92（W）× 64（D）× 16（H）
質量（g）		約 120
電源		USB ポートより受電
環境条件（動作時）	周辺温度（℃）	0 ～ 40
	湿度（%）	20 ～ 85（ただし結露しないこと）
環境条件（非動作時）	周辺温度（℃）	-20 ～ 50
	湿度（%）	20 ～ 85（ただし結露しないこと）
電波法区分		誘導式読み書き通信設備
適用カード		ISO 14443 TypeA、Felica 準拠非接触 IC カード
取得規格		VCCI クラス B
対応コンピューター	CPU	PC/AT 互換、1GHz 以上
	メモリ	128 MB 以上
	HDD	空き容量：100 MB 以上
	ディスプレイ	800 × 600 ピクセル、16 ビットカラー以上
	ネットワーク	TCP/IP プロトコル
	アプリケーション	Microsoft Internet Explorer 6.0 （SP1）以降 Microsoft .NET Framework （SP1）以降
	インターフェース	USB 1.1 以上
対応 OS		Windows 2000 Professional （SP4） Windows XP Professional Edition （SP2） Windows Vista Business/Enterprise

15.7　トラブルの処理

システムの運用中に何らかのトラブルが発生した場合には、下記をごらんください。

状態	チェックポイント	処理のしかた
登録に失敗する コンピューターにメッセージが表示される場合	本装置の読取り時間は 10 秒に制限されています。制限時間内に読取れなかった場合は、該当のメッセージが表示されます。	制限時間内に読取りが終わるように、「IC カードの置きかた」(p. 15-5) を参照し、IC カードの置き方を確認してください。
本機に「認証に失敗しました。」のメッセージが表示される場合	IC カード認証 + パスワード認証が設定されている場合 正しいパスワードを入力しましたか？	パスワードを確認し、正しいパスワードを入力してください。
読取りが開始されない	本装置を本機に接続後、本機を再起動しましたか？	本機の電源を OFF にし、本機または本装置の USB ケーブルを一旦抜き、再度接続し、10 秒以上経過してから本機の電源を ON にしてください。
本装置をコンピューターに接続するとハードウェアインストールウィザードが起動する	本装置を接続した USB ポートは、ドライバーインストール時と同じものですか？	ドライバーをインストールしたときと異なる USB ポートに本装置を接続した場合は、ハードウェアインストールウィザードが起動することがあります。ドライバーをインストールしたときと同じ USB ポートを使用してください。

上記処置を行ってもトラブルがなおらない場合は、販売店または弊社にご連絡ください。

第 16 章
オプションの取付け

オプション部品の取付けについて説明します。

16.1　はじめに

この章では、以下のオプション部品の取付けについて説明します。

オプション名	説明
取り付けキット MK-713	長さ 1200 mm までの長尺紙をセットできます。
認証装置（指静脈 生体認証タイプ） AU-101	身体内部の指静脈パターンを読取ってユーザー認証を行うことができます。 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）を使用する場合は、オプションのハードディスク HD-508、ローカル接続キット EK-603 の装着が必要になります。
認証装置（IC カード認証タイプ） AU-201	IC カードに記録された情報を読取ってユーザー認証を行うことができます。 認証装置（IC カード認証タイプ）を使用する場合は、オプションのハードディスク HD-508、ローカル接続キット EK-603 の装着が必要になります。

必ず守ってください

本機では、純正品 / 推奨品以外のオプションの使用は保障の対象外となります。

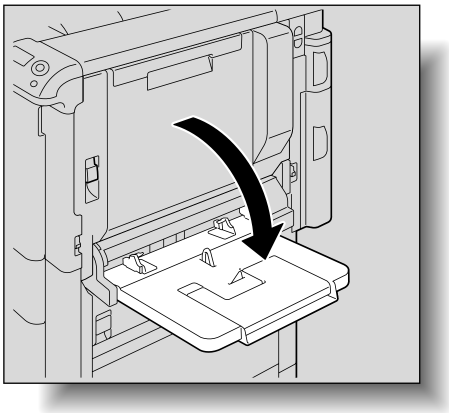
必ず守ってください

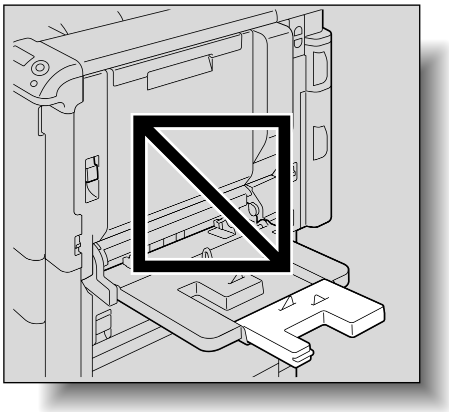
オプション部品を取付ける時は、必ず本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてから作業をしてください。

16.2 取り付けキット MK-713 の取付け

取り付けキット MK-713 を取付けることによって、長さ 1200 mm までの長尺紙をセットできます。

1 トレイ 1 を開きます。

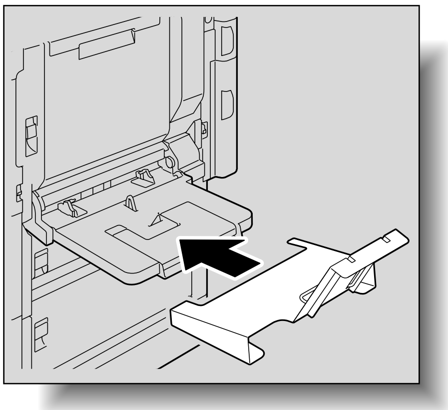




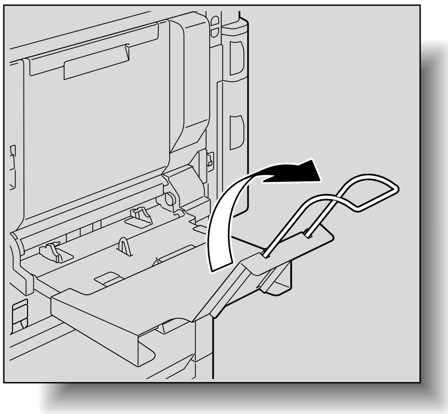
必ず守ってください

補助トレイは開かないでください。すでに開かれている場合は、閉じておきます。

2 トレイ 1 に取り付けキットを取り付けます。



3　取り付けキットのガイドを立てます。



参照

長尺紙の印刷については、「長尺紙印刷機能」（p. 7-36）をごらんください。

16.3 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 の取付け

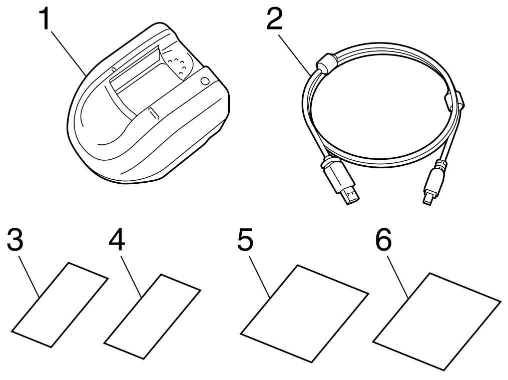
原則

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）を取付ける前に本機の「認証設定」でユーザー認証を「本体装置認証」に設定ください。

参照

本機の認証設定については、「ユーザー認証 / 部門管理」（p. 9-27）をごらんください。

16.3.1 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）の構成



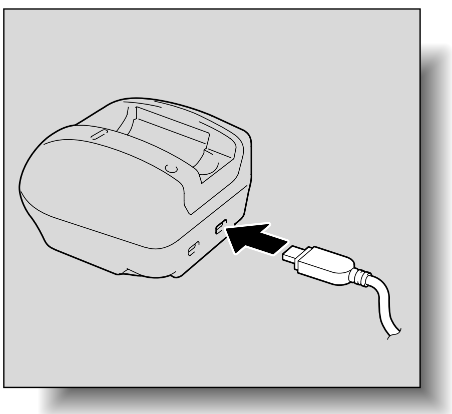
No	名称	数量
1	認証装置	1
2	USB ケーブル	1
3	マジックテープ A（フック）	2
4	マジックテープ B（ループ）	2
5	マジックテープ C（フック）	1
6	マジックテープ D（ループ）	1

16.3.2 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）の取付け

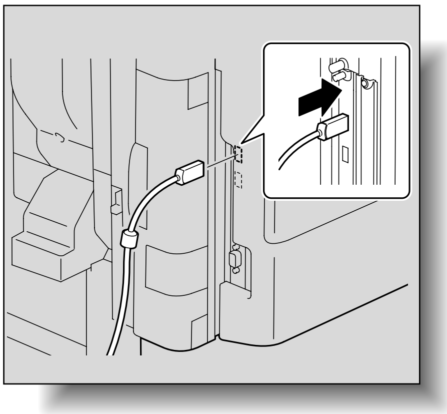
1 本体の電源スイッチを OFF にして、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 必要に応じて同梱のマジックテープ（A、B、C、D）を使用して、認証装置をワーキングテーブルに取付けます。

3 認証装置へ USB ケーブルを接続します。

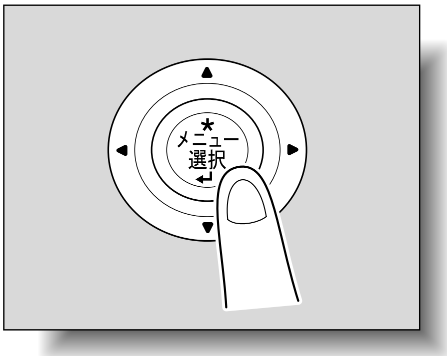


4 USB ケーブルの片側を本体に接続します。

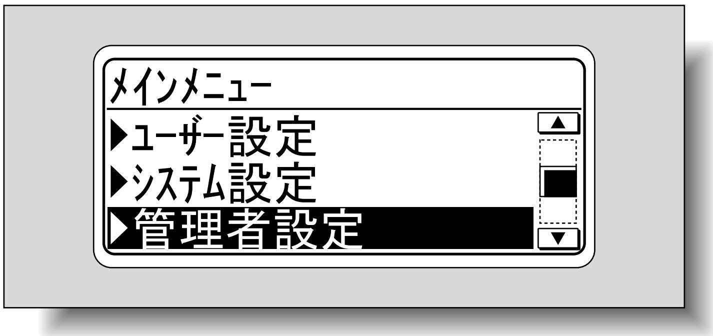


5 本体の電源プラグをコンセントに差込み、本体の電源を ON にします。

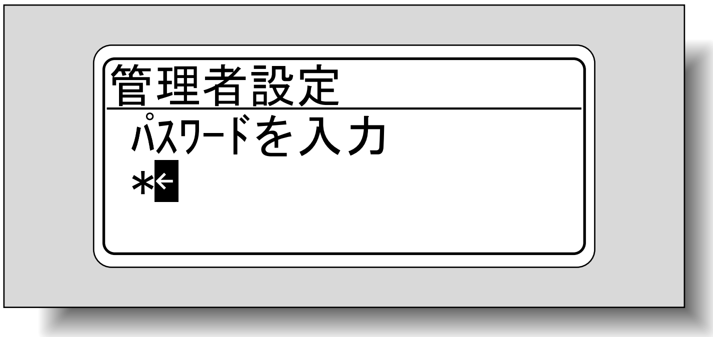
6 【メニュー / 選択】を押します。



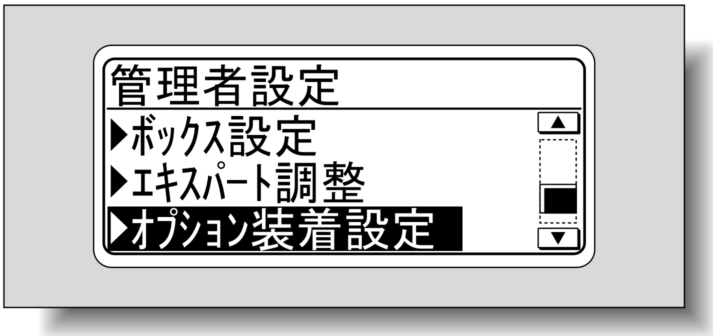
7 【↓】を何回か押して［管理者設定］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。



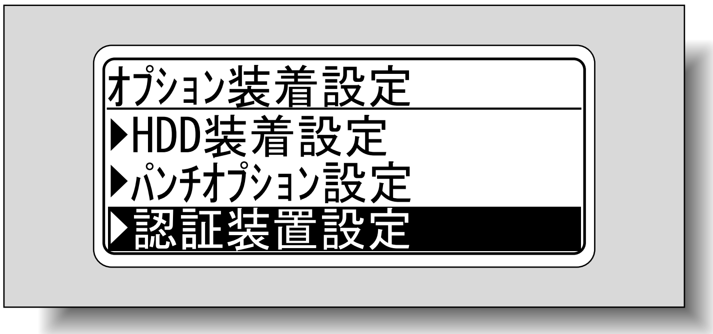
8 パスワードを入力して、【メニュー / 選択】を押します。



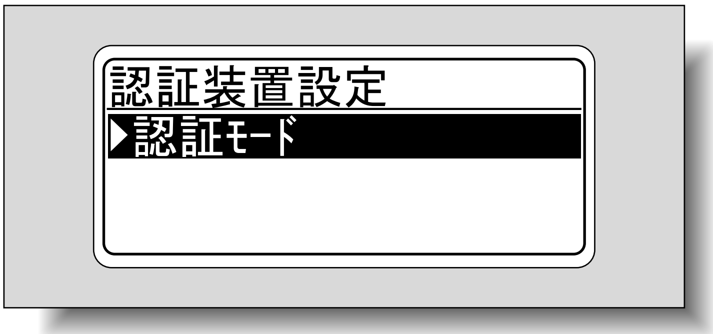
9 【↓】を何回か押して［オプション装着設定］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。



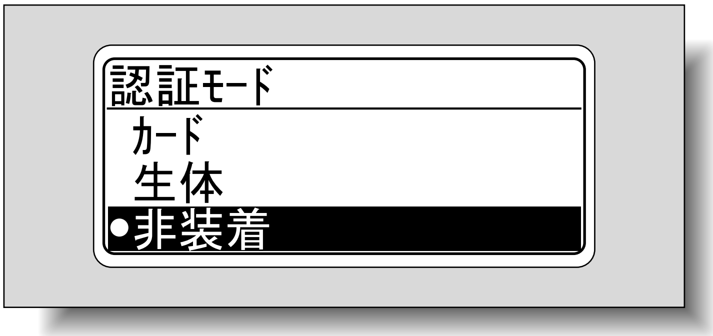
10 【↓】を何回か押して［認証装置設定］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。



11 【メニュー / 選択】を押します。



12 【↓】を何回か押して［生体］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。



13 【キャンセル】を押します。

14 本体の電源を OFF/ON します。

参照

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 の使い方については、「認証装置 （指静脈 生体認証タイプ AU-101）」（p. 14-1）をごらんください。

16.4　認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 の取付け

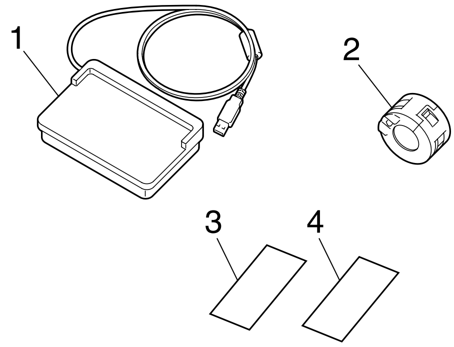
原則

認証装置（IC カード認証タイプ）を取付ける前に本機の「認証設定」でユーザー認証を「本体装置認証」に設定ください。

参照

本機の認証設定については、「ユーザー認証 / 部門管理」（p. 9-27）をごらんください。

16.4.1　　認証装置（IC カード認証タイプ）の構成

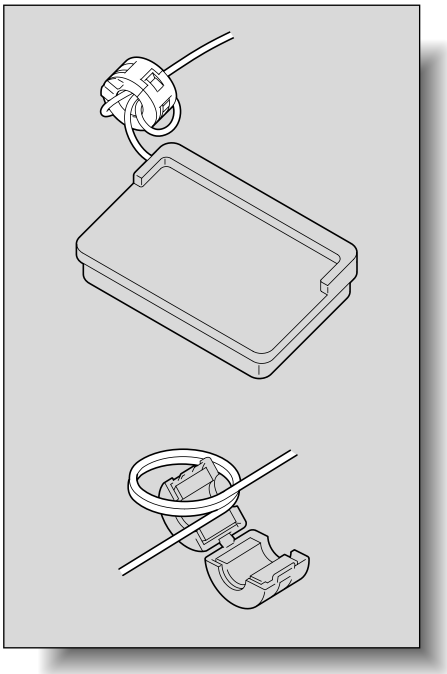


No	名称	数量
1	認証装置	1
2	フェライトコア	1
3	マジックテープ A（フック）	3
4	マジックテープ B（ループ）	3

16.4.2　　認証装置（IC カード認証タイプ）の取付け

1. 本体の電源スイッチを OFF にして、電源プラグをコンセントから抜きます。

2. 認証装置の USB ケーブルをフェライトコアに 2 巻きさせて取付けます。

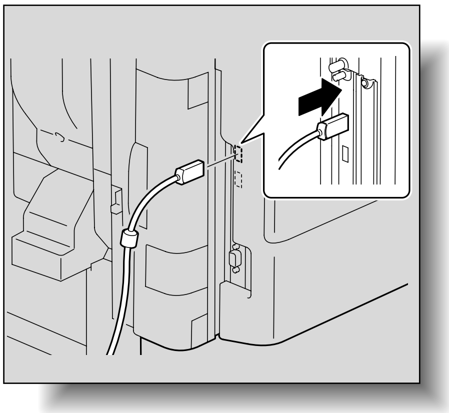


必ず守ってください

フェライトコアは認証装置から約 60 mm の位置に取付けてください。

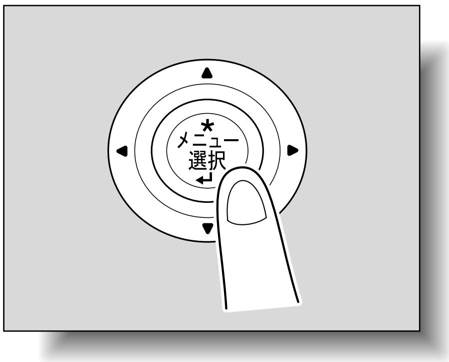
3 必要に応じて同梱のマジックテープ（A、B）を使用して、認証装置をワーキングテーブルに取付けます。

4 USB ケーブルの片側を本体に接続します。

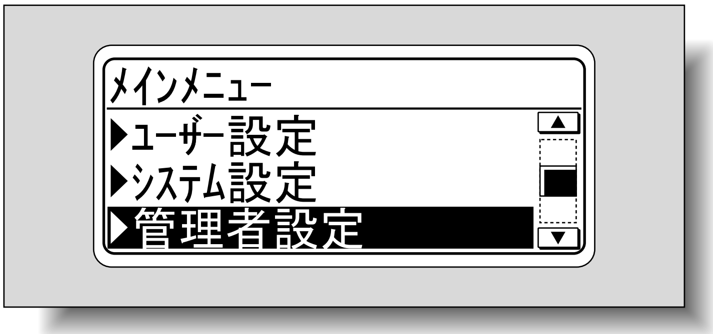


5 本体の電源プラグをコンセントに差込み、本体の電源を ON にします。

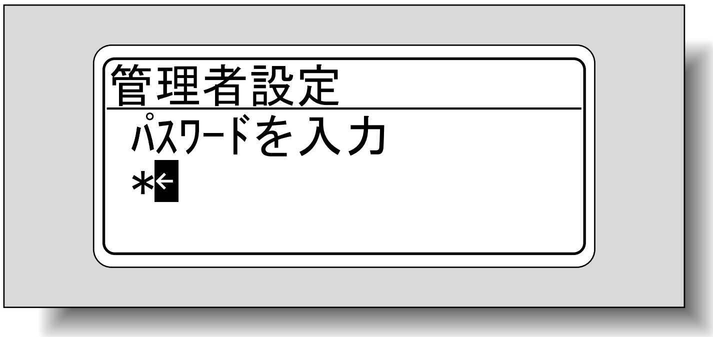
6 【メニュー / 選択】を押します。



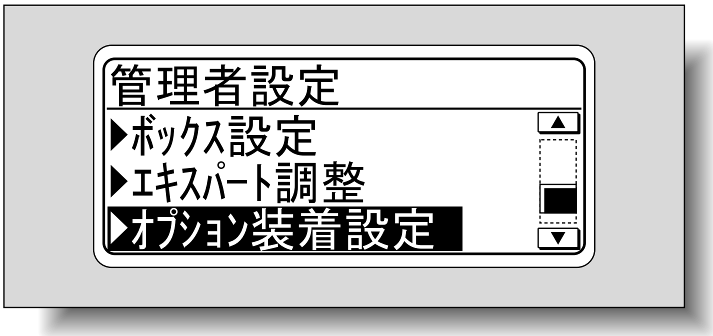
7 【↓】を何回か押して［管理者設定］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。



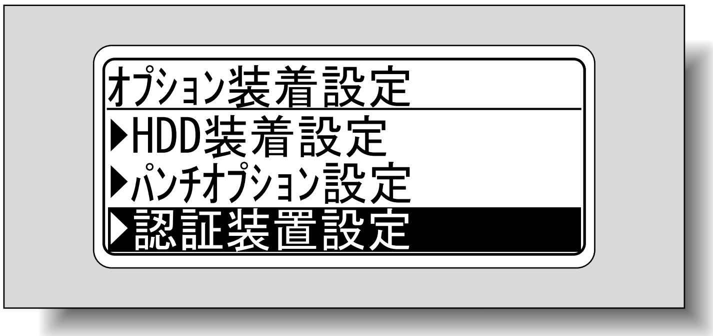
8 パスワードを入力して、【メニュー / 選択】を押します。



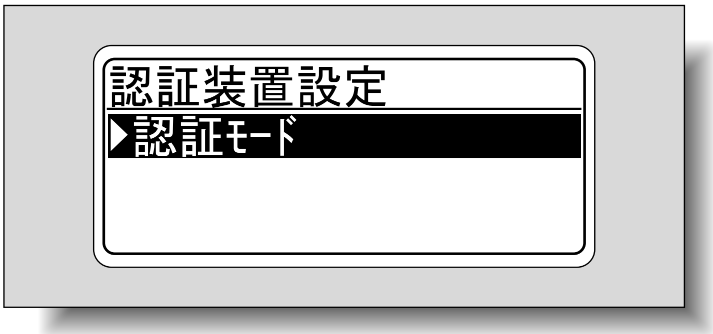
9 【↓】を何回か押して［オプション装着設定］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。



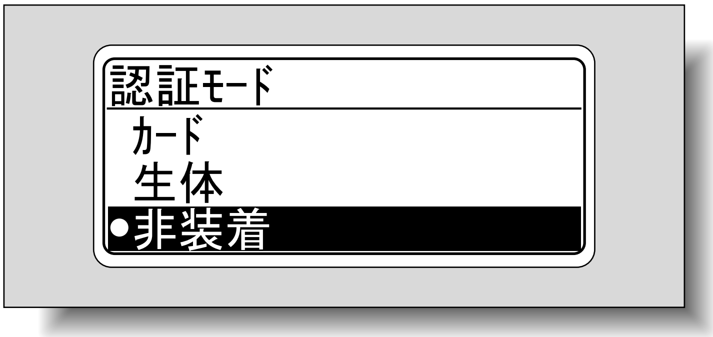
10 【↓】を何回か押して［認証装置設定］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。



11 【メニュー / 選択】を押します。



12 【↓】を何回か押して［カード］を選択し、【メニュー / 選択】を押します。



13 【キャンセル】を押します。

14 本体の電源を OFF/ON します。

参照

認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 の使い方については、「認証装置 （IC カード認証タイプ AU-201）」（p. 15-1）をごらんください。

第 17 章
付録

KONICA MINOLTA magicolor8650

Configuration Page

Print Operation Menu Map

Basic Setting

Default Paper Size	=	A4
Paper Tray	=	Auto
Output Tray	=	Tray 1
Binding Position	=	Left Binding
Double-Sided	=	Off
Staple	=	Off
Hole-Punch	=	Off
Orientation	=	Portrait
# of Sets	=	1
No Matching Paper in Tray Setting	=	Stop Printing (Tray Fixed)
Spool Setting	=	Off
Convert	=	Off
PDL Setting	=	Auto
Banner Setting	=	Disable
Banner Paper Tray	=	Auto

PCL Setting

Font Source	=	I
Font Number	=	0
Font Point	=	12.00
Font Pitch	=	10.00
Symbol Set	=	PC-8, Code Page 437
Line/Page	=	64 [Line / Page]
CR/LF Mapping	=	Off

PS Setting

Print Reports	=	Disable
Text RGB Source	=	4
Text Destination Profile	=	Auto
Image RGB Source	=	4
Image Destination Profile	=	Auto
Graphics RGB Source	=	4
Graphics Destination Profile	=	Auto
Simulation Profile	=	None

XPS Settings

Verify XPS Digital Signature	=	Disable

Test Print

Configuration
PCL Font List
PS Font List
Demo Page

I/F Setting

Network Rx Timeout	=	60 [sec.]
USB Timeout	=	60 [sec.]
Print XPS Errors	=	Enable

Installed

Printer HDD	=	Installed
Printer Memory	=	320 [MByte]

Printer Information

Installed Tray

Tray 2	=	A4
Tray 3	=	A4
Tray 4	=	A4
Tray 5	=	None
LCT	=	None

Option

Duplex Unit	=	Installed
Finisher	=	Available
Punch Unit	=	Available
Fold Unit	=	Available
Fax Unit	=	Not Available
Mailbin Unit	=	Not Available

Firmware Version

Printer Controller	=	A02E0Y0-3000-G30-00

Network

MAC Address

MAC Address	=	00:20:6B:5C:A4:77

TCP/IP

TCP/IP	=	Enable
IP Address	=	169.254.45.60
Subnet Mask	=	255.255.0.0
Default Gateway	=	0.0.0.0
RAW Port 0	=	9100
RAW Port 1	=	9112
RAW Port 2	=	9113
RAW Port 3	=	9114
RAW Port 4	=	9115
RAW Port 5	=	9116

Netware

Netware	=	Disable

Appletalk

Appletalk	=	Disable

SMB

SMB	=	Enable

17.2 PPD ドライバー（アプリケーション用）

17.2.1 PPD ドライバーの種類

PPD ドライバーには、Mac OS 9 用のほかにアプリケーション用の PPD 情報が含まれています。

- アプリケーション用：PageMaker など PPD を必要とするアプリケーションを使用する場合にインストール

17.2.2 アプリケーション用 PPD ドライバーについて

PPD の登録先（例：PageMaker）

- PageMaker6.0 の場合
  PPD ファイルを PageMaker がインストールされているフォルダー下の RSRC¥PPD4 にコピーします。
- PageMaker6.5/7.0 の場合
  PPD ファイルを PageMaker がインストールされているフォルダー下の RSRC¥<Language>¥PPD4 にコピーします。

印刷方法

1. ［ファイル］－［プリント］を選択します。
2. プリントダイアログ内の「形式」コンボボックスで、本機を選択します。
3. 「用紙設定」や「プリンタ特性」でプリンタに応じた設定を行います。
4. 「印刷」ボタンをクリックし、印刷を行います。

17.3 サーバーとクライアント OS のビット数が異なる場合の対応

プリントサーバーで Windows Server 2008/Server 2008 R2 が稼動していて、かつ、プリントサーバーとクライアントコンピューターで稼動している OS のビット数が異なる場合、プリントサーバーに追加ドライバーを正しくインストールできないことがあります。

この問題は、プリントサーバーに追加ドライバーをインストールするときに、異なるビット数の OS のセットアップ情報ファイル（ntprint.inf）を指定することで、解決できます。

ここでは、プリントサーバーとは別のコンピューターにあるセットアップ情報ファイルを指定して、追加ドライバーをインストールする方法を説明します。

ひとこと

- あらかじめ、プリントサーバーとは別のクライアントコンピューターを設定のために準備して、プリントサーバーとは違うビット数の OS をインストールしてください。
- プリントサーバー側で、クライアントコンピューターのシステムドライブを、ネットワークドライブとして割り当てます。あらかじめ、割り当てるドライブを共有するよう設定する必要があります。

17.3.1 追加ドライバーのインストール方法

ここでは、例として、プリントサーバーに Windows Server 2008（32bit）、クライアントコンピューターに Windows Vista (64bit）をインストールした場合の操作について説明します。

1. クライアントコンピューターの、OS がインストールされているドライブ（通常は C ドライブ）を、共有するように設定します。

2. プリントサーバーで、手順 1 で共有した、クライアントコンピューターのドライブ（例：「C」）を、ネットワークドライブ（例：「z」）として割り当てます。

3. プリントサーバーに、32bitOS 用のドライバーをインストールします。

4. 作成したプリンターの「プロパティ」の画面を開きます。

5. 「共有」タブを選択し、「このプリンタを共有する」にチェックを入れます。

6. ［追加ドライバ］をクリックします。

   追加ドライバー画面が表示されます。

7. 「プロセッサ」の列の「x64」にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

8. 64bitOS 用のドライバーがあるフォルダーを指定します。

   セットアップ情報ファイルを要求する画面が表示されます。

9. ［参照］をクリックし、ネットワークドライブを割り当てたクライアントコンピューターにある、セットアップ情報ファイル（ntprint.inf）を指定します。

   - 以下のファイルを指定します。
     「z:\Windows\System32\DriverStore\FileRepository\ntprint.inf_xxx」

- 上記のパスで、「z」は割り当てたネットワークドライブです。また、最後の「_xxx」は、ドライバーのバージョンによって異なります。
- お使いのクライアントコンピューターによっては、セットアップ情報ファイルが格納されている場所が異なる場合があります。「ntprint.inf」と同じ階層に「amd64」というフォルダーが存在する場合、その配下に 64bitOS 用のセットアップ情報ファイルを指定してください。また、32bit 用 OS のドライバーを追加インストールする場合は、「ntprint.inf」と同じ階層に「i386」というフォルダーがあるセットアップ情報ファイルを指定してください。

10 ［開く］をクリックします。

インストールを開始します。

11 インストールが完了したら、［閉じる］をクリックします。

これで、64bitOS 用のドライバーの追加インストールが完了しました。

17.4 NetWare について

17.4.1 NetWare で選択可能な接続方法

NetWare で利用できるプロトコルは次のとおりです。

NetWare バージョン	使用するプロトコル	接続方法
NetWare 4.x	IPX	Bindery Pserver Nprinter/Rprinter
NetWare 5.x	IPX	NDS Pserver Nprinter/Rprinter
	TCP/IP	NDPS
NetWare 6.x	IPX	NDS Pserver
	TCP/IP	NDPS

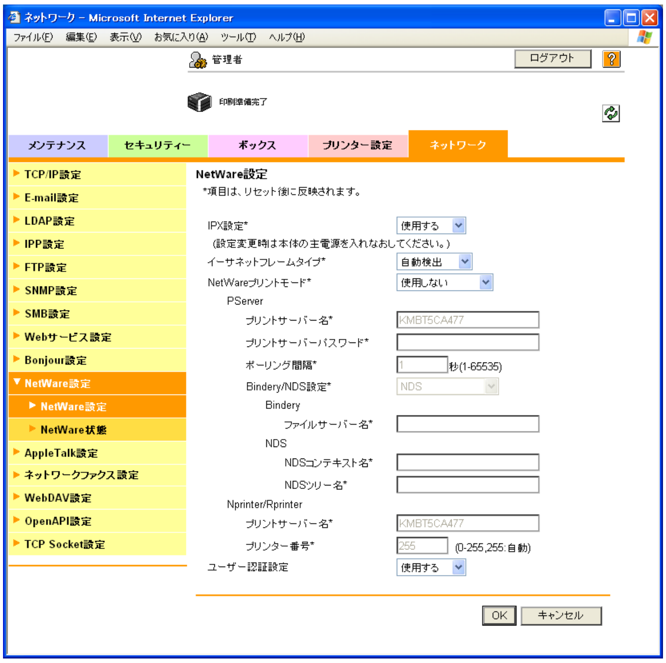
ひとこと

NetWare の機能の詳細は、NetWare の操作説明書をごらんください。
NetWare 環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「NetWare 設定」（p. 17-7）をごらんください。

17.4.2 NetWare 設定

NetWare 環境で印刷するための設定を行います。NetWare 環境で印刷するためには、NetWare 環境で本機を使用するための設定が必要です。

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ－「NetWare 設定」－「NetWare 設定」を選択します。



使用環境によって、設定項目が異なります。以下を参考にして設定してください。

■ NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのリモートプリンターモードの場合

ひとこと

バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。

1. クライアントより NetWare に Admin 権限で Bindery としてログインします。
2. Pconsole を起動します。
3. 「利用可能な項目」から「クイックセットアップ」を選択し、[Enter] キーを押します。
4. 「プリントサーバー名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」を入力し、プリンターの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。
5. [Esc] キーを押し、Pconsole を終了します。
6. NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。

続いて、「NetWare 設定」で以下の設定を行います。

項目	説明	事前確認
IPX 設定	「使用する」を選択します。	
イーサネットフレームタイプ	使用するフレームタイプを設定します。	フレームタイプ
NetWare プリントモード	「Nprinter/Rprinter」を選択します。	
プリントサーバー名	Nprinter/Rprinter として動作させる場合のプリントサーバー名を設定します（半角 63 文字以内）。	手順 4 で登録したプリントサーバー名
プリンター番号	Nprinter/Rprinter のプリンター番号を入力します。	

■ NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのプリントサーバーモードの場合

ひとこと

・バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。
・プリントサーバーモードを使用する場合は、NetWare サーバーに IPX プロトコルがロードされている必要があります。

1 クライアントより NetWare に Admin 権限で Bindery としてログインします。

2 Pconsole を起動します。

3 「利用可能な項目」から「クイックセットアップ」を選択し、［Enter］キーを押します。

4 「プリントサーバー名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」を入力し、プリンターの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。

5 ［Esc］キーを押し、Pconsole を終了します。

続いて、「NetWare 設定」で以下の設定を行います。

項目	説明	事前確認
IPX 設定	「使用する」を選択します。	
イーサネットフレームタイプ	使用するフレームタイプを設定します。	フレームタイプ
NetWare プリントモード	「PServer」を選択します。	
プリントサーバー名	Pserver として動作させる場合のプリントサーバ名を設定します（半角 63 文字以内）。	手順 4 で登録したプリントサーバー名
プリントサーバーパスワード	必要に応じて、プリントサーバーのパスワードを設定します（半角 63 文字以内）。	
ポーリング間隔	ジョブの問い合わせを行う間隔を設定します。	
Bindery/NDS 設定	「NDS/Bindery 設定」を選択します。	
ファイルサーバー名	Bindery モードの優先ファイルサーバー名を設定します（半角 47 文字以内）。	

■ NetWare 4.x リモートプリンターモード（NDS）の場合

1. クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。
2. NWadmin を起動します。
3. プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから「プリントサービスクイックセットアップ」を選択します。
4. 「プリントサーバー名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンターの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。
5. NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。

続いて、「NetWare 設定」で以下の設定を行います。

項目	説明	事前確認
IPX 設定	「使用する」を選択します。	
イーサネットフレームタイプ	使用するフレームタイプを設定します。	フレームタイプ
NetWare プリントモード	「Nprinter/Rprinter」を選択します。	
プリントサーバー名	Nprinter/Rprinter として動作させる場合のプリントサーバー名を設定します（半角 63 文字以内）。	手順 4 で登録したプリントサーバー名
プリンター番号	Nprinter/Rprinter のプリンター番号を入力します。	

■ NetWare 4.x/5.x/6 プリントサーバーモード（NDS）の場合

ひとこと

プリントサーバーモードを使用する場合は、NetWare サーバーに IPX プロトコルがロードされている必要があります。

1. クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。
2. NWadmin を起動します。
3. プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから「プリントサービスクイックセットアップ（非 NDPS）」を選択します。
4. 「プリントサーバー名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンターの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、［作成］をクリックします。

続いて、「NetWare 設定」で以下の設定を行います。

項目	説明	事前確認
IPX 設定	「使用する」を選択します。	
イーサネットフレームタイプ	使用するフレームタイプを設定します。	フレームタイプ

項目	説明	事前確認
NetWare プリントモード	「PServer」を選択します。	
プリントサーバー名	PServer として動作させる場合のプリントサーバ名を設定します（半角 63 文字以内）。	手順 4 で登録したプリントサーバー名
プリントサーバーパスワード	必要に応じて、プリントサーバーのパスワードを設定します（半角 63 文字以内）。	
ポーリング間隔	ジョブの問い合わせを行う間隔を設定します。	
Bindery/NDS 設定	「NDS」を選択します。	
NDS コンテキスト名	プリントサーバーで接続する NDS コンテキスト名を設定します（半角 191 文字以内）。	
NDS ツリー名	プリントサーバで接続する NDS ツリー名を設定します（半角 63 文字以内）。	

■ NetWare 5.x/6 Novell Distributed Print Service（NDPS）の場合

ひとこと

- NDPS に関する設定を行う前に、NDPS ブローカと NDPS マネージャが作成、ロードされていることを確認してください。
- NetWare サーバーで TCP/IP プロトコルが設定されていることを確認し、本機に IP アドレスが設定され、本機が起動していることを確認してください。

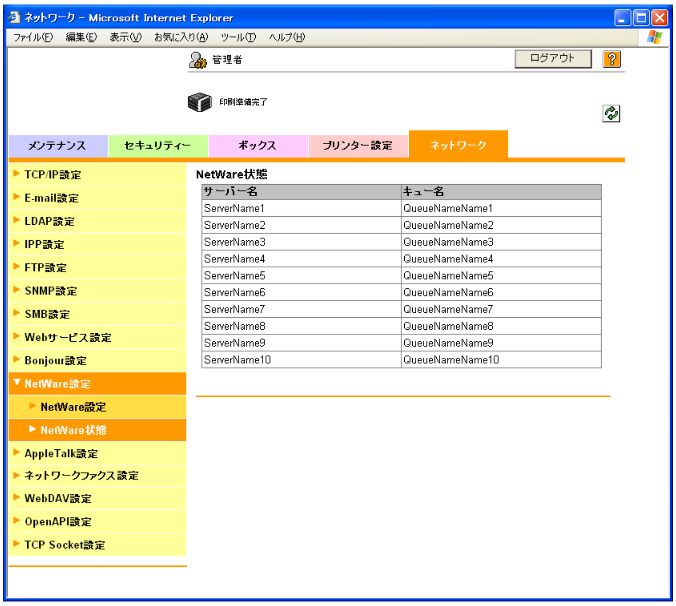
1. クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。
2. NWAdmin を起動します。
3. プリンターエージェントを作成する「組織」、「部門」コンテナを右クリックし、作成より、「NDPS プリンタ」を選択します。
4. 「NDPS プリンタ名」欄に、「プリンタ名」を入力します。
5. 「プリンタエージェントのソース」欄で「新規プリンタエージェントを作成する」を選択し、「作成」をクリックします。
6. プリンタエージェント名を確認し、「NDPS マネージャ名」欄で、NDPS マネージャをブラウズし、登録します。
7. 「ゲートウェイタイプ」で、「Novell プリンタゲートウェイ」を選択し、登録します。
8. 「Novell NDPS の設定」ウインドウで、プリンタ「（なし）」、ポートハンドラ「Novell ポートハンドラ」を選択し、登録します。
9. 「接続タイプ」で、「リモート（IP 上で LPR）」を選択し、登録します。
10. 本機に設定した IP アドレスをホストアドレスに、プリンタ名に「Print」と入力して「完了」を押して登録します。

11 プリンタードライバーの登録画面が現れますが、各 OS とも「なし」を選択して登録を終了してください。

17.4.3 NetWare 状態

PageScope Web Connection の管理者モードで、「ネットワーク」タブ ー「NetWare 設定」ー「NetWare 状態」を選択します。

必要に応じて、NetWare 接続の状態を確認できます。



17.4.4　Windows クライアント設定

ひとこと

・インストールするときは、管理者権限が必要です。
・印刷を行う Windows クライアントでは、「プリンタの追加ウィザード」でプリンタードライバーをインストールします。

1. プリンタードライバーの CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2. 「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタと FAX」ウィンドウを開きます。

3. 「プリンタのインストール」または「プリンタの追加」を実行します。

   「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

4. 印刷先ポートの設定で、ネットワークを参照し、作成したキュー名（または NDPS プリンター名）を指定します。

5. プリンターのモデル一覧で、CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定します。

   ❍ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
   選択できるプリンタードライバー：
   Windows 2000/XP/Server 2003：PCL ドライバー、PS ドライバー
   Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2：PCL ドライバー、PS ドライバー、XPS ドライバー
   Windows NT4.0：PCL ドライバー

6. 画面の指示にしたがってインストールを完了します。

17.5　トレイマッピングの設定

PCL コマンドに含まれる給紙トレイコマンド指定の値に対する実際の給紙口のマッピングを変更することができます。

本機では、給紙トレイの指定をする場合、HP 互換の以下のコマンドを使用しています。

PCL5："PAPER SOURCE" コマンド
PCL XL："MEDIA SOURCE" コマンド

17.5.1　トレイマッピング設定手順のながれ

トレイマッピングの設定は、大きく以下のような流れとなります。

1. トレイマッピング定義 PRN ファイルを作成
↓
2. トレイマッピング定義 PRN ファイルを MFP 本体へ送信
↓
3. 本体電源 OFF → ON 後、動作の確認

17.5.2　トレイマッピング定義 PRN ファイルの作成

各トレイのマッピング情報をテキストファイルで作成します。
メモ帳などのテキストエディタで、以下の内容を作成してください。
作成したら任意のファイル名をつけて保存します。

【書式】

共通部分で変更必要なし

```
%!PS-Adobe-3.0
/df {
   /dest exch store
   /buf 512 string def
   /sourcef (%stdin) (r) file def
   /destf dest (w) file def
   {
      sourcef buf readstring
      { destf exch writestring }
      { dup length 0 gt
          {destf exch writestring} {pop} ifelse
        sourcef closefile
        destf closefile
        exit
       } ifelse
   } loop
}bind def
(%disk0%../../env.ini) df
HPTRAY5E=③,④,⑤,⑥,⑦,⑧,⑨（改行コード） ····①
HPTRAYXL=③,④,⑤,⑥,⑦,⑧,⑨（改行コード） ····②
```

この部分を変更

ひとこと

本機能は、オプションの HDD が装着されている場合のみ動作します。

① PCL5 用のトレイマッピング情報定義
② PCLXL 用のトレイマッピング情報定義

PCL5/PCLXL どちらか一方のみの記述も可能です。（必ずしも両方を記述する必要はありません）

③ オートトレイの PCLID
④ トレイ 1（手差し）トレイの PCLID
⑤ トレイ 2 の PCLID
⑥ トレイ 3 の PCLID
⑦ トレイ 4 の PCLID
⑧ トレイ 5 の PCLID
⑨ トレイ 6 の PCLID

トレイが実在しない（トレイ 6 など）場合でも省略できません。必ず③～⑨すべての定義を記述してください。

【指定可能な PCLID】

PCL5	オートトレイ	1 ～ 255
	オートトレイ以外	1 ～ 6、8 ～ 255
	*オートトレイ用の PCLID（7）はオートトレイ以外には指定できません。	
PCLXL	オートトレイ	1 ～ 255
	オートトレイ以外	2 ～ 255
	*オートトレイ用の PCLID（1）はオートトレイ以外には指定できません。	
共通	PCLID 変更無し	-1
	*工場出荷時の設定に戻ります。	

【定義例】

- PCL5：トレイ 2 とトレイ 4 の PCLID を逆にする
- PCLXL：トレイ 3 の PCLID を 10 に変更する
  上記の場合は、次の記述になります。

```
%!PS-Adobe-3.0
/df {
    /dest exch store
    /buf 512 string def
    /sourcef (%stdin) (r) file def
    /destf dest (w) file def
    {
        sourcef buf readstring
        { destf exch writestring }
        { dup length 0 gt
            {destf exch writestring} {pop} ifelse
           sourcef closefile
           destf closefile
           exit
         } ifelse
    } loop
}bind def
(%disk0%../../env.ini) df
HPTRAY5E=1,-1,8,-1,1,-1,-1
HPTRAYXL=1,-1,-1,10,1,-1,-1

```

ひとこと

- ①、②の順は逆でも問題ありません。
- 同じ PCL 用の定義が複数行あった場合には、後の行の定義が有効となります。
- 行の先頭が「HPTRAY5E=」もしくは「HPTRAYXL=」以外の行は無視されます。

17.5.3　PRN ファイルの送信

「17.5.2 トレイマッピング定義 PRN ファイルの作成」で作成した PRN ファイルを lpr コマンドで本機に送信します。

コマンドプロンプトを起動し、以下のコマンドを実行します。

```
lpr -S（本機の IP アドレス）-P printer（PRN ファイル）
```

17.5.4　本機の電源再起動

本機の電源を OFF/ON してください。

電源再起動後に設定が有効となります。

ひとこと

電源を OFF/ON する場合は、電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

17.5.5　トラブルシューティング

電源 ON 後のシステム起動時に設定のチェックが行われます。

チェック時にエラーがあった場合は、全設定が無効（初期設定のまま）となります。

尚、エラーが発生してもメッセージ表示されません。

考えられるエラー原因としては以下のものがあります。

1. 定義したトレイ数が不足している。
   HPTRAY5E=1,2
2. 定義した PCLID が数値ではない。
   HPTRAY5E=1,2,3,**A**,5,6,8
3. 定義した PCLID が範囲外。
   HPTRAY5E=1,2,3,**500**,5,6,8
4. 定義した PCLID が重複している。
   HPTRAY5E=1,2,3,**2**,5,6,8
5. オートトレイの PCLID を他のトレイに設定している。
   HPTRAY5E=1,2,3,4,5,6,**7**

17.5.6　トレイマッピング設定を初期値に戻す

すべてのトレイマッピング設定を工場出荷初期値に戻す場合、各トレイに PCLID "-1" を指定します。

```
%!PS-Adobe-3.0
/df {
   /dest exch store
   /buf 512 string def
   /sourcef (%stdin) (r) file def
   /destf dest (w) file def
   {
      sourcef buf readstring
      { destf exch writestring }
      { dup length 0 gt
         {destf exch writestring} {pop} ifelse
        sourcef closefile
        destf closefile
        exit
       } ifelse
   } loop
}bind def
(%disk0%../../env.ini) df
HPTRAY5E=-1, -1, -1, -1 , -1, -1, -1 （改行コード）
HPTRAYXL=-1, -1, -1, -1 , -1, -1, -1 （改行コード）
```

PCLID の工場出荷初期値

コマンド ＼ 実際の給紙口	PJL	PCL5	PCL XL	PCL XL
	MEDIA SOURCE	<Esc>&l#H	Media Source	ワーディング *
プリント制御に従う	AUTO	7	1	
給紙は手差し	MANUAL FEED	2	2	トレイ 1（手差し）
給紙は手差し		4	3	トレイ 1
給紙は 1 段目	TRAY1	1	4	トレイ 2
給紙は 2 段目	TRAY2	5	5	トレイ 3
給紙は 3 段目	TRAY3	8	7	トレイ 4
給紙は 4 段目	TRAY4	9	8	トレイ 5
給紙は大容量	TRAY3	8	7	トレイ 4（大容量）

*「ワーディング」とは、プリンタードライバー上で表示されるトレイの名称のことです。

第 18 章
索引

18.1　使用別索引

■　あ行

■　か行

■ さ行

■ ら行

ログアウトする

ログインする

か行

さ行

た行

ま行

や行

ら行

わ行

A02E-9561-15K

2010. 7